

京都市
子育て支援に関する市民ニーズ調査
【結果報告書】

令和元年6月

京都市

目次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果（小学校入学前児童調査）	2
1 お子さまとご家族の状況について	2
2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について	23
3 お子さまの平日の幼稚園・保育施設等の利用について	39
4 土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	74
5 お子さまの病気・病後時の対応について	79
6 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて	87
7 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて	94
8 地域の子育て支援のための事業の利用等について	97
9 小学校入学後の放課後の過ごし方について	114
10 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について	128
11 子育て支援・相談などについて	135
III. 調査結果（小学生児童調査）	219
1 お子さまとご家族の状況について	219
2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について	244
3 お子さまの状況について	260
4 お子さまの病気・病後時の対応について	267
5 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて	274
6 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて	281
7 ファミリーサポート事業の利用について	285
8 子育て支援・相談などについて	290

1. 調査の概要

1 調査の目的

小学校入学前及び小学生の子どもを養育する家庭の子育ての状況，子どもや子育て支援に関するニーズを把握し，今後の本市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とすること。

2 調査設計

- 調査対象者：京都市内在住の小学校入学前児童の保護者（小学校入学前児童調査）
京都市内在住の小学生児童の保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- 調査期間：平成30年9月7日～9月21日
- 調査方法：郵送による配布・回収

3 回収結果

		調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率	
小学校入学前児童調査		6,500件	3,191件	49.1%	
小学生児童調査		6,500件	3,202件	49.3%	
（参考）	平成25年調査	小学校入学前児童調査	6,500件	3,008件	46.3%
		小学生児童調査	6,500件	2,649件	40.8%
	平成20年調査	小学校入学前児童調査	6,100件	2,742件	45.0%
		小学生児童調査	4,200件	1,747件	41.6%

4 報告書の見方

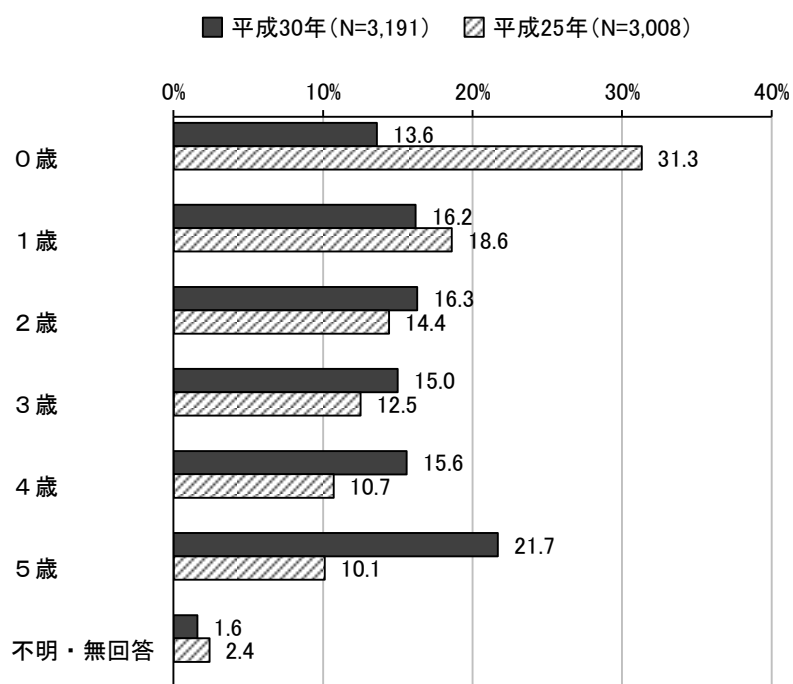
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して，それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため，単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは，本報告書内の分析文，グラフ，表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合，回答は選択肢ごとの有効回答数に対して，それぞれの割合を示しています。そのため，合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは，回答が示されていない，又は回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N（number of case）」は，集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について，長い文は簡略化している場合があります。
- 設問によっては，結果を詳細に分析するため，クロス集計表を掲載しています。

II. 調査結果（小学校入学前児童調査）

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

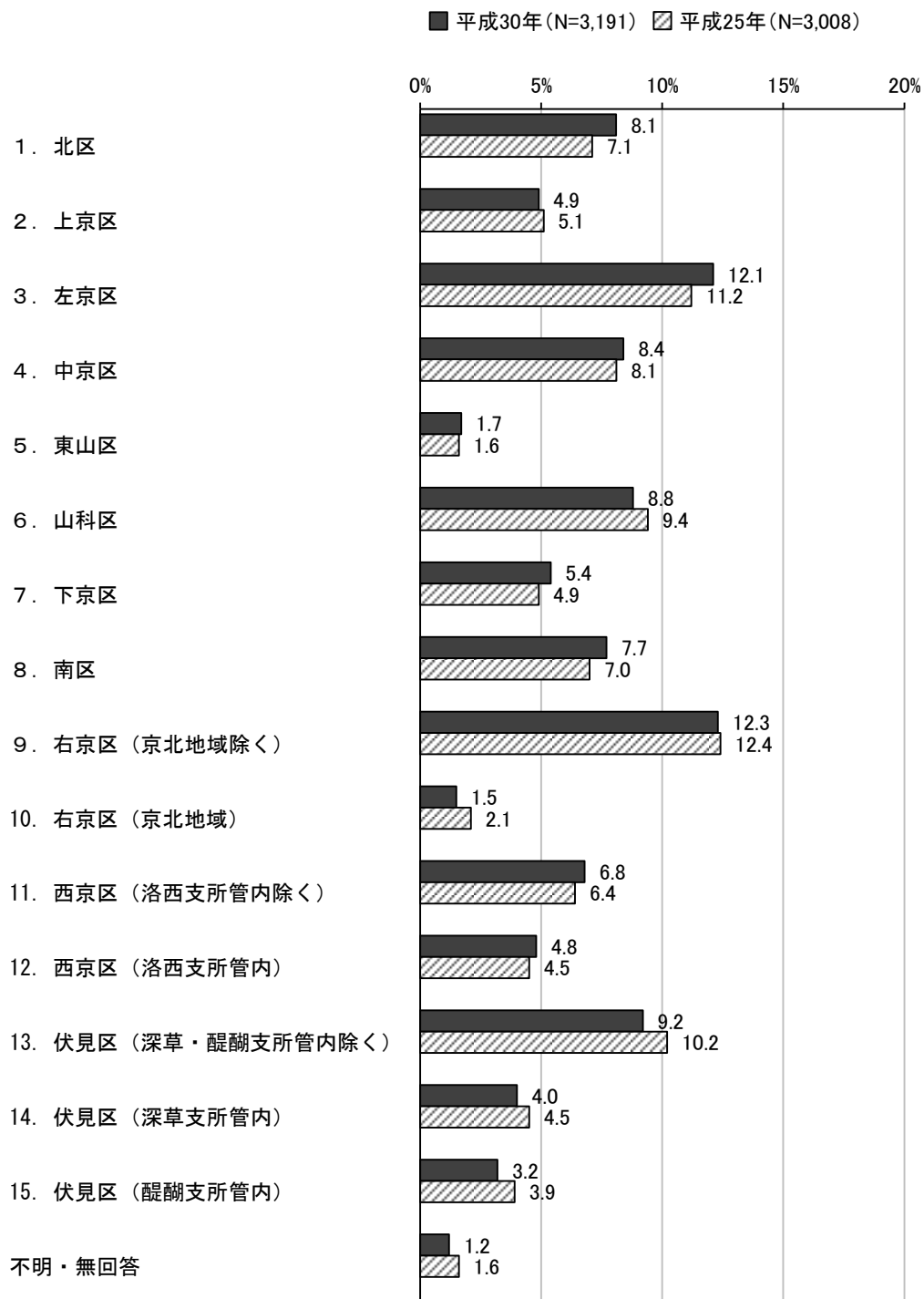
「5歳」が21.7%と最も高く、次いで「2歳」が16.3%、「1歳」が16.2%となっています。平成25年と比較すると、「0歳」が17.7ポイント低く、「5歳」が11.6ポイント高くなっています。



問2 お住まいの区等はどちらですか。(〇は1つ)

「9. 右京区(京北地域除く)」が12.3%と最も高く、次いで「3. 左京区」が12.1%、「13. 伏見区(深草・醍醐地区除く)」が9.2%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

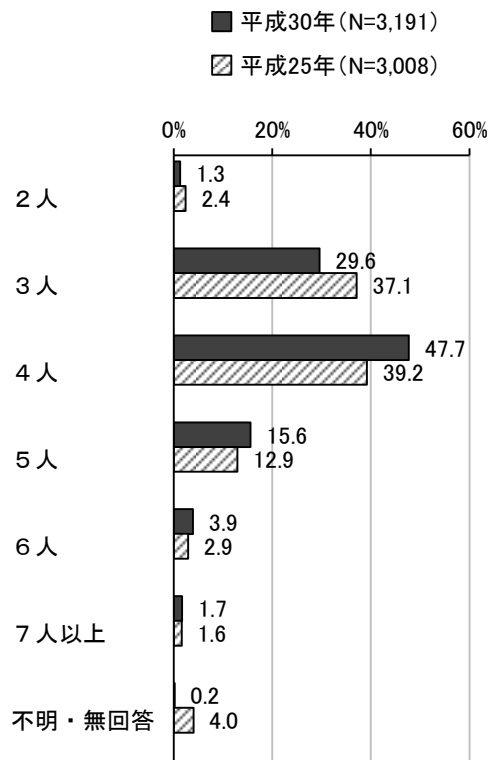


問3 家族の人数（ご自身や宛名のお子さまも含む。）をご記入ください。

家族の人数は、「4人」が47.7%と最も高く、次いで「3人」が29.6%、「5人」が15.6%となっています。

平成25年と比較すると、「4人」が8.5ポイント高く、「3人」が7.5ポイント低くなっています。

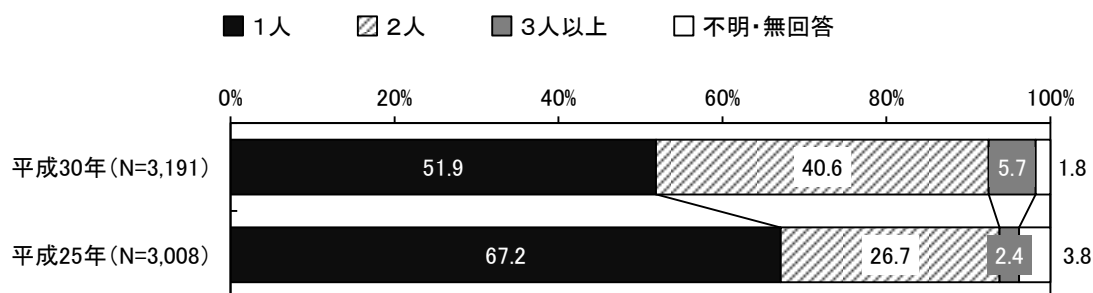
◆家族の人数



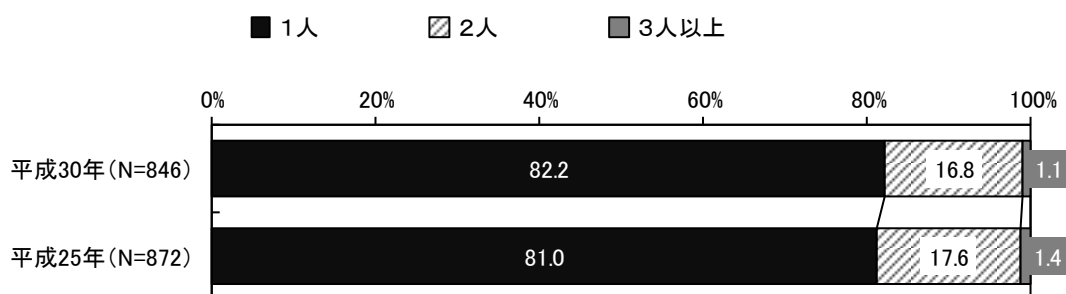
子どもの数は、小学校入学前の子ども、小学生の子ども、中学生以上の子どもいずれも「1人」の割合が最も高くなっています。

平成25年と比較すると、小学校入学前の子どもの数は「1人」が15.3ポイント低く、「2人」が13.9ポイント高くなっています。

◆小学校入学前の子どもの数

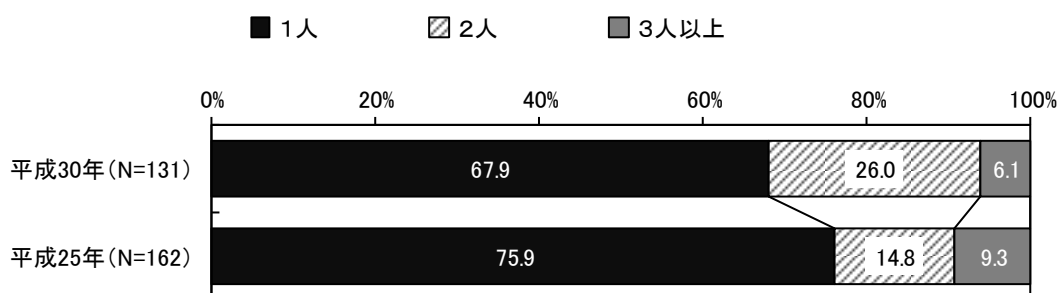


◆小学生の子ども数



※不明・無回答除く

◆中学生以上の子どもの数

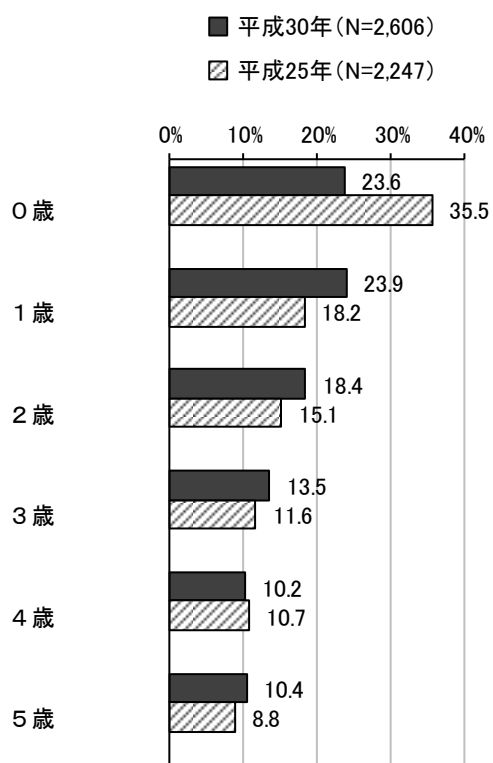


※不明・無回答除く

末子の年齢は、「1歳」が23.9%と最も高く、次いで「0歳」が23.6%、「2歳」が18.4%となっています。

平成25年と比較すると、「0歳」が11.9ポイント低く、「1歳」が5.7ポイント高くなっています。

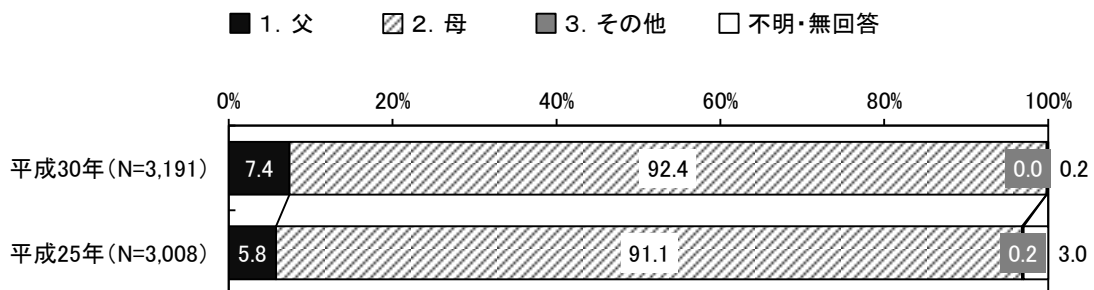
◆末子の年齢



※不明・無回答除く

問4 この調査票に記入されている方はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。
（〇は1つ）

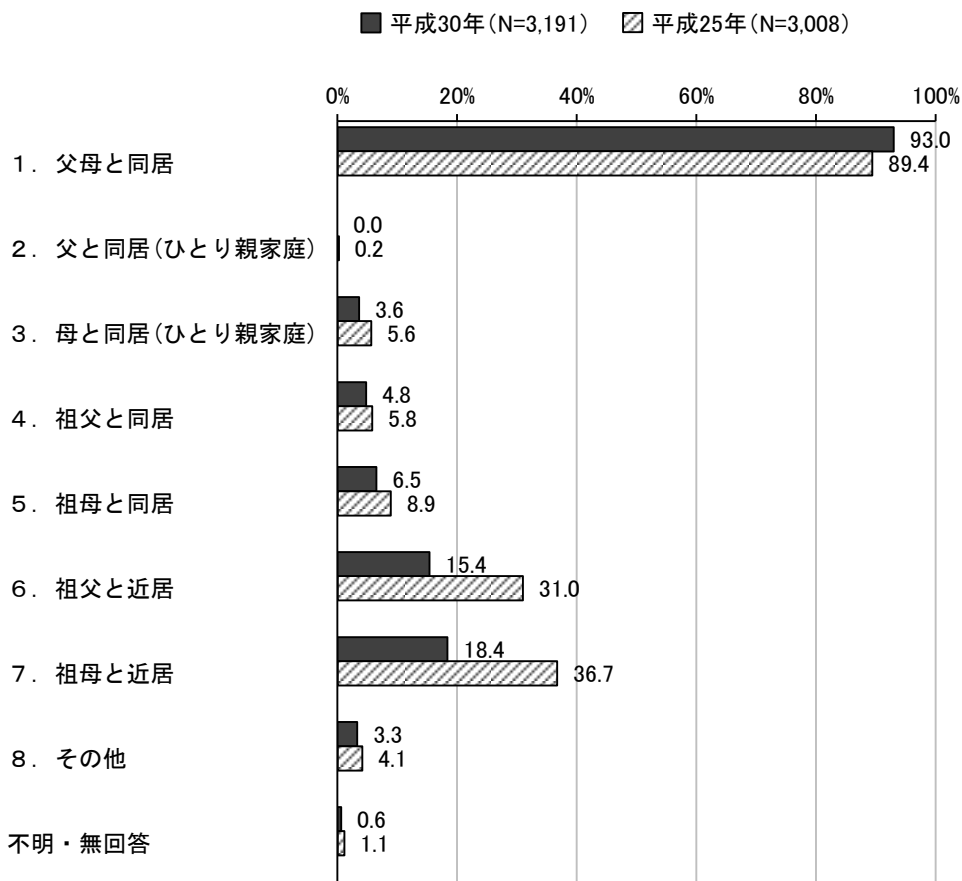
「2. 母」が92.4%、「1. 父」が7.4%となっています。
 平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（〇はいくつでも） ※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

「1. 父母と同居」が93.0%と最も高く、次いで「7. 祖母と近居」が18.4%、「6. 祖父と近居」が15.4%となっています。

平成25年と比較すると、「7. 祖母と近居」が18.3ポイント、「6. 祖父と近居」が15.6ポイント低くなっています。

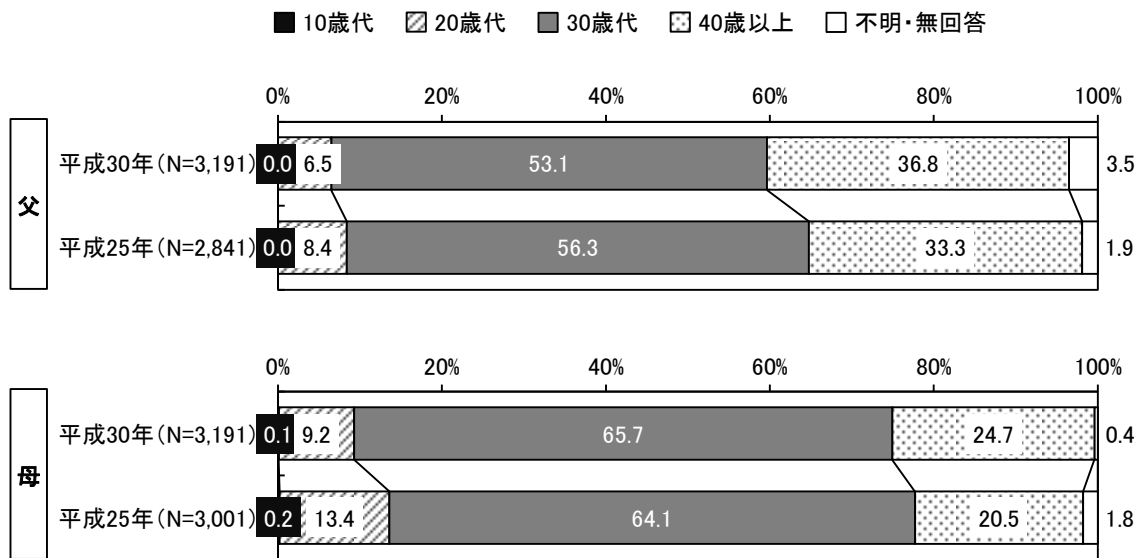


問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。(平成30年9月1日現在)

父親では、「30歳代」が53.1%と最も高く、次いで「40歳以上」が36.8%、「20歳代」が6.5%となっています。

母親では、「30歳代」が65.7%と最も高く、次いで「40歳以上」が24.7%、「20歳代」が9.2%となっています。

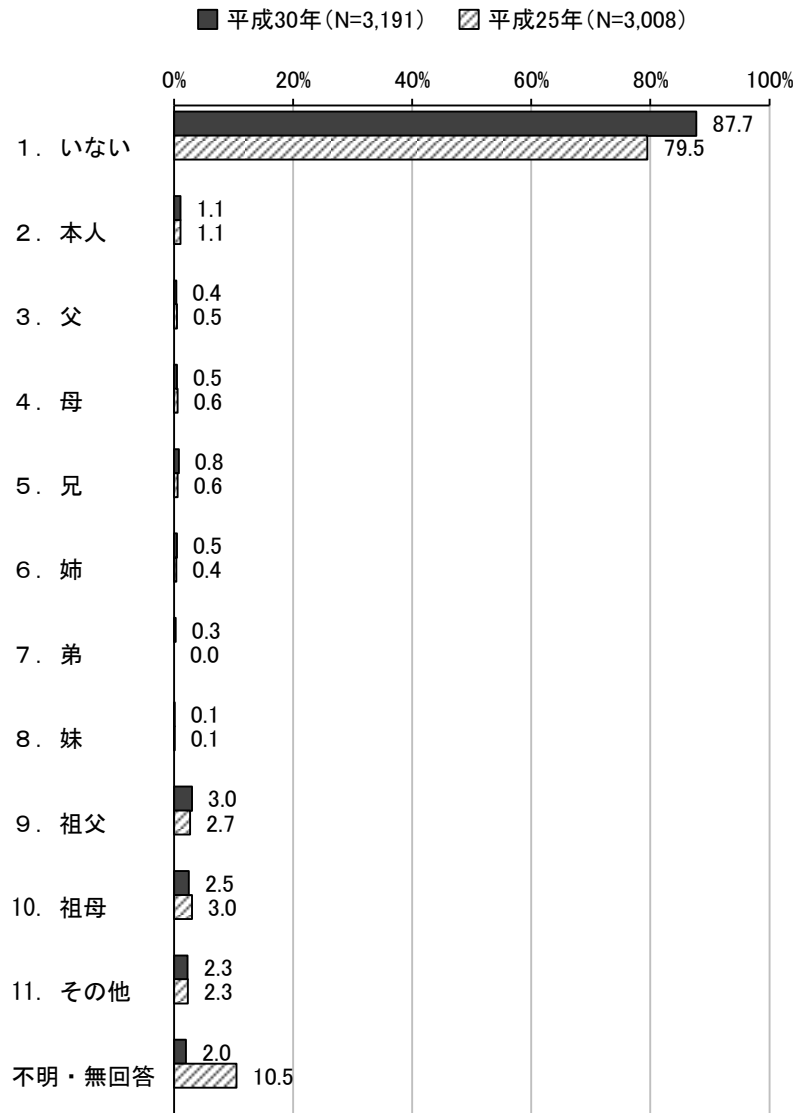
平成25年と比較すると、父親、母親ともに特に大きな差はみられません。



問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

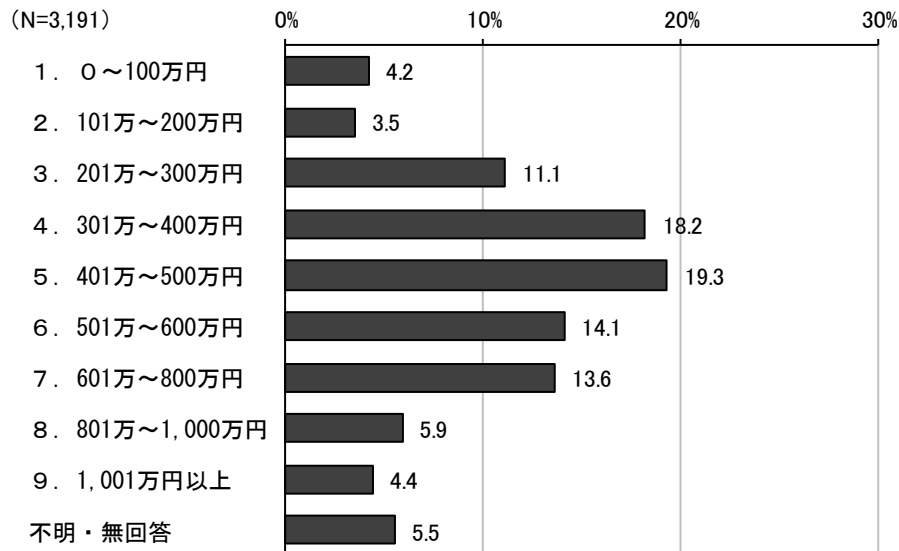
「1. いない」が87.7%と最も高く、次いで「9. 祖父」が3.0%、「10. 祖母」が2.5%となっています。

平成25年と比較すると、「1. いない」が8.2ポイント高くなっています。



問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（〇は1つ）

「5. 401万～500万円」が19.3%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が18.2%、「6. 501万～600万円」が14.1%となっています。



《問7×家族類型別》

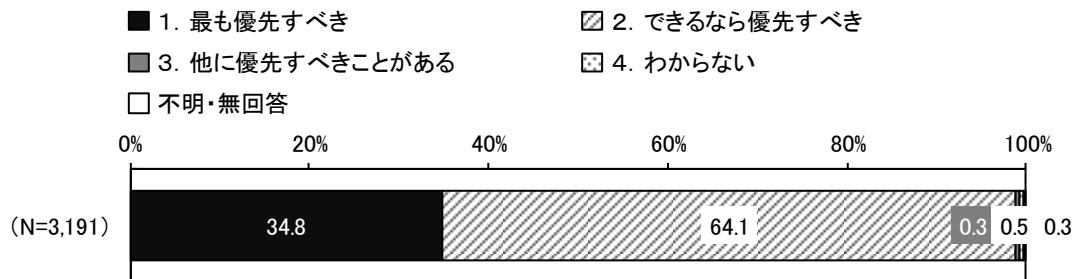
「ひとり親」では「0～100万円」、「共働き（両親ともフルタイム）」「専業主婦（夫）」では「401万～500万円」、「フルタイム・パート」では「301万～400万円」の割合が最も高くなっています。

上段: 件数 下段: %	合計	0～100万円	101万～200万円	201万～300万円	301万～400万円	401万～500万円	501万～600万円	601万～800万円	801万～1,000万円	1,001万円以上	不明・無回答	
全体	3,191 100.0	135 4.2	113 3.5	354 11.1	582 18.2	617 19.3	450 14.1	435 13.6	189 5.9	140 4.4	176 5.5	
家族類型別	ひとり親	117 100.0	42 35.9	21 17.9	23 19.7	8 6.8	7 6.0	3 2.6	3 2.6	0 0.0	2 1.7	8 6.8
	共働き(両親ともフルタイム)	1,050 100.0	24 2.3	34 3.2	92 8.8	143 13.6	194 18.5	170 16.2	187 17.8	102 9.7	64 6.1	40 3.8
	フルタイム・パート	835 100.0	23 2.8	25 3.0	127 15.2	197 23.6	157 18.8	117 14.0	89 10.7	36 4.3	24 2.9	40 4.8
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	36 3.2	26 2.3	106 9.3	226 19.8	255 22.4	158 13.9	155 13.6	48 4.2	48 4.2	82 7.2
	両親ともパート	14 100.0	2 14.3	4 28.6	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0
	両親とも無職	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

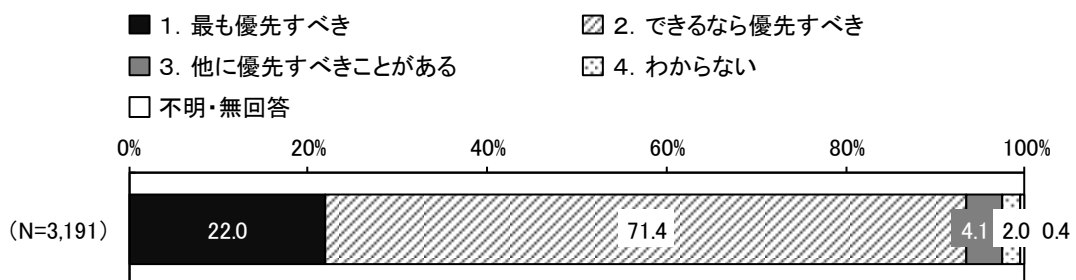
問8(1) 日々の生活の中で、子育てにかかる時間は優先すべきだと考えますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が64.1%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が34.8%となっています。



問8(2) 日々の生活の中で、子育てにかかるお金は優先すべきだと考えますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が71.4%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が22.0%、「3. 他に優先すべきことがある」が4.1%となっています。



問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

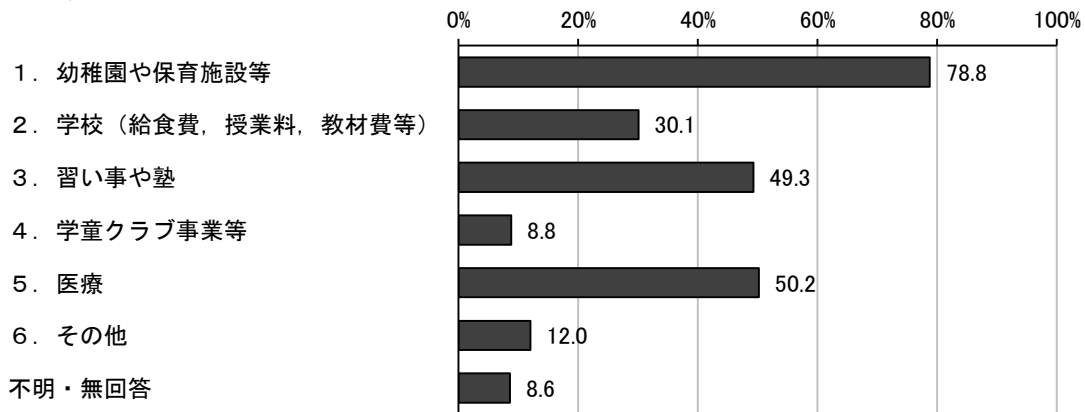
(〇はいくつでも)

また、おおよその金額(幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額)をご記入ください。

「1. 幼稚園や保育施設等」が78.8%と最も高く、次いで「5. 医療」が50.2%、「3. 習い事や塾」が49.3%となっています。

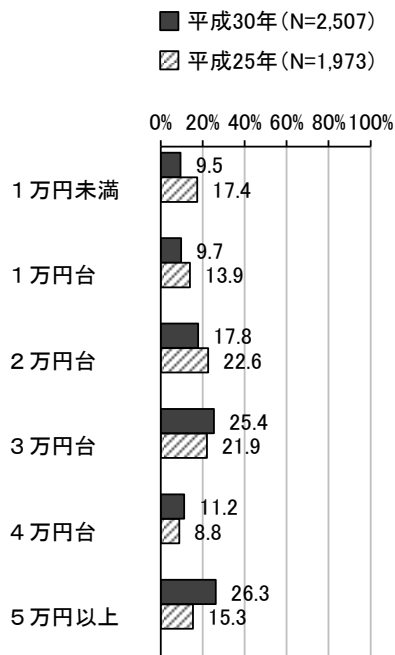
1か月あたりの費用については、「1. 幼稚園や保育施設等」では「5万円以上」、「2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)」「3. 習い事や塾」「5. 医療」では「1万円未満」、「4. 学童クラブ事業等」では「1万円台」の割合が最も高くなっています。

(N=3,191)

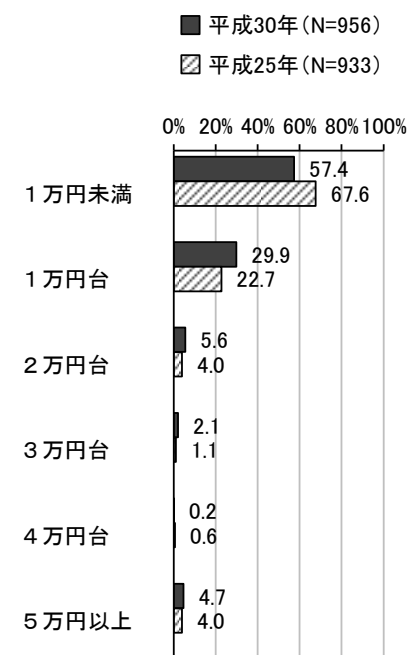


◆1か月あたりの費用

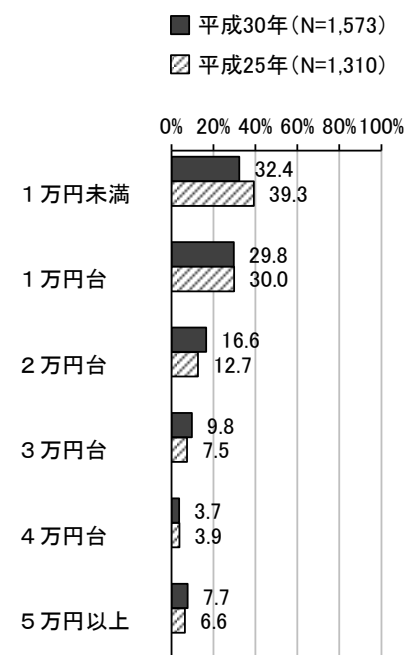
1. 幼稚園や保育施設等



2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

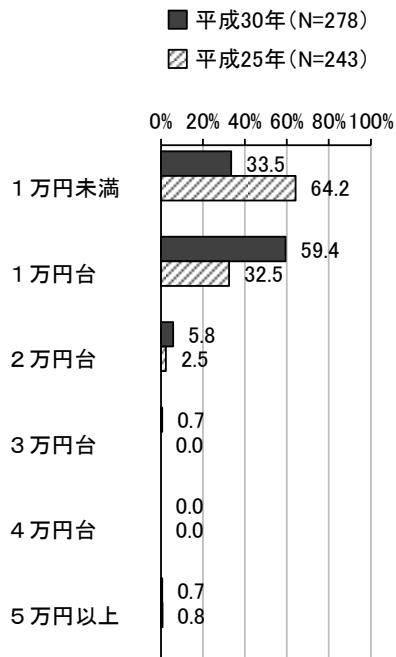


3. 習い事や塾



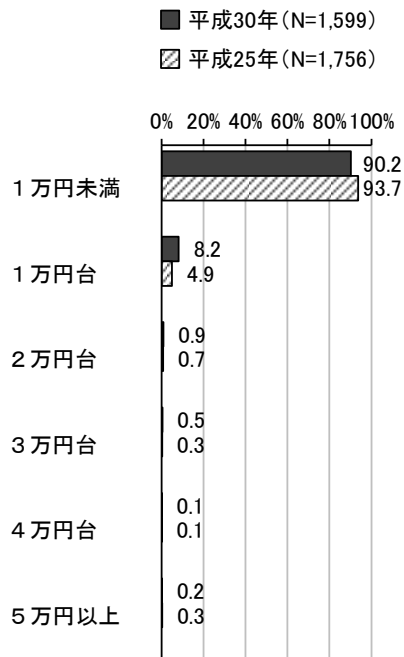
※不明・無回答除く

4. 学童クラブ事業等



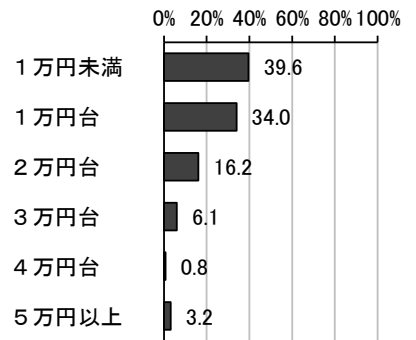
※不明・無回答除く

5. 医療



6. その他

平成30年 (N=376)

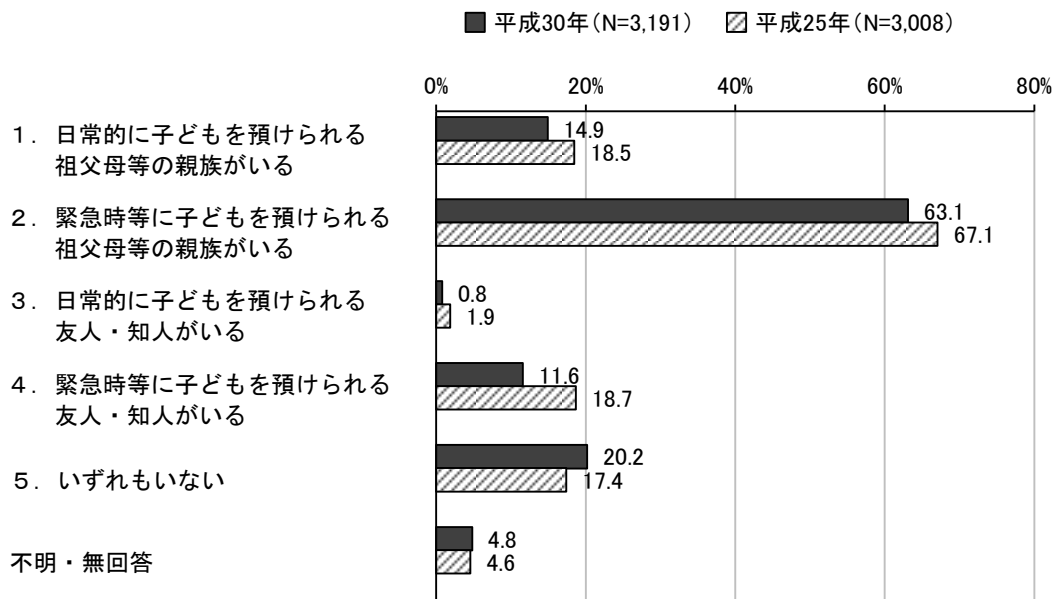


問9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。(〇はいくつでも)

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯(「9時~18時」のように24時間制で)をご記入ください。

「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が63.1%と最も高く、次いで「5. いずれもない」が20.2%、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が14.9%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がある」が7.1ポイント低くなっています。



《問9(1)×家族類型別》

すべての区分で「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がある	緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がある	いずれもない	不明・無回答	
全体	3,191 100.0	476 14.9	2,014 63.1	25 0.8	369 11.6	644 20.2	153 4.8	
家族類型別	ひとり親	117 100.0	27 23.1	58 49.6	2 1.7	15 12.8	27 23.1	7 6.0
	共働き(両親ともフルタイム)	1,050 100.0	146 13.9	690 65.7	5 0.5	83 7.9	211 20.1	41 3.9
	フルタイム・パート	835 100.0	150 18.0	535 64.1	9 1.1	99 11.9	163 19.5	35 4.2
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	148 13.0	703 61.7	9 0.8	167 14.6	232 20.4	65 5.7
	両親ともパート	14 100.0	2 14.3	8 57.1	0 0.0	2 14.3	3 21.4	1 7.1
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

※不明・無回答除く

《問9(1)×問5(1)同居・近居の状況別》

「父と同居(ひとり親家庭)」を除き、「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	日常的に子ども を預けられる祖 父母等の親族 がいる	緊急時等に子 どもを預けられ る祖父母等の 親族がいる	日常的に子ども を預けられる友 人・知人がいる	緊急時等に子 どもを預けられ る友人・知人が いる	いずれもない	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	476 14.9	2,014 63.1	25 0.8	369 11.6	644 20.2	153 4.8	
同居・ 近居の 状況別	父母と同居	2,969 100.0	432 14.6	1,885 63.5	23 0.8	345 11.6	602 20.3	140 4.7
	父と同居 (ひとり親家庭)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	母と同居 (ひとり親家庭)	116 100.0	26 22.4	58 50.0	2 1.7	15 12.9	27 23.3	7 6.0
	祖父と同居	152 100.0	61 40.1	95 62.5	3 2.0	16 10.5	10 6.6	4 2.6
	祖母と同居	209 100.0	86 41.1	135 64.6	4 1.9	18 8.6	11 5.3	8 3.8
	祖父と近居	492 100.0	130 26.4	398 80.9	4 0.8	55 11.2	19 3.9	15 3.0
	祖母と近居	587 100.0	153 26.1	467 79.6	6 1.0	65 11.1	23 3.9	21 3.6
	その他	106 100.0	20 18.9	73 68.9	1 0.9	10 9.4	17 16.0	3 2.8

※不明・無回答除く

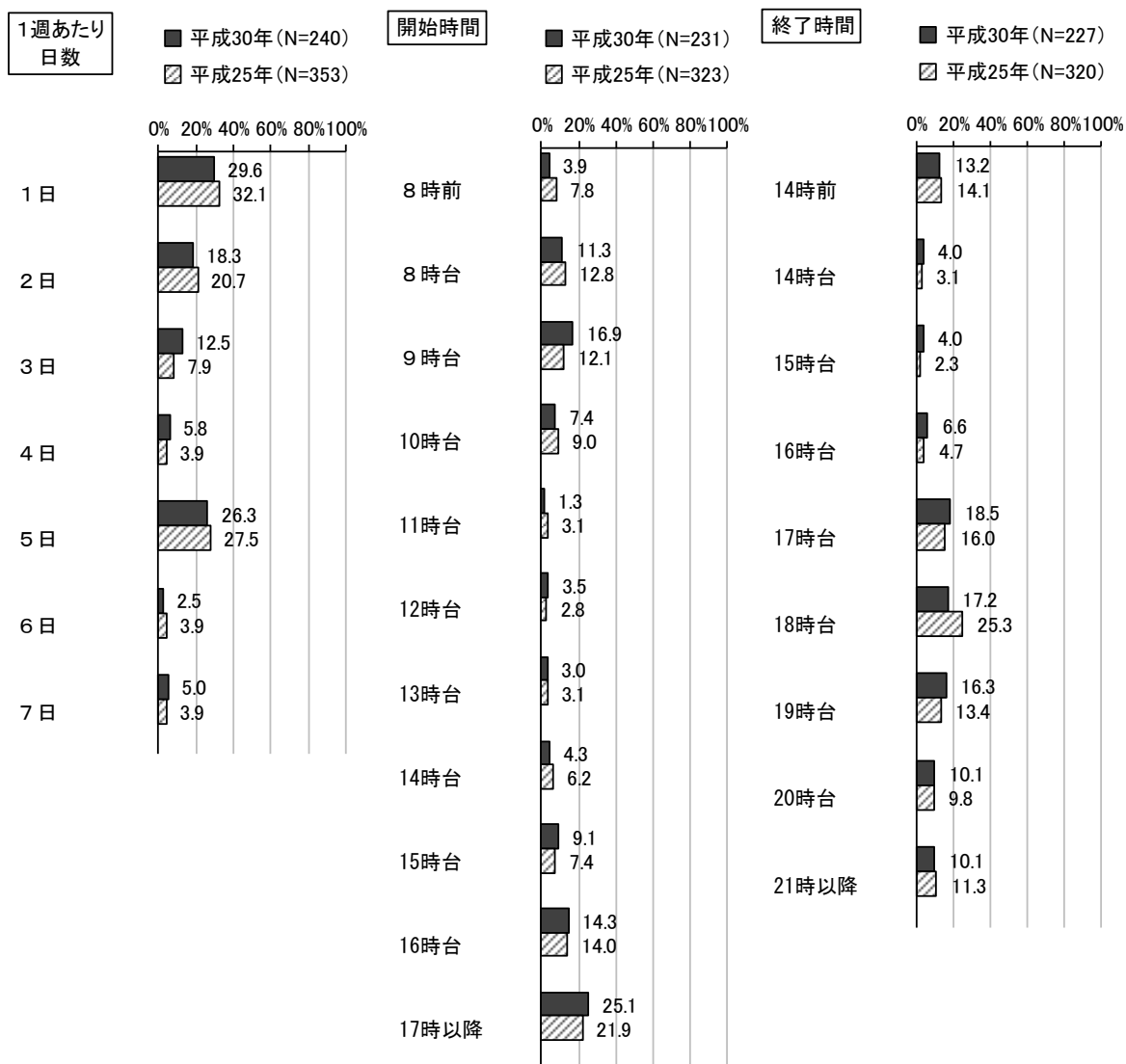
預けている日数・時間帯について、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」方の1週あたりの日数は「1日」が29.6%と最も高く、次いで「5日」が26.3%、「2日」が18.3%となっています。

開始時間は、「17時以降」が25.1%と最も高く、次いで「9時台」が16.9%、「16時台」が14.3%となっています。

終了時間は、「17時台」が18.5%と最も高く、次いで「18時台」が17.2%、「19時台」が16.3%となっています。

◆預けている日数・時間帯

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる



※不明・無回答除く

預けている日数・時間帯について、「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」方の1週あたりの日数は「1日」が4件、「2日」が2件、「5日」が1件となっています。

開始時間は、「17時以降」が4件、「8時前」「9時台」がともに1件ずつとなっています。

終了時間は、「21時以降」が3件、「14時前」「19時台」がともに1件ずつとなっています。

3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

【1週あたり日数】

平成30年(N=7)

	件数
1日	4
2日	2
5日	1

【開始時間】

平成30年(N=6)

	件数
8時前	1
9時台	1
17時以降	4

【終了時間】

平成30年(N=5)

	件数
14時前	1
19時台	1
21時以降	3

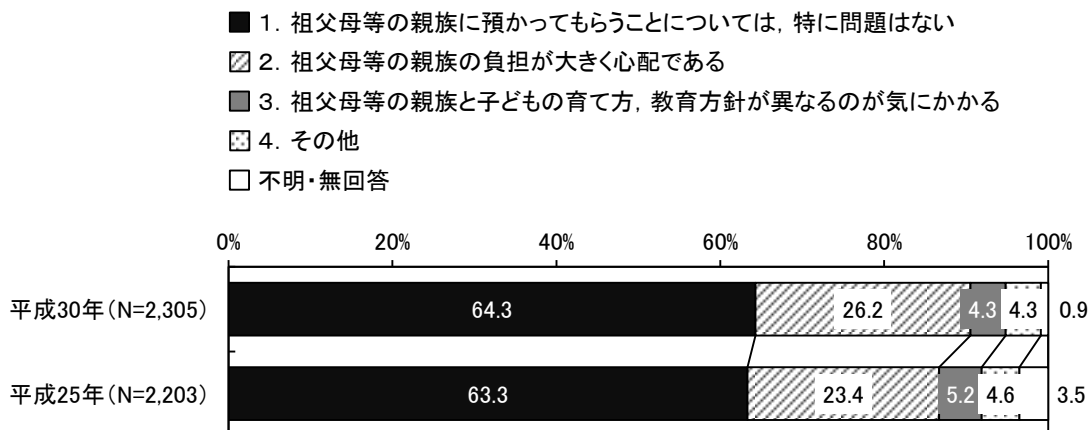
※不明・無回答除く

問9(1)で「1」または「2」と答えた方

問9(2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない」が64.3%と最も高く、次いで「2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である」が26.2%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

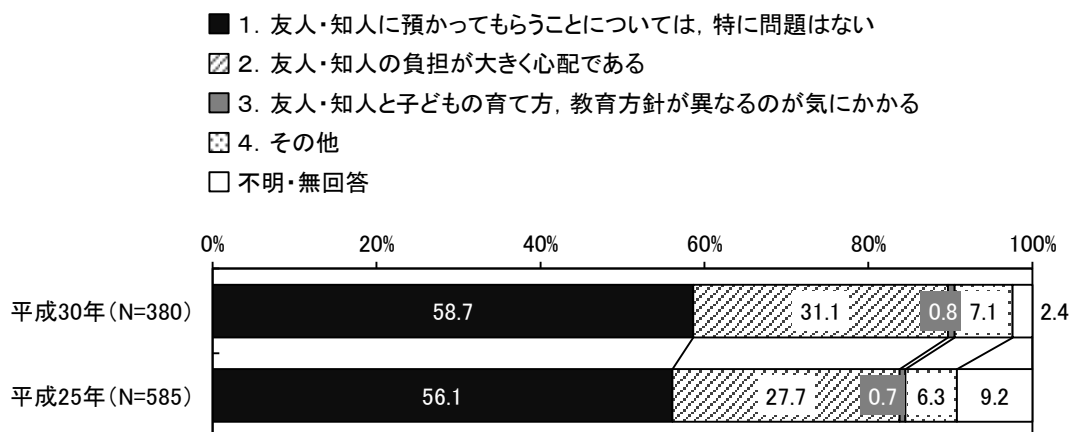


問9(1)で「3」または「4」と答えた方

問9(3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が58.7%と最も高く、次いで「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が31.1%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



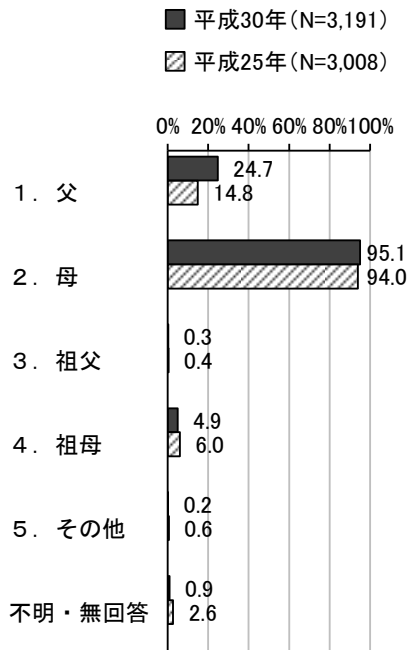
問 10 宛名のお子さまの育児や家事等に関わっている方はどなたですか。

(〇はそれぞれいくつでも)

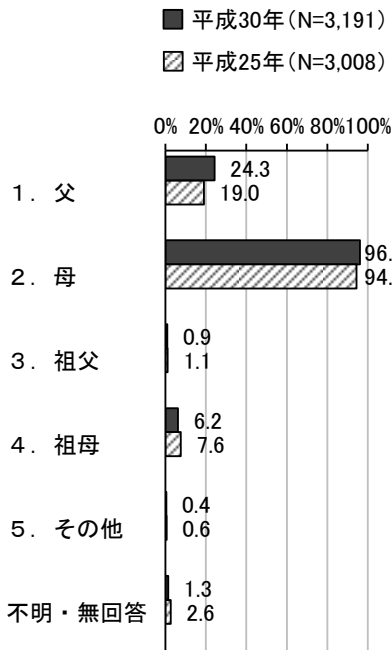
すべての項目において「2. 母」の割合が最も高くなっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 父」の割合はすべての項目で高くなっており、特に「⑭子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子どもに関する地域活動に参加する」で 21.6 ポイント、「①洗濯をする」で 9.9 ポイント高くなっています。

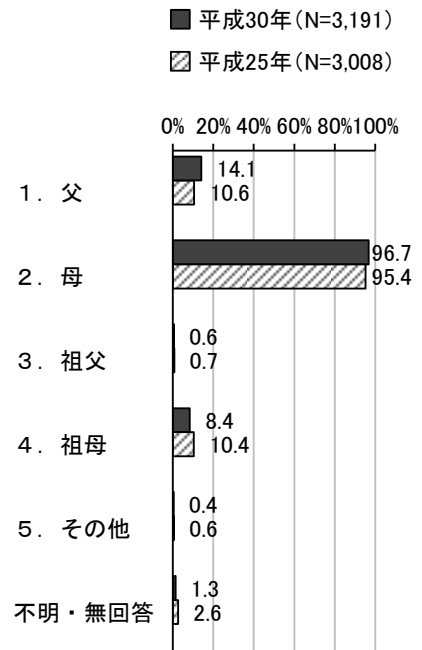
①洗濯をする



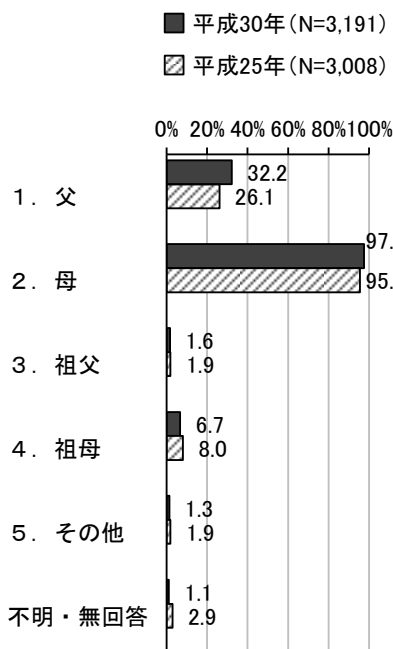
②食料品等の日常的な買い物をする



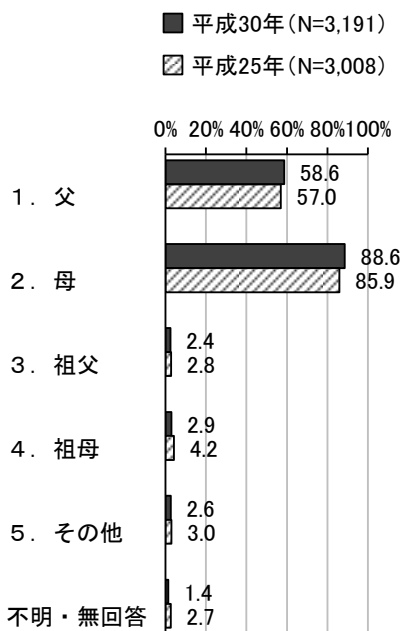
③家族や子どもの食事をつくる



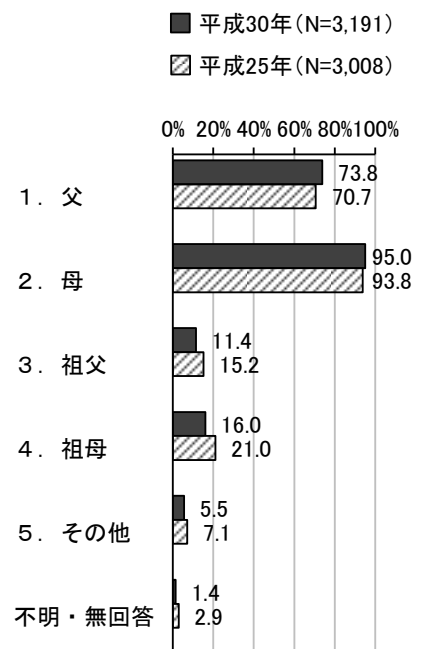
④子どもに食事を食べさせる



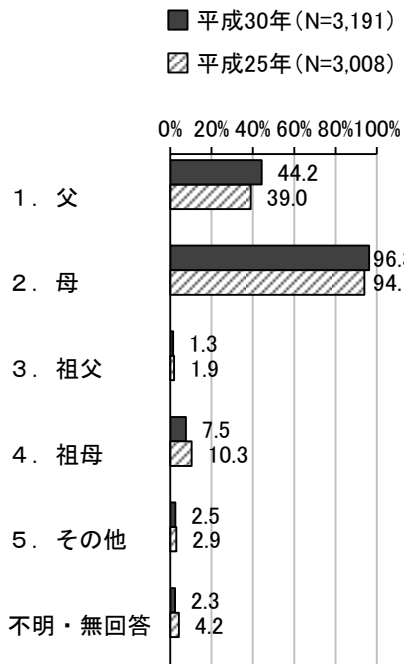
⑤子どもを風呂に入れる



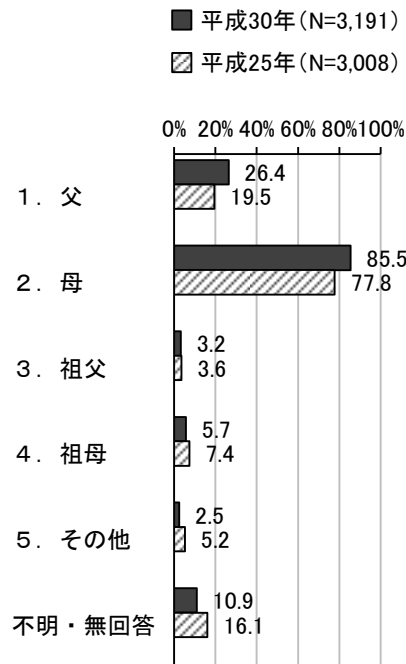
⑥子どもと遊ぶ



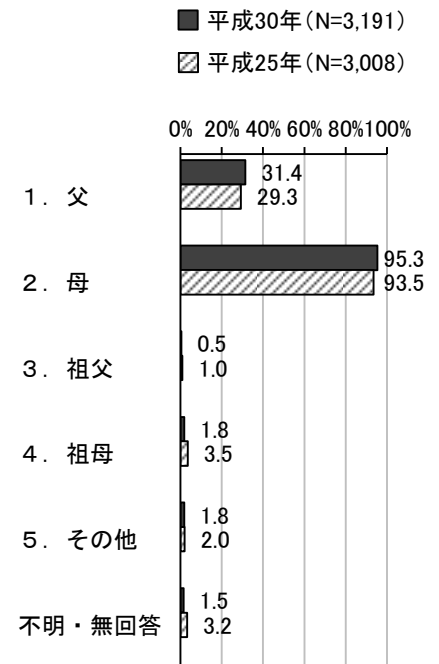
⑦子どもの衣類(おむつ)を替える



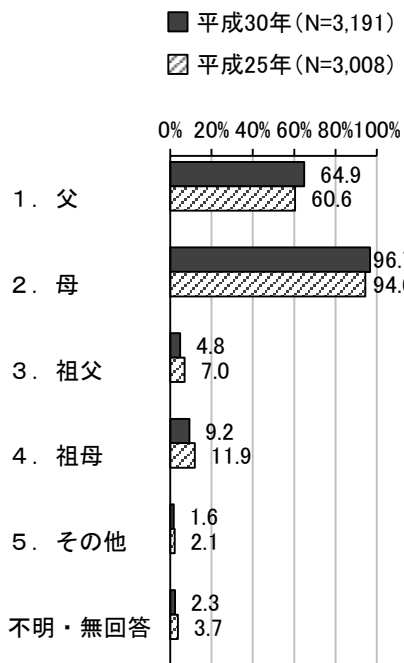
⑧幼稚園・保育施設等や習い事・塾等の送り迎えをする



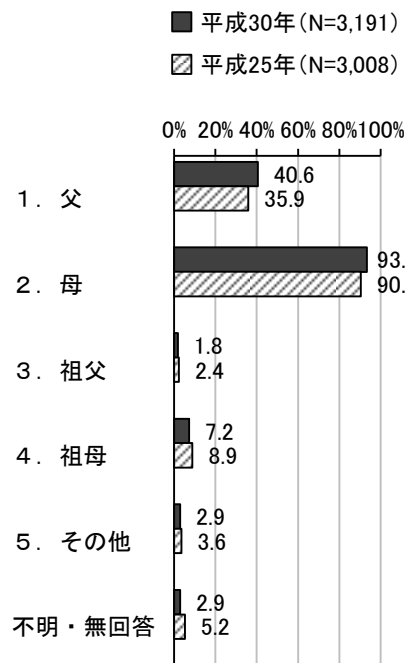
⑨子どもを寝かしつける



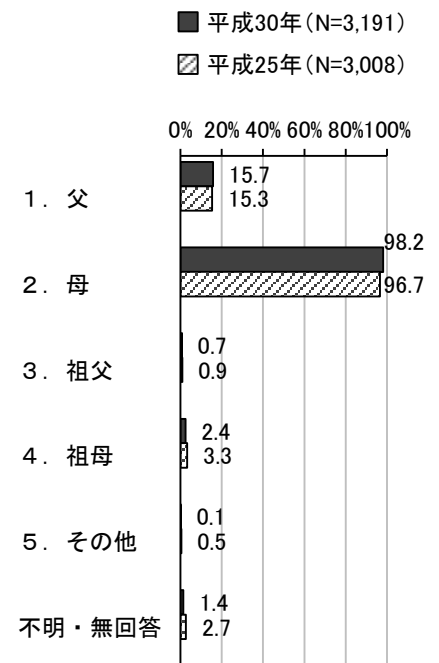
⑩子どもをしつける



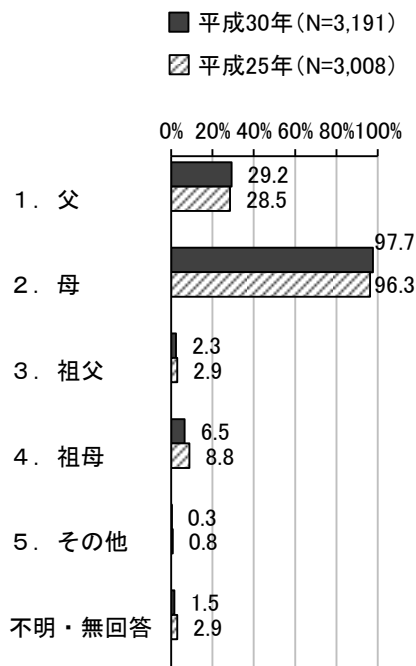
⑪子どもに本を読み聞かせる



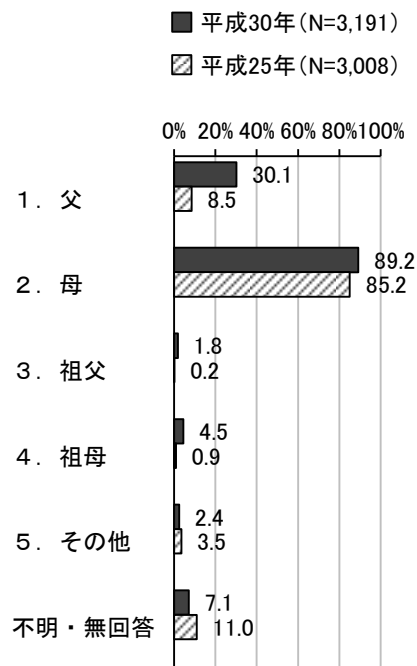
⑫予防接種や健診に連れて行く



⑬子どもが病気の際に看病したり
病院に連れて行ったりする



⑭子ども会や子育てサークル、町内会や
地蔵盆等の子どもに関する地域活動に
参加する



《問 10×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

〔⑥子どもと遊ぶ〕〔⑩子どもをしつける〕について、すべての区分で「母」の割合が最も高くなっていますが、子育てが楽しいと感じている方ほど「父」の割合が高くなる傾向がみられます。

⑥子どもと遊ぶ

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	その他	不明・ 無回答
全 体		3,191 100.0	2,354 73.8	3,032 95.0	363 11.4	510 16.0	176 5.5	45 1.4
子 育 て 中 の 気 持 ち 別	とても楽しい	885 100.0	704 79.5	848 95.8	127 14.4	165 18.6	52 5.9	9 1.0
	楽しい	1,297 100.0	990 76.3	1,243 95.8	153 11.8	212 16.3	72 5.6	18 1.4
	少し不安または負担 を感じる	695 100.0	460 66.2	650 93.5	56 8.1	90 12.9	37 5.3	15 2.2
	とても不安または負担 を感じる	108 100.0	58 53.7	103 95.4	8 7.4	11 10.2	4 3.7	0 0.0
	どちらともいえない	155 100.0	110 71.0	144 92.9	11 7.1	22 14.2	8 5.2	1 0.6

※不明・無回答除く

⑩子どもをしつける

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	その他	不明・ 無回答
全 体		3,191 100.0	2,070 64.9	3,087 96.7	152 4.8	295 9.2	50 1.6	73 2.3
子 育 て 中 の 気 持 ち 別	とても楽しい	885 100.0	603 68.1	853 96.4	50 5.6	88 9.9	17 1.9	23 2.6
	楽しい	1,297 100.0	865 66.7	1,253 96.6	63 4.9	120 9.3	21 1.6	27 2.1
	少し不安または負担 を感じる	695 100.0	436 62.7	678 97.6	29 4.2	59 8.5	8 1.2	15 2.2
	とても不安または負担 を感じる	108 100.0	42 38.9	105 97.2	4 3.7	8 7.4	1 0.9	1 0.9
	どちらともいえない	155 100.0	98 63.2	150 96.8	4 2.6	16 10.3	3 1.9	4 2.6

※不明・無回答除く

2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について

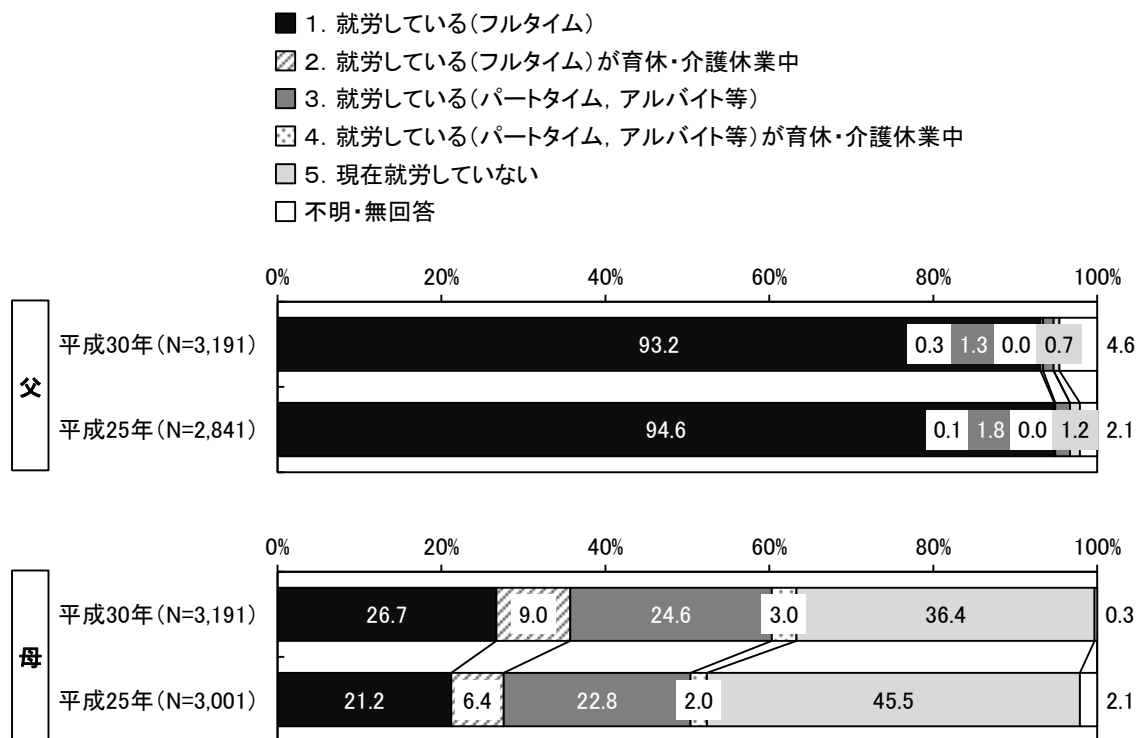
問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業，家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つつつ）

併せて，就労している方は，[]に数字（時刻の場合は，「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また，就労時間については，30 分以上の端数は切上げ，30 分未満は切下げてご記入ください。

父親では，「1. 就労している（フルタイム）」が 93.2%と最も高く，次いで「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が 1.3%，「5. 現在就労していない」が 0.7%となっています。

母親では，「5. 現在就労していない」が 36.4%と最も高く，次いで「1. 就労している（フルタイム）」が 26.7%，「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が 24.6%となっています。

平成 25 年と比較すると，父親では特に大きな差はみられません。母親では「5. 現在就労していない」が 9.1 ポイント低く，「1. 就労している（フルタイム）」が 5.5 ポイント高くなっています。



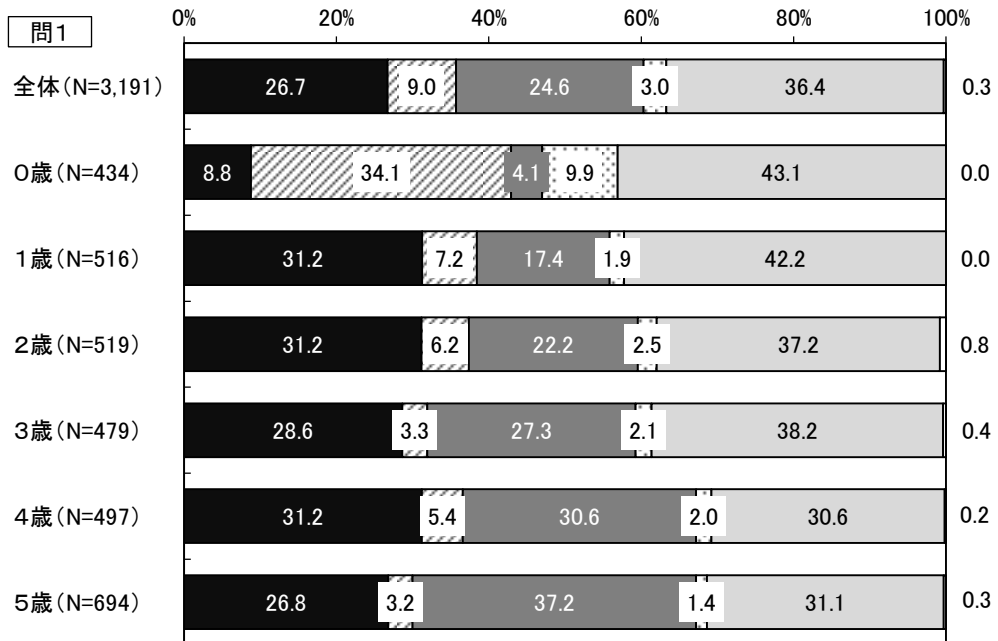
《問 11(1)母親の就労状況×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」の割合が高くなる傾向がみられます。

【母】

問 11(1)

- 1. 就労している(フルタイム)
- ▨ 2. 就労している(フルタイム)が育休・介護休業中
- 3. 就労している(パートタイム, アルバイト等)
- ▨ 4. 就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中
- 5. 現在就労していない
- 不明・無回答



※不明・無回答除く

《問 11(1)母親の就労状況×問 5(1)同居・近居の状況別》

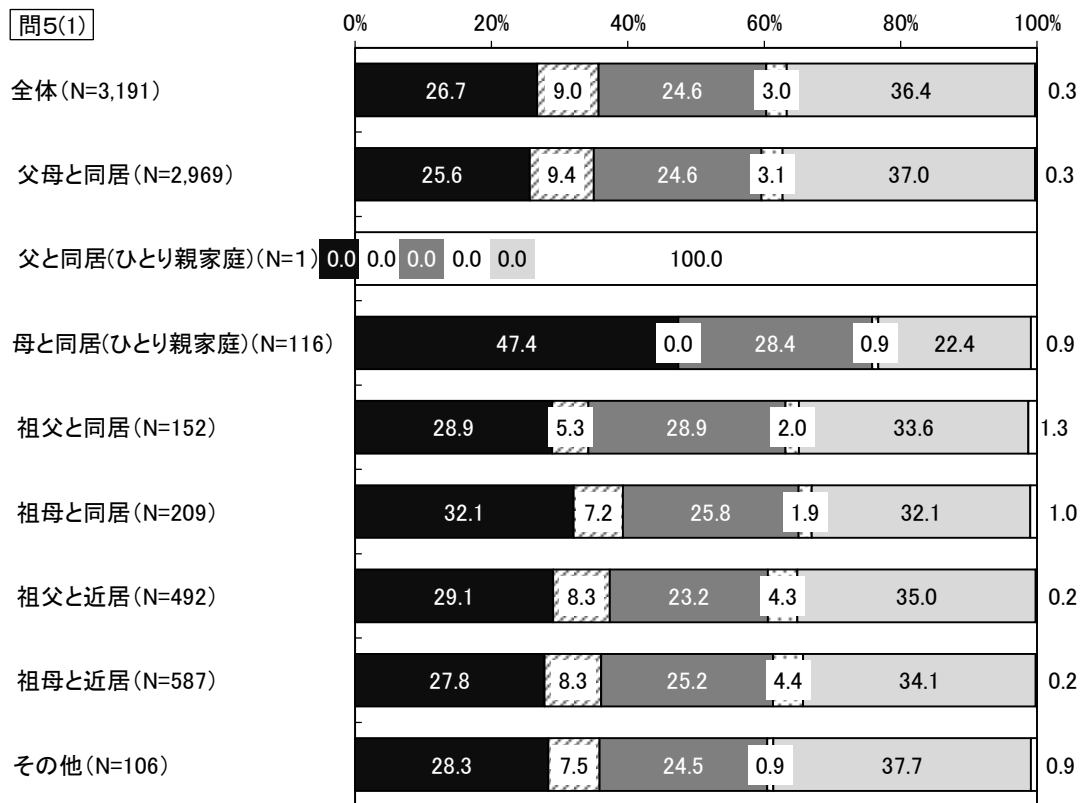
「母と同居(ひとり親家庭)」で「1. 就労している(フルタイム)」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

【母】

問 11(1)

- 1. 就労している(フルタイム)
- ▨ 2. 就労している(フルタイム)が育休・介護休業中
- 3. 就労している(パートタイム, アルバイト等)
- ▨ 4. 就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中
- 5. 現在就労していない
- 不明・無回答

問 5(1)



※不明・無回答除く

◆フルタイムで就労している保護者の状況

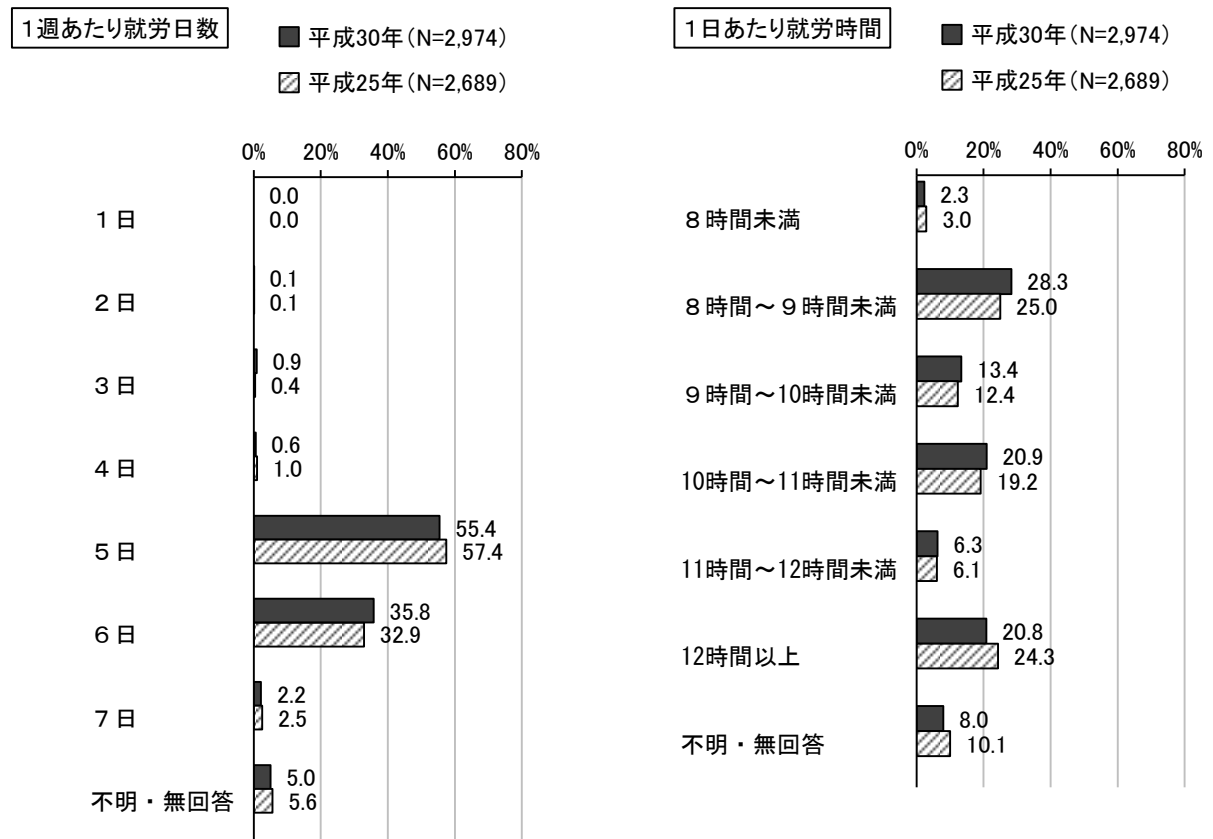
【父】

フルタイムで就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が55.4%と最も高く、次いで「6日」が35.8%となっています。

1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が28.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が20.9%、「12時間以上」が20.8%となっています。

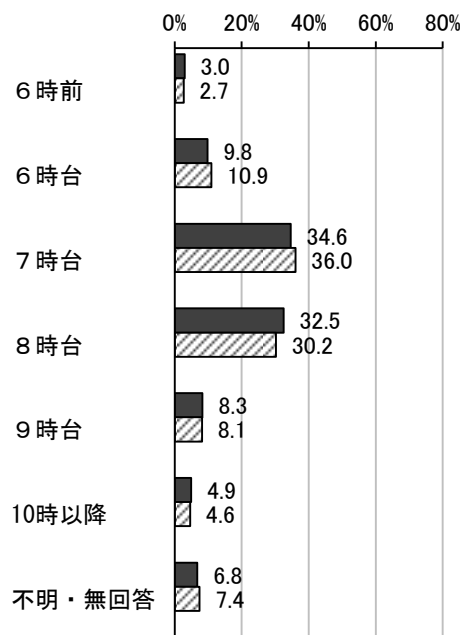
家を出る時間は、「7時台」が34.6%と最も高く、次いで「8時台」が32.5%となっています。

帰宅時間は、「20時台」が18.8%と最も高く、次いで「19時台」が18.1%、「21時台」が15.4%となっています。



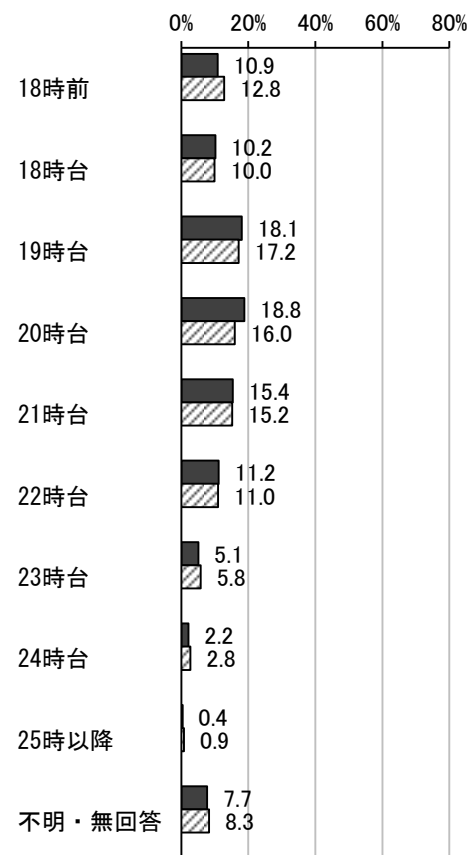
家を出る時間

■ 平成30年(N=2,974)
 □ 平成25年(N=2,689)



帰宅時間

■ 平成30年(N=2,974)
 □ 平成25年(N=2,689)



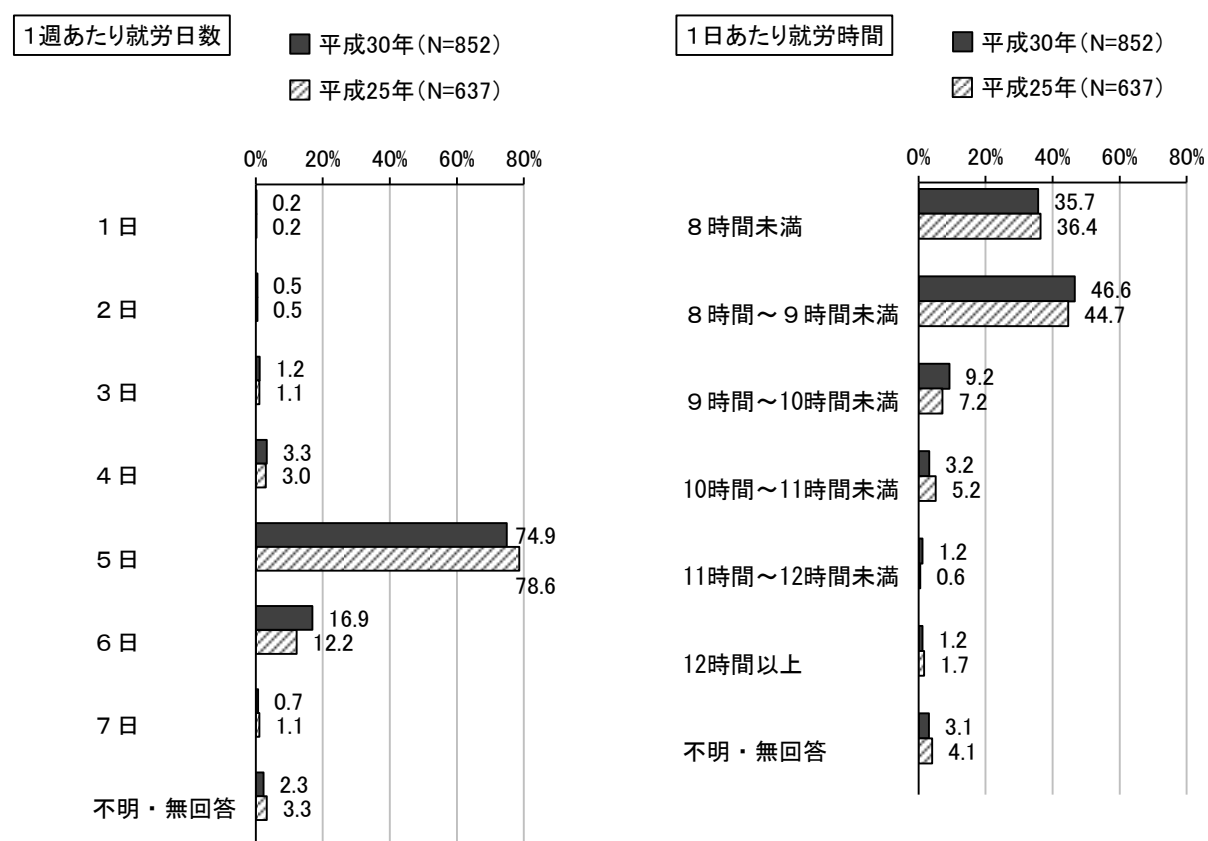
【母】

フルタイムで就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が74.9%と最も高く、次いで「6日」が16.9%となっています。

1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が46.6%と最も高く、次いで「8時間未満」が35.7%となっています。

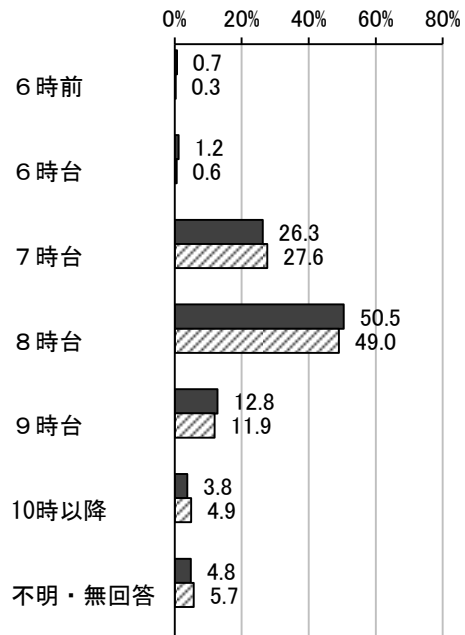
家を出る時間は、「8時台」が50.5%と最も高く、次いで「7時台」が26.3%となっています。

帰宅時間は、「18時台」が45.0%と最も高く、次いで「18時前」が27.9%、「19時台」が17.6%となっています。



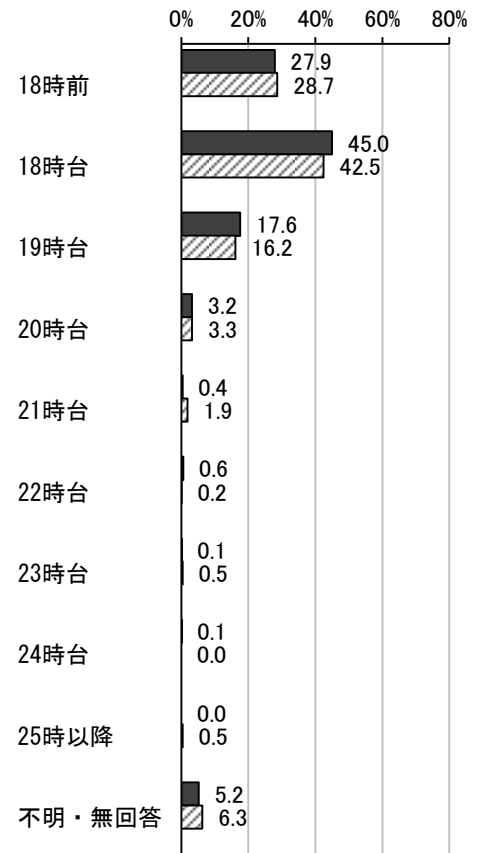
家を出る時間

■ 平成30年 (N=852)
 ▨ 平成25年 (N=637)



帰宅時間

■ 平成30年 (N=852)
 ▨ 平成25年 (N=637)



◆パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

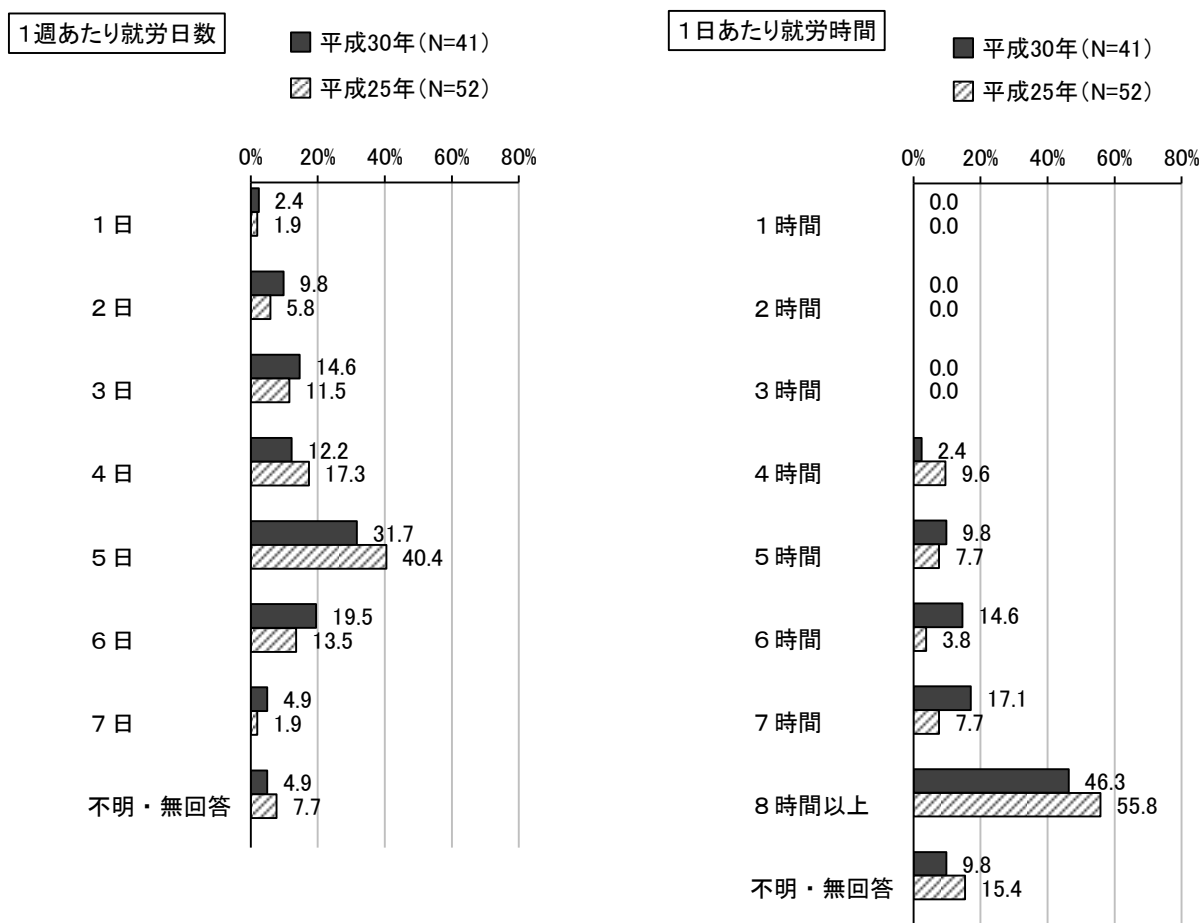
【父】

パートタイム、アルバイト等で就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が31.7%と最も高く、次いで「6日」が19.5%となっています。

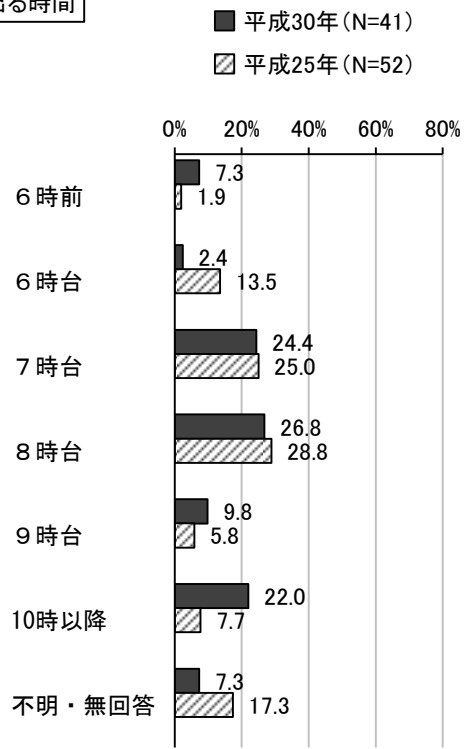
1日あたりの就労時間は、「8時間以上」が46.3%と最も高く、次いで「7時間」が17.1%となっています。

家を出る時間は、「8時台」が26.8%と最も高く、次いで「7時台」が24.4%となっています。

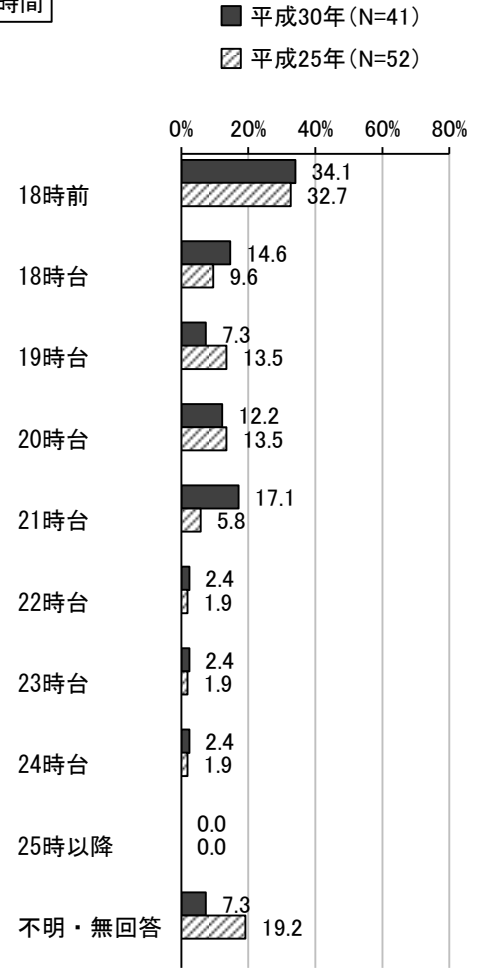
帰宅時間は、「18時前」が34.1%と最も高く、次いで「21時台」が17.1%となっています。



家を出る時間



帰宅時間

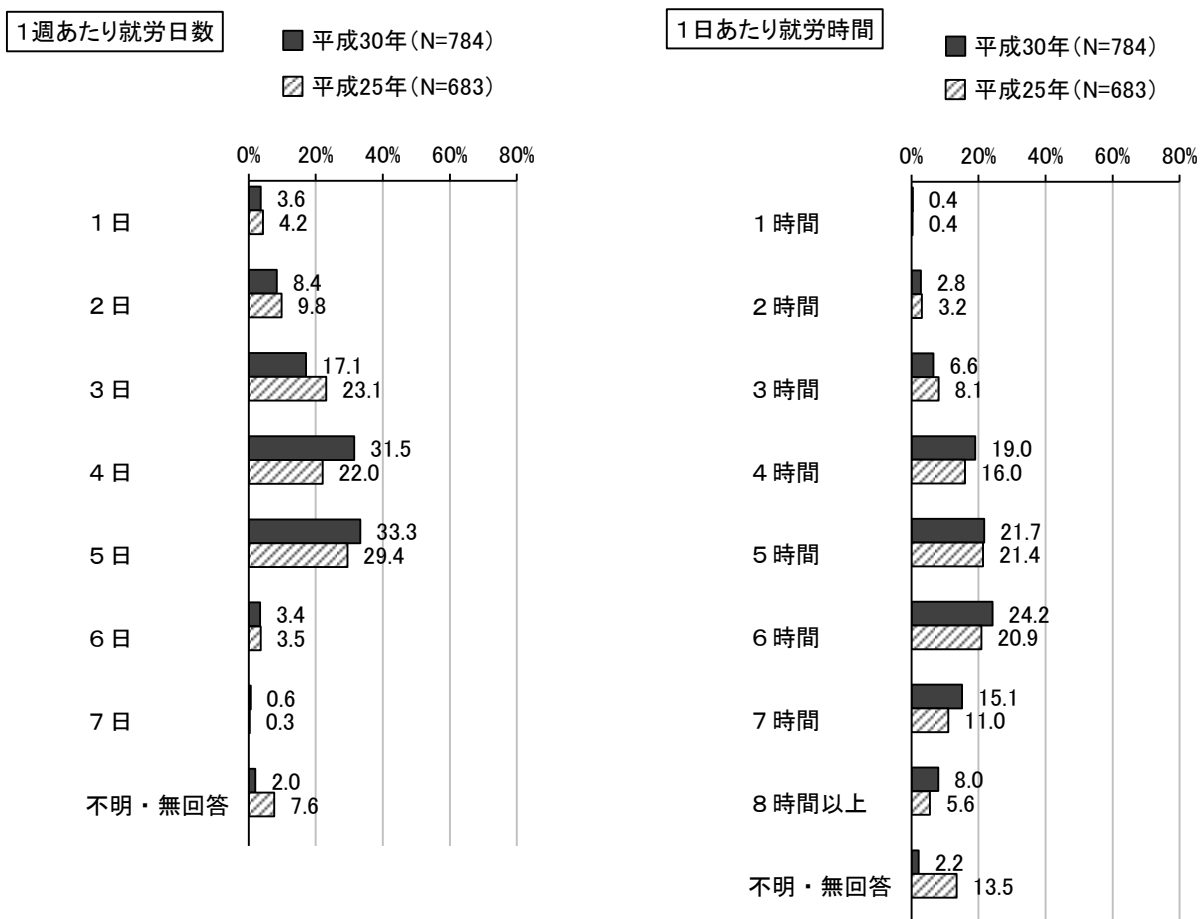


【母】

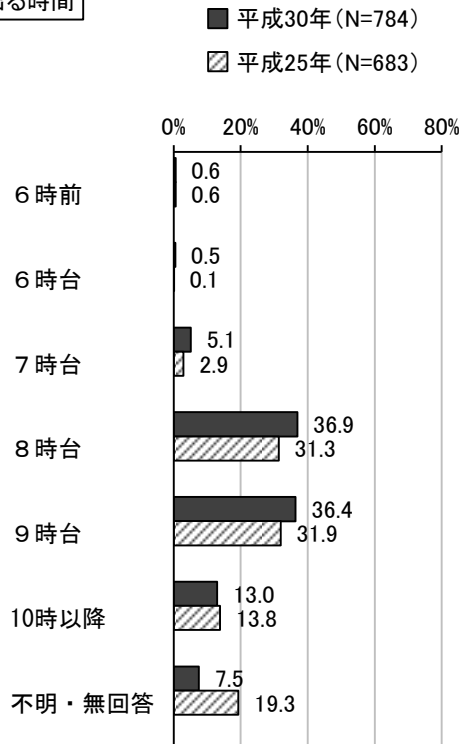
パートタイム、アルバイト等で就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が33.3%と最も高く、次いで「4日」が31.5%となっています。

1日あたりの就労時間は、「6時間」が24.2%と最も高く、次いで「5時間」が21.7%、「4時間」が19.0%となっています。

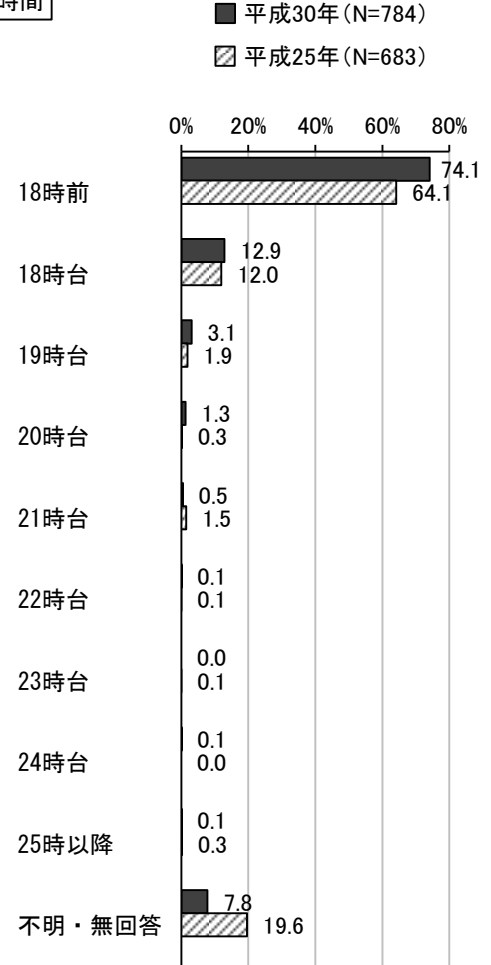
家を出る時間は、「8時台」が36.9%と最も高く、次いで「9時台」が36.4%となっています。
 帰宅時間は、「18時前」が74.1%と最も高く、次いで「18時台」が12.9%となっています。



家を出る時間



帰宅時間

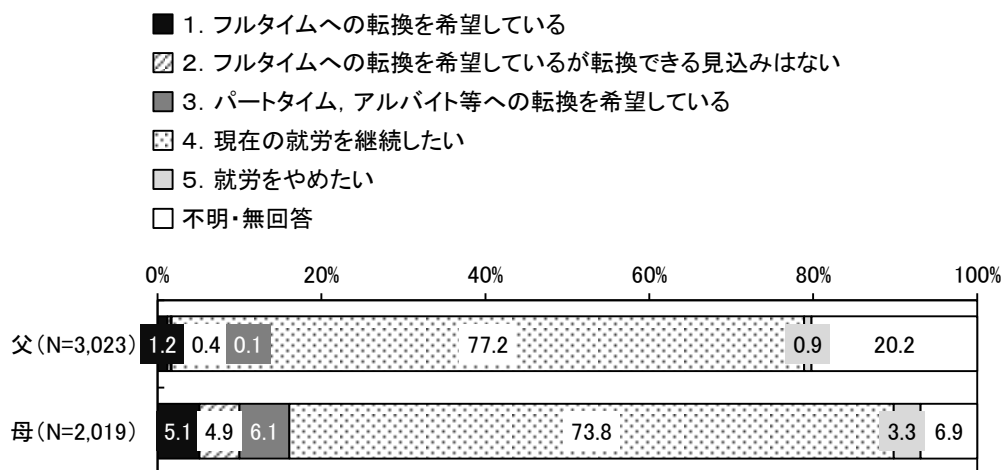


問 11(1)で「1～4」と答えた方

問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。
(〇はそれぞれ1つつ)

父親では、「4. 現在の就労を継続したい」が77.2%と最も高く、次いで「1. フルタイムへの転換を希望している」が1.2%となっています。

母親では、「4. 現在の就労を継続したい」が73.8%と最も高く、次いで「3. パートタイム、アルバイト等への転換を希望している」が6.1%、「1. フルタイムへの転換を希望している」が5.1%となっています。

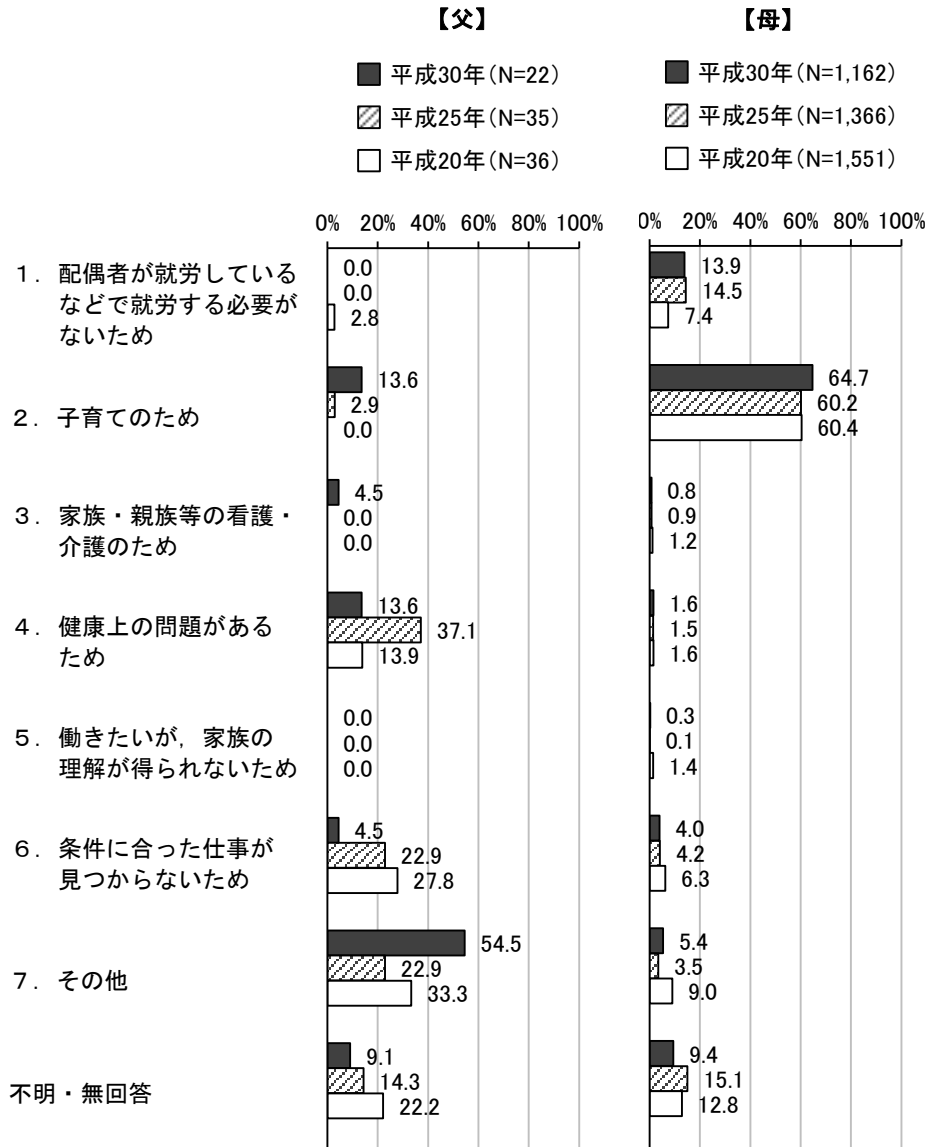


問 11(1)で「5」と答えた方

問 11(3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、その他を除き「2. 子育てのため」「4. 健康上の問題があるため」が13.6%と高くなっています。

母親では、その他を除き「2. 子育てのため」が64.7%と最も高く、次いで「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」が13.9%、「6. 条件に合った仕事が見つからないため」が4.0%となっています。

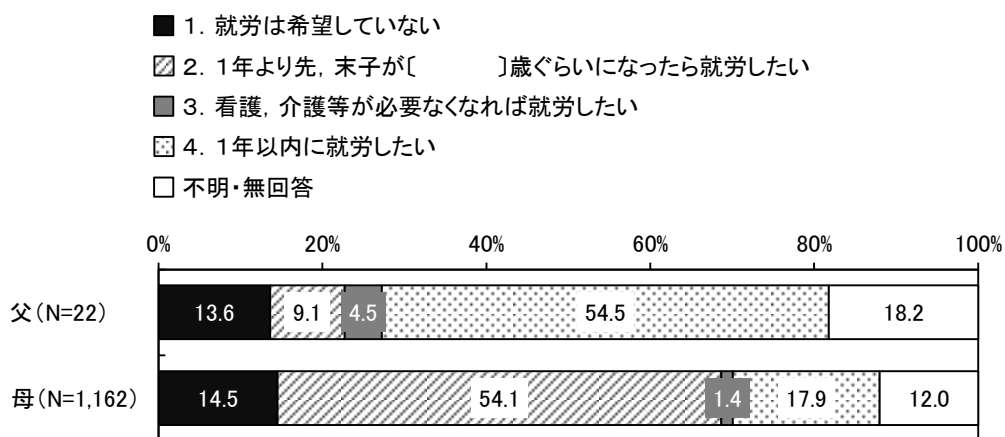


問 11(1)で「5」と答えた方

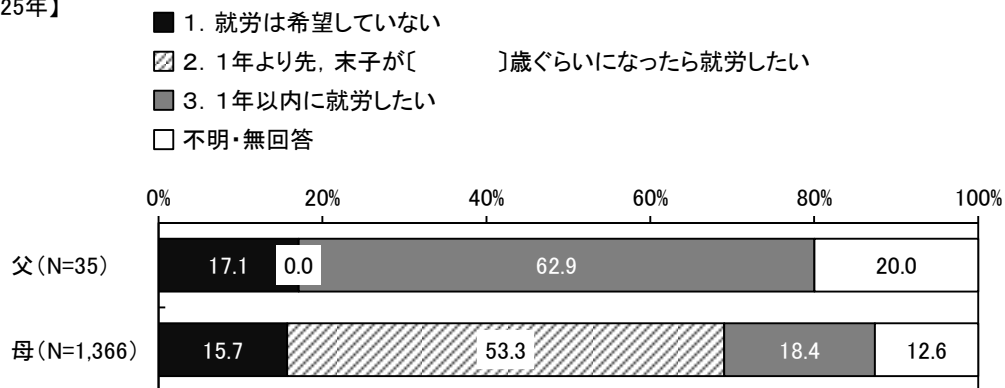
問 11(4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(〇はそれぞれ1つつ)併せて、[]に数字をご記入ください。

父親では、「4. 1年以内に就労したい」が54.5%と最も高く、次いで「1. 就労は希望していない」が13.6%、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が9.1%となっています。

母親では、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が54.1%と最も高く、次いで「4. 1年以内に就労したい」が17.9%、「1. 就労は希望していない」が14.5%となっています。



【平成25年】



◆(「2」の場合)末子の年齢

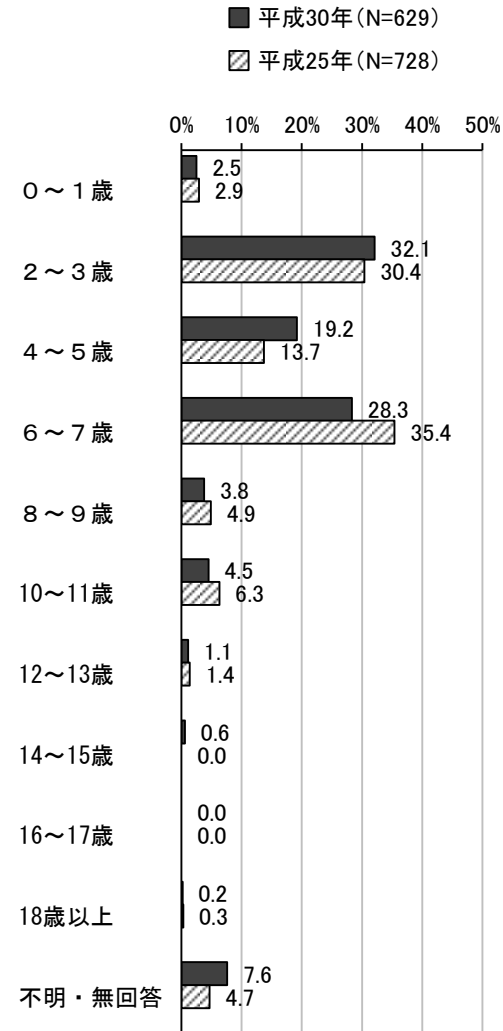
就労したい時の末子の年齢について、母親では、「2～3歳」が32.1%と最も高く、次いで「6～7歳」が28.3%、「4～5歳」が19.2%となっています。

【父】

(N=2)

	件数
2～3歳	1
10～11歳	1

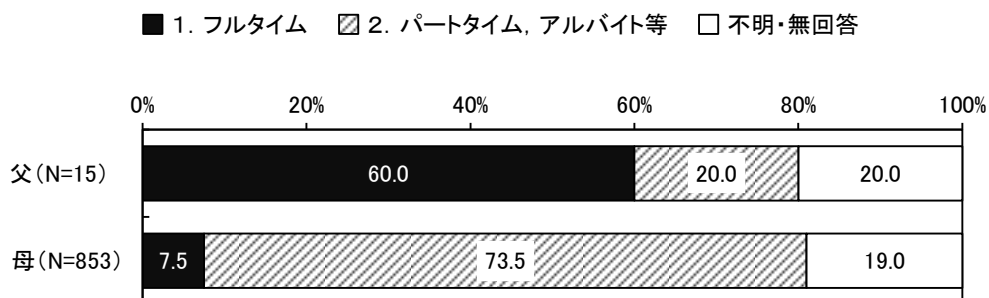
【母】



◆(「2～4」の場合)希望する就労形態

父親では、「1. フルタイム」が60.0%、「2. パートタイム, アルバイト等」が20.0%となっています。

母親では、「1. フルタイム」が7.5%、「2. パートタイム, アルバイト等」が73.5%となっています。



◆(「2. パートタイム, アルバイト等」での就労を希望する方)1週あたりの就労日数, 1日あたりの就労時間

母親について、1週あたりの就労日数は、「3日」が41.8%と最も高く、次いで「4日」が29.0%、「5日」が17.2%となっています。1日あたりの就労時間は、「5時間」が39.1%と最も高く、次いで「4時間」が27.0%、「6時間」が14.7%となっています。

【父】

1週あたり就労日数
(N=3)

	件数
3日	2
5日	1

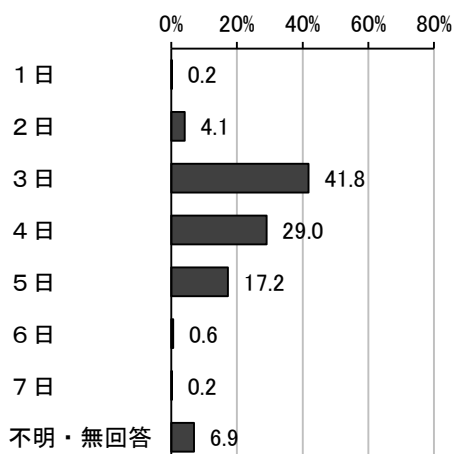
1日あたり就労時間
(N=3)

	件数
4時間	2
不明・無回答	1

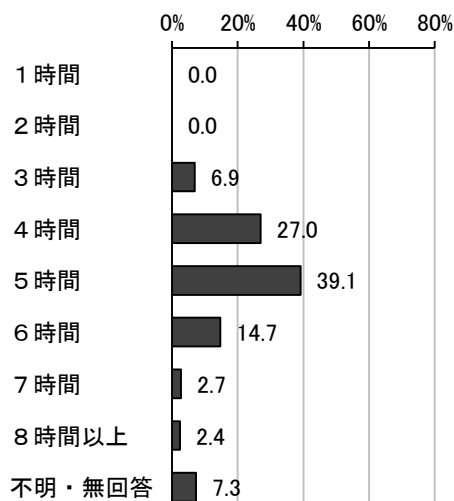
【母】

(N=627)

1週あたり就労日数



1日あたり就労時間

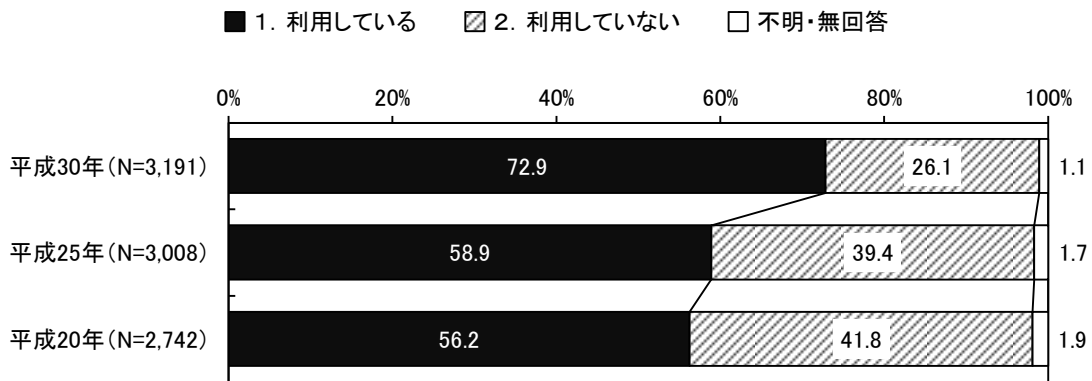


3 お子さまの平日の幼稚園・保育施設等の利用について

問 12(1) 宛名のお子さまは、平日に幼稚園・保育施設等を定期的に利用していますか。

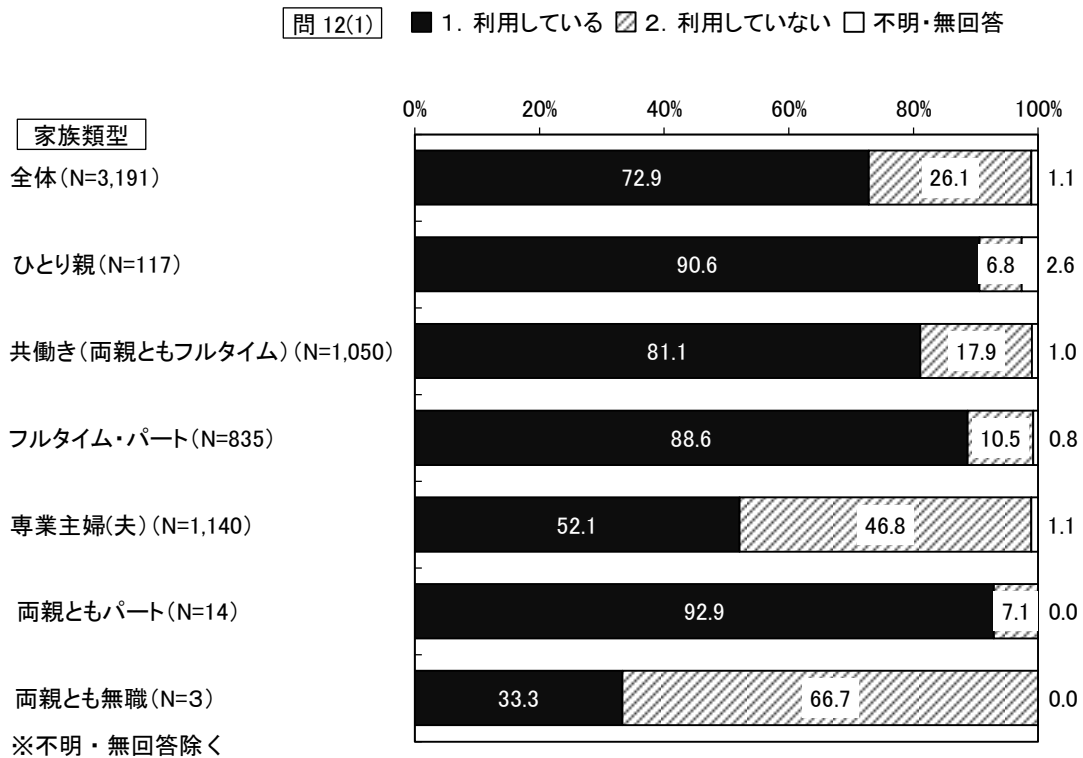
(○は1つ)

「1. 利用している」が72.9%、「2. 利用していない」が26.1%となっています。
平成25年と比較すると、「1. 利用している」が14.0ポイント高くなっています。



《問 12(1)×家族類型別》

「専業主婦(夫)」「両親とも無職」で「2. 利用していない」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

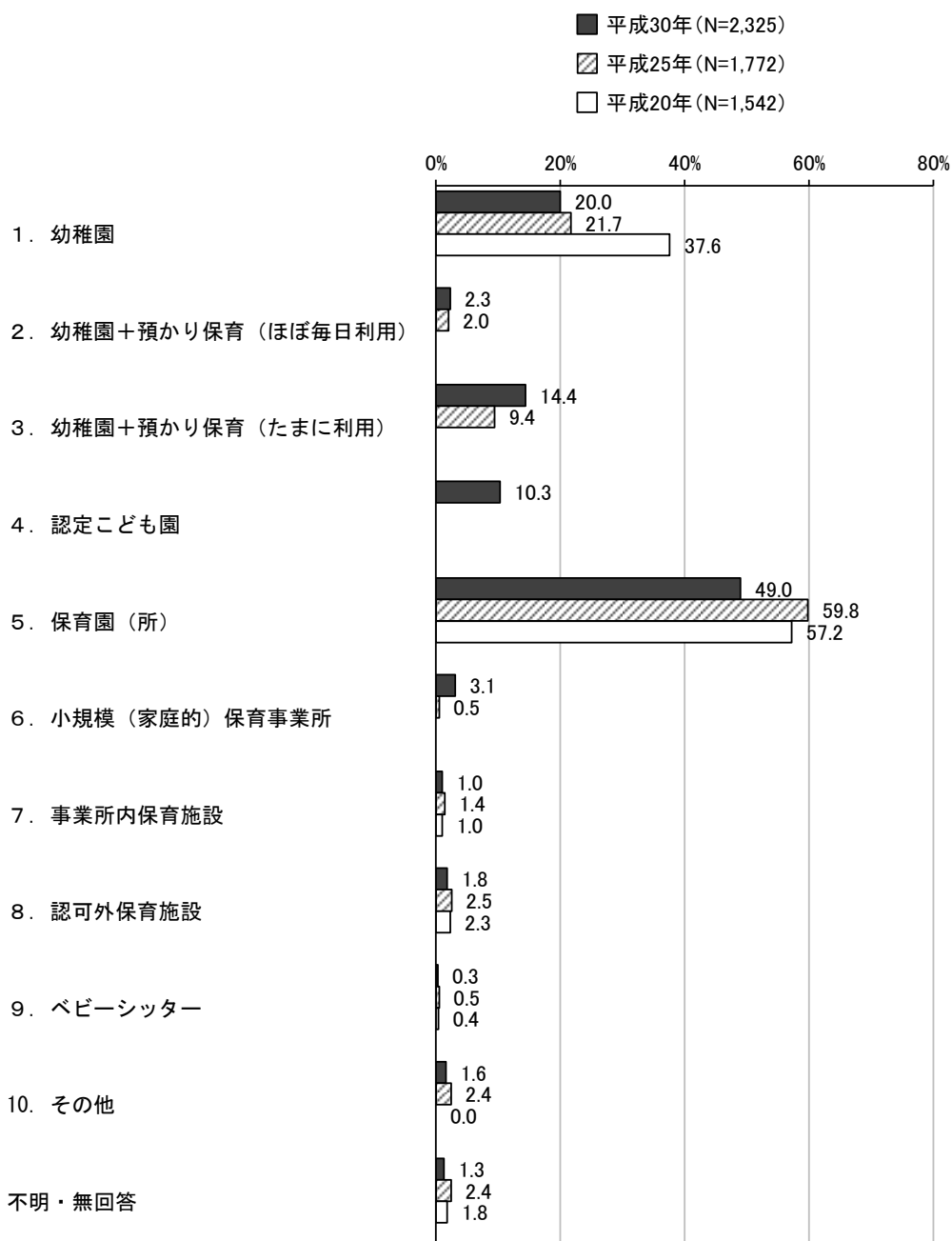


問 12(1)で「1」と答えた方

問 12(2) 現在、どのような施設等を利用していますか。(〇はいくつでも)

また、主に利用している施設について、「現在」と「希望」の利用日数・時間を()内に具体的な数字(時刻の場合は24時間制で)をご記入ください。

「5. 保育園(所)」が49.0%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が20.0%、「3. 幼稚園+預かり保育(たまに利用)」が14.4%となっています。



※「2. 幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)」「3. 幼稚園+預かり保育(たまに利用)」「6. 小規模(家庭的)保育事業所(平成25年:小規模保育)」は平成30年、平成25年のみの選択肢

「4. 認定こども園」は平成30年のみの選択肢

《問 12(2)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「保育園（所）」の割合が最も高く、次いで「0歳」「1歳」では「認定こども園」、2歳以上では「幼稚園」となっています。

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所	
全 体	2,325 100.0	466 20.0	54 2.3	335 14.4	239 10.3	1,139 49.0	71 3.1	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	63 100.0	2 3.2	0 0.0	1 1.6	7 11.1	39 61.9	5 7.9
	1歳	261 100.0	5 1.9	1 0.4	6 2.3	33 12.6	184 70.5	21 8.0
	2歳	360 100.0	44 12.2	5 1.4	7 1.9	39 10.8	214 59.4	26 7.2
	3歳	430 100.0	117 27.2	9 2.1	47 10.9	39 9.1	191 44.4	10 2.3
	4歳	489 100.0	112 22.9	18 3.7	107 21.9	56 11.5	215 44.0	2 0.4
	5歳	683 100.0	178 26.1	20 2.9	164 24.0	61 8.9	276 40.4	5 0.7

上段:件数 下段:%	合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	不明・ 無回答	
全 体	2,325 100.0	23 1.0	43 1.8	6 0.3	37 1.6	30 1.3	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	63 100.0	3 4.8	3 4.8	1 1.6	3 4.8	1 1.6
	1歳	261 100.0	5 1.9	11 4.2	1 0.4	3 1.1	2 0.8
	2歳	360 100.0	7 1.9	11 3.1	0 0.0	10 2.8	4 1.1
	3歳	430 100.0	4 0.9	5 1.2	2 0.5	17 4.0	3 0.7
	4歳	489 100.0	0 0.0	1 0.2	2 0.4	2 0.4	6 1.2
	5歳	683 100.0	4 0.6	11 1.6	0 0.0	2 0.3	14 2.0

※不明・無回答除く

《問 12(2)×家族類型別》

「専業主婦(夫)」「両親とも無職」では「幼稚園」、それ以外では「保育園(所)」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所	
全 体	2,325 100.0	466 20.0	54 2.3	335 14.4	239 10.3	1,139 49.0	71 3.1	
家 族 類 型 別	ひとり親	106 100.0	7 6.6	3 2.8	6 5.7	15 14.2	67 63.2	2 1.9
	共働き(両親とも フルタイム)	852 100.0	22 2.6	18 2.1	18 2.1	105 12.3	634 74.4	30 3.5
	フルタイム・パート	740 100.0	101 13.6	24 3.2	129 17.4	95 12.8	365 49.3	30 4.1
	専業主婦(夫)	594 100.0	334 56.2	7 1.2	176 29.6	20 3.4	57 9.6	8 1.3
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	3 23.1	3 23.1	6 46.2	1 7.7
	両親とも無職	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:件数 下段:%	合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	不明・ 無回答		
全 体	2,325 100.0	23 1.0	43 1.8	6 0.3	37 1.6	30 1.3		
家 族 類 型 別	ひとり親	106 100.0	2 1.9	1 0.9	1 0.9	2 1.9	4 3.8	
	共働き(両親とも フルタイム)	852 100.0	13 1.5	21 2.5	2 0.2	1 0.1	9 1.1	
	フルタイム・パート	740 100.0	8 1.1	10 1.4	3 0.4	8 1.1	9 1.2	
	専業主婦(夫)	594 100.0	0 0.0	10 1.7	0 0.0	26 4.4	5 0.8	
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

※不明・無回答除く

《問 12(2)×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

母親が現在就労していない家庭では「幼稚園」、それ以外では「保育園（所）」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所	
全 体	2,325 100.0	466 20.0	54 2.3	335 14.4	239 10.3	1,139 49.0	71 3.1	
父 親 の 就 労 状 況 別	就労している(フルタイム)	2,154 100.0	450 20.9	49 2.3	321 14.9	219 10.2	1,036 48.1	66 3.1
	就労している(フルタイム)が育休・ 介護休業中	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	就労している(パートタイム, アル バイト等)	30 100.0	5 16.7	0 0.0	4 13.3	3 10.0	16 53.3	2 6.7
	就労している(パートタイム, アル バイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	16 100.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	1 6.3	9 56.3	1 6.3
母 親 の 就 労 状 況 別	就労している(フルタイム)	827 100.0	18 2.2	18 2.2	18 2.2	93 11.2	623 75.3	30 3.6
	就労している(フルタイム)が育休・ 介護休業中	106 100.0	6 5.7	0 0.0	3 2.8	19 17.9	73 68.9	3 2.8
	就労している(パートタイム, アル バイト等)	733 100.0	96 13.1	27 3.7	129 17.6	97 13.2	355 48.4	30 4.1
	就労している(パートタイム, アル バイト等)が育休・介護休業中	50 100.0	8 16.0	0 0.0	6 12.0	7 14.0	28 56.0	1 2.0
	現在就労していない	602 100.0	338 56.1	8 1.3	178 29.6	22 3.7	57 9.5	7 1.2

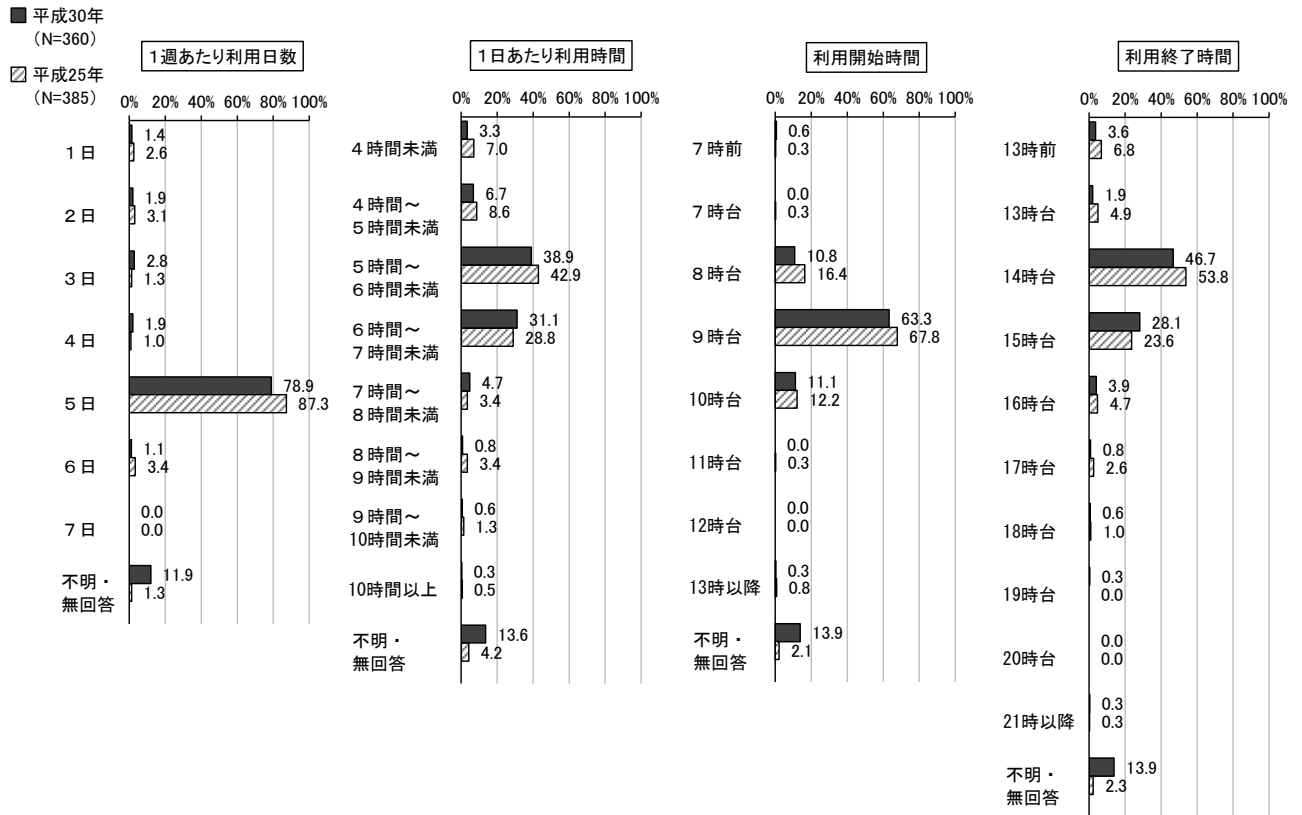
上段:件数 下段:%	合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	不明・ 無回答	
全 体	2,325 100.0	23 1.0	43 1.8	6 0.3	37 1.6	30 1.3	
父 親 の 就 労 状 況 別	就労している(フルタイム)	2,154 100.0	21 1.0	41 1.9	5 0.2	35 1.6	22 1.0
	就労している(フルタイム)が育休・ 介護休業中	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アル バイト等)	30 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3
	就労している(パートタイム, アル バイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5
母 親 の 就 労 状 況 別	就労している(フルタイム)	827 100.0	14 1.7	20 2.4	3 0.4	2 0.2	12 1.5
	就労している(フルタイム)が育休・ 介護休業中	106 100.0	0 0.0	2 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アル バイト等)	733 100.0	9 1.2	10 1.4	3 0.4	8 1.1	11 1.5
	就労している(パートタイム, アル バイト等)が育休・介護休業中	50 100.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	602 100.0	0 0.0	10 1.7	0 0.0	27 4.5	5 0.8

※不明・無回答除く

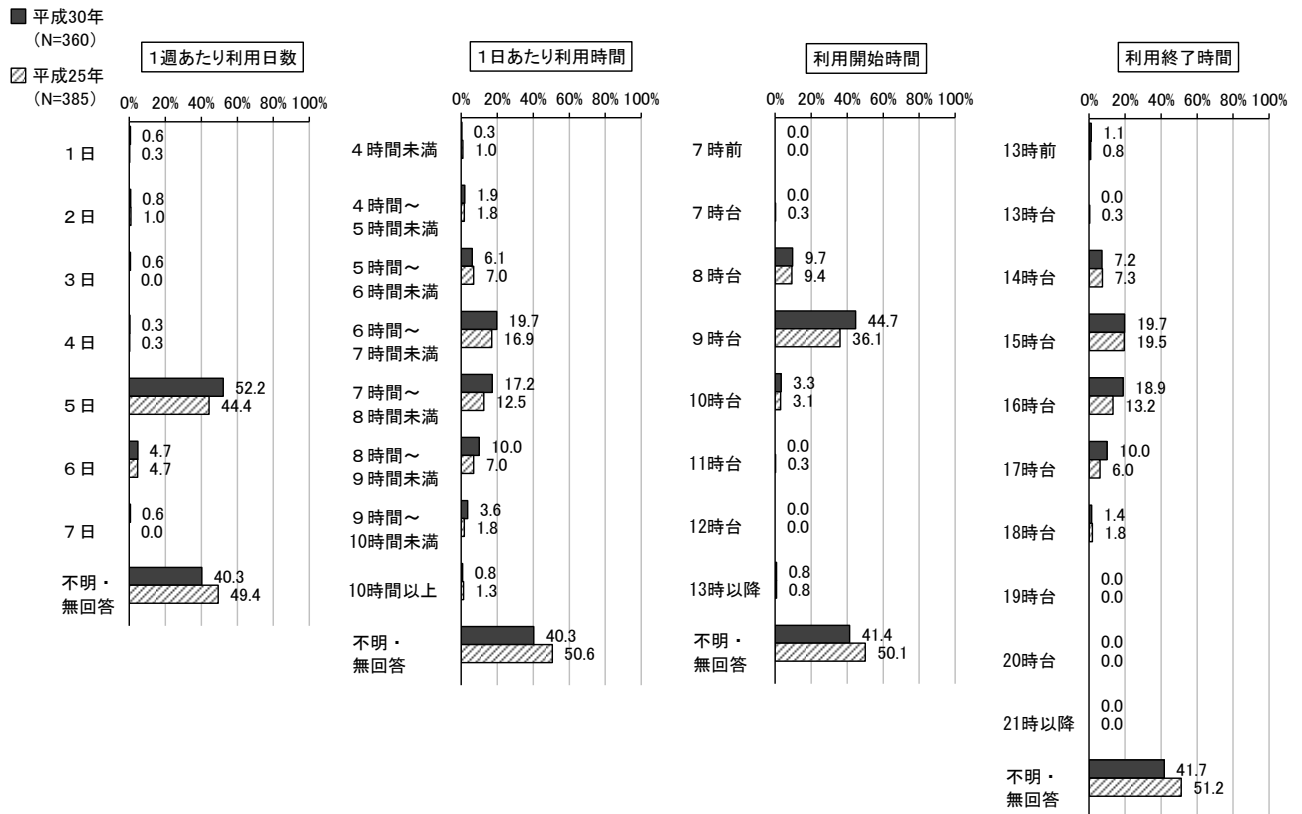
◆利用施設別「現在」と「希望」の利用日数・時間

1. 幼稚園

【現在】

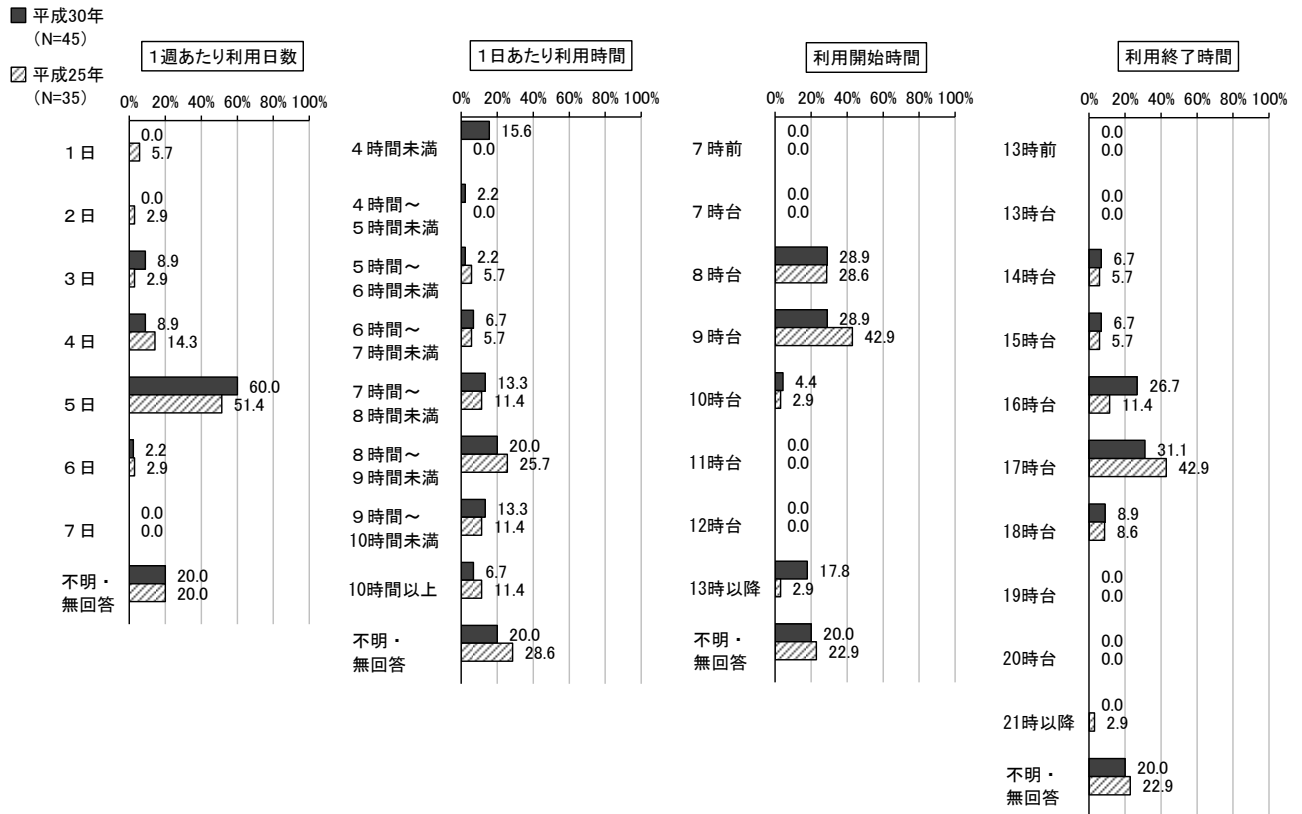


【希望】

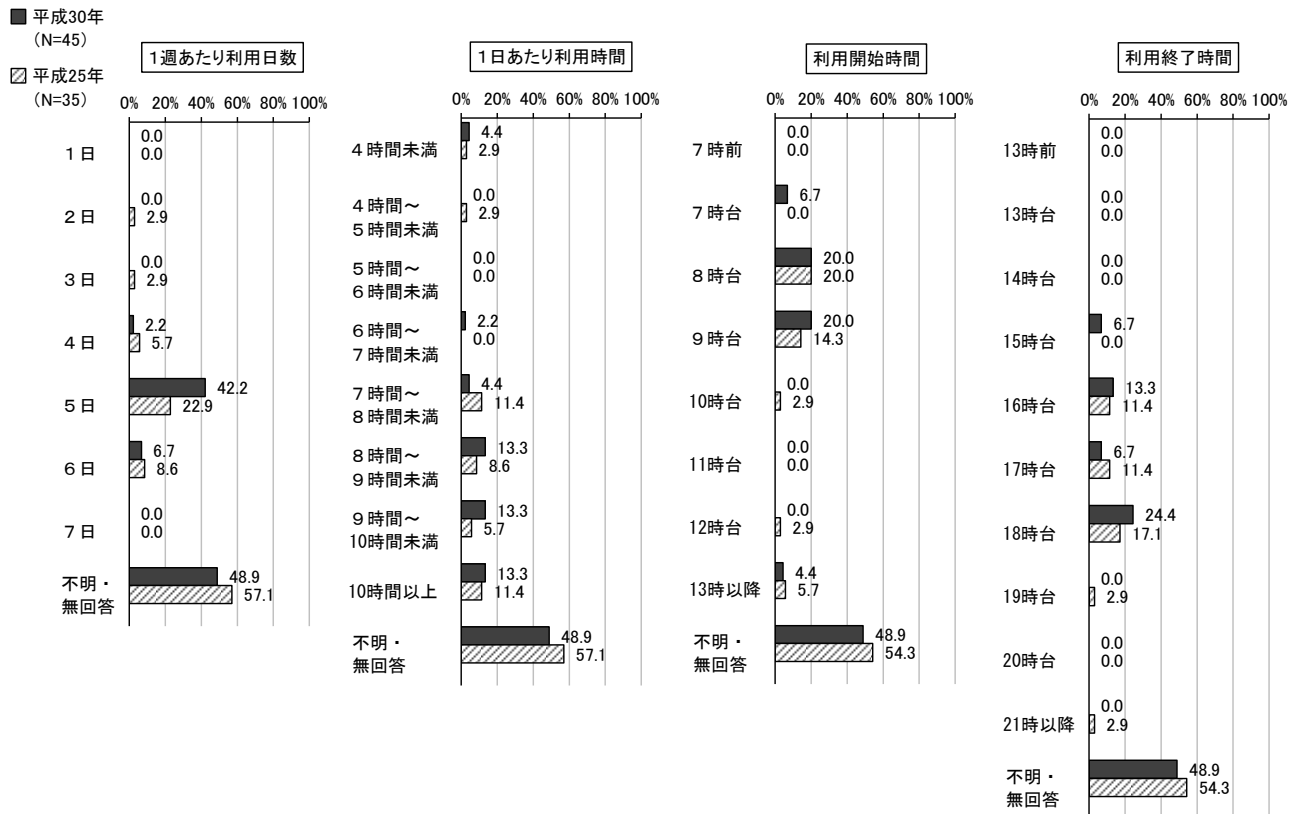


2. 幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)

【現在】



【希望】

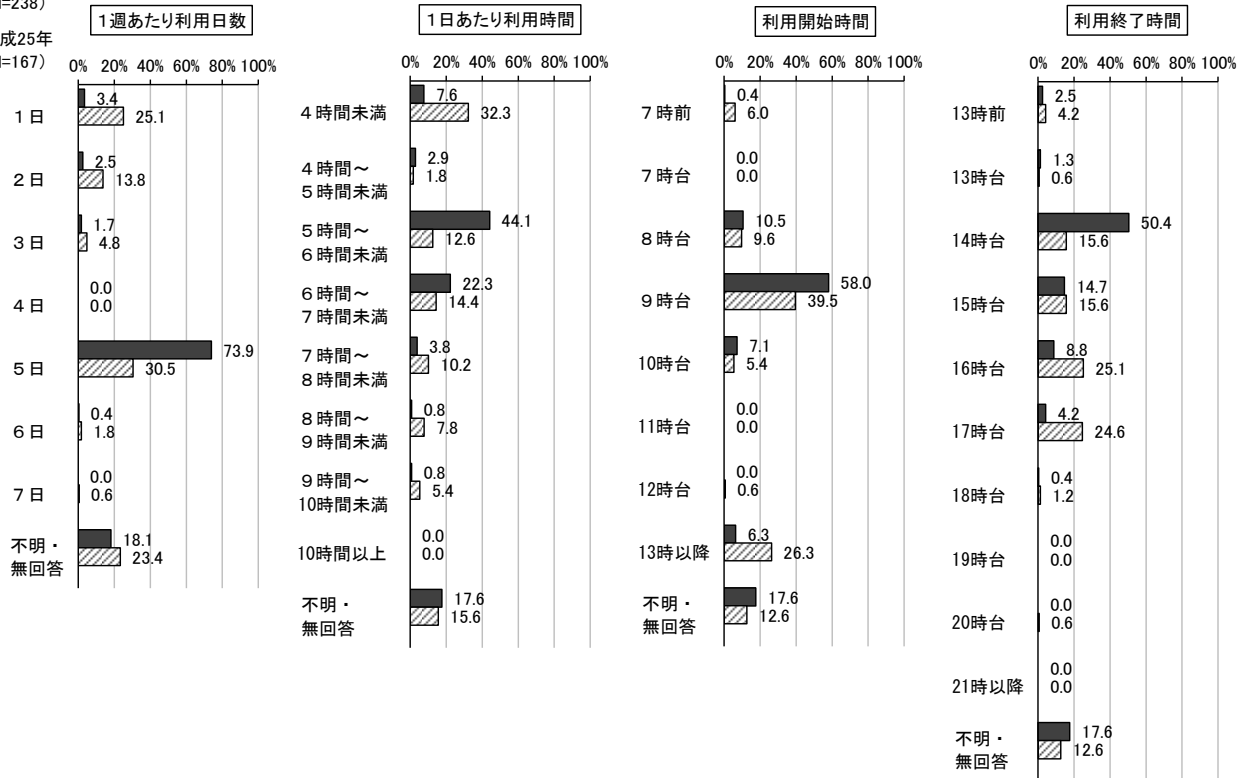


3. 幼稚園+預かり保育(たまに利用)

【現在】

■ 平成30年 (N=238)

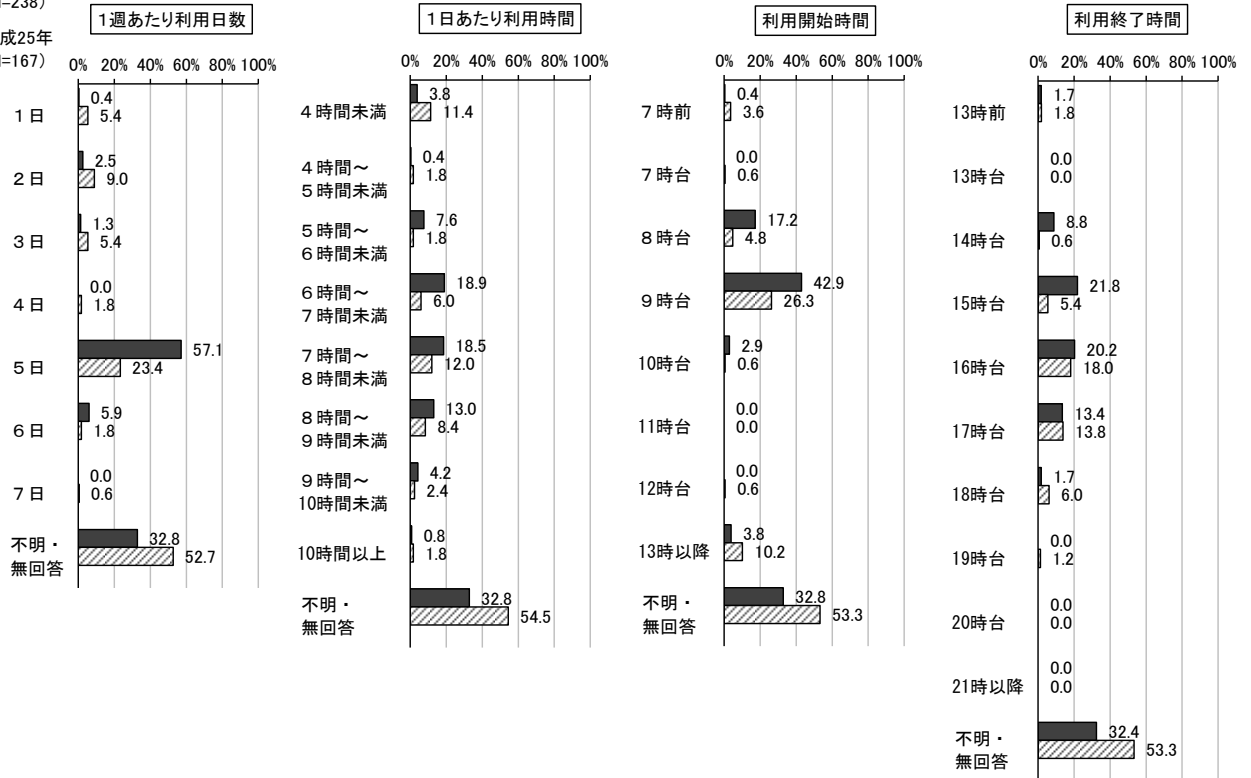
▨ 平成25年 (N=167)



【希望】

■ 平成30年 (N=238)

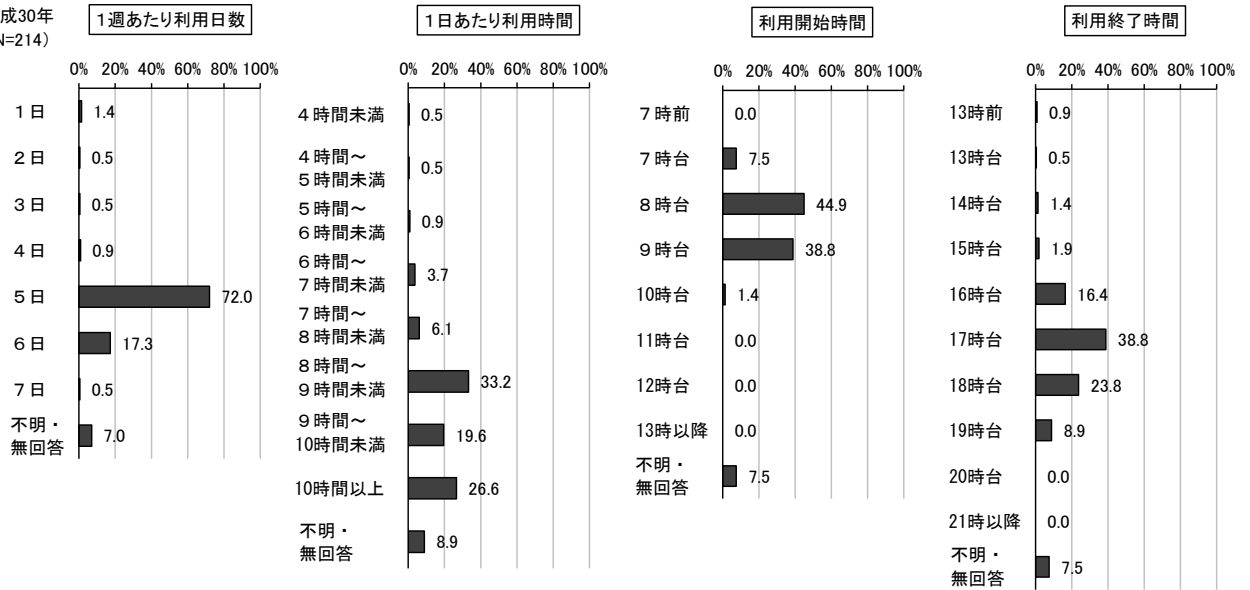
▨ 平成25年 (N=167)



4. 認定こども園

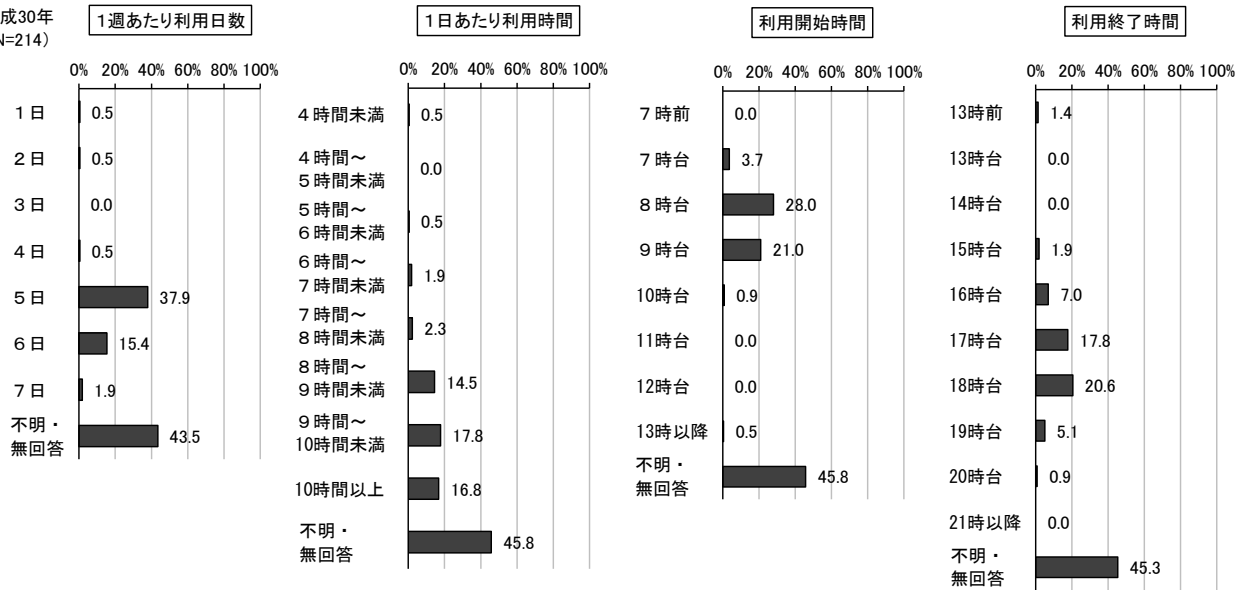
【現在】

平成30年
(N=214)



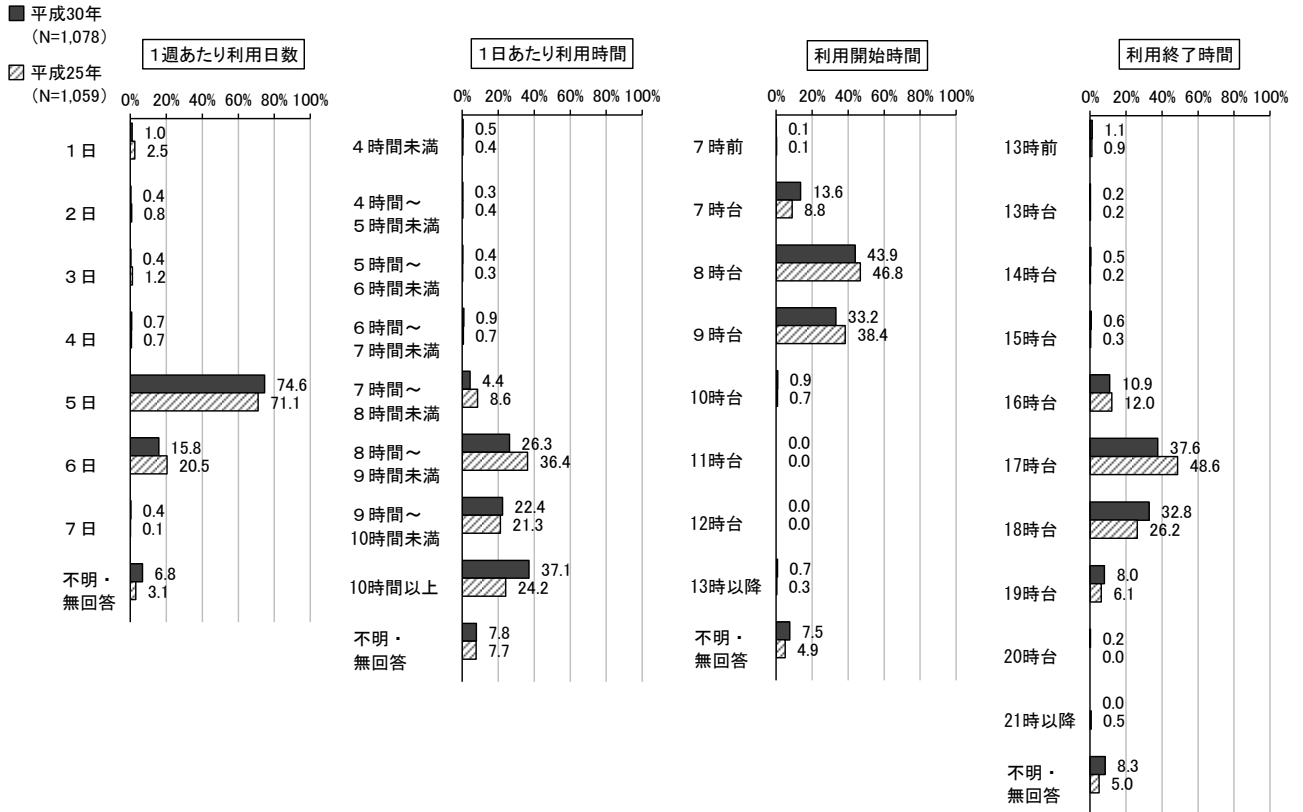
【希望】

平成30年
(N=214)

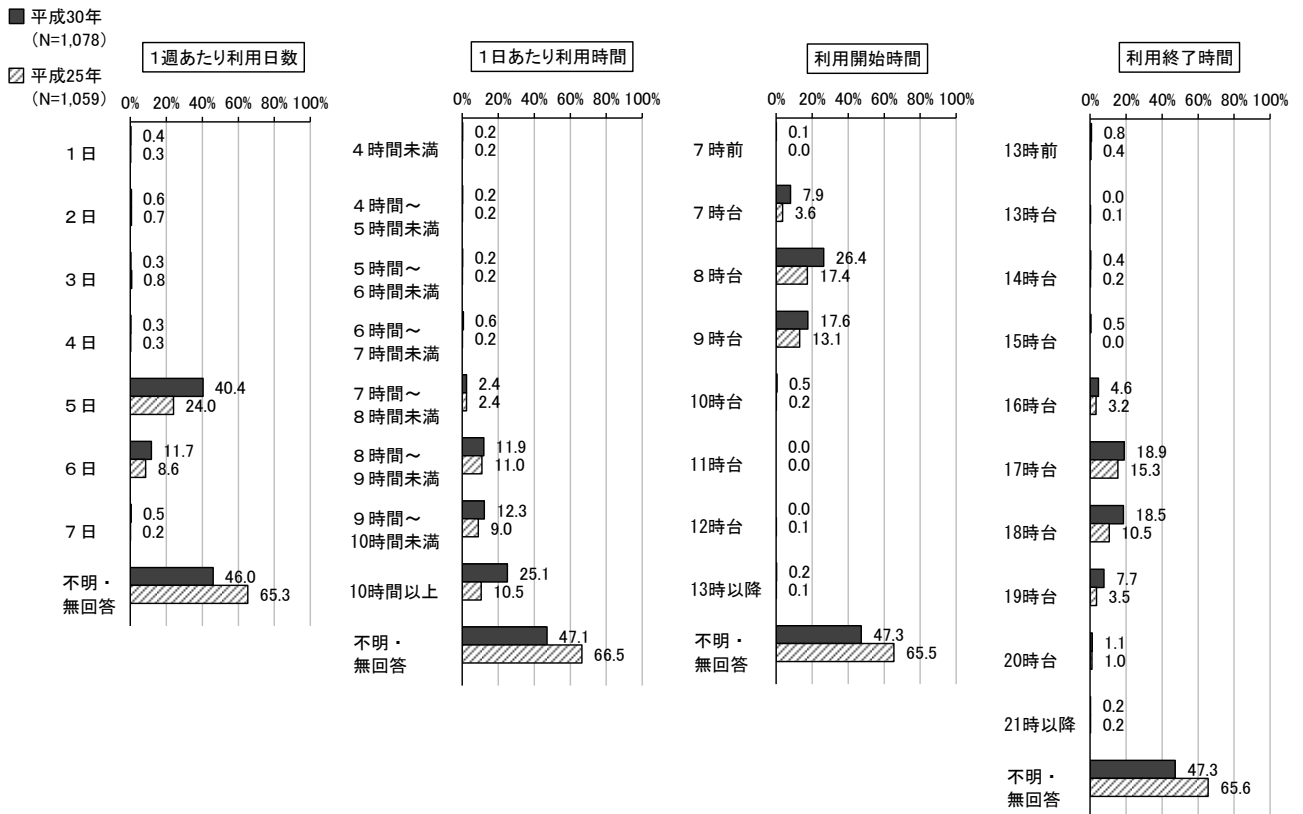


5. 保育園(所)

【現在】

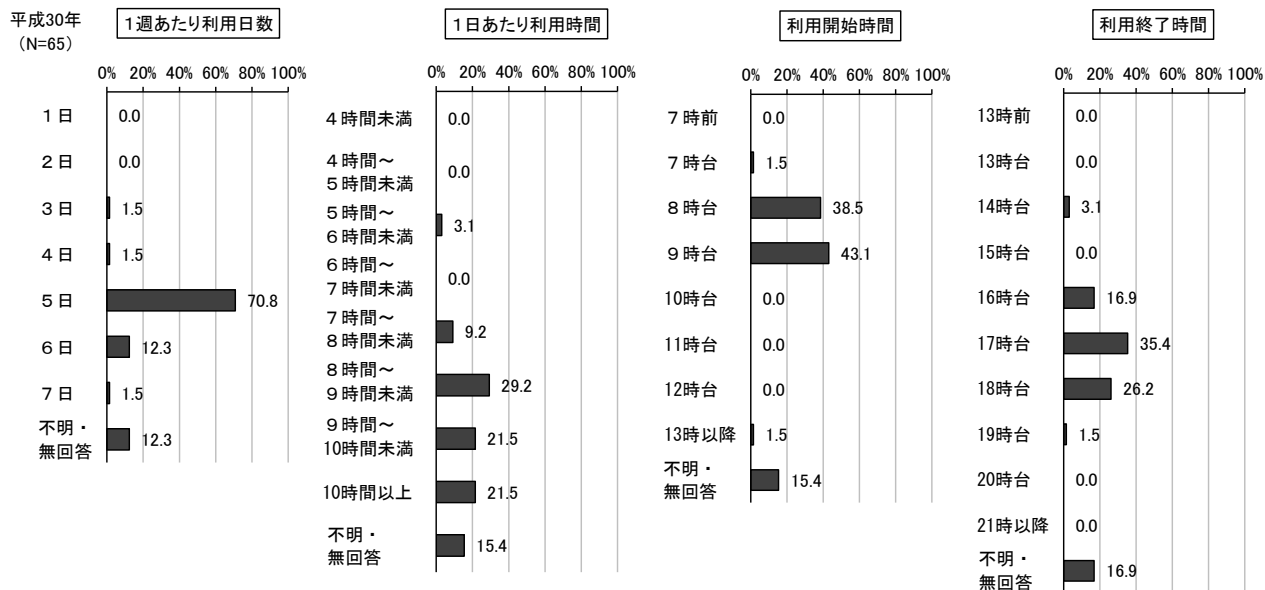


【希望】

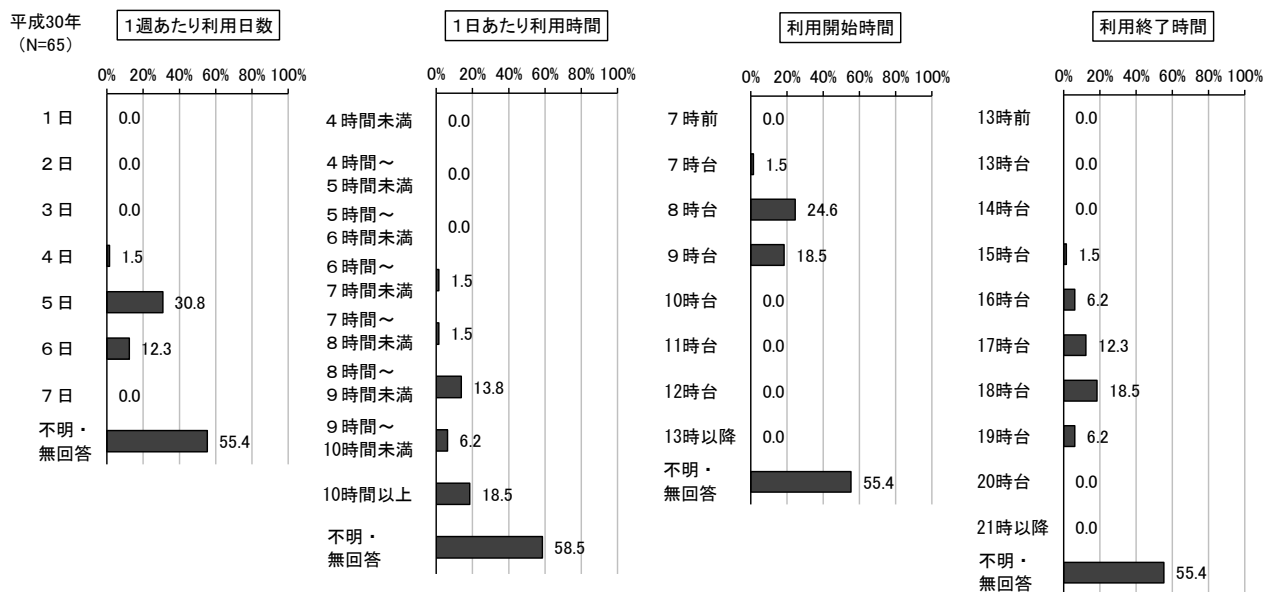


6. 小規模(家庭的)保育事業所

【現在】



【希望】

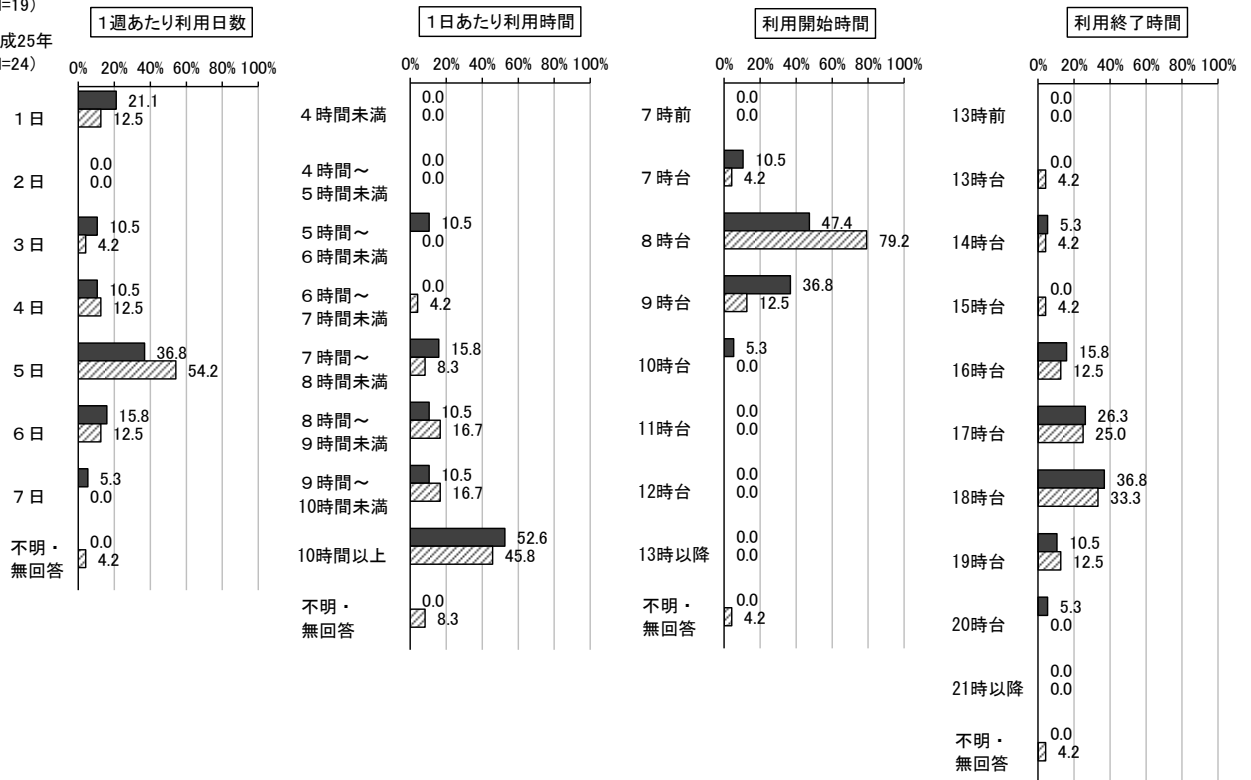


7. 事業所内保育施設

【現在】

■ 平成30年
(N=19)

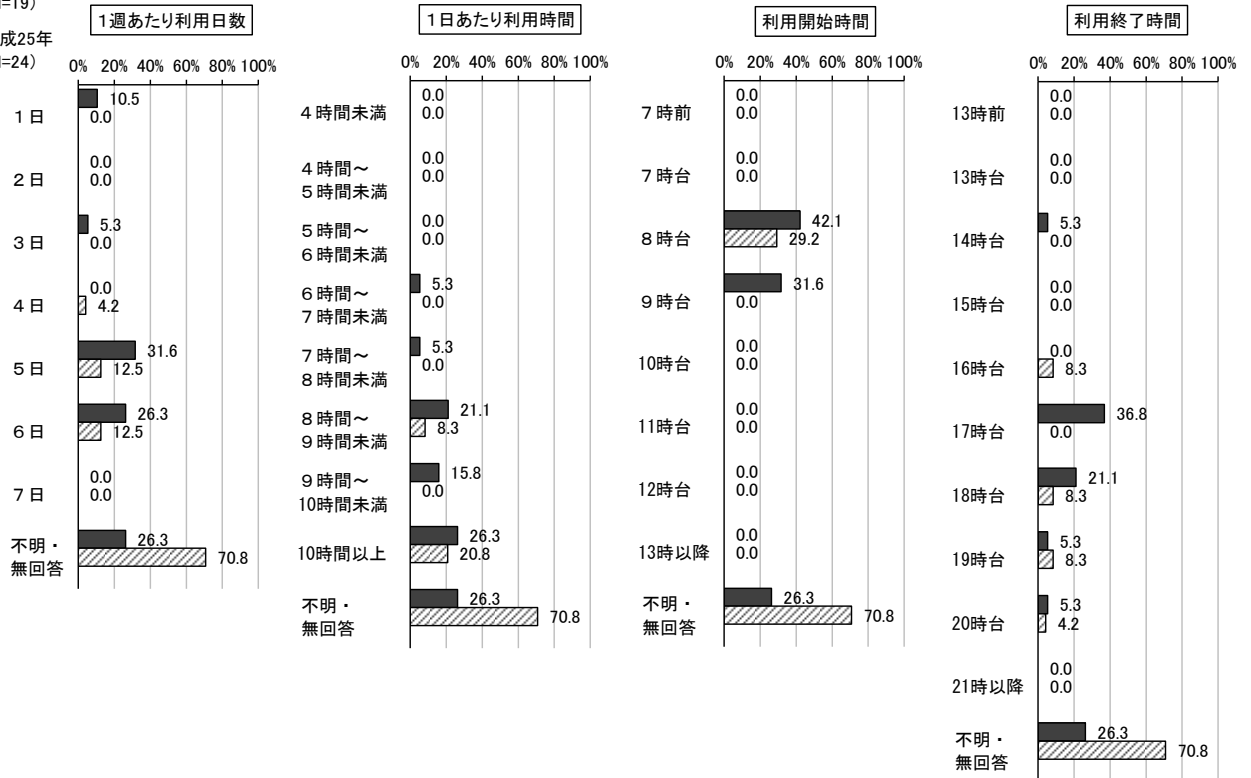
▨ 平成25年
(N=24)



【希望】

■ 平成30年
(N=19)

▨ 平成25年
(N=24)

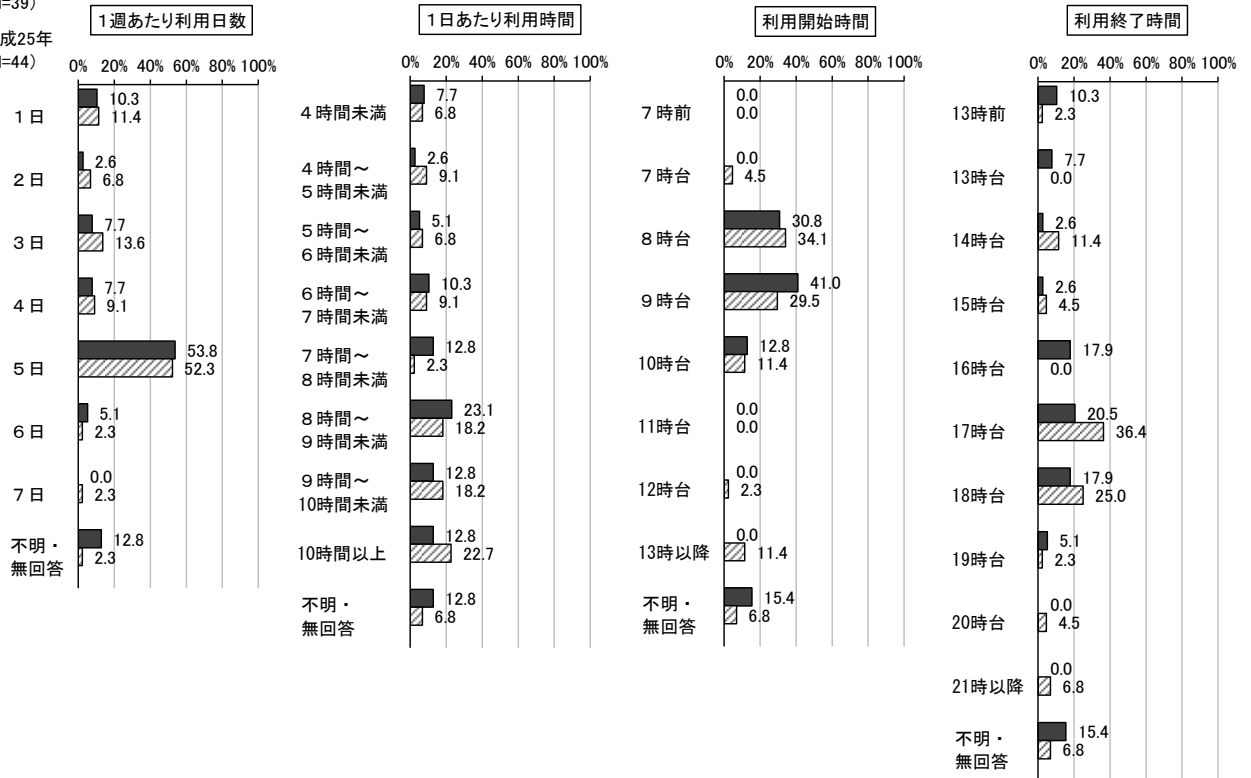


8. 認可外保育施設

【現在】

■ 平成30年
(N=39)

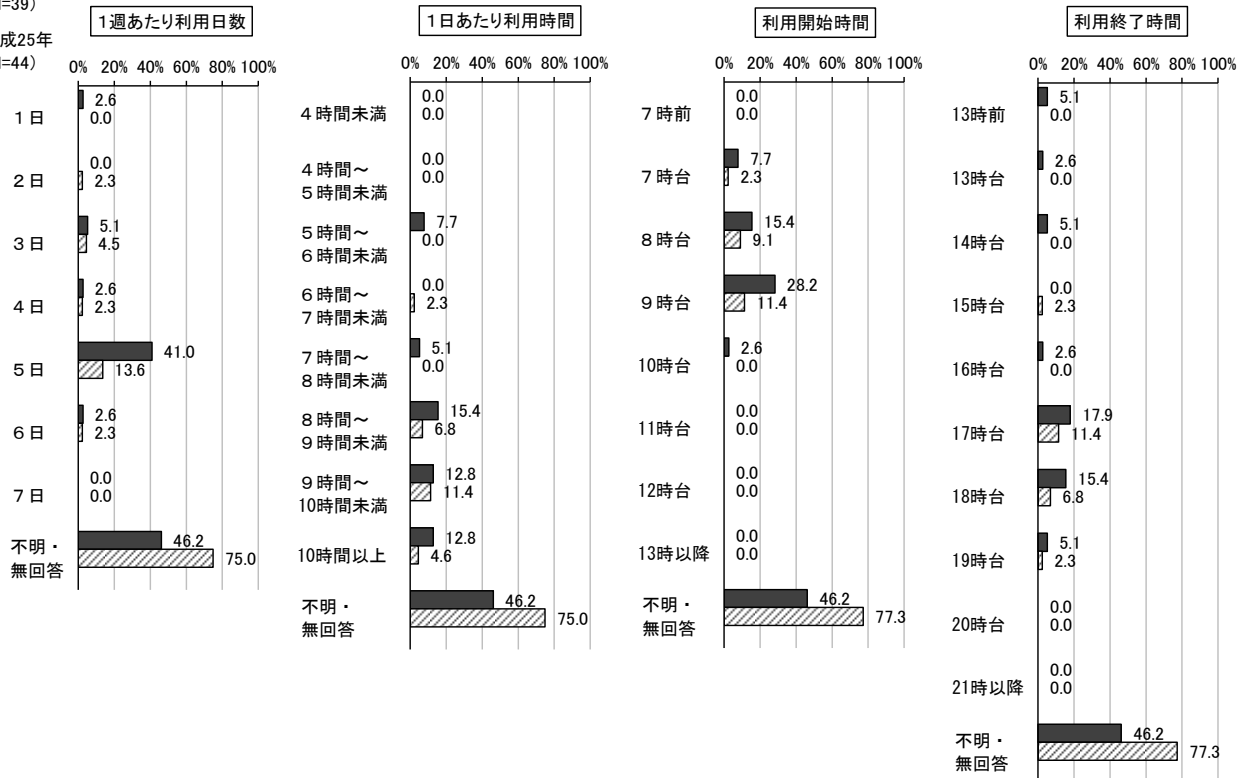
▨ 平成25年
(N=44)



【希望】

■ 平成30年
(N=39)

▨ 平成25年
(N=44)



9. ベビーシッター

【現在】

(N=4)

1週あたり利用日数

	件数
1日	2
2日	1
不明・無回答	1

1日あたり利用時間

	件数
4時間未満	3
不明・無回答	1

利用開始時間

	件数
8時台	1
10時台	1
13時以降	1
不明・無回答	1

利用終了時間

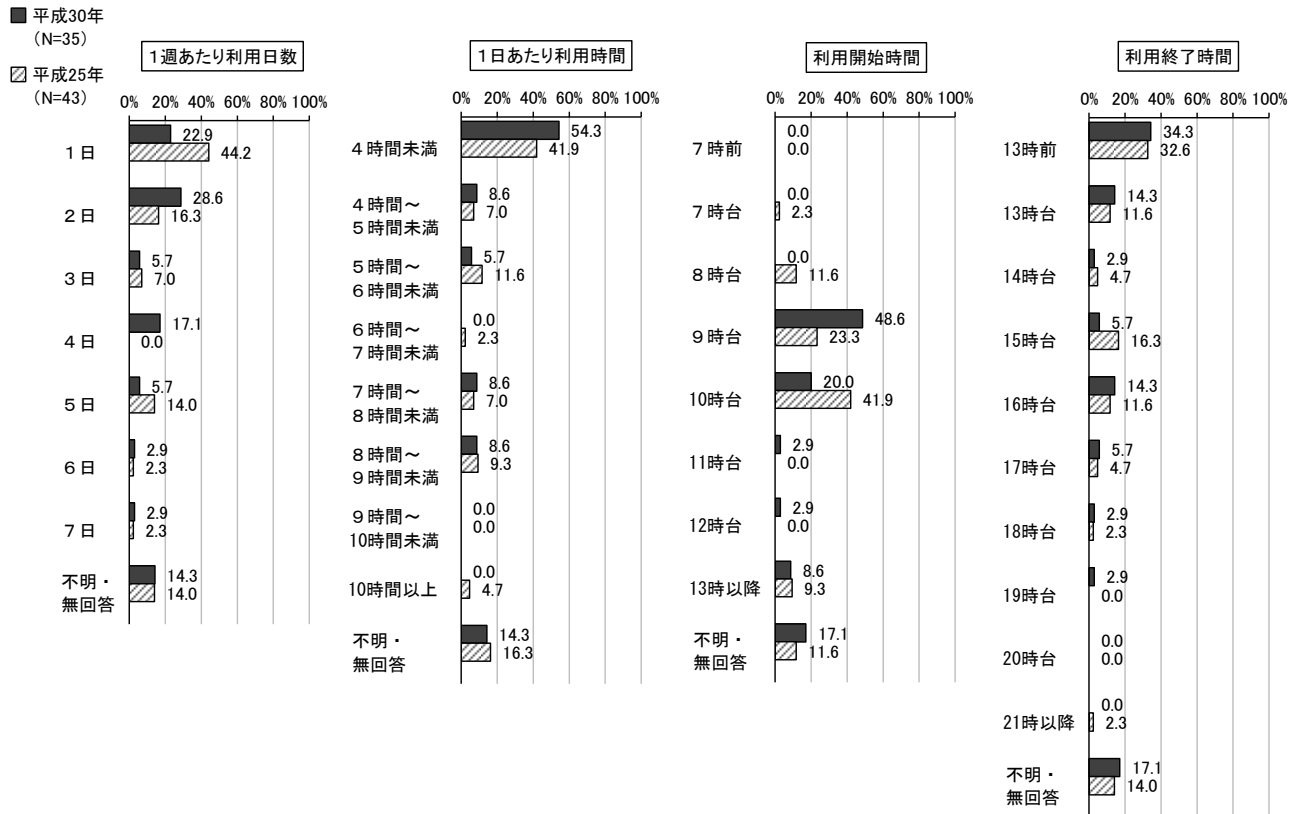
	件数
13時前	1
13時台	1
19時台	1
不明・無回答	1

【希望】

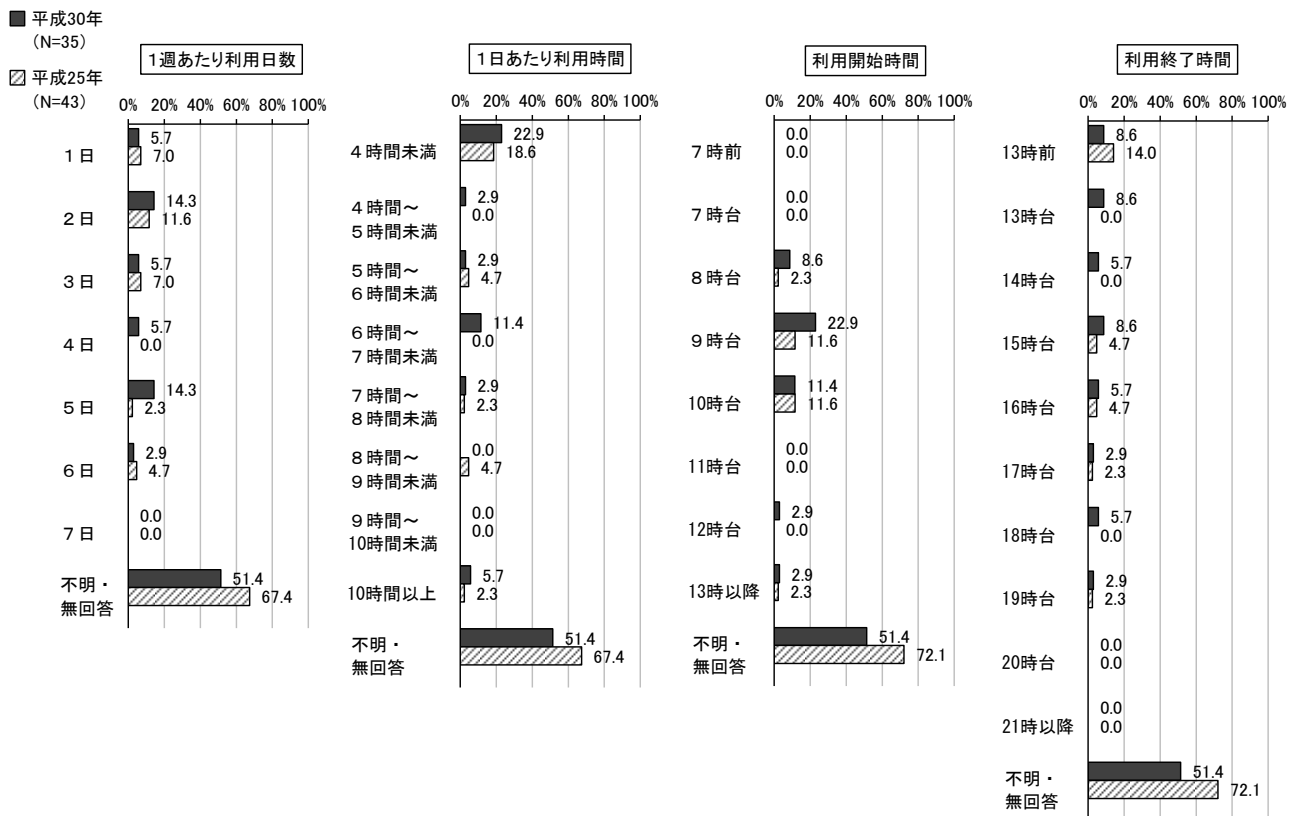
有効回答はありません。

10. その他

【現在】



【希望】



問 12(1)で「1」と答えた方

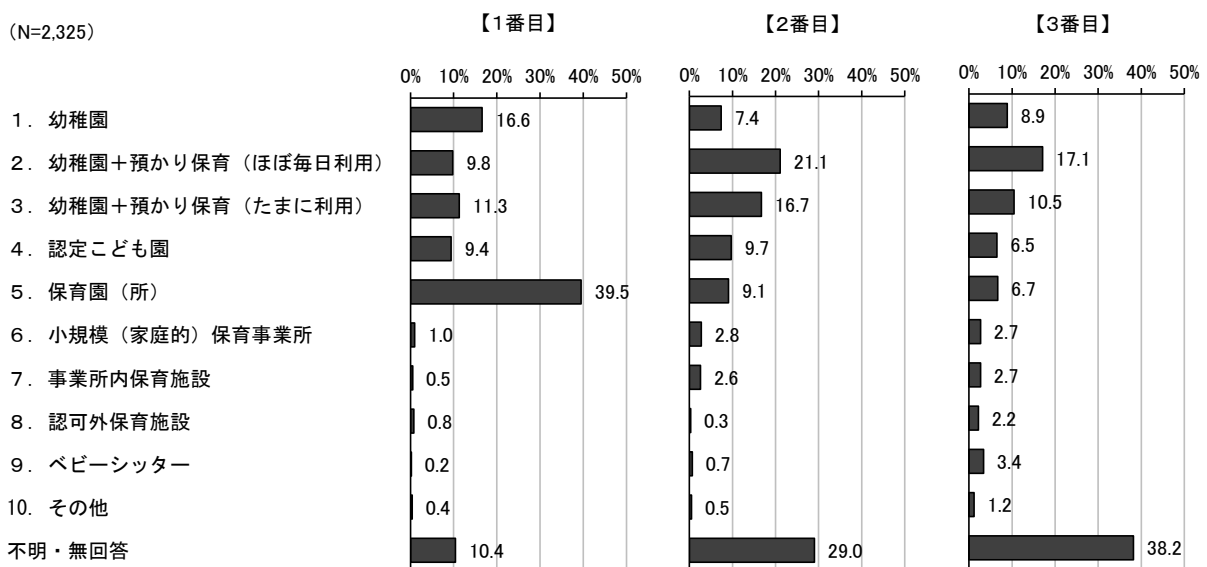
問 12(3) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、平日に定期的に利用したいと思う施設等について、下記の選択肢から番号を選んで利用したい順番に3つまでご記入ください。

1番目は、「5. 保育園（所）」が39.5%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が16.6%、「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が11.3%となっています。

2番目は、「2. 幼稚園+預かり保育（ほぼ毎日利用）」が21.1%と最も高く、次いで「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が16.7%、「4. 認定こども園」が9.7%となっています。

3番目は、「2. 幼稚園+預かり保育（ほぼ毎日利用）」が17.1%と最も高く、次いで「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が10.5%、「1. 幼稚園」が8.9%となっています。

(N=2,325)



《問 12(3)×家族類型別》

「専業主婦(夫)」では「幼稚園」、それ以外では「保育園(所)」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所	
全 体	2,325 100.0	386 16.6	228 9.8	263 11.3	219 9.4	919 39.5	23 1.0	
家族 類型 別	ひとり親	106 100.0	7 6.6	7 6.6	7 6.6	14 13.2	53 50.0	0 0.0
	共働き(両親とも フルタイム)	852 100.0	44 5.2	71 8.3	30 3.5	92 10.8	504 59.2	14 1.6
	フルタイム・パート	740 100.0	106 14.3	61 8.2	91 12.3	84 11.4	279 37.7	7 0.9
	専業主婦(夫)	594 100.0	228 38.4	85 14.3	131 22.1	24 4.0	71 12.0	2 0.3
	両親ともパート	13 100.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	3 23.1	6 46.2	0 0.0
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
上段:件数 下段:%	合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	不明・ 無回答		
全 体	2,325 100.0	11 0.5	19 0.8	5 0.2	10 0.4	242 10.4		
家族 類型 別	ひとり親	106 100.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	1 0.9	15 14.2	
	共働き(両親とも フルタイム)	852 100.0	7 0.8	7 0.8	1 0.1	4 0.5	78 9.2	
	フルタイム・パート	740 100.0	1 0.1	6 0.8	0 0.0	2 0.3	103 13.9	
	専業主婦(夫)	594 100.0	2 0.3	4 0.7	3 0.5	3 0.5	41 6.9	
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

※不明・無回答除く

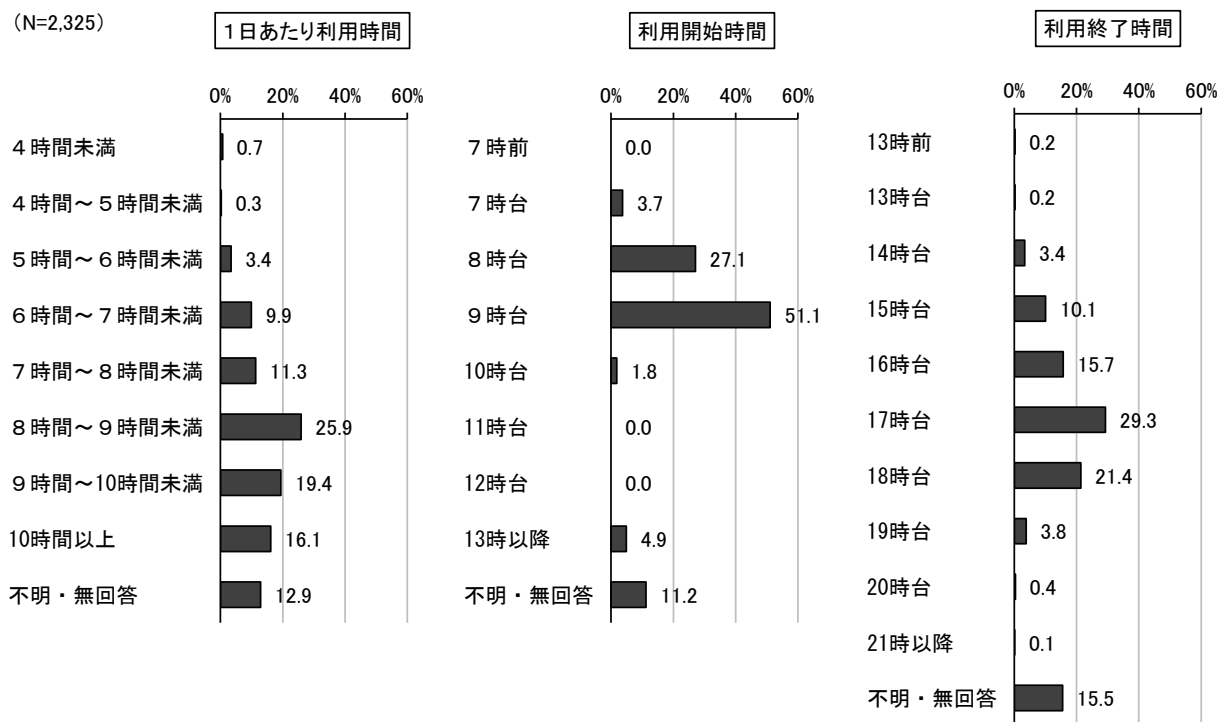
問 12(1)で「1」と答えた方

問 12(4) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、幼稚園・保育施設等をどのくらいの時間利用したいですか。平日に定期的に利用する場合の希望利用時間等をお答えください。（「9時～18時」のように24時間制で記入）

1日あたりの利用時間は、「8時間～9時間未満」が25.9%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」が19.4%、「10時間以上」が16.1%となっています。

利用開始時間は、「9時台」が51.1%と最も高く、次いで「8時台」が27.1%、「13時以降」が4.9%となっています。

利用終了時間は、「17時台」が29.3%と最も高く、次いで「18時台」が21.4%、「16時台」が15.7%となっています。



《問 12(4)×家族類型別》

1日あたりの利用時間について、「ひとり親」では「8時間～9時間未満」「10時間以上」、「両親ともパート」では「9時間～10時間未満」、それ以外では「8時間～9時間未満」の割合が最も高くなっています。

利用開始時間について、すべての区分で「9時台」の割合が最も高くなっています。

利用終了時間について、すべての区分で「17時台」の割合が最も高くなっています。

1日あたり利用時間

上段:件数 下段:%	合計	4時間未満	4時間～ 5時間未満	5時間～ 6時間未満	6時間～ 7時間未満	7時間～ 8時間未満	8時間～ 9時間未満	9時間～ 10時間未満	10時間以上	不明・ 無回答	
全体	2,325 100.0	16 0.7	8 0.3	78 3.4	231 9.9	263 11.3	603 25.9	451 19.4	374 16.1	301 12.9	
家族類型別	ひとり親	106 100.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	6 5.7	10 9.4	26 24.5	19 17.9	26 24.5	18 17.0
	共働き(両親ともフルタイム)	852 100.0	6 0.7	0 0.0	8 0.9	45 5.3	58 6.8	232 27.2	184 21.6	225 26.4	94 11.0
	フルタイム・パート	740 100.0	4 0.5	3 0.4	19 2.6	71 9.6	87 11.8	197 26.6	153 20.7	90 12.2	116 15.7
	専業主婦(夫)	594 100.0	6 1.0	4 0.7	51 8.6	107 18.0	106 17.8	139 23.4	86 14.5	30 5.1	65 10.9
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	5 38.5	6 46.2	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

※不明・無回答除く

利用開始時間

上段:件数 下段:%	合計	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	不明・ 無回答	
全体	2,325 100.0	1 0.0	87 3.7	631 27.1	1,188 51.1	41 1.8	1 0.0	1 0.0	114 4.9	261 11.2	
家族類型別	ひとり親	106 100.0	0 0.0	7 6.6	29 27.4	47 44.3	3 2.8	0 0.0	3 2.8	17 16.0	
	共働き(両親ともフルタイム)	852 100.0	0 0.0	60 7.0	299 35.1	363 42.6	12 1.4	0 0.0	36 4.2	82 9.6	
	フルタイム・パート	740 100.0	0 0.0	16 2.2	195 26.4	378 51.1	9 1.2	1 0.1	44 5.9	97 13.1	
	専業主婦(夫)	594 100.0	1 0.2	3 0.5	105 17.7	381 64.1	17 2.9	0 0.0	28 4.7	58 9.8	
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 84.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

利用終了時間

上段:件数 下段:%	合計	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時以降	不明・ 無回答	
全体	2,325 100.0	4 0.2	4 0.2	80 3.4	234 10.1	364 15.7	682 29.3	498 21.4	88 3.8	9 0.4	2 0.1	360 15.5	
家族類型別	ひとり親	106 100.0	0 0.0	0 0.0	2 1.9	5 4.7	12 11.3	28 26.4	27 25.5	13 12.3	0 0.0	19 17.9	
	共働き(両親ともフルタイム)	852 100.0	2 0.2	0 0.0	8 0.9	40 4.7	98 11.5	287 33.7	239 28.1	54 6.3	8 0.9	1 0.1	115 13.5
	フルタイム・パート	740 100.0	1 0.1	2 0.3	23 3.1	69 9.3	123 16.6	219 29.6	151 20.4	16 2.2	1 0.1	0 0.0	135 18.2
	専業主婦(夫)	594 100.0	1 0.2	2 0.3	47 7.9	118 19.9	129 21.7	139 23.4	72 12.1	4 0.7	0 0.0	1 0.2	81 13.6
	両親ともパート	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	1 7.7	6 46.2	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	両親とも無職	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

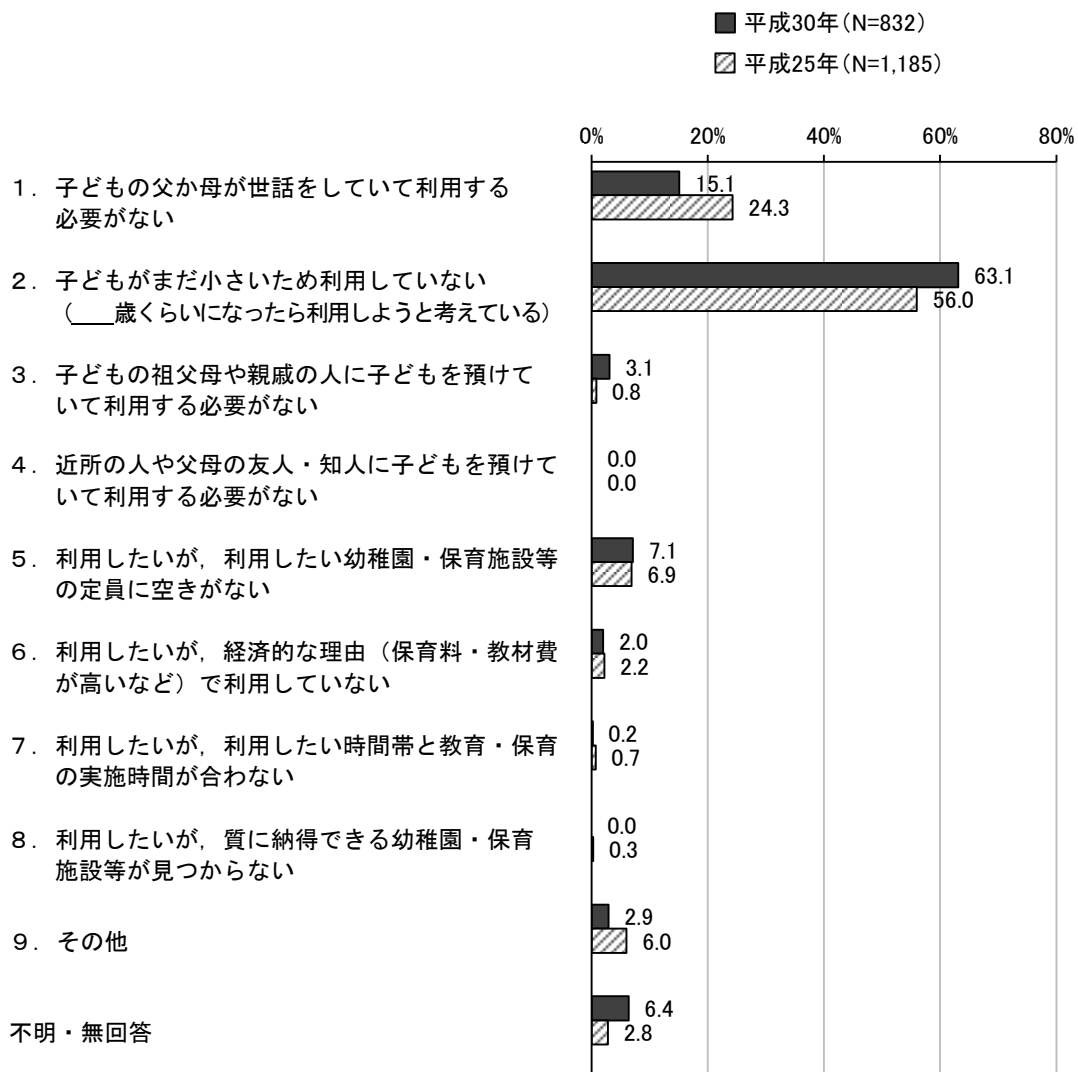
※不明・無回答除く

問 12(1)で「2」と答えた方

問 12(5) 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由は何ですか（「2」と答えた方は子どもの年齢もご記入ください）。（〇は1つ）

「2. 子どもがまだ小さいため利用していない（__歳くらいになったら利用しようと考えている）」が63.1%と最も高く、次いで「1. 子どもの父か母が世話をしているため利用する必要がない」が15.1%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 子どもの父か母が世話をしているため利用する必要がない」が9.2ポイント低く、「2. 子どもがまだ小さいため利用していない（__歳くらいになったら利用しようと考えている）」が7.1ポイント高くなっています。



《問 12(5)×問 1 子どもの年齢別》

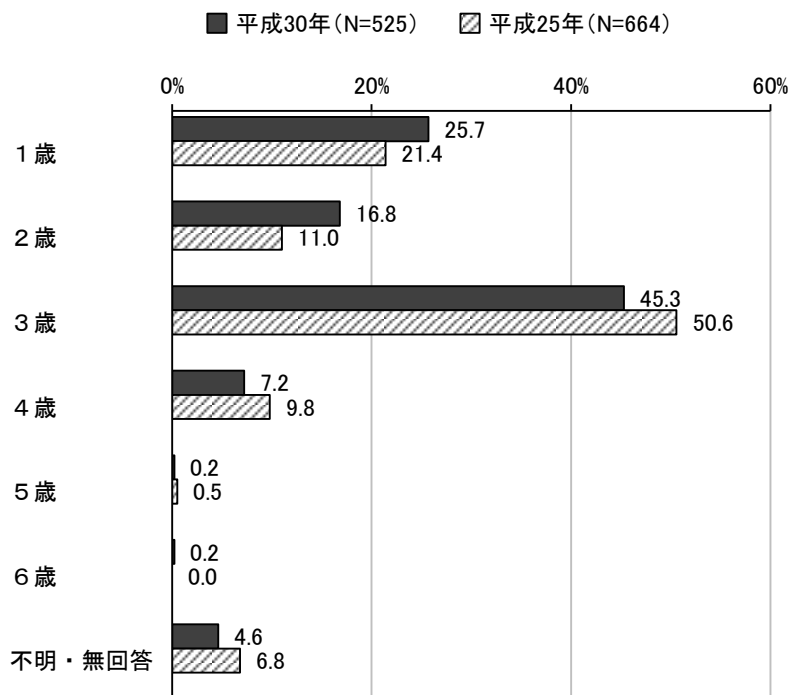
0～3歳では「子どもがまだ小さいため利用していない（___歳くらいになったら利用しようと考えている）」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	子どもの父 か母が世話 をしていて 利用する必 要がない	子どもがま だ小さいた め利用して いない(___ 歳くらいに なったら利 用しよう考 えている)	子どもの祖 父母や親戚 の人に子ど もを預けて いて利用す る必要がな い	近所の人や 父母の友 人・知人に 子どもを預 けていて利 用する必要 がない	利用したい が、利用し たい幼稚 園・保育施 設等の定員 に空きがな い	利用したい が、経済的 な理由(保 育料・教材 費が高いな ど)で利用 していない	利用したい が、利用し たい時間帯 と教育・保 育の実施時 間が合わな い	利用したい が、質に納 得できる幼 稚園・保育 施設等が見 つからない	その他	不明・ 無回答	
全 体	832 100.0	126 15.1	525 63.1	26 3.1	0 0.0	59 7.1	17 2.0	2 0.2	0 0.0	24 2.9	53 6.4	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	359 100.0	34 9.5	254 70.8	7 1.9	0 0.0	27 7.5	4 1.1	0 0.0	13 3.6	20 5.6	
	1歳	247 100.0	52 21.1	139 56.3	10 4.0	0 0.0	22 8.9	4 1.6	0 0.0	5 2.0	15 6.1	
	2歳	155 100.0	28 18.1	90 58.1	8 5.2	0 0.0	9 5.8	8 5.2	0 0.0	3 1.9	9 5.8	
	3歳	47 100.0	8 17.0	32 68.1	0 0.0	0 0.0	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	5 10.6	
	4歳	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0
	5歳	8 100.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5

※不明・無回答除く

◆(「2」の場合)子どもの年齢

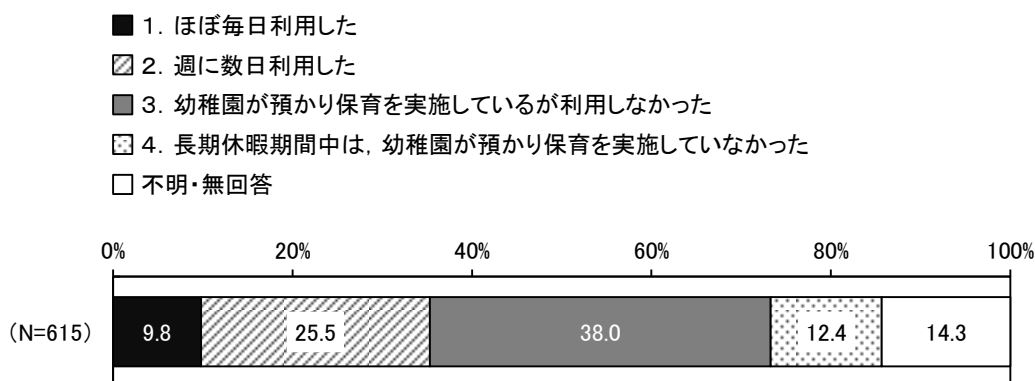
「3歳」が45.3%と最も高く、次いで「1歳」が25.7%、「2歳」が16.8%となっています。平成25年と比較すると、「2歳」が5.8ポイント高く、「3歳」が5.3ポイント低くなっています。



問 12(2)で「1～3」と答えた方（幼稚園を利用している方）

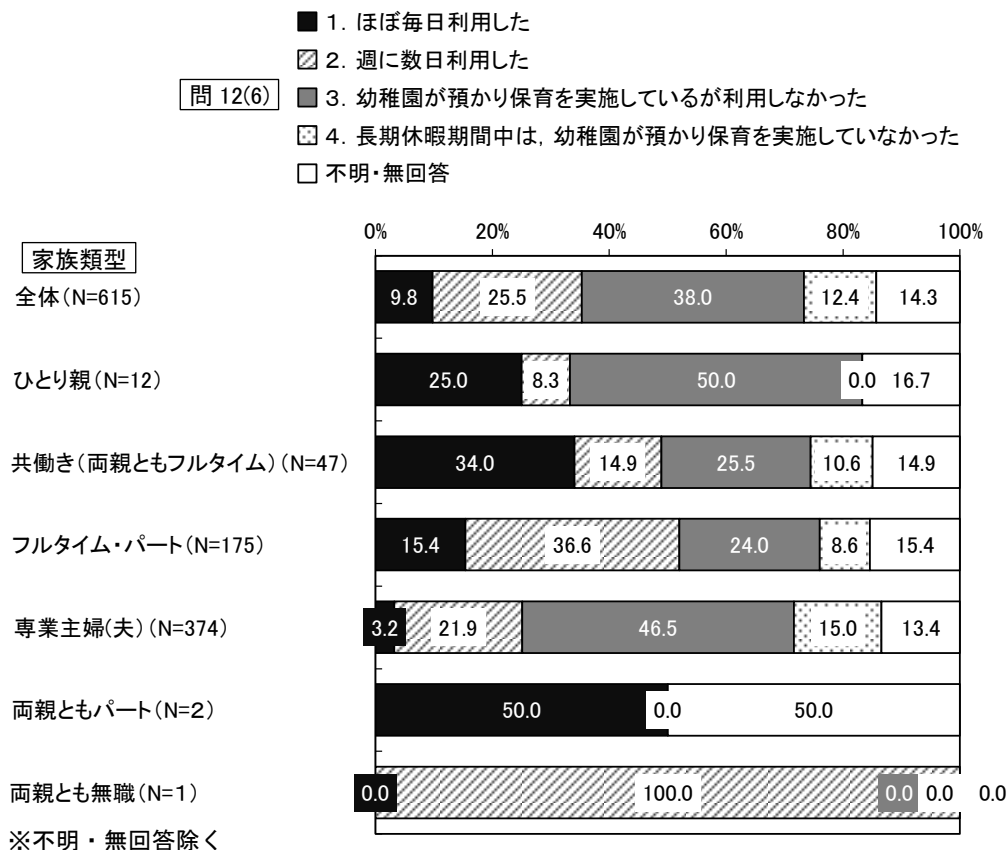
問 12(6) 直近の夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中において、幼稚園の預かり保育を利用されましたか。（〇は1つ）

「3. 幼稚園が預かり保育を実施しているが利用しなかった」が38.0%と最も高く、次いで「2. 週に数日利用した」が25.5%、「4. 長期休暇期間中は、幼稚園が預かり保育を実施していなかった」が12.4%となっています。



《問 12(6)×家族類型別》

「ひとり親」「専業主婦(夫)」では「3. 幼稚園が預かり保育を実施しているが利用しなかった」、
 「共働き(両親ともフルタイム)」では「1. ほぼ毎日利用した」、「フルタイム・パート」では「2. 週に数日利用した」の割合が最も高くなっています。



問 12(6)で「1」または「2」と答えた方

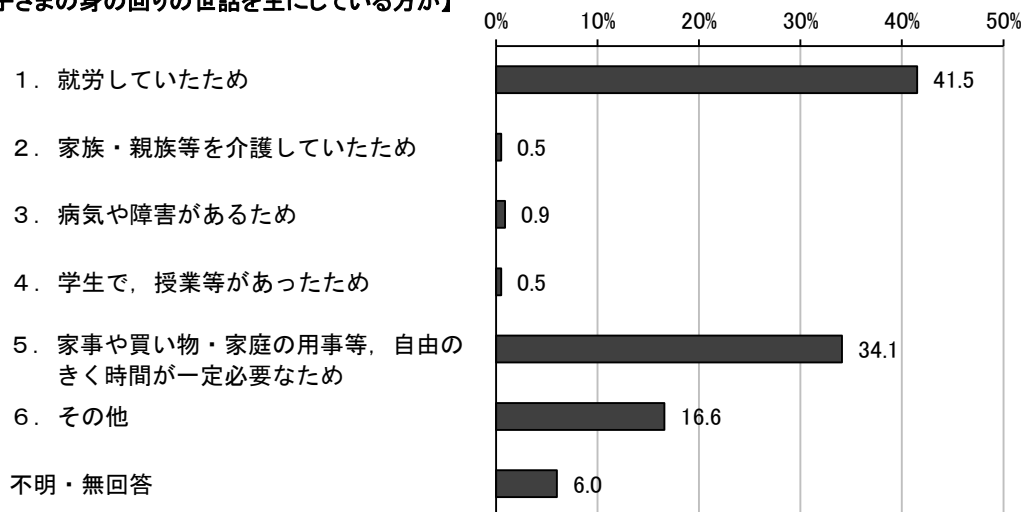
問 12(7) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中にお子さまを預けた主な理由は何ですか。

(〇は1つ)

「1. 就労していたため」が 41.5%と最も高く、次いで「5. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」が 34.1%となっています。

(N=217)

【お子さまの身の回りの世話を主にしている方が】



問 12(6)で「1」または「2」と答えた方

問 12(8) 長期休暇期間中の預かり保育について、「現在」と「希望」の利用時間をお答えください。(「9時～18時」のように24時間制で記入)

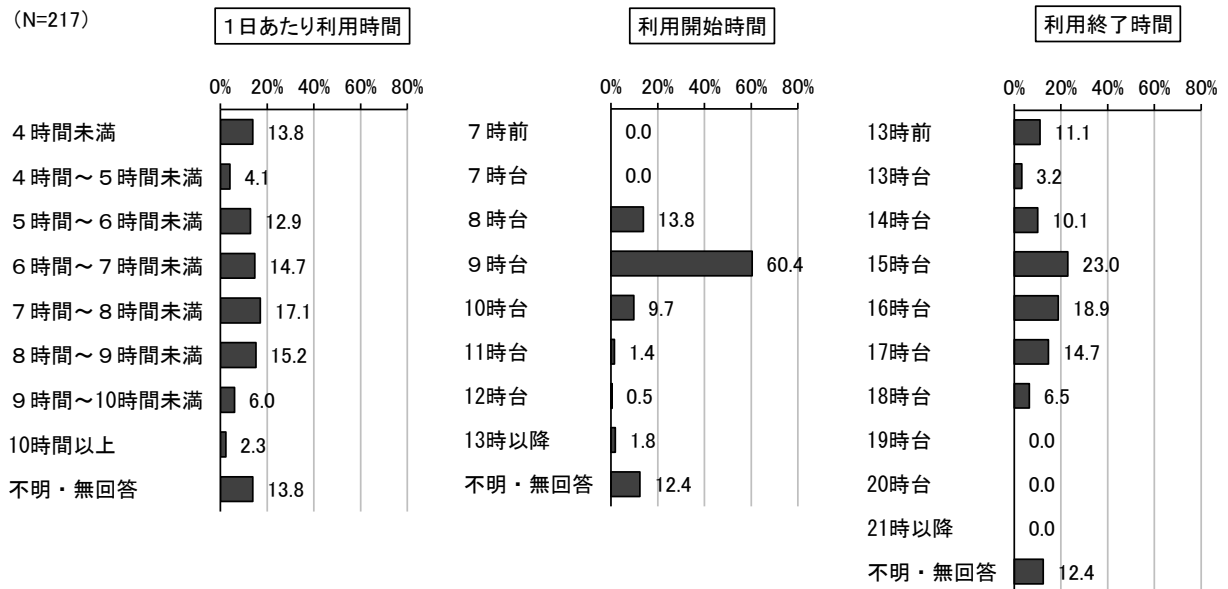
1日あたりの利用時間は、①現在、②希望ともに「7時間～8時間未満」がそれぞれ17.1%、19.4%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」がそれぞれ15.2%、18.0%となっています。

利用開始時間は、①現在、②希望ともに「9時台」がそれぞれ60.4%、51.2%と最も高く、次いで「8時台」がそれぞれ13.8%、17.1%となっています。

利用終了時間は、①現在では「15時台」が23.0%と最も高く、次いで「16時台」が18.9%となっています。②希望では「16時台」が21.7%と最も高く、次いで「17時台」が20.7%となっています。

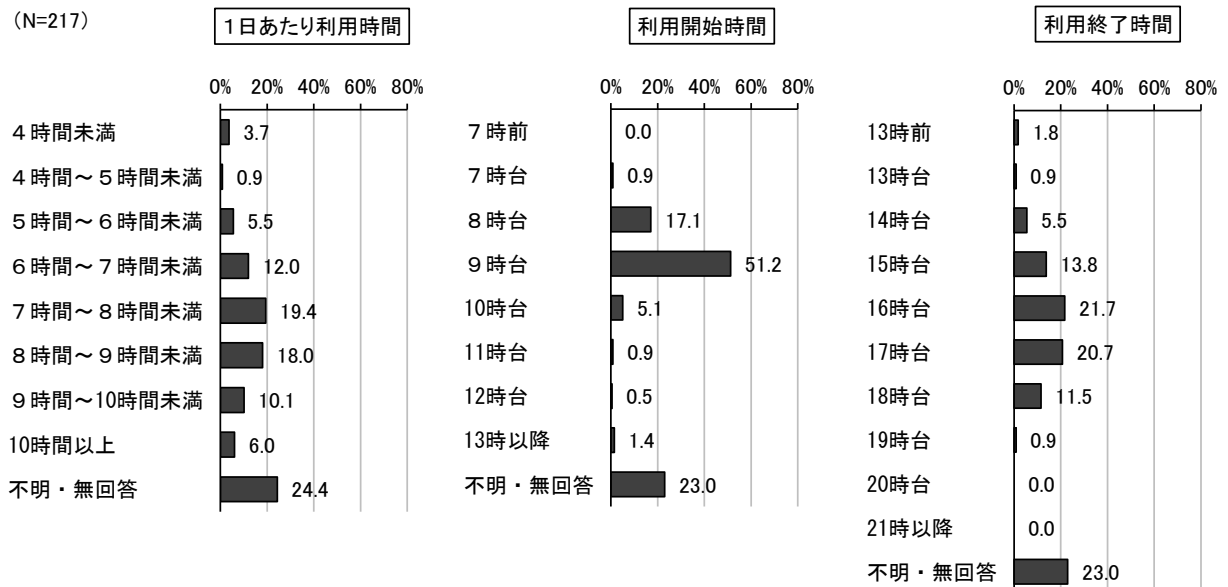
①現在

(N=217)



②希望

(N=217)

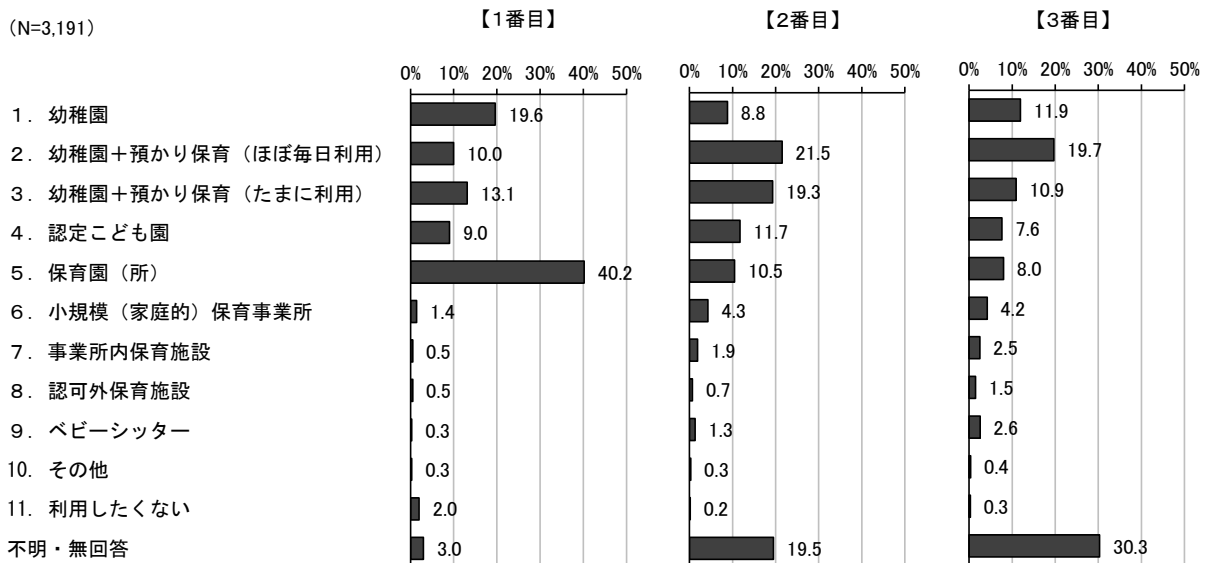


問 13(1) 宛名のお子さまについて、以下の施設・保育施設等を平日に定期的に利用したいですか。
 現在、利用している、利用していないにかかわらず、下記の選択肢から番号を選んで
 利用したい順番に3つまでご記入ください。

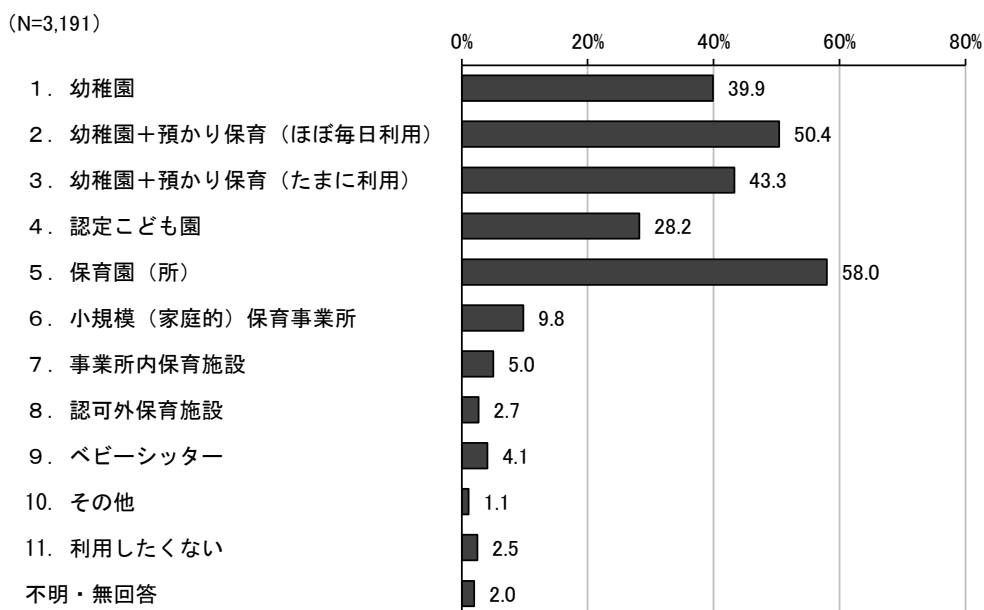
1番目は、「5. 保育園（所）」が40.2%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が19.6%、「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が13.1%となっています。

2番目は、「2. 幼稚園+預かり保育（ほぼ毎日利用）」が21.5%と最も高く、次いで「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が19.3%、「4. 認定こども園」が11.7%となっています。

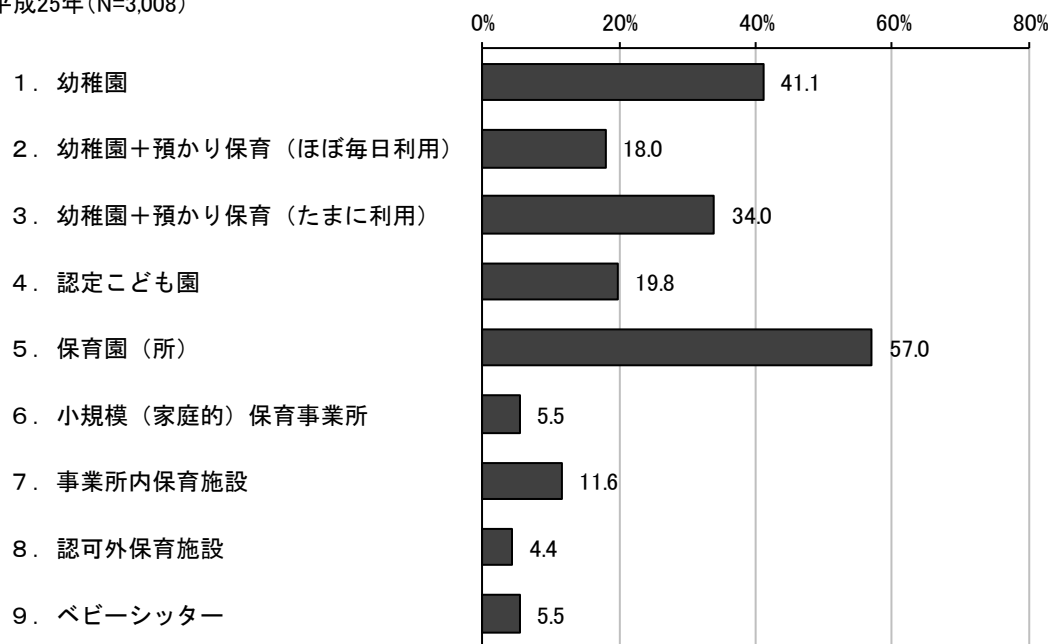
3番目は、「2. 幼稚園+預かり保育（ほぼ毎日利用）」が19.7%と最も高く、次いで「1. 幼稚園」が11.9%、「3. 幼稚園+預かり保育（たまに利用）」が10.9%となっています。



【1番目、2番目、3番目の合計】



平成25年(N=3,008)



《問 13(1)×問 1 子どもの年齢別》

0～2歳では「保育園（所）」、3～5歳では「幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）」の割合が最も高くなっています。

【1番目、2番目、3番目の合計】

上段:件数 下段:%		合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所
全 体		3,191 100.0	1,272 39.9	1,609 50.4	1,381 43.3	901 28.2	1,852 58.0	314 9.8
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	137 31.6	159 36.6	132 30.4	150 34.6	313 72.1	94 21.7
	1歳	516 100.0	196 38.0	202 39.1	189 36.6	153 29.7	326 63.2	71 13.8
	2歳	519 100.0	201 38.7	270 52.0	226 43.5	155 29.9	314 60.5	46 8.9
	3歳	479 100.0	213 44.5	278 58.0	239 49.9	123 25.7	246 51.4	24 5.0
	4歳	497 100.0	205 41.2	279 56.1	238 47.9	139 28.0	269 54.1	31 6.2
	5歳	694 100.0	301 43.4	401 57.8	341 49.1	164 23.6	353 50.9	42 6.1
	上段:件数 下段:%		合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	利用したくな い
全 体		3,191 100.0	159 5.0	85 2.7	132 4.1	34 1.1	80 2.5	64 2.0
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	23 5.3	24 5.5	25 5.8	4 0.9	21 4.8	7 1.6
	1歳	516 100.0	27 5.2	18 3.5	22 4.3	7 1.4	22 4.3	17 3.3
	2歳	519 100.0	23 4.4	12 2.3	22 4.2	2 0.4	13 2.5	9 1.7
	3歳	479 100.0	18 3.8	7 1.5	16 3.3	7 1.5	9 1.9	9 1.9
	4歳	497 100.0	28 5.6	12 2.4	18 3.6	5 1.0	6 1.2	7 1.4
	5歳	694 100.0	37 5.3	10 1.4	28 4.0	8 1.2	9 1.3	13 1.9

※不明・無回答除く

《問 13(1)×家族類型別》

「専業主婦(夫)」では「幼稚園+預かり保育(たまに利用)」、「両親ともパート」では「幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)」「保育園(所)」, それ以外では「保育園(所)」の割合が最も高くなっています。

【1番目, 2番目, 3番目の合計】

上段:件数 下段:%		合計	幼稚園	幼稚園+預 かり保育(ほ ぼ毎日利 用)	幼稚園+預 かり保育(た まに利用)	認定こども 園	保育園(所)	小規模(家 庭的)保育 事業所
全 体		3,191 100.0	1,272 39.9	1,609 50.4	1,381 43.3	901 28.2	1,852 58.0	314 9.8
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	33 28.2	55 47.0	29 24.8	44 37.6	85 72.6	18 15.4
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	175 16.7	536 51.0	227 21.6	373 35.5	861 82.0	134 12.8
	フルタイム・パート	835 100.0	290 34.7	451 54.0	344 41.2	256 30.7	513 61.4	82 9.8
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	753 66.1	543 47.6	763 66.9	215 18.9	363 31.8	76 6.7
	両親ともパート	14 100.0	3 21.4	6 42.9	5 35.7	3 21.4	6 42.9	2 14.3
	両親とも無職	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0

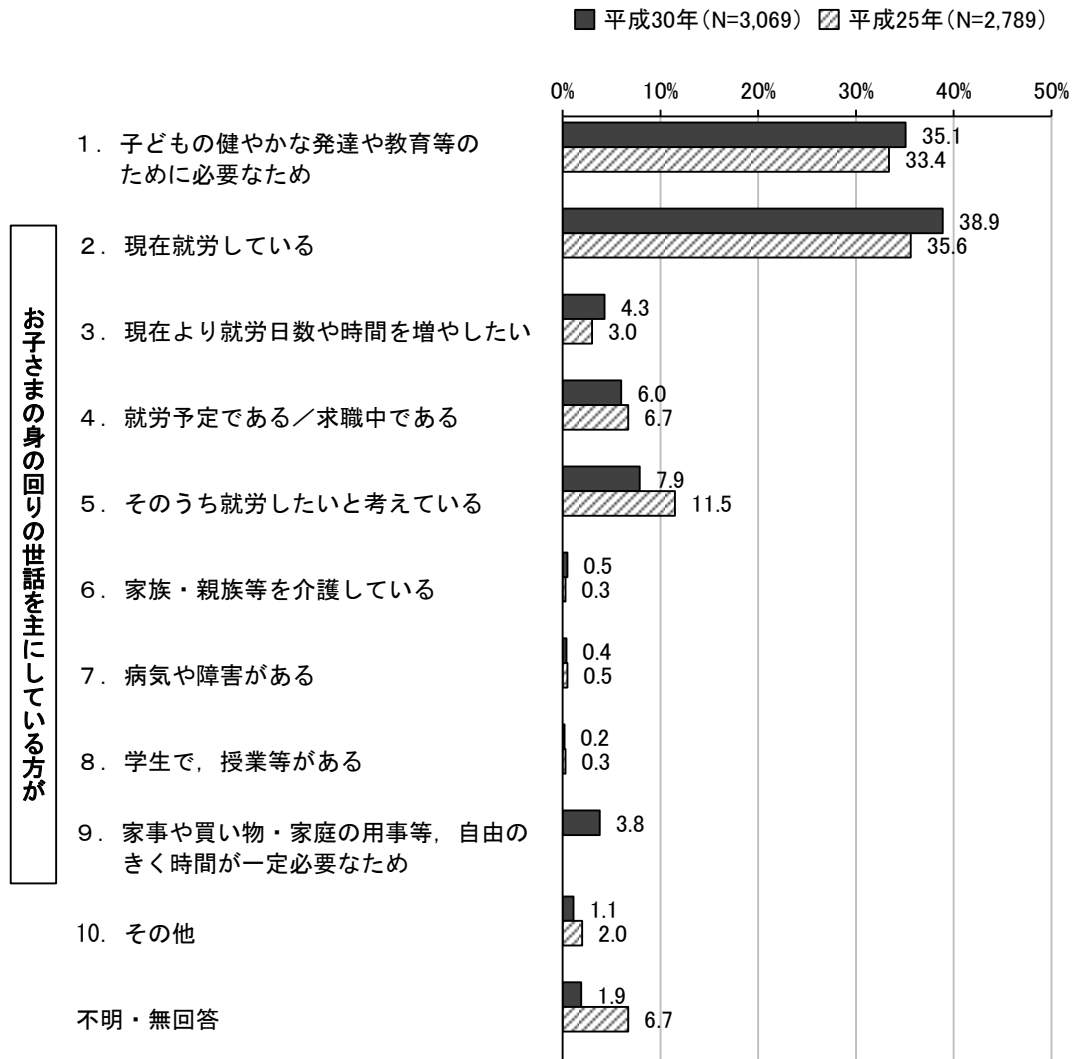
上段:件数 下段:%		合計	事業所内保 育施設	認可外保育 施設	ベビーシッ ター	その他	利用したくない	不明・ 無回答
全 体		3,191 100.0	159 5.0	85 2.7	132 4.1	34 1.1	80 2.5	64 2.0
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	14 12.0	5 4.3	9 7.7	2 1.7	1 0.9	3 2.6
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	74 7.0	38 3.6	55 5.2	16 1.5	14 1.3	15 1.4
	フルタイム・パート	835 100.0	35 4.2	21 2.5	21 2.5	7 0.8	15 1.8	13 1.6
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	34 3.0	20 1.8	46 4.0	8 0.7	48 4.2	30 2.6
	両親ともパート	14 100.0	2 14.3	0 0.0	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

※不明・無回答除く

問 13(1)の「1～10」を1つでも選んだ方

問 13(2) 施設等を利用したいと考えている主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「2. 現在就労している」が38.9%と最も高く、次いで「1. 子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」が35.1%、「5. そのうち就労したいと考えている」が7.9%となっています。



※「9. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」は平成30年のみの選択肢

《問 13(2)×問 13(1)利用したい施設別（1 番目）》

「幼稚園」「認可外保育施設」「ベビーシッター」では「子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため」、それ以外では「現在就労している」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため	現在就労している	現在より就労日数や時間を増やしたい	就労予定である/求職中である	そのうち就労したいと考えている	家族・親族等を介護している	
全 体	3,069 100.0	1,076 35.1	1,194 38.9	131 4.3	185 6.0	242 7.9	14 0.5	
利用したい施設別（1 番目）	幼稚園（通常の通園時間の利用）	626 100.0	426 68.1	51 8.1	11 1.8	9 1.4	48 7.7	3 0.5
	幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）	318 100.0	119 37.4	85 26.7	30 9.4	22 6.9	47 14.8	1 0.3
	幼稚園＋預かり保育（たまに利用）	419 100.0	239 57.0	45 10.7	18 4.3	14 3.3	60 14.3	2 0.5
	認定こども園	288 100.0	64 22.2	157 54.5	12 4.2	28 9.7	14 4.9	1 0.3
	保育園（所）	1,283 100.0	191 14.9	803 62.6	47 3.7	101 7.9	67 5.2	6 0.5
	小規模（家庭的）保育事業所	44 100.0	6 13.6	24 54.5	3 6.8	5 11.4	1 2.3	1 2.3
	事業所内保育施設	16 100.0	2 12.5	10 62.5	1 6.3	1 6.3	2 12.5	0 0.0
	認可外保育施設	16 100.0	5 31.3	4 25.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	0 0.0
	ベビーシッター	8 100.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	その他	11 100.0	3 27.3	4 36.4	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0

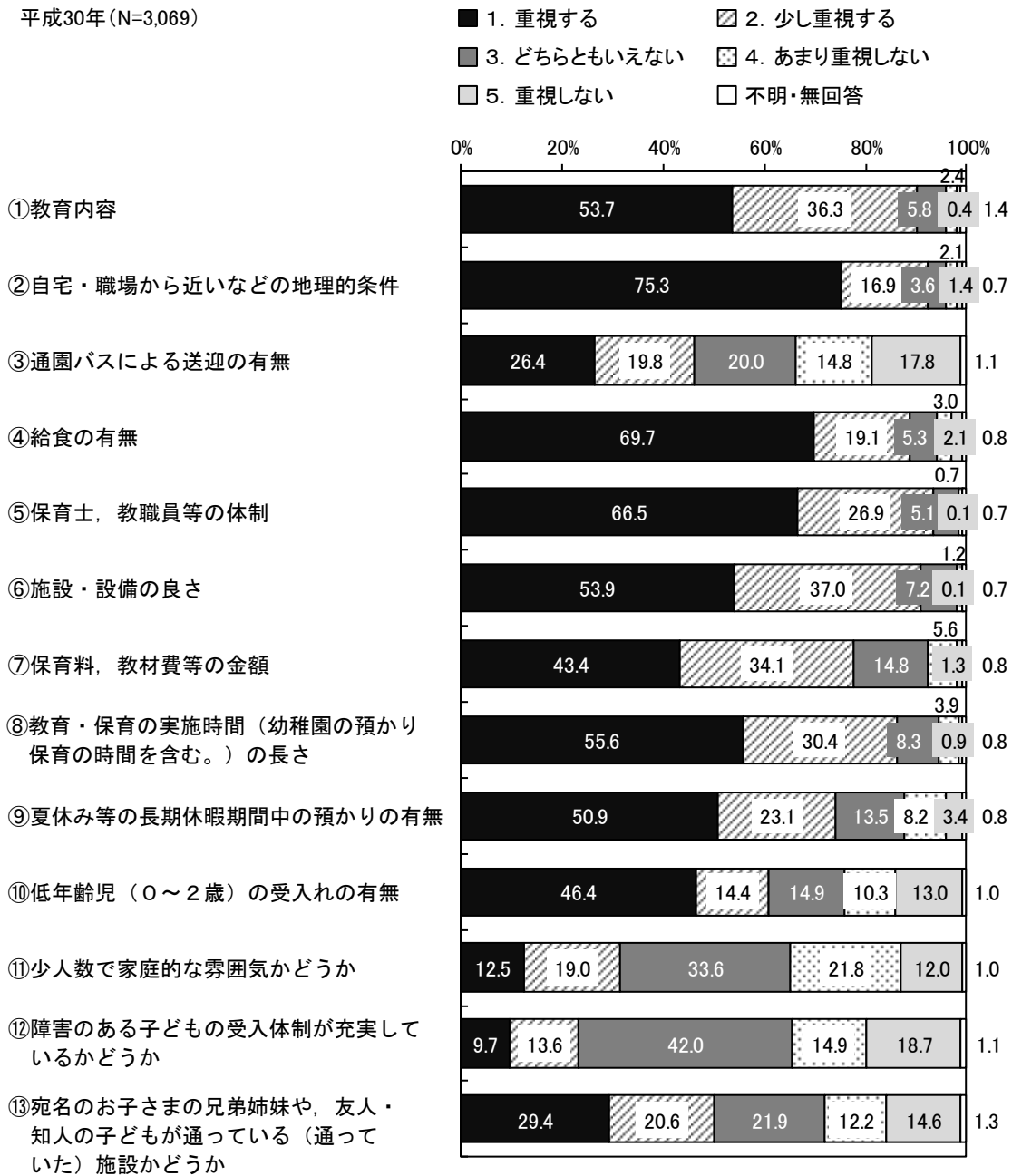
上段:件数 下段:%	合計	病気や障害がある	学生で、授業等がある	家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため	その他	不明・無回答	
全 体	3,069 100.0	13 0.4	5 0.2	118 3.8	33 1.1	58 1.9	
利用したい施設別（1 番目）	幼稚園（通常の通園時間の利用）	626 100.0	2 0.3	1 0.2	48 7.7	10 1.6	17 2.7
	幼稚園＋預かり保育（ほぼ毎日利用）	318 100.0	0 0.0	0 0.0	9 2.8	1 0.3	4 1.3
	幼稚園＋預かり保育（たまに利用）	419 100.0	0 0.0	0 0.0	27 6.4	5 1.2	9 2.1
	認定こども園	288 100.0	1 0.3	1 0.3	5 1.7	3 1.0	2 0.7
	保育園（所）	1,283 100.0	10 0.8	2 0.2	21 1.6	13 1.0	22 1.7
	小規模（家庭的）保育事業所	44 100.0	0 0.0	0 0.0	2 4.5	0 0.0	2 4.5
	事業所内保育施設	16 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認可外保育施設	16 100.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	0 0.0
	ベビーシッター	8 100.0	0 0.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0
	その他	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1

※不明・無回答除く

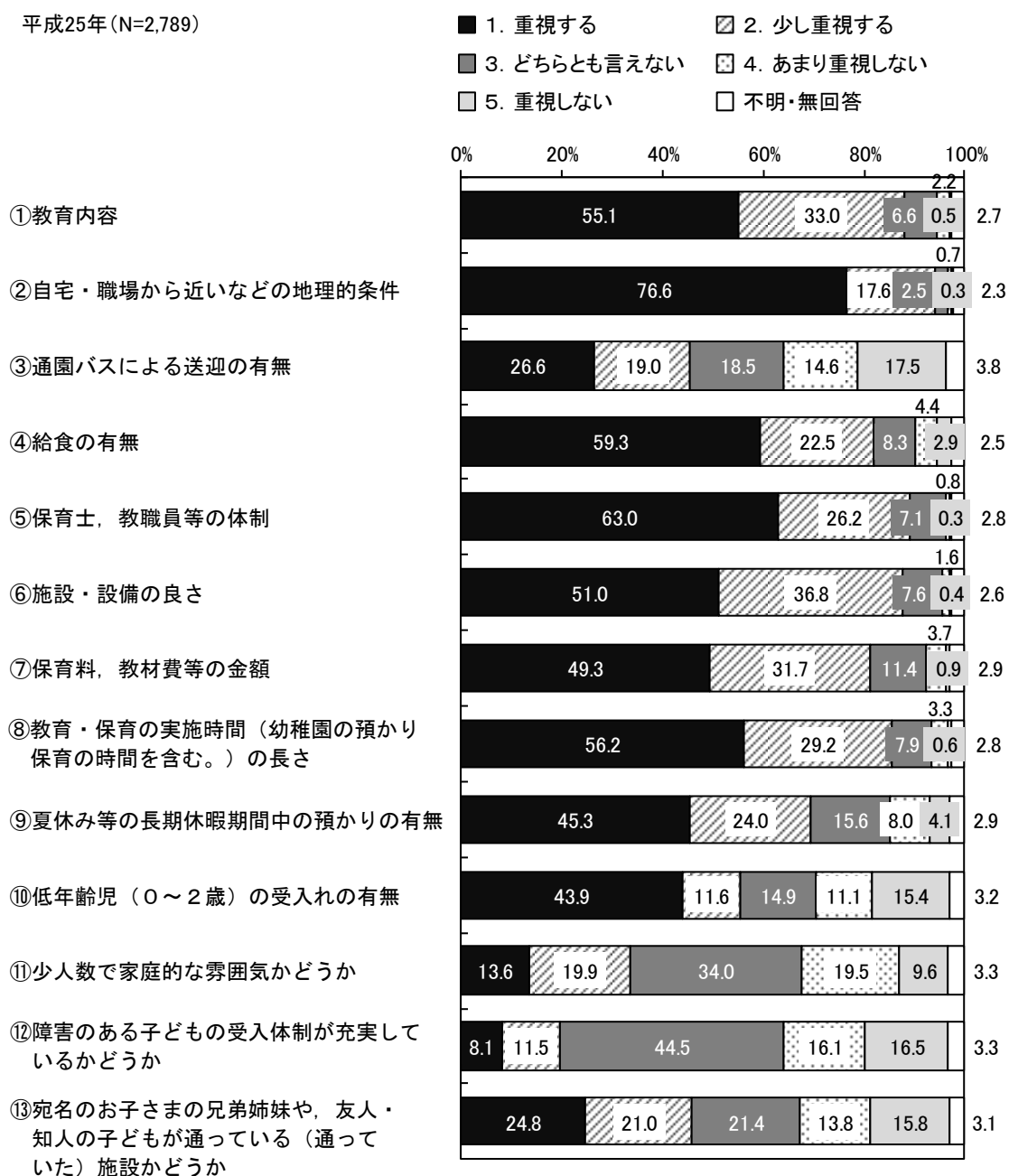
問 13(1)の「1～10」を1つでも選んだ方

問 13(3) 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際、①～⑬について、あなたのお考えをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

「重視する(「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計)」は、[⑤保育士、教職員等の体制]が93.4%と最も高く、次いで[②自宅・職場から近いなどの地理的条件]が92.2%、[⑥施設・設備の良さ]が90.9%、[①教育内容]が90.0%となっています。

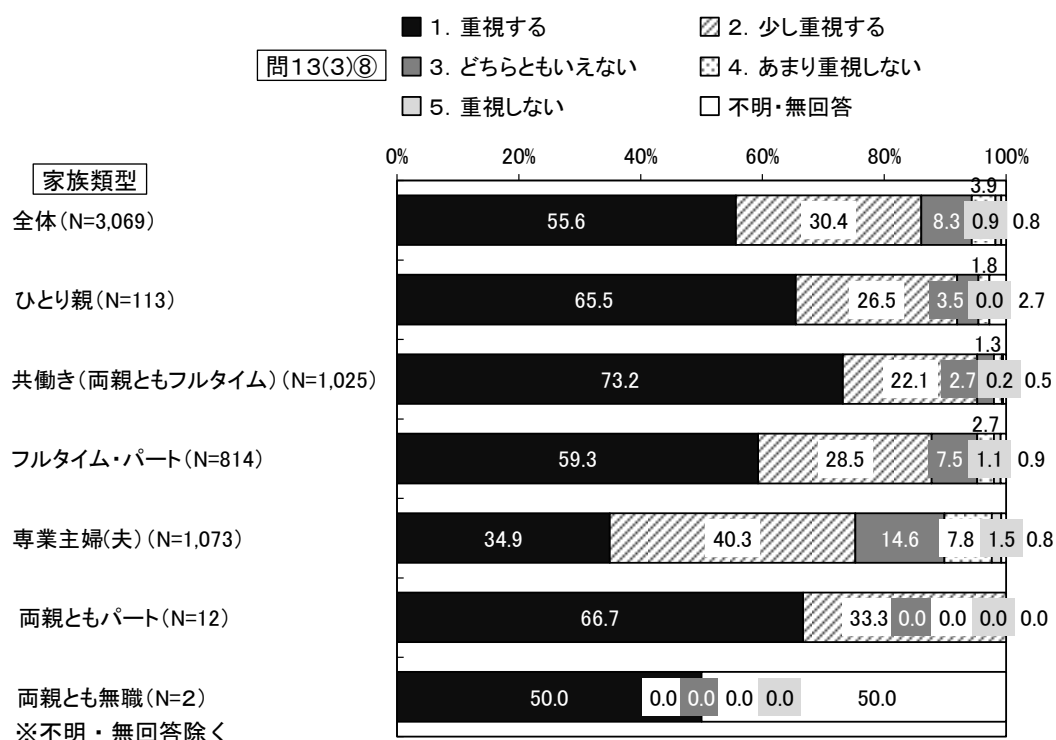


平成25年と比較すると、「重視する（「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計）」では、
 [④給食の有無]が7.0ポイント、[⑩低年齢児（0～2歳）の受入れの有無]が5.3ポイント高
 くなっています。



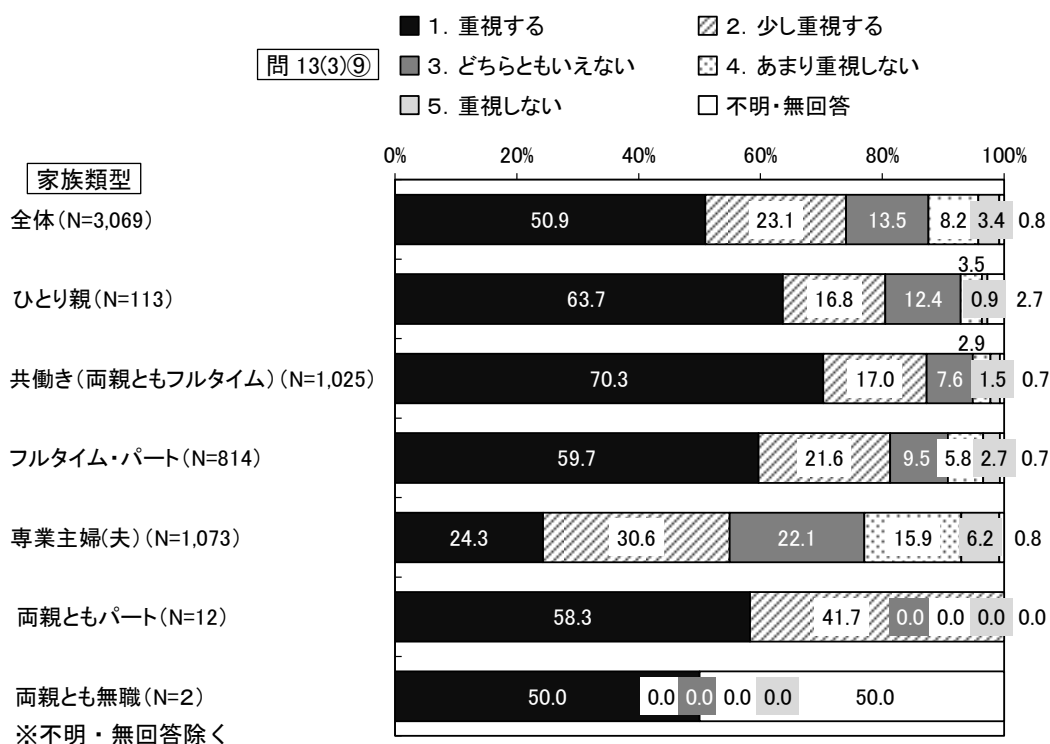
《問 13(3)⑧教育・保育の実施時間の長さ×家族類型別》

⑧教育・保育の実施時間の長さについて、「専業主婦（夫）」を除き、「1. 重視する」の割合が最も高く、特に「共働き（両親ともフルタイム）」では7割を超えています。



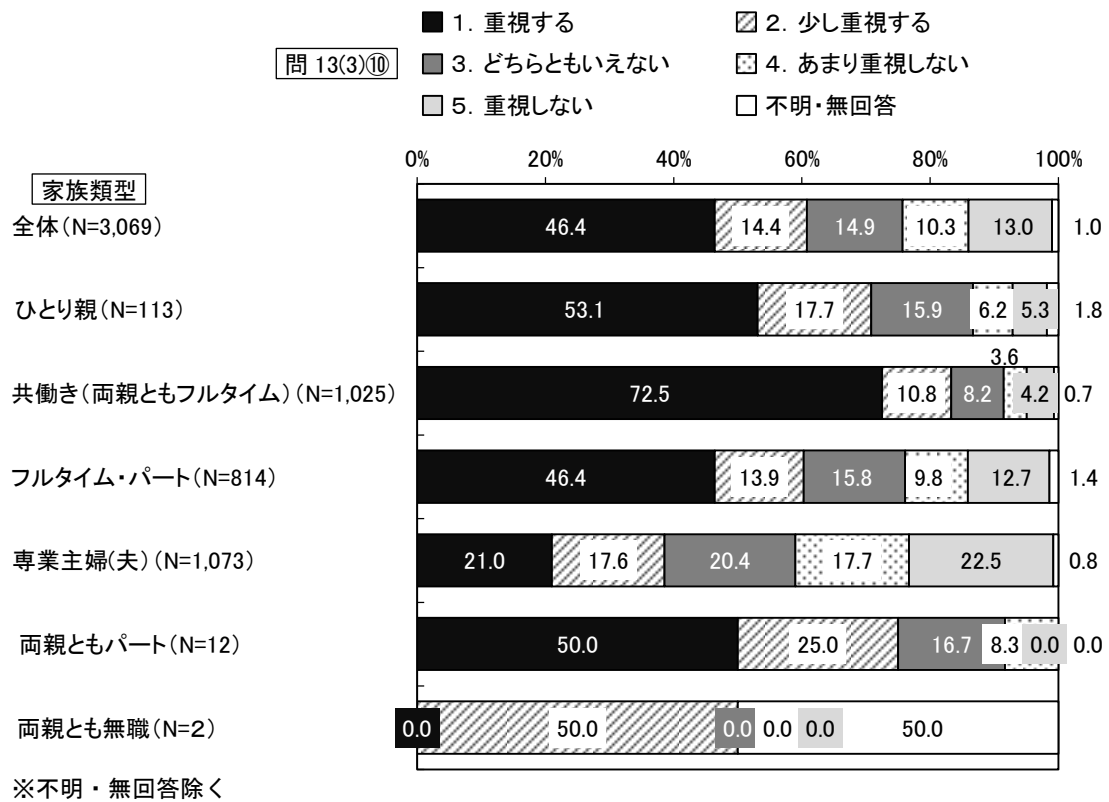
《問 13(3)⑨夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無×家族類型別》

⑨夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無について、「専業主婦（夫）」を除き、「1. 重視する」の割合が最も高く、特に「共働き（両親ともフルタイム）」では7割を超えています。



《問 13(3)⑩低年齢児（0～2歳）の受入れの有無×家族類型別》

⑩低年齢児（0～2歳）の受入れの有無について、「専業主婦（夫）」「両親とも無職」を除き、「1. 重視する」の割合が最も高く、特に「共働き（両親ともフルタイム）」では7割を超えています。



《問 13(3)「重視する」×問 13(1)利用したい施設別(1番目)》

「重視する(「1. 重視する」と「2. 少し重視する」の合計)」を利用したい施設別にみると、「幼稚園(通常の通園時間の利用)」「幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)」では[①教育内容]、「幼稚園+預かり保育(たまに利用)」では[⑤保育士, 教職員等の体制],「認定こども園」では[④給食の有無],「保育園(所)」では[②自宅, 職場から近いなどの地理的条件]が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	① 教育内容	② 自宅・職場から近いなどの地理的条件	③ 通園バスによる送迎の有無	④ 給食の有無	⑤ 保育士, 教職員等の体制	⑥ 施設・設備の良さ	⑦ 保育料, 教材費等の金額	
全体	2,761 90.0	2,830 92.2	1,419 46.2	2,725 88.8	2,868 93.4	2,787 90.9	2,377 77.5	
利用したい施設別(1番目)	幼稚園(通常の通園時間の利用)	586 93.6	557 89.0	387 61.9	490 78.3	576 92.0	556 88.8	497 79.4
	幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)	296 93.1	288 90.6	199 62.5	273 85.8	294 92.5	290 91.2	253 79.6
	幼稚園+預かり保育(たまに利用)	391 93.3	377 90.0	267 63.8	336 80.2	400 95.5	378 90.3	341 81.4
	認定こども園	262 90.9	258 89.6	114 39.6	274 95.2	273 94.8	267 92.7	217 75.4
	保育園(所)	1,099 85.7	1,249 97.4	376 29.3	1,231 95.9	1,197 93.3	1,178 91.8	960 74.8
	小規模(家庭的)保育事業所	39 88.6	43 97.7	16 36.4	42 95.4	41 93.2	41 93.2	37 84.0
	事業所内保育施設	14 87.5	15 93.8	11 68.8	16 100.0	15 93.8	12 75.1	15 93.8
	認可外保育施設	16 100.0	8 50.0	6 37.6	14 87.6	16 100.0	16 100.0	7 43.8
	ベビーシッター	8 100.0	7 87.5	6 75.0	6 75.0	8 100.0	7 87.5	7 87.5
	その他	10 90.9	10 90.9	6 54.6	8 72.7	10 90.9	9 81.8	9 81.8
	上段:件数 下段:%	⑧ 教育・保育の実施時間の長さ	⑨ 夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無	⑩ 低年齢児(0~2歳)の受入れの有無	⑪ 少人数で家庭的な雰囲気かどうか	⑫ 障害のある子どもの受入体制が充実しているかどうか	⑬ 宛名のお子さまの兄弟姉妹や, 友人・知人の子どもが通っている(通っていた)施設かどうか	
全体	2,640 86.0	2,272 74.0	1,867 60.8	967 31.5	714 23.3	1,534 50.0		
利用したい施設別(1番目)	幼稚園(通常の通園時間の利用)	438 69.9	291 46.5	184 29.4	178 28.5	105 16.7	277 44.3	
	幼稚園+預かり保育(ほぼ毎日利用)	286 89.9	261 82.1	142 44.7	113 35.5	74 23.2	134 42.1	
	幼稚園+預かり保育(たまに利用)	336 80.2	262 62.6	144 34.3	123 29.3	103 24.6	192 45.8	
	認定こども園	267 92.7	252 87.5	218 75.7	78 27.0	59 20.5	148 51.4	
	保育園(所)	1,202 93.7	1,104 86.0	1,105 86.1	408 31.8	320 24.9	716 55.8	
	小規模(家庭的)保育事業所	42 95.5	37 84.0	34 77.3	36 81.8	13 29.6	18 40.9	
	事業所内保育施設	15 93.8	15 93.8	13 81.3	5 31.3	5 31.3	7 43.8	
	認可外保育施設	13 81.3	11 68.8	6 37.6	7 43.8	4 25.1	8 50.1	
	ベビーシッター	5 62.5	4 50.0	4 50.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	
	その他	9 81.8	8 72.8	6 54.6	8 72.8	5 45.5	7 63.7	

※不明・無回答除く

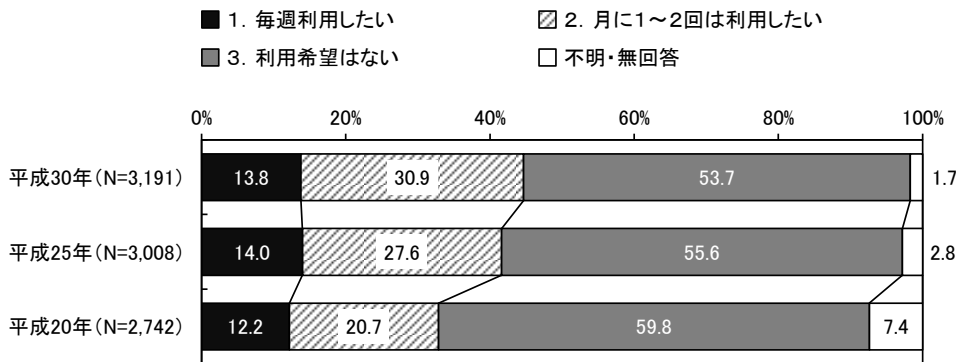
4 土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

問 14(1) 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。（○はそれぞれ1つずつ）希望する場合は、利用したい時間を24時間制で（ ）内にご記入ください。

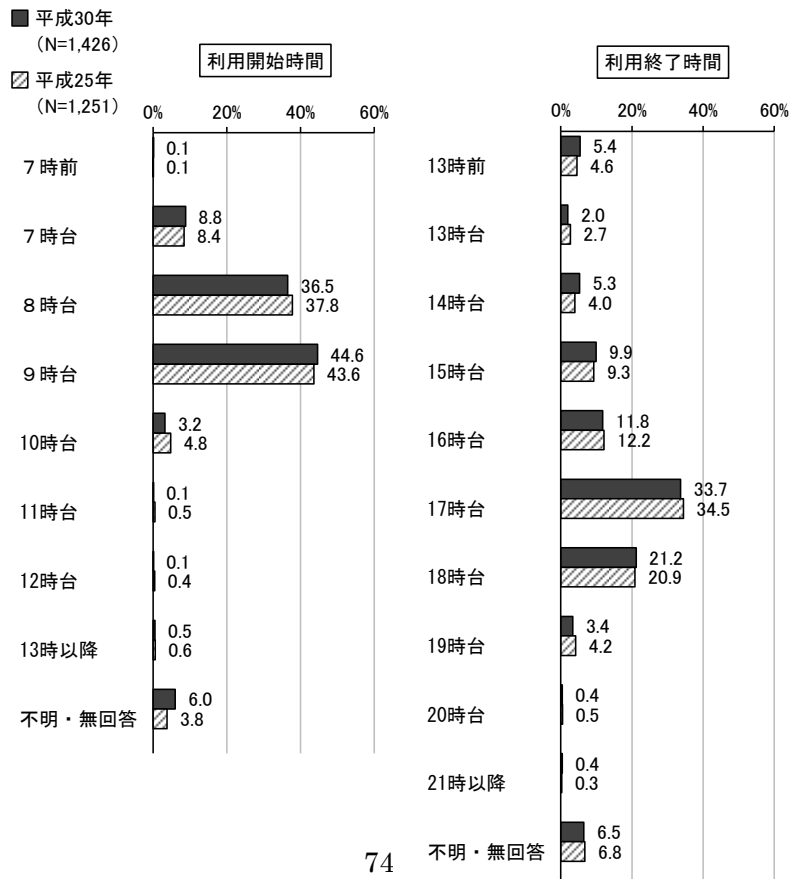
①土曜日

①土曜日は、「3. 利用希望はない」が53.7%と最も高く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が30.9%となっています。平成20年と比較すると、「2. 月に1～2回は利用したい」が10.2ポイント高くなっています。

利用したい時間について、開始時間は「9時台」が44.6%と最も高く、次いで「8時台」が36.5%となっています。終了時間は「17時台」が33.7%と最も高く、次いで「18時台」が21.2%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



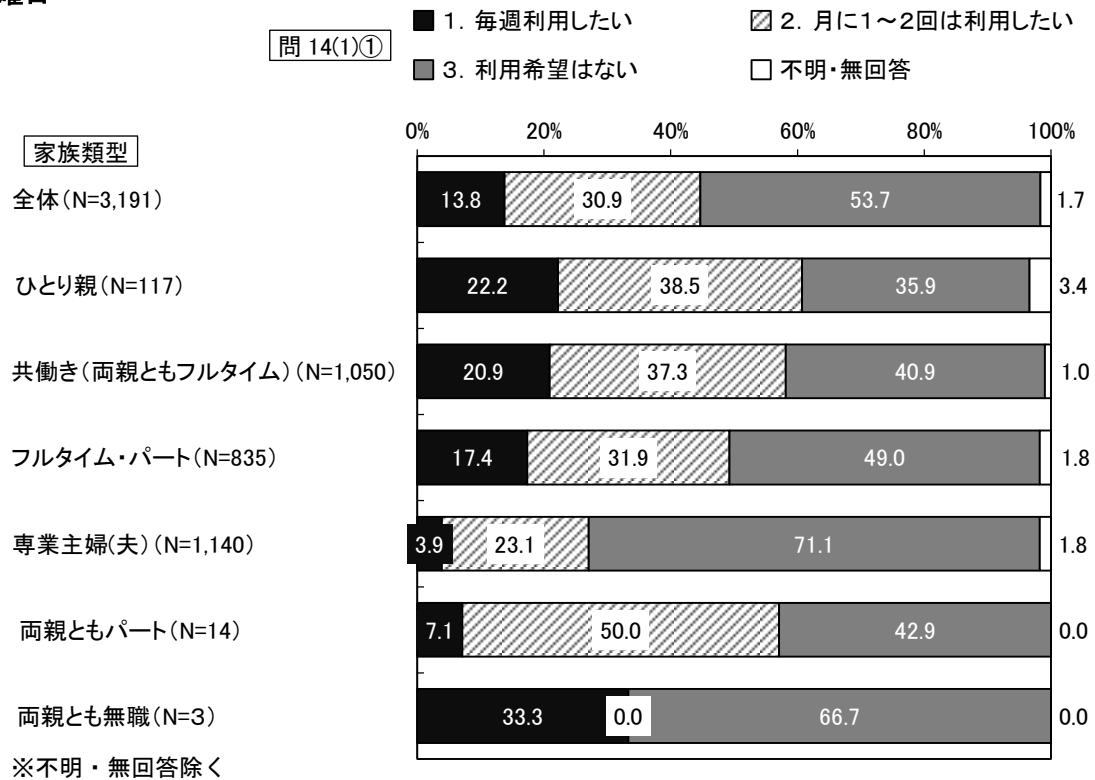
◆（「1」「2」の場合）利用したい時間



《問 14(1)①土曜日×家族類型別》

①土曜日について、「利用したい（「1. 毎週利用したい」と「2. 月に1～2回は利用したい」の合計）」は、[ひとり親]で60.7%，[共働き（両親ともフルタイム）]で58.2%，[フルタイム・パート]で49.3%となっています。

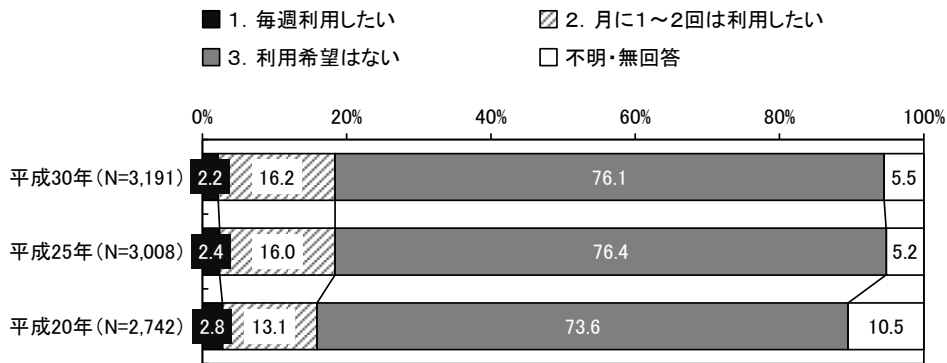
①土曜日



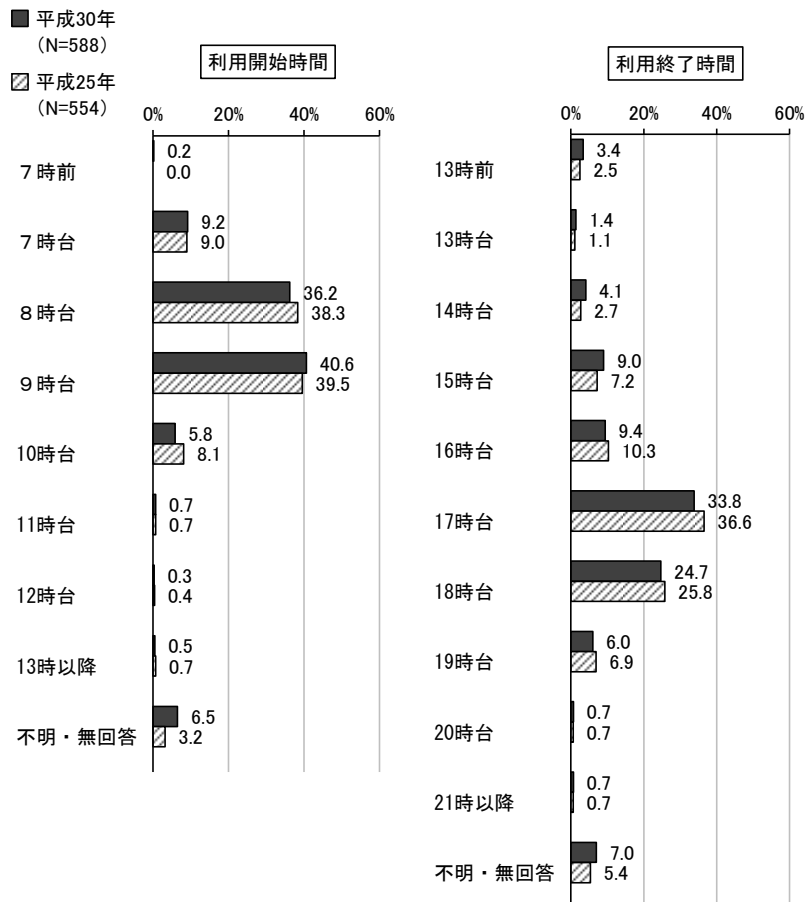
②日曜日・祝日

②日曜日・祝日は、「3. 利用希望はない」が76.1%と最も高く、次いで「2. 月に1～2回は利用したい」が16.2%となっています。過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい時間について、開始時間は「9時台」が40.6%と最も高く、次いで「8時台」が36.2%となっています。終了時間は「17時台」が33.8%と最も高く、次いで「18時台」が24.7%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



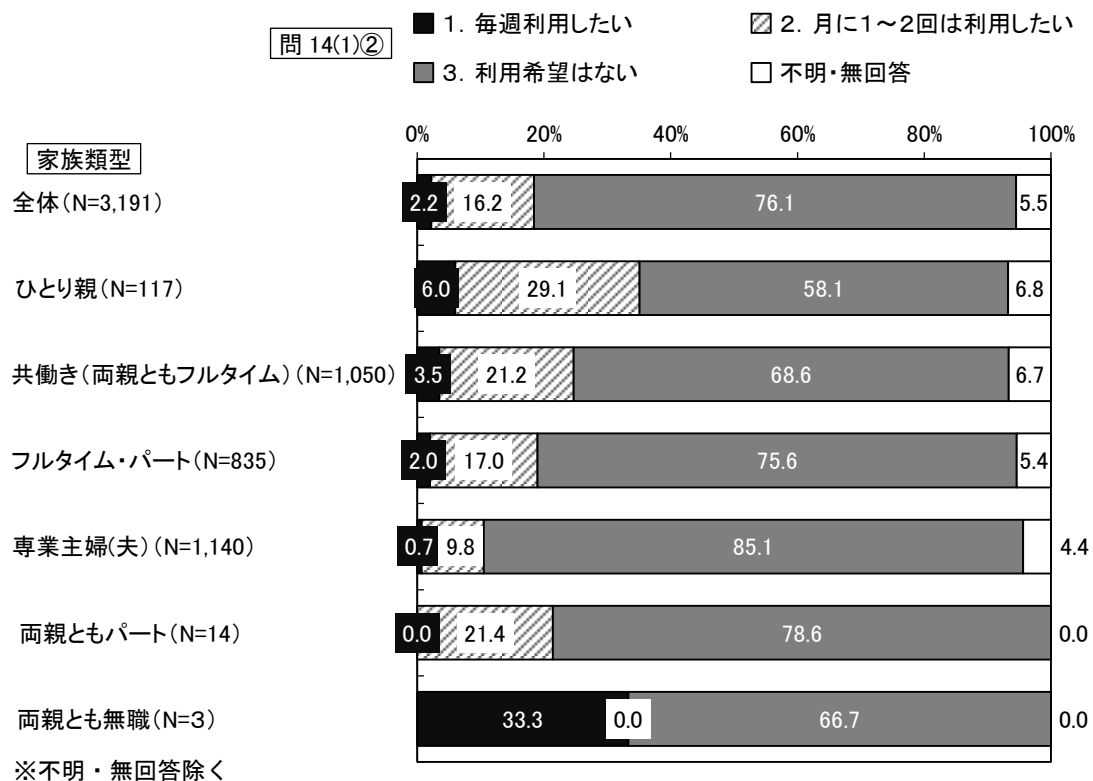
◆(「1」「2」の場合)利用したい時間



《問 14(1)②日曜日・祝日×家族類型別》

②日曜日・祝日について、「利用したい（「1. 毎週利用したい」と「2. 月に1～2回は利用したい」の合計）」は、[ひとり親]で35.1%、[共働き（両親ともフルタイム）]で24.7%、[フルタイム・パート]で19.0%となっています。

②日曜日・祝日

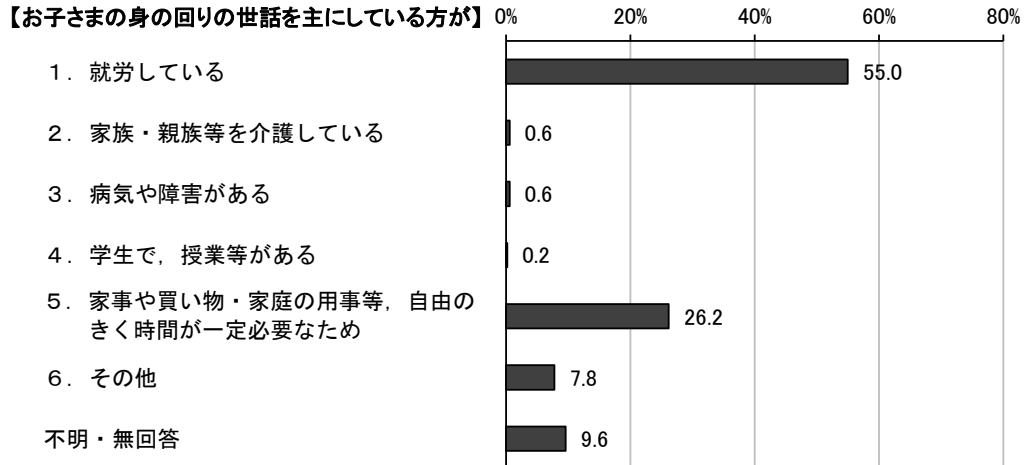


問 14(1)で「1」または「2」と答えた方

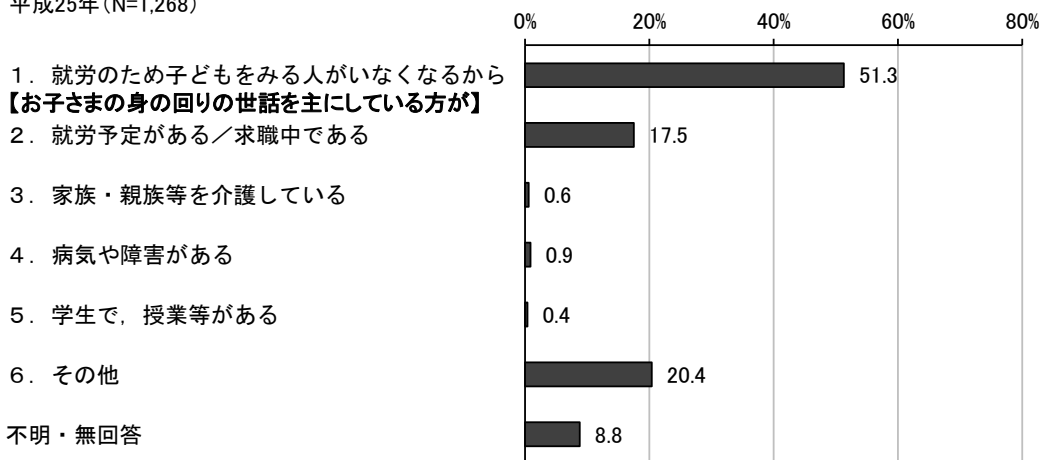
問 14(2) 土曜日、日曜日・祝日にお子さまを預けたい主な理由は何ですか。(〇は1つ)

「1. 就労している」が55.0%と最も高く、次いで「5. 家事や買い物、家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため」が26.2%となっています。

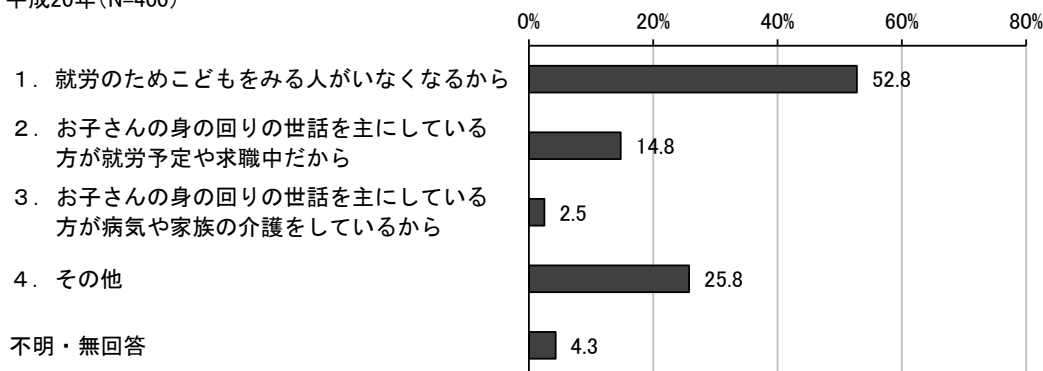
平成30年(N=1,435)



平成25年(N=1,268)



平成20年(N=400)

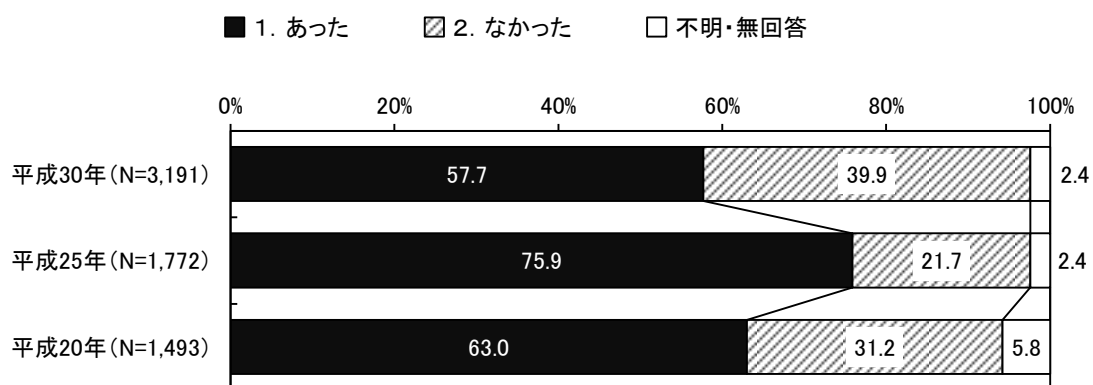


5 お子さまの病気・病後時の対応について

問 15(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。(〇は1つ)

「1. あった」が57.7%、「2. なかった」が39.9%となっています。

平成25年と比較すると、「1. あった」が18.2ポイント低くなっています。



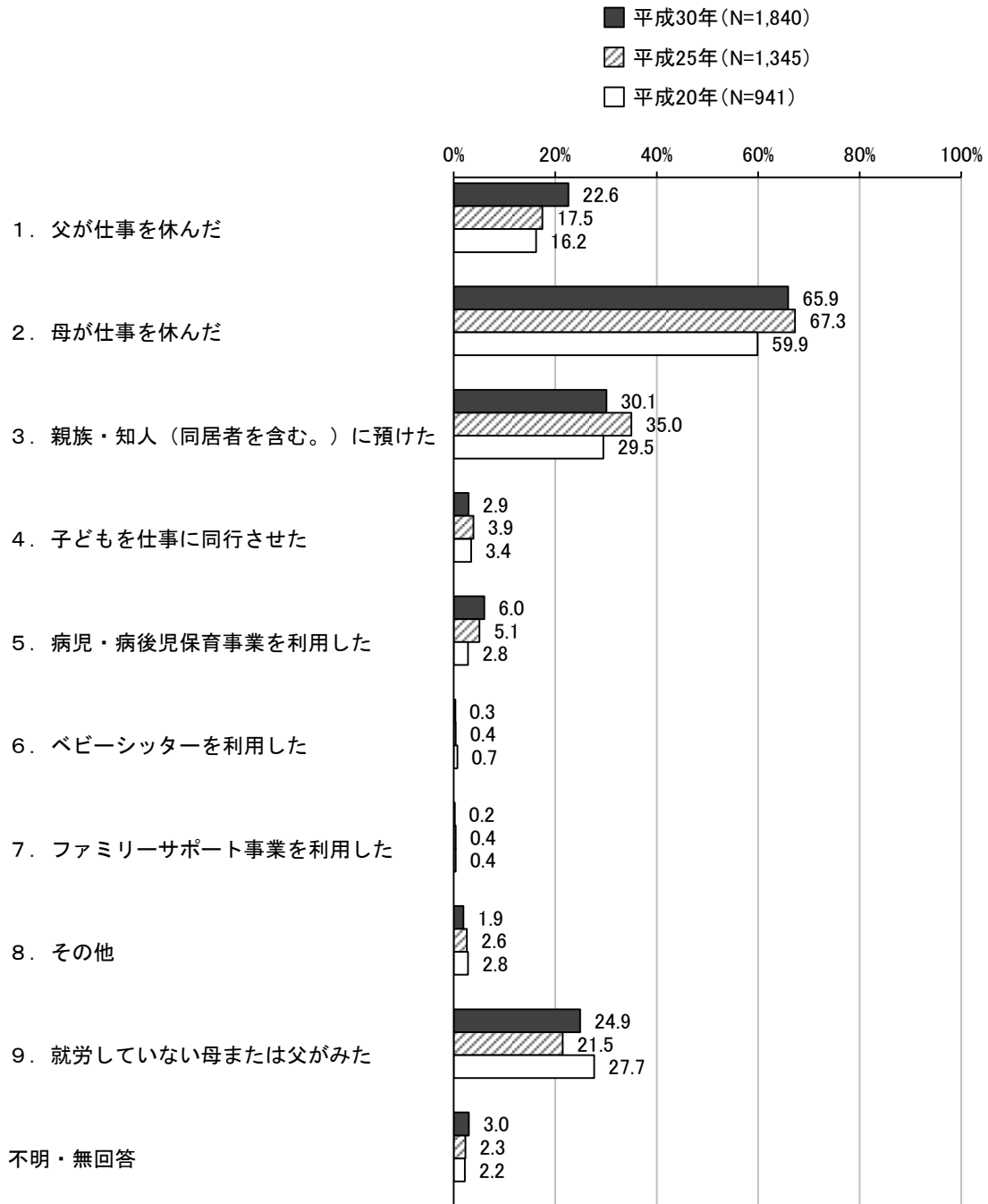
※平成25年、平成20年は、前段の設問で、ある回答をした方のみを対象とした限定設問のため、サンプル数が異なる

問 15(1)で「1」と答えた方

問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
また、それぞれの日数をご記入ください。

「2. 母が仕事を休んだ」が65.9%と最も高く、次いで「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が30.1%、「9. 就労していない母または父がみた」が24.9%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 父が仕事を休んだ」が平成25年より5.1ポイント、平成20年より6.4ポイント高くなっています。



《問 15(2)×家族類型別》

「ひとり親」「共働き（両親ともフルタイム）」「フルタイム・パート」では「母が仕事を休んだ」の割合が最も高く、次いで「親族・知人（同居者を含む。）に預けた」となっています。

「共働き（両親ともフルタイム）」で「父が仕事を休んだ」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

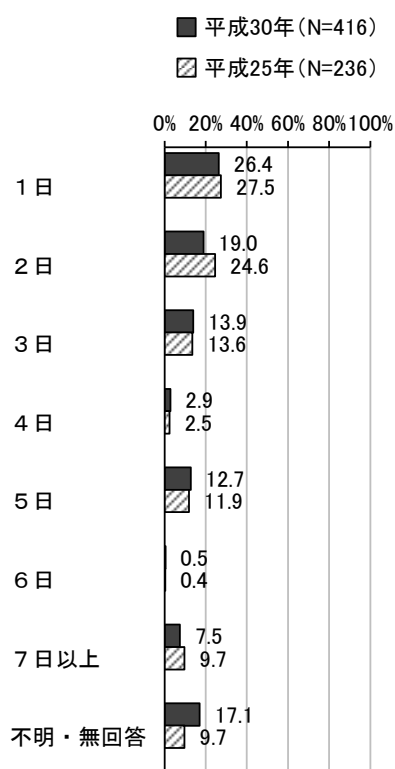
上段:件数 下段:%	合計	父が仕事を 休んだ	母が仕事を 休んだ	親族・知人 (同居者を含 む。)に 預けた	子どもを仕 事に同行さ せた	病児・病後 児保育事業 を利用した	ベビーシッ ターを利用 した	ファミリーサ ポート事業 を利用した	その他	就労してい ない母また は父がみた	不明・ 無回答	
全体	1,840 100.0	416 22.6	1,212 65.9	553 30.1	53 2.9	111 6.0	5 0.3	3 0.2	35 1.9	459 24.9	56 3.0	
家族類 型別	ひとり親	84 100.0	3 3.6	62 73.8	37 44.0	4 4.8	8 9.5	1 1.2	2 2.4	8 9.5	11 13.1	2 2.4
	共働き(両親とも フルタイム)	762 100.0	274 36.0	630 82.7	321 42.1	27 3.5	72 9.4	4 0.5	1 1.1	18 2.4	37 4.9	20 2.6
	フルタイム・パート	573 100.0	106 18.5	470 82.0	171 29.8	16 2.8	27 4.7	0 0.0	0 0.0	6 1.0	60 10.5	20 3.5
	専業主婦(夫)	390 100.0	26 6.7	29 7.4	15 3.8	3 0.8	2 0.5	0 0.0	0 0.0	3 0.8	343 87.9	12 3.1
	両親ともパート	11 100.0	1 9.1	9 81.8	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	両親とも無職	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0

※不明・無回答除く

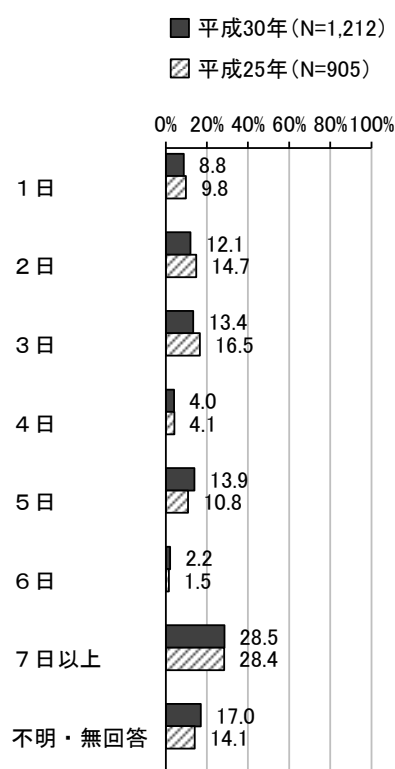
◆年間の日数

「2. 母が仕事を休んだ」「8. その他」「9. 就労していない母または父がみた」では「7日以上」, 「1. 父が仕事を休んだ」「4. 子どもを仕事に同行させた」では「1日」, 「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」では「2日」, 「5. 病児・病後児保育事業を利用した」では「2日」「7日以上」の割合が高くなっています。

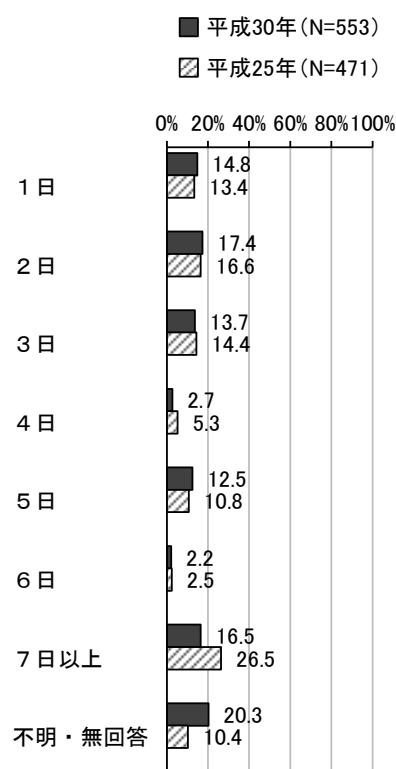
1. 父が仕事を休んだ



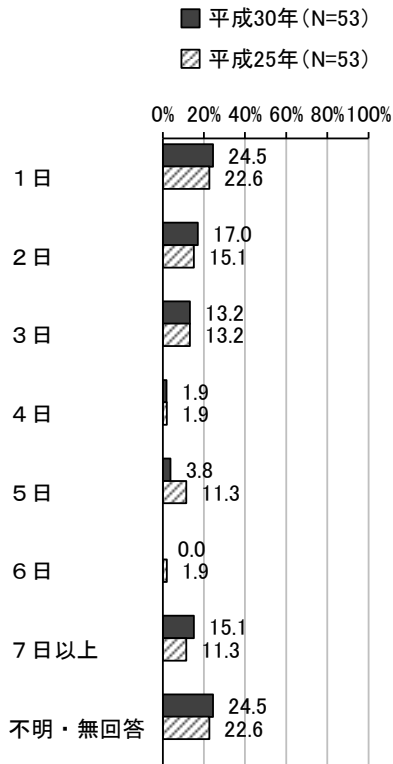
2. 母が仕事を休んだ



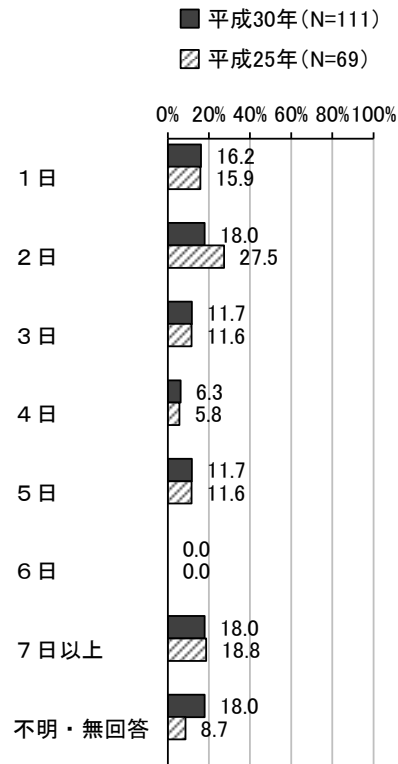
3. 親族・知人(同居者を含む.) に預けた



4. 子どもを仕事に同行させた



5. 病児・病後児保育事業を利用した



6. ベビーシッターを利用した

平成30年 (N=5)

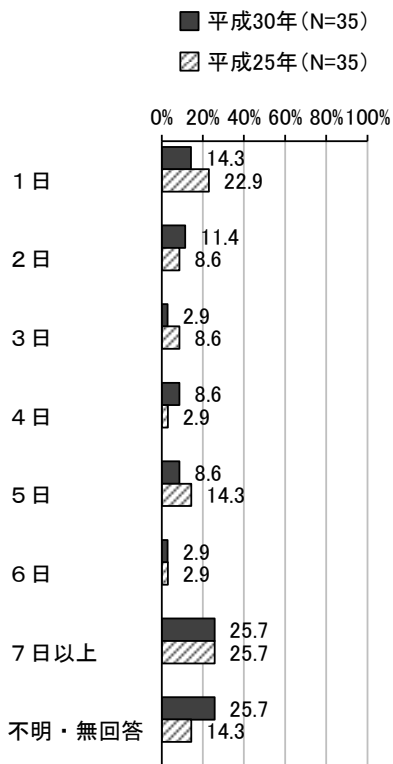
	件数
3日	1
7日以上	2
不明・無回答	2

7. ファミリーサポート事業を利用した

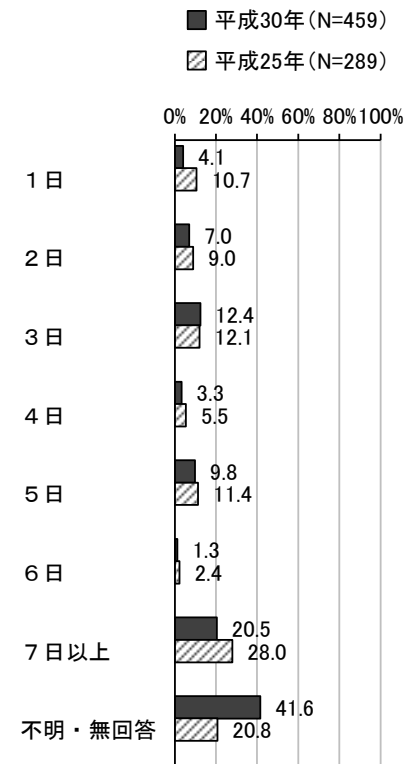
平成30年 (N=3)

	件数
1日	2
不明・無回答	1

8. その他



9. 就労していない母または父がみた



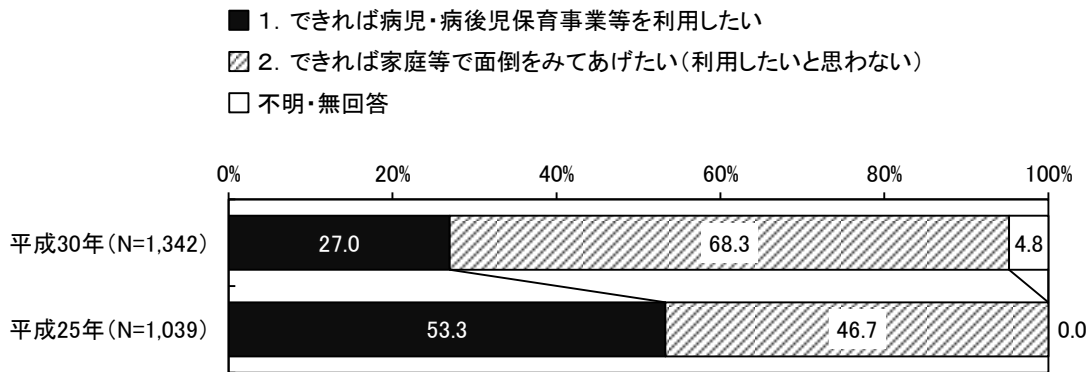
問 15(2)で「1～4」と答えた方

問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(○は1つ)
また利用したい日数についてもご記入ください。

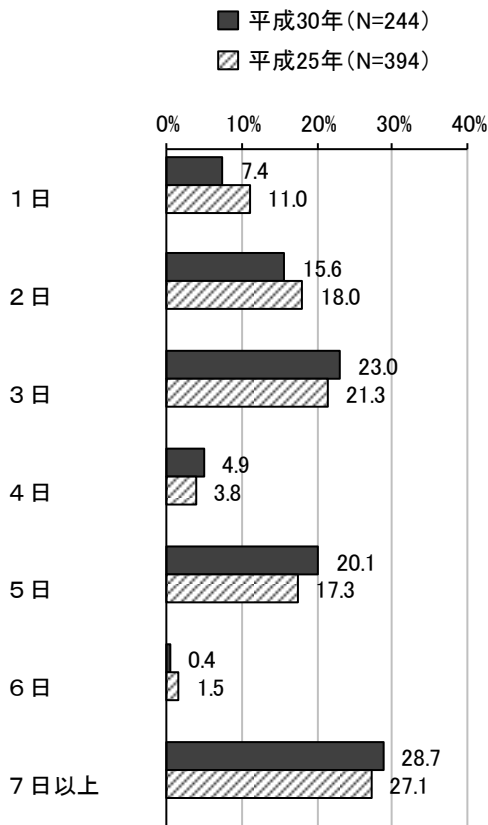
「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が 27.0%、「2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない)」が 68.3%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が 26.3 ポイント低くなっています。

利用したい日数は、「7日以上」が 28.7%と最も高く、次いで「3日」が 23.0%、「5日」が 20.1%となっています。平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。



◆(「1」の場合)利用したい日数



※不明・無回答除く

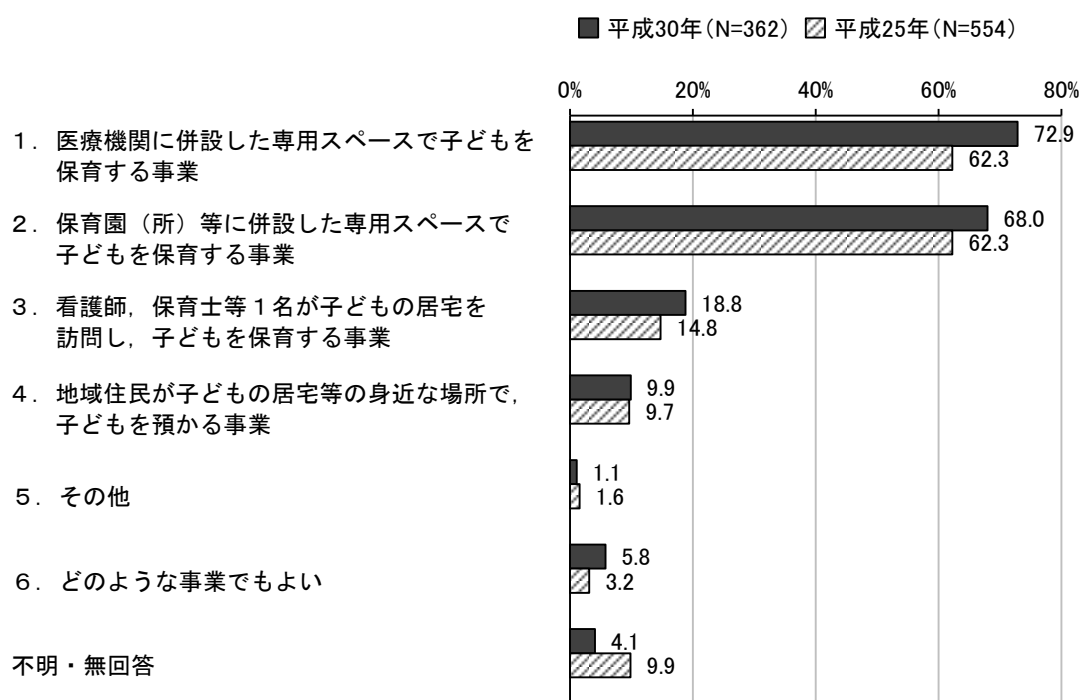
問 15(3)で「1」と答えた方

問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。

(〇はいくつでも)

「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が72.9%と最も高く、次いで「2. 保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が68.0%、「3. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業」が18.8%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が10.6ポイント、「2. 保育園（所）等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が5.7ポイント高くなっています。

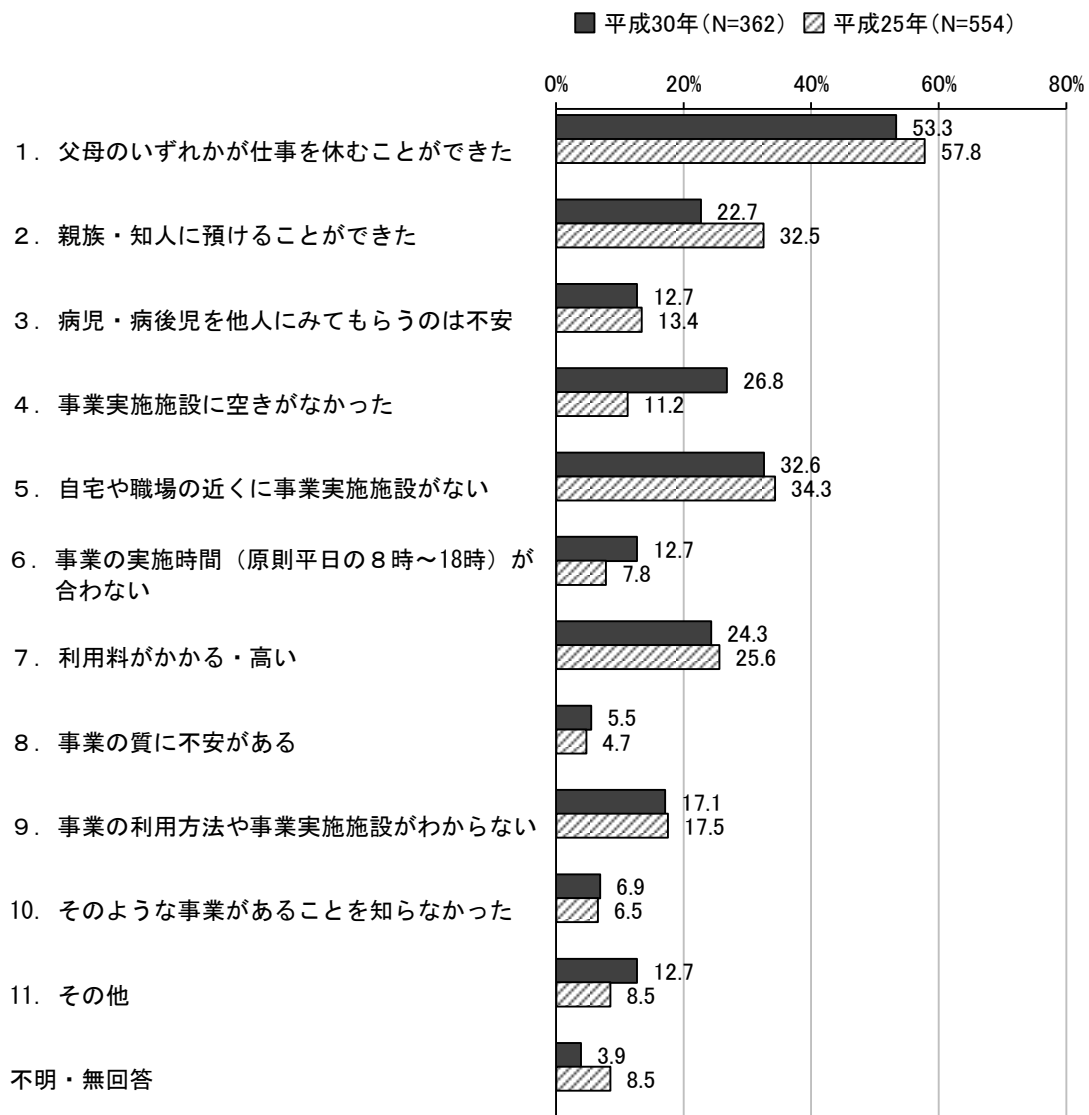


問 15(3)で「1」と答えた方

問 15(5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた」が53.3%と最も高く、次いで「5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が32.6%、「4. 事業実施施設に空きがなかった」が26.8%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 事業実施施設に空きがなかった」が15.6ポイント高く、「2. 親族・知人に預けることができた」が9.8ポイント低くなっています。

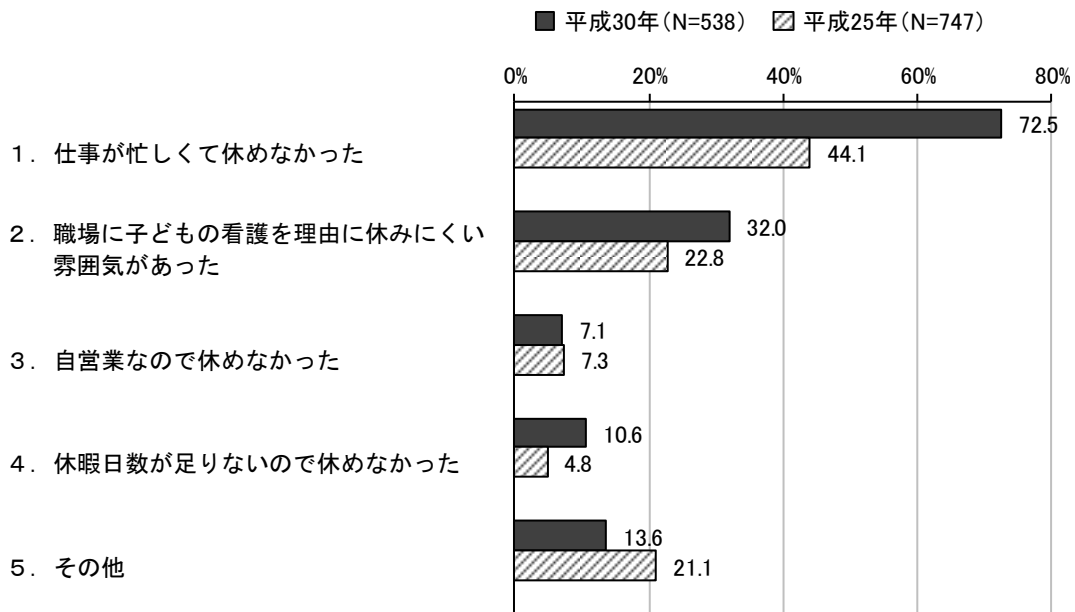


問 15(2)で「3～8」のいずれかを選んだ方

問 15(6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が72.5%と最も高く、次いで「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が32.0%、「4. 休暇日数が足りないので休めなかった」が10.6%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が28.4ポイント高くなっています。



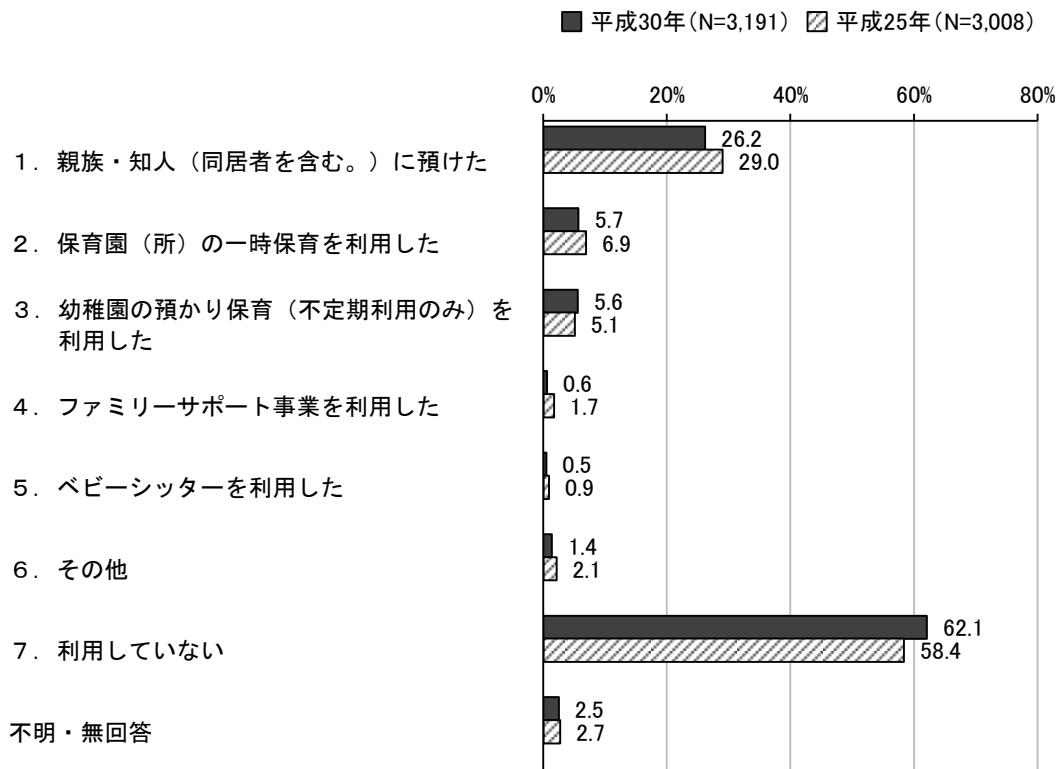
※不明・無回答除く

6 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

問 16(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも) また、利用したことがある場合は、() 内にそれぞれの日数(半日程度でも1日としてカウント)をご記入ください。

「7. 利用していない」が62.1%と最も高く、次いで「1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた」が26.2%、「2. 保育園(所)の一時保育を利用した」が5.7%となっています。

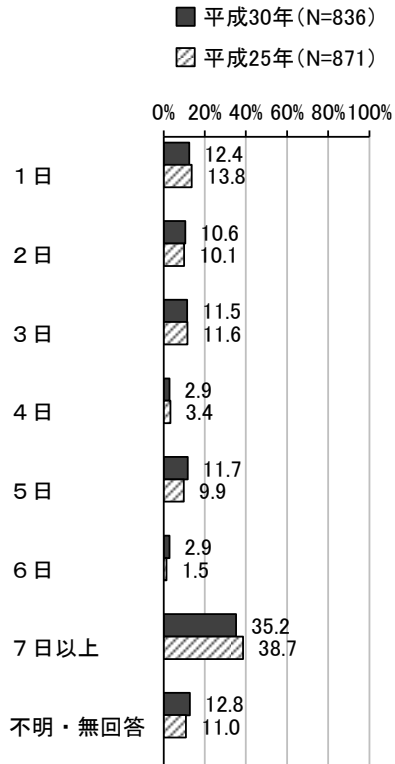
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



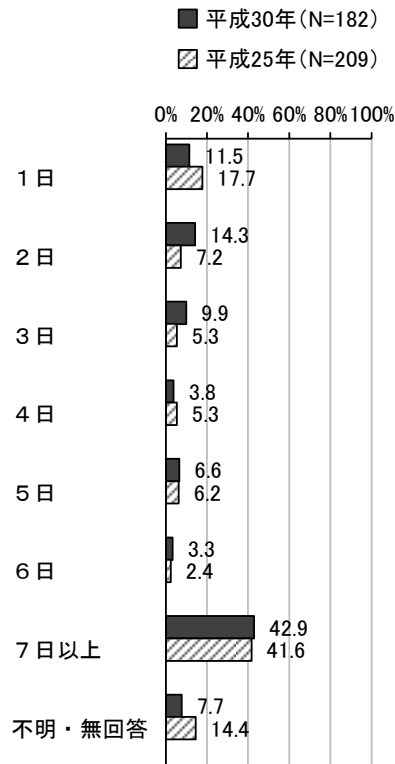
◆年間の日数

「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」「2. 保育園（所）の一時保育を利用した」「3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ）を利用した」「6. その他」では「7日以上」,「4. ファミリーサポート事業を利用した」では「1日」,「5. ベビーシッターを利用した」では「5日」の割合が最も高くなっています。

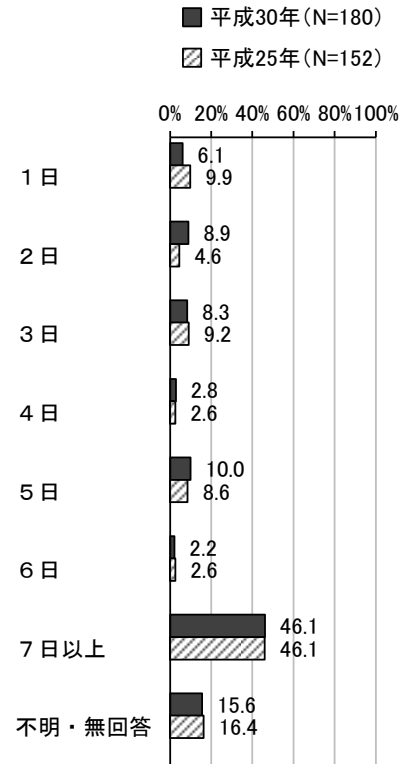
1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた



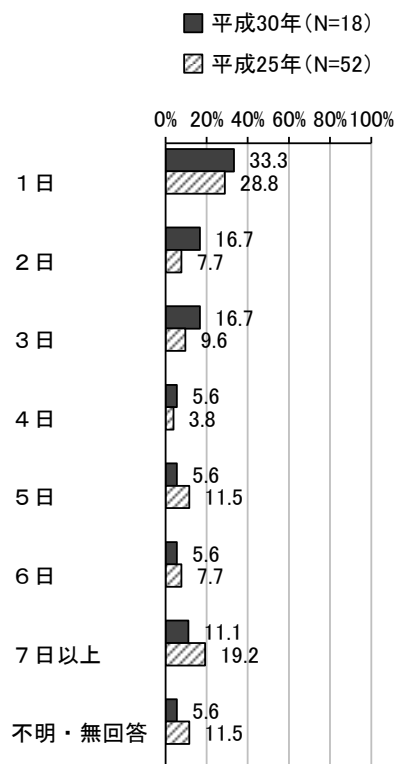
2. 保育園(所)の一時保育を利用した



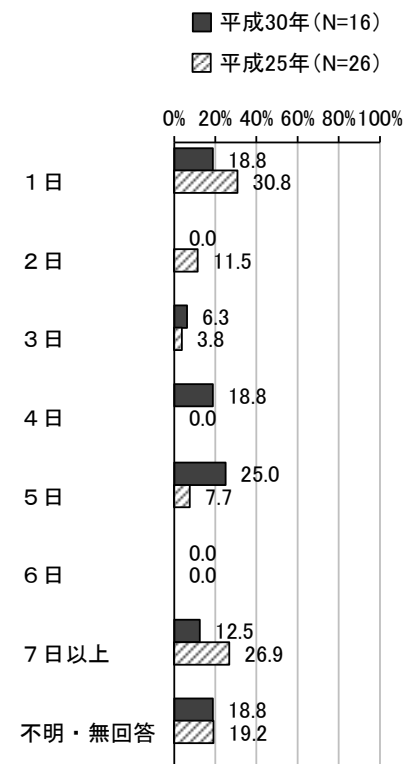
3. 幼稚園の預かり保育(不定期利用のみ)を利用した



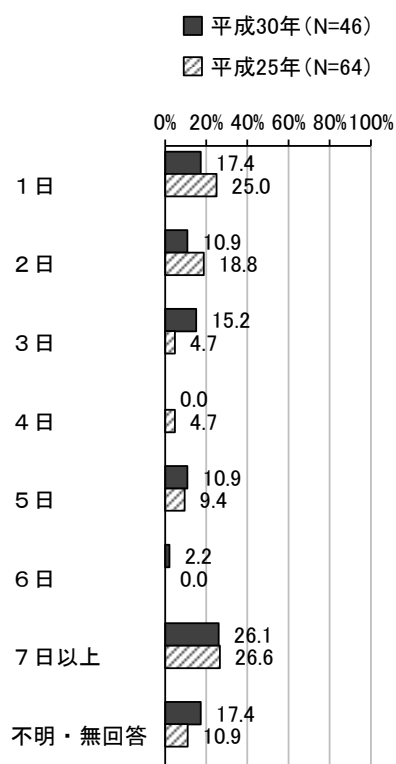
4. ファミリーサポート事業を利用した



5. ベビーシッターを利用した



6. その他

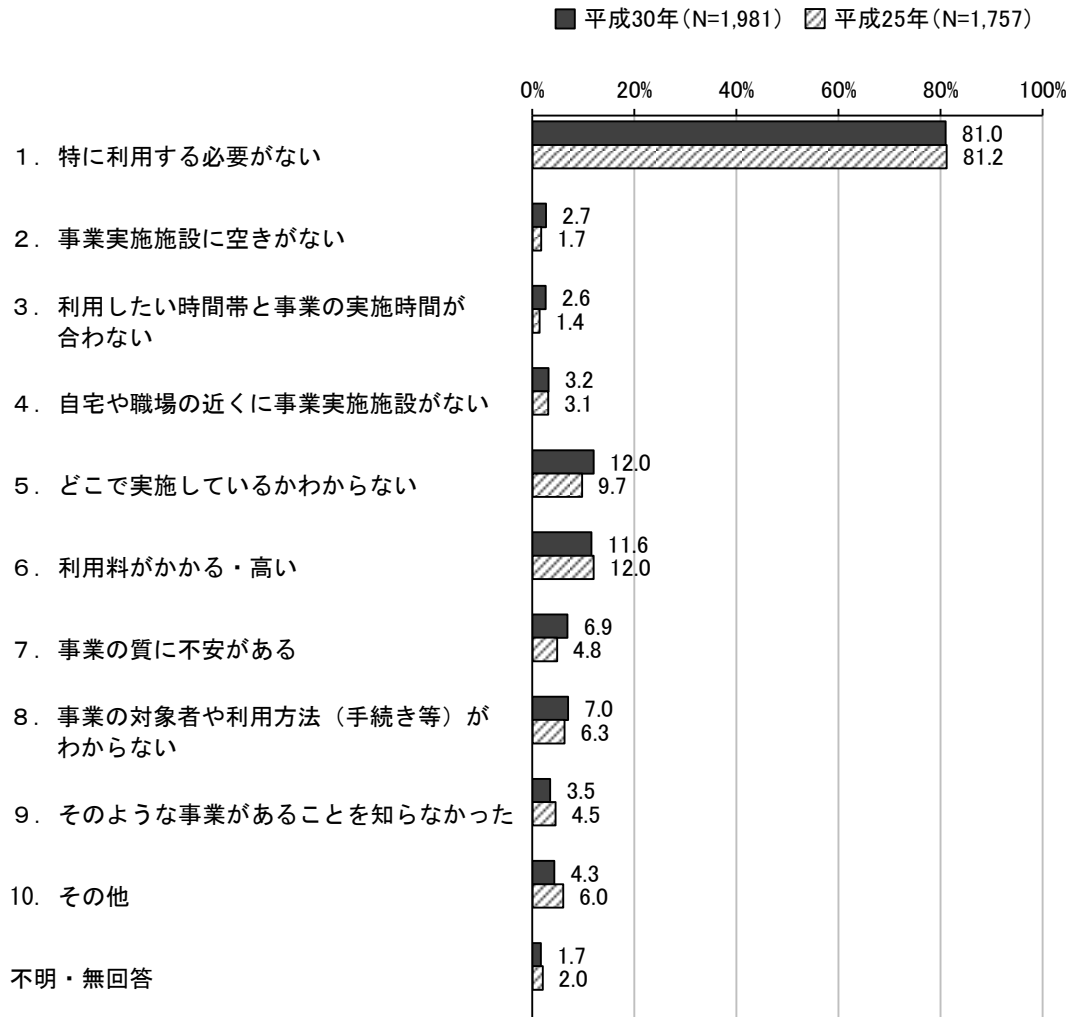


問 16(1)で「7」と答えた方

問 16(2) 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

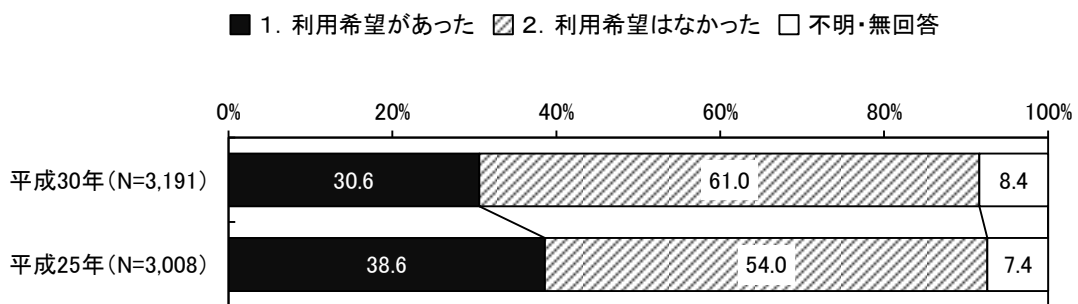
「1. 特に利用する必要がない」が81.0%と最も高く、次いで「5. どこで実施しているかわからない」が12.0%、「6. 利用料がかかる・高い」が11.6%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

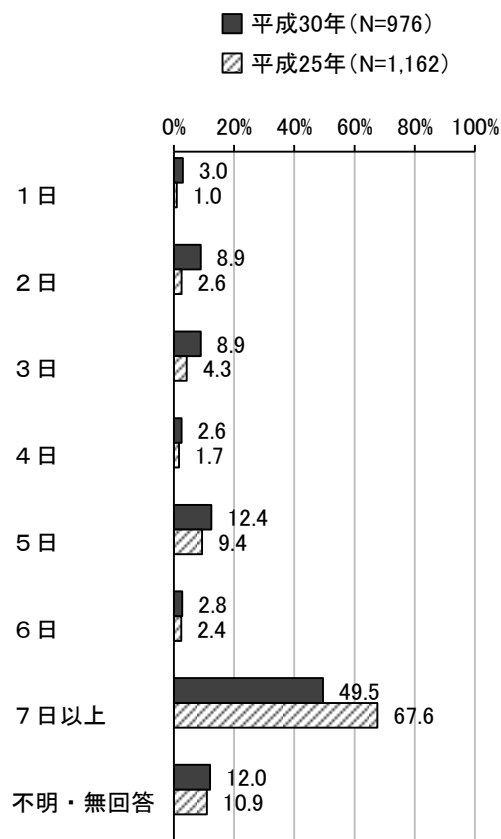


問 17(1) この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。(○は1つ)
 利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数(半日程度でも1日としてカウント)を()内にご記入ください。

「1. 利用希望があった」が30.6%、「2. 利用希望はなかった」が61.0%となっています。
 平成25年と比較すると、「1. 利用希望があった」が8.0ポイント低くなっています。
 年間の希望日数は、「7日以上」が49.5%と最も高く、次いで「5日」が12.4%となっています。
 平成25年と比較すると、「7日以上」が18.1ポイント低くなっています。



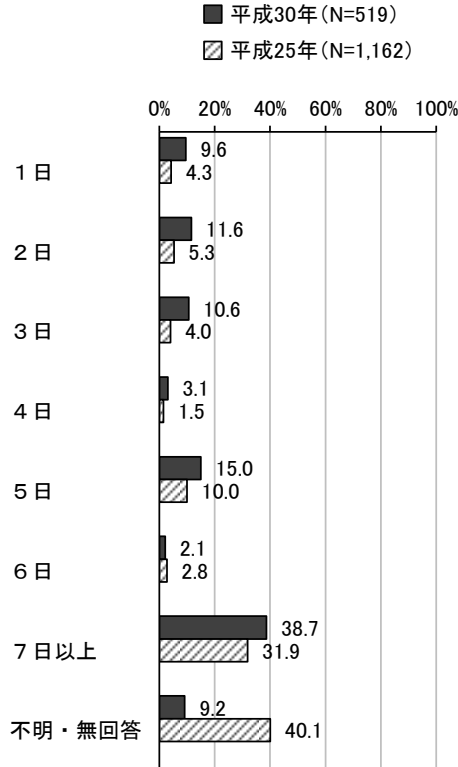
◆(「1」の場合)年間の希望日数



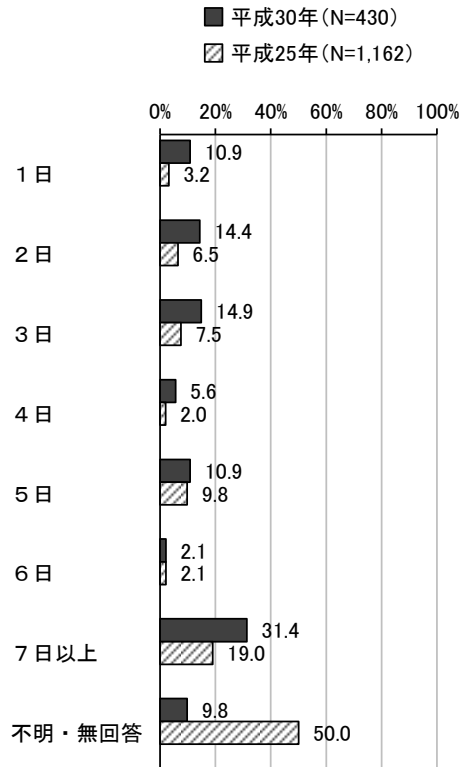
◆(「1」の場合)理由別の年間希望日数

いずれの理由も「7日以上」の割合が最も高くなっています。

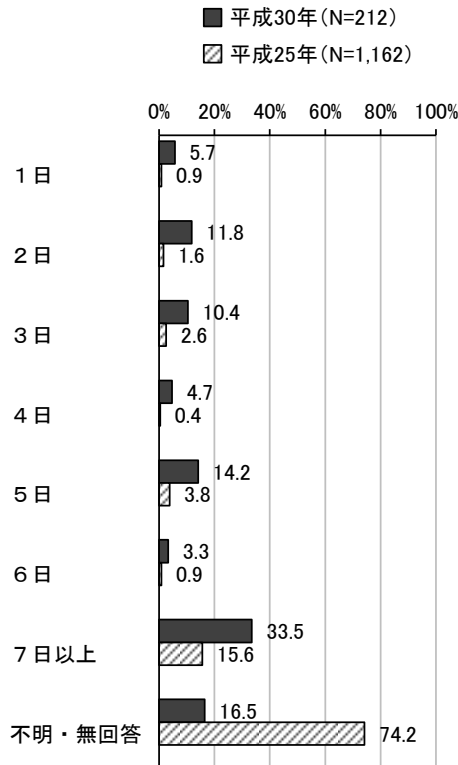
①私用, リフレッシュ目的



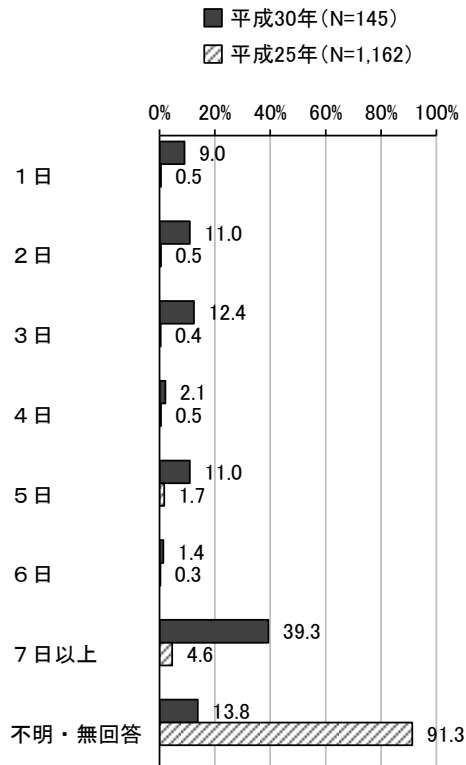
②冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事, 保護者や兄弟姉妹の病気等



③不定期の就労



④その他

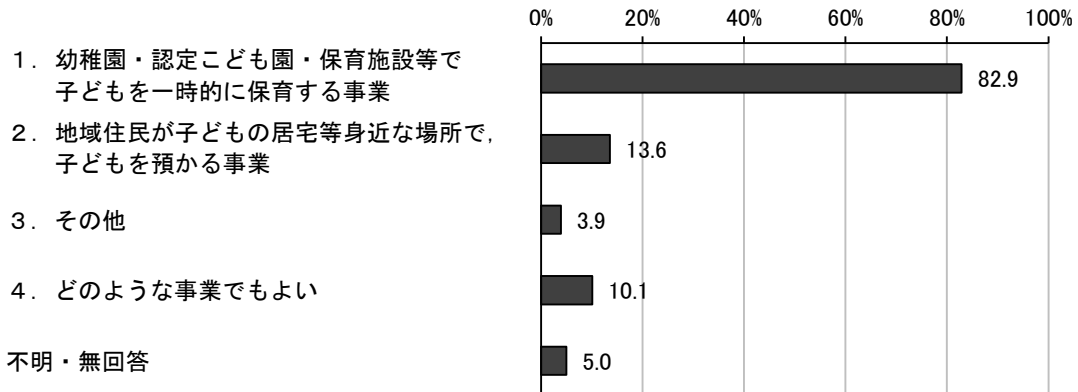


問 17(1)で「1」と答えた方

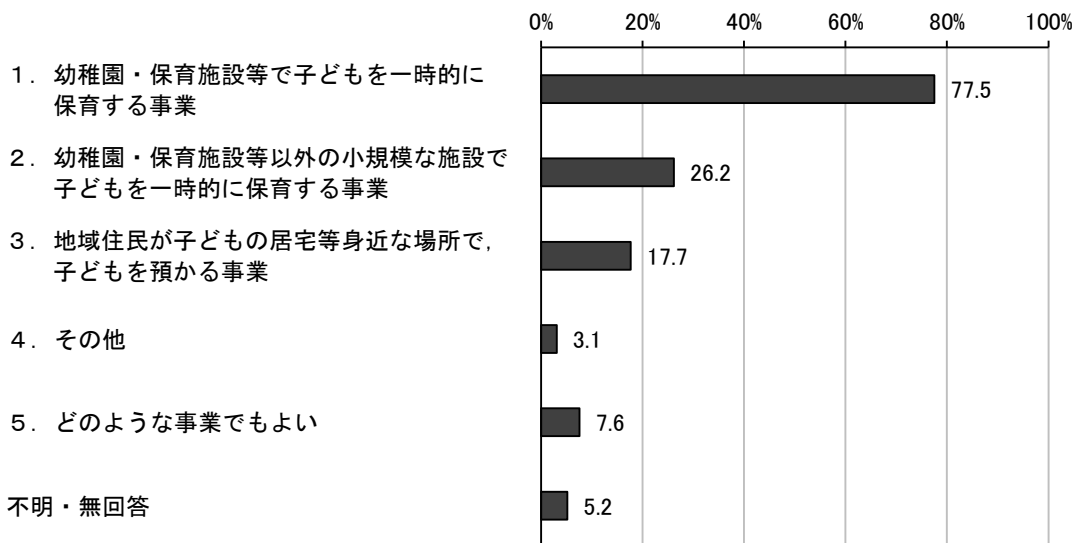
問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。(〇はいくつでも)

「1. 幼稚園・認定こども園・保育施設等で子どもを一時的に保育する事業」が82.9%と最も高く、次いで「2. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が13.6%、「4. どのような事業でもよい」が10.1%となっています。

平成30年(N=976)



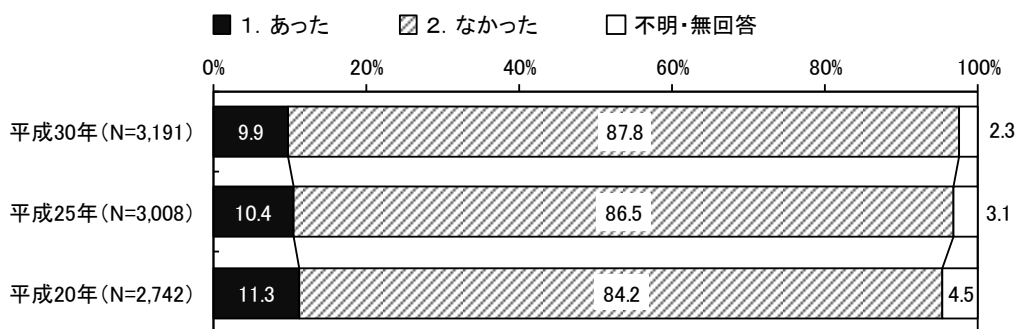
平成25年(N=1,162)



7 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

問 18(1) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（○は1つ）

「1. あった」が9.9%、「2. なかった」が87.8%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。

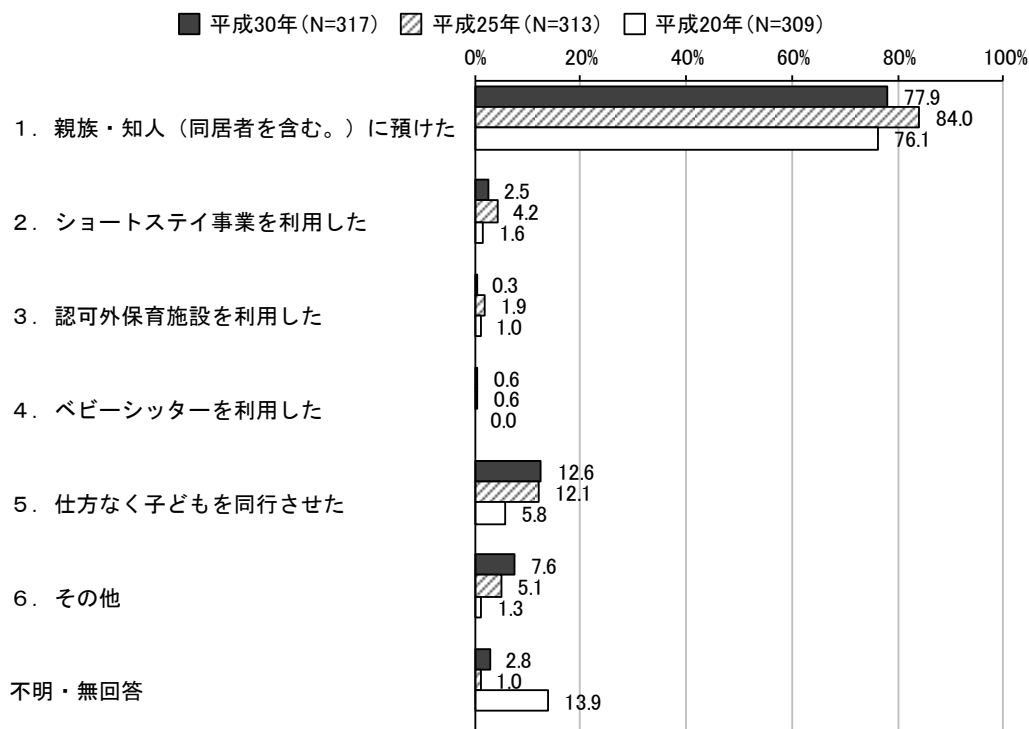


問 18(1)で「1」と答えた方

問 18(2) この1年間の対処方法についてお答えください。（○はいくつでも）また、（ ）内にそれぞれの泊数をご記入ください。

その他を除き、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が77.9%と最も高く、次いで「5. 仕方なく子どもを同行させた」が12.6%、「2. ショートステイ事業を利用した」が2.5%となっています。

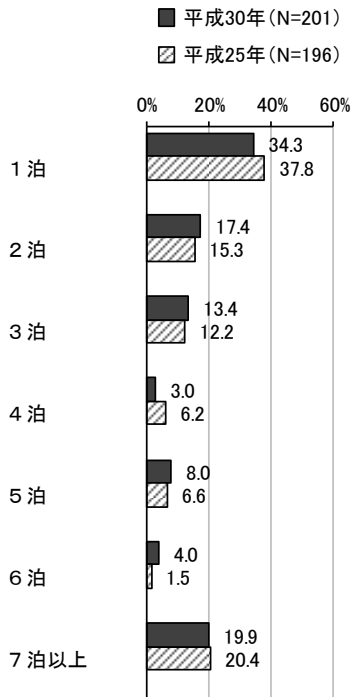
平成25年と比較すると、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が6.1ポイント低く、平成20年と比較すると、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が6.8ポイント高くなっています。



◆年間の泊数

年間の泊数は、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」「5. 仕方なく子どもを同行させた」では「1泊」の割合が最も高くなっています。

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



2. ショートステイ事業を利用した

平成30年(N=8)

	件数
7泊以上	1
不明・無回答	7

3. 認可外保育施設を利用した

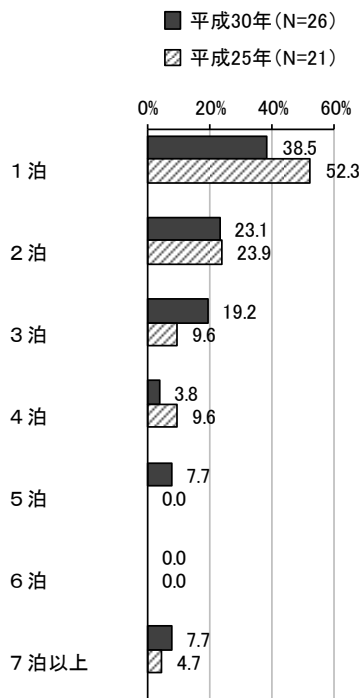
平成30年(N=1)

	件数
4泊	1

4. ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

5. 仕方なく子どもを同行させた



6. その他

平成30年(N=5)

	件数
1泊	3
6泊	1
7泊以上	1

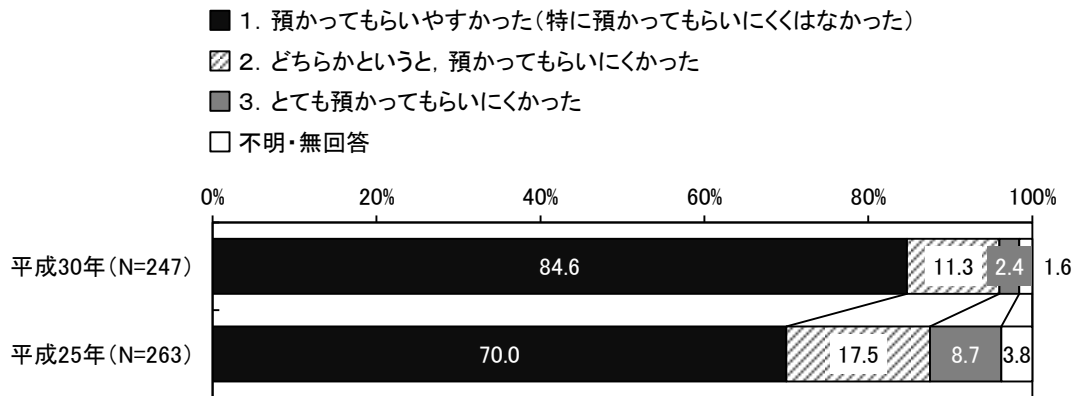
※不明・無回答除く

問 18(2)で「1」と答えた方

問 18(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(〇は1つ)

「1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)」が84.6%と最も高く、次いで「2. どちらかという、預かってもらいにくかった」が11.3%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)」が14.6ポイント高くなっています。



8 地域の子育て支援のための事業の利用等について

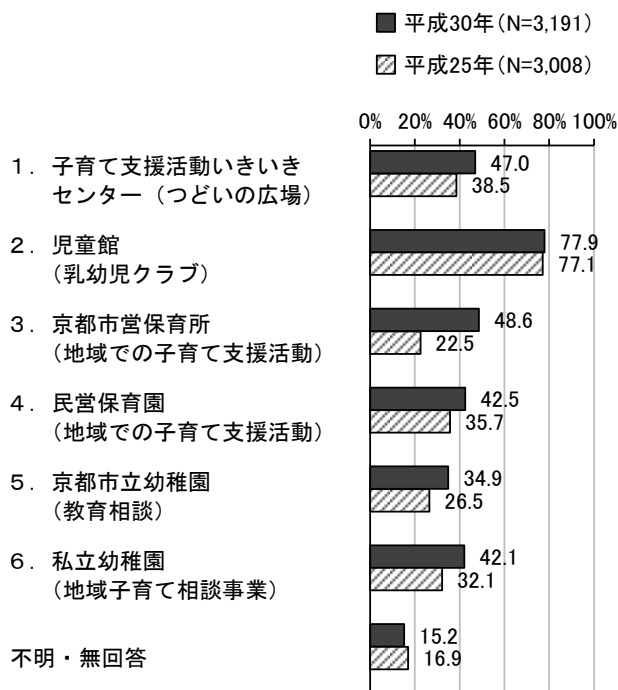
問 19(1) 地域の子育て支援事業の利用等について、「A」及び「B-1」についてお答えください。

(○はそれぞれいくつでも)すでに利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数を「B-2」の()内にご記入ください。

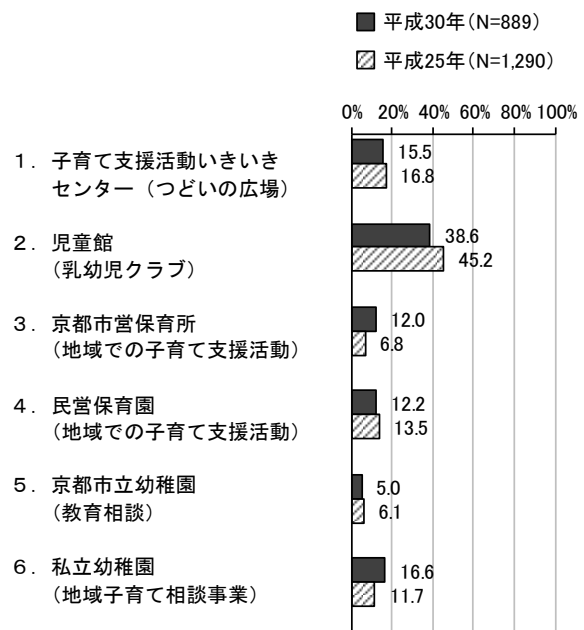
A 知っている事業は、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が77.9%と最も高く、次いで「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」が48.6%、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が47.0%となっています。平成25年と比較すると、「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」が26.1ポイント、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が8.5ポイント高くなっています。

B-1 利用している事業は、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が38.6%と最も高く、次いで「6. 私立幼稚園(地域子育て相談事業)」が16.6%、「1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)」が15.5%となっています。平成25年と比較すると、「2. 児童館(乳幼児クラブ)」が6.6ポイント低くなっています。

◆A 知っている



◆B-1 利用している



※「3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)」…平成25年は「3. 京都市営保育所(あい・京(みやこ)プラザ)」

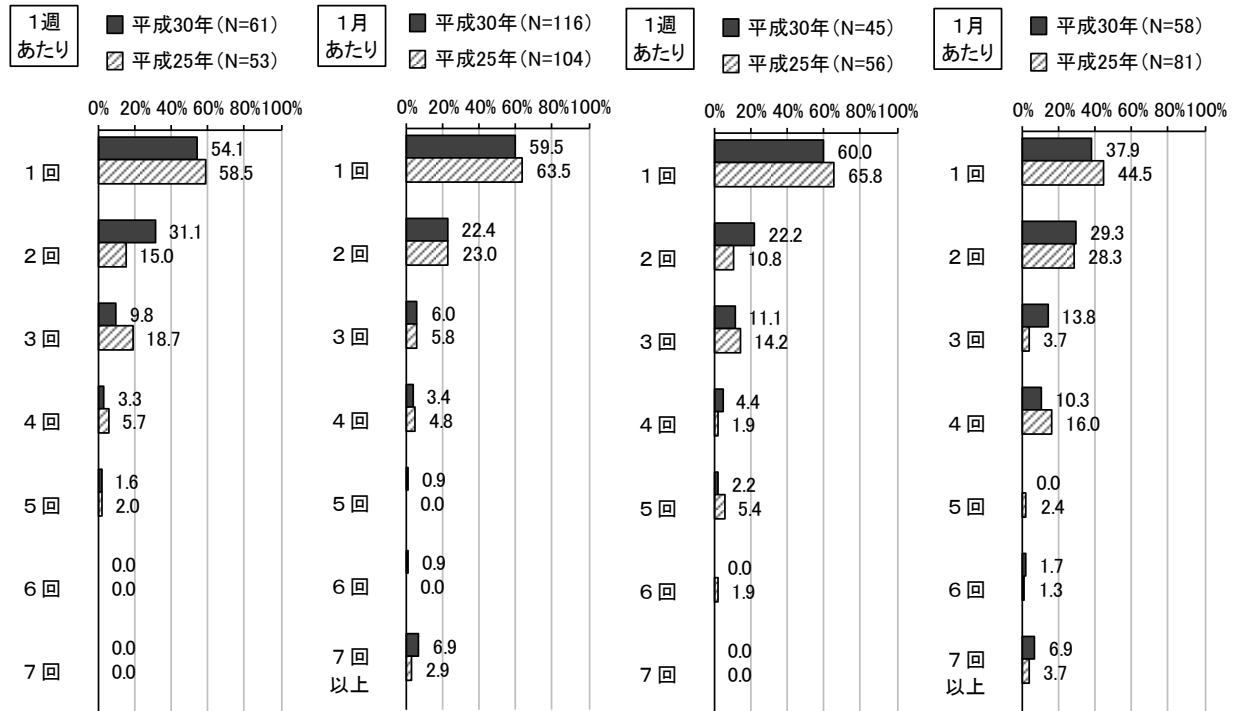
※「B-1 利用している」は不明・無回答除く

◆B-2 利用している場合のおおよその利用回数

1. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)

【現在】

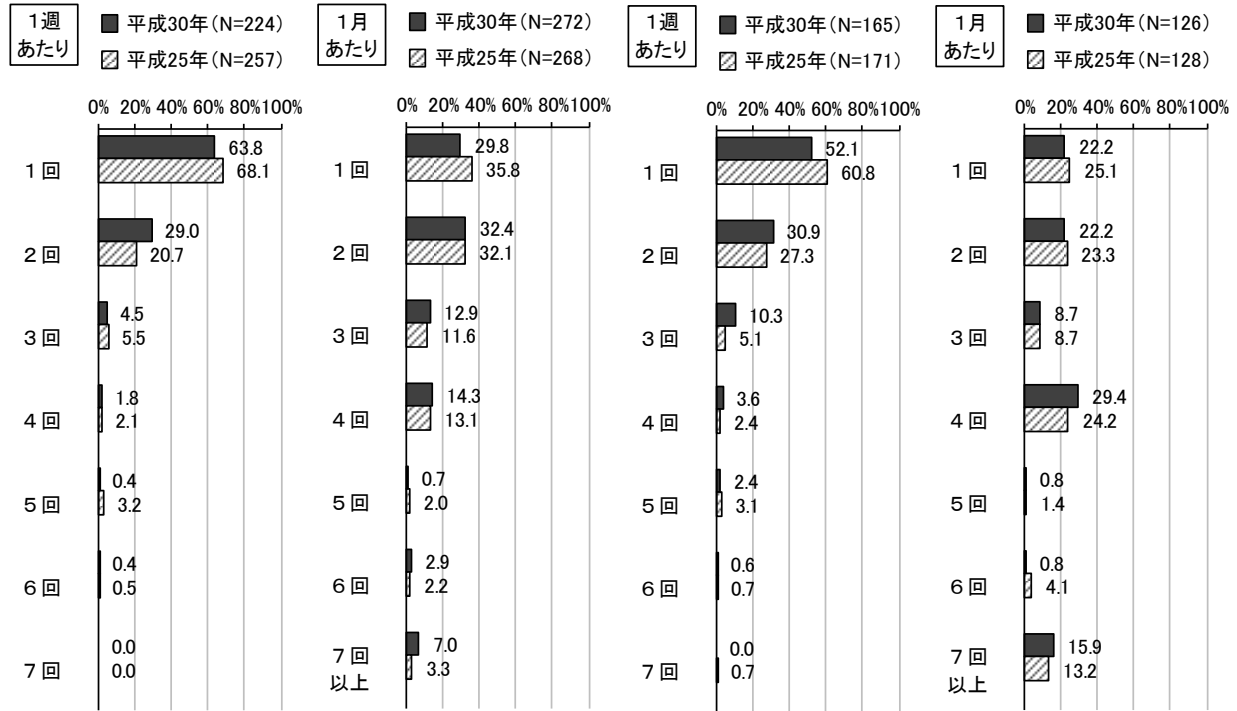
【希望】



2. 児童館(乳幼児クラブ)

【現在】

【希望】

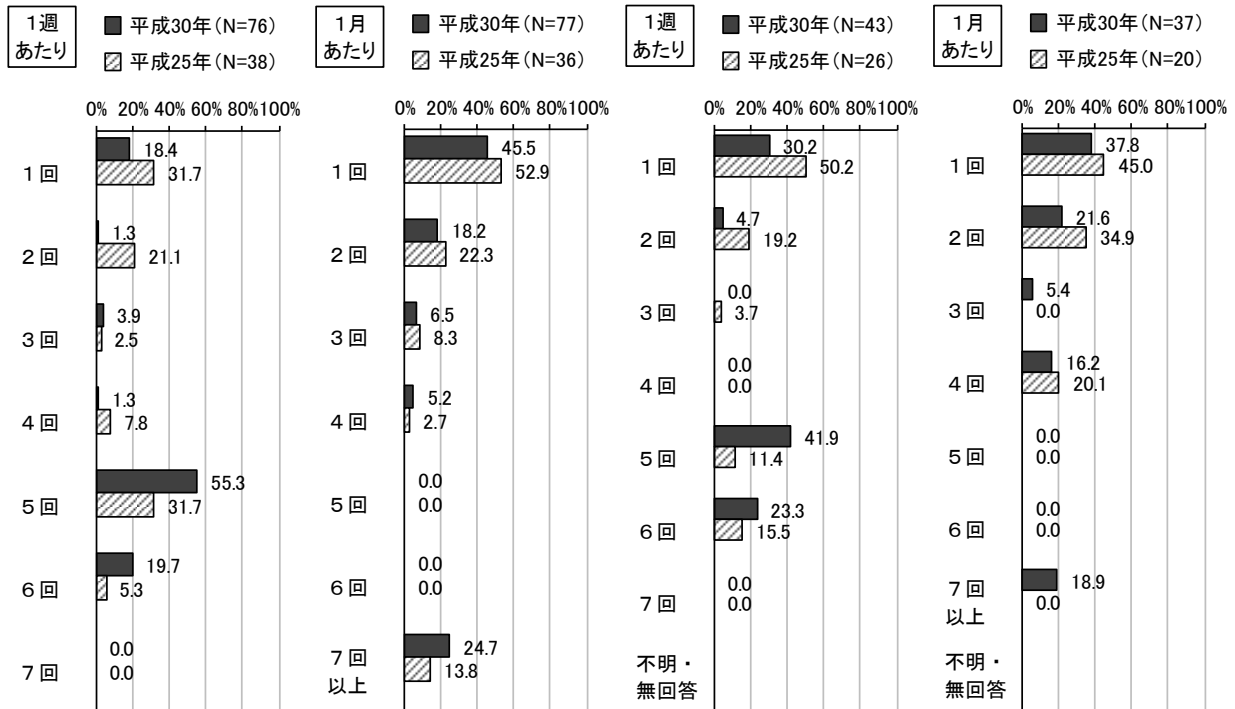


※不明・無回答除く

3. 京都市営保育所(地域での子育て支援活動)(平成25年:「京都市営保育所(あい・京(みやこ)プラザ)」)

【現在】

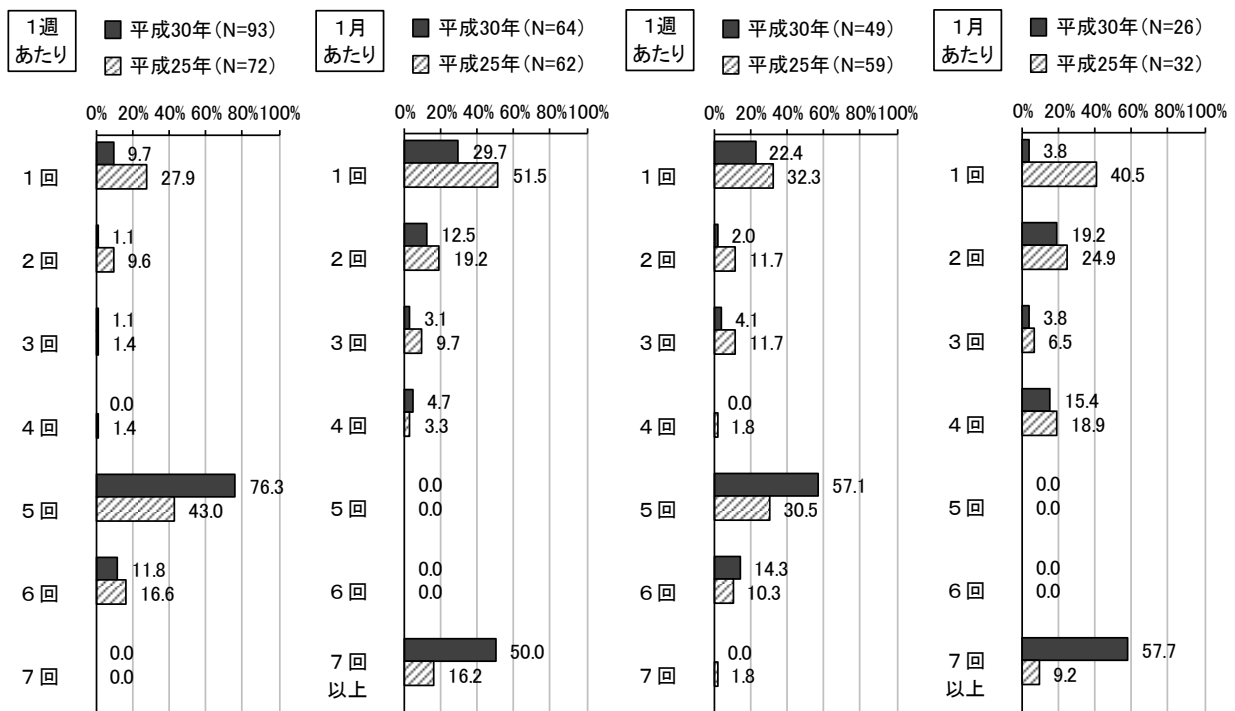
【希望】



4. 民営保育園(地域での子育て支援活動)

【現在】

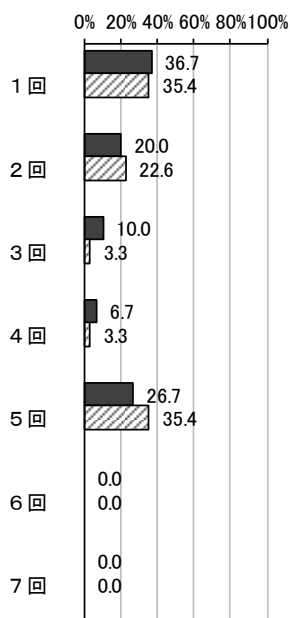
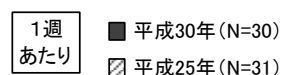
【希望】



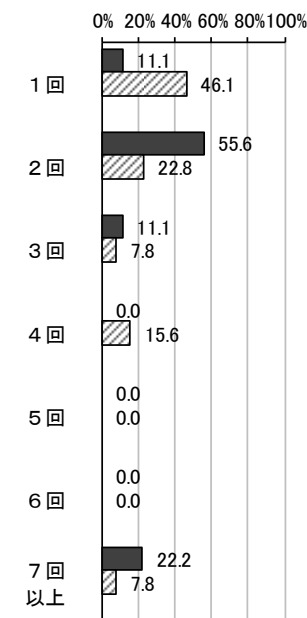
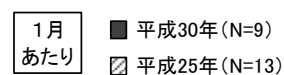
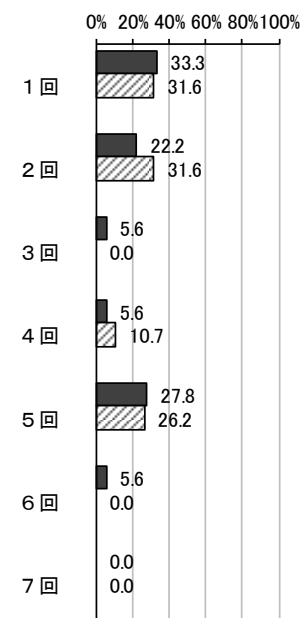
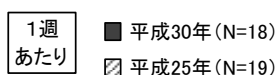
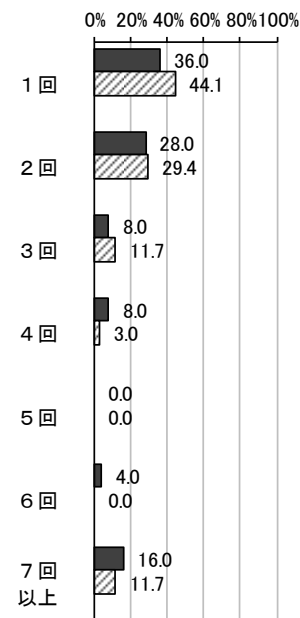
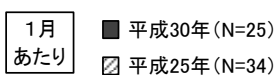
※不明・無回答除く

5. 京都市立幼稚園(教育相談)

【現在】

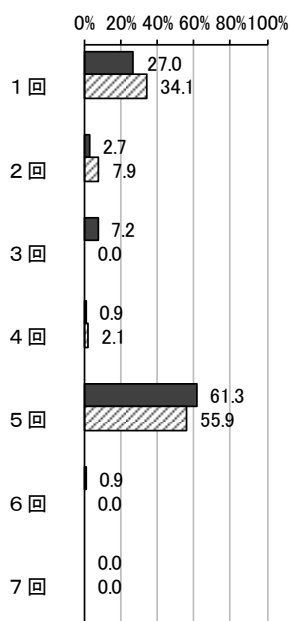
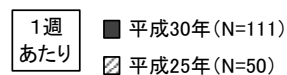


【希望】

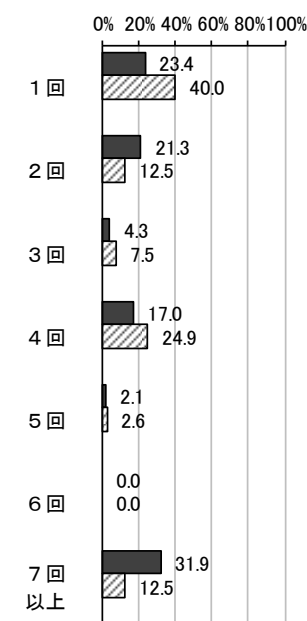
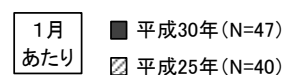
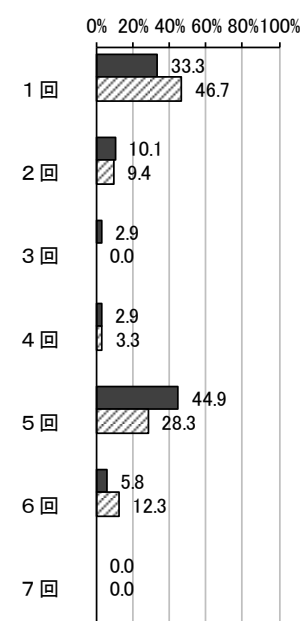
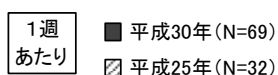
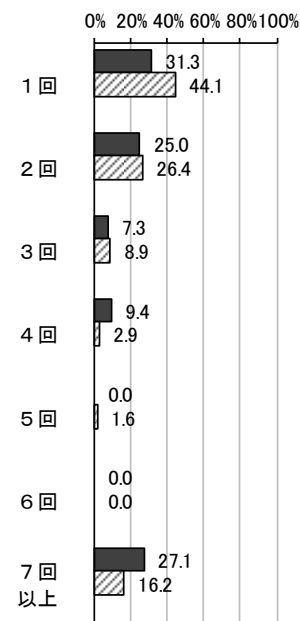
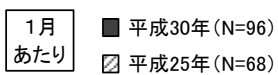


6. 私立幼稚園(地域子育て相談事業)

【現在】



【希望】



※不明・無回答除く

問 19(1)の①～⑥のいずれの事業も利用していない方

問 19(2) 現在事業を利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

その他を除き、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が65.5%と最も高く、次いで「10. 特に理由はない」が9.3%、「2. 利用する時間がない」が3.7%となっています。

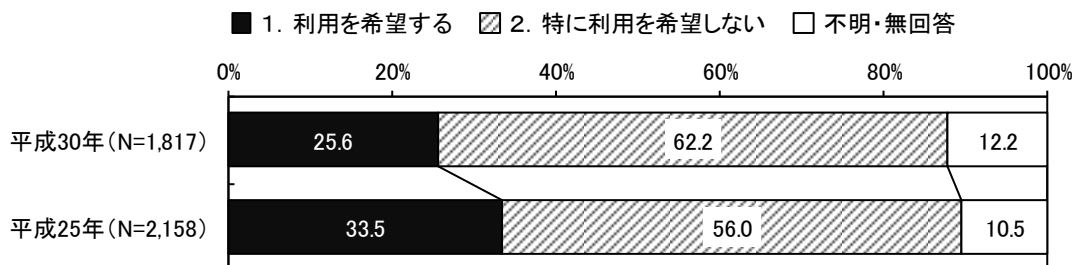
平成25年と比較すると、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が10.7ポイント高くなっています。



問 19(1)の①～⑥のいずれの事業も利用していない方

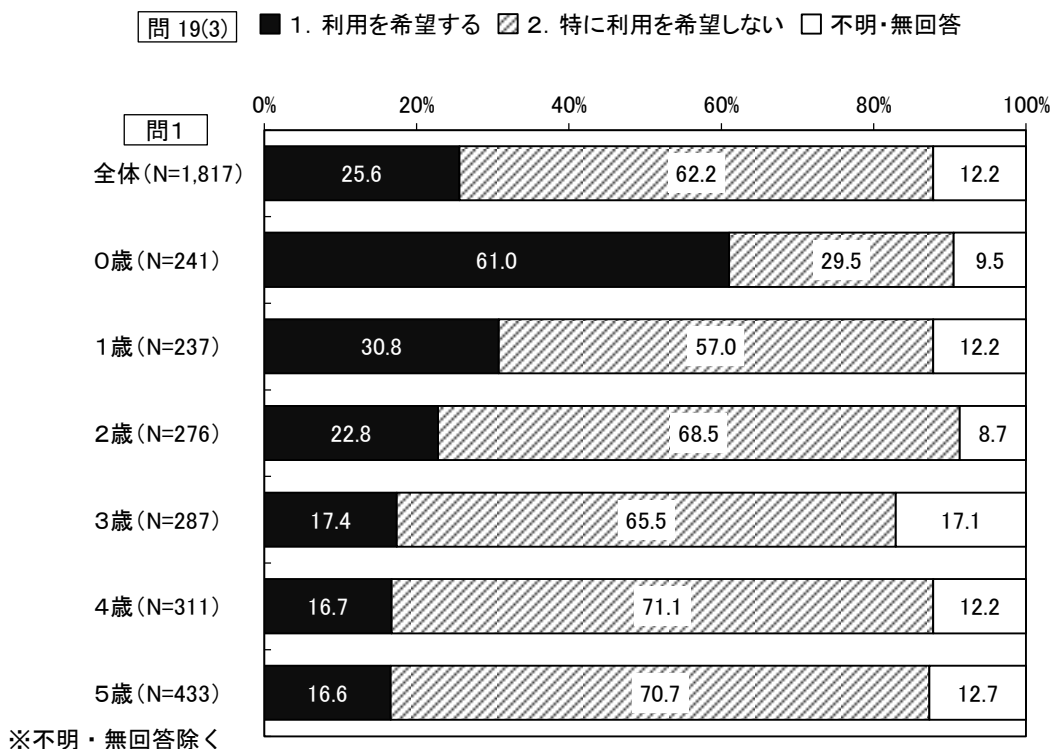
問 19(3) 今後、これらの事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

「1. 利用を希望する」が 25.6%、「2. 特に利用を希望しない」が 62.2%となっています。
平成 25 年と比較すると、「1. 利用を希望する」が 7.9 ポイント低くなっています。



《問 19(3)×問 1 子どもの年齢別》

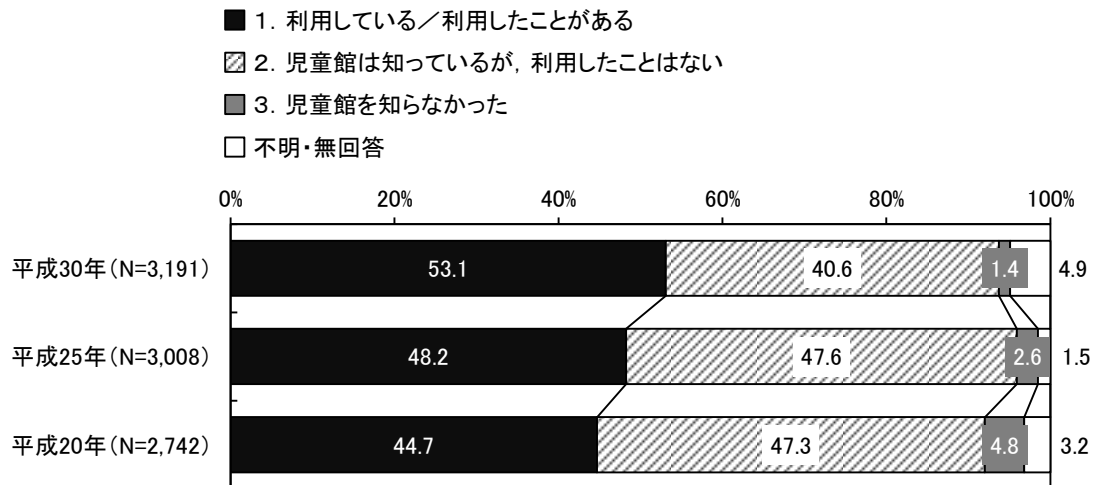
子どもの年齢が上がるほど「1. 利用を希望する」の割合が低くなる傾向がみられます。



問 20(1) 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さまは、これまでに児童館を利用したことがありますか。(〇は1つ)

「1. 利用している／利用したことがある」が53.1%と最も高く、次いで「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が40.6%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 利用している／利用したことがある」が平成25年より4.9ポイント、平成20年より8.4ポイント高くなっています。

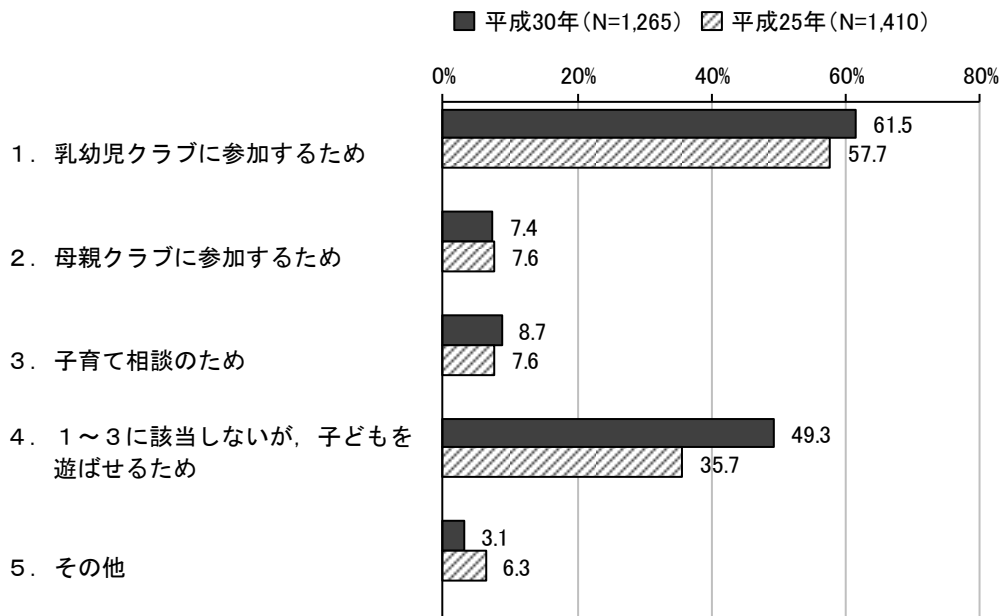


問 20(1)で「1」と答えた方

問 20(2) どのような目的で利用しましたか。(〇はいくつでも)

「1. 乳幼児クラブに参加するため」が61.5%と最も高く、次いで「4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため」が49.3%、「3. 子育て相談のため」が8.7%となっています。

平成25年と比較すると、「4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため」が13.6ポイント高くなっています。



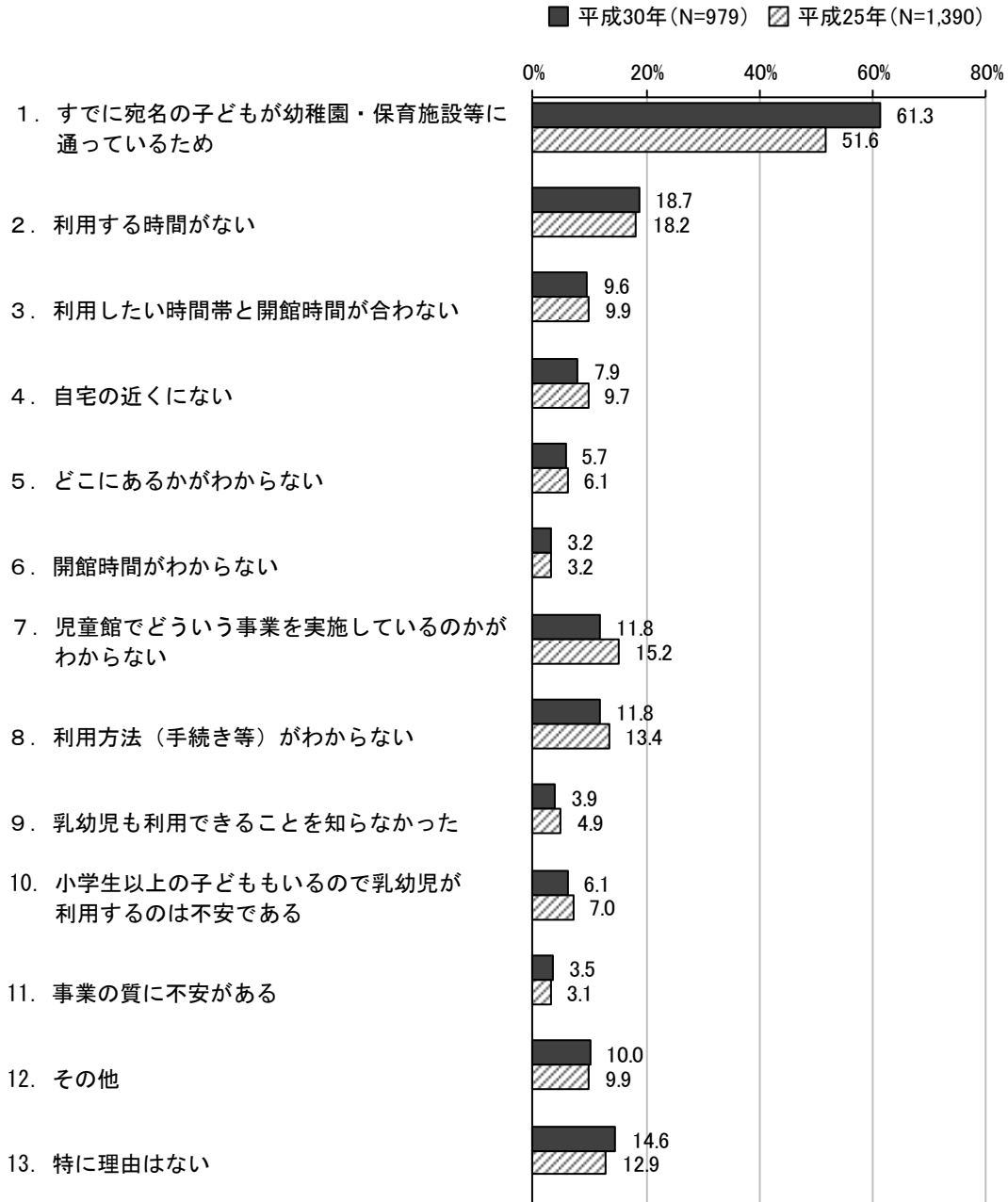
※不明・無回答除く

問 20(1)で「2」と答えた方

問 20(3) 宛名のお子さまが児童館を利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が61.3%と最も高く、次いで「2. 利用する時間がない」が18.7%、「13. 特に理由はない」が14.6%となっています。

平成25年と比較すると、「1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため」が9.7ポイント高くなっています。



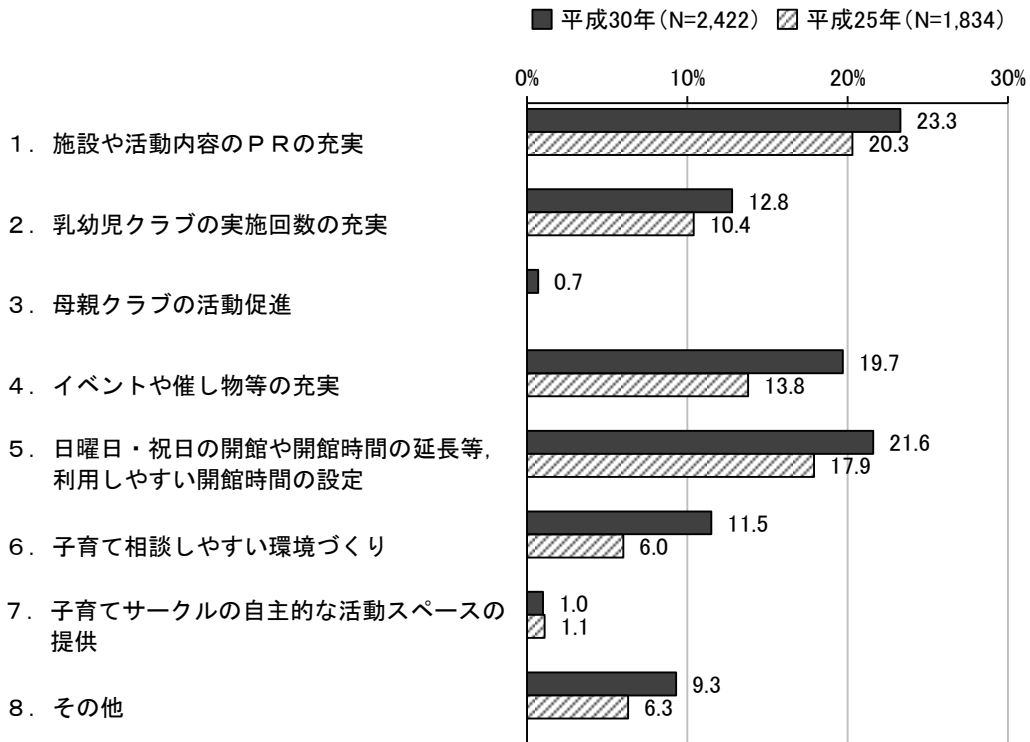
※不明・無回答除く

問 20(1)で「1」または「2」と答えた方

問 20(4) 児童館を利用しやすくするために最も期待することは何ですか。(〇は1つ)

「1. 施設や活動内容のPRの充実」が23.3%と最も高く、次いで「5. 日曜日・祝日の開館や開館時間の延長等, 利用しやすい開館時間の設定」が21.6%, 「4. イベントや催し物等の充実」が19.7%となっています。

平成25年と比較すると、「4. イベントや催し物等の充実」が5.9ポイント、「6. 子育て相談しやすい環境づくり」が5.5ポイント高くなっています。



※不明・無回答除く

※「3. 母親クラブの活動促進」は平成30年のみの選択肢

《問 20(4)×問 1 子どもの年齢別》

「0歳」「2歳」「5歳」では「施設や活動内容のPRの充実」,「1歳」「3歳」「4歳」では「日曜日・祝日の開館や開館時間の延長等, 利用しやすい開館時間の設定」の割合が最も高くなっています。

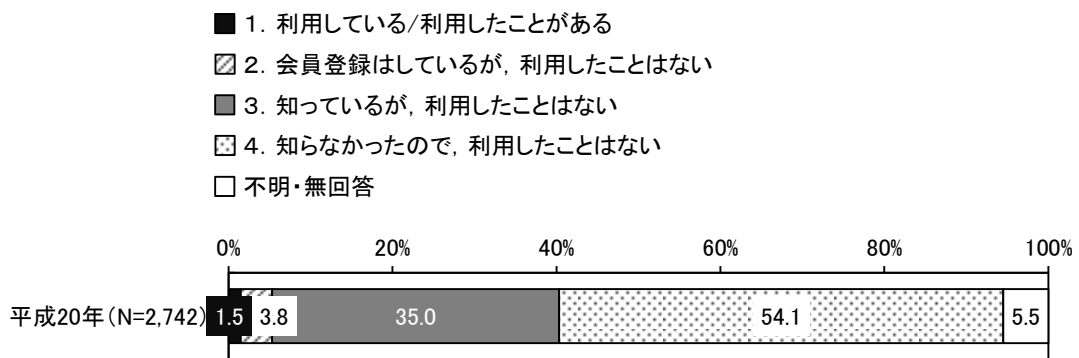
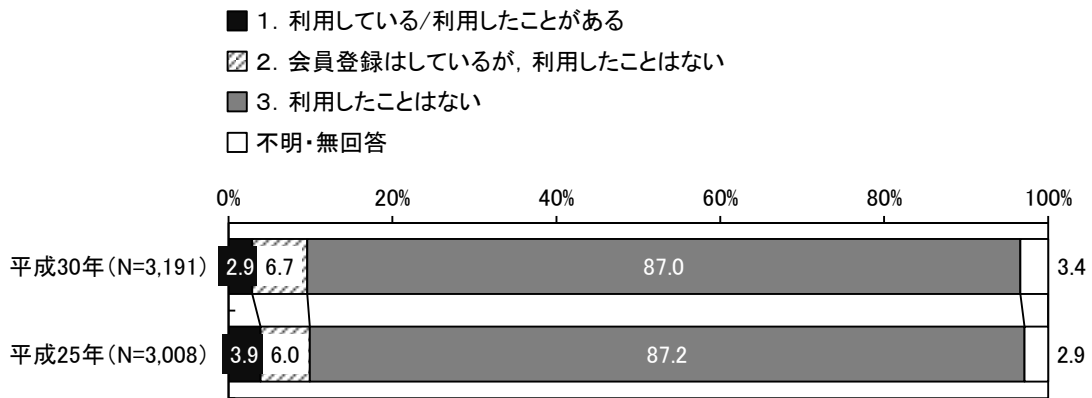
上段:件数 下段:%	合計	施設や活動 内容のPR の充実	乳幼児クラ ブの実施回 数の充実	母親クラブ の活動促進	イベントや催 し物等の充 実	日曜日・祝 日の開館や 開館時間の 延長等, 利 用しやすい 開館時間の 設定	子育て相談 しやすい環 境づくり	子育てサー クルの自主 的な活動ス ペースの提 供	その他	不明・ 無回答	
全 体	2,989 100.0	564 18.9	311 10.4	17 0.6	477 16.0	523 17.5	279 9.3	25 0.8	226 7.6	567 19.0	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	396 100.0	74 18.7	62 15.7	4 1.0	59 14.9	49 12.4	36 9.1	3 0.8	32 8.1	77 19.4
	1歳	481 100.0	83 17.3	53 11.0	2 0.4	77 16.0	90 18.7	36 7.5	5 1.0	31 6.4	104 21.6
	2歳	493 100.0	96 19.5	52 10.5	1 0.2	73 14.8	94 19.1	46 9.3	5 1.0	38 7.7	88 17.8
	3歳	455 100.0	72 15.8	55 12.1	2 0.4	71 15.6	78 17.1	47 10.3	3 0.7	30 6.6	97 21.3
	4歳	463 100.0	90 19.4	38 8.2	4 0.9	73 15.8	93 20.1	44 9.5	5 1.1	37 8.0	79 17.1
	5歳	655 100.0	137 20.9	47 7.2	4 0.6	119 18.2	114 17.4	66 10.1	3 0.5	53 8.1	112 17.1

※不明・無回答除く

問 21(1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(〇は1つ)

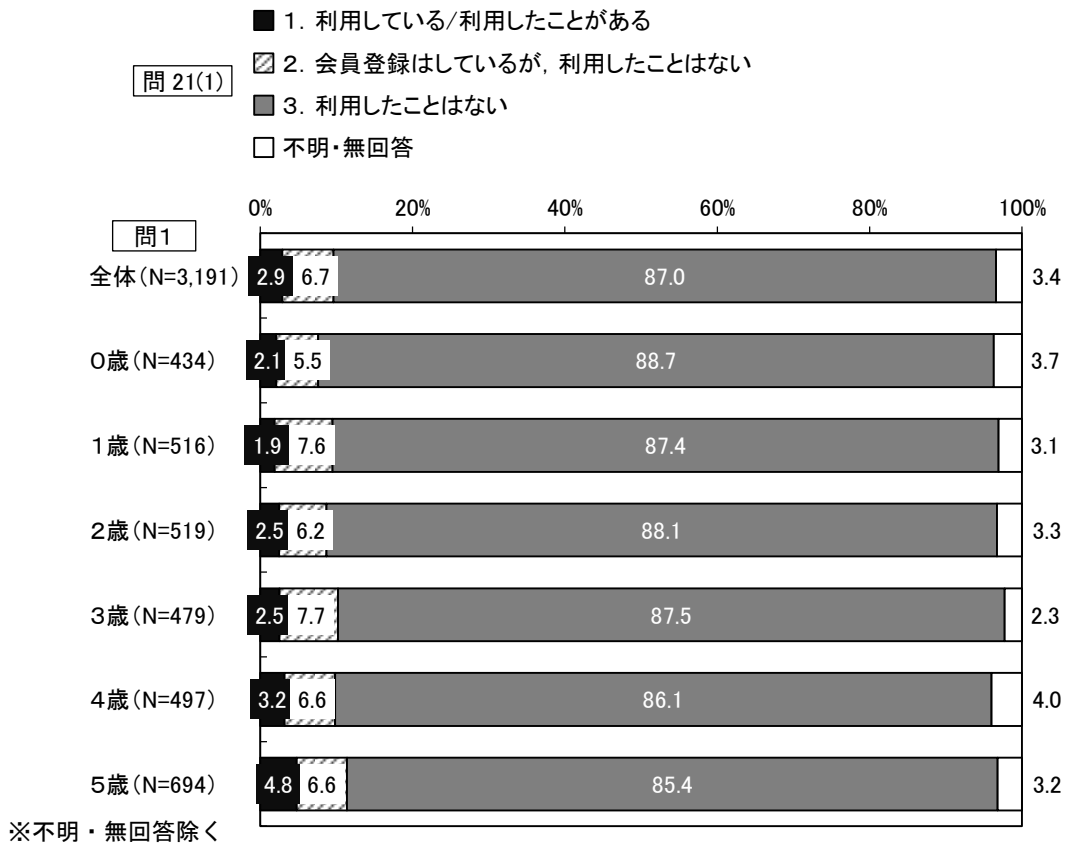
「3. 利用したことはない」が87.0%と最も高く、次いで「2. 会員登録はしているが、利用したことはない」が6.7%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 21(1)×問 1 子どもの年齢別》

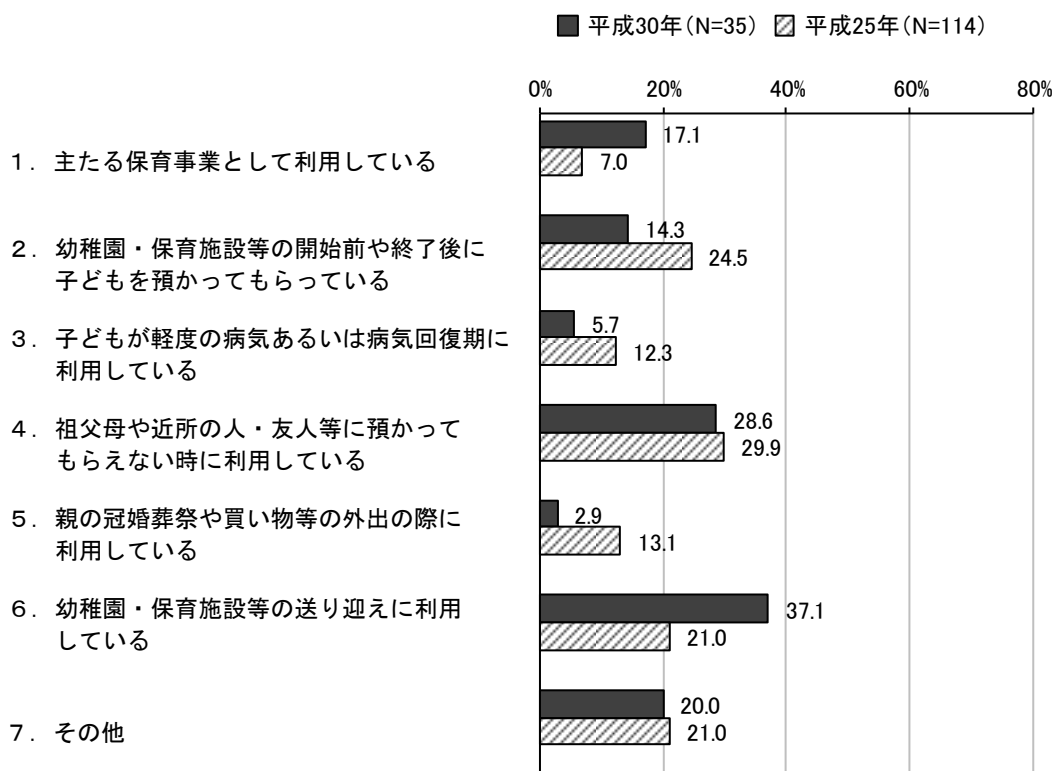
すべての区分で「3. 利用したことはない」の割合が最も高く、年齢による大きな差はみられません。



問 21(1)で「1」と答えた方

問 21(2) 事業を利用している目的は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「6. 幼稚園・保育施設等の送り迎えに利用している」が37.1%と最も高く、次いで「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」が28.6%、「1. 主たる保育事業として利用している」が17.1%となっています。



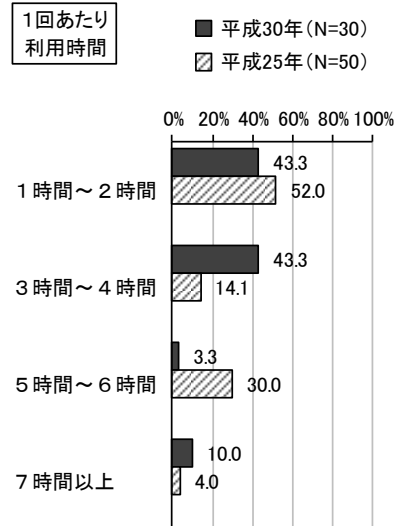
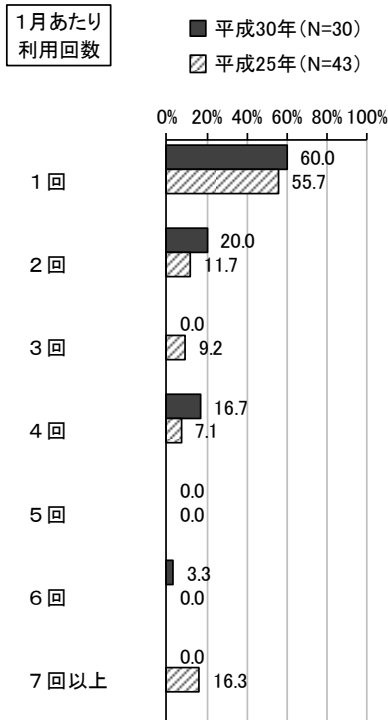
※不明・無回答除く

問 21(1)で「1」と答えた方

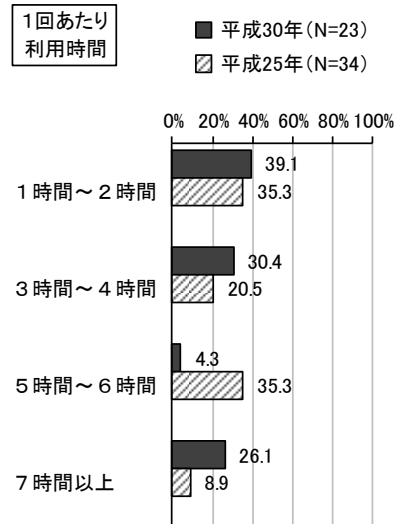
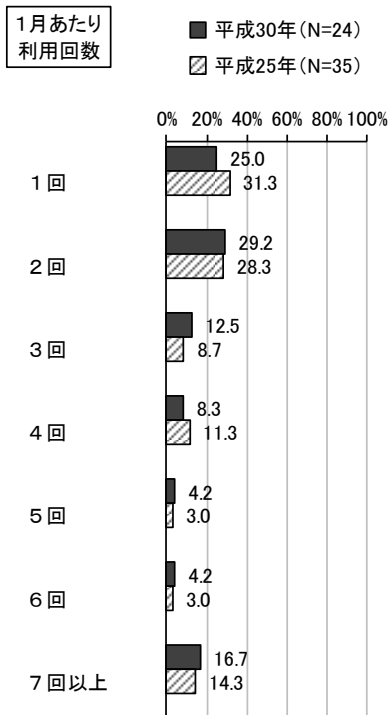
問 21(3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの()内に回数と時間をご記入ください。

1月あたりの利用回数は、①現在では「1回」、②希望では「2回」の割合が最も高くなっています。1回あたりの利用時間は、①現在では「1時間～2時間」「3時間～4時間」、②希望では「1時間～2時間」の割合が最も高くなっています。

①現在



②希望

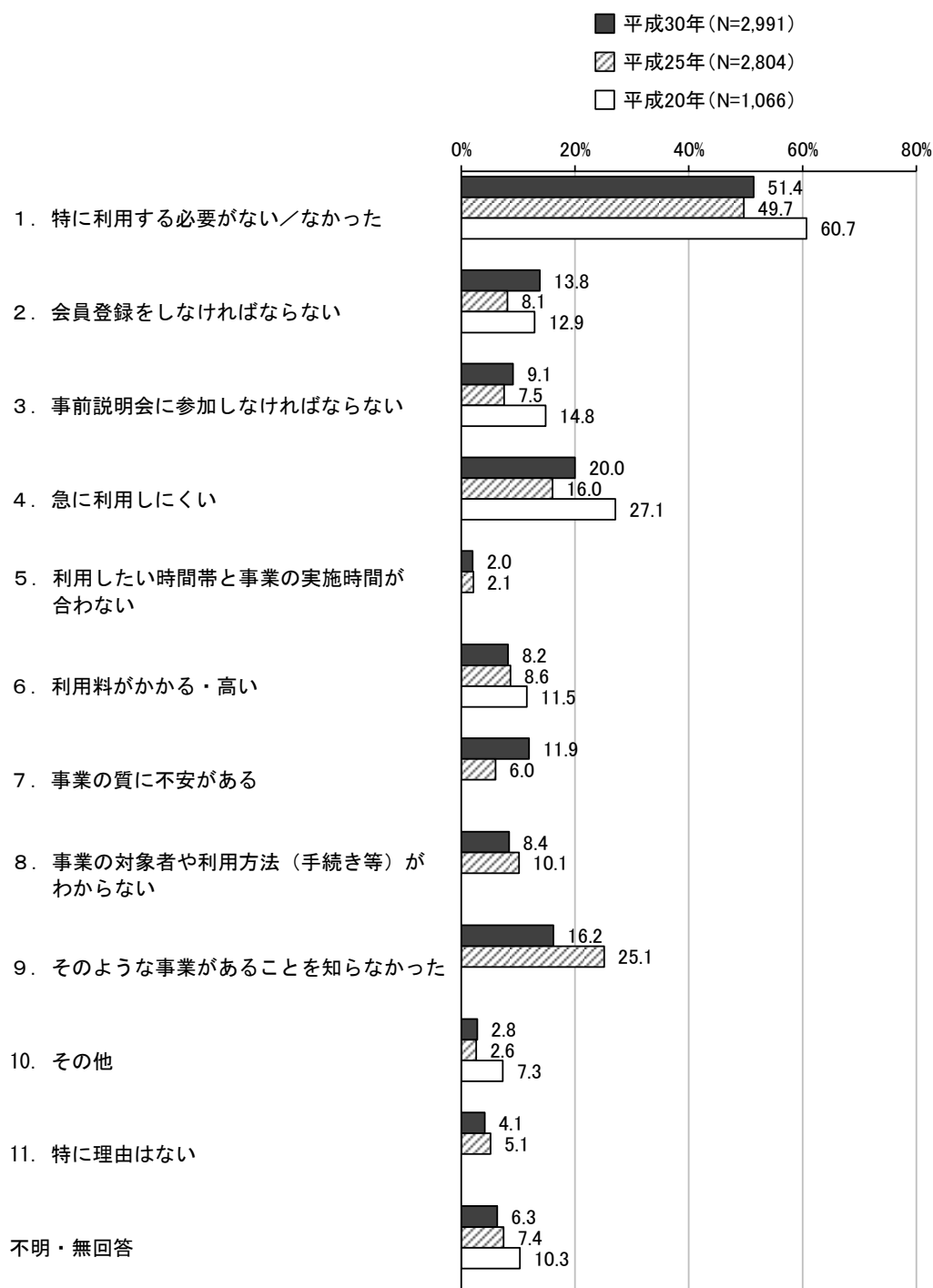


※不明・無回答除く

問 21(1)で「2」または「3」と答えた方

問 21(4) 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 特に利用する必要がない／なかった」が51.4%と最も高く、次いで「4. 急に利用しにくい」が20.0%、「9. そのような事業があることを知らなかった」が16.2%となっています。

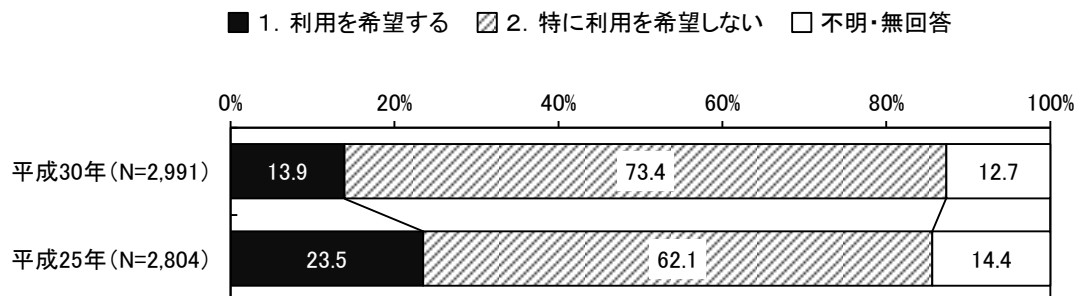


※「5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない」「7. 事業の質に不安がある」「8. 事業の対象者や利用方法(手続き等)がわからない」「9. そのような事業があることを知らなかった」「11. 特に理由はない」は平成30年、平成25年のみの選択肢

問 21(1)で「2」または「3」と答えた方

問 21(5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(〇は1つ)

「1. 利用を希望する」が13.9%、「2. 特に利用を希望しない」が73.4%となっています。
平成25年と比較すると、「2. 特に利用を希望しない」が11.3ポイント高くなっています。



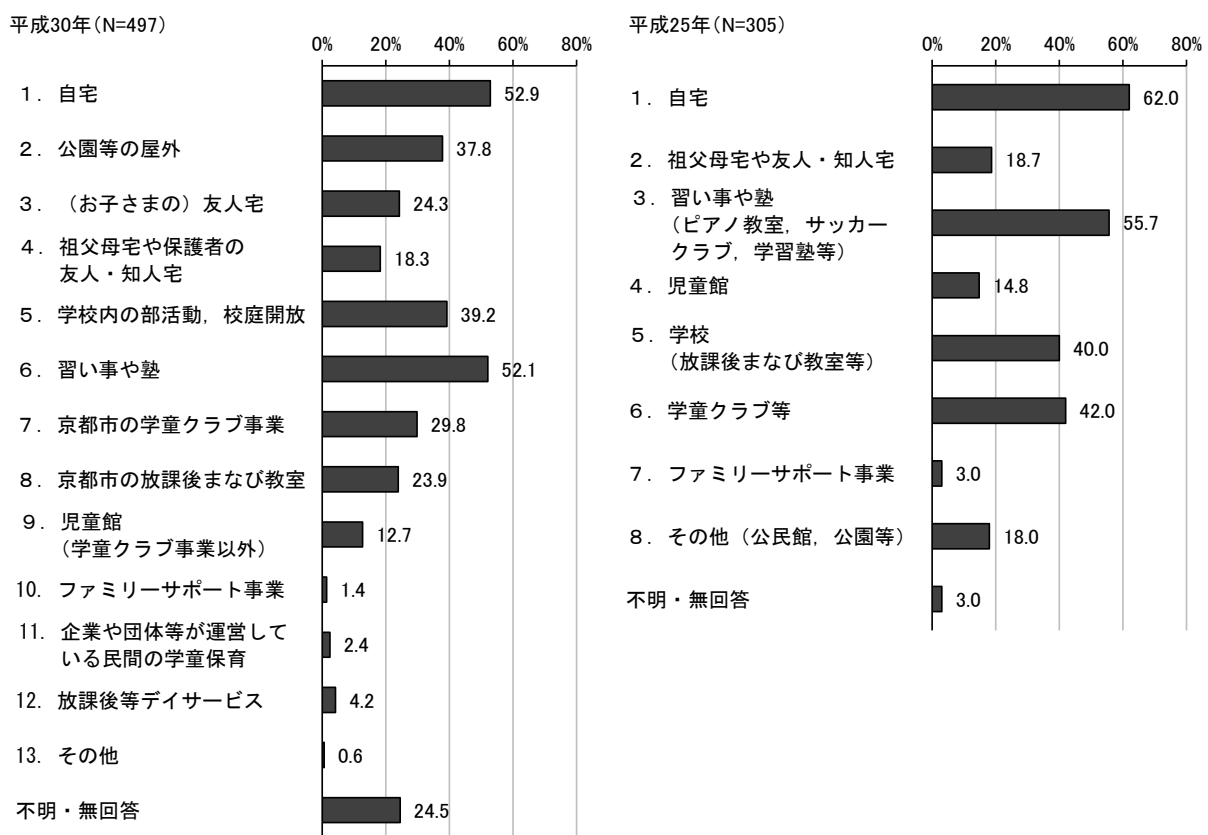
9 小学校入学後の放課後の過ごし方について

宛名のお子さまが来年4月に小学校に入学される方

問 22 宛名のお子さまについて、小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(〇はいくつでも)

また、「低学年の間」と「高学年になったら」で、それぞれ週あたりの希望日数をご記入ください。「⑦ 京都市の学童クラブ事業」「⑫ 放課後等デイサービス」の場合は、利用を希望する時間(「18時」のように24時間制で)をご記入ください。

「1. 自宅」が52.9%と最も高く、次いで「6. 習い事や塾」が52.1%、「5. 学校内の部活動、校庭開放」が39.2%となっています。



※本調査では学童クラブ事業に、放課後ほとと広場の学童クラブ機能(ゆうゆうクラブ)を含みます。

《問 22×家族類型別》

「ひとり親」「共働き（両親ともフルタイム）」では「京都市の学童クラブ事業」,「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「自宅」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	自宅	公園等の屋外	(お子さまの)友人宅	祖父母宅や保護者の友人・知人宅	学校内の部活動、校庭開放	習い事や塾	京都市の学童クラブ事業	
全 体	497 100.0	263 52.9	188 37.8	121 24.3	91 18.3	195 39.2	259 52.1	148 29.8	
家族類型別	ひとり親	24 100.0	9 37.5	8 33.3	2 8.3	2 8.3	7 29.2	11 45.8	12 50.0
	共働き(両親ともフルタイム)	132 100.0	51 38.6	31 23.5	22 16.7	27 20.5	41 31.1	54 40.9	57 43.2
	フルタイム・パート	179 100.0	99 55.3	72 40.2	48 26.8	36 20.1	76 42.5	94 52.5	60 33.5
	専業主婦(夫)	153 100.0	101 66.0	75 49.0	47 30.7	25 16.3	68 44.4	98 64.1	16 10.5
	両親ともパート	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0
	両親とも無職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%	合計	京都市の放課後まなび教室	児童館(学童クラブ事業以外)	ファミリーサポート事業	企業や団体等が運営している民間の学童保育	放課後等デイサービス	その他	不明・無回答	
全 体	497 100.0	119 23.9	63 12.7	7 1.4	12 2.4	21 4.2	3 0.6	122 24.5	
家族類型別	ひとり親	24 100.0	6 25.0	2 8.3	0 0.0	1 4.2	1 4.2	0 0.0	6 25.0
	共働き(両親ともフルタイム)	132 100.0	24 18.2	15 11.4	1 0.8	4 3.0	3 2.3	1 0.8	38 28.8
	フルタイム・パート	179 100.0	52 29.1	28 15.6	1 0.6	2 1.1	10 5.6	1 0.6	36 20.1
	専業主婦(夫)	153 100.0	35 22.9	17 11.1	5 3.3	4 2.6	7 4.6	1 0.7	39 25.5
	両親ともパート	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
	両親とも無職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 22×問 20(1)児童館の利用状況別》

「利用している／利用したことがある」では「習い事や塾」，「児童館は知っているが，利用したことはない」では「自宅」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	自宅	公園等の屋 外	(おさま の)友人宅	祖父母宅や 保護者の友 人・知人宅	学校内の部 活動,校庭 開放	習い事や塾	京都市の学 童クラブ事 業
全 体	497 100.0	263 52.9	188 37.8	121 24.3	91 18.3	195 39.2	259 52.1	148 29.8
児 童 館 の 利 用 状 況 別	利用している／利用した ことがある	275 100.0	153 55.6	118 42.9	78 28.4	52 18.9	122 44.4	81 29.5
	児童館は知っているが, 利用したことはない	194 100.0	101 52.1	63 32.5	38 19.6	33 17.0	68 35.1	60 30.9
	児童館を知らなかった	8 100.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5
上段:件数 下段:%	合計	京都市の放 課後まなび 教室	児童館(学 童クラブ事 業以外)	ファミリーサ ポート事業	企業や団体 等が運営し ている民間 の学童保育	放課後等デ イサービス	その他	不明・ 無回答
全 体	497 100.0	119 23.9	63 12.7	7 1.4	12 2.4	21 4.2	3 0.6	122 24.5
児 童 館 の 利 用 状 況 別	利用している／利用した ことがある	275 100.0	70 25.5	41 14.9	4 1.5	7 2.5	14 5.1	67 24.4
	児童館は知っているが, 利用したことはない	194 100.0	42 21.6	21 10.8	3 1.5	2 1.0	7 3.6	46 23.7
	児童館を知らなかった	8 100.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0

※不明・無回答除く

《問 22×問 41 平日日中の遊び場別》

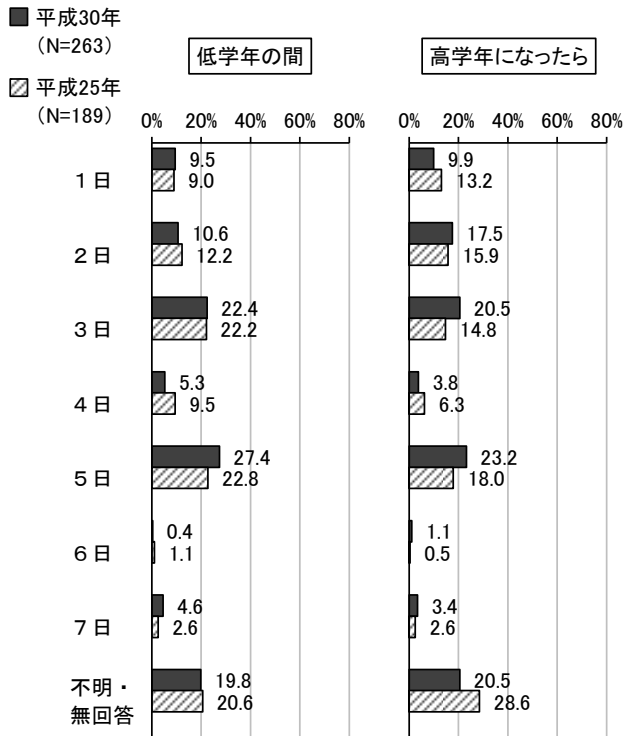
「公園・ちびっこひろば」では「自宅」「習い事や塾」,「家の近くの路地や道路」では「習い事や塾」,「自宅」では「自宅」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	自宅	公園等の屋外	(お子さまの)友人宅	祖父母宅や保護者の友人・知人宅	学校内の部活動,校庭開放	習い事や塾	京都市の学童クラブ事業	
全体	497 100.0	263 52.9	188 37.8	121 24.3	91 18.3	195 39.2	259 52.1	148 29.8	
平日日中の遊び場別	公園・ちびっこひろば	61 100.0	26 42.6	16 26.2	11 18.0	8 13.1	21 34.4	26 42.6	18 29.5
	家の近くの路地や道路	40 100.0	26 65.0	19 47.5	14 35.0	10 25.0	21 52.5	27 67.5	13 32.5
	自宅	262 100.0	143 54.6	97 37.0	58 22.1	43 16.4	101 38.5	141 53.8	74 28.2
	子どもの友人宅	5 100.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0
	親戚や知人宅	11 100.0	5 45.5	3 27.3	2 18.2	4 36.4	6 54.5	7 63.6	5 45.5
	児童館	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	こどもみらい館	3 100.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	3 100.0	3 100.0	1 33.3
	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
	図書館	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0
	その他	11 100.0	3 27.3	2 18.2	2 18.2	2 18.2	3 27.3	4 36.4	4 36.4
上段:件数 下段:%	合計	京都市の放課後まなび教室	児童館(学童クラブ事業以外)	ファミリーサポート事業	企業や団体等が運営している民間の学童保育	放課後等デイサービス	その他	不明・無回答	
全体	497 100.0	119 23.9	63 12.7	7 1.4	12 2.4	21 4.2	3 0.6	122 24.5	
平日日中の遊び場別	公園・ちびっこひろば	61 100.0	6 9.8	5 8.2	0 0.0	2 3.3	3 4.9	1 1.6	20 32.8
	家の近くの路地や道路	40 100.0	16 40.0	3 7.5	0 0.0	0 0.0	1 2.5	1 2.5	6 15.0
	自宅	262 100.0	60 22.9	35 13.4	5 1.9	8 3.1	12 4.6	0 0.0	58 22.1
	子どもの友人宅	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	親戚や知人宅	11 100.0	4 36.4	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2
	児童館	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	こどもみらい館	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	図書館	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	11 100.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	6 54.5

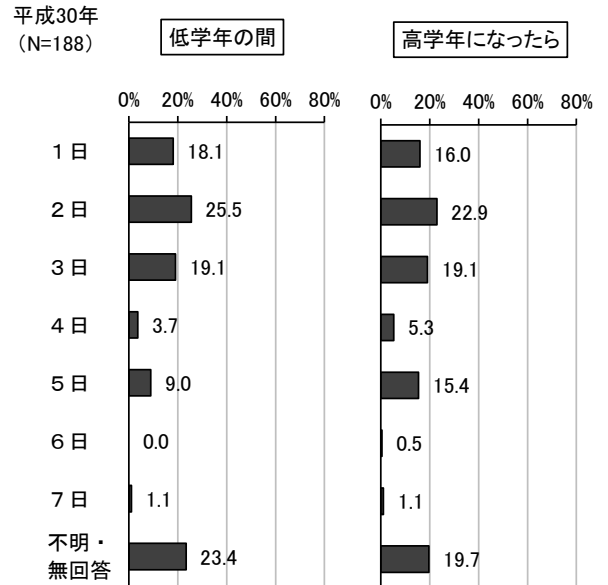
※不明・無回答除く

◆週あたりの過ごさせたい日数

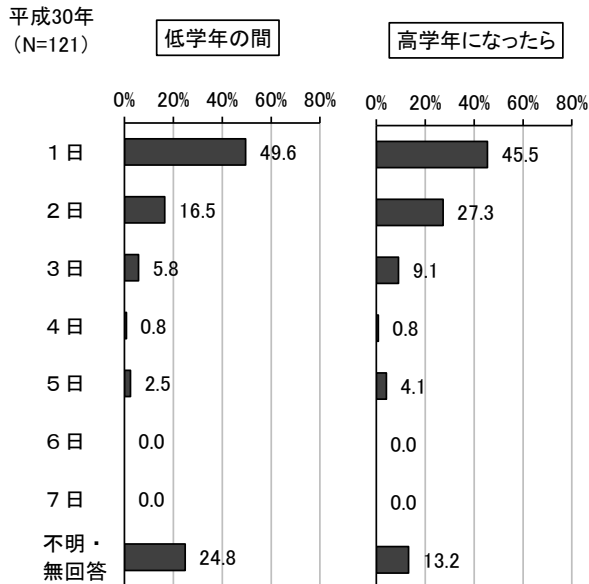
1. 自宅



2. 公園等の屋外

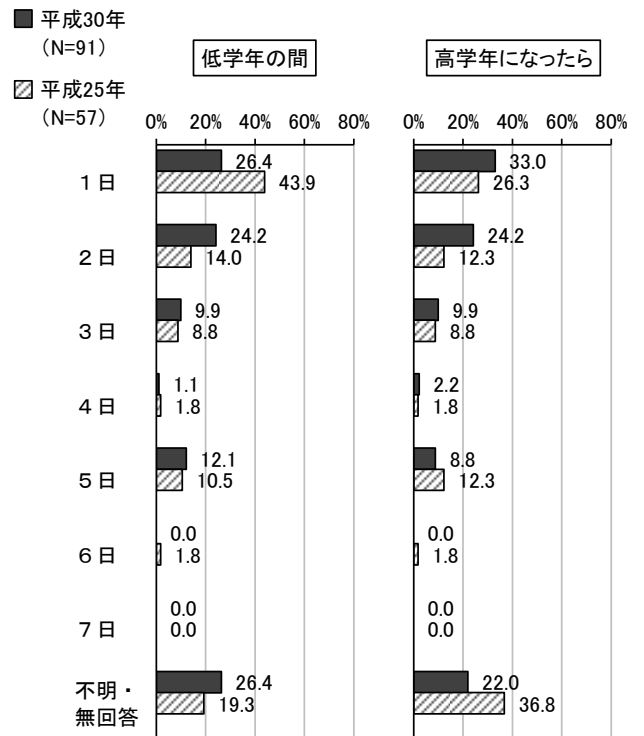


3. (お子さまの)友人宅

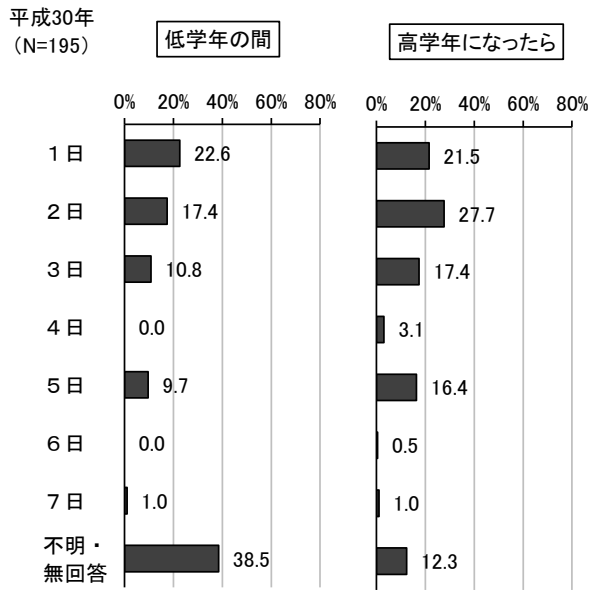


4. 祖父母宅や保護者の友人・知人宅

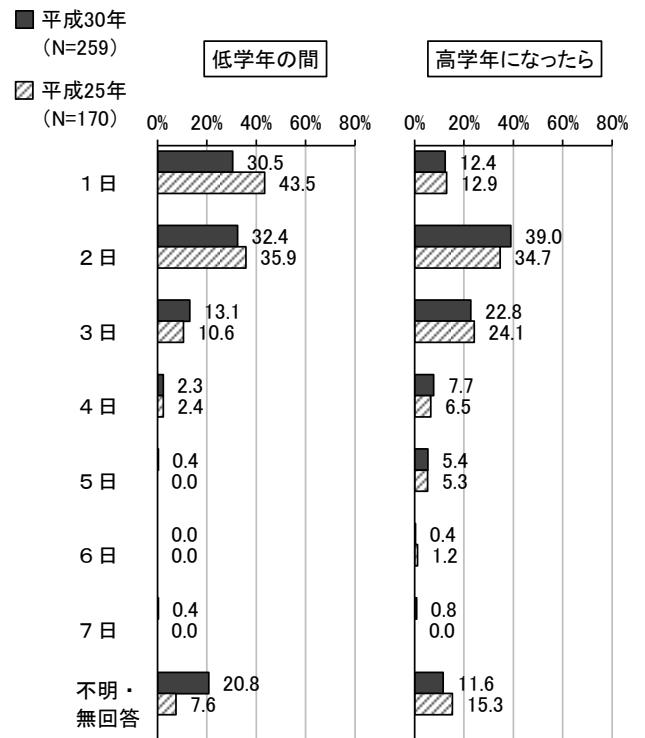
(平成25年:「祖父母宅や友人・知人宅」)



5. 学校内の部活動、校庭開放

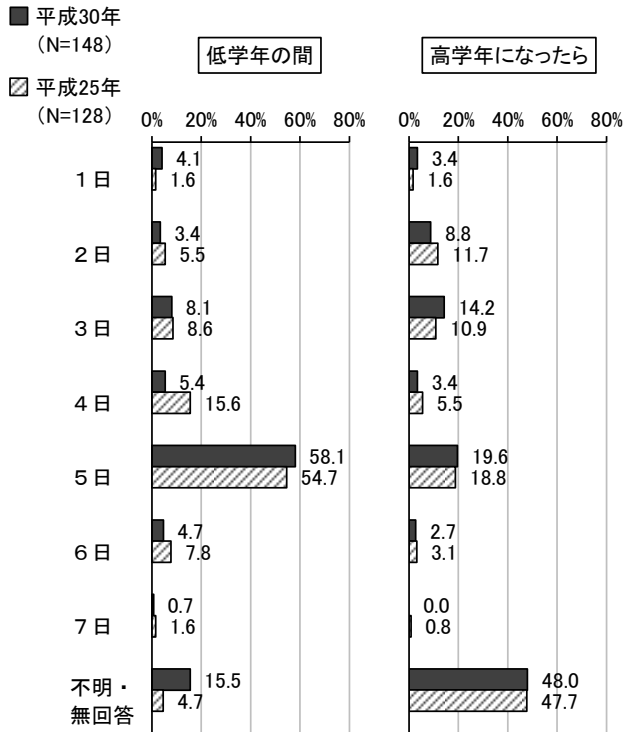


6. 習い事や塾

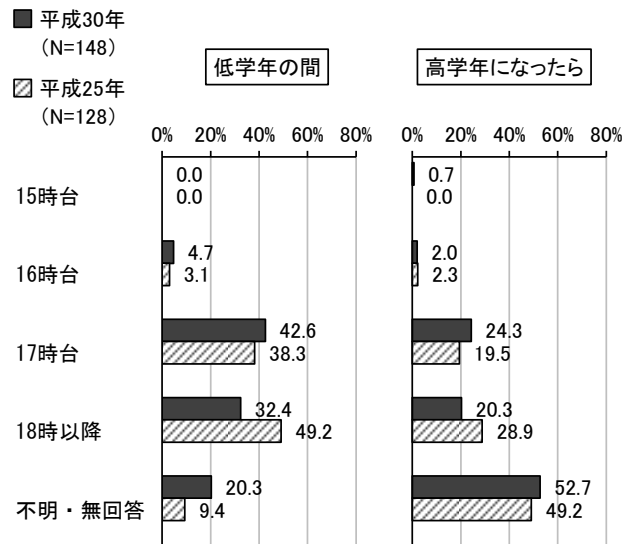


7. 京都市の学童クラブ事業

(平成25年:「学童クラブ等」)

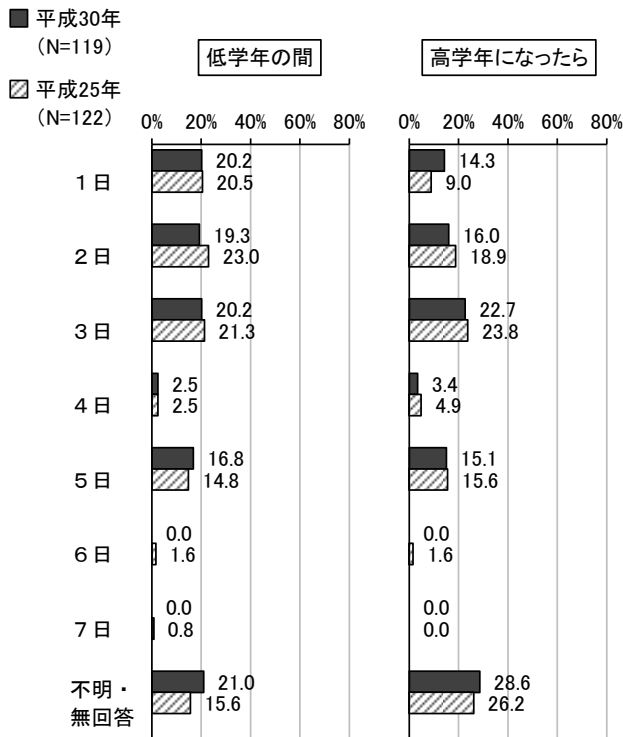


◆希望終了時間

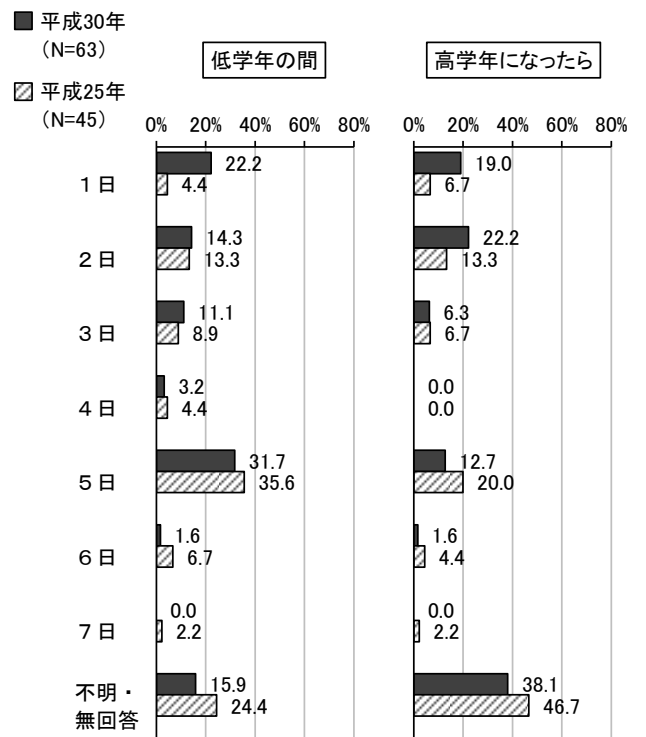


8. 京都市の放課後まなび教室

(平成25年:「学校(放課後まなび教室等)」)



9. 児童館(学童クラブ事業以外)



10. ファミリーサポート事業

平成30年 (N=7)

低学年の間

	件数
1日	4
2日	1
不明・無回答	2

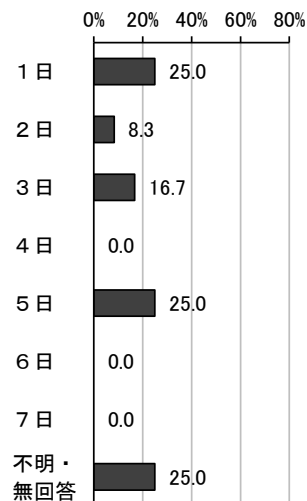
高学年になったら

	件数
1日	3
2日	3
不明・無回答	1

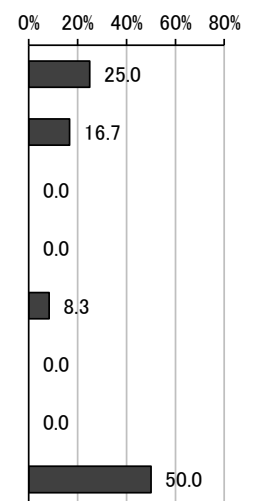
11. 企業や団体等が運営している民間の学童保育

平成30年 (N=12)

低学年の間

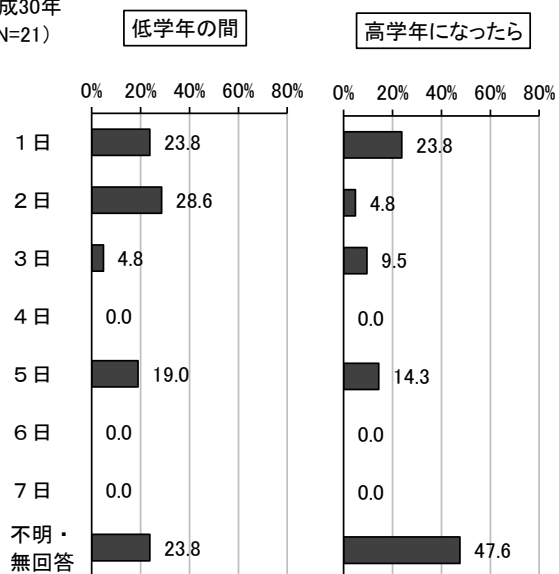


高学年になったら



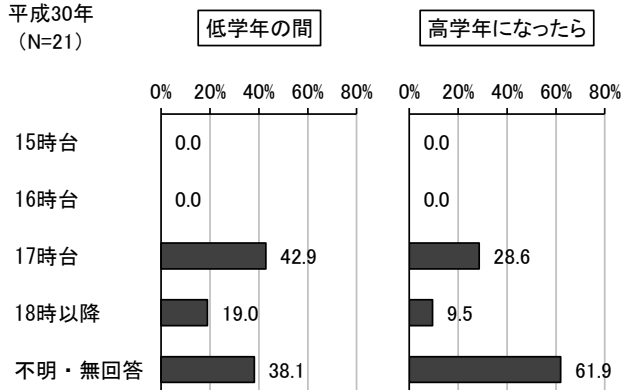
12. 放課後等デイサービス

平成30年
(N=21)



◆希望終了時間

平成30年
(N=21)



13. その他

平成30年(N=3)

低学年の間

	件数
2日	1
5日	1
不明・無回答	1

高学年になったら

	件数
4日	1
5日	1
不明・無回答	1

問 23 宛名のお子さまの「土曜日」、「日曜日・休日」、「夏休み等の学校の長期休業中」のそれぞれの学童クラブ等の利用希望の有無について、「低学年の間」と「高学年になったら」のそれぞれでお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

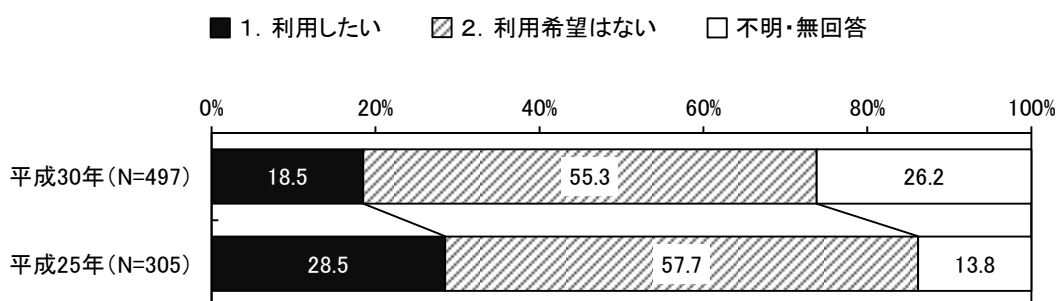
また、利用したい時間帯(「9時～18時」のように24時間制で)をご記入ください。

①土曜日

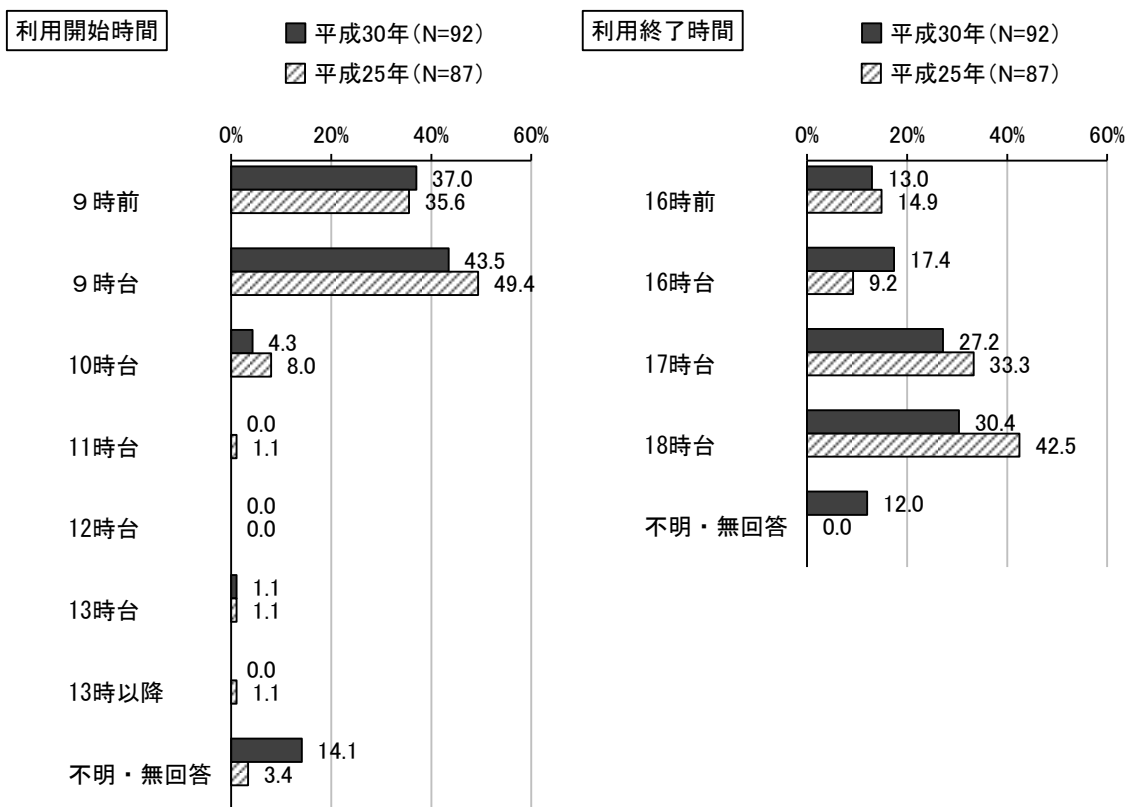
【低学年の間】

①土曜日について、[低学年の間]では「1. 利用したい」が18.5%、「2. 利用希望はない」が55.3%となっています。平成25年と比較すると、「1. 利用したい」が10.0ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が43.5%と最も高く、次いで「9時前」が37.0%となっています。終了時間は「18時台」が30.4%と最も高く、次いで「17時台」が27.2%となっています。



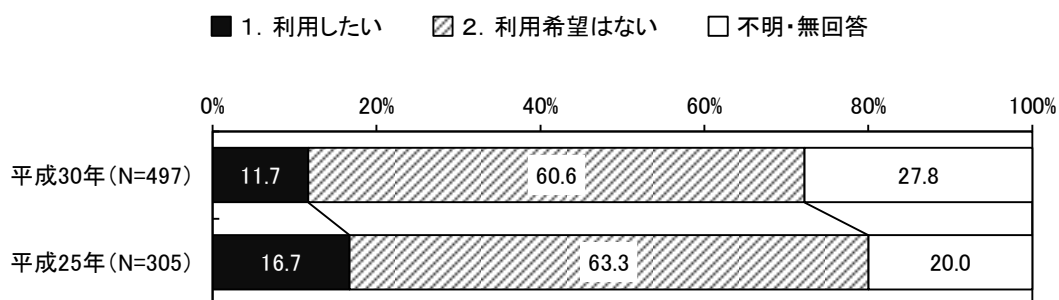
◆(「1」の場合)利用したい時間帯



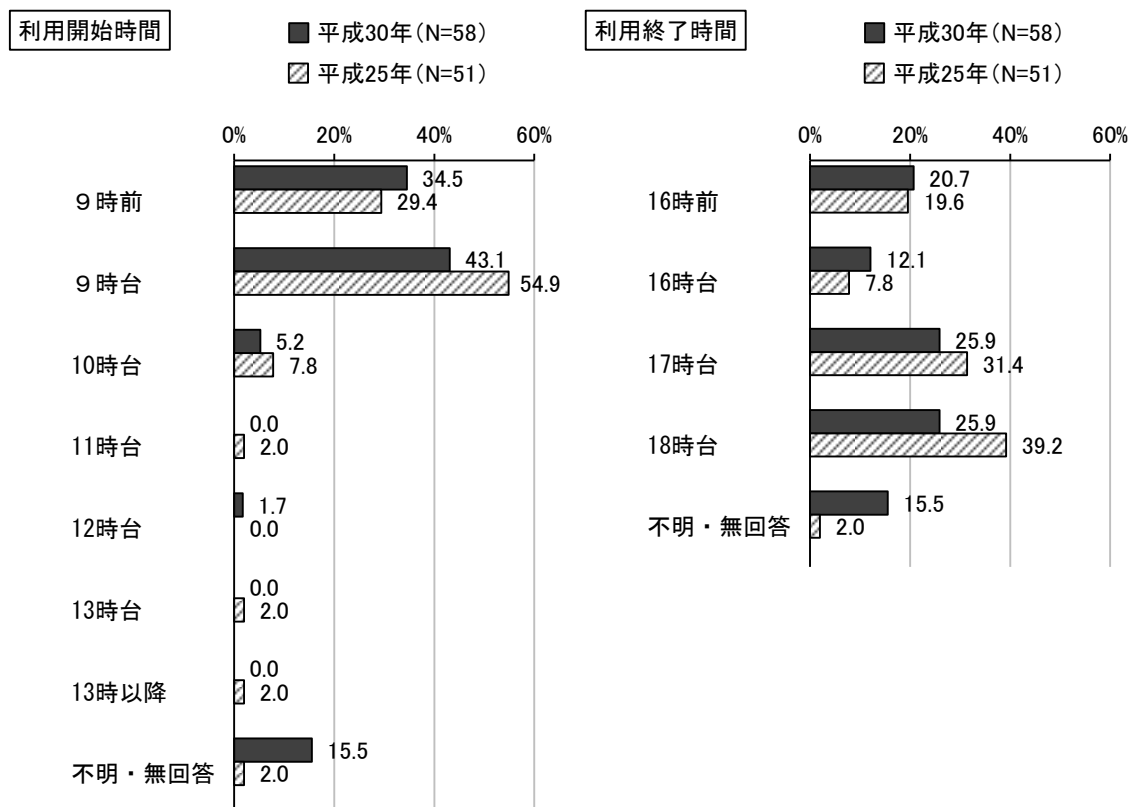
【高学年になったら】

①土曜日について、[高学年になったら]では「1. 利用したい」が11.7%、「2. 利用希望はない」が60.6%となっています。平成25年と比較すると、「1. 利用したい」が5.0ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が43.1%と最も高く、次いで「9時前」が34.5%となっています。終了時間は「17時台」「18時台」が25.9%と高くなっています。



◆(「1」の場合)利用したい時間帯

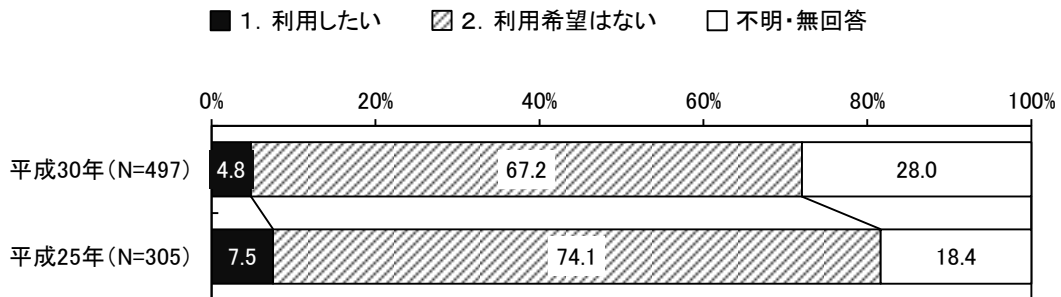


②日曜日・祝日

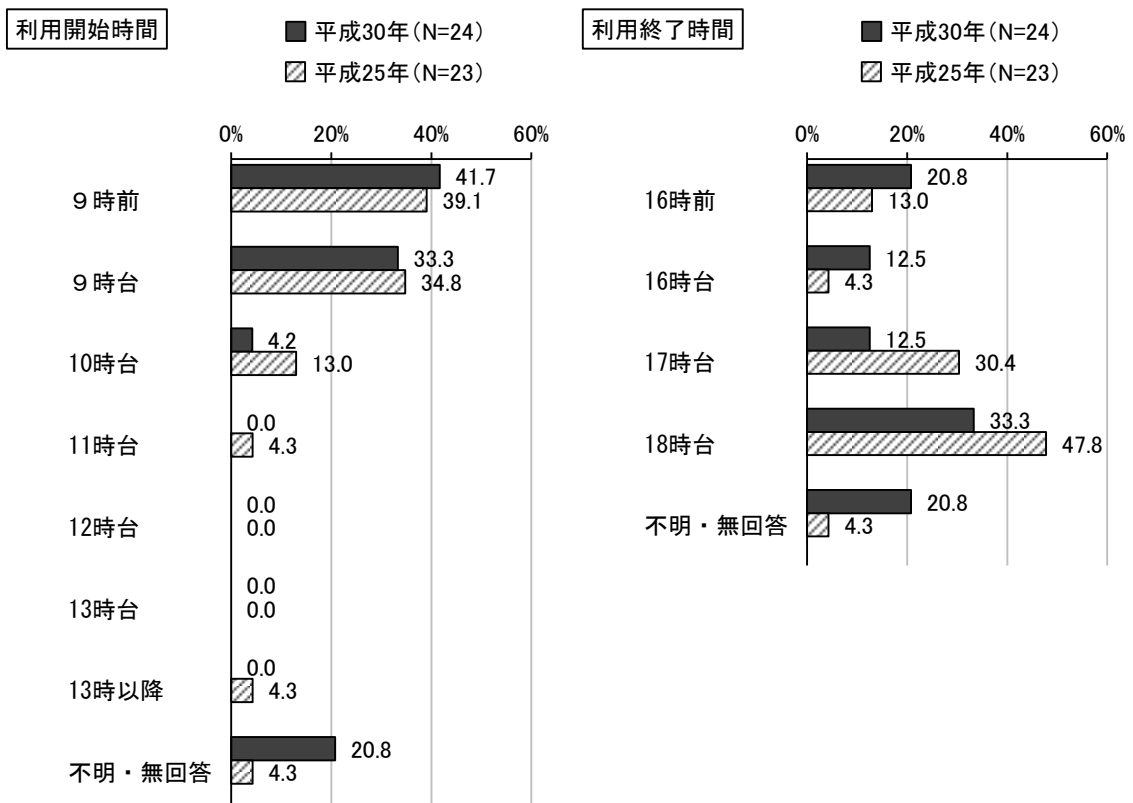
【低学年の間】

②日曜日・祝日について、[低学年の間]では「1. 利用したい」が4.8%、「2. 利用希望はない」が67.2%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が6.9ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時前」、終了時間は「18時台」の割合が最も高くなっています。



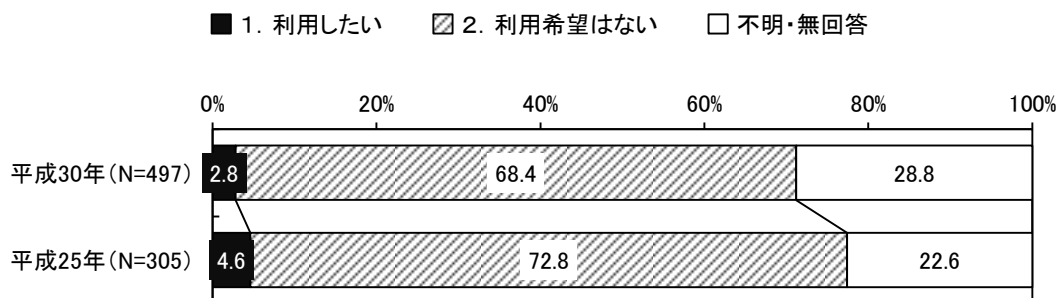
◆(「1」の場合)利用したい時間帯



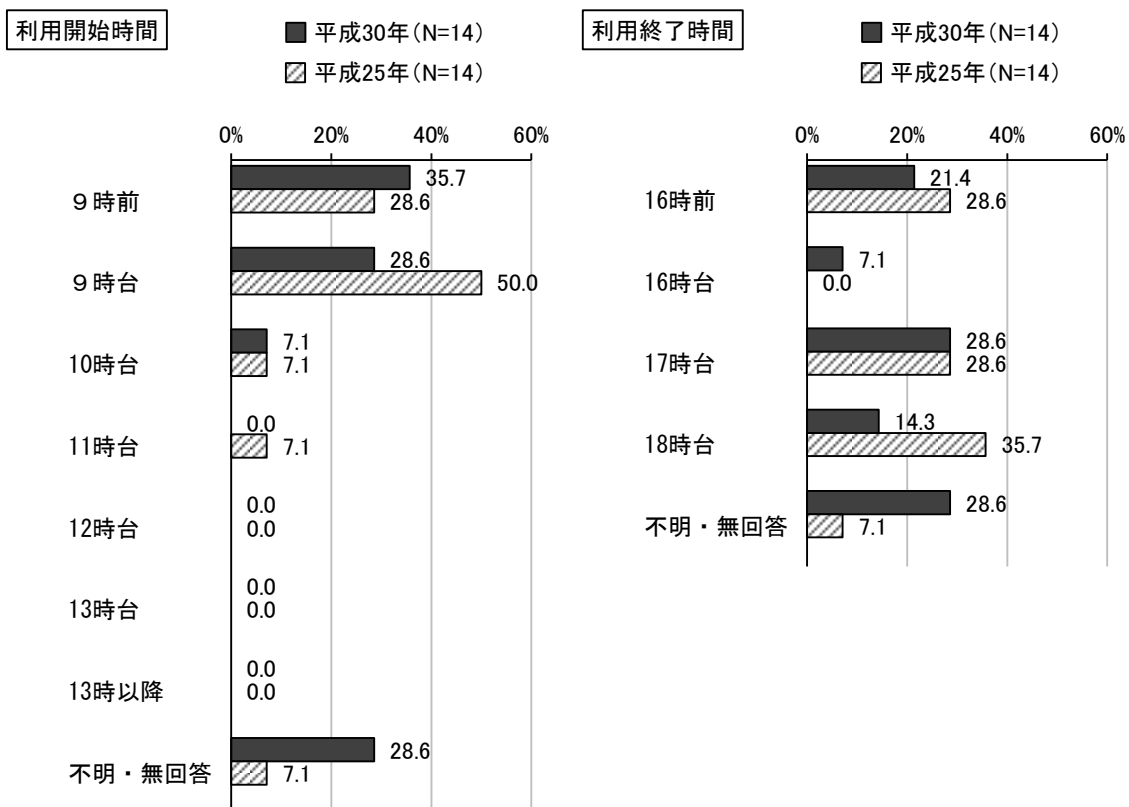
【高学年になったら】

②日曜日・祝日について、[高学年になったら]では「1. 利用したい」が2.8%、「2. 利用希望はない」が68.4%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時前」、終了時間は「17時台」の割合が最も高くなっています。



◆(「1」の場合)利用したい時間帯

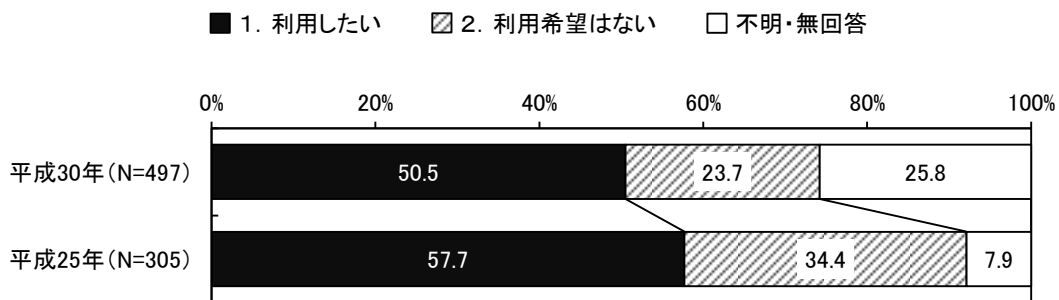


③夏休み等の学校の長期休業中

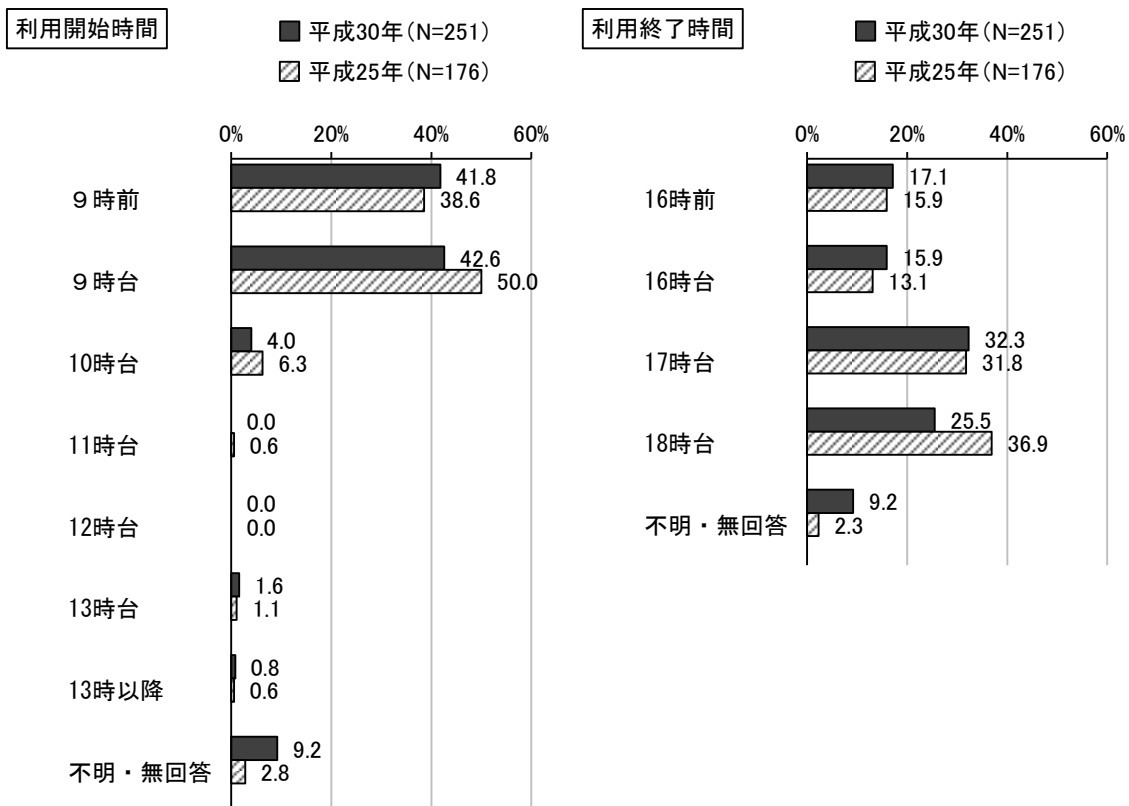
【低学年の間】

③夏休み等の学校の長期休業中について、[低学年の間]では「1. 利用したい」が50.5%、「2. 利用希望はない」が23.7%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が10.7ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が42.6%と最も高く、次いで「9時前」が41.8%となっています。終了時間は「17時台」が32.3%と最も高く、次いで「18時台」が25.5%となっています。



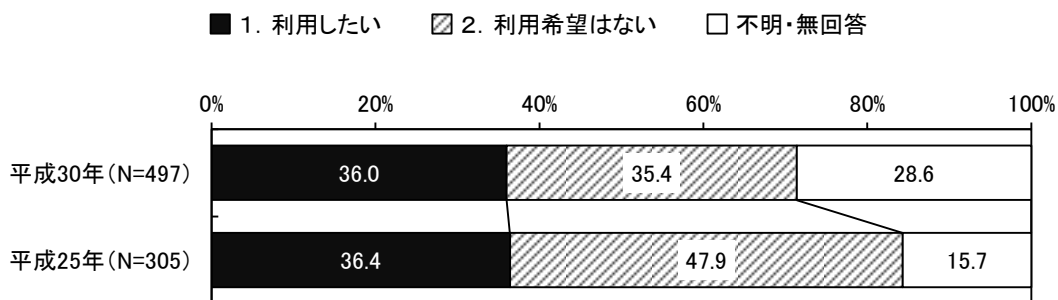
◆(「1」の場合)利用したい時間帯



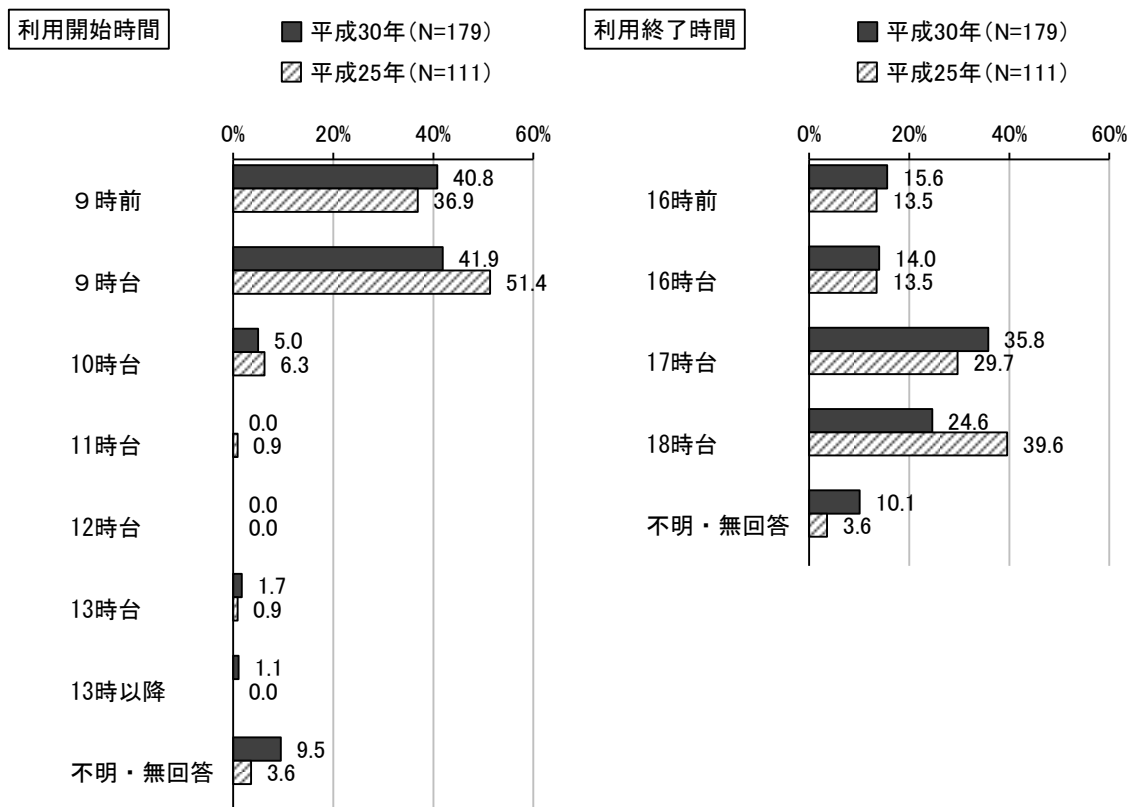
【高学年になったら】

③夏休み等の学校の長期休業中について,[高学年になったら]では「1. 利用したい」が36.0%、「2. 利用希望はない」が35.4%となっています。平成25年と比較すると、「2. 利用希望はない」が12.5ポイント低くなっています。

利用したい時間帯について、開始時間は「9時台」が41.9%と最も高く、次いで「9時前」が40.8%となっています。終了時間は「17時台」が35.8%と最も高く、次いで「18時台」が24.6%となっています。



◆(「1」の場合)利用したい時間帯



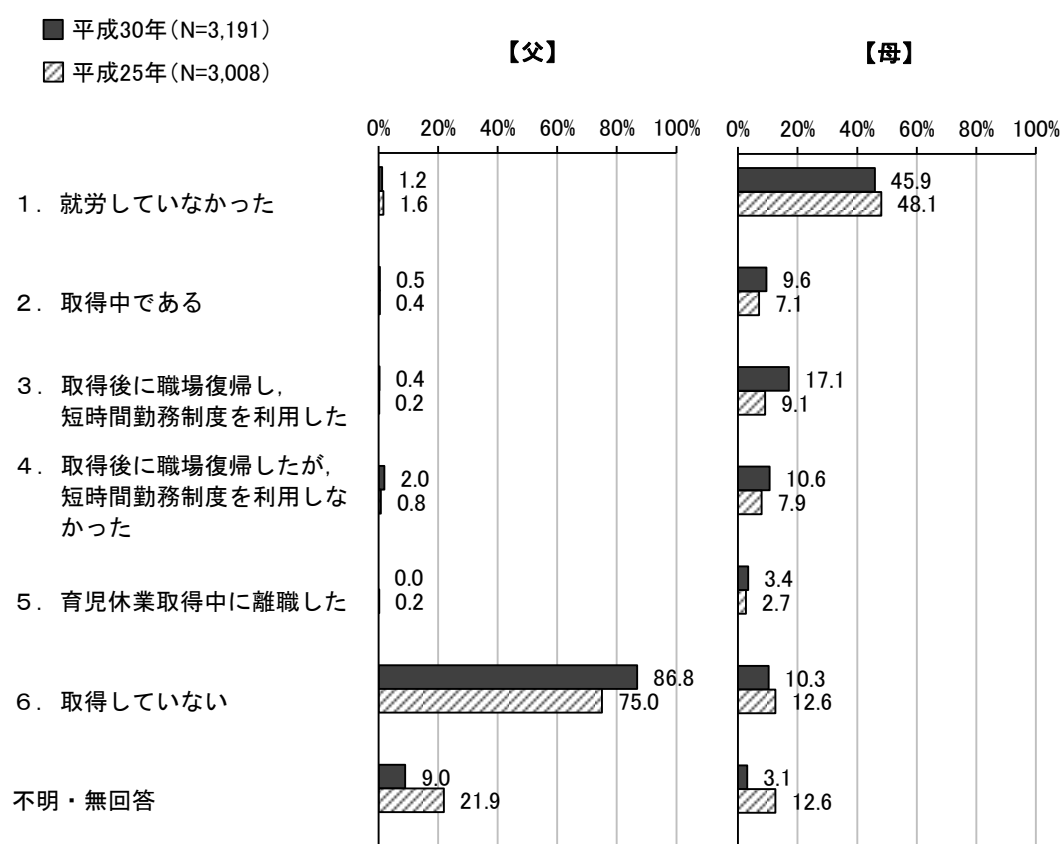
10 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度について

問 24(1) 宛名のお子さまが生まれた時の育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。(〇はそれぞれ1つつ)

父親では、「6. 取得していない」が86.8%と最も高くなっています。

母親では、「1. 就労していなかった」が45.9%と最も高く、次いで「3. 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が17.1%、「4. 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった」が10.6%となっています。

平成25年と比較すると、父親では「6. 取得していない」が11.8ポイント、母親では「3. 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」が8.0ポイント高くなっています。



《問 24(1)×家族類型別》

父親について、すべての区分で「取得していない」の割合が最も高くなっています。

母親について、「共働き（両親ともフルタイム）」では「取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した」、それ以外では「就労していなかった」の割合が最も高くなっています。

【父】

上段:件数 下段:%	合計	就労してい なかった	取得中であ る	取得後に職 場復帰し、 短時間勤務 制度を利用 した	取得後に職 場復帰した が、短時間 勤務制度を 利用しな かった	育児休業取 得中に離職 した	取得してい ない	不明・ 無回答	
全 体	3,191 100.0	39 1.2	17 0.5	13 0.4	63 2.0	1 0.0	2,770 86.8	288 9.0	
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32 27.4	84 71.8	
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	15 1.4	7 0.7	5 0.5	23 2.2	938 89.3	62 5.9	
	フルタイム・パート	835 100.0	8 1.0	4 0.5	2 0.2	11 1.3	1 0.1	751 89.9	58 6.9
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	14 1.2	6 0.5	6 0.5	29 2.5	0 0.0	1,018 89.3	67 5.9
	両親ともパート	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 85.7	2 14.3
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0

※不明・無回答除く

【母】

上段:件数 下段:%	合計	就労してい なかった	取得中であ る	取得後に職 場復帰し、 短時間勤務 制度を利用 した	取得後に職 場復帰した が、短時間 勤務制度を 利用しな かった	育児休業取 得中に離職 した	取得してい ない	不明・ 無回答	
全 体	3,191 100.0	1,464 45.9	307 9.6	545 17.1	338 10.6	110 3.4	328 10.3	99 3.1	
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	64 54.7	1 0.9	15 12.8	14 12.0	3 2.6	15 12.8	5 4.3
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	84 8.0	223 21.2	388 37.0	234 22.3	13 1.2	83 7.9	25 2.4
	フルタイム・パート	835 100.0	377 45.1	71 8.5	118 14.1	70 8.4	47 5.6	130 15.6	22 2.6
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	915 80.3	7 0.6	17 1.5	18 1.6	46 4.0	96 8.4	41 3.6
	両親ともパート	14 100.0	7 50.0	0 0.0	4 28.6	0 0.0	1 7.1	0 0.0	2 14.3
	両親とも無職	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

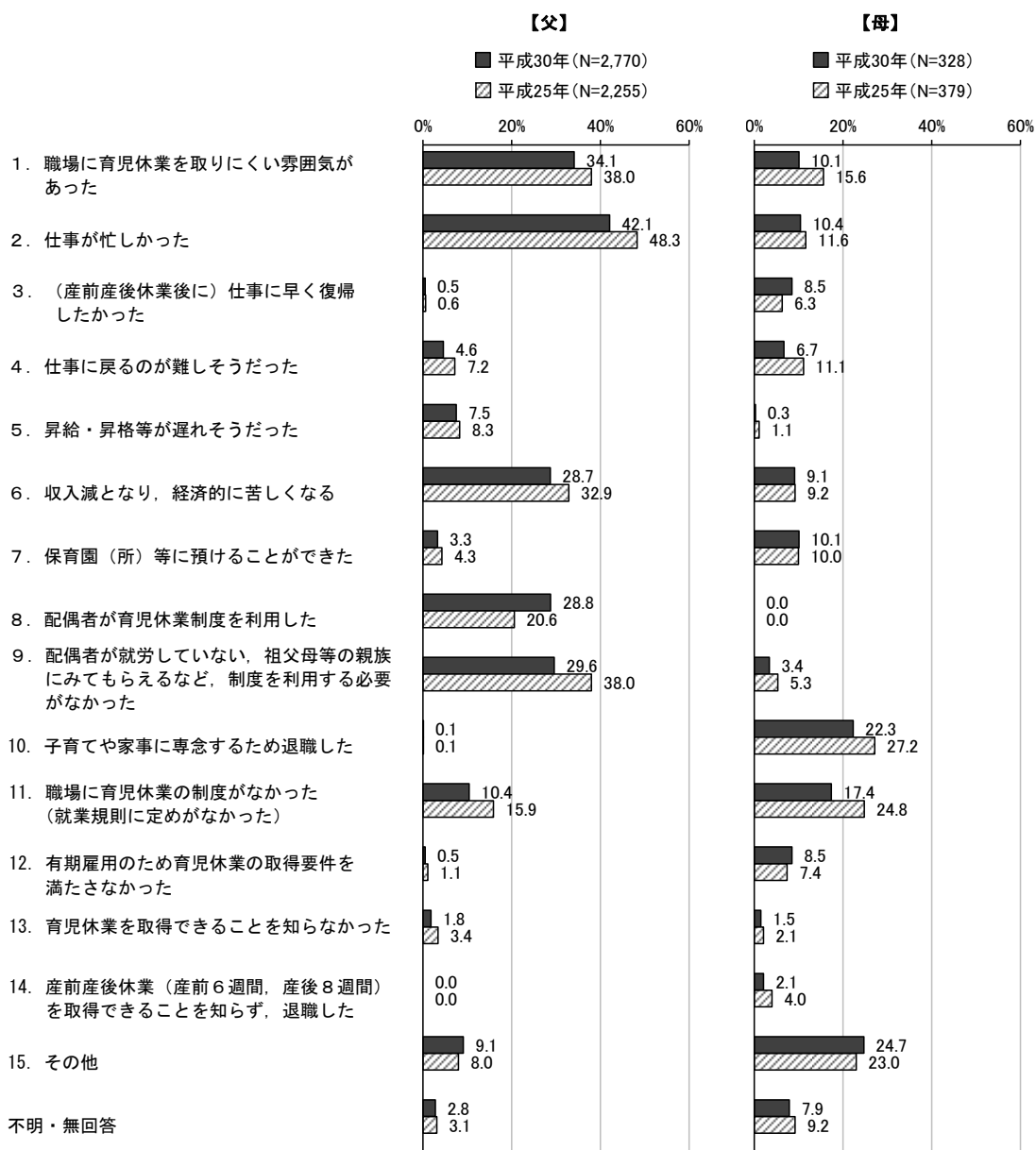
問 24(1)で父母のどちらかが「6. 取得していない」と答えた方

問 24(2) その方が、育児休業を取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

父親では、「2. 仕事が忙しかった」が42.1%と最も高く、次いで「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が34.1%、「9. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が29.6%となっています。

母親では、その他を除き「10. 子育てや家事に専念するため退職した」が22.3%と最も高く、次いで「11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が17.4%、「2. 仕事が忙しかった」が10.4%となっています。

平成25年と比較すると、父親では「9. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が8.4ポイント、「2. 仕事が忙しかった」が6.2ポイント低くなっています。母親では「11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が7.4ポイント、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が5.5ポイント低くなっています。



《問 24(2)×家族類型別》

父親について、「ひとり親」「フルタイム・パート」では「仕事が忙しかった」、「共働き（両親ともフルタイム）」では「配偶者が育児休業制度を利用した」、「専業主婦(夫)」では「配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が最も高くなっています。

【父】

上段:件数 下段:%		合計	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	(産前産後休業後に)仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格等が遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育園(所)等に預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した
全体		2,770 100.0	945 34.1	1,166 42.1	14 0.5	128 4.6	208 7.5	794 28.7	92 3.3	797 28.8
家族類型別	ひとり親	32 100.0	6 18.8	12 37.5	1 3.1	3 9.4	1 3.1	5 15.6	1 3.1	5 15.6
	共働き(両親ともフルタイム)	938 100.0	351 37.4	401 42.8	9 1.0	48 5.1	91 9.7	298 31.8	51 5.4	557 59.4
	フルタイム・パート	751 100.0	256 34.1	307 40.9	1 0.1	34 4.5	54 7.2	247 32.9	34 4.5	188 25.0
	専業主婦(夫)	1,018 100.0	327 32.1	432 42.4	3 0.3	42 4.1	62 6.1	233 22.9	6 0.6	41 4.0
	両親ともパート	12 100.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 41.7	0 0.0	4 33.3
	両親とも無職	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できなかった	産前産後休業(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった、退職した	その他	不明・無回答
全体		2,770 100.0	820 29.6	3 0.1	287 10.4	13 0.5	51 1.8	1 0.0	253 9.1	78 2.8
家族類型別	ひとり親	32 100.0	5 15.6	0 0.0	4 12.5	0 0.0	1 3.1	0 0.0	5 15.6	3 9.4
	共働き(両親ともフルタイム)	938 100.0	65 6.9	0 0.0	77 8.2	3 0.3	12 1.3	1 0.1	61 6.5	22 2.3
	フルタイム・パート	751 100.0	234 31.2	0 0.0	96 12.8	5 0.7	16 2.1	0 0.0	83 11.1	23 3.1
	専業主婦(夫)	1,018 100.0	510 50.1	3 0.3	107 10.5	4 0.4	22 2.2	0 0.0	99 9.7	28 2.8
	両親ともパート	12 100.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3
	両親とも無職	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

母親について、「ひとり親」ではその他を除き「仕事に戻るのが難しそうだった」、「共働き（両親ともフルタイム）」では「仕事が忙しかった」、「フルタイム・パート」ではその他を除き「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」、「専業主婦（夫）」では「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が最も高くなっています。

【母】

上段:件数 下段:%		合計	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	(産前産後休業後に)仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格等が遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育園(所)等に預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した
全体		328 100.0	33 10.1	34 10.4	28 8.5	22 6.7	1 0.3	30 9.1	33 10.1	0 0.0
家族類型別	ひとり親	15 100.0	1 6.7	3 20.0	3 20.0	4 26.7	0 0.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0
	共働き(両親ともフルタイム)	83 100.0	10 12.0	25 30.1	15 18.1	3 3.6	1 1.2	16 19.3	16 19.3	0 0.0
	フルタイム・パート	130 100.0	10 7.7	5 3.8	8 6.2	10 7.7	0 0.0	9 6.9	15 11.5	0 0.0
	専業主婦(夫)	96 100.0	10 10.4	0 0.0	0 0.0	5 5.2	0 0.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0
	両親ともパート	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	合計	328 100.0	11 3.4	73 22.3	57 17.4	28 8.5	5 1.5	7 2.1	81 24.7	26 7.9
家族類型別	ひとり親	15 100.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	1 6.7	0 0.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0
	共働き(両親ともフルタイム)	83 100.0	5 6.0	5 6.0	11 13.3	3 3.6	1 1.2	2 2.4	23 27.7	1 1.2
	フルタイム・パート	130 100.0	4 3.1	30 23.1	31 23.8	14 10.8	4 3.1	4 3.1	31 23.8	8 6.2
	専業主婦(夫)	96 100.0	1 1.0	35 36.5	12 12.5	9 9.4	0 0.0	1 1.0	23 24.0	17 17.7
	両親ともパート	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	合計	328 100.0	11 3.4	73 22.3	57 17.4	28 8.5	5 1.5	7 2.1	81 24.7	26 7.9

※不明・無回答除く

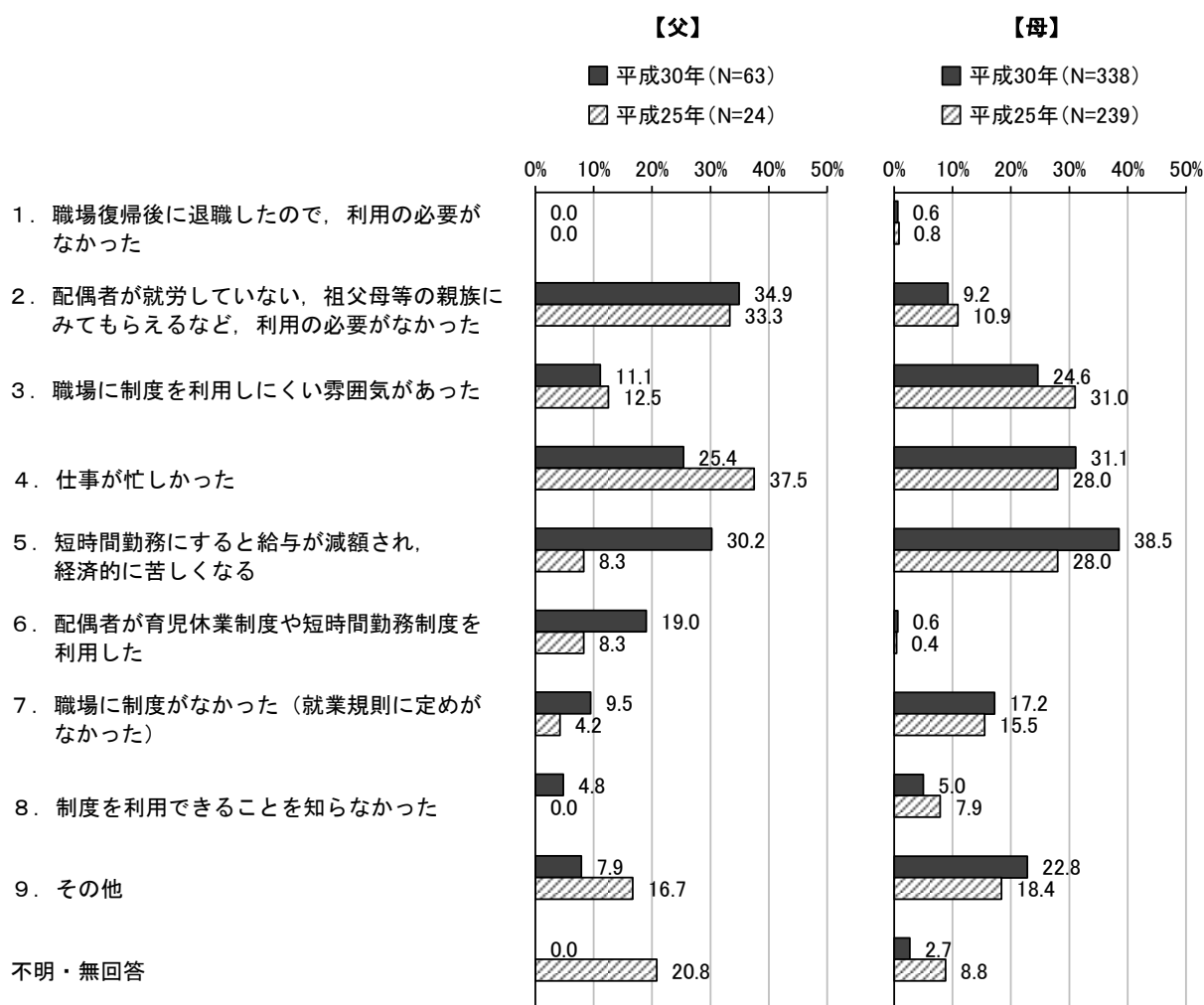
問 24(1)で父母のどちらかが「4. 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった」と答えた方

問 24(3) その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

父親では、「2. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった」が34.9%と最も高く、次いで「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が30.2%、「4. 仕事が忙しかった」が25.4%となっています。

母親では、「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が38.5%と最も高く、次いで「4. 仕事が忙しかった」が31.1%、「3. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が24.6%となっています。

平成25年と比較すると、母親では「5. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が10.5ポイント高く、「3. 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった」が6.4ポイント低くなっています。



問 24(1)で父母のどちらかが「5. 育児休業取得中に離職した」と答えた方

問 24(4) その方が、離職した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

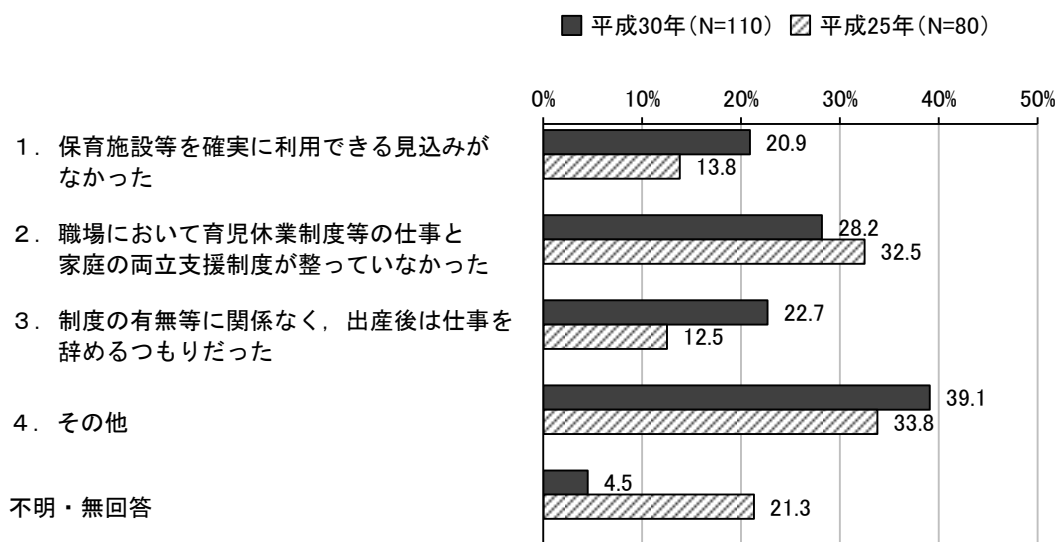
母親では、その他を除き「2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった」が28.2%と最も高く、次いで「3. 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった」が22.7%、「1. 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」が20.9%となっています。

平成25年と比較すると、「3. 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった」が10.2ポイント、「1. 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった」が7.1ポイント高くなっています。

【父】

有効回答はありません。

【母】

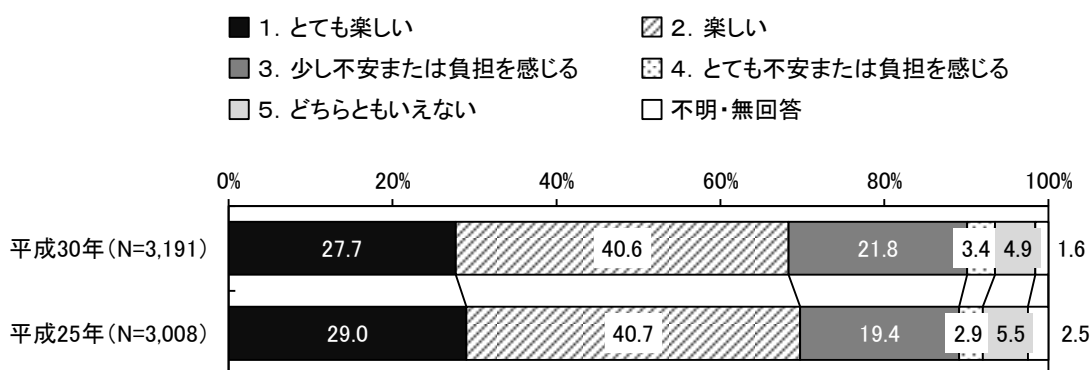


11 子育て支援・相談などについて

問 25 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(〇は1つ)

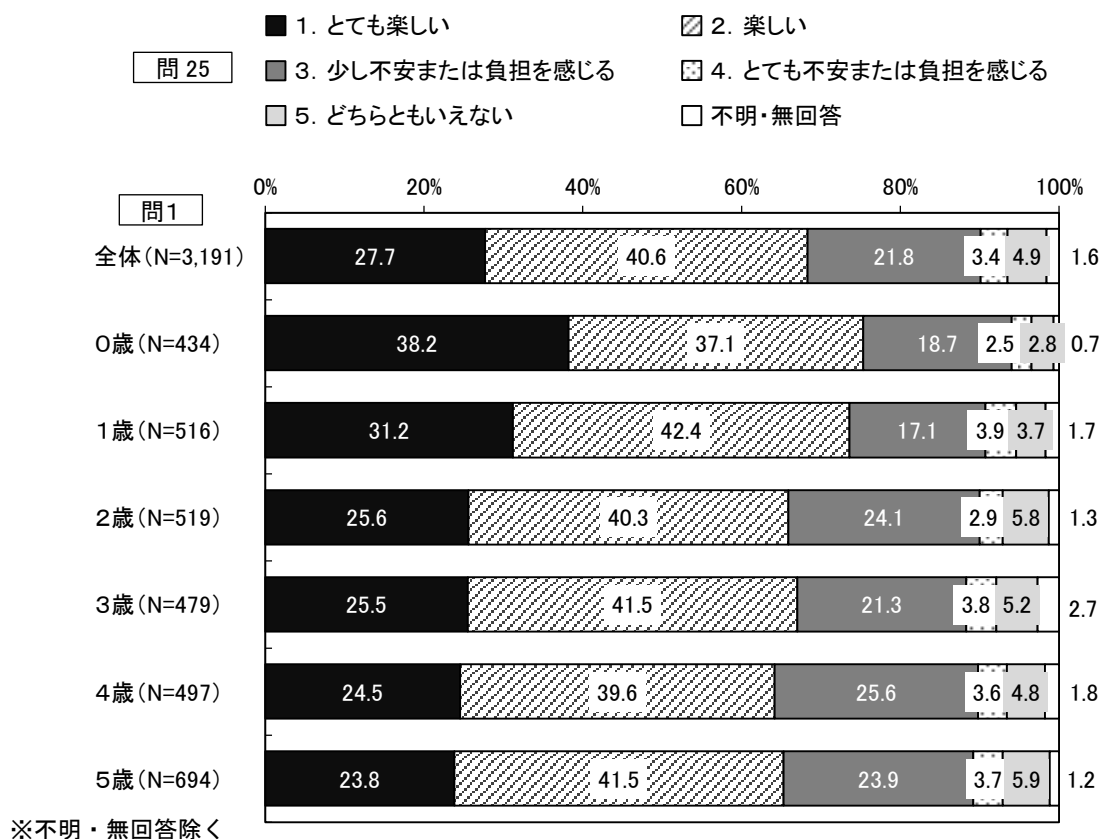
「2. 楽しい」が40.6%と最も高く、次いで「1. とても楽しい」が27.7%、「3. 少し不安または負担を感じる」が21.8%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



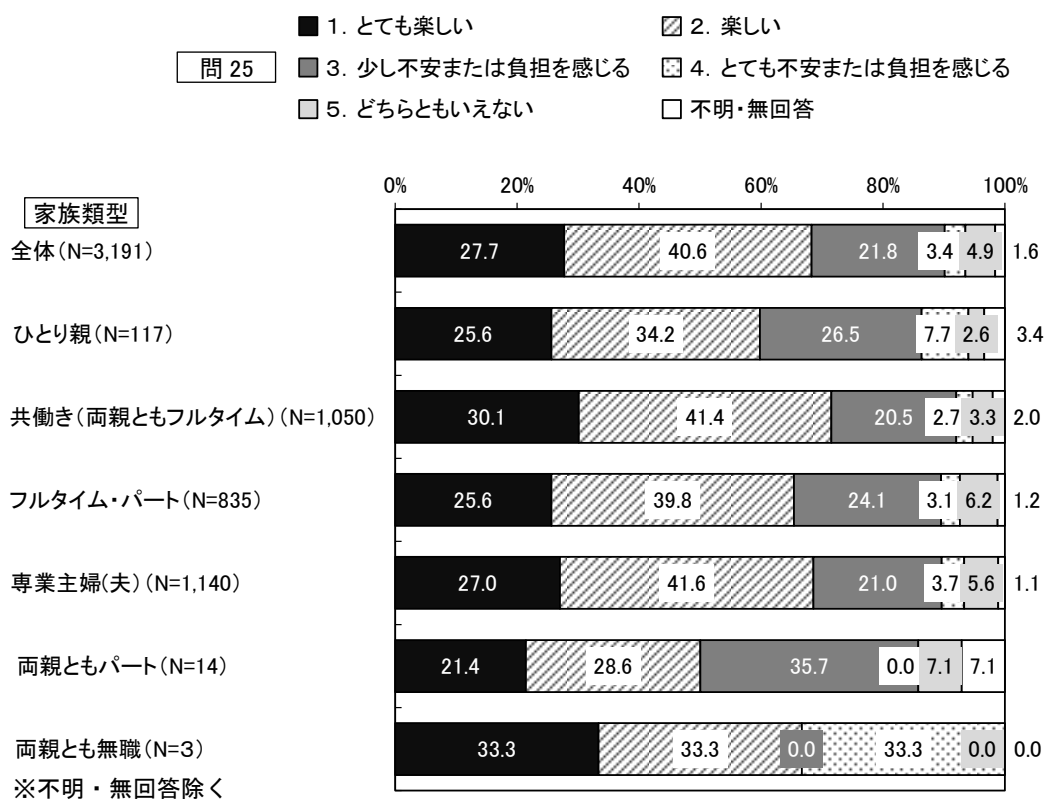
《問 25×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「1. とても楽しい」の割合が低くなる傾向がみられます。



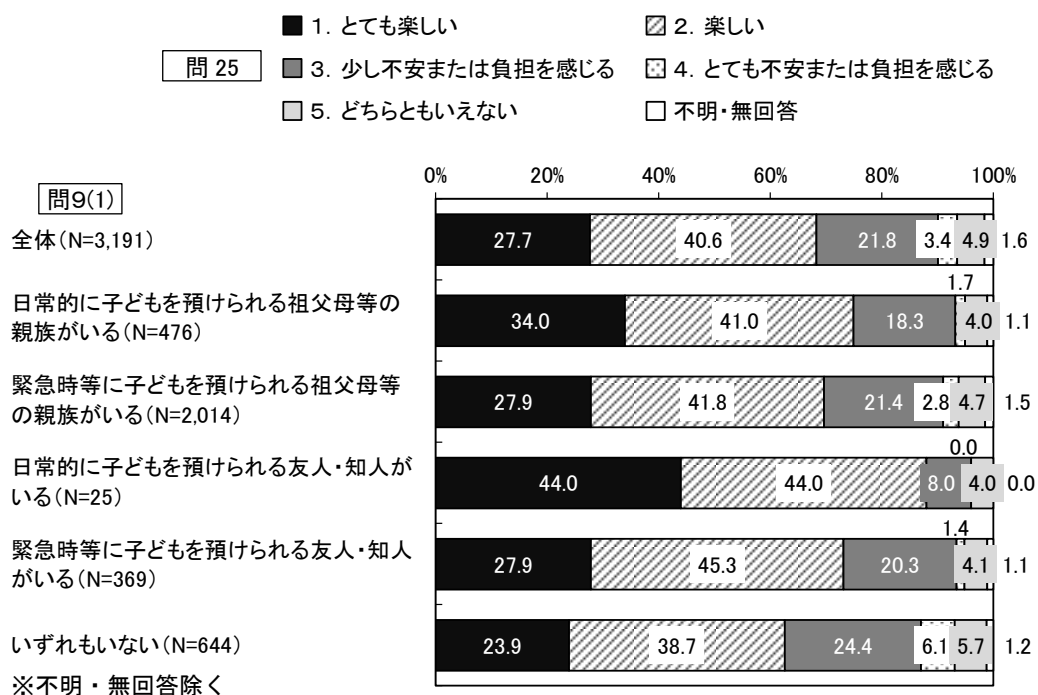
《問 25×家族類型別》

「ひとり親」「両親ともパート」で「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



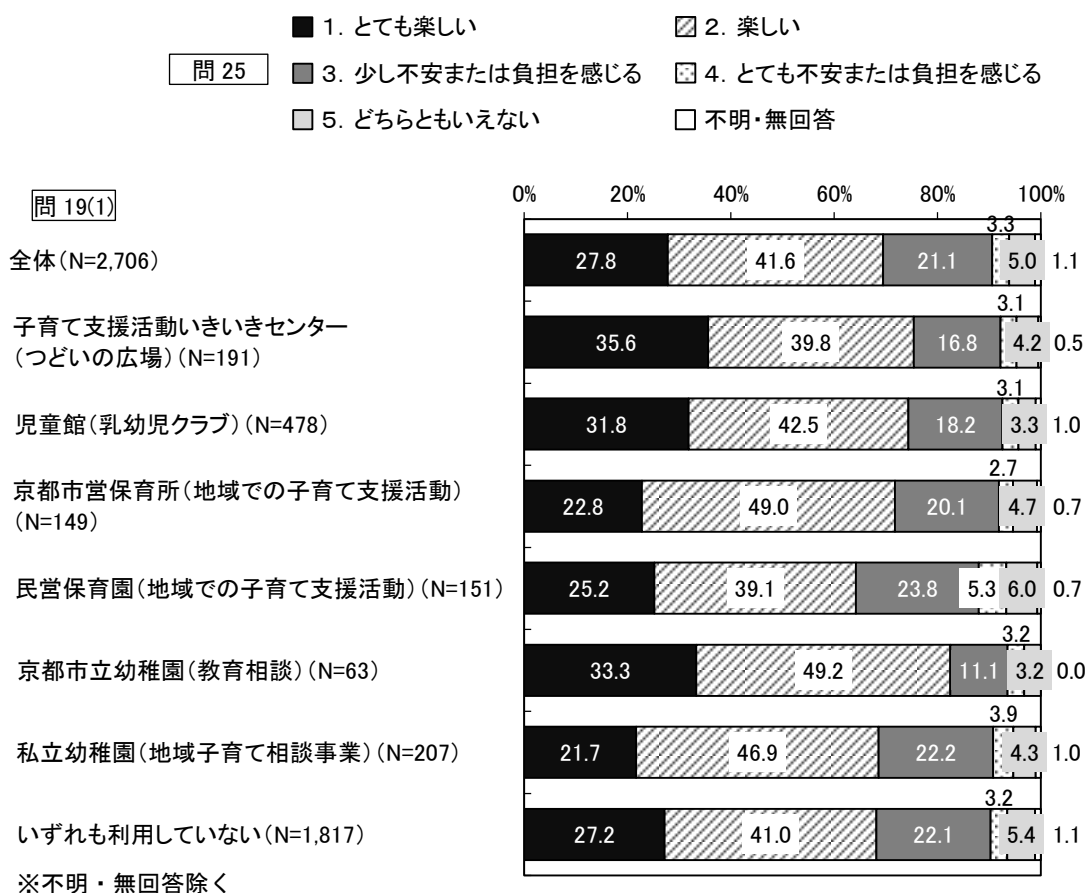
《問 25×問 9(1)日頃, 子どもを預けられる人別》

「いずれもない」で「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



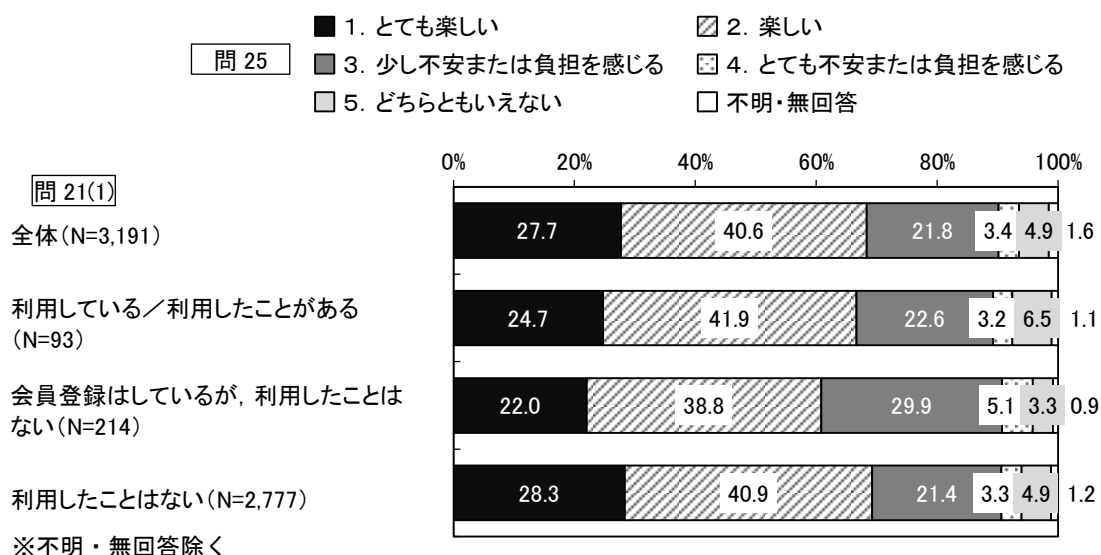
《問 25×問 19(1)B-1 地域の子育て支援事業の利用状況別》

[京都市立幼稚園（教育相談）]では「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」が8割を超えています。



《問 25×問 21(1)ファミリーサポート事業の利用経験別》

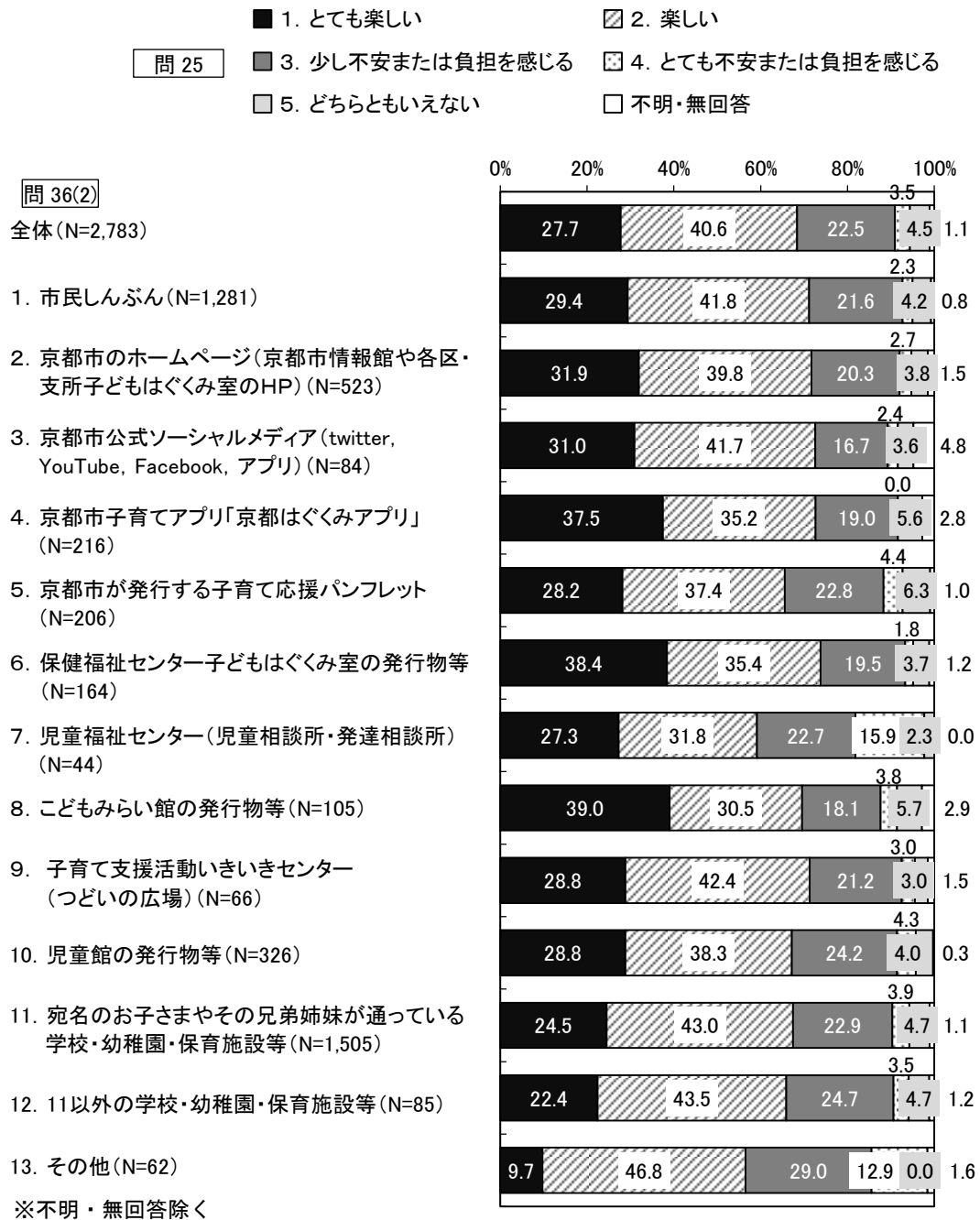
[会員登録はしているが、利用したことはない]で「不安または負担を感じる（「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計）」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



《問 25×問 36(2)子育てに関する情報の入手方法別》

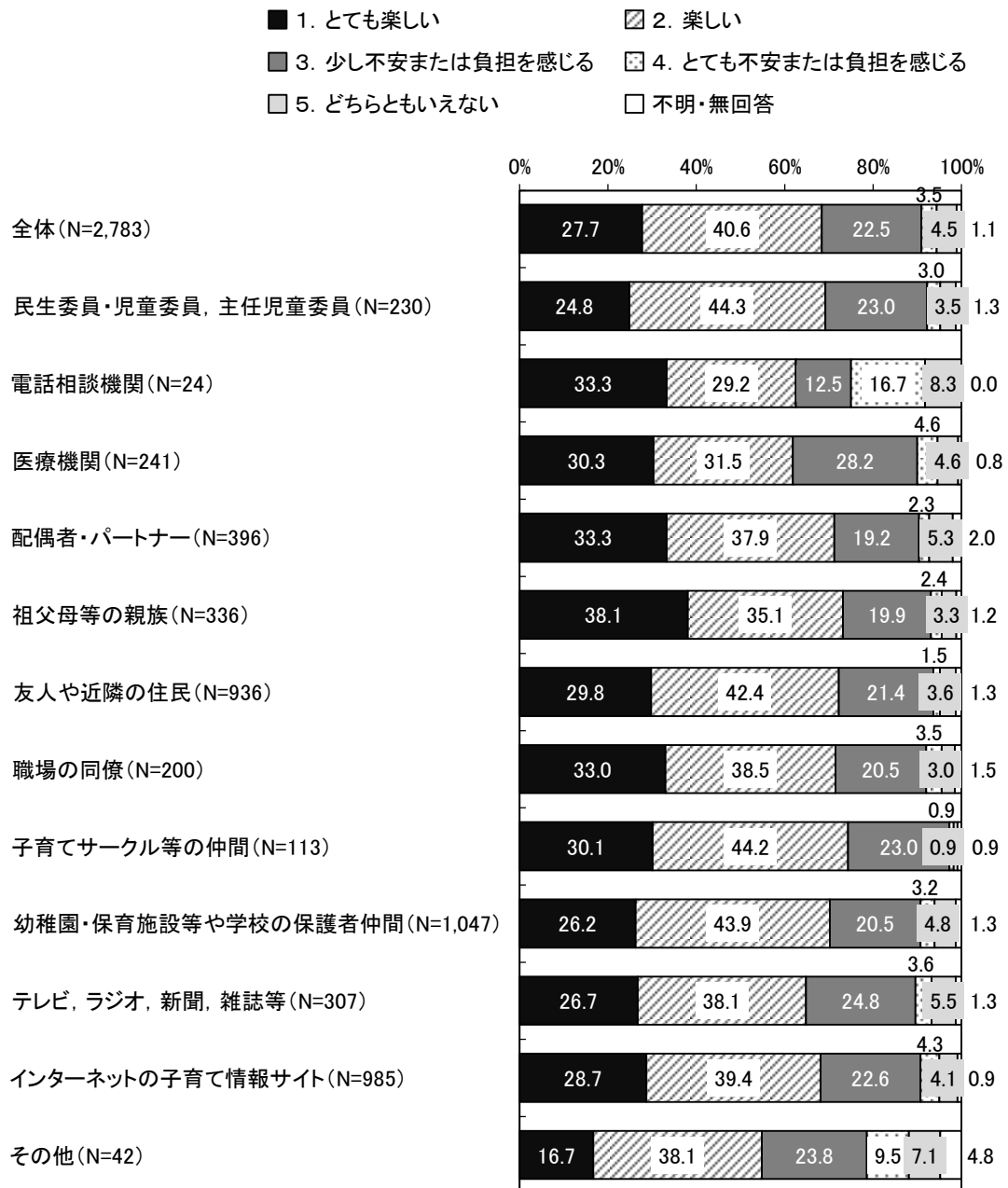
①行政では、「児童福祉センター（児童相談所・発達相談所）」で「不安または負担を感じる（「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計）」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

①行政



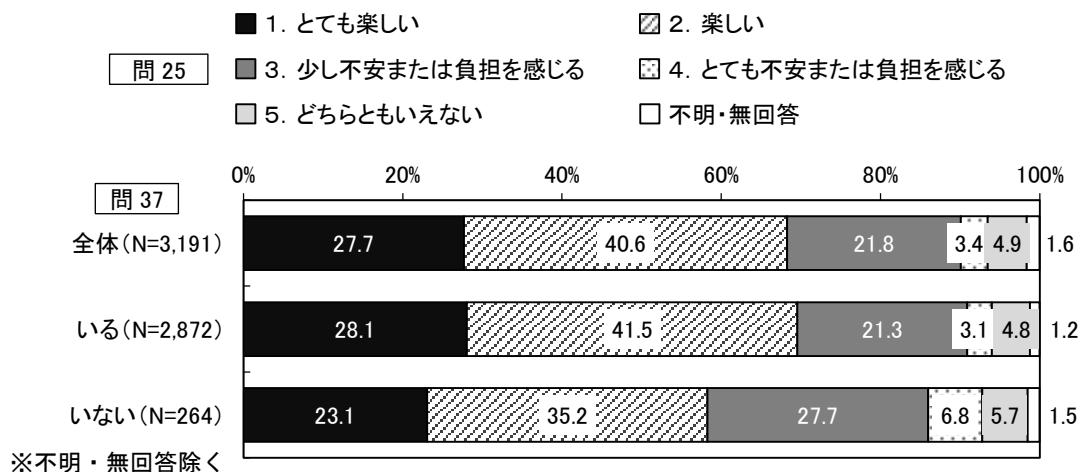
②民間では、[電話相談機関]では「4. とても不安または負担を感じる」の割合が他の区分に比べて高くなっています。

②民間



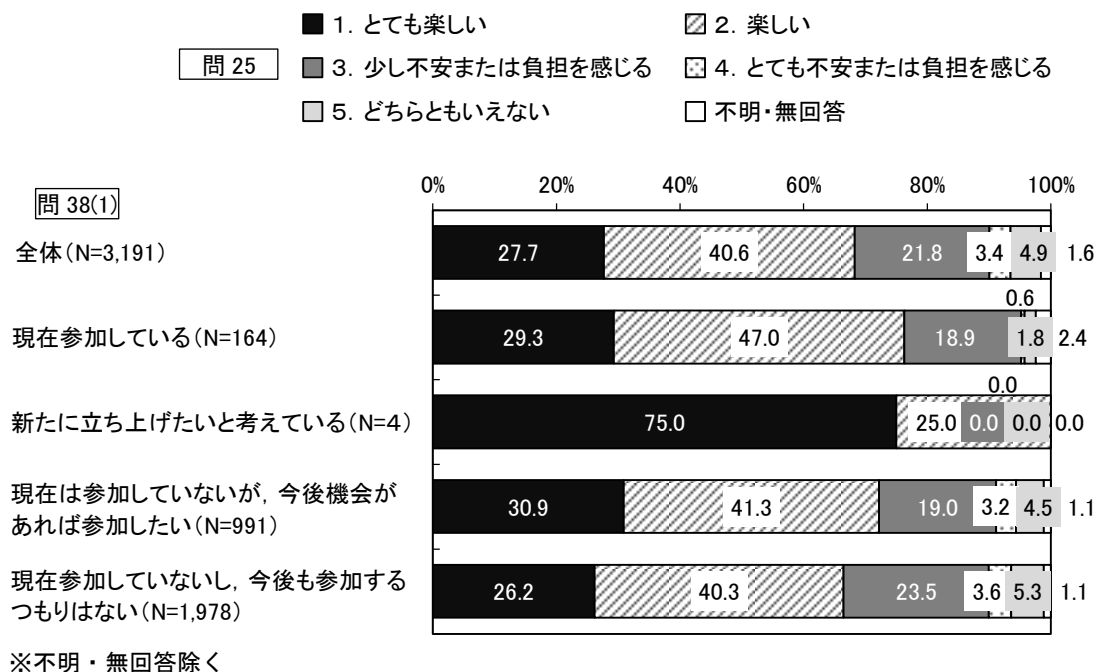
《問 25×問 37 子育て仲間の有無別》

「いない」では「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が「いる」に比べ低くなっています。



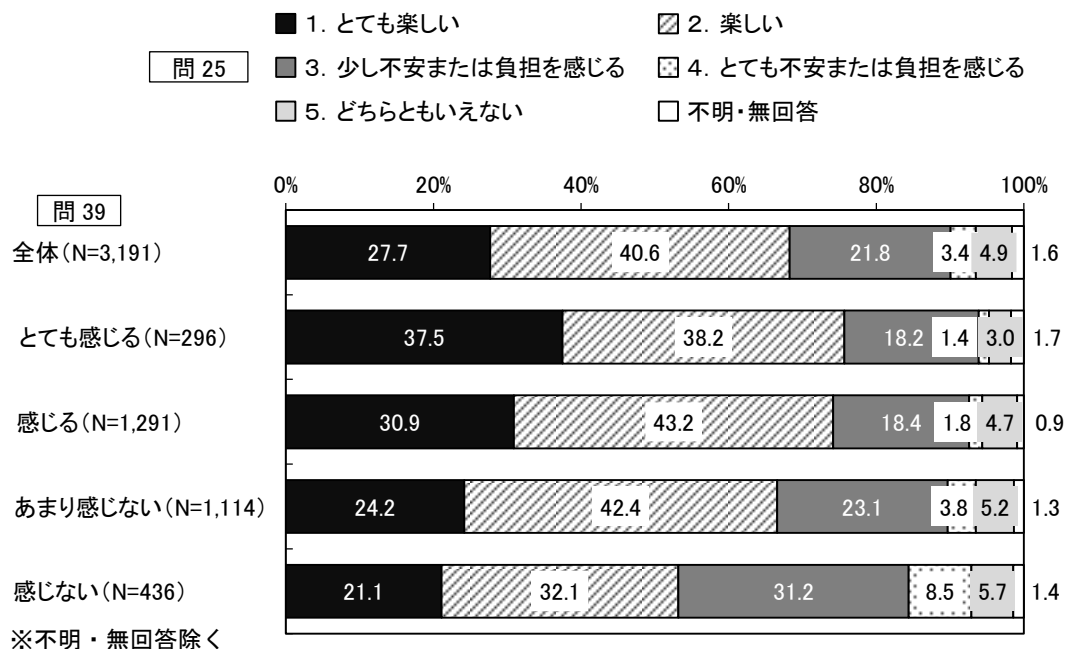
《問 25×問 38(1)子育てサークル等の自主的な活動の参加状況別》

「現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」では「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が「現在参加している」に比べ低くなっています。



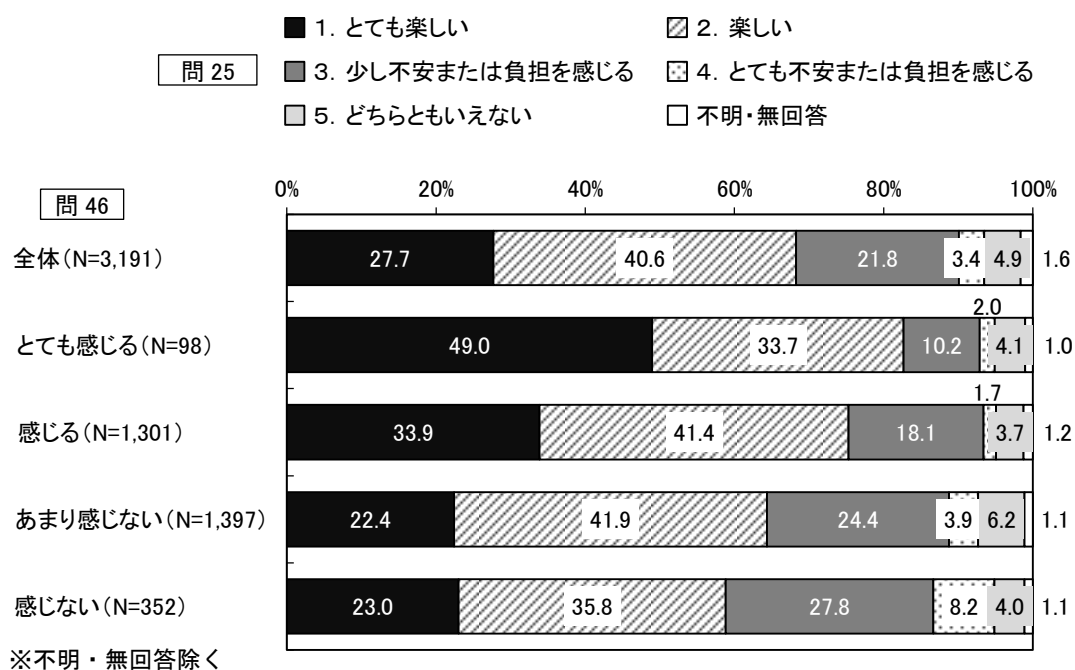
《問 25×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じている方ほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



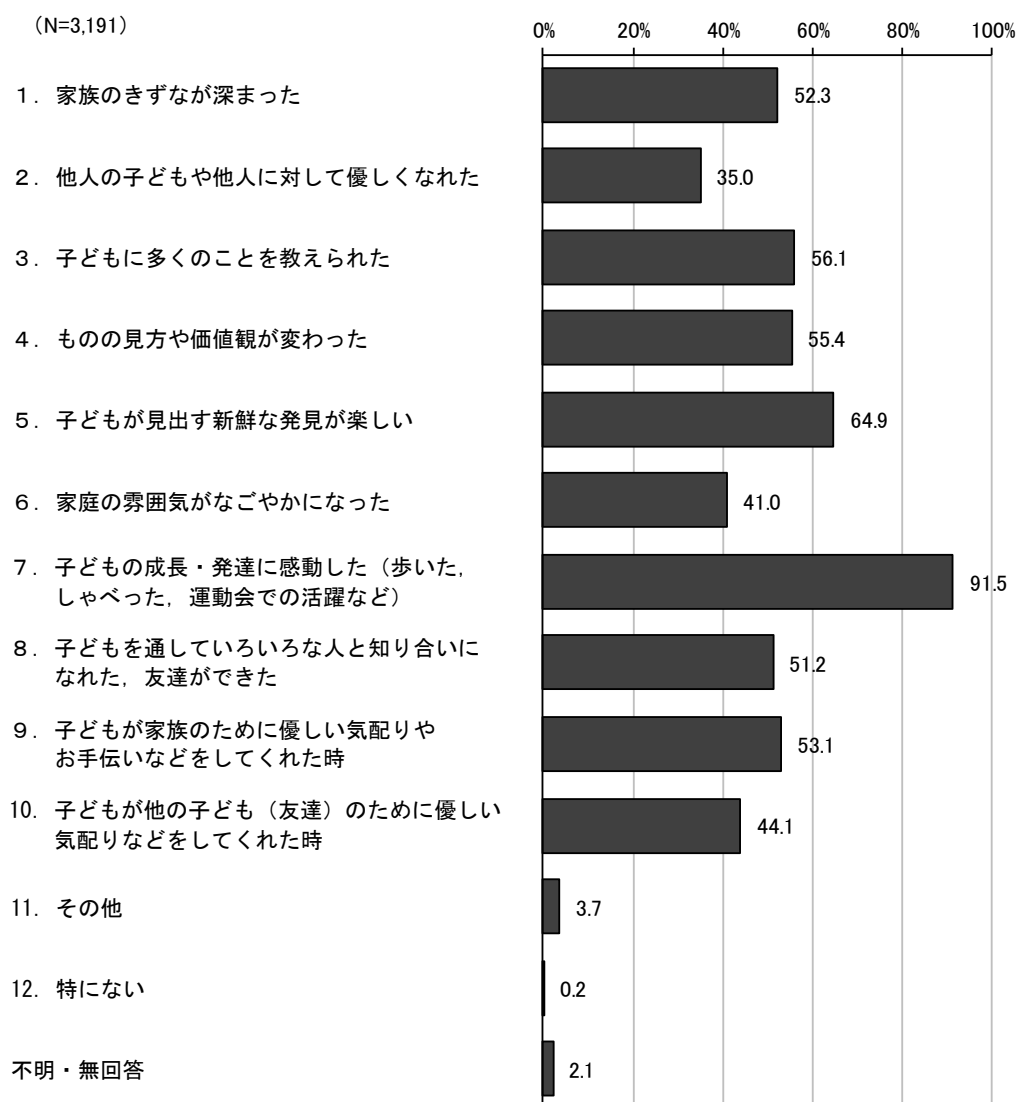
《問 25×問 46 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 26 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じること、感じる時についてお答えください。(〇はいくつでも)

「7. 子どもの成長・発達に感動した(歩いた, シャベった, 運動会での活躍など)」が91.5%と最も高く, 次いで「5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい」が64.9%, 「3. 子どもに多くのことを教えられた」が56.1%となっています。



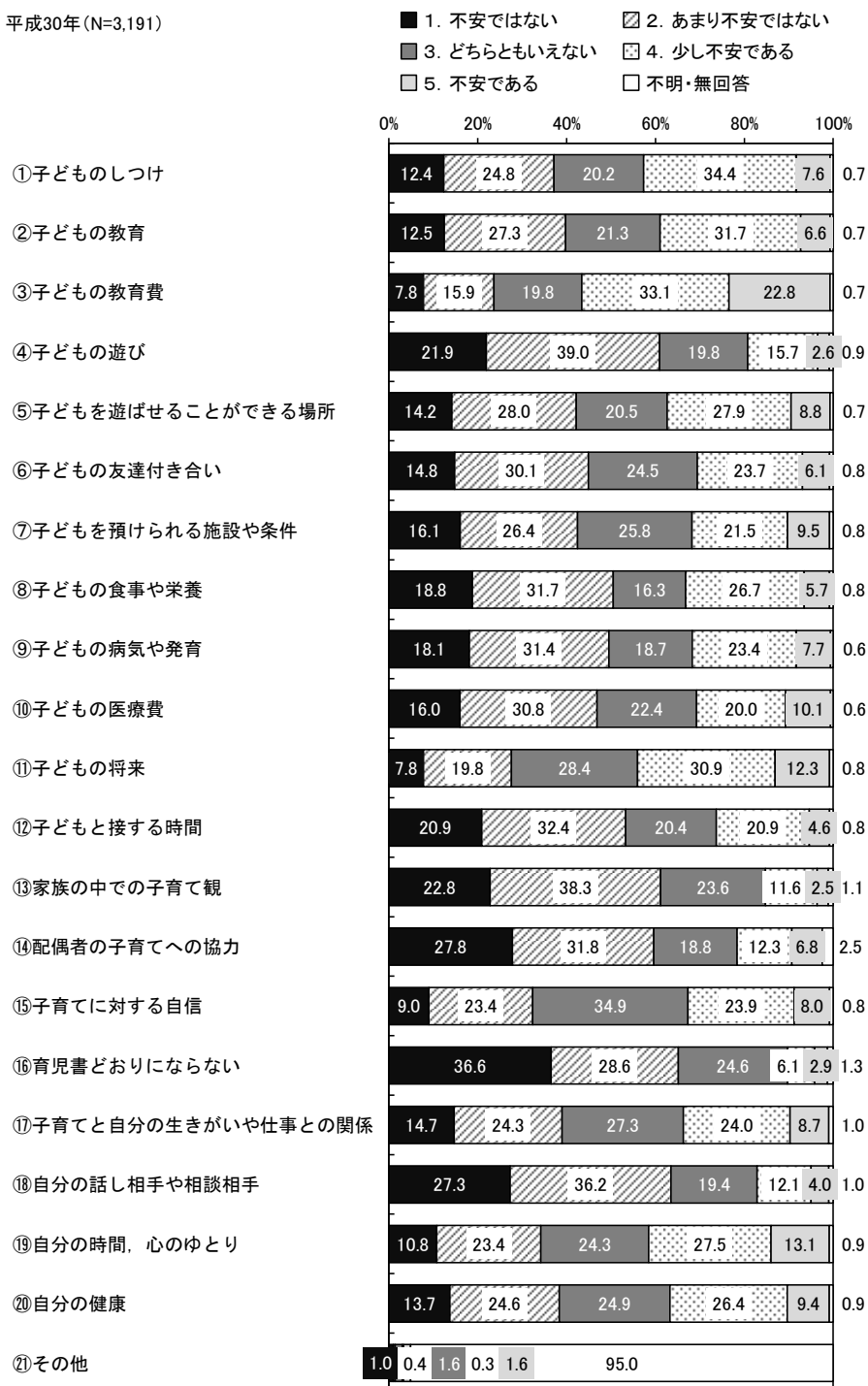
問 27 宛名のお子さまを育てていて、日頃、不安に感じていることはありますか。

(〇はそれぞれ1つずつ)

「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」は、[③子どもの教育費]が55.9%と最も高く、次いで[⑪子どもの将来]が43.2%、[①子どものしつけ]が42.0%となっています。

「不安ではない(「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計)」は、[⑯育児書どおりにならない]が65.2%と最も高く、次いで[⑱自分の話し相手や相談相手]が63.5%、[⑬家族の中での子育て観]が61.1%となっています。

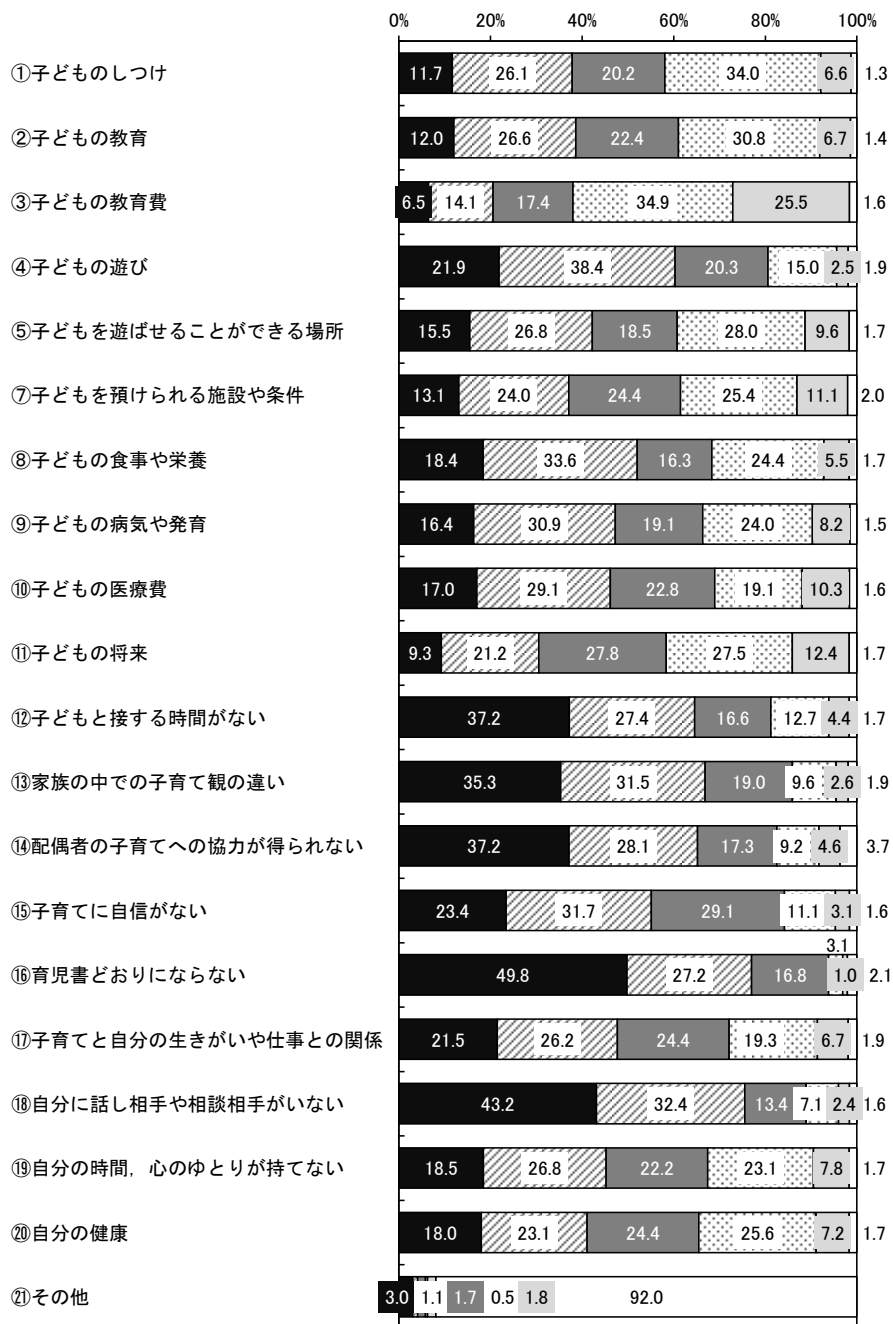
平成30年(N=3,191)



平成 25 年と比較すると、「不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）」では，[⑮子育てに対する自信] が 22.7 ポイント，[⑱自分の話し相手や相談相手] が 12.1 ポイント低く，「⑦子どもを預けられる施設や条件」が 5.4 ポイント高くなっています。

平成25年(N=3,008)

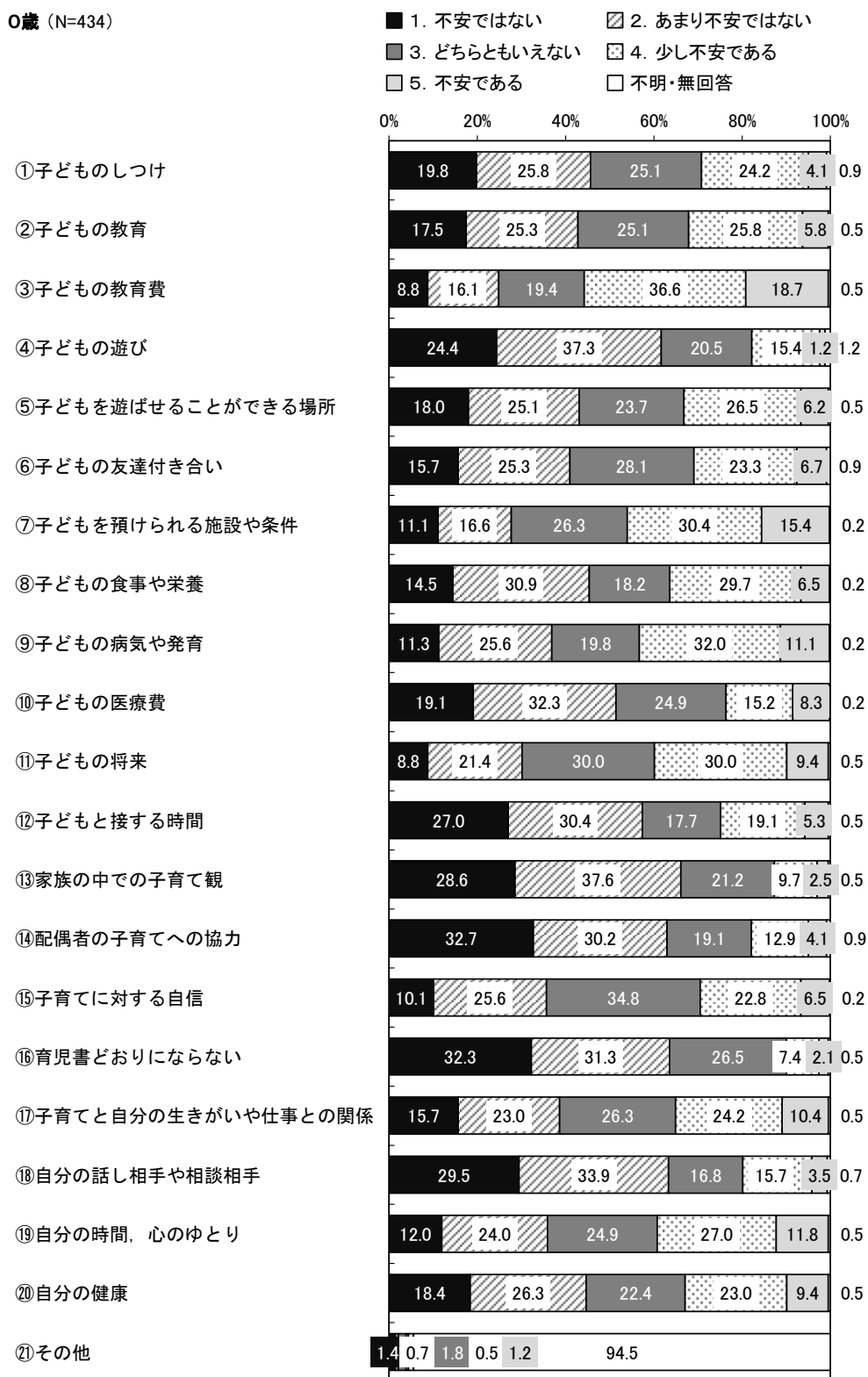
■ 1. 不安ではない ▨ 2. あまり不安ではない
 ■ 3. どちらとも言えない ▩ 4. 少し不安である
 □ 5. 不安である □ 不明・無回答



《問 27×問 1 子どもの年齢別》

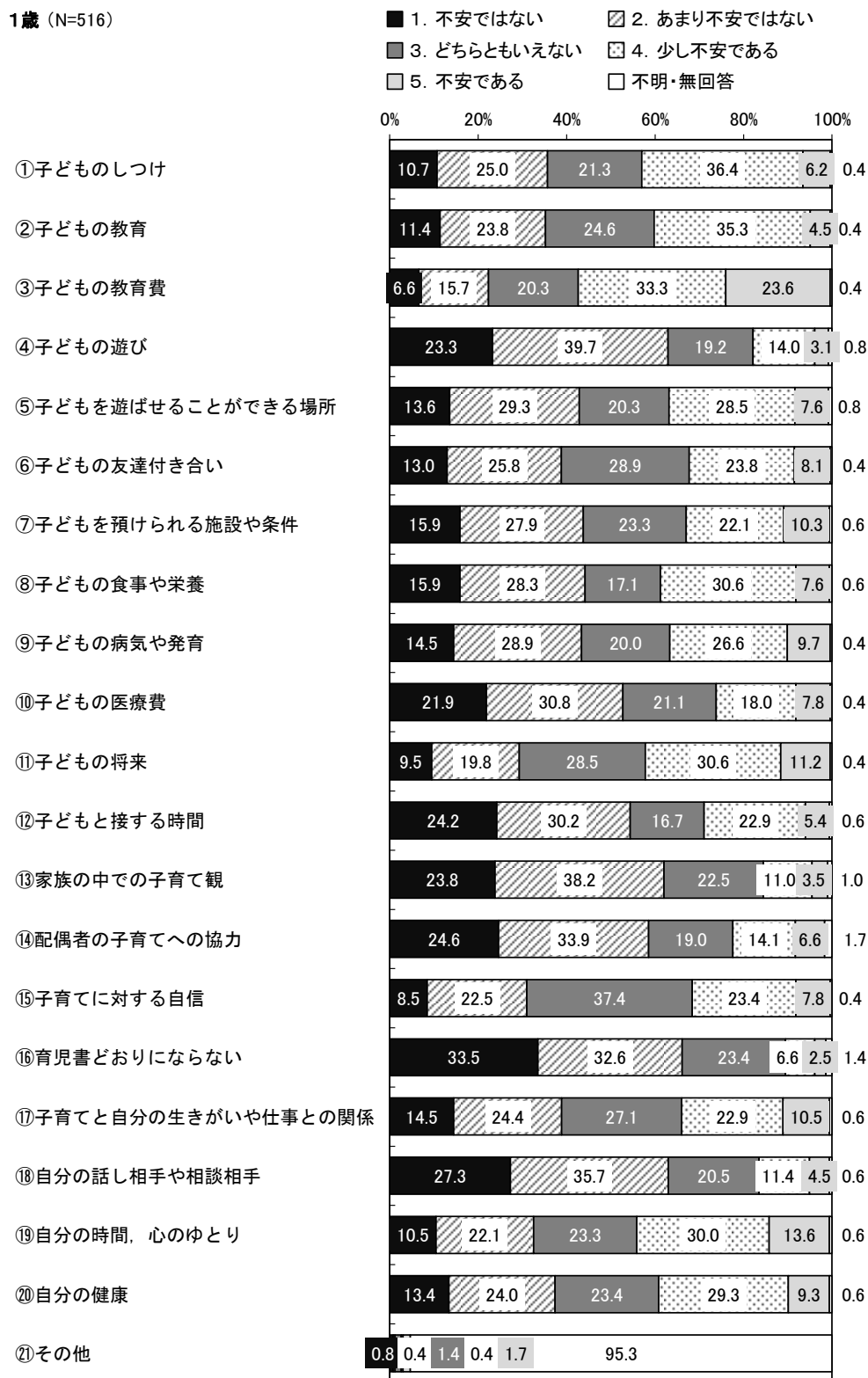
0歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が55.3%と最も高く、次いで[⑦子どもを預けられる施設や条件]が45.8%、[⑨子どもの病気や発育]が43.1%となっています。

0歳 (N=434)



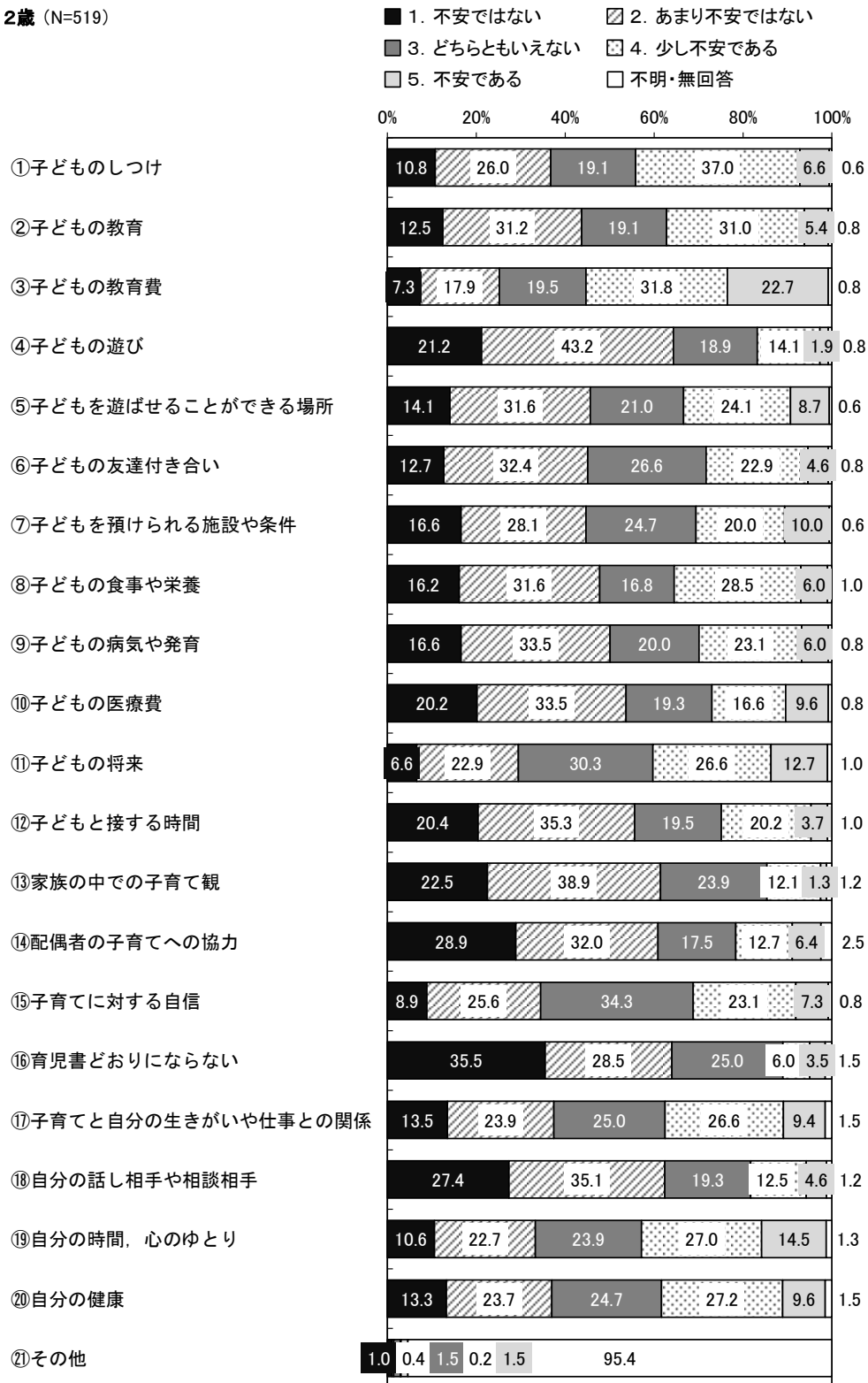
1歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が56.9%と最も高く、次いで[⑱自分の時間、心のゆとり]が43.6%、[①子どものしつけ]が42.6%となっています。

1歳 (N=516)



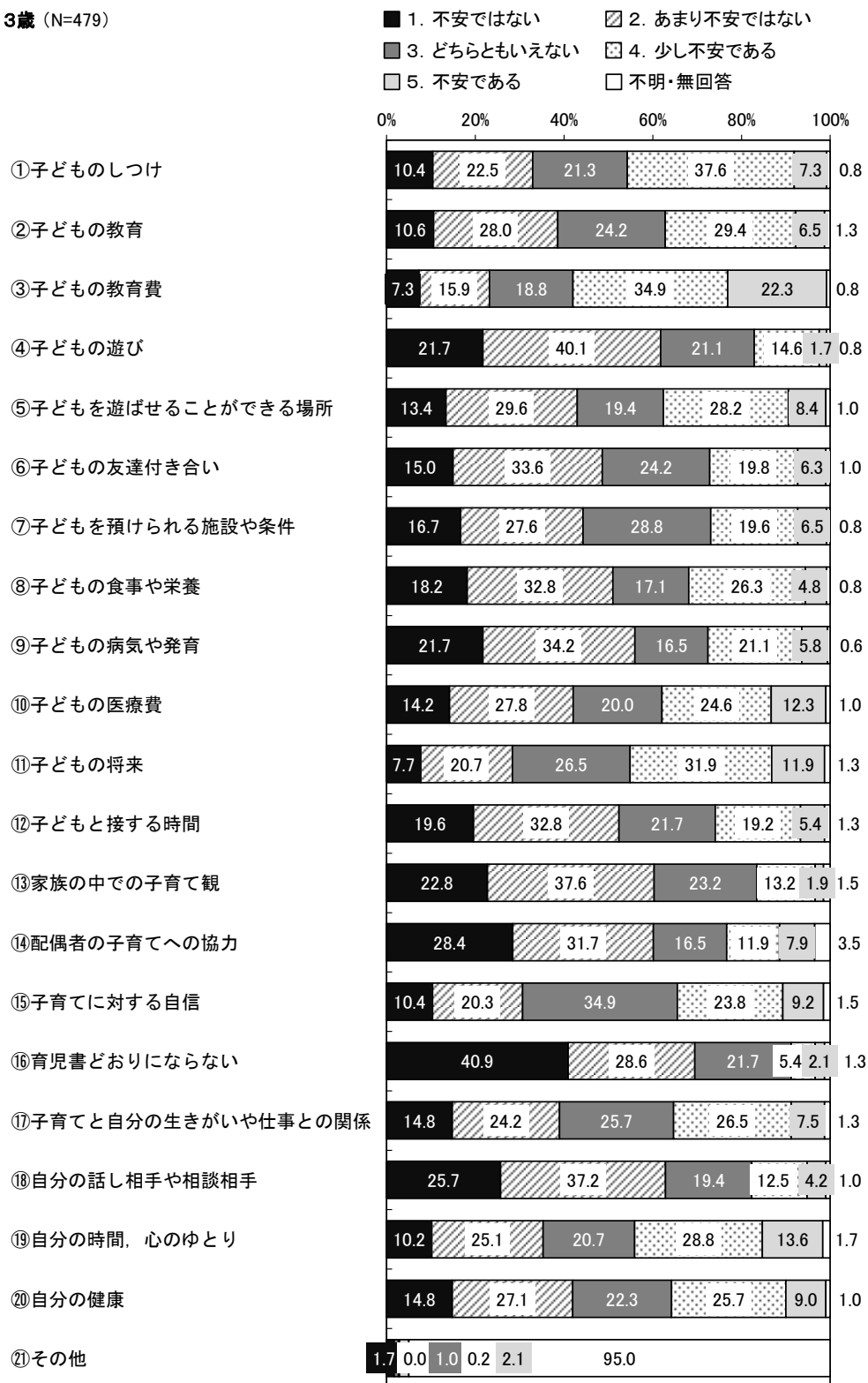
2歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が54.5%と最も高く、次いで[①子どものしつけ]が43.6%、[⑩自分の時間、心のゆとり]が41.5%となっています。

2歳 (N=519)



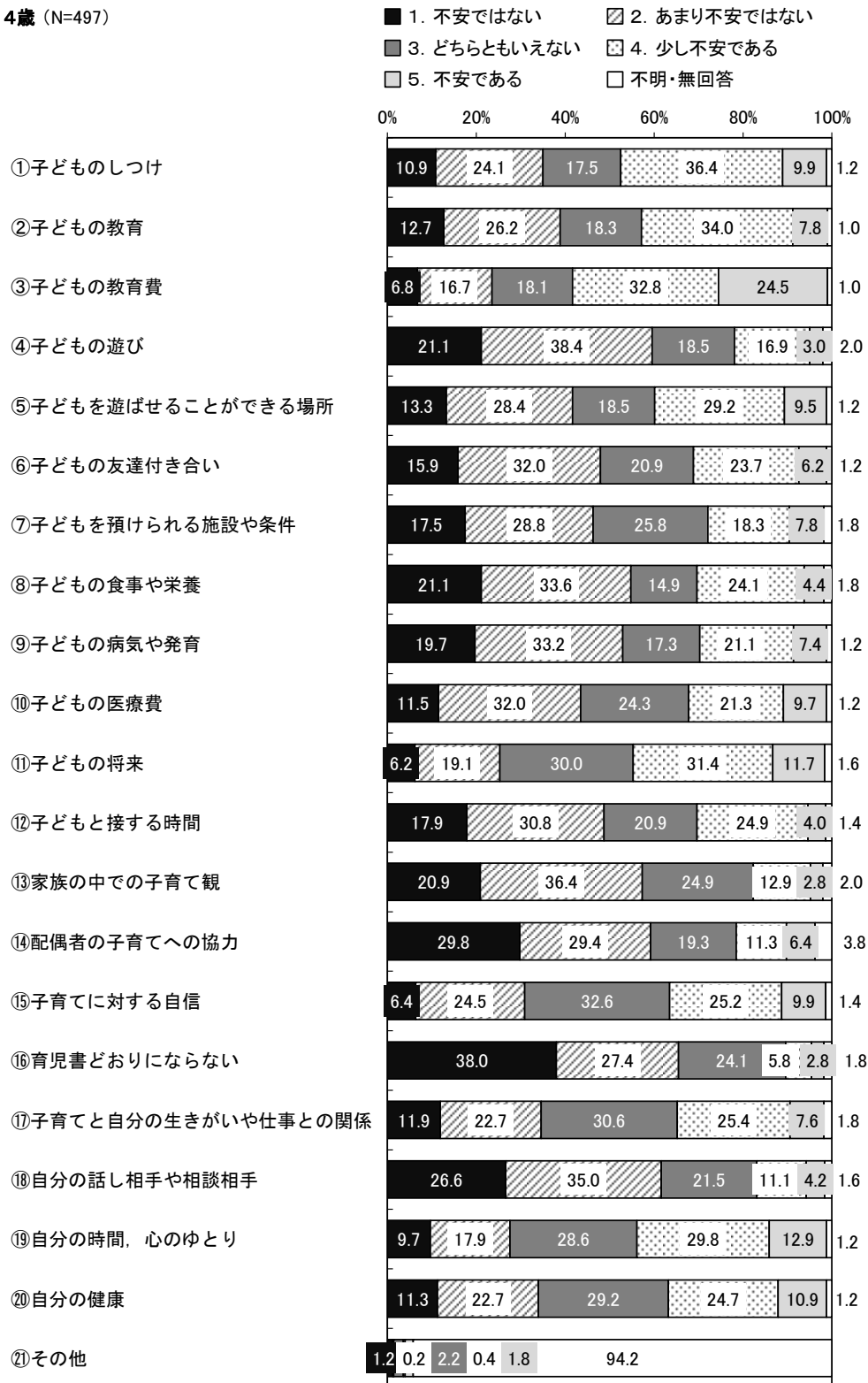
3歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が57.2%と最も高く、次いで[⑩子どものしつけ]が44.9%、[⑪子どもの将来]が43.8%となっています。

3歳 (N=479)



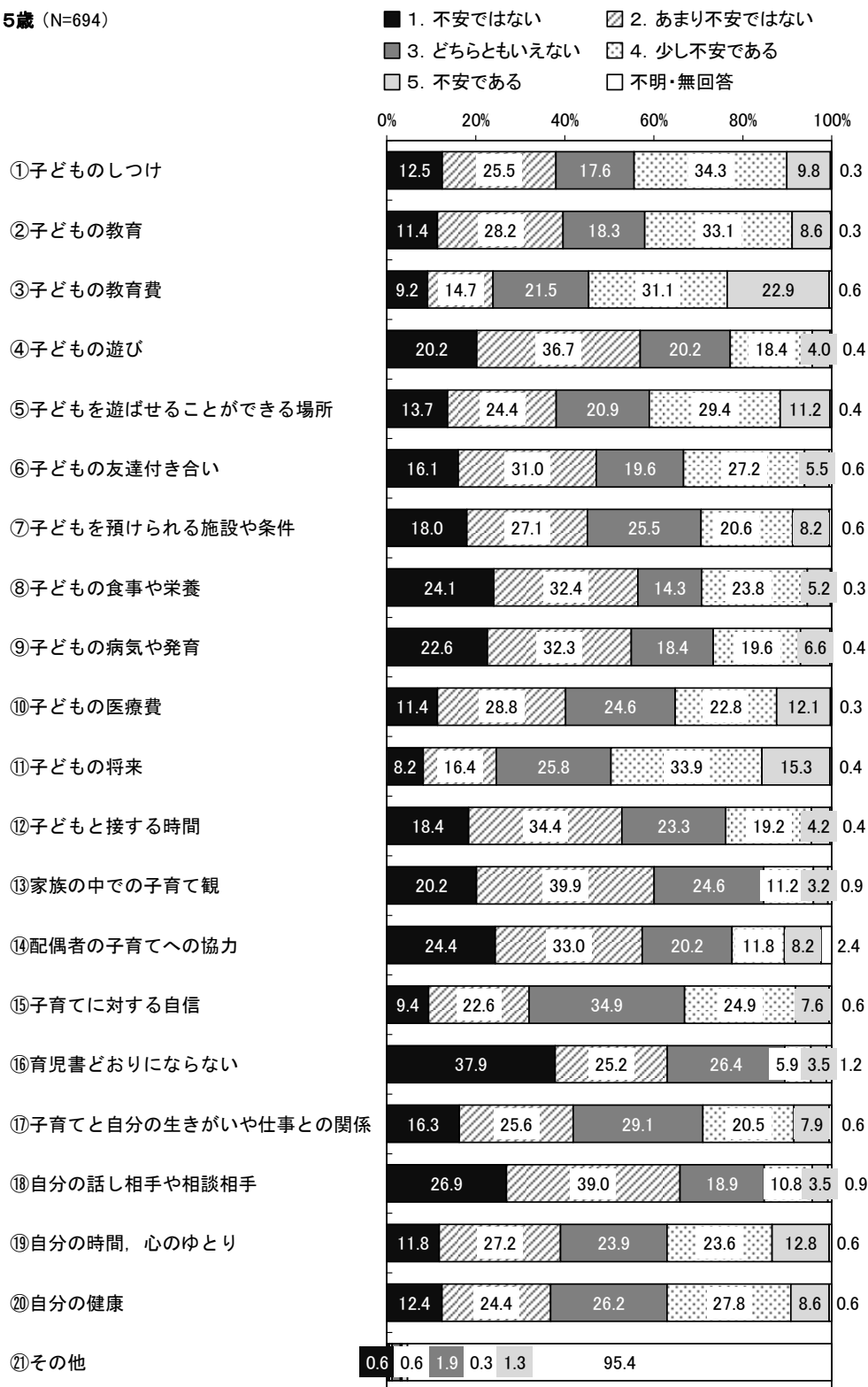
4歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が57.3%と最も高く、次いで[①子どものしつけ]が46.3%、[⑩子どもの将来]が43.1%となっています。

4歳 (N=497)



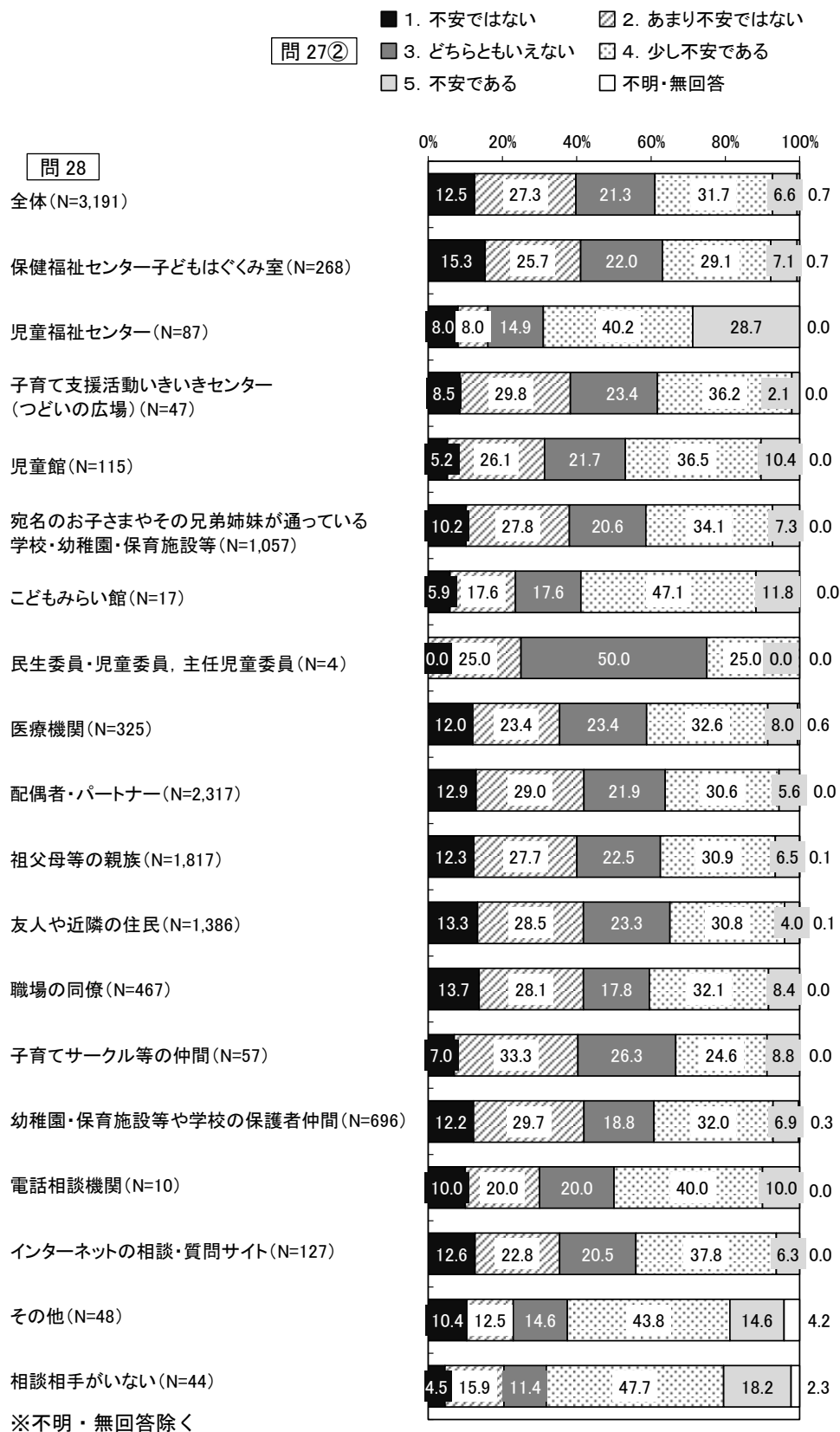
5歳について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が54.0%と最も高く、次いで[⑪子どもの将来]が49.2%、[①子どものしつけ]が44.1%となっています。

5歳 (N=694)



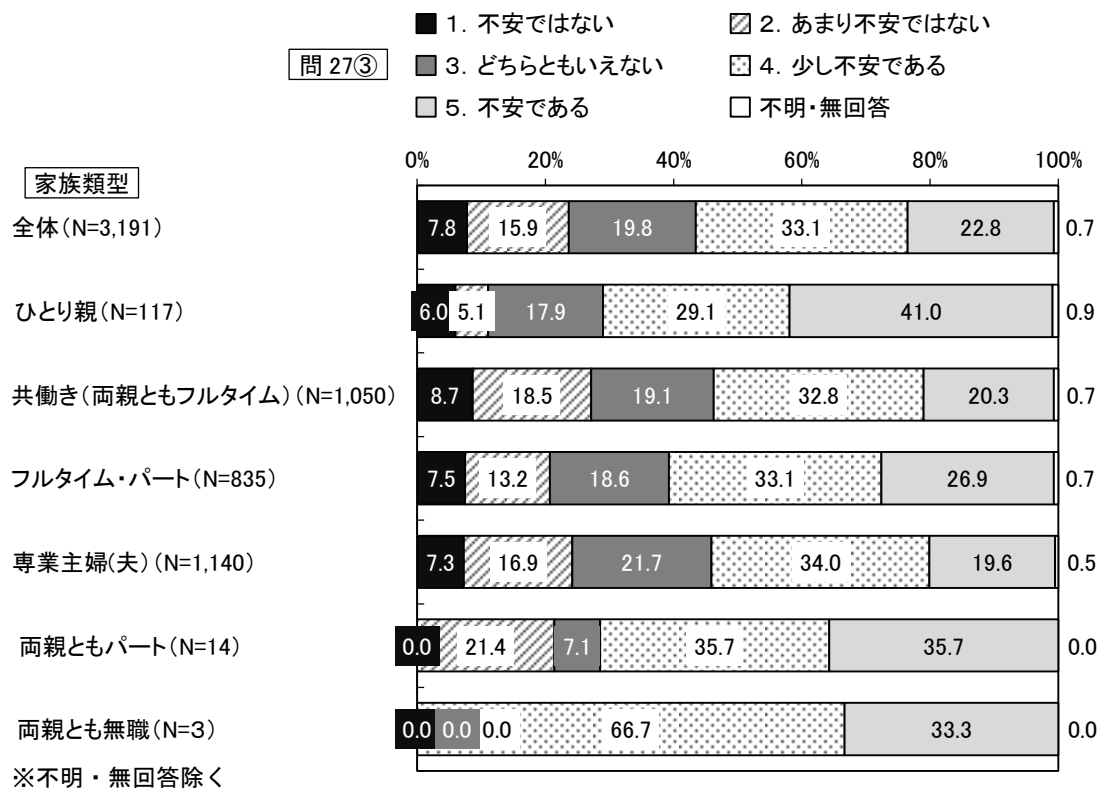
《問 27②子どもの教育×問 28 相談先・相談相手別》

②子どもの教育について、[児童福祉センター][相談相手がいない]では「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」が6割を超えています。



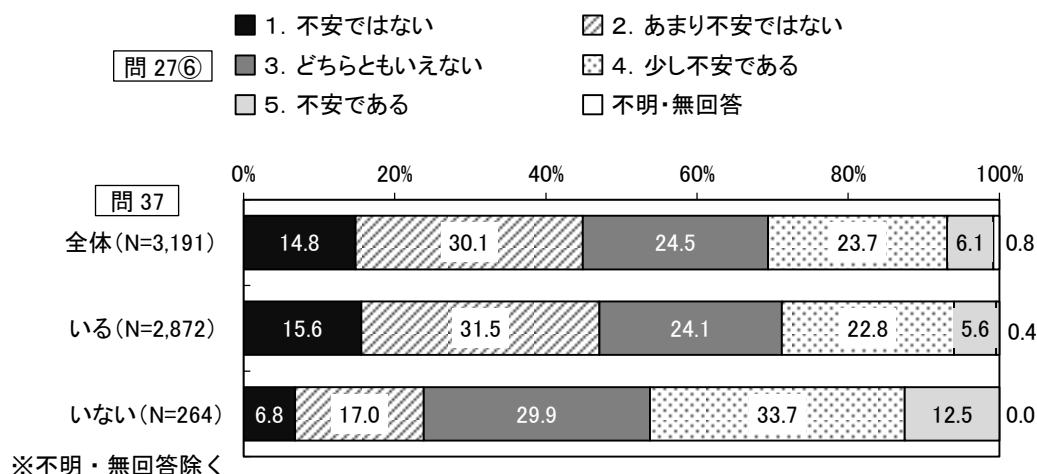
《問 27③子どもの教育費×家族類型別》

③子どもの教育費について、[ひとり親]では「5. 不安である」が4割を超えています。



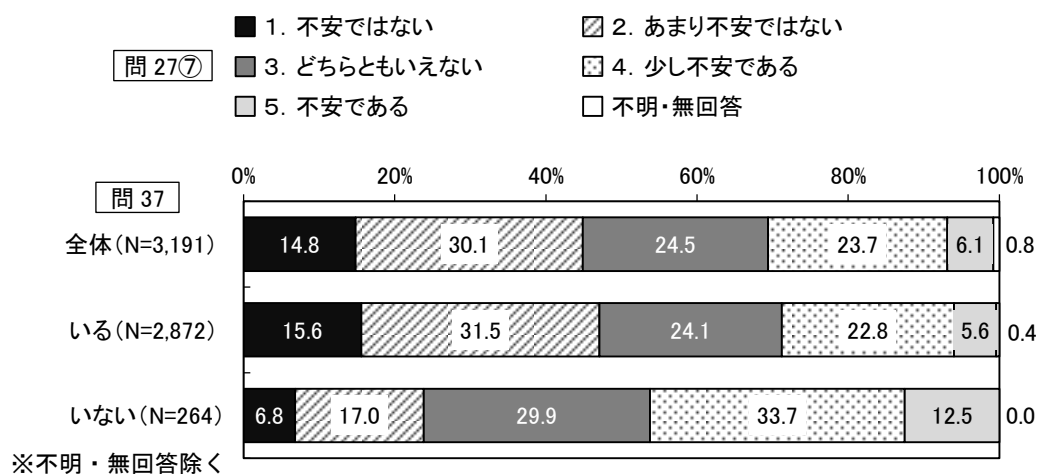
《問 27⑥子どもの友達付き合い×問 37 子育て仲間の有無別》

子どもの友達付き合いについて、[いない] では「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が [いる] に比べ高くなっています。



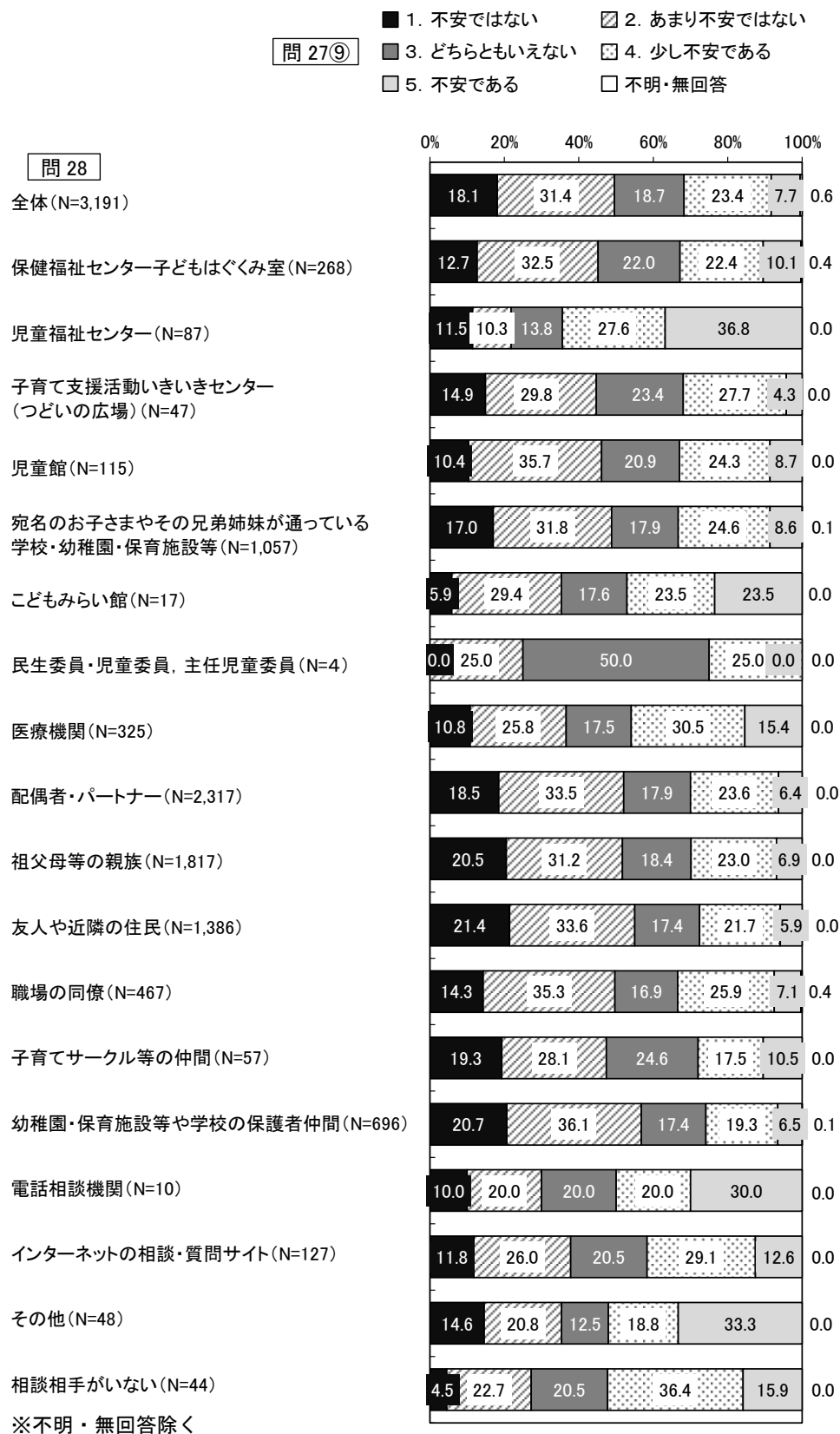
《問 27⑦子どもを預けられる施設や条件×問 37 子育て仲間の有無別》

子どもを預けられる施設や条件について、[いない] では「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が [いる] に比べ高くなっています。



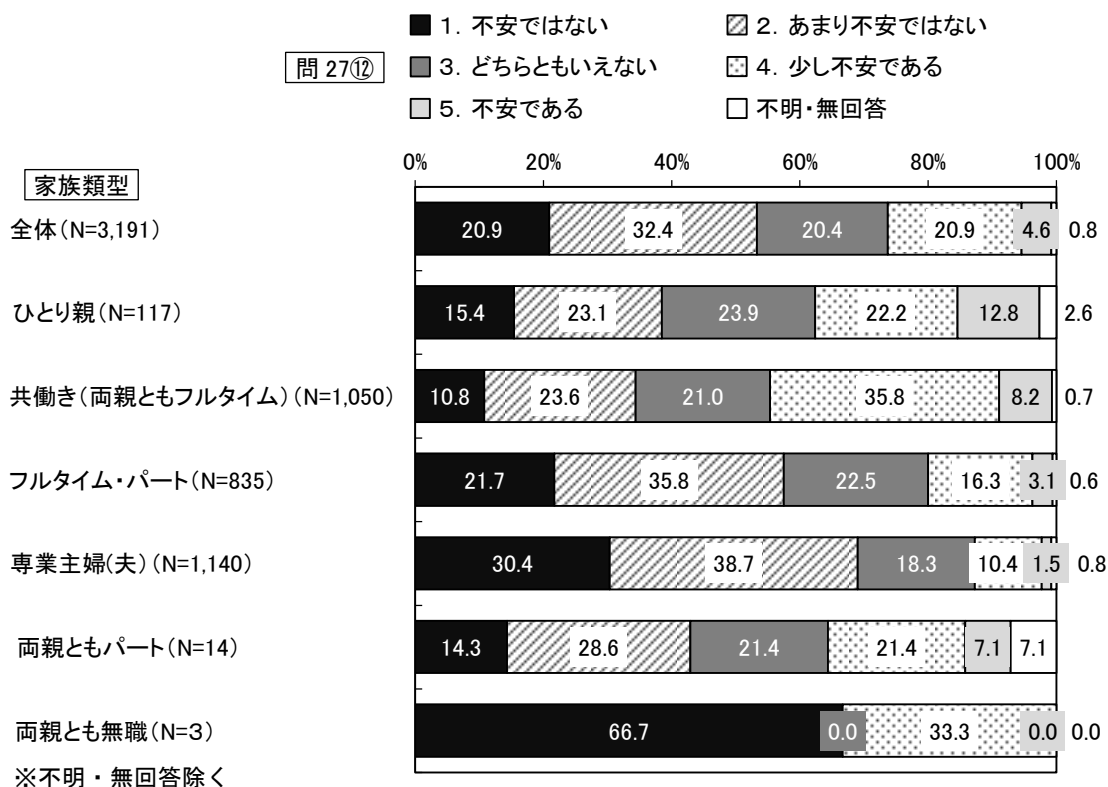
《問 27⑨子どもの病気や発育×問 28 相談先・相談相手別》

⑨子どもの病気や発育について、[児童福祉センター]では「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」が6割を超えています。



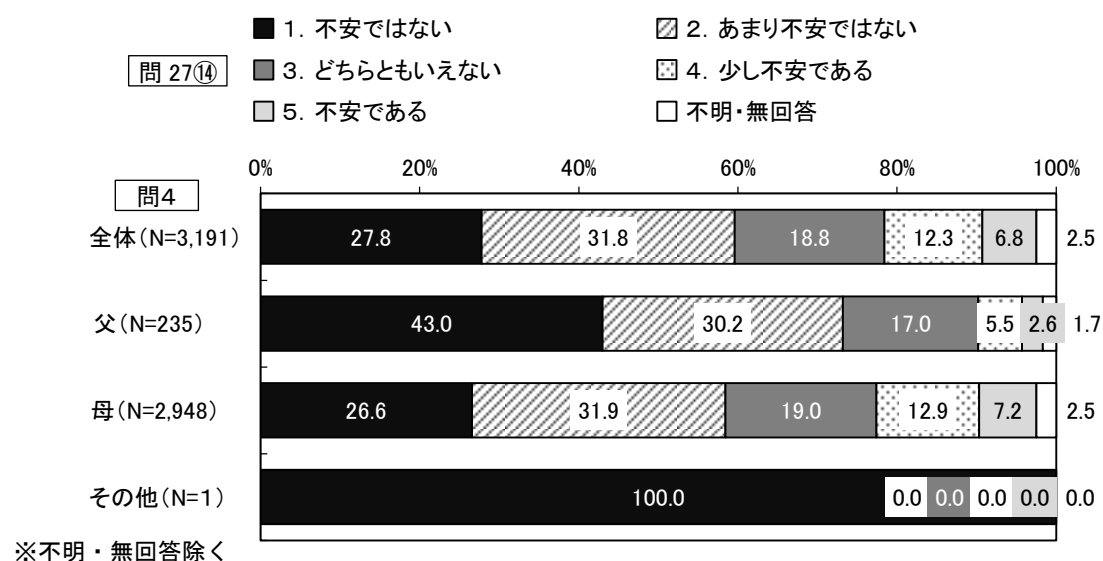
《問 27⑫子どもと接する時間×家族類型別》

⑫子どもと接する時間について、[ひとり親][共働き(両親ともフルタイム)]で「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」の割合が[フルタイム・パート][専業主婦(夫)]に比べ高くなっています。



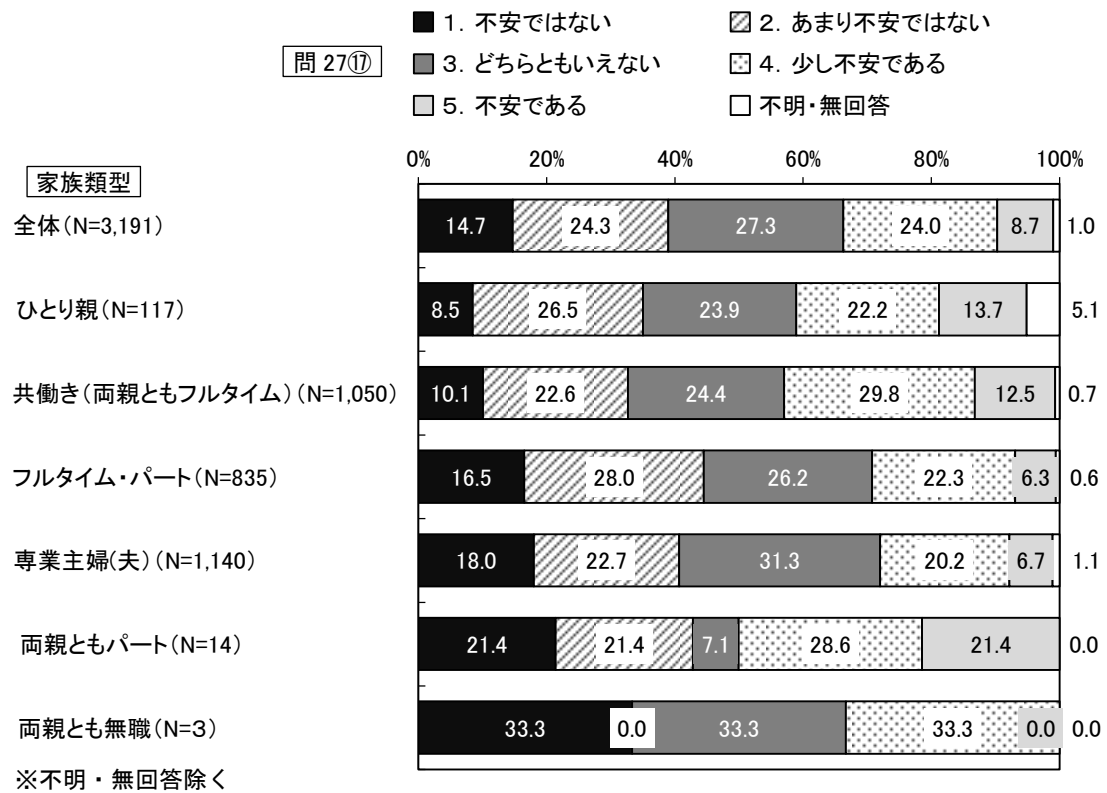
《問 27⑭配偶者の子育てへの協力×問 4 調査票の記入者別》

⑭配偶者の子育てへの協力について、「父」では「1. 不安ではない」の割合が「母」に比べ高くなっています。



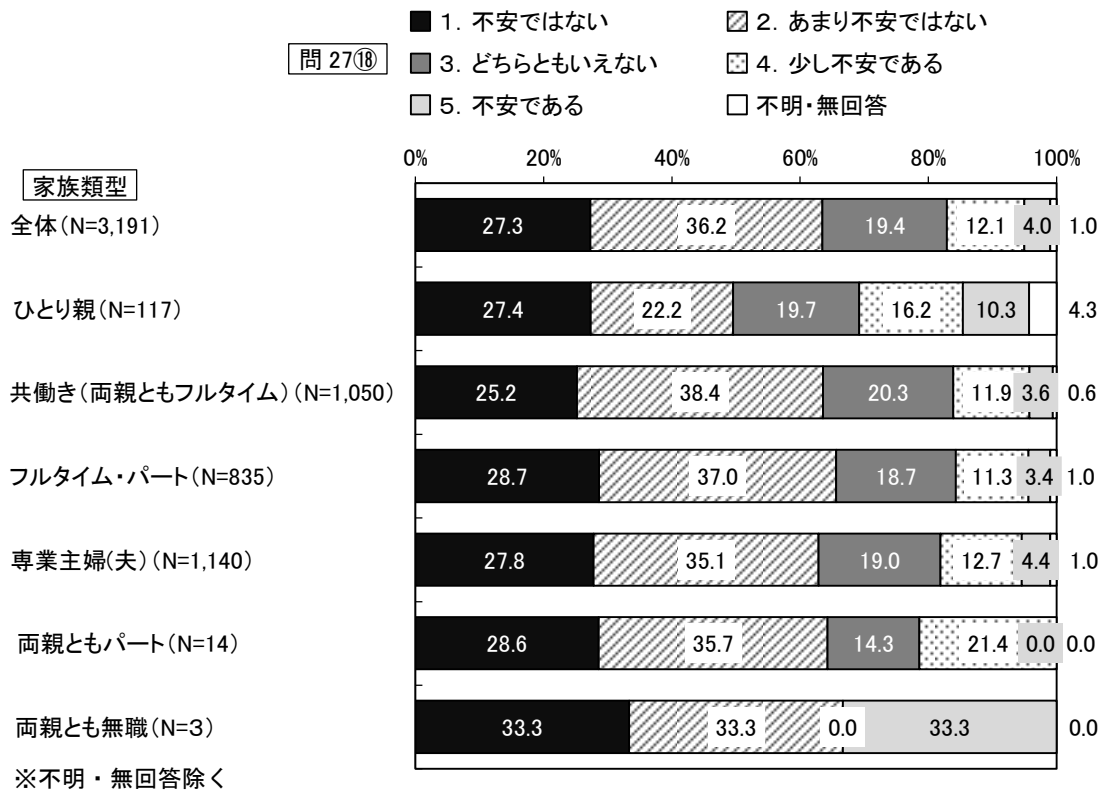
《問 27⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係×家族類型別》

⑰子育てと自分の生きがいや仕事との関係について、[ひとり親][共働き（両親ともフルタイム）]で「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が[フルタイム・パート][専業主婦（夫）]に比べ高くなっています。



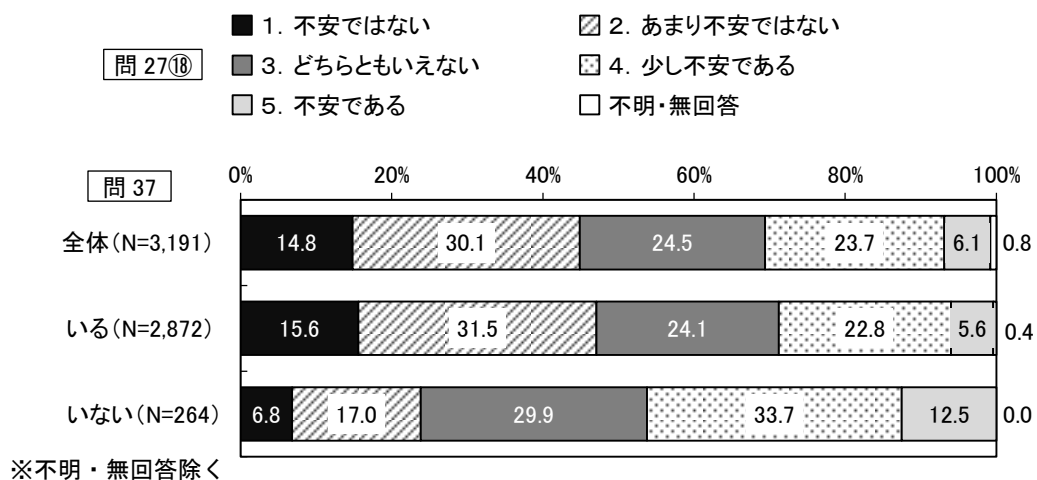
《問 27⑩自分の話し相手や相談相手×家族類型別》

⑩自分の話し相手や相談相手について、[ひとり親]で「不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



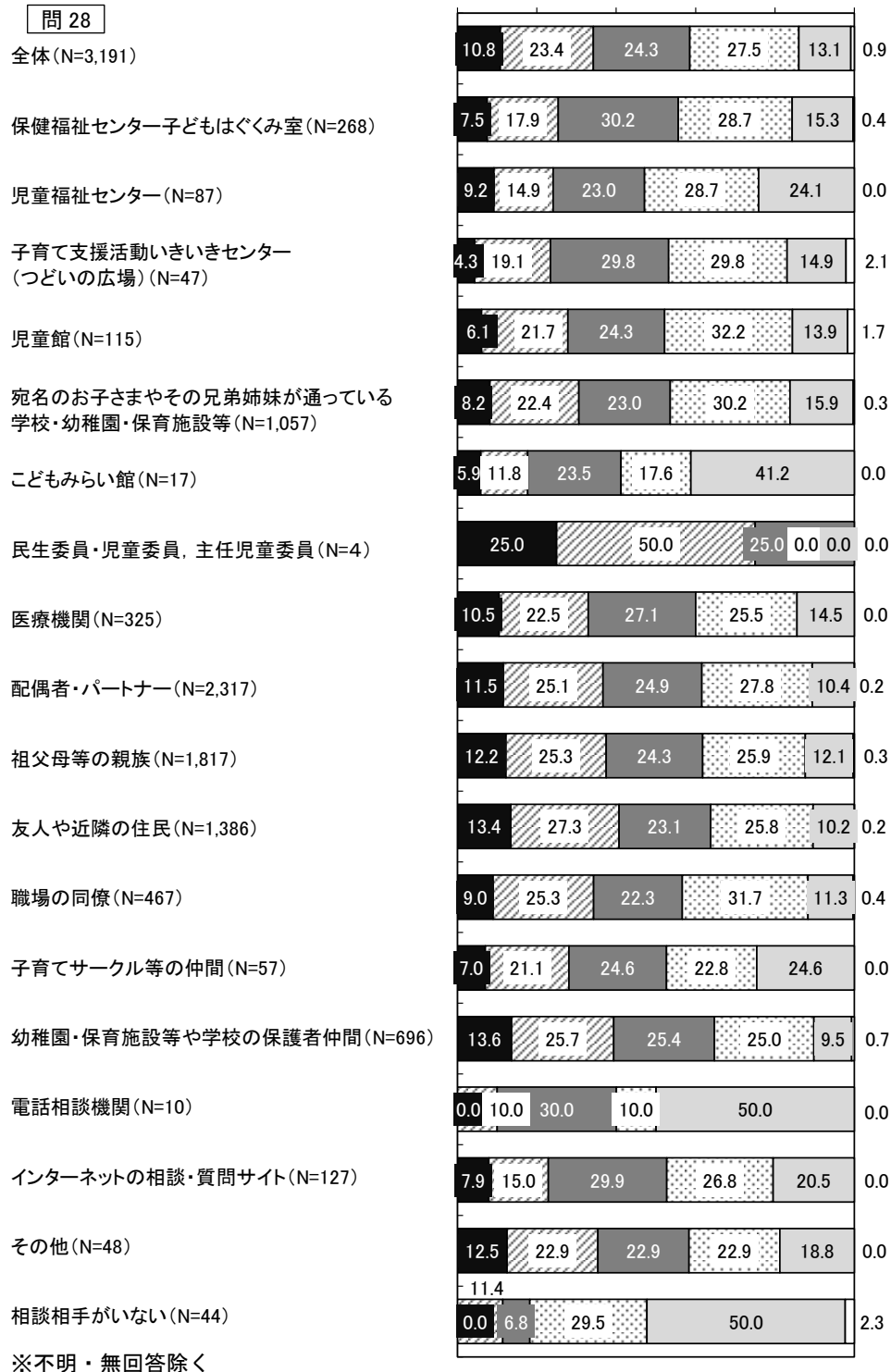
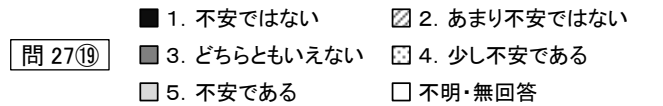
《問 27⑩自分の話し相手や相談相手×問 37 子育て仲間の有無別》

自分の話し相手や相談相手について、[いない]では「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が[いる]に比べ高くなっています。



《問 27⑱自分の時間，心のゆとり×問 28 相談先・相談相手別》

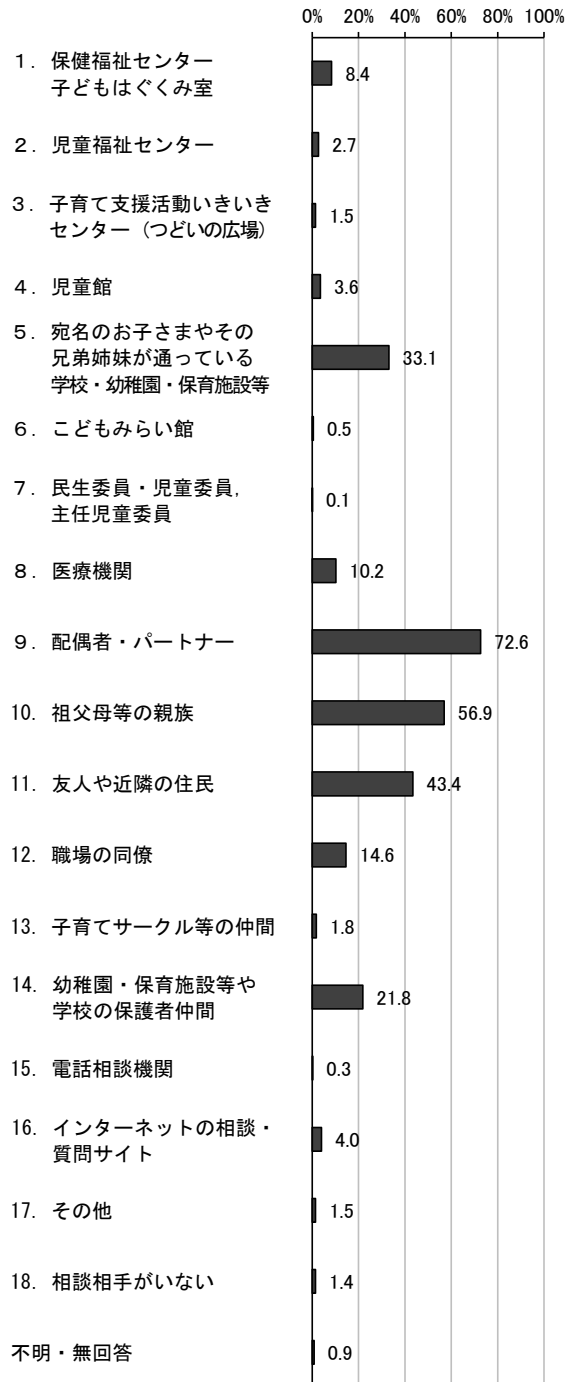
⑱自分の時間，心のゆとりについて，[相談相手がいない]では「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」が約8割と他の区分に比べ高くなっています。



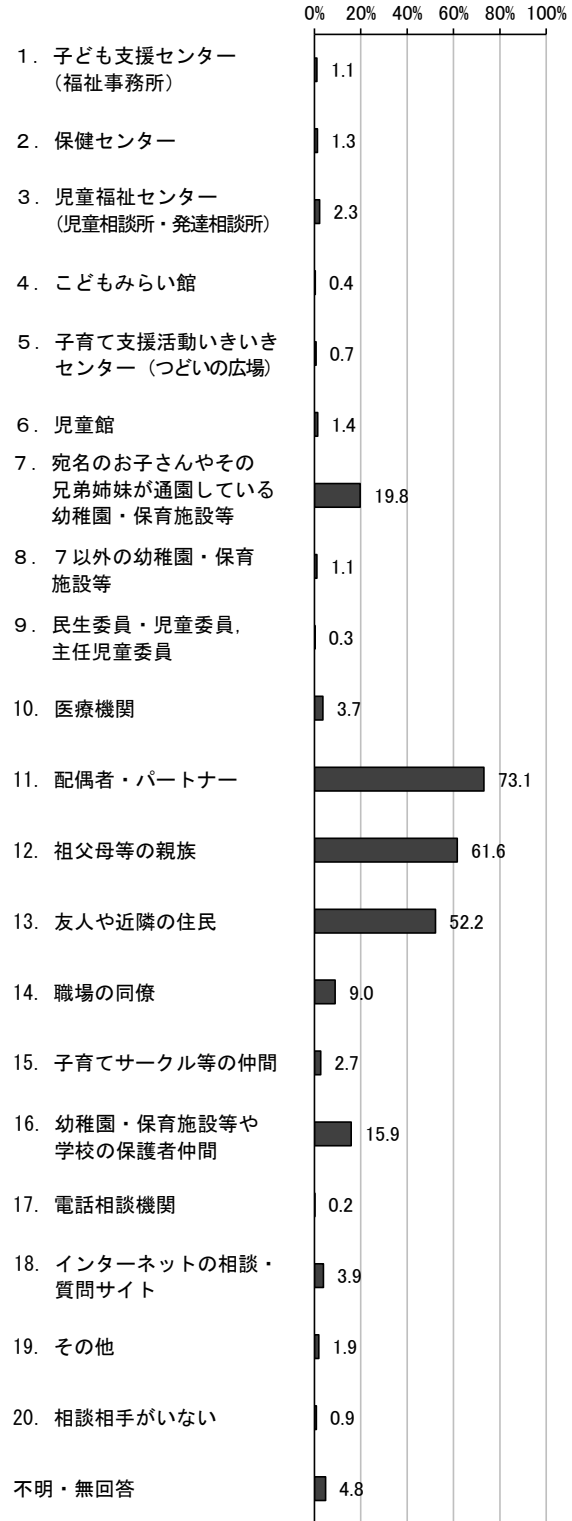
問 28 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。(〇は3つまで)

「9. 配偶者・パートナー」が72.6%と最も高く、次いで「10. 祖父母等の親族」が56.9%、「11. 友人や近隣の住民」が43.4%となっています。

平成30年(N=3,191)



平成25年(N=3,008)



《問 28×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「配偶者・パートナー」の割合が最も高く、次いで「祖父母等の親族」となっています。

また、子どもの年齢が上がるほど「幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」の割合が高くなる傾向がみられます。

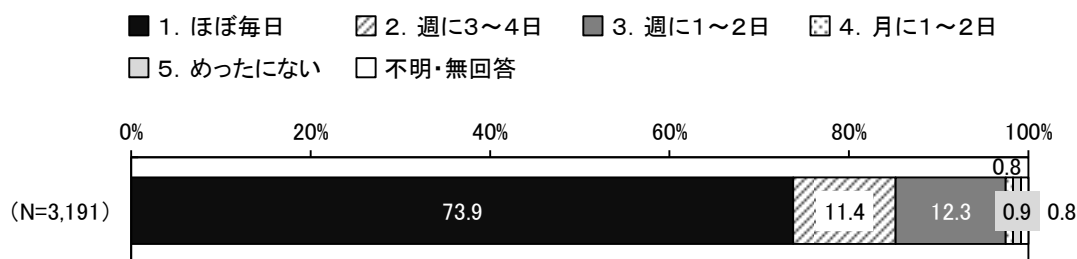
上段:件数 下段:%	合計	保健福祉センター 子どもはぐみ室	児童福祉センター	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等	こどもみらい館	民生委員・児童委員、主任児童委員	医療機関	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	
全体	3,191 100.0	268 8.4	87 2.7	47 1.5	115 3.6	1,057 33.1	17 0.5	4 0.1	325 10.2	2,317 72.6	1,817 56.9	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	59 13.6	0 0.0	11 2.5	20 4.6	57 13.1	2 0.5	3 0.7	75 17.3	334 77.0	280 64.5
	1歳	516 100.0	54 10.5	9 1.7	11 2.1	31 6.0	151 29.3	1 0.2	0 0.0	61 11.8	371 71.9	305 59.1
	2歳	519 100.0	36 6.9	9 1.7	8 1.5	23 4.4	153 29.5	2 0.4	0 0.0	57 11.0	385 74.2	313 60.3
	3歳	479 100.0	32 6.7	9 1.9	9 1.9	18 3.8	197 41.1	2 0.4	0 0.0	39 8.1	342 71.4	259 54.1
	4歳	497 100.0	35 7.0	22 4.4	4 0.8	8 1.6	220 44.3	3 0.6	1 0.2	37 7.4	367 73.8	258 51.9
	5歳	694 100.0	49 7.1	38 5.5	1 0.1	12 1.7	266 38.3	7 1.0	0 0.0	55 7.9	482 69.5	375 54.0

上段:件数 下段:%	合計	友人や近隣の住民	職場の同僚	子育てサークル等の仲間	幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間	電話相談機関	インターネットの相談・質問サイト	その他	相談相手がない	不明・無回答	
全体	3,191 100.0	1,386 43.4	467 14.6	57 1.8	696 21.8	10 0.3	127 4.0	48 1.5	44 1.4	28 0.9	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	217 50.0	35 8.1	10 2.3	28 6.5	3 0.7	31 7.1	7 1.6	0 0.0	2 0.5
	1歳	516 100.0	222 43.0	81 15.7	14 2.7	72 14.0	2 0.4	15 2.9	11 2.1	5 1.0	4 0.8
	2歳	519 100.0	223 43.0	86 16.6	17 3.3	90 17.3	1 0.2	31 6.0	6 1.2	11 2.1	4 0.8
	3歳	479 100.0	202 42.2	72 15.0	5 1.0	133 27.8	1 0.2	11 2.3	8 1.7	8 1.7	4 0.8
	4歳	497 100.0	204 41.0	69 13.9	4 0.8	138 27.8	0 0.0	15 3.0	4 0.8	8 1.6	6 1.2
	5歳	694 100.0	294 42.4	114 16.4	5 0.7	224 32.3	3 0.4	23 3.3	10 1.4	12 1.7	6 0.9

※不明・無回答除く

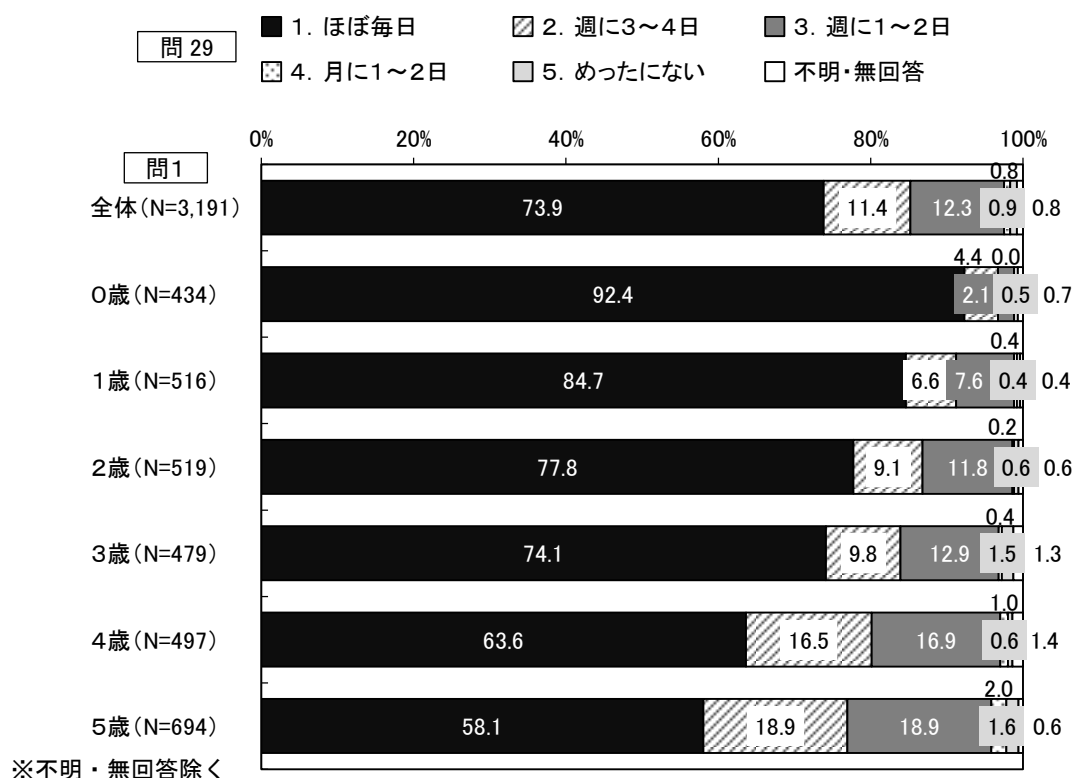
問 29 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶ機会は、どの程度ありますか。(○は1つ)

「1. ほぼ毎日」が 73.9%と最も高く、次いで「3. 週に1～2日」が 12.3%、「2. 週に3～4日」が 11.4%となっています。



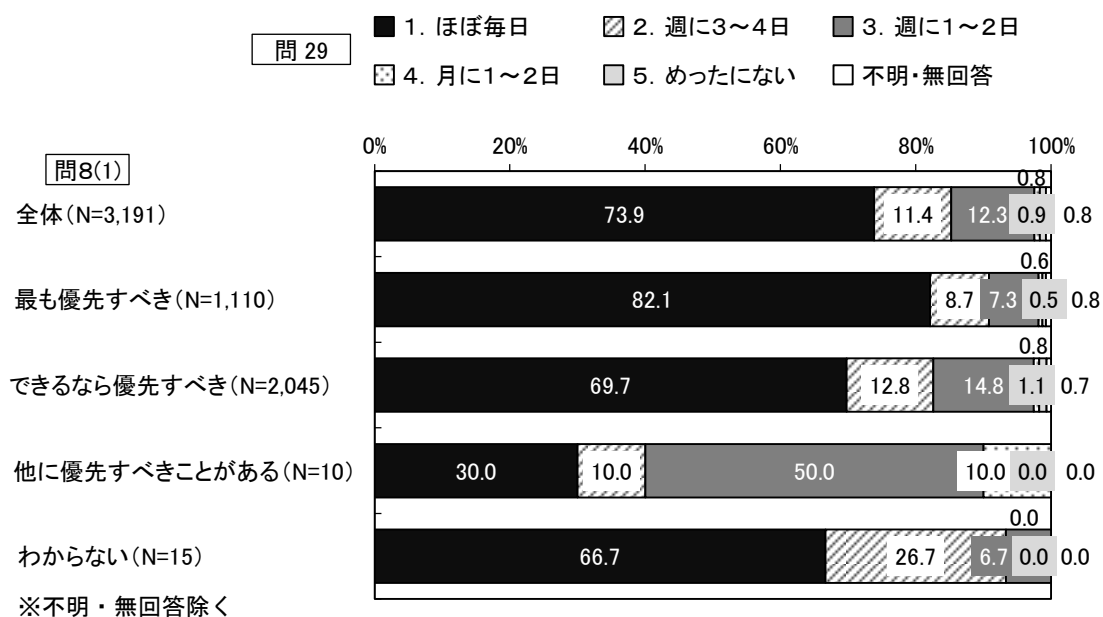
《問 29×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



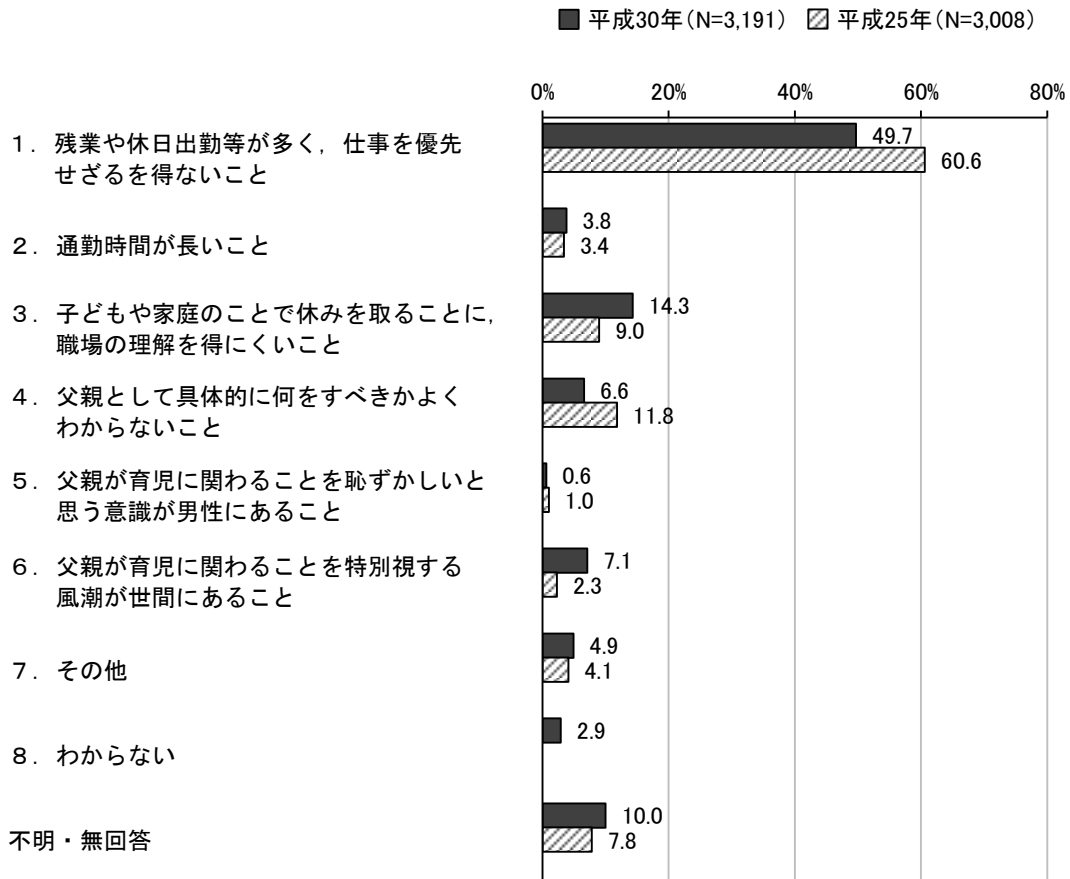
《問 29×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 30 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。(〇は1つ)

「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が49.7%と最も高く、次いで「3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと」が14.3%、「6. 父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること」が7.1%となっています。



※「8. わからない」は平成30年のみの選択肢

《問 30×家族類型別》

すべての区分で「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること	その他	わからない	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	1,585 49.7	120 3.8	457 14.3	211 6.6	20 0.6	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	
家族類型別	ひとり親	117 100.0	34 29.1	2 1.7	15 12.8	17 14.5	1 0.9	10 8.5	5 4.3	17 14.5	16 13.7
	共働き(両親ともフルタイム)	1,050 100.0	484 46.1	31 3.0	183 17.4	66 6.3	7 0.7	94 9.0	58 5.5	12 1.1	115 11.0
	フルタイム・パート	835 100.0	424 50.8	33 4.0	107 12.8	55 6.6	5 0.6	52 6.2	44 5.3	18 2.2	97 11.6
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	626 54.9	52 4.6	143 12.5	65 5.7	7 0.6	68 6.0	48 4.2	42 3.7	89 7.8
	両親ともパート	14 100.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1	3 21.4	0 0.0	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	3 100.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 30×問 4 調査票の記入者別》

「父」「母」とともに「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること	その他	わからない	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	1,585 49.7	120 3.8	457 14.3	211 6.6	20 0.6	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	
記 調 入 査 票 別 の	父	235 100.0	120 51.1	16 6.8	29 12.3	6 2.6	2 0.9	14 6.0	11 4.7	5 2.1	32 13.6
	母	2,948 100.0	1,461 49.6	104 3.5	427 14.5	204 6.9	18 0.6	213 7.2	146 5.0	89 3.0	286 9.7
	その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0

※不明・無回答除く

《問 30×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

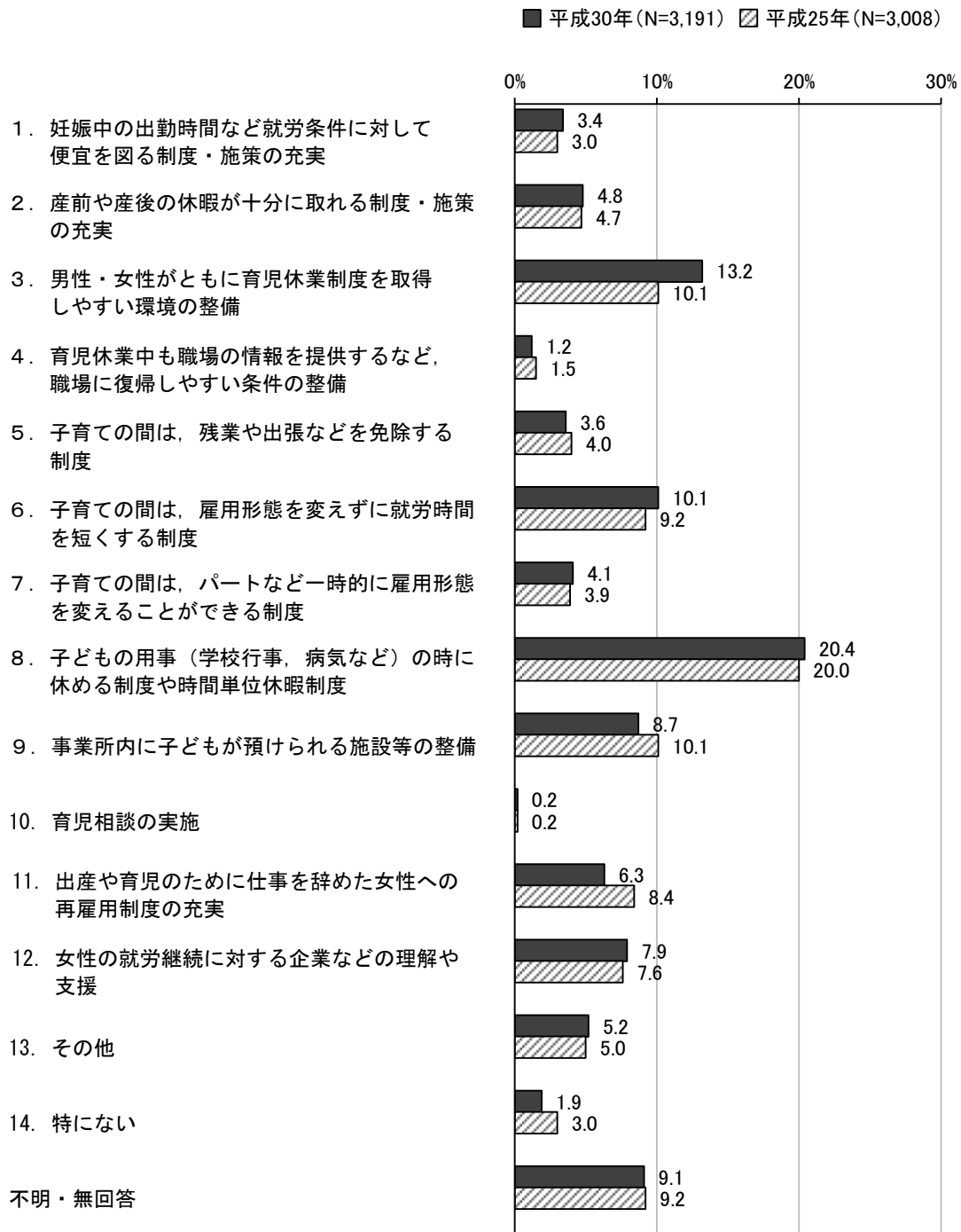
父親がフルタイムで就労している家庭，母親がフルタイムで就労している（育休・介護休業中含む）家庭，母親がパートタイム，アルバイト等で就労している（育休・介護休業中含む）家庭，母親が現在就労していない家庭では「残業や休日出勤等が多く，仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段：件数 下段：%		合計	残業や休日出勤等が多く，仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ることに，職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること
父親の就労状況別	全体	3,191 100.0	1,585 49.7	120 3.8	457 14.3	211 6.6	20 0.6
	就労している(フルタイム)	2,974 100.0	1,516 51.0	116 3.9	419 14.1	182 6.1	19 0.6
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	8 100.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0
	就労している(パートタイム，アルバイト等)	41 100.0	17 41.5	1 2.4	6 14.6	5 12.2	0 0.0
	就労している(パートタイム，アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	22 100.0	8 36.4	0 0.0	8 36.4	1 4.5	0 0.0
	全体	3,191 100.0	1,585 49.7	120 3.8	457 14.3	211 6.6	20 0.6
母親の就労状況別	就労している(フルタイム)	852 100.0	376 44.1	27 3.2	140 16.4	57 6.7	7 0.8
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	286 100.0	133 46.5	5 1.7	61 21.3	20 7.0	1 0.3
	就労している(パートタイム，アルバイト等)	784 100.0	391 49.9	31 4.0	100 12.8	58 7.4	5 0.6
	就労している(パートタイム，アルバイト等)が育休・介護休業中	97 100.0	48 49.5	4 4.1	13 13.4	5 5.2	0 0.0
	現在就労していない	1,162 100.0	633 54.5	53 4.6	142 12.2	70 6.0	7 0.6
	全体	3,191 100.0	1,585 49.7	120 3.8	457 14.3	211 6.6	20 0.6
	全体	3,191 100.0	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	
父親の就労状況別	就労している(フルタイム)	2,974 100.0	208 7.0	149 5.0	67 2.3	298 10.0	
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	8 100.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	就労している(パートタイム，アルバイト等)	41 100.0	4 9.8	1 2.4	4 9.8	3 7.3	
	就労している(パートタイム，アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	現在就労していない	22 100.0	2 9.1	2 9.1	1 4.5	0 0.0	
	全体	3,191 100.0	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	
	母親の就労状況別	就労している(フルタイム)	852 100.0	78 9.2	40 4.7	19 2.2	108 12.7
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中		286 100.0	21 7.3	21 7.3	3 1.0	21 7.3	
就労している(パートタイム，アルバイト等)		784 100.0	49 6.3	36 4.6	24 3.1	90 11.5	
就労している(パートタイム，アルバイト等)が育休・介護休業中		97 100.0	8 8.2	12 12.4	0 0.0	7 7.2	
現在就労していない		1,162 100.0	71 6.1	47 4.0	47 4.0	92 7.9	
全体		3,191 100.0	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	
全体		3,191 100.0	227 7.1	157 4.9	94 2.9	320 10.0	

※不明・無回答除く

問 31 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。(〇は1つ)

「8. 子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」が20.4%と最も高く，次いで「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が13.2%，「6. 子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」が10.1%となっています。平成25年と比較すると，特に大きな差はみられません。



《問 31×家族類型別》

「ひとり親」「共働き（両親ともフルタイム）」「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高く，次いで「ひとり親」「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」，「共働き（両親ともフルタイム）」では「子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」となっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供するなど，職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は，残業や出張などを免除する制度	子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は，パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度	
全体	3,191 100.0	107 3.4	152 4.8	421 13.2	38 1.2	114 3.6	323 10.1	130 4.1	651 20.4	
家族類型別	ひとり親	117 100.0	1 0.9	5 4.3	14 12.0	3 2.6	1 0.9	12 10.3	4 3.4	33 28.2
	共働き(両親ともフルタイム)	1,050 100.0	37 3.5	39 3.7	122 11.6	15 1.4	59 5.6	163 15.5	37 3.5	184 17.5
	フルタイム・パート	835 100.0	28 3.4	47 5.6	122 14.6	5 0.6	19 2.3	74 8.9	40 4.8	187 22.4
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	39 3.4	58 5.1	156 13.7	15 1.3	35 3.1	71 6.2	47 4.1	243 21.3
	両親ともパート	14 100.0	1 7.1	2 14.3	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

上段:件数 下段:%	合計	事業所内に子どもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	不明・無回答	
全体	3,191 100.0	279 8.7	6 0.2	202 6.3	252 7.9	165 5.2	60 1.9	291 9.1	
家族類型別	ひとり親	117 100.0	12 10.3	0 0.0	2 1.7	7 6.0	2 1.7	8 6.8	13 11.1
	共働き(両親ともフルタイム)	1,050 100.0	79 7.5	1 0.1	36 3.4	92 8.8	75 7.1	5 0.5	106 10.1
	フルタイム・パート	835 100.0	58 6.9	0 0.0	52 6.2	64 7.7	37 4.4	17 2.0	85 10.2
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	127 11.1	4 0.4	109 9.6	80 7.0	48 4.2	26 2.3	82 7.2
	両親ともパート	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	2 14.3	2 14.3	0 0.0
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 31×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭、母親がフルタイムで就労している家庭、母親がパートタイム、アルバイト等で就労している家庭、母親が現在就労していない家庭では「子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」、母親がフルタイムで就労しているが育休・介護休業中の家庭では「子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」、母親がパートタイム、アルバイト等で就労しているが育休・介護休業中の家庭では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	子どもの用事(学校行事、病気など)の時に休める制度や時間単位休暇制度
父親の就労状況別	全体	3,191 100.0	107 3.4	152 4.8	421 13.2	38 1.2	114 3.6	323 10.1	130 4.1	651 20.4
	就労している(フルタイム)	2,974 100.0	102 3.4	143 4.8	393 13.2	34 1.1	112 3.8	301 10.1	121 4.1	602 20.2
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	8 100.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	1 12.5
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	41 100.0	2 4.9	4 9.8	3 7.3	1 2.4	0 0.0	5 12.2	3 7.3	10 24.4
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	22 100.0	1 4.5	0 0.0	3 13.6	0 0.0	1 4.5	2 9.1	1 4.5	3 13.6
	母親の就労状況別	全体	3,191 100.0	107 3.4	152 4.8	421 13.2	38 1.2	114 3.6	323 10.1	130 4.1
就労している(フルタイム)	852 100.0	29 3.4	31 3.6	95 11.2	12 1.4	46 5.4	125 14.7	29 3.4	165 19.4	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	286 100.0	10 3.5	10 3.5	37 12.9	4 1.4	15 5.2	49 17.1	10 3.5	41 14.3	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	784 100.0	25 3.2	43 5.5	105 13.4	7 0.9	16 2.0	64 8.2	41 5.2	177 22.6	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	97 100.0	4 4.1	8 8.2	21 21.6	0 0.0	3 3.1	15 15.5	4 4.1	20 20.6	
現在就労していない	1,162 100.0	39 3.4	59 5.1	160 13.8	15 1.3	34 2.9	70 6.0	46 4.0	248 21.3	

上段:件数 下段:%		合計	事業所内に子どもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	不明・無回答
父親の就労状況別	全体	3,191 100.0	279 8.7	6 0.2	202 6.3	252 7.9	165 5.2	60 1.9	291 9.1
	就労している(フルタイム)	2,974 100.0	260 8.7	5 0.2	196 6.6	233 7.8	155 5.2	47 1.6	270 9.1
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	8 100.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	41 100.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	3 7.3	4 9.8	3 7.3	2 4.9
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	22 100.0	2 9.1	0 0.0	1 4.5	4 18.2	2 9.1	1 4.5	1 4.5
	母親の就労状況別	全体	3,191 100.0	279 8.7	6 0.2	202 6.3	252 7.9	165 5.2	60 1.9
就労している(フルタイム)	852 100.0	61 7.2	1 0.1	19 2.2	75 8.8	61 7.2	6 0.7	97 11.4	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	286 100.0	28 9.8	0 0.0	17 5.9	25 8.7	20 7.0	2 0.7	18 6.3	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	784 100.0	49 6.3	0 0.0	53 6.8	65 8.3	35 4.5	20 2.6	84 10.7	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	97 100.0	10 10.3	0 0.0	1 1.0	3 3.1	3 3.1	0 0.0	5 5.2	
現在就労していない	1,162 100.0	131 11.3	4 0.3	112 9.6	82 7.1	46 4.0	30 2.6	86 7.4	

※不明・無回答除く

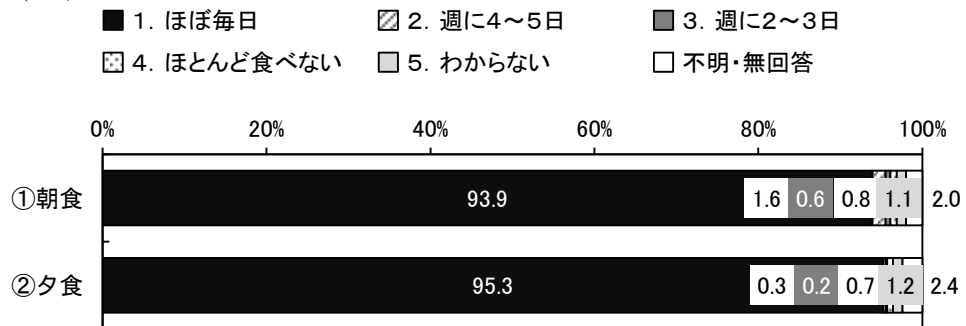
問 32(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。

(○はそれぞれ1つつ)

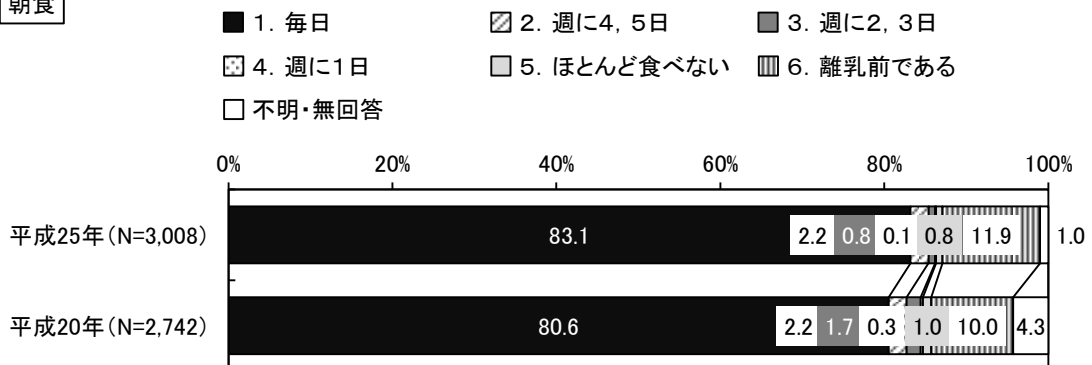
①朝食は「1. ほぼ毎日」が93.9%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が1.6%、「5. わからない」が1.1%となっています。

②夕食は「1. ほぼ毎日」が95.3%と最も高く、次いで「5. わからない」が1.2%、「4. ほとんど食べない」が0.7%となっています。

平成30年(N=3,191)



朝食



※夕食の頻度は平成30年のみの設問

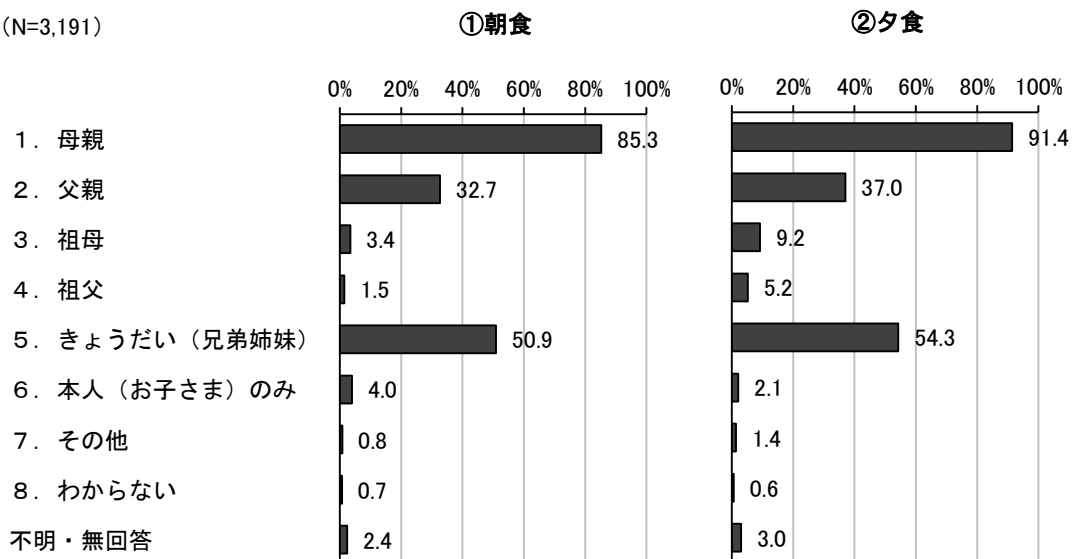
問 32(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。

(○はそれぞれいくつでも)

①朝食は「1. 母親」が85.3%と最も高く、次いで「5. きょうだい (兄弟姉妹)」が50.9%、「2. 父親」が32.7%となっています。

②夕食は「1. 母親」が91.4%と最も高く、次いで「5. きょうだい (兄弟姉妹)」が54.3%、「2. 父親」が37.0%となっています。

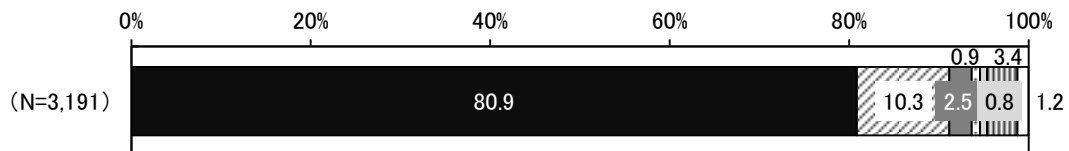
(N=3,191)



問 33(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる (料理 (離乳食を含む) する) ことがどの程度ありますか。(○は1つ)

「1. ほぼ毎日」が80.9%と最も高く、次いで「2. 週に4~5日程度」が10.3%、「6. まだ食べられない (離乳食前など)」が3.4%となっています。

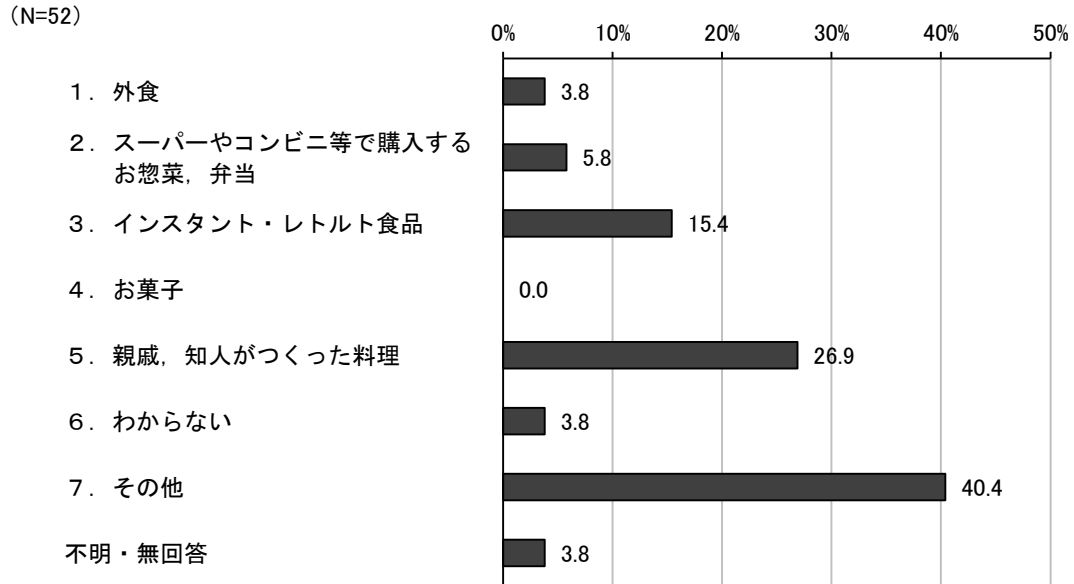
- 1. ほぼ毎日
- 2. 週に4~5日程度
- 3. 週に2~3日程度
- 4. 月に数日 (休日など)
- 5. ほとんどつからない
- 6. まだ食べられない (離乳食前など)
- 不明・無回答



問 33(1)で「4」または「5」と答えた方

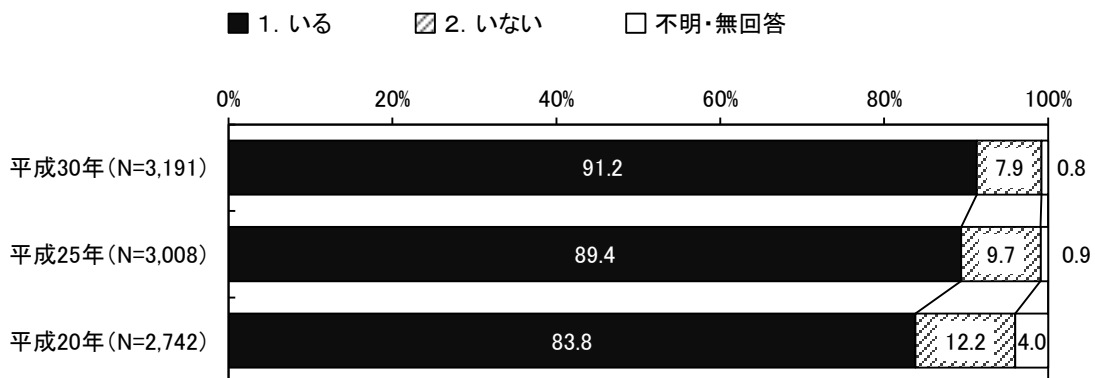
問 33(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。(〇は1つ)

その他を除き、「5. 親戚, 知人がつくった料理」が26.9%と最も高く, 次いで「3. インスタント・レトルト食品」が15.4%, 「2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜, 弁当」が5.8%となっています。



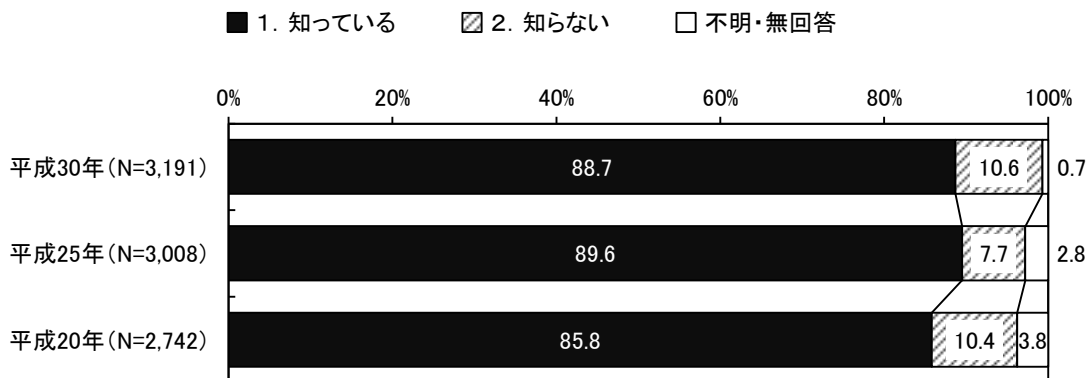
問 34 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。(〇は1つ)

「1. いる」が91.2%, 「2. いない」が7.9%となっています。



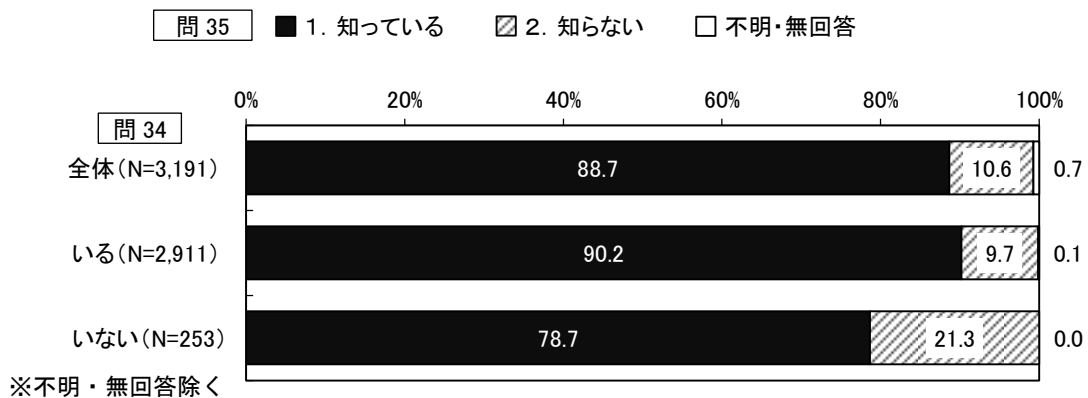
問 35 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(〇は1つ)

「1. 知っている」が88.7%, 「2. 知らない」が10.6%となっています。



《問 35×問 34 かかりつけ医の有無別》

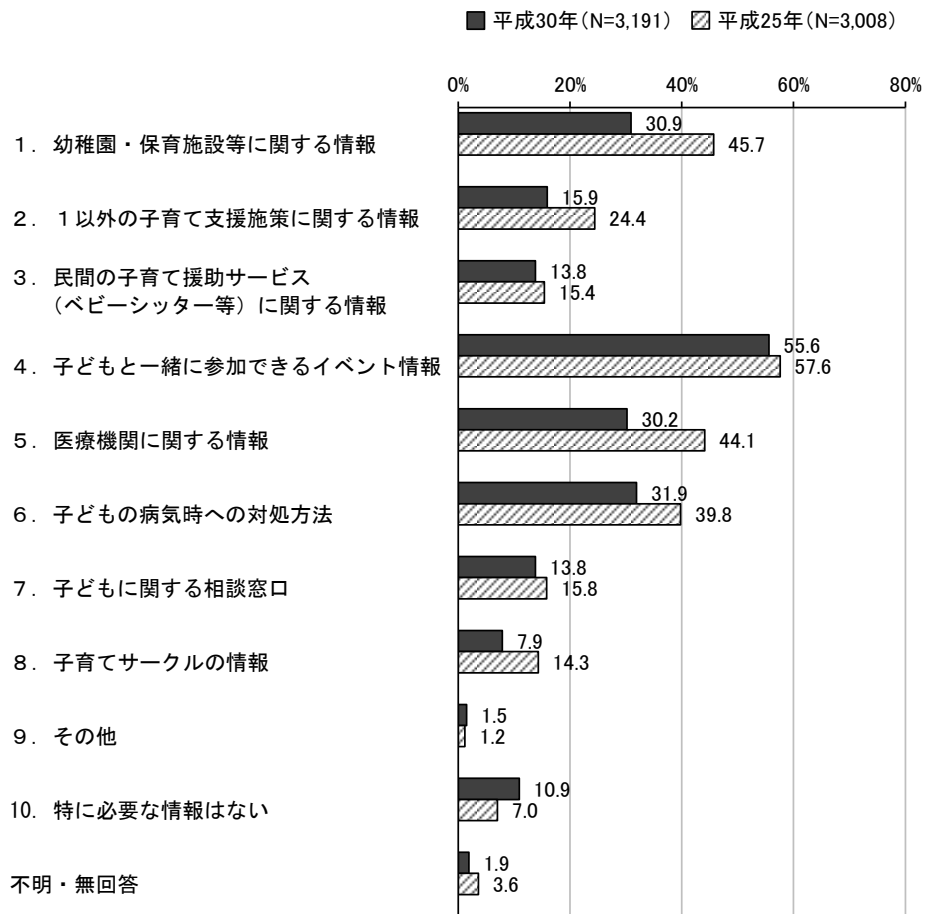
「いない」では「1. 知っている」の割合が「いる」に比べ低くなっています。



問 36(1) 子育てに関して知りたい情報についてお答えください。(〇はいくつでも)

「4. 子どもと一緒に参加できるイベント情報」が55.6%と最も高く、次いで「6. 子どもの病気時への対処方法」が31.9%、「1. 幼稚園・保育施設等に関する情報」が30.9%、「5. 医療機関に関する情報」が30.2%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 幼稚園・保育施設等に関する情報」が14.8ポイント、「5. 医療機関に関する情報」が13.9ポイント低くなっています。



《問 36(1)×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「子どもと一緒に参加できるイベント情報」の割合が最も高く、次いで0～2歳では「幼稚園・保育施設等に関する情報」、3～5歳では「医療機関に関する情報」となっています。

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園・保育施設等に関する情報	1以外の子育て支援施策に関する情報	民間の子育て援助サービス(ベビシッター等)に関する情報	子どもと一緒に参加できるイベント情報	医療機関に関する情報	子どもの病気時への対処方法	
全 体	3,191 100.0	985 30.9	507 15.9	439 13.8	1,775 55.6	965 30.2	1,017 31.9	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	235 54.1	98 22.6	92 21.2	256 59.0	116 26.7	158 36.4
	1歳	516 100.0	207 40.1	104 20.2	79 15.3	300 58.1	166 32.2	169 32.8
	2歳	519 100.0	186 35.8	84 16.2	71 13.7	298 57.4	142 27.4	174 33.5
	3歳	479 100.0	116 24.2	75 15.7	51 10.6	259 54.1	159 33.2	151 31.5
	4歳	497 100.0	103 20.7	54 10.9	60 12.1	271 54.5	150 30.2	148 29.8
	5歳	694 100.0	122 17.6	82 11.8	76 11.0	363 52.3	219 31.6	195 28.1

上段:件数 下段:%	合計	子どもに関する相談窓口	子育てサークルの情報	その他	特に必要な情報はない	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	441 13.8	253 7.9	48 1.5	350 11.0	61 1.9	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	53 12.2	66 15.2	4 0.9	31 7.1	7 1.6
	1歳	516 100.0	70 13.6	54 10.5	6 1.2	48 9.3	8 1.6
	2歳	519 100.0	69 13.3	40 7.7	8 1.5	60 11.6	7 1.3
	3歳	479 100.0	61 12.7	27 5.6	11 2.3	53 11.1	12 2.5
	4歳	497 100.0	72 14.5	20 4.0	9 1.8	57 11.5	9 1.8
	5歳	694 100.0	108 15.6	40 5.8	8 1.2	92 13.3	17 2.4

※不明・無回答除く

《問 36(1)×問 12(2)現在利用している施設等別》

「小規模(家庭的)保育事業所」「事業所内保育施設」では「幼稚園・保育施設等に関する情報」、
「ベビーシッター」では「1以外の子育て支援施策に関する情報」、それ以外では「子どもと一緒に参加できるイベント情報」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	幼稚園・保 育施設等 に関する情報	1以外の子 育て支援施 策に関する 情報	民間の子育 て援助サー ビス(ベビー シッター等) に関する情 報	子どもと一 緒に参加で きるイベン ト情報	医療機関に 関する情報	子どもの病 気時への対 処方法
全 体		2,325 100.0	511 22.0	304 13.1	303 13.0	1,261 54.2	717 30.8	724 31.1
利用して いる幼 稚園・ 保育 施設等 別	幼稚園	466 100.0	99 21.2	59 12.7	51 10.9	274 58.8	133 28.5	124 26.6
	幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用)	54 100.0	19 35.2	7 13.0	6 11.1	33 61.1	17 31.5	16 29.6
	幼稚園+預かり保育 (たまに利用)	335 100.0	50 14.9	47 14.0	40 11.9	198 59.1	107 31.9	102 30.4
	認定こども園	239 100.0	55 23.0	28 11.7	24 10.0	120 50.2	81 33.9	79 33.1
	保育園(所)	1,139 100.0	233 20.5	146 12.8	166 14.6	596 52.3	357 31.3	372 32.7
	小規模(家庭的)保育 事業所	71 100.0	34 47.9	16 22.5	11 15.5	34 47.9	24 33.8	23 32.4
	事業所内保育施設	23 100.0	12 52.2	1 4.3	2 8.7	11 47.8	6 26.1	6 26.1
	認可外保育施設	43 100.0	13 30.2	6 14.0	12 27.9	19 44.2	10 23.3	13 30.2
	ベビーシッター	6 100.0	3 50.0	0 0.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7
	その他	37 100.0	14 37.8	9 24.3	4 10.8	21 56.8	11 29.7	10 27.0

上段:件数 下段:%		合計	子どもに 関する相 談窓口	子育てサ ークルの 情報	その他	特に必要 な情報は ない	不明・ 無回答
全 体		2,325 100.0	330 14.2	128 5.5	40 1.7	282 12.1	47 2.0
利用して いる幼 稚園・ 保育 施設等 別	幼稚園	466 100.0	70 15.0	27 5.8	5 1.1	55 11.8	13 2.8
	幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用)	54 100.0	6 11.1	3 5.6	0 0.0	3 5.6	1 1.9
	幼稚園+預かり保育 (たまに利用)	335 100.0	41 12.2	15 4.5	7 2.1	39 11.6	4 1.2
	認定こども園	239 100.0	39 16.3	7 2.9	4 1.7	24 10.0	6 2.5
	保育園(所)	1,139 100.0	160 14.0	67 5.9	21 1.8	153 13.4	21 1.8
	小規模(家庭的)保育 事業所	71 100.0	12 16.9	6 8.5	1 1.4	6 8.5	2 2.8
	事業所内保育施設	23 100.0	4 17.4	1 4.3	0 0.0	2 8.7	0 0.0
	認可外保育施設	43 100.0	3 7.0	0 0.0	0 0.0	5 11.6	0 0.0
	ベビーシッター	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	37 100.0	7 18.9	5 13.5	2 5.4	1 2.7	3 8.1

※不明・無回答除く

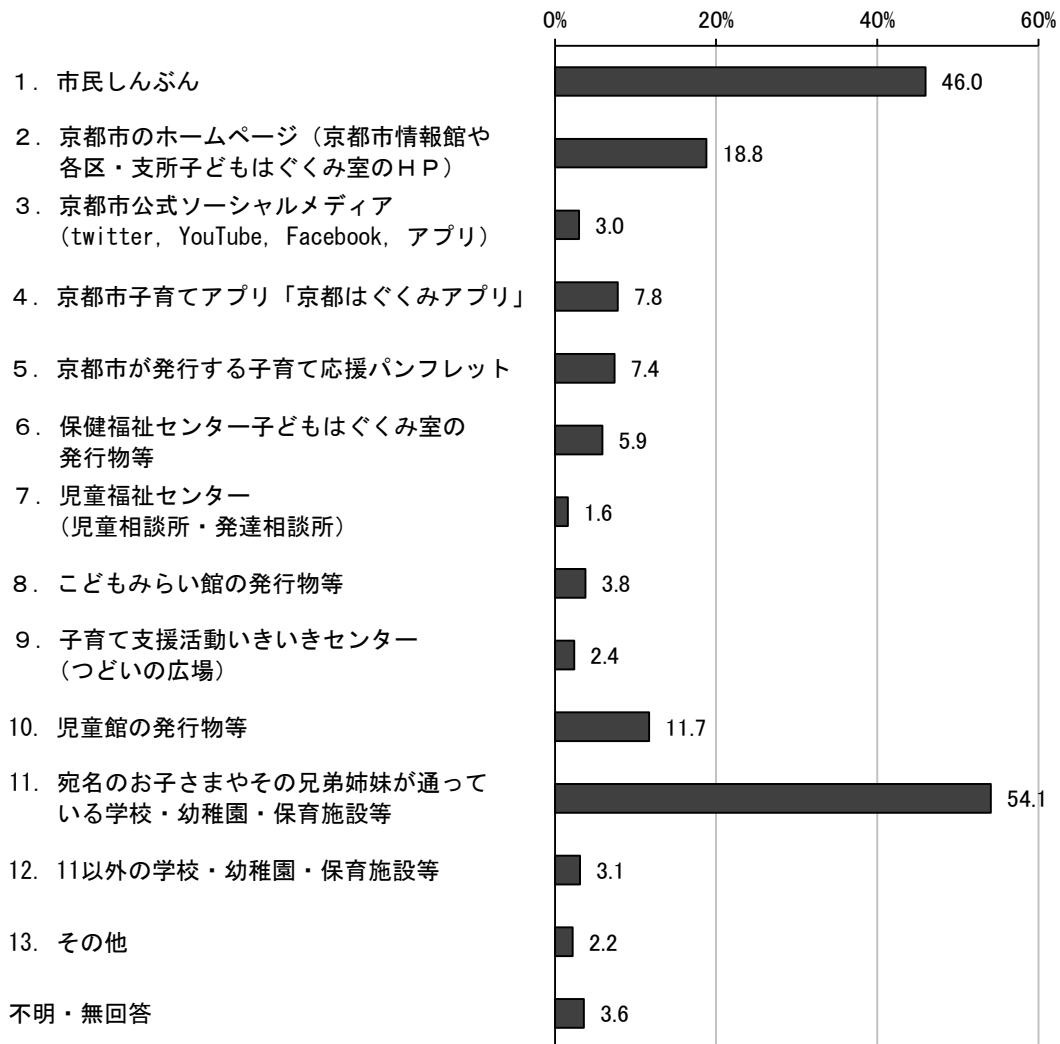
問 36(1)で「1～9」と答えた方

問 36(2) 問 36(1)のような子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれでお答えください。(〇はそれぞれ2つまで)

①行政

①行政では「11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」が54.1%と最も高く、次いで「1. 市民しんぶん」が46.0%、「2. 京都市のホームページ（京都市情報館や各区・支所子どもはぐくみ室のHP）」が18.8%となっています。

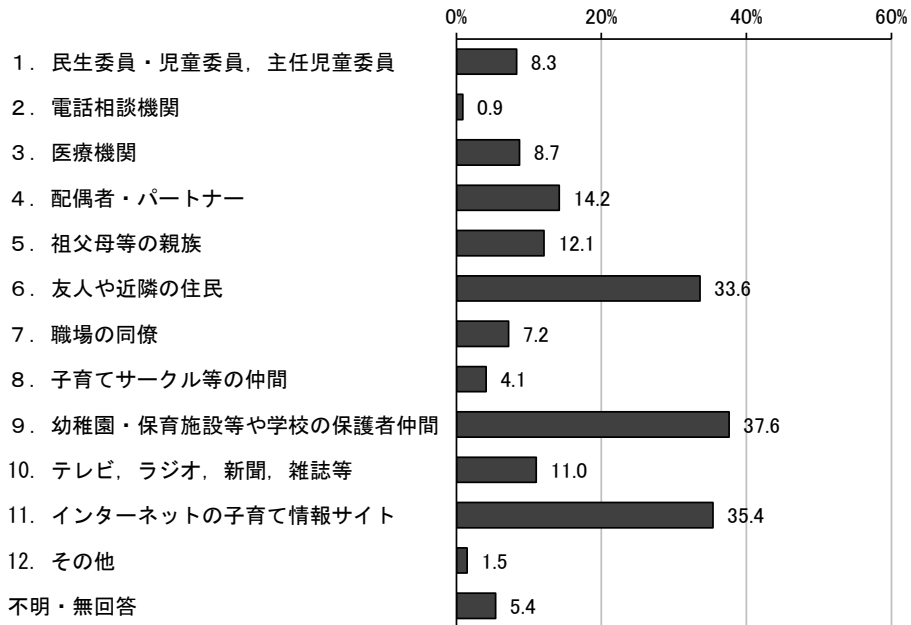
平成30年(N=2,783)



②民間

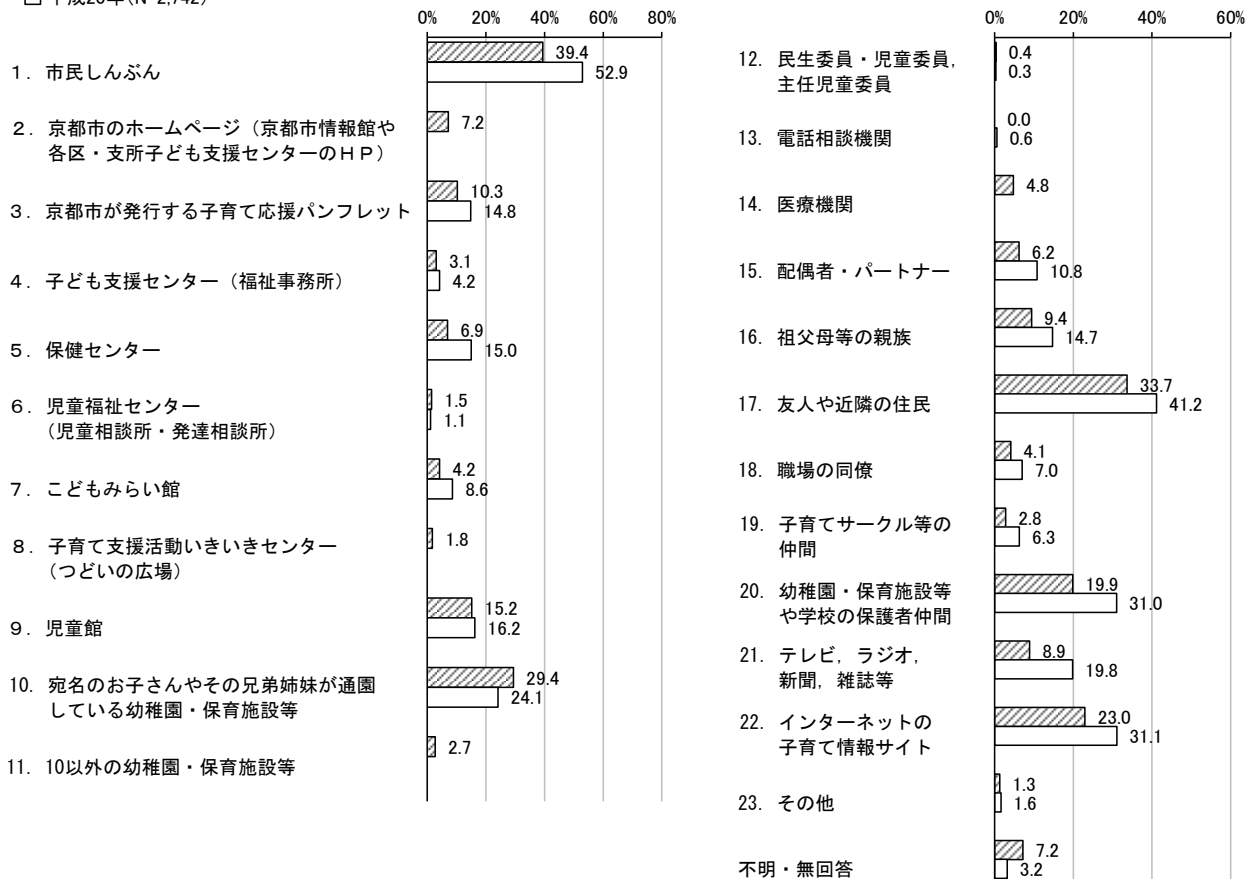
②民間では「9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」が37.6%と最も高く、次いで「11. インターネットの子育て情報サイト」が35.4%、「6. 友人や近隣の住民」が33.6%となっています。

平成30年(N=2,783)



▨ 平成25年(N=3,008)

□ 平成20年(N=2,742)



《問 36(2)×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

①行政について、「利用している」では「宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」，「利用していない」では「市民しんぶん」の割合が最も高くなっています。

②民間について、「利用している」では「幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」，「利用していない」では「インターネットの子育て情報サイト」の割合が最も高くなっています

①行政

上段:件数 下段:%	合計	市民しんぶん	京都市のホームページ(京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP)	京都市公式ソーシャルメディア(twitter, YouTube, Facebook, アプリ)	京都市子育てアプリ「京都はぐくみアプリ」	京都市が発行する子育て応援パンフレット	保健福祉センター子どもはぐくみ室の発行物等	児童福祉センター(児童相談所・発達相談所)
全体	2,783 100.0	1,281 46.0	523 18.8	84 3.0	216 7.8	206 7.4	164 5.9	44 1.6
の等保幼 有の育種 無利施園 別用設・	利用している	1,996 100.0	935 46.8	321 16.1	60 3.0	100 5.0	121 6.1	65 3.3
	利用していない	761 100.0	336 44.2	193 25.4	22 2.9	113 14.8	80 10.5	96 12.6

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい館の発行物等	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	児童館の発行物等	宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等	11以外の学校・幼稚園・保育施設等	その他	不明・無回答
全体	2,783 100.0	105 3.8	66 2.4	326 11.7	1,505 54.1	85 3.1	62 2.2	100 3.6
の等保幼 有の育種 無利施園 別用設・	利用している	1,996 100.0	59 3.0	32 1.6	202 10.1	1,307 65.5	70 3.5	47 2.4
	利用していない	761 100.0	45 5.9	34 4.5	121 15.9	192 25.2	15 2.0	14 1.8

※不明・無回答除く

②民間

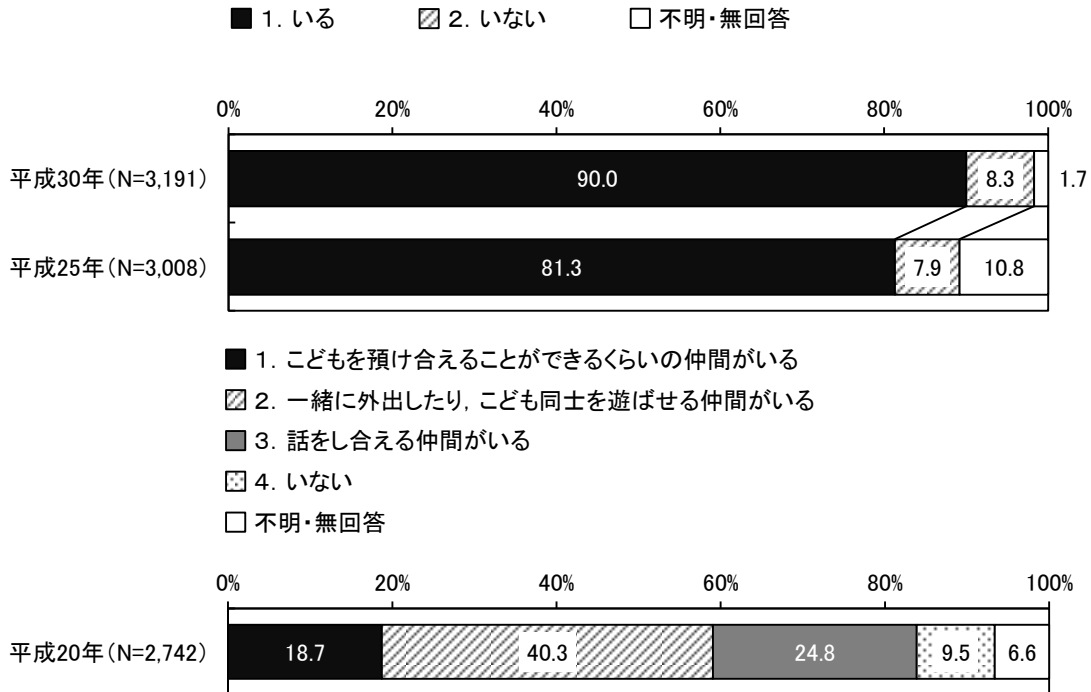
上段:件数 下段:%	合計	民生委員・児童委員、主任児童委員	電話相談機関	医療機関	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や近隣の住民	職場の同僚
全体	2,783 100.0	230 8.3	24 0.9	241 8.7	396 14.2	336 12.1	936 33.6	200 7.2
の等保幼 有の育種 無利施園 別用設・	利用している	1,996 100.0	150 7.5	17 0.9	180 9.0	288 14.4	229 11.5	635 31.8
	利用していない	761 100.0	78 10.2	7 0.9	59 7.8	103 13.5	100 13.1	291 38.2

上段:件数 下段:%	合計	子育てサークル等の仲間	幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	インターネットの子育て情報サイト	その他	不明・無回答
全体	2,783 100.0	113 4.1	1,047 37.6	307 11.0	985 35.4	42 1.5	150 5.4
の等保幼 有の育種 無利施園 別用設・	利用している	1,996 100.0	52 2.6	886 44.4	234 11.7	664 33.3	34 1.7
	利用していない	761 100.0	60 7.9	154 20.2	70 9.2	314 41.3	8 1.1

※不明・無回答除く

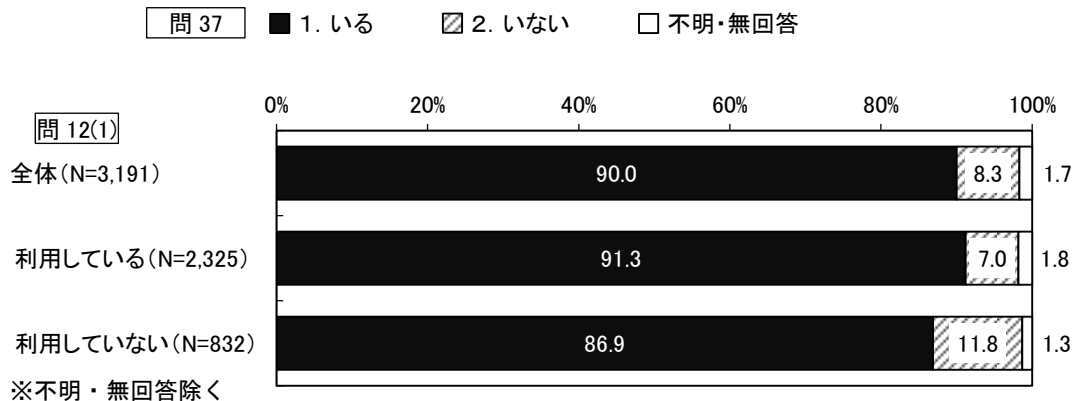
問 37 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(〇は1つ)

「1. いる」が90.0%、「2. いない」が8.3%となっています。
 平成25年と比較すると、「1. いる」が8.7ポイント高くなっています。



《問 37×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

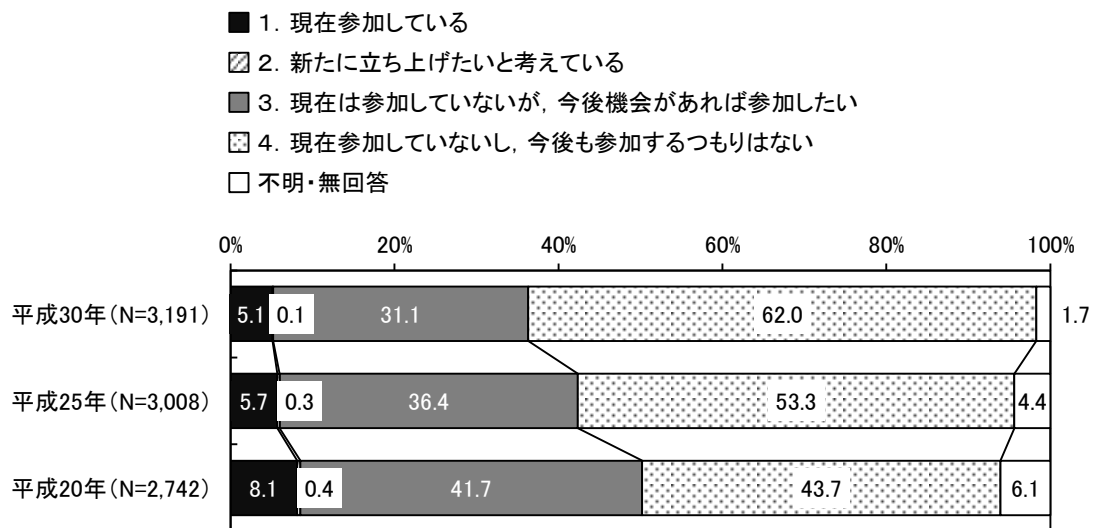
「利用している」では「1. いる」の割合が「利用していない」に比べ高くなっています。



問 38(1) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。(〇は1つ)

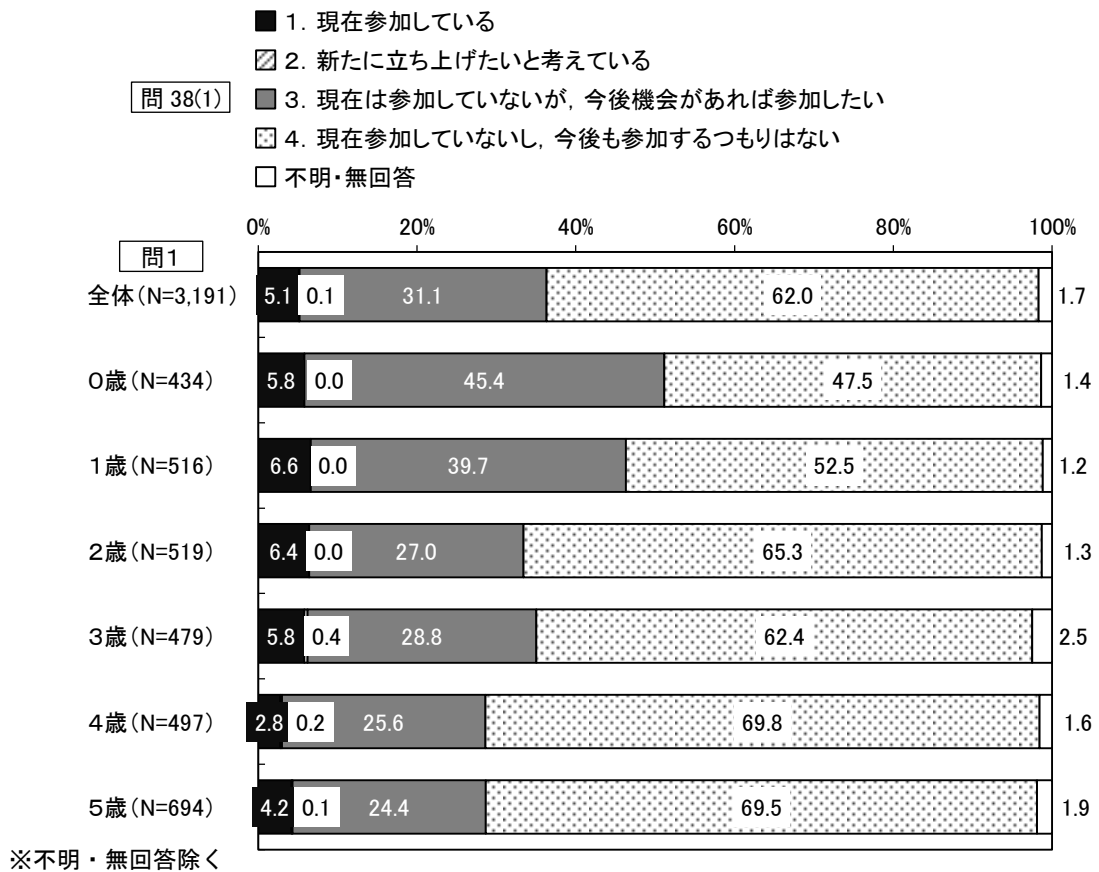
「4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が62.0%と最も高く、次いで「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が31.1%、「1. 現在参加している」が5.1%となっています。

過去調査と比較すると、「4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない」が平成25年より8.7ポイント、平成20年より18.3ポイント高くなっています。



《問 38(1)×問 1 子どもの年齢別》

子どもの年齢が上がるほど「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」の割合が低くなる傾向がみられます。

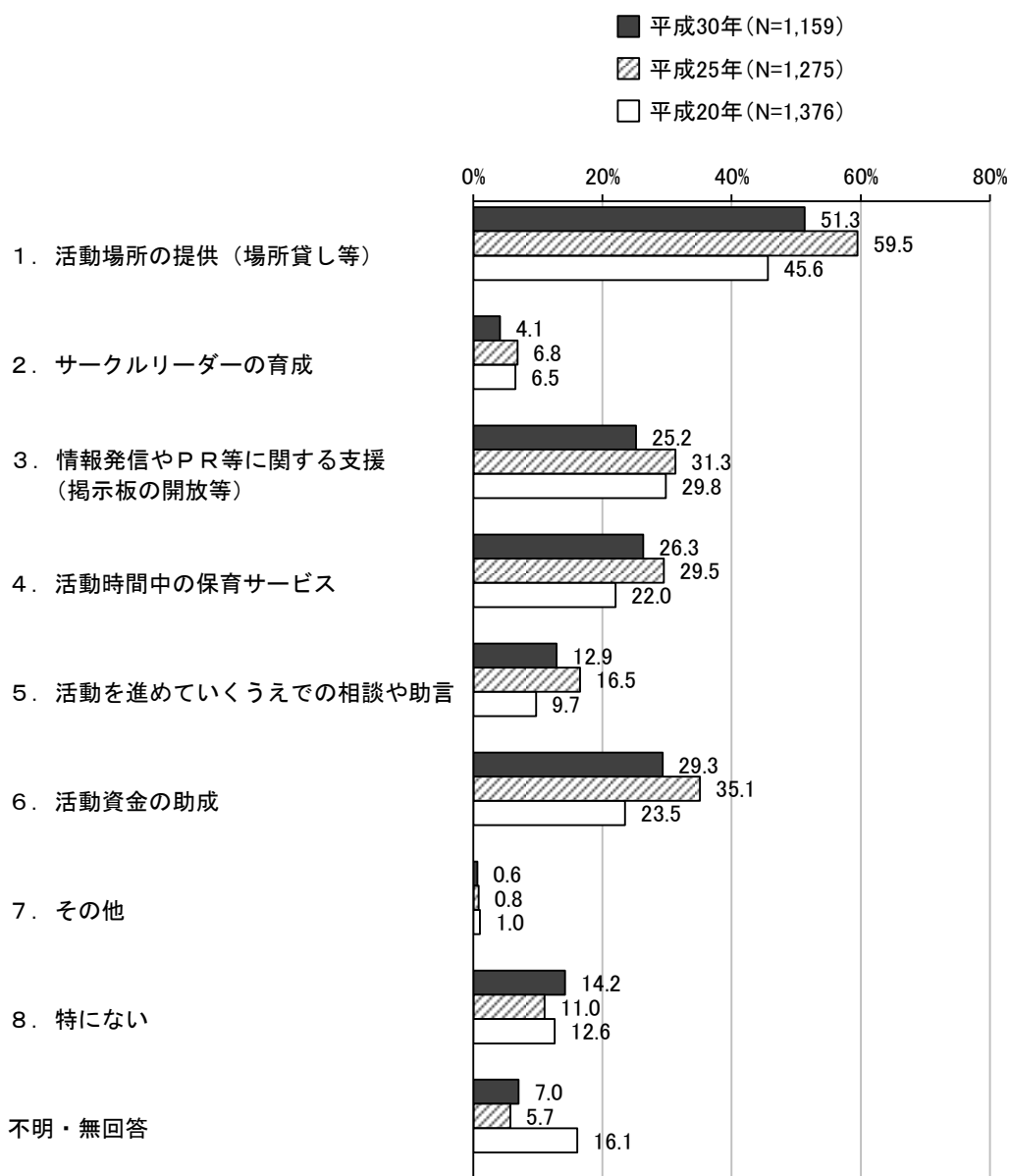


問 38(1)で「1～3」のいずれかを選んだ方

問 38(2) 子育てサークル等の自主的な活動をしていくにあたって、行政や地域に行ってほしい支援は何ですか。(〇は3つまで)

「1. 活動場所の提供（場所貸し等）」が51.3%と最も高く、次いで「6. 活動資金の助成」が29.3%、「4. 活動時間中の保育サービス」が26.3%、「3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等）」が25.2%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 活動場所の提供（場所貸し等）」8.2ポイント、「3. 情報発信やPR等に関する支援（掲示板の開放等）」が6.1ポイント低くなっています。

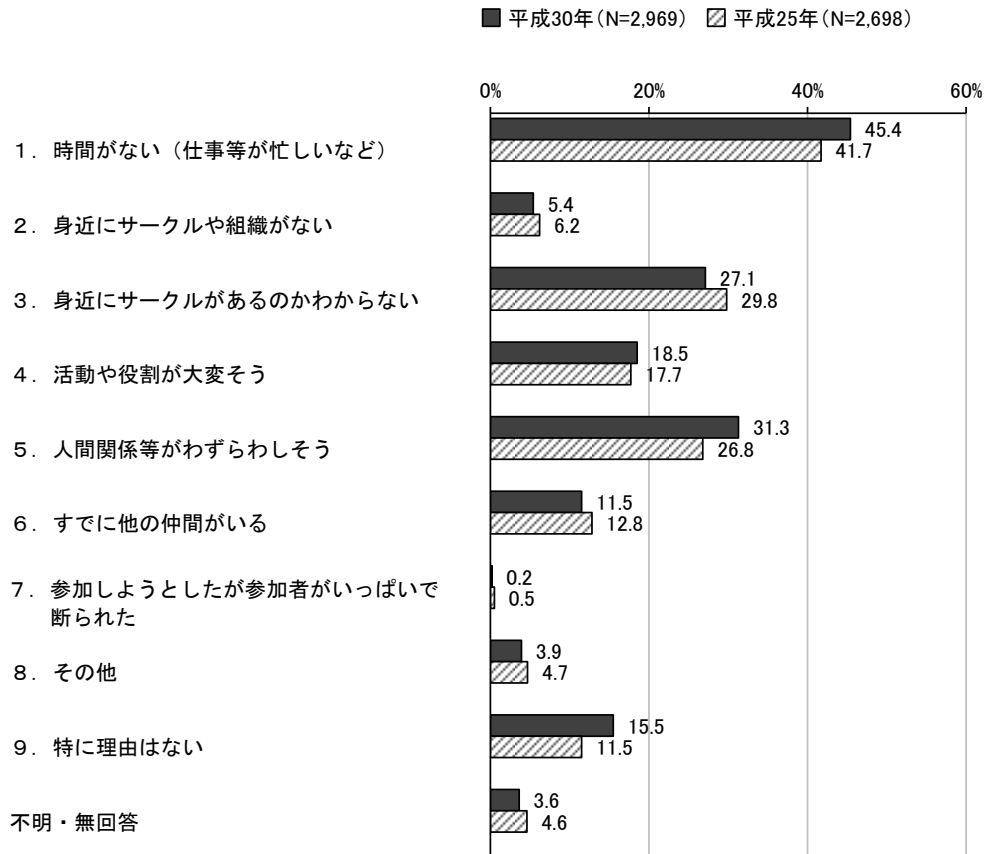


問 38(1)で「3」または「4」と答えた方

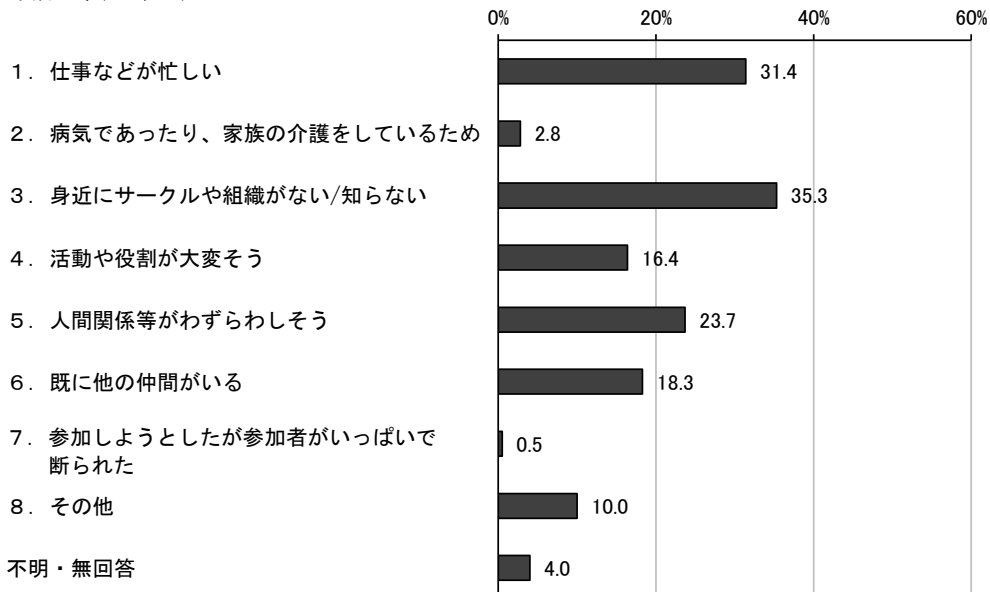
問 38(3) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 時間がない(仕事等が忙しいなど)」が45.4%と最も高く、次いで「5. 人間関係等がわずらわしそう」が31.3%、「3. 身近にサークルがあるのかわからない」が27.1%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

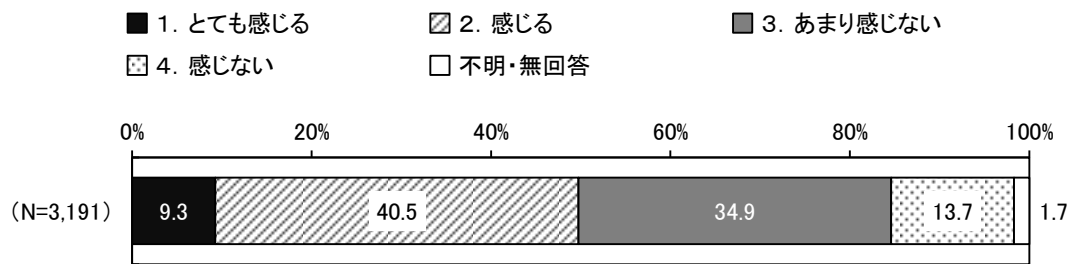


平成20年(N=2,341)



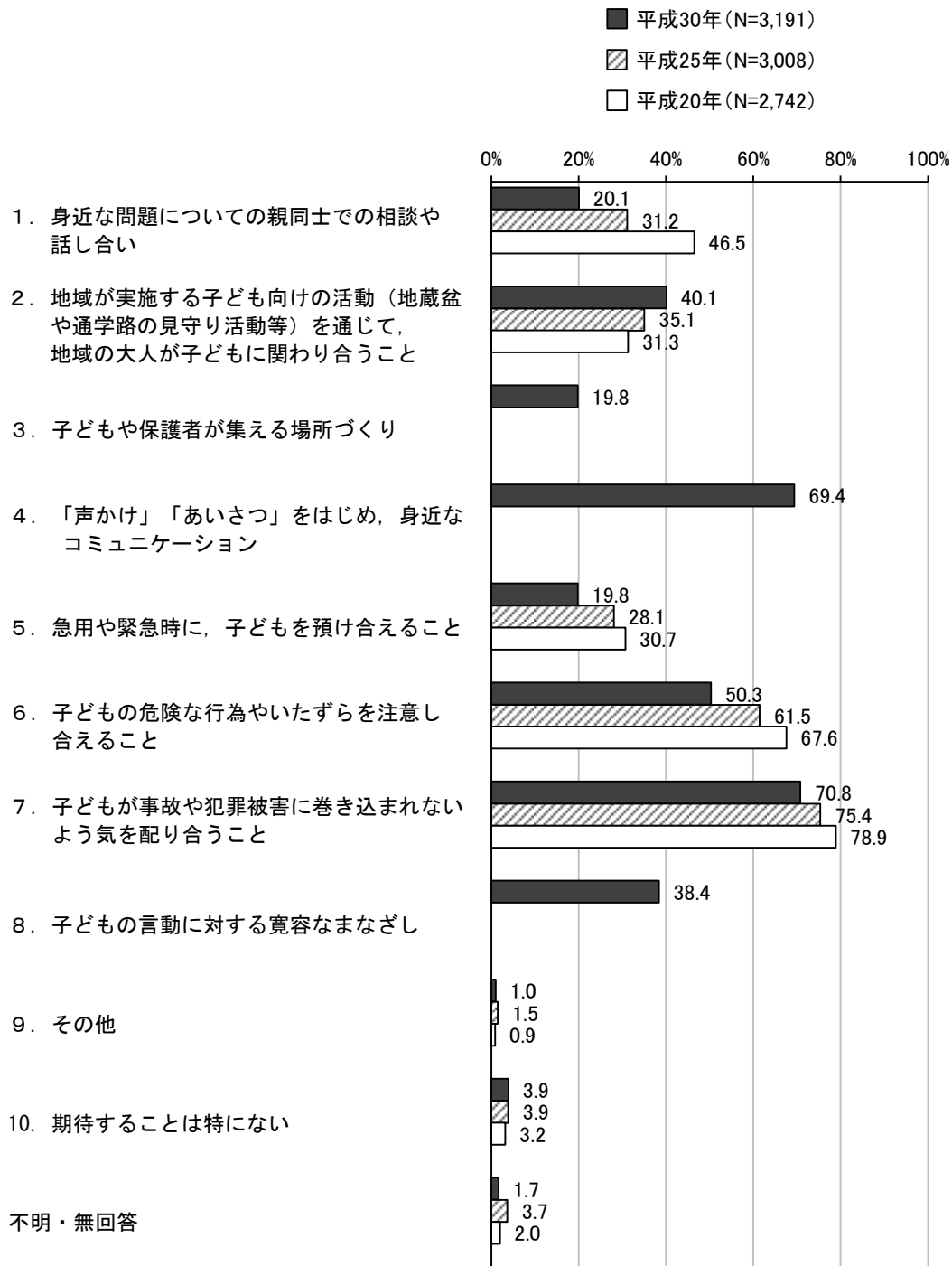
問 39 ご自身の子育てが，地域の人に支えられていると感じますか。(〇は1つ)

「2. 感じる」が 40.5%と最も高く，次いで「3. あまり感じない」が 34.9%，「4. 感じない」が 13.7%となっています。



問 40 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「7.子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」が70.8%と最も高く、次いで「4.「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」が69.4%、「6.子どもの危険な行為やいたずらを注意し合えること」が50.3%となっています。



※「3. 子どもや保護者が集える場所づくり」「4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」「8. 子どもの言動に対する寛容なまなざし」は平成30年のみの選択肢

《問 40×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

「とても感じる」「感じる」では「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」、
「あまり感じない」「感じない」では「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合
うこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	身近な問題 についての 親同士での 相談や話し 合い	地域が実施 する子ども 向けの活動 (地藏盆や 通学路の見 守り活動等) を通じて、地 域の大人が 子どもに関 わり合うこと	子どもや保 護者が集え る場所づくり	「声かけ」「あ いさつ」をは じめ、身近な コミュニケーション	急用や緊急 時に、子ども を預け合え ること	子どもの危 険な行為や いたずらを 注意し合え ること	
全 体	3,191 100.0	642 20.1	1,281 40.1	633 19.8	2,216 69.4	633 19.8	1,606 50.3	
て域自 いの身 る人の とに子 感支育 じえて るらが かれ地	とても感じる	296 100.0	95 32.1	193 65.2	77 26.0	249 84.1	94 31.8	207 69.9
	感じる	1,291 100.0	314 24.3	611 47.3	261 20.2	1,017 78.8	275 21.3	722 55.9
	あまり感じない	1,114 100.0	171 15.4	362 32.5	213 19.1	733 65.8	197 17.7	513 46.1
	感じない	436 100.0	59 13.5	113 25.9	79 18.1	210 48.2	65 14.9	156 35.8

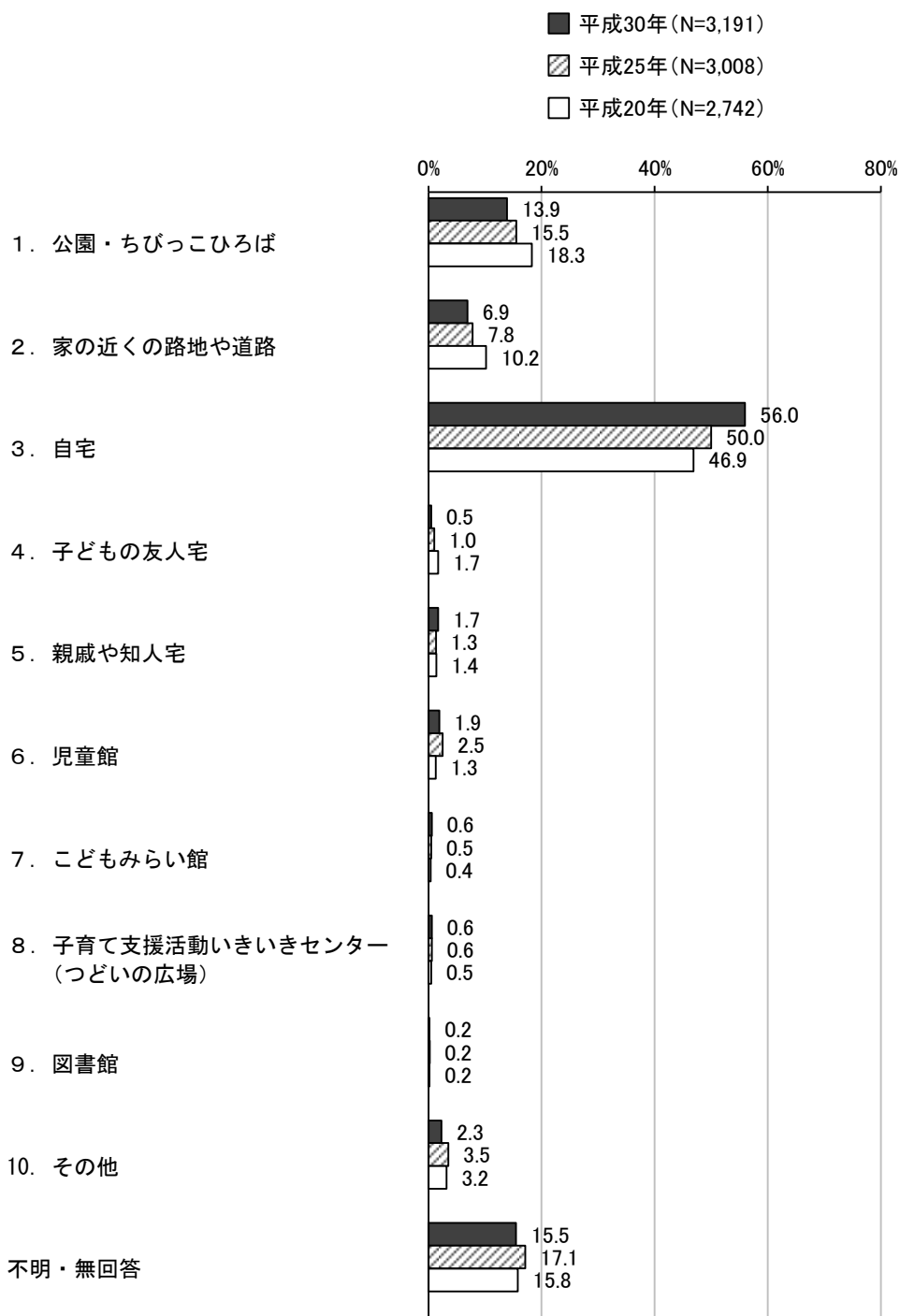
上段:件数 下段:%	合計	子どもが事 故や犯罪被 害に巻き込 まれないよ う気を配り 合うこと	子どもの言 動に対する 寛容なまな ざし	その他	期待するこ とは特にな い	不明・ 無回答	
全 体	3,191 100.0	2,260 70.8	1,225 38.4	31 1.0	125 3.9	55 1.7	
て域自 いの身 る人の とに子 感支育 じえて るらが かれ地	とても感じる	296 100.0	236 79.7	136 45.9	3 1.0	2 0.7	0 0.0
	感じる	1,291 100.0	947 73.4	507 39.3	14 1.1	22 1.7	7 0.5
	あまり感じない	1,114 100.0	813 73.0	432 38.8	8 0.7	39 3.5	2 0.2
	感じない	436 100.0	252 57.8	146 33.5	5 1.1	62 14.2	5 1.1

※不明・無回答除く

問 41 宛名のお子さまを平日の日中どこで遊ばせることが最も多いですか（幼稚園・保育施設等に通っている場合は、それ以外の時間の状況についてお答えください）。（○は1つ）

「3. 自宅」が56.0%と最も高く、次いで「1. 公園・ちびっこひろば」が13.9%、「2. 家の近くの路地や道路」が6.9%となっています。

過去調査を比較すると、「3. 自宅」が平成25年より6.0ポイント、平成20年より9.1ポイント高くなっています。



《問 41×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「自宅」が最も高くなっています。また、「公園・ちびっこひろば」は「1歳以上」で、「児童館」は「0～2歳」で全体よりも高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	公園・ちびっ こひろば	家の近くの 路地や道路	自宅	子どもの友 人宅	親戚や知人 宅	児童館	
全 体	3,191 100.0	443 13.9	219 6.9	1,787 56.0	16 0.5	54 1.7	61 1.9	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	13 3.0	10 2.3	317 73.0	0 0.0	2 0.5	14 3.2
	1歳	516 100.0	75 14.5	27 5.2	279 54.1	2 0.4	15 2.9	20 3.9
	2歳	519 100.0	87 16.8	36 6.9	264 50.9	3 0.6	9 1.7	19 3.7
	3歳	479 100.0	75 15.7	32 6.7	271 56.6	2 0.4	5 1.0	6 1.3
	4歳	497 100.0	84 16.9	53 10.7	263 52.9	3 0.6	8 1.6	0 0.0
	5歳	694 100.0	100 14.4	56 8.1	370 53.3	6 0.9	13 1.9	1 0.1

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい 館	子育て支援 活動いきい きセンター (つどいの広 場)	図書館	その他	不明・無回 答	
全 体	3,191 100.0	19 0.6	18 0.6	5 0.2	74 2.3	495 15.5	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	4 0.9	6 1.4	0 0.0	13 3.0	55 12.7
	1歳	516 100.0	3 0.6	3 0.6	0 0.0	14 2.7	78 15.1
	2歳	519 100.0	4 0.8	3 0.6	2 0.4	9 1.7	83 16.0
	3歳	479 100.0	3 0.6	4 0.8	2 0.4	6 1.3	73 15.2
	4歳	497 100.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	17 3.4	67 13.5
	5歳	694 100.0	4 0.6	1 0.1	1 0.1	14 2.0	128 18.4

※不明・無回答除く

《問 41×問 12(1)幼稚園・保育施設等の利用の有無別》

「利用している」「利用していない」ともに「自宅」の割合が最も高く、次いで「公園・ちびっこひろば」となっています。

上段:件数 下段:%	合計	公園・ちびっこひろば	家の近くの路地や道路	自宅	子どもの友人宅	親戚や知人宅	児童館	
全 体	3,191 100.0	443 13.9	219 6.9	1,787 56.0	16 0.5	54 1.7	61 1.9	
の等保幼 有の育稚 無利施園 別用設・	利用している	2,325 100.0	363 15.6	186 8.0	1,261 54.2	14 0.6	44 1.9	14 0.6
	利用していない	832 100.0	77 9.3	32 3.8	510 61.3	2 0.2	10 1.2	47 5.6

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい館	子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)	図書館	その他	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	19 0.6	18 0.6	5 0.2	74 2.3	495 15.5	
の等保幼 有の育稚 無利施園 別用設・	利用している	2,325 100.0	12 0.5	6 0.3	5 0.2	49 2.1	371 16.0
	利用していない	832 100.0	7 0.8	12 1.4	0 0.0	23 2.8	112 13.5

※不明・無回答除く

《問 41×問 12(2)現在利用している施設等別》

すべての区分で「自宅」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	公園・ちびっ こひろば	家の近くの路 地や道路	自宅	子どもの友 人宅	親戚や知人 宅	児童館	
全 体	2,325 100.0	363 15.6	186 8.0	1,261 54.2	14 0.6	44 1.9	14 0.6	
利用して いる 幼稚園・ 保育施設 等別	幼稚園	466 100.0	66 14.2	36 7.7	256 54.9	5 1.1	4 0.9	3 0.6
	幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用)	54 100.0	8 14.8	4 7.4	30 55.6	0 0.0	2 3.7	0 0.0
	幼稚園+預かり保育 (たまに利用)	335 100.0	51 15.2	29 8.7	189 56.4	3 0.9	4 1.2	1 0.3
	認定こども園	239 100.0	39 16.3	23 9.6	121 50.6	2 0.8	8 3.3	0 0.0
	保育園(所)	1,139 100.0	190 16.7	97 8.5	608 53.4	4 0.4	23 2.0	6 0.5
	小規模(家庭的)保育 事業所	71 100.0	11 15.5	2 2.8	39 54.9	0 0.0	1 1.4	2 2.8
	事業所内保育施設	23 100.0	2 8.7	0 0.0	13 56.5	0 0.0	2 8.7	1 4.3
	認可外保育施設	43 100.0	7 16.3	1 2.3	23 53.5	0 0.0	1 2.3	0 0.0
	ベビーシッター	6 100.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	37 100.0	5 13.5	2 5.4	19 51.4	0 0.0	1 2.7	2 5.4

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい 館	子育て支援 活動いきいき センター(つ どいの広場)	図書館	その他	不明・無回答	
全 体	2,325 100.0	12 0.5	6 0.3	5 0.2	49 2.1	371 16.0	
利用して いる 幼稚園・ 保育施設 等別	幼稚園	466 100.0	4 0.9	2 0.4	1 0.2	4 0.9	85 18.2
	幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用)	54 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	9 16.7
	幼稚園+預かり保育 (たまに利用)	335 100.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	3 0.9	54 16.1
	認定こども園	239 100.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	6 2.5	38 15.9
	保育園(所)	1,139 100.0	8 0.7	2 0.2	2 0.2	32 2.8	167 14.7
	小規模(家庭的)保育 事業所	71 100.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	1 1.4	14 19.7
	事業所内保育施設	23 100.0	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	4 17.4
	認可外保育施設	43 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.7	9 20.9
	ベビーシッター	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	その他	37 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.7	0 0.0	7 18.9

※不明・無回答除く

《問 41×問 37 子育て仲間の有無別》

「いる」「いない」とともに「自宅」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	公園・ちびっ こひろば	家の近くの路 地や道路	自宅	子どもの友 人宅	親戚や知人 宅	児童館	
全 体	3,191 100.0	443 13.9	219 6.9	1,787 56.0	16 0.5	54 1.7	61 1.9	
有 仲 子 無 間 育 別 の て	いる	2,872 100.0	408 14.2	196 6.8	1,608 56.0	16 0.6	50 1.7	57 2.0
	いない	264 100.0	29 11.0	21 8.0	167 63.3	0 0.0	4 1.5	4 1.5

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい 館	子育て支援 活動いきいき センター(つ どいの広場)	図書館	その他	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	19 0.6	18 0.6	5 0.2	74 2.3	495 15.5	
有 仲 子 無 間 育 別 の て	いる	2,872 100.0	18 0.6	16 0.6	4 0.1	68 2.4	431 15.0
	いない	264 100.0	1 0.4	2 0.8	0 0.0	6 2.3	30 11.4

※不明・無回答除く

《問 41×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段別》

すべての区分で「自宅」の割合が最も高くなっています。

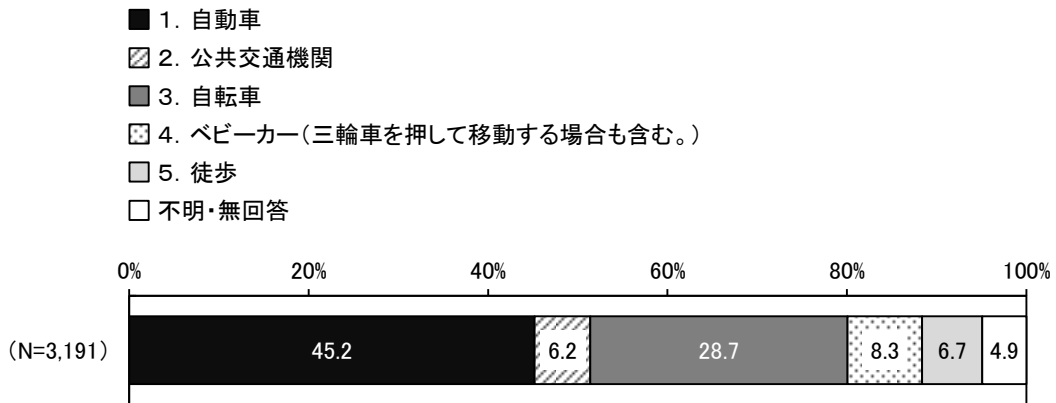
上段:件数 下段:%	合計	公園・ちびっ こひろば	家の近くの路 地や道路	自宅	子どもの友 人宅	親戚や知人 宅	児童館	
全 体	3,191 100.0	443 13.9	219 6.9	1,787 56.0	16 0.5	54 1.7	61 1.9	
移 動 手 段 別	自動車	1,441 100.0	181 12.6	126 8.7	828 57.5	9 0.6	31 2.2	13 0.9
	公共交通機関	198 100.0	22 11.1	9 4.5	132 66.7	0 0.0	3 1.5	1 0.5
	自転車	915 100.0	163 17.8	63 6.9	486 53.1	5 0.5	16 1.7	21 2.3
	ベビーカー	265 100.0	29 10.9	10 3.8	177 66.8	0 0.0	2 0.8	14 5.3
	徒歩	215 100.0	41 19.1	7 3.3	127 59.1	2 0.9	1 0.5	8 3.7

上段:件数 下段:%	合計	こどもみらい 館	子育て支援 活動いきいき センター(つ どいの広場)	図書館	その他	不明・無回答	
全 体	3,191 100.0	19 0.6	18 0.6	5 0.2	74 2.3	495 15.5	
移 動 手 段 別	自動車	1,441 100.0	2 0.1	5 0.3	3 0.2	40 2.8	203 14.1
	公共交通機関	198 100.0	2 1.0	0 0.0	0 0.0	4 2.0	25 12.6
	自転車	915 100.0	10 1.1	7 0.8	2 0.2	16 1.7	126 13.8
	ベビーカー	265 100.0	2 0.8	6 2.3	0 0.0	3 1.1	22 8.3
	徒歩	215 100.0	3 1.4	0 0.0	0 0.0	4 1.9	22 10.2

※不明・無回答除く

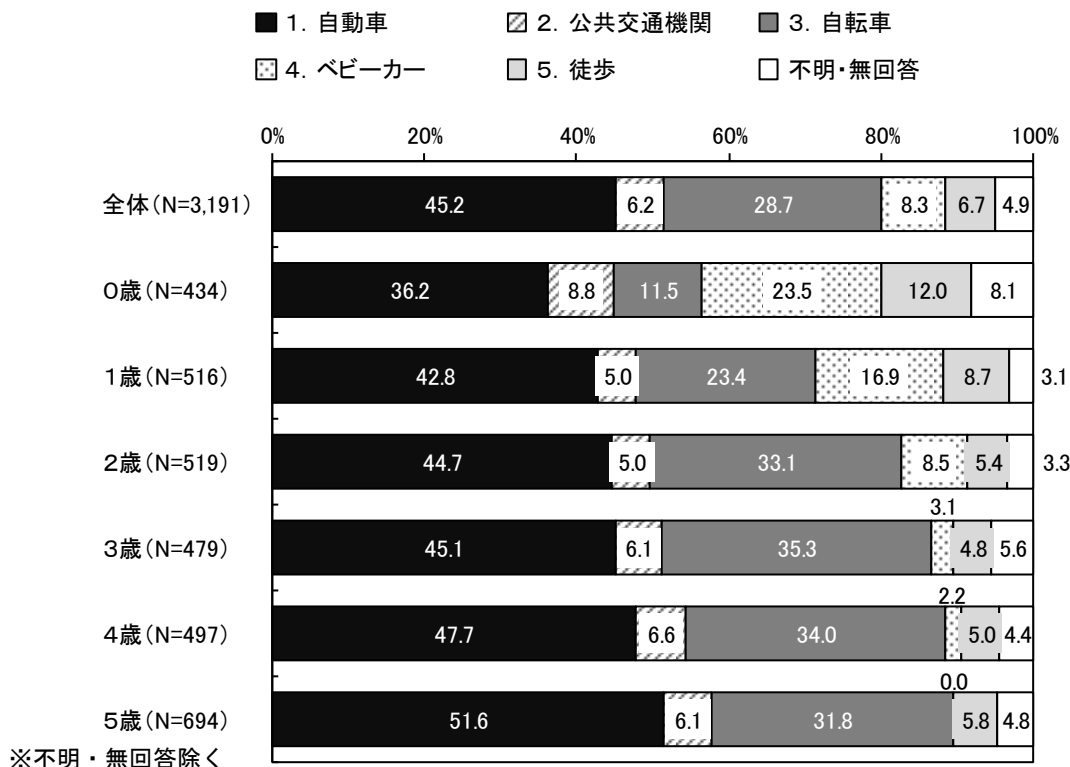
問 42(1) 子どもを連れて外出する際の主な移動手段は何ですか。(〇は1つ)

「1. 自動車」が45.2%と最も高く、次いで「3. 自転車」が28.7%、「4. ベビーカー」が8.3%となっています。



《問 42(1)×問 1 子どもの年齢別》

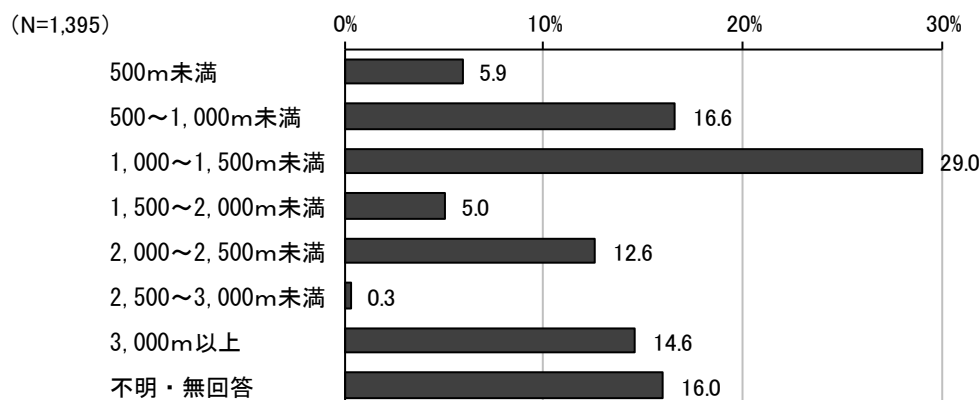
すべての区分で「1. 自動車」の割合が最も高くなっており、年齢が上がるほど高くなる傾向がみられます。また、「4. ベビーカー」では年齢が上がるほど、「3. 自転車」では3歳以降は低くなる傾向がみられます。



問 42(1)で「3～5」のいずれかを選んだ方

問 42(2) 問 42(1)で答えられた方法で移動される場合の平均的な移動距離を（ ）内にご記入ください。

「1,000～1,500m未満」が29.0%と最も高く、次いで「500～1,000m未満」が16.6%、「3,000m以上」が14.6%となっています。



《問 42(2)×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段別》

すべての区分で「1,000～1,500m未満」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・無回答	
全体	1,395 100.0	82 5.9	232 16.6	405 29.0	70 5.0	176 12.6	4 0.3	203 14.6	223 16.0	
移動 手段 別	自転車	915 100.0	30 3.3	108 11.8	265 29.0	47 5.1	128 14.0	3 0.3	172 18.8	162 17.7
	ベビーカー	265 100.0	18 6.8	66 24.9	77 29.1	15 5.7	27 10.2	1 0.4	22 8.3	39 14.7
	徒歩	215 100.0	34 15.8	58 27.0	63 29.3	8 3.7	21 9.8	0 0.0	9 4.2	22 10.2

※不明・無回答除く

《問 42(2)×問 42(1)子どもを連れて外出する際の主な移動手段×問 1 子どもの年齢別》

すべての年齢で「自転車」では「1,000～1,500m未満」の割合が最も高くなっています。

「ベビーカー」は、0～3歳では「500～1,000m未満」「1,000～1,500m未満」の割合が高くなっています。

「徒歩」は、0～1歳、5歳では「1,000～1,500m未満」、2・4歳では「500～1,000m未満」、3歳では「500m未満」「500～1,000m未満」の割合が最も高くなっています。

0歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	204 100.0	10 4.9	46 22.5	71 34.8	8 3.9	23 11.3	1 0.5	20 9.8	25 12.3	
移動 手段 別	自転車	50 100.0	1 2.0	5 10.0	19 38.0	2 4.0	7 14.0	0 0.0	7 14.0	9 18.0
	ベビーカー	102 100.0	4 3.9	28 27.5	34 33.3	2 2.0	13 12.7	1 1.0	9 8.8	11 10.8
	徒歩	52 100.0	5 9.6	13 25.0	18 34.6	4 7.7	3 5.8	0 0.0	4 7.7	5 9.6

※不明・無回答除く

1歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	253 100.0	18 7.1	44 17.4	80 31.6	13 5.1	28 11.1	0 0.0	24 9.5	46 18.2	
移動 手段 別	自転車	121 100.0	4 3.3	9 7.4	44 36.4	5 4.1	16 13.2	0 0.0	18 14.9	25 20.7
	ベビーカー	87 100.0	7 8.0	23 26.4	19 21.8	7 8.0	8 9.2	0 0.0	6 6.9	17 19.5
	徒歩	45 100.0	7 15.6	12 26.7	17 37.8	1 2.2	4 8.9	0 0.0	0 0.0	4 8.9

※不明・無回答除く

2歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	244 100.0	13 5.3	41 16.8	76 31.1	12 4.9	29 11.9	0 0.0	37 15.2	36 14.8	
移動 手段 別	自転車	172 100.0	7 4.1	23 13.4	54 31.4	9 5.2	21 12.2	0 0.0	34 19.8	24 14.0
	ベビーカー	44 100.0	2 4.5	10 22.7	15 34.1	2 4.5	4 9.1	0 0.0	3 6.8	8 18.2
	徒歩	28 100.0	4 14.3	8 28.6	7 25.0	1 3.6	4 14.3	0 0.0	0 0.0	4 14.3

※不明・無回答除く

3歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	207 100.0	13 6.3	34 16.4	58 28.0	11 5.3	28 13.5	1 0.5	33 15.9	29 14.0	
移動 手段 別	自転車	169 100.0	3 1.8	22 13.0	48 28.4	9 5.3	25 14.8	1 0.6	33 19.5	28 16.6
	ベビーカー	15 100.0	2 13.3	4 26.7	7 46.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	徒歩	23 100.0	8 34.8	8 34.8	3 13.0	0 0.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3

※不明・無回答除く

4歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	205 100.0	11 5.4	28 13.7	49 23.9	13 6.3	27 13.2	1 0.5	41 20.0	35 17.1	
移動 手段 別	自転車	169 100.0	6 3.6	19 11.2	43 25.4	11 6.5	22 13.0	1 0.6	36 21.3	31 18.3
	ベビーカー	11 100.0	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0
	徒歩	25 100.0	3 12.0	8 32.0	4 16.0	0 0.0	3 12.0	0 0.0	3 12.0	4 16.0

※不明・無回答除く

5歳

上段:件数 下段:%	合計	500m未満	500～1,000 m未満	1,000～1,500 m未満	1,500～2,000 m未満	2,000～2,500 m未満	2,500～3,000 m未満	3,000m以上	不明・ 無回答	
全体	261 100.0	14 5.4	38 14.6	66 25.3	13 5.0	40 15.3	1 0.4	42 16.1	47 18.0	
移動 手段 別	自転車	221 100.0	8 3.6	29 13.1	53 24.0	11 5.0	36 16.3	1 0.5	40 18.1	43 19.5
	ベビーカー	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	徒歩	40 100.0	6 15.0	9 22.5	13 32.5	2 5.0	4 10.0	0 0.0	2 5.0	4 10.0

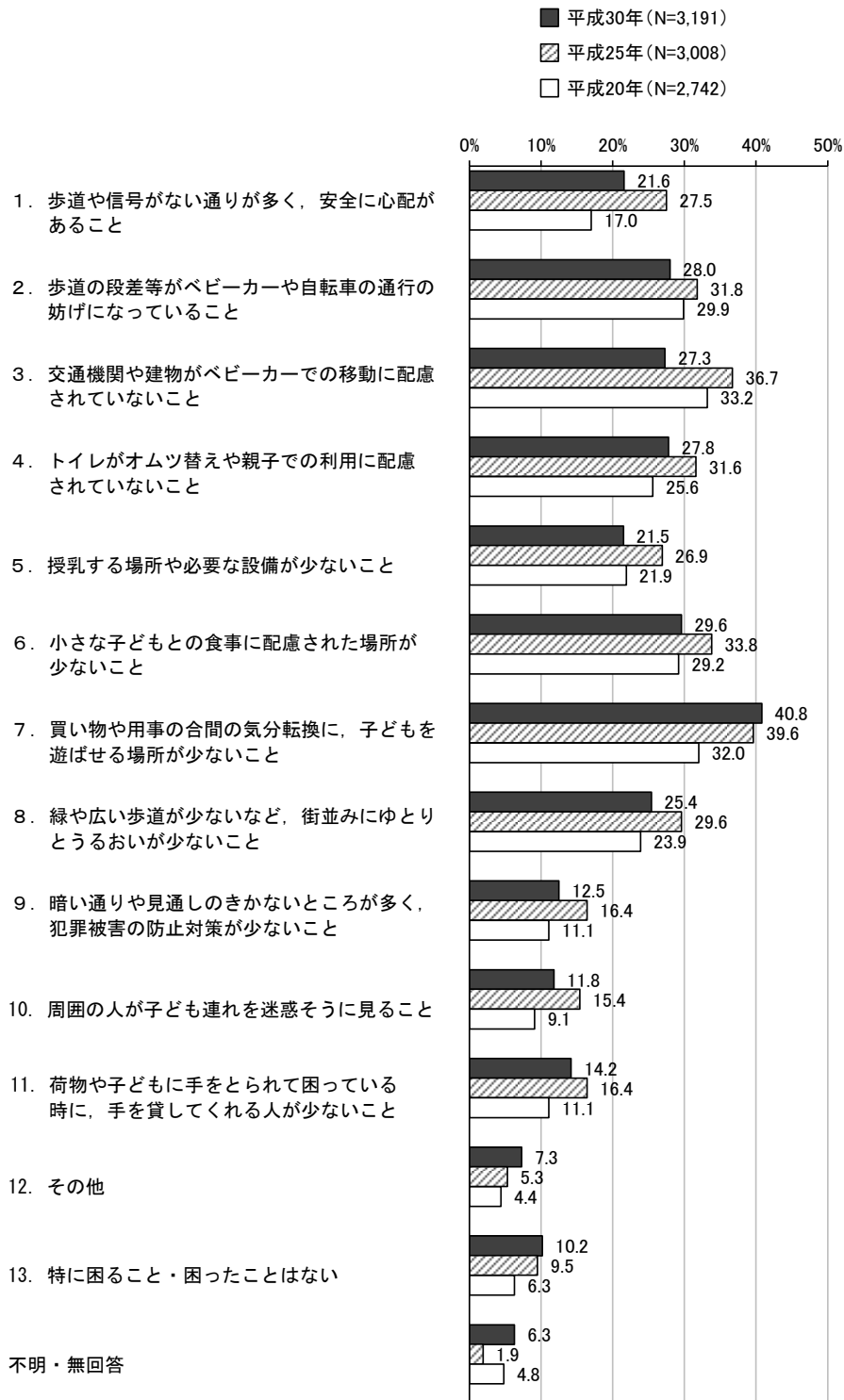
※不明・無回答除く

問 43 宛名のお子さまと外出する際に、困ること・困ったことについてお答えください。

(〇はいくつでも)

「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」が40.8%と最も高く、次いで「6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと」が29.6%と多く挙げられています。

平成25年と比較すると、「3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が9.4ポイント低く、平成20年と比較すると、「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」が8.8ポイント高くなっています。



《問 43×問 1 子どもの年齢別》

「0歳」では「授乳する場所や必要な設備が少ないこと」、1～5歳では「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること	歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること	交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと	トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと	授乳する場所や必要な設備が少ないこと	小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと	買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと	
全体	3,191 100.0	689 21.6	894 28.0	872 27.3	887 27.8	687 21.5	945 29.6	1,302 40.8	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	65 15.0	167 38.5	170 39.2	184 42.4	234 53.9	151 34.8	128 29.5
	1歳	516 100.0	101 19.6	172 33.3	188 36.4	180 34.9	131 25.4	218 42.2	241 46.7
	2歳	519 100.0	111 21.4	180 34.7	176 33.9	186 35.8	103 19.8	178 34.3	231 44.5
	3歳	479 100.0	113 23.6	126 26.3	116 24.2	127 26.5	70 14.6	126 26.3	207 43.2
	4歳	497 100.0	117 23.5	110 22.1	101 20.3	105 21.1	73 14.7	125 25.2	215 43.3
	5歳	694 100.0	160 23.1	126 18.2	103 14.8	90 13.0	66 9.5	134 19.3	261 37.6

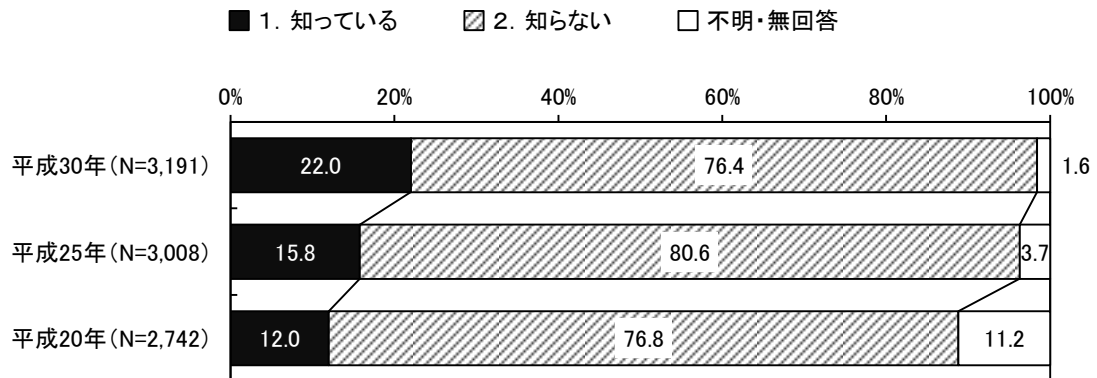
上段:件数 下段:%	合計	緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりとるおいが少ないこと	暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害の防止対策が少ないこと	周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること	荷物や子どもに手をとられて困っている時に、手を貸してくれる人が少ないこと	その他	特に困ること・困ったことはない	不明・無回答	
全体	3,191 100.0	811 25.4	400 12.5	378 11.8	452 14.2	234 7.3	325 10.2	200 6.3	
子どもの年齢別	0歳	434 100.0	106 24.4	38 8.8	50 11.5	54 12.4	32 7.4	20 4.6	23 5.3
	1歳	516 100.0	131 25.4	42 8.1	56 10.9	77 14.9	35 6.8	36 7.0	29 5.6
	2歳	519 100.0	141 27.2	62 11.9	70 13.5	93 17.9	22 4.2	44 8.5	23 4.4
	3歳	479 100.0	124 25.9	59 12.3	59 12.3	79 16.5	37 7.7	51 10.6	36 7.5
	4歳	497 100.0	136 27.4	71 14.3	57 11.5	74 14.9	48 9.7	60 12.1	39 7.8
	5歳	694 100.0	157 22.6	114 16.4	81 11.7	69 9.9	54 7.8	106 15.3	47 6.8

※不明・無回答除く

問 44 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)

「1. 知っている」が 22.0%、「2. 知らない」が 76.4%となっています。

過去調査と比較すると、「1. 知っている」が平成 25 年より 6.2 ポイント、平成 20 年より 10.0 ポイント高くなっています。

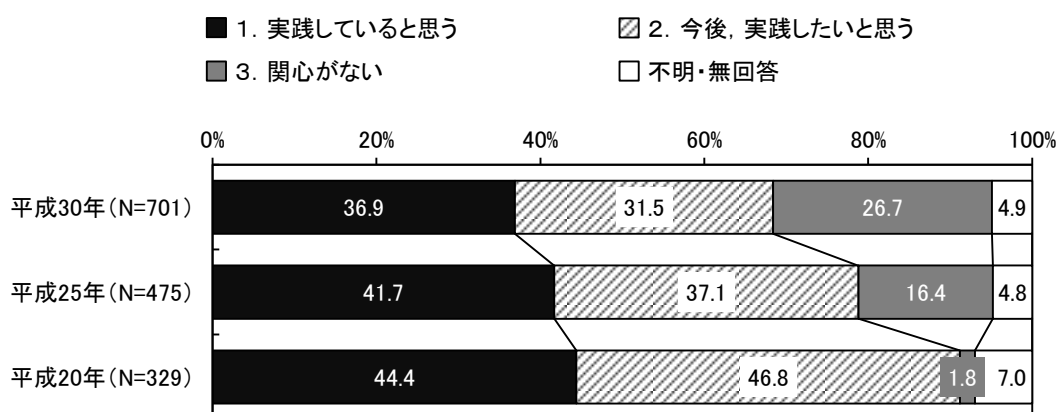


憲章の実践について

知っている方の憲章の実践について、「1. 実践していると思う」が36.9%と最も高く、次いで「2. 今後、実践したいと思う」が31.5%となっています。平成25年と比較すると、「3. 関心がない」が10.3ポイント高くなっています。

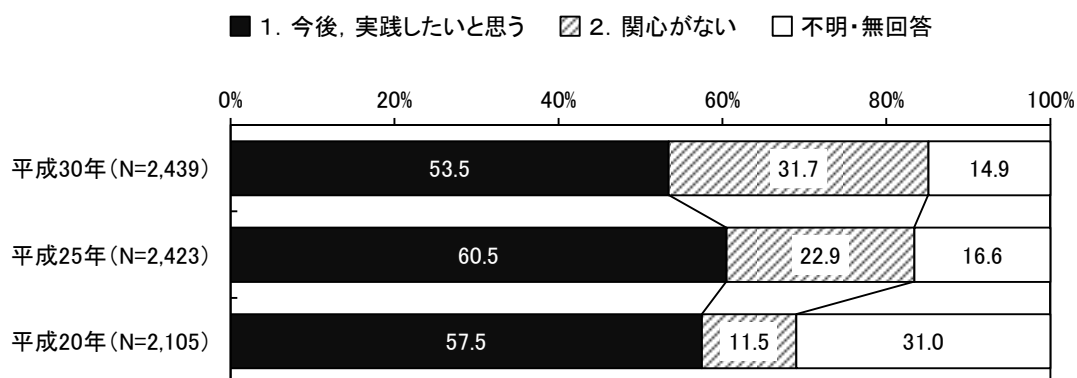
知らない方の憲章の実践について、「1. 今後、実践したいと思う」が53.5%、「2. 関心がない」が31.7%となっています。平成25年と比較すると、「2. 関心がない」が8.8ポイント高くなっています。

◆1. 知っている方



※「3. 関心がない」…平成20年は「3. 実践しようと思わない」

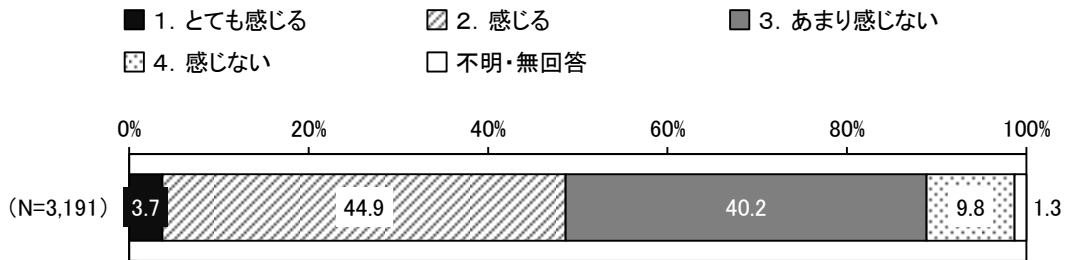
◆2. 知らない方



※「2. 関心がない」…平成20年は「2. 実践しようと思わない」

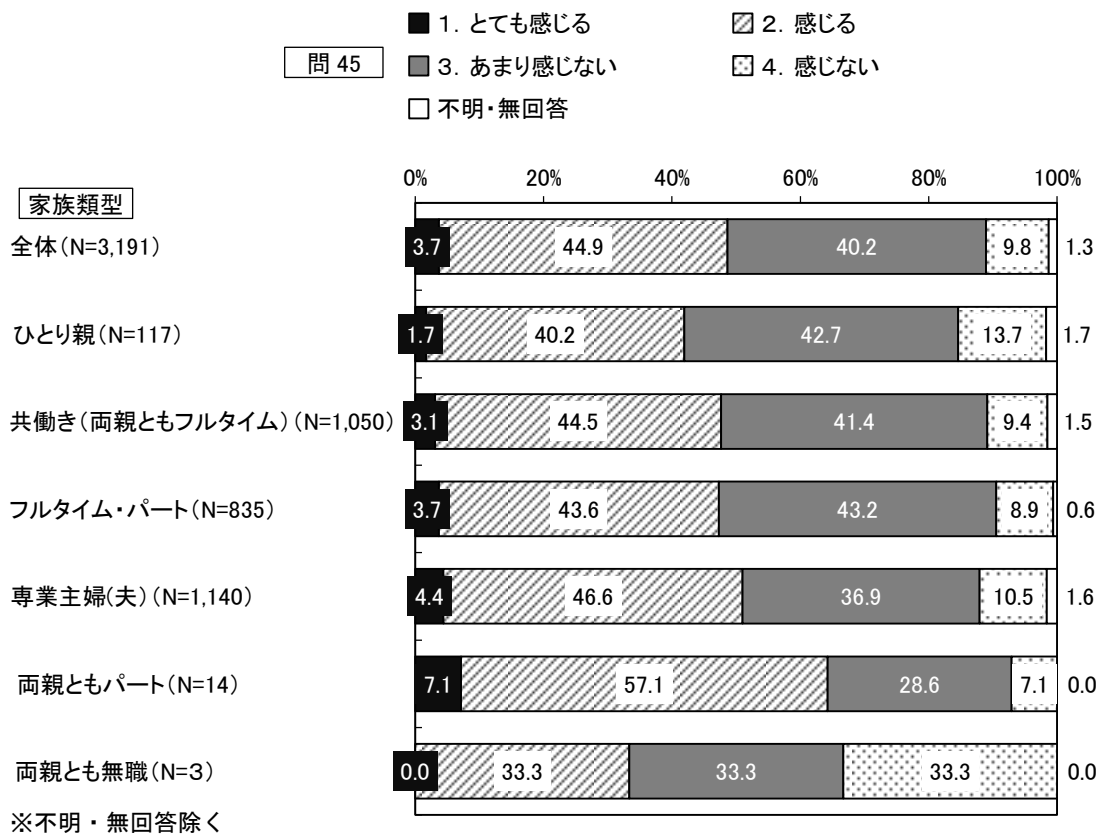
問 45 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(〇は1つ)

「感じる(「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計)」が48.6%, 「感じない(「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計)」が50.0%となっています。



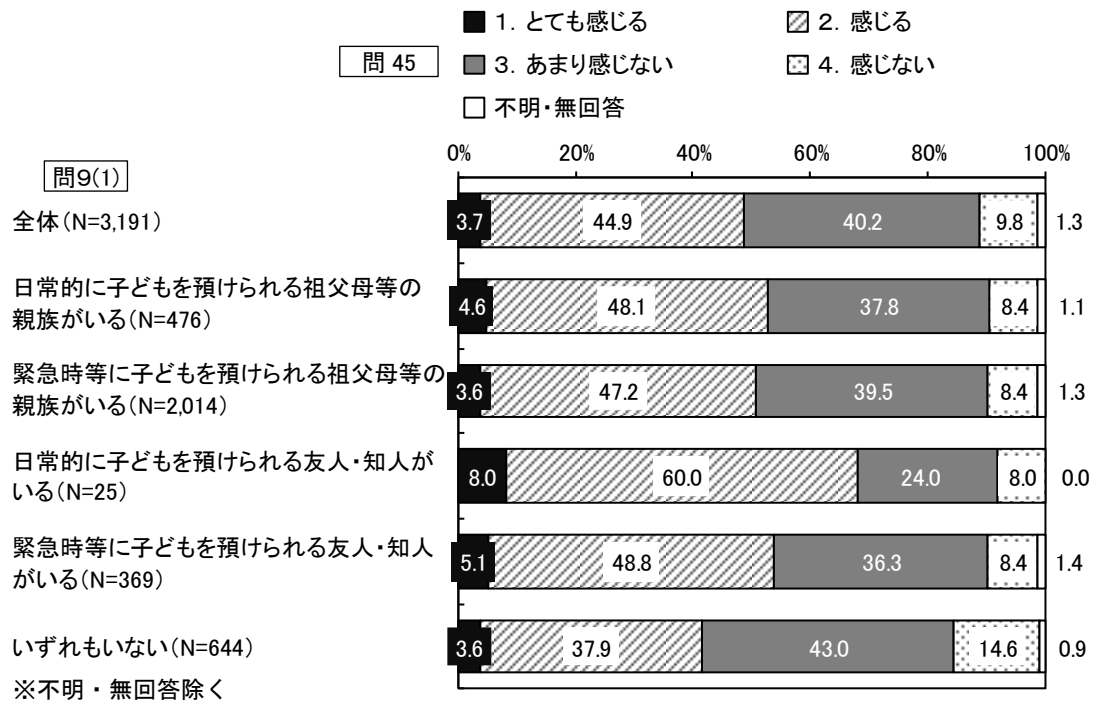
《問 45×家族類型別》

「専業主婦(夫)」「両親ともパート」以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



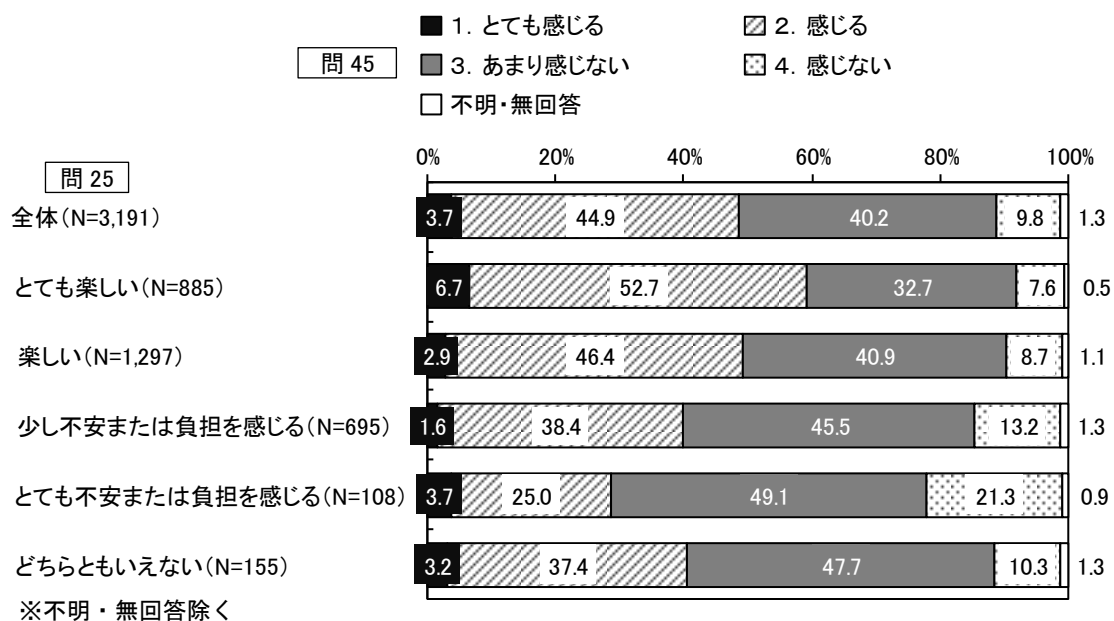
《問 45×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では「感じる」の割合が全体よりも特に高くなっています。



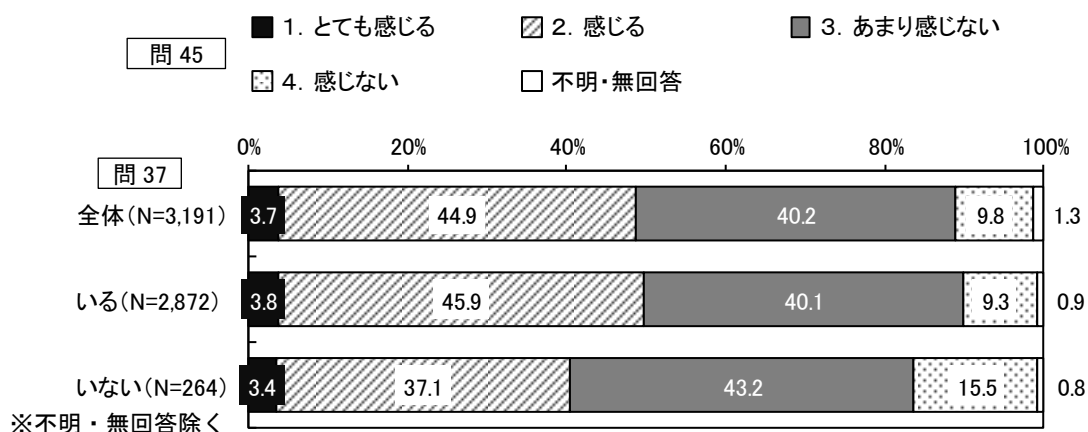
《問 45×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では「感じる」, 「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



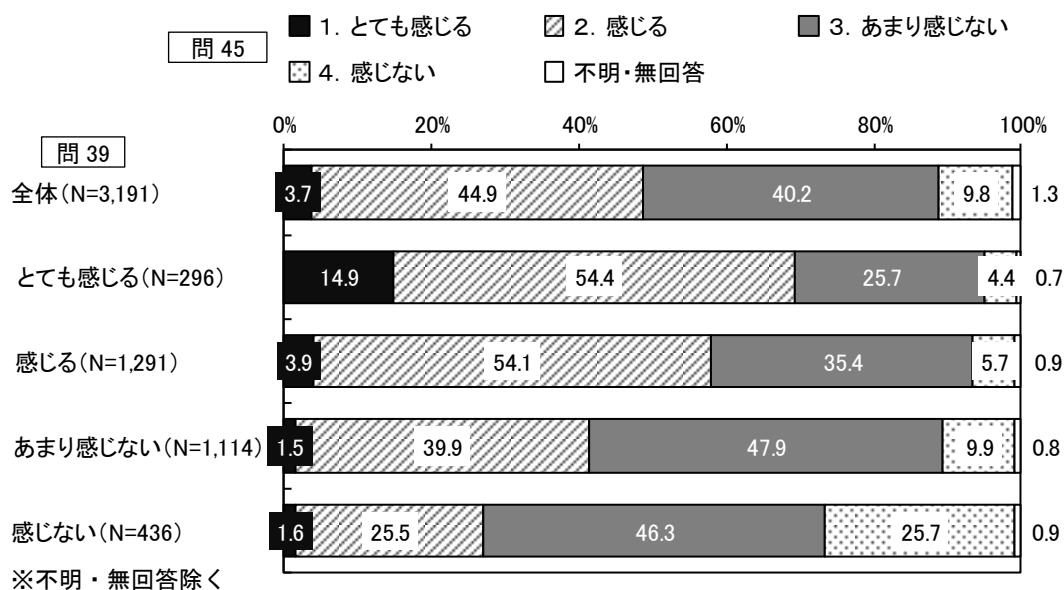
《問 45×問 37 子育て仲間の有無別》

「いる」では「感じる」, 「いない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



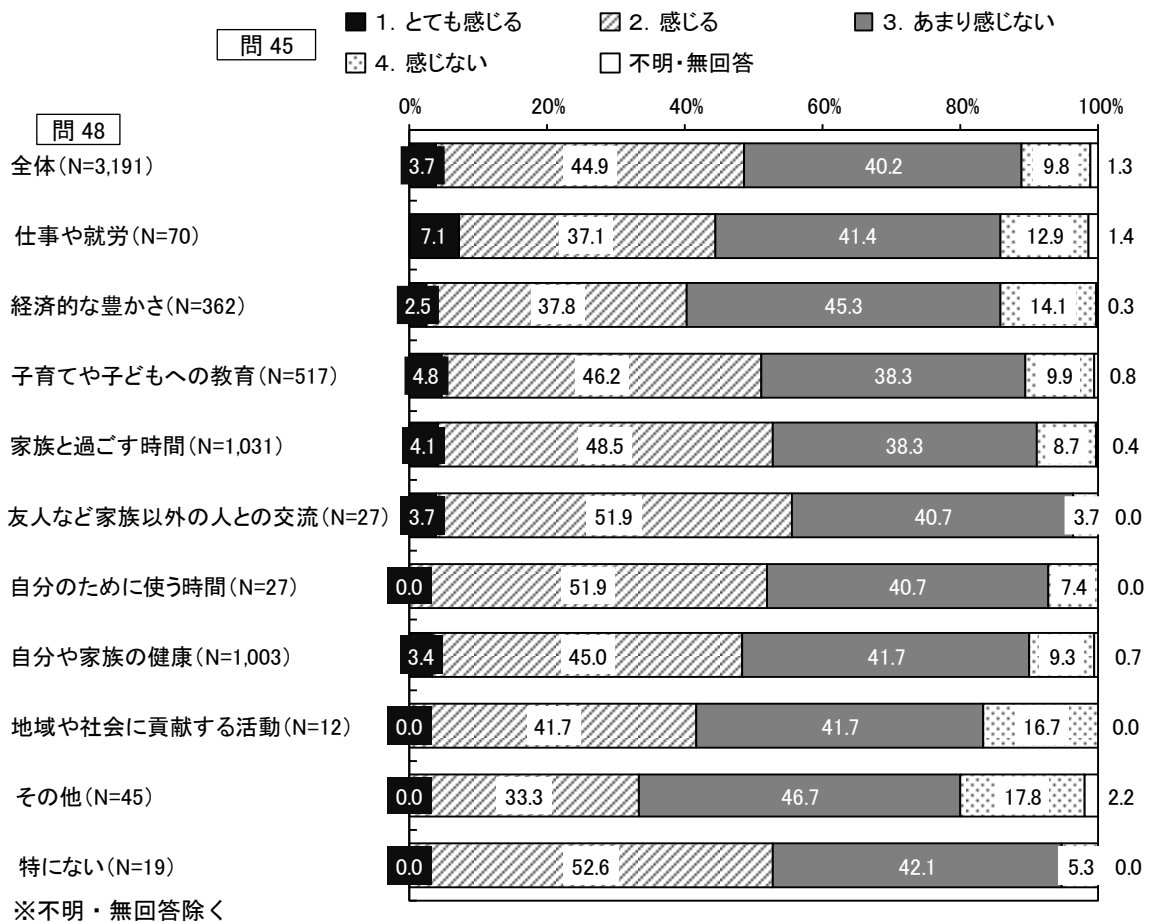
《問 45×問 39 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では「感じる」の割合が、「あまり感じない」「感じない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



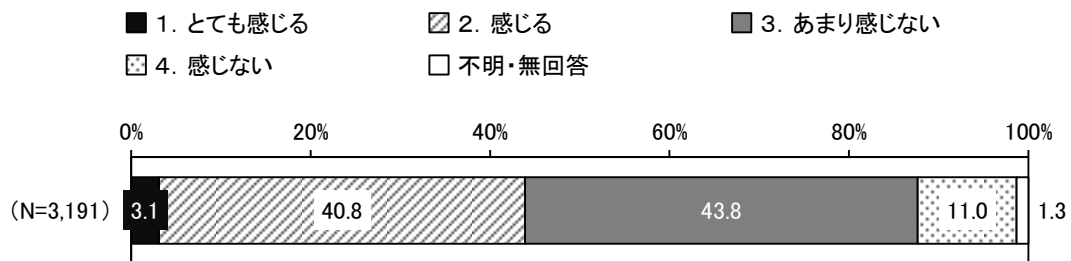
《問 45×問 48 最も重要だと考えている価値観別》

「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「友人など家族以外の人との交流」「自分のために使う時間」「特にない」では「感じる」、それ以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



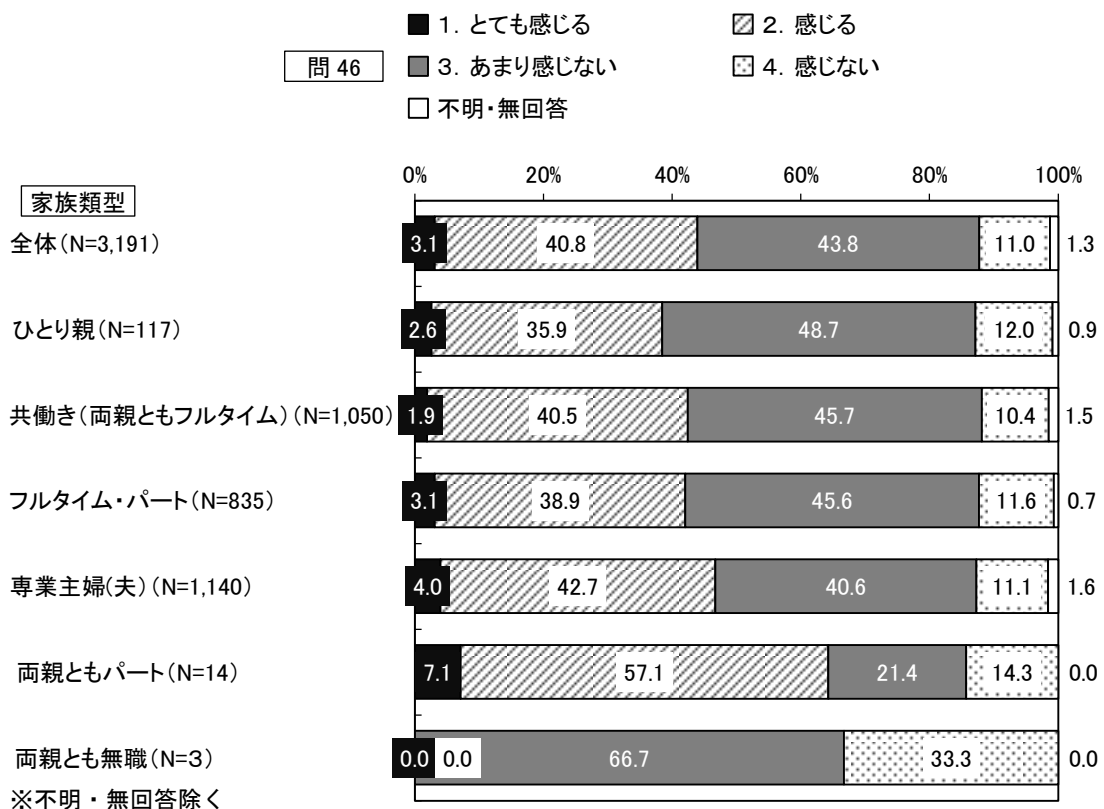
問 46 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(〇は1つ)

「感じる(「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計)」が43.9%, 「感じない(「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計)」が54.8%となっています。



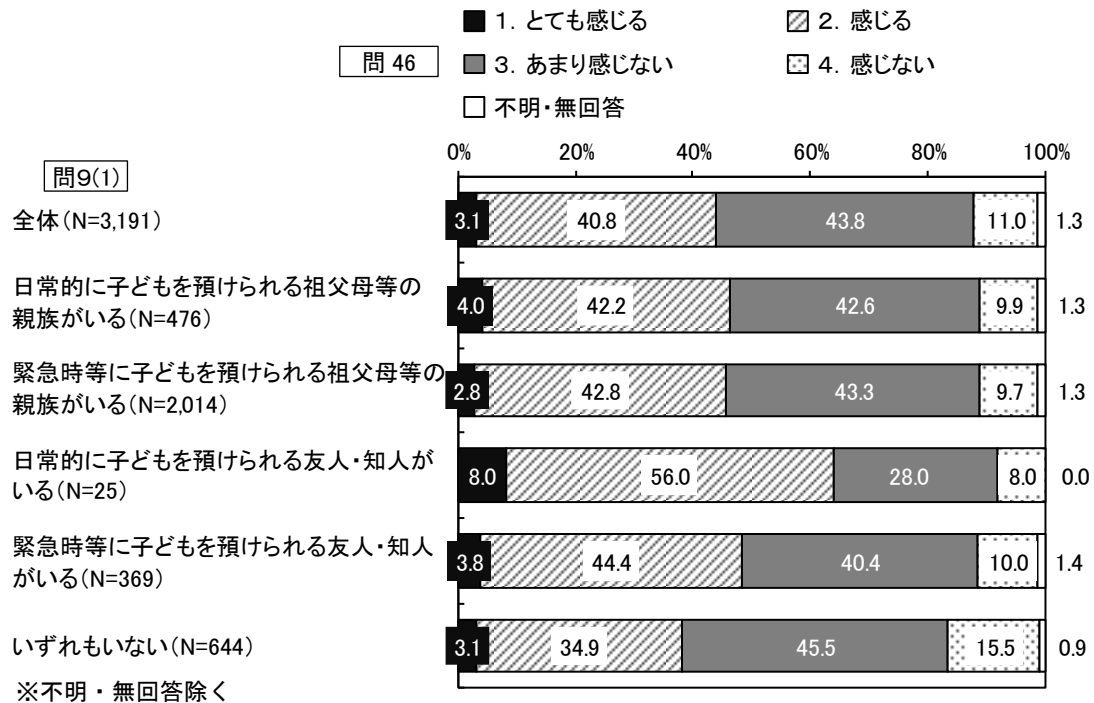
《問 46×家族類型別》

「専業主婦(夫)」「両親ともパート」以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



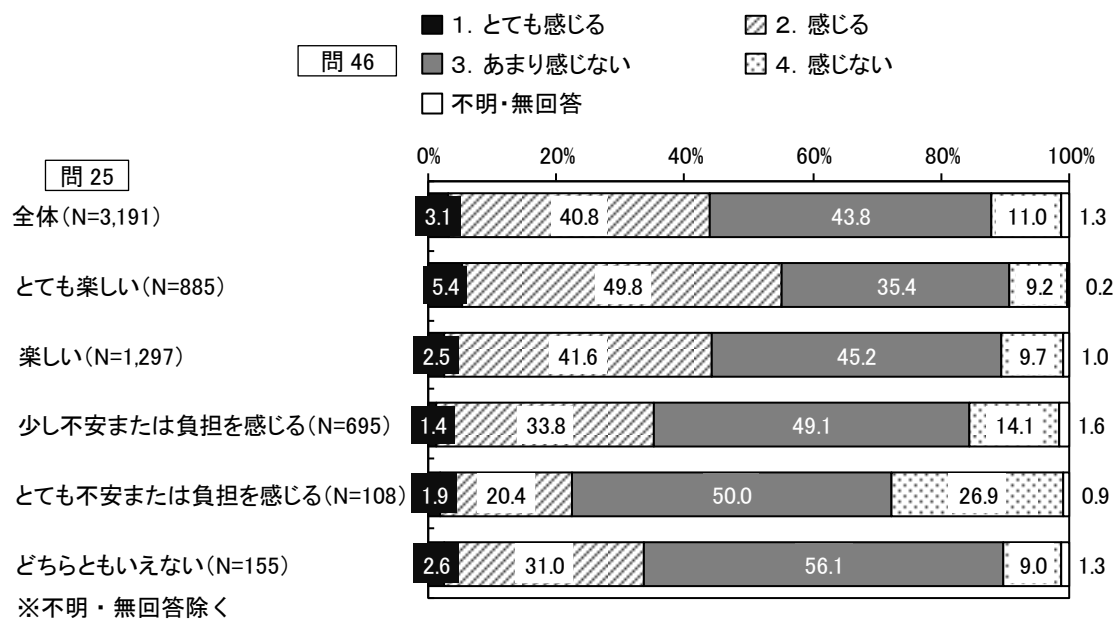
《問 46×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では「感じる」の割合が全体よりも特に高くなっています。



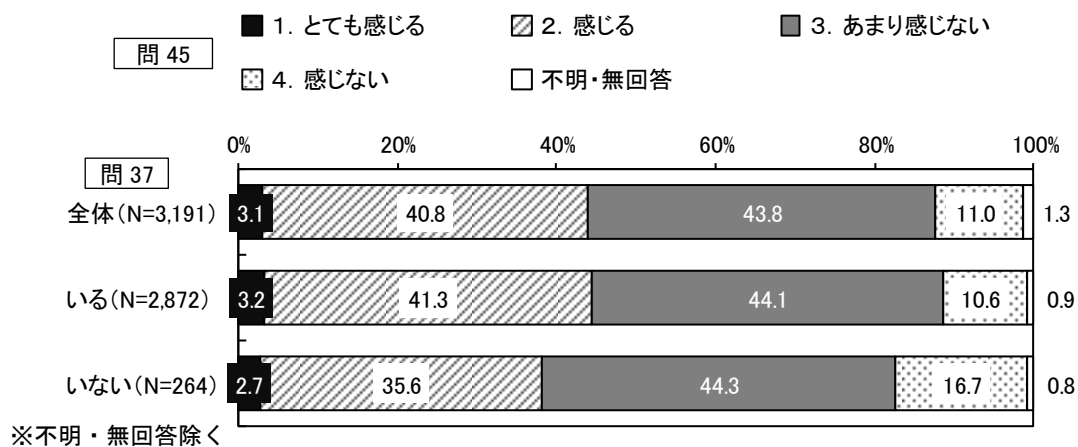
《問 46×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では「感じる」, 「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



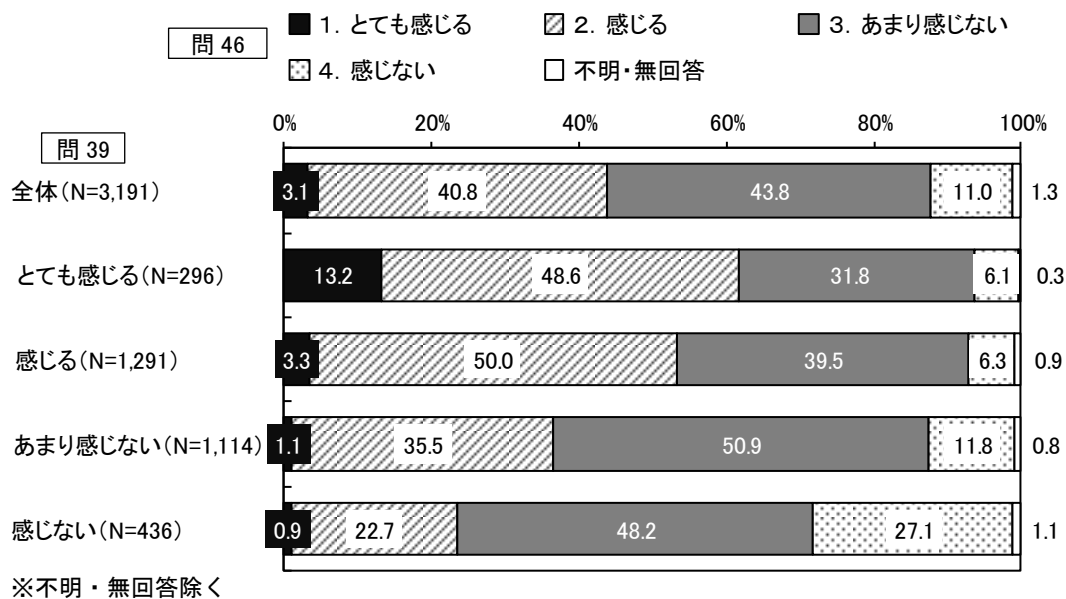
《問 46×問 37 子育て仲間の有無別》

「いる」では「感じる」, 「いない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



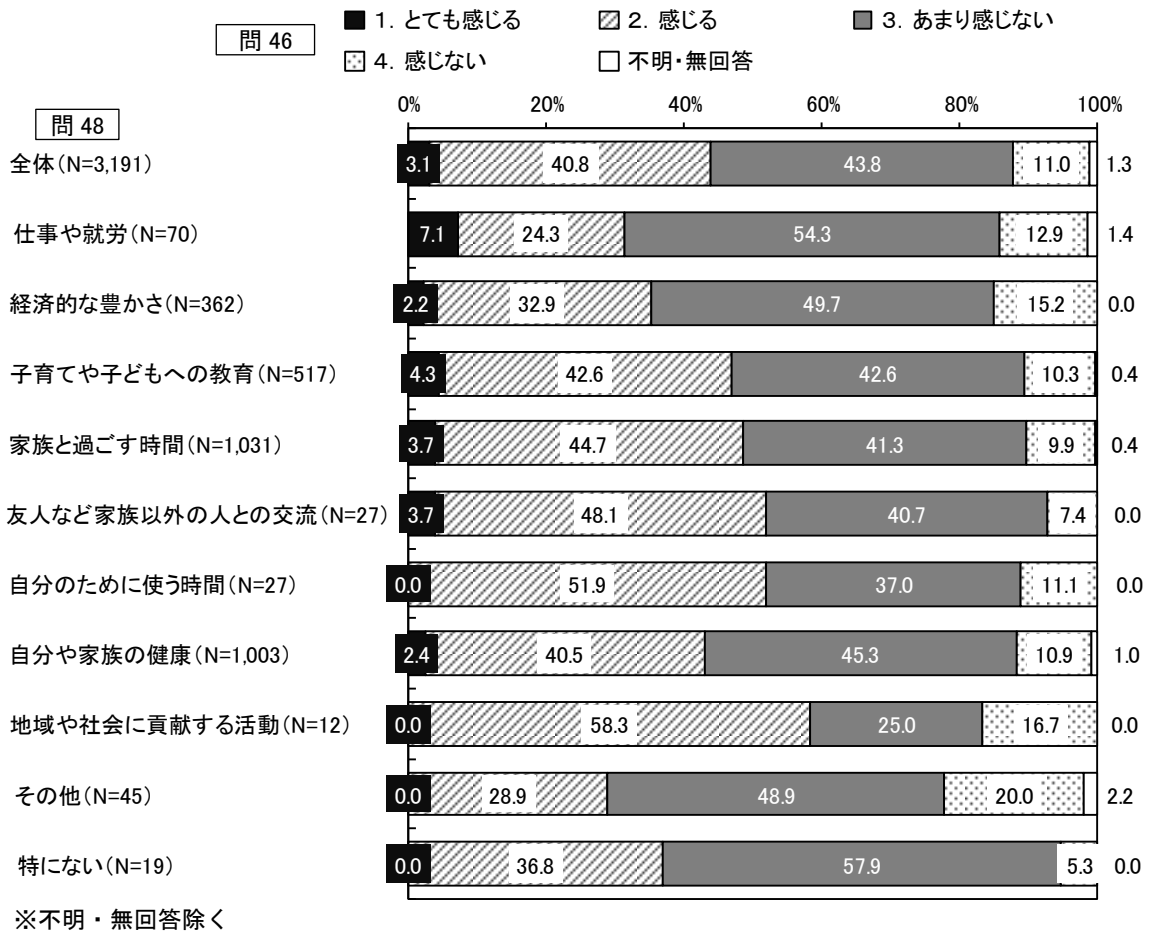
《問 46×問 39 自身の子育てが, 地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが, 地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では「感じる」の割合が, 「あまり感じない」「感じない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



《問 46×問 48 最も重要だと考えている価値観別》

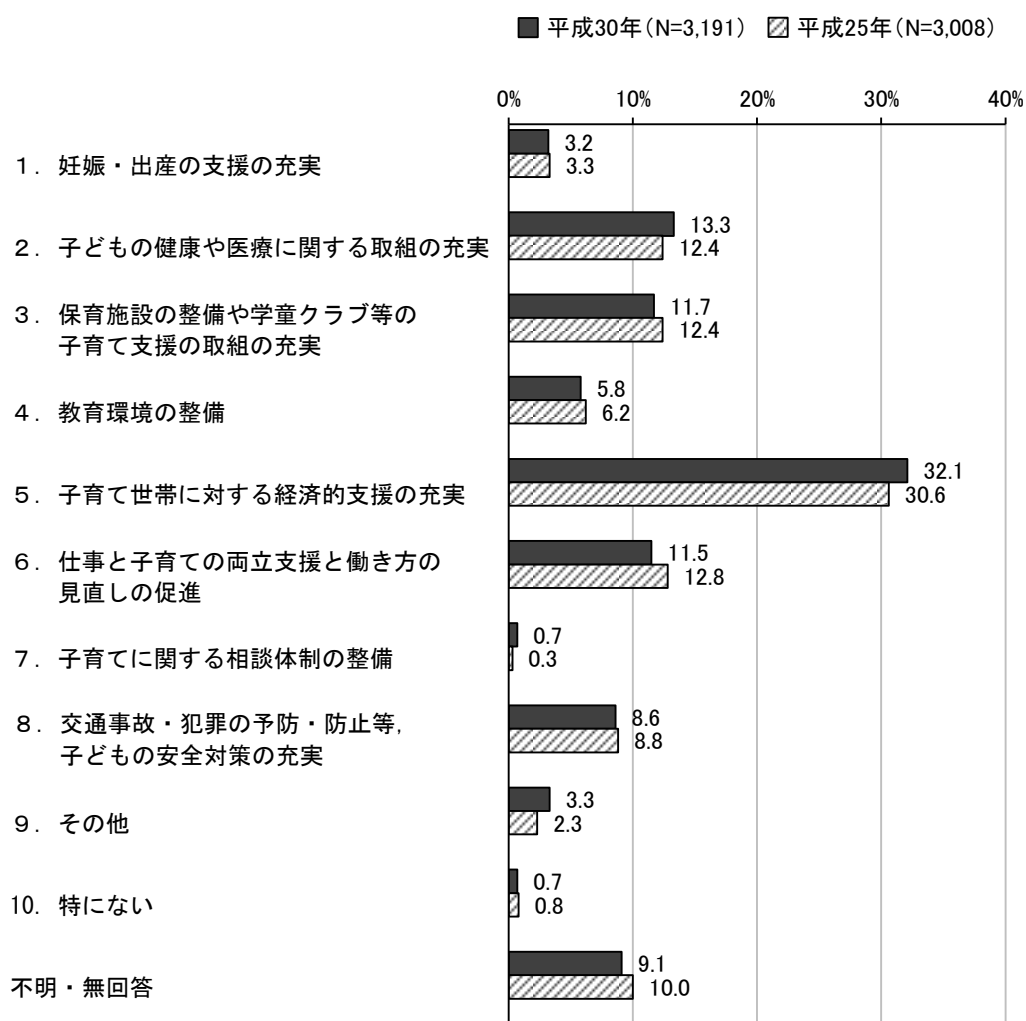
「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「友人など家族以外の人との交流」「自分のために使う時間」「地域や社会に貢献する活動」では「感じる」、それ以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



問 47 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(〇は1つ)

「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」が32.1%と最も高く、次いで「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が13.3%、「3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」が11.7%、「6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」が11.5%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 47×問 1 子どもの年齢別》

すべての区分で「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高く、次いで「0歳」では「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」, 「1歳」では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」, 「2歳」では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」, 3～5歳では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」となっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠・出産 の支援の充 実	子どもの健 康や医療に 関する取組 の充実	保育施設の 整備や学童 クラブ等の 子育て支援 の取組の充 実	教育環境の 整備	子育て世帯 に対する経 済的支援の 充実	仕事と子育 ての両立支 援と働き方 の見直しの 促進
全 体		3,191 100.0	103 3.2	423 13.3	373 11.7	186 5.8	1,025 32.1	366 11.5
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	30 6.9	47 10.8	62 14.3	17 3.9	134 30.9	64 14.7
	1歳	516 100.0	20 3.9	64 12.4	65 12.6	25 4.8	184 35.7	60 11.6
	2歳	519 100.0	16 3.1	51 9.8	71 13.7	18 3.5	175 33.7	71 13.7
	3歳	479 100.0	15 3.1	72 15.0	38 7.9	33 6.9	162 33.8	44 9.2
	4歳	497 100.0	7 1.4	69 13.9	66 13.3	33 6.6	156 31.4	46 9.3
	5歳	694 100.0	14 2.0	114 16.4	66 9.5	59 8.5	200 28.8	75 10.8
	上段:件数 下段:%		合計	子育てに関 する相談体 制の整備	交通事故・ 犯罪の予 防・防止等, 子どもの安 全対策の充 実	その他	特にない	不明・ 無回答
全 体		3,191 100.0	23 0.7	274 8.6	104 3.3	23 0.7	291 9.1	
子 ど も の 年 齢 別	0歳	434 100.0	4 0.9	32 7.4	12 2.8	3 0.7	29 6.7	
	1歳	516 100.0	1 0.2	39 7.6	16 3.1	3 0.6	39 7.6	
	2歳	519 100.0	4 0.8	44 8.5	16 3.1	3 0.6	50 9.6	
	3歳	479 100.0	2 0.4	46 9.6	15 3.1	2 0.4	50 10.4	
	4歳	497 100.0	4 0.8	49 9.9	19 3.8	3 0.6	45 9.1	
	5歳	694 100.0	8 1.2	55 7.9	26 3.7	9 1.3	68 9.8	

※不明・無回答除く

《問 47×家族類型別》

すべての区分で「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高く、次いで「ひとり親」「共働き（両親ともフルタイム）」では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」,「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」となっています。

上段:件数 下段:%		合計	妊娠・出産 の支援の充 実	子どもの健 康や医療に 関する取組 の充実	保育施設の 整備や学童 クラブ等の 子育て支援 の取組の充 実	教育環境の 整備	子育て世帯 に対する経 済的支援の 充実	仕事と子育 ての両立支 援と働き方 の見直しの 促進
全 体		3,191 100.0	103 3.2	423 13.3	373 11.7	186 5.8	1,025 32.1	366 11.5
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	4 3.4	3 2.6	21 17.9	6 5.1	44 37.6	14 12.0
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	33 3.1	127 12.1	173 16.5	62 5.9	284 27.0	167 15.9
	フルタイム・パート	835 100.0	20 2.4	122 14.6	84 10.1	41 4.9	271 32.5	97 11.6
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	44 3.9	168 14.7	87 7.6	74 6.5	407 35.7	84 7.4
	両親ともパート	14 100.0	0 0.0	2 14.3	2 14.3	0 0.0	6 42.9	2 14.3
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0

上段:件数 下段:%		合計	子育てに関 する相談体 制の整備	交通事故・ 犯罪の予 防・防止等, 子どもの安 全対策の充 実	その他	特にない	不明・ 無回答
全 体		3,191 100.0	23 0.7	274 8.6	104 3.3	23 0.7	291 9.1
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	0 0.0	7 6.0	7 6.0	1 0.9	10 8.5
	共働き(両親とも フルタイム)	1,050 100.0	1 0.1	70 6.7	31 3.0	4 0.4	98 9.3
	フルタイム・パート	835 100.0	7 0.8	79 9.5	24 2.9	8 1.0	82 9.8
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	15 1.3	114 10.0	40 3.5	10 0.9	97 8.5
	両親ともパート	14 100.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 47×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

「1,001万円以上」では「保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実」、それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠・出産 の支援の充 実	子どもの健 康や医療に 関する取組 の充実	保育施設の 整備や学童 クラブ等の 子育て支援 の取組の充 実	教育環境の 整備	子育て世帯 に対する経 済的支援の 充実	仕事と子育て の両立支 援と働き方 の見直しの 促進	
全 体	3,191 100.0	103 3.2	423 13.3	373 11.7	186 5.8	1,025 32.1	366 11.5	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0～100万円	135 100.0	8 5.9	12 8.9	10 7.4	10 7.4	55 40.7	9 6.7
	101万～200万円	113 100.0	6 5.3	7 6.2	12 10.6	4 3.5	37 32.7	16 14.2
	201万～300万円	354 100.0	17 4.8	37 10.5	25 7.1	14 4.0	153 43.2	36 10.2
	301万～400万円	582 100.0	16 2.7	76 13.1	60 10.3	28 4.8	212 36.4	62 10.7
	401万～500万円	617 100.0	23 3.7	92 14.9	69 11.2	36 5.8	210 34.0	63 10.2
	501万～600万円	450 100.0	10 2.2	65 14.4	55 12.2	23 5.1	142 31.6	59 13.1
	601万～800万円	435 100.0	10 2.3	77 17.7	54 12.4	34 7.8	115 26.4	53 12.2
	801万～1,000万円	189 100.0	4 2.1	27 14.3	33 17.5	12 6.3	36 19.0	31 16.4
	1,001万円以上	140 100.0	6 4.3	15 10.7	39 27.9	12 8.6	13 9.3	16 11.4

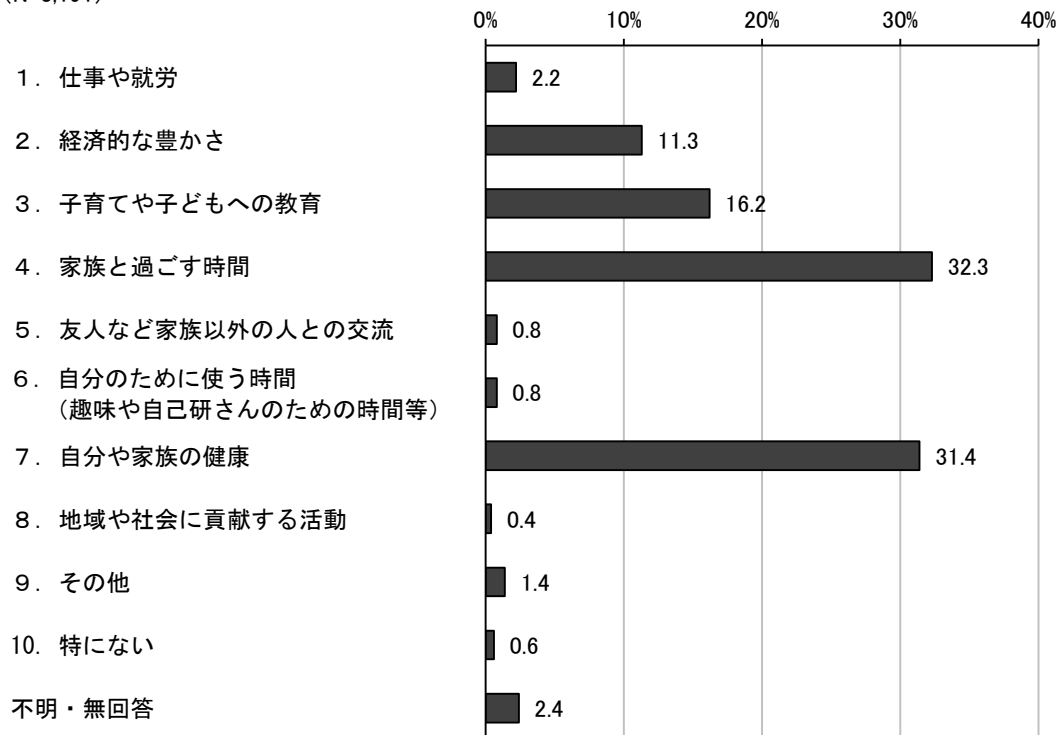
上段:件数 下段:%	合計	子育てに関 する相談体 制の整備	交通事故・ 犯罪の予 防・防止等, 子どもの安 全対策の充 実	その他	特にない	不明・ 無回答	
全 体	3,191 100.0	23 0.7	274 8.6	104 3.3	23 0.7	291 9.1	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0～100万円	135 100.0	1 0.7	11 8.1	7 5.2	1 0.7	11 8.1
	101万～200万円	113 100.0	0 0.0	6 5.3	4 3.5	1 0.9	20 17.7
	201万～300万円	354 100.0	2 0.6	26 7.3	5 1.4	7 2.0	32 9.0
	301万～400万円	582 100.0	3 0.5	49 8.4	18 3.1	0 0.0	58 10.0
	401万～500万円	617 100.0	9 1.5	42 6.8	18 2.9	2 0.3	53 8.6
	501万～600万円	450 100.0	3 0.7	41 9.1	11 2.4	4 0.9	37 8.2
	601万～800万円	435 100.0	4 0.9	38 8.7	19 4.4	4 0.9	27 6.2
	801万～1,000万円	189 100.0	1 0.5	24 12.7	11 5.8	0 0.0	10 5.3
	1,001万円以上	140 100.0	0 0.0	19 13.6	8 5.7	1 0.7	11 7.9

※不明・無回答除く

問 48 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（〇は1つ）

「4. 家族と過ごす時間」が 32.3%と最も高く、次いで「7. 自分や家族の健康」が 31.4%、「3. 子育てや子どもへの教育」が 16.2%となっています。

(N=3,191)



《問 48×家族類型別》

「ひとり親」「共働き(両親ともフルタイム)」「フルタイム・パート」では「家族と過ごす時間」,
「専業主婦(夫)」「両親ともパート」では「自分や家族の健康」,「両親とも無職」では「経済的な
豊かさ」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	仕事や就労	経済的な 豊かさ	子育てや 子どもへの 教育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)
全 体		3,191 100.0	70 2.2	362 11.3	517 16.2	1,031 32.3	27 0.8	27 0.8
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	6 5.1	26 22.2	21 17.9	29 24.8	1 0.9	2 1.7
	共働き(両親ともフル タイム)	1,050 100.0	34 3.2	90 8.6	153 14.6	384 36.6	4 0.4	8 0.8
	フルタイム・パート	835 100.0	20 2.4	112 13.4	132 15.8	261 31.3	10 1.2	8 1.0
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	10 0.9	125 11.0	205 18.0	343 30.1	12 1.1	8 0.7
	両親ともパート	14 100.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1
	両親とも無職	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:件数 下段:%		合計	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答	
全 体		3,191 100.0	1,003 31.4	12 0.4	45 1.4	19 0.6	78 2.4	
家 族 類 型 別	ひとり親	117 100.0	25 21.4	0 0.0	3 2.6	2 1.7	2 1.7	
	共働き(両親ともフル タイム)	1,050 100.0	326 31.0	6 0.6	18 1.7	4 0.4	23 2.2	
	フルタイム・パート	835 100.0	250 29.9	2 0.2	14 1.7	4 0.5	22 2.6	
	専業主婦(夫)	1,140 100.0	387 33.9	4 0.4	8 0.7	8 0.7	30 2.6	
	両親ともパート	14 100.0	4 28.6	0 0.0	2 14.3	1 7.1	0 0.0	
	両親とも無職	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

※不明・無回答除く

《問 48×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

所得にかかわらず「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」の割合が高くなっています。「1,001万円以上」では「自分や家族の健康」に次いで「子育てや子どもへの教育」の割合が高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	仕事や就労	経済的な豊 かさ	子育てや子 どもへの教 育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)	
全 体	3,191 100.0	70 2.2	362 11.3	517 16.2	1,031 32.3	27 0.8	27 0.8	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0~100万円	135 100.0	2 1.5	26 19.3	20 14.8	39 28.9	1 0.7	3 2.2
	101万~200万円	113 100.0	8 7.1	20 17.7	14 12.4	26 23.0	1 0.9	2 1.8
	201万~300万円	354 100.0	7 2.0	53 15.0	41 11.6	109 30.8	2 0.6	5 1.4
	301万~400万円	582 100.0	17 2.9	75 12.9	91 15.6	198 34.0	8 1.4	3 0.5
	401万~500万円	617 100.0	10 1.6	70 11.3	99 16.0	209 33.9	7 1.1	4 0.6
	501万~600万円	450 100.0	9 2.0	39 8.7	77 17.1	148 32.9	0 0.0	2 0.4
	601万~800万円	435 100.0	6 1.4	37 8.5	68 15.6	158 36.3	4 0.9	2 0.5
	801万~1,000万円	189 100.0	5 2.6	15 7.9	41 21.7	55 29.1	1 0.5	2 1.1
	1,001万円以上	140 100.0	3 2.1	4 2.9	40 28.6	35 25.0	0 0.0	3 2.1

上段:件数 下段:%	合計	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答	
全 体	3,191 100.0	1,003 31.4	12 0.4	45 1.4	19 0.6	78 2.4	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0~100万円	135 100.0	38 28.1	2 1.5	1 0.7	1 0.7	2 1.5
	101万~200万円	113 100.0	35 31.0	1 0.9	3 2.7	0 0.0	3 2.7
	201万~300万円	354 100.0	119 33.6	2 0.6	5 1.4	1 0.3	10 2.8
	301万~400万円	582 100.0	161 27.7	1 0.2	5 0.9	4 0.7	19 3.3
	401万~500万円	617 100.0	196 31.8	0 0.0	5 0.8	3 0.5	14 2.3
	501万~600万円	450 100.0	148 32.9	4 0.9	7 1.6	4 0.9	12 2.7
	601万~800万円	435 100.0	145 33.3	1 0.2	6 1.4	2 0.5	6 1.4
	801万~1,000万円	189 100.0	63 33.3	0 0.0	5 2.6	0 0.0	2 1.1
	1,001万円以上	140 100.0	45 32.1	1 0.7	5 3.6	3 2.1	1 0.7

※不明・無回答除く

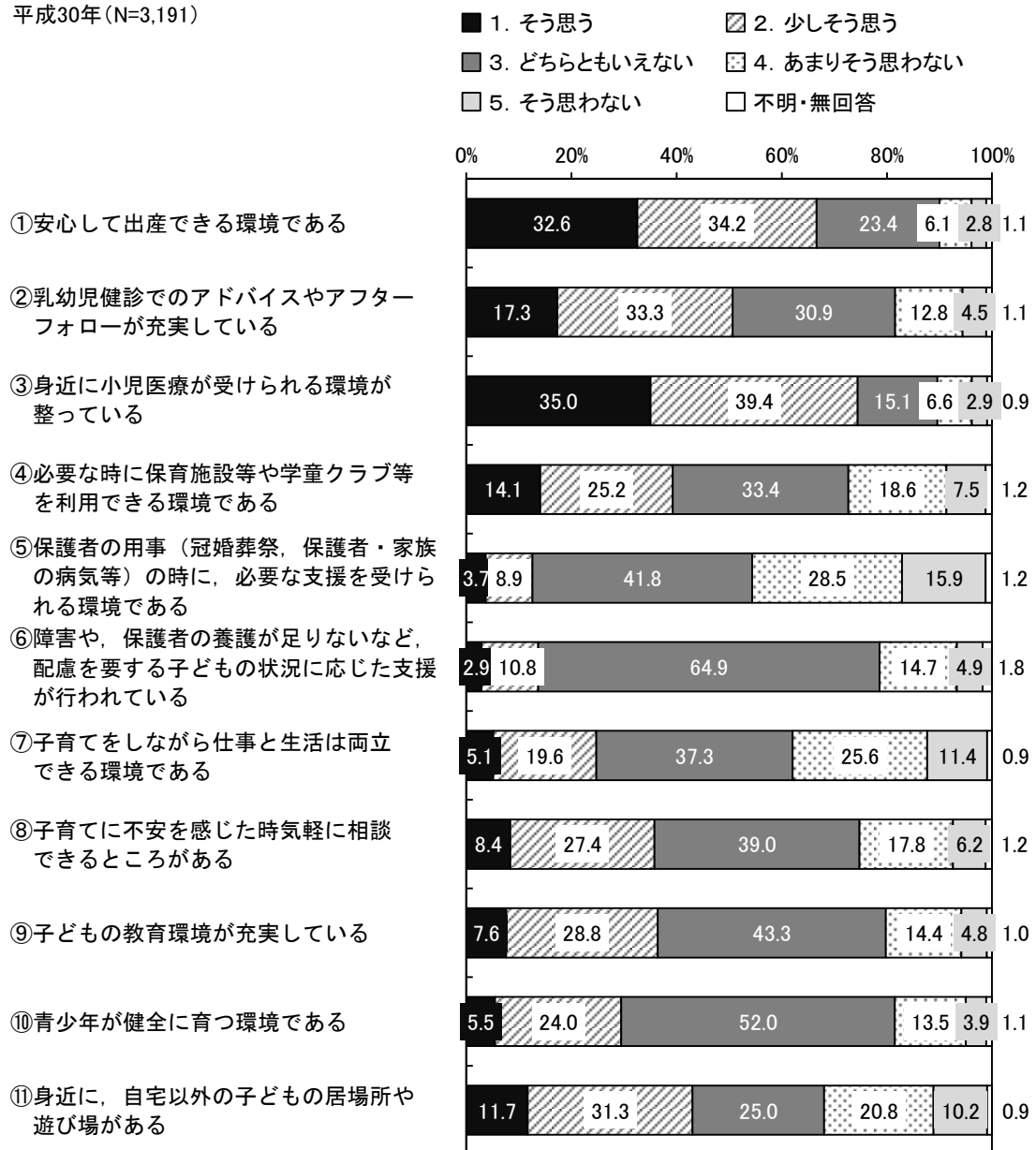
問 49 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。

(〇はそれぞれ1つずつ)

「そう思う(「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計)」は、[③身近に小児医療が受けられる環境が整っている]が74.4%と最も高く、次いで[①安心して出産できる環境である]が66.8%、[②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している]が50.6%となっています。

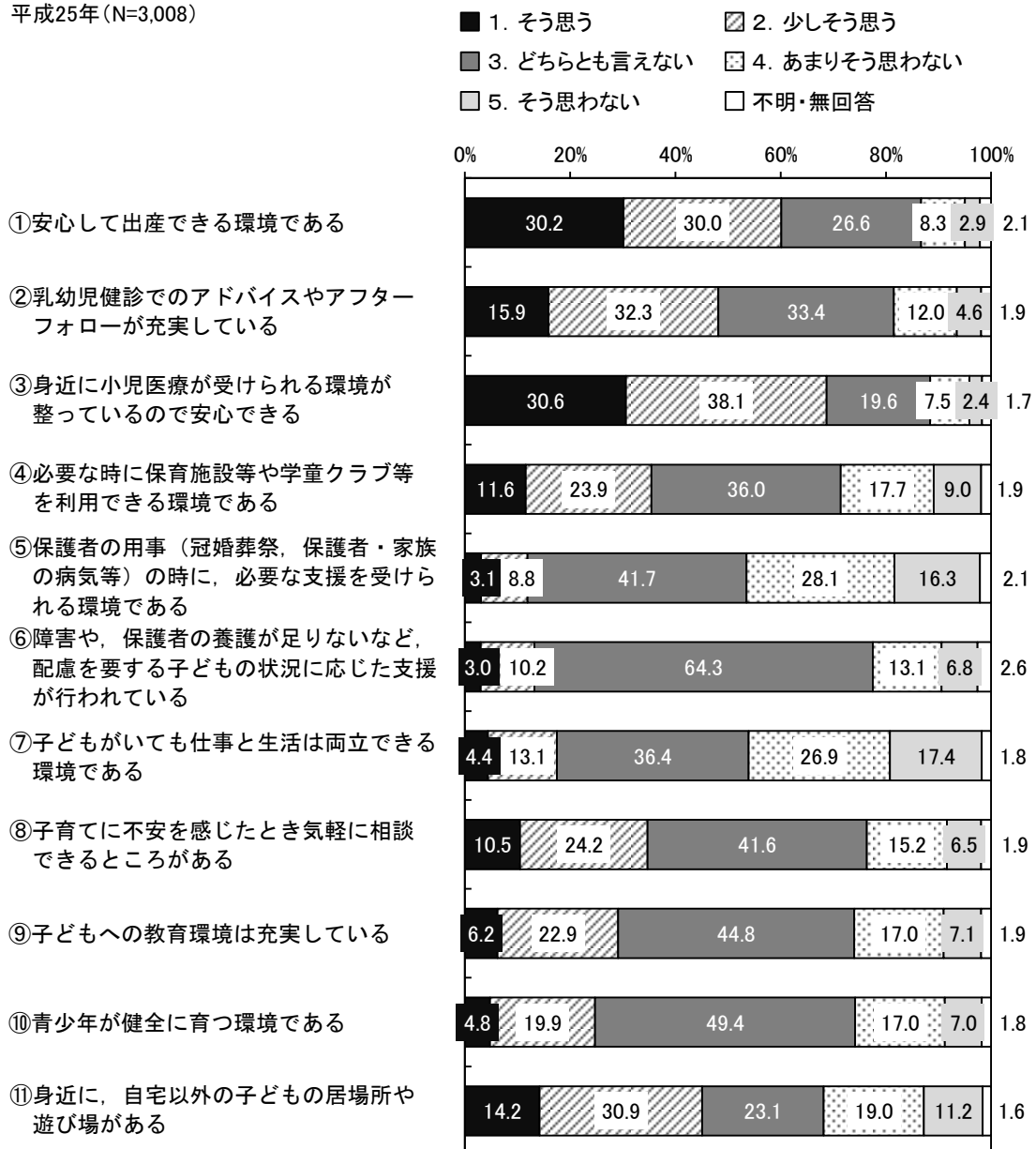
「そう思わない(「4. あまりそう思わない」と「5. そう思わない」の合計)」は、[⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である]が44.4%と最も高く、次いで[⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である]が37.0%、[⑪身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある]が31.0%となっています。

平成30年(N=3,191)



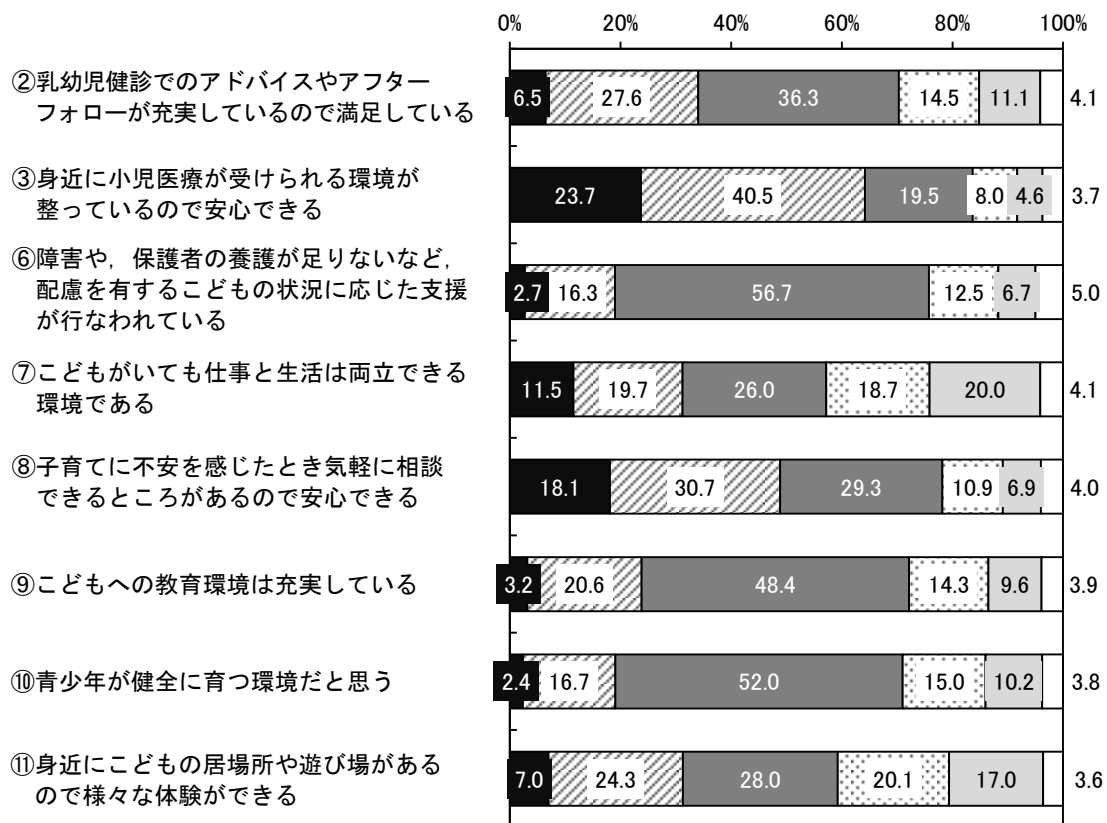
平成25年と比較すると、「そう思う（「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計）」では、
 [⑨子どもの教育環境が充実している]が7.3ポイント、[⑦子育てをしながら仕事と生活は両立
 できる環境である]が7.2ポイント高くなっています。

平成25年(N=3,008)



平成20年(N=2,742)

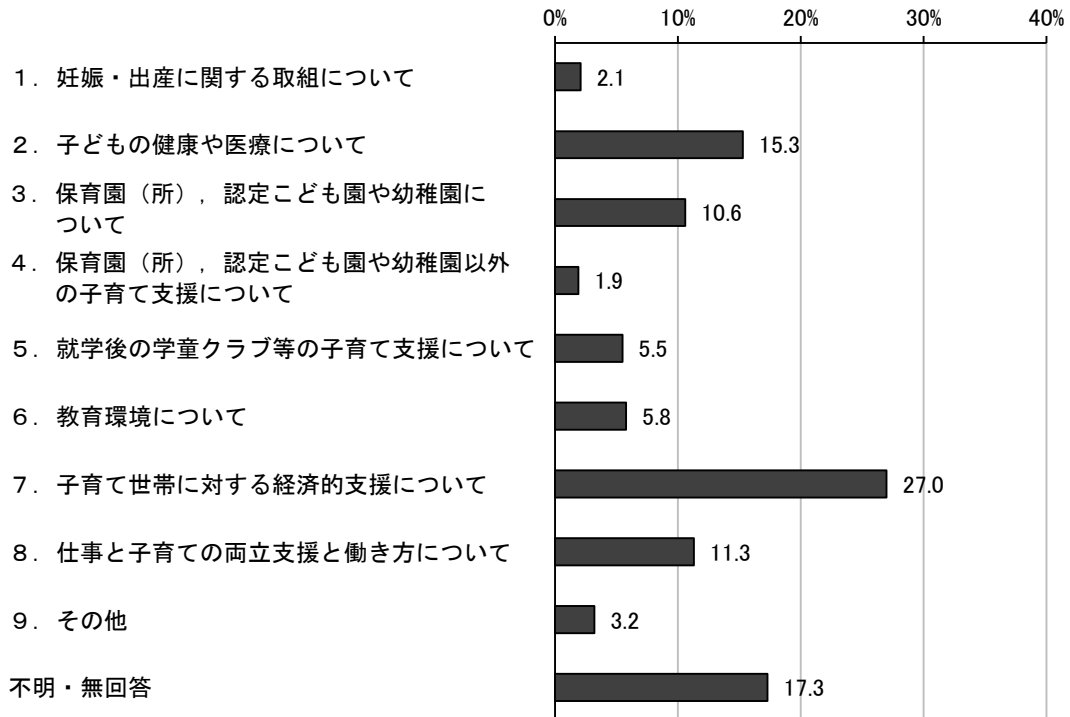
- 1. そう思う
- 3. どちらとも言えない
- 5. そう思わない
- ▨ 2. どちらかというと思う
- ▩ 4. どちらかというと思わない
- 不明・無回答



問 50 安心して子どもを生み，子どもを健やかに育てていくための行政の取組や，社会制度のあり方について，特に望むことやご意見がありましたら，ご自由にご記入ください。（〇は1つ）

「7. 子育て世帯に対する経済的支援について」が27.0%と最も高く，次いで「2. 子どもの健康や医療について」が15.3%，「8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について」が11.3%となっています。

(N=3,191)



項目	主な記述内容	回答数 (件)
1. 妊娠・出産に関する取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療に対する助成を拡充してほしい ・妊婦検診にかかる費用の負担を軽減してほしい ・妊娠中のバスやタクシー等の使用に対する補助があれば助かる 	32
2. 子どもの健康や医療について	<ul style="list-style-type: none"> ・月額3,000円を超える医療費の還付手続きが煩わしい ・他の自治体と比較して医療費の負担が大きすぎる ・お金の心配なく医療にかかる環境を整えてほしい（無償化、月額200円の対象年齢の拡大等） 	262
3. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が安心して働けるよう待遇の改善が必要である ・保育士の待遇改善は、保育の質の向上や保育士不足の解消につながる ・本当に必要としている人が保育園を利用できるようにしてほしい（点数制度の見直し、選考の際の公平性を確保） ・働くために保育園に預けたいのに、働いていないと保育園に入れないのはおかしい ・きょうだいは必ず同じ保育園に通えるようにしてほしい ・認定こども園を増やしてほしい ・保育園の質に差がありすぎる ・一時保育の実施園を増やし、利用しやすくしてほしい 	206
4. 保育園（所）、認定こども園や幼稚園以外の子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育の受け入れ枠の増加や利用時間の延長を検討してほしい ・緊急時に子どもを安心して預けられる場所を増やしてほしい ・身近なところに気軽に相談できる場がほしい 	31
5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前に早く情報がほしい ・小学校の敷地内に学童クラブを設置してほしい ・学童クラブの増設と活動内容の充実を図ってほしい ・預かり時間を延長してほしい 	98
6. 教育環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・学区により教育環境の差が大きい ・配慮、支援を必要とする子どもに対する教職員の理解を深め、サポート体制を充実させてほしい ・中学校の給食を全学校に導入してほしい 	80

7. 子育て世帯に対する経済的支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料, 給食費, 医療費, 教育費等の経済的負担を軽減してほしい ・ 所得による差をなくし, 平等な経済的支援を受けられるようにしてほしい ・ 3人以上子どもがいる世帯への経済的支援を充実させてほしい 	344
8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みなどの長期休暇中に安心して子どもを預けられる場所がほしい ・ 病児保育の定員を増やすなど, 事業を拡充してほしい ・ 短時間勤務や在宅勤務など, 多様で柔軟な働き方を選択できるような社会であってほしい ・ 出産・育児を機に離職した女性の再就職支援を行ってほしい ・ 社会全体で働き方に対する意識を変えていかなければならない ・ 制度を整えるだけでなく, 制度を利用しやすい職場の環境や雰囲気づくりも大切である 	181
9. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが安心して遊べる公園や室内の遊び場等を増やしてほしい ・ 歩道の整備や駅へのエレベーターの設置等, 子どもと外出しやすい環境を整えてほしい ・ アンケートの設問数が多く, わかりにくい, 時間がかかりすぎる ・ アンケートの提出期限が短すぎる ・ 返信用封筒が小さすぎる 	102

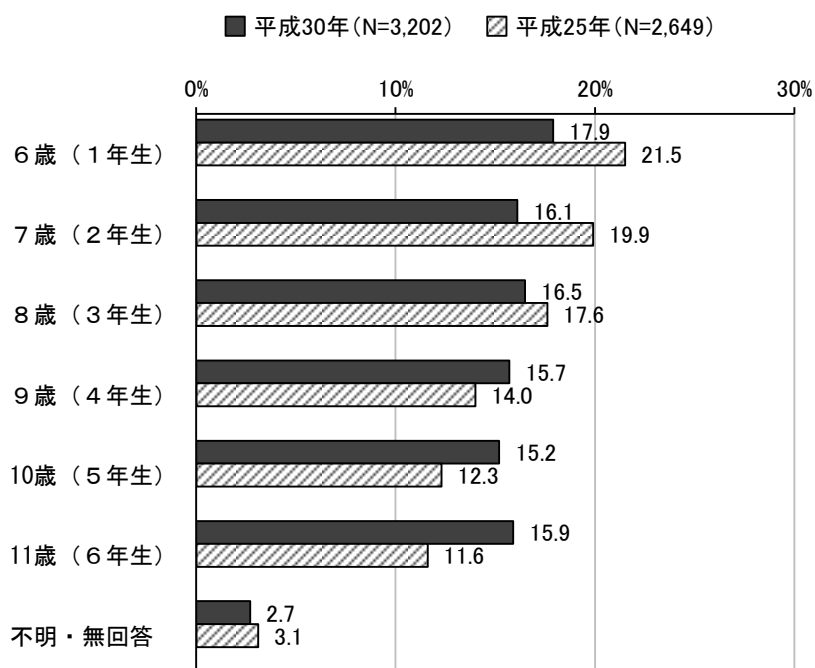
Ⅲ. 調査結果（小学生児童調査）

1 お子さまとご家族の状況について

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

「6歳（1年生）」が17.9%と最も高く、次いで「8歳（3年生）」が16.5%、「7歳（2年生）」が16.1%となっています。

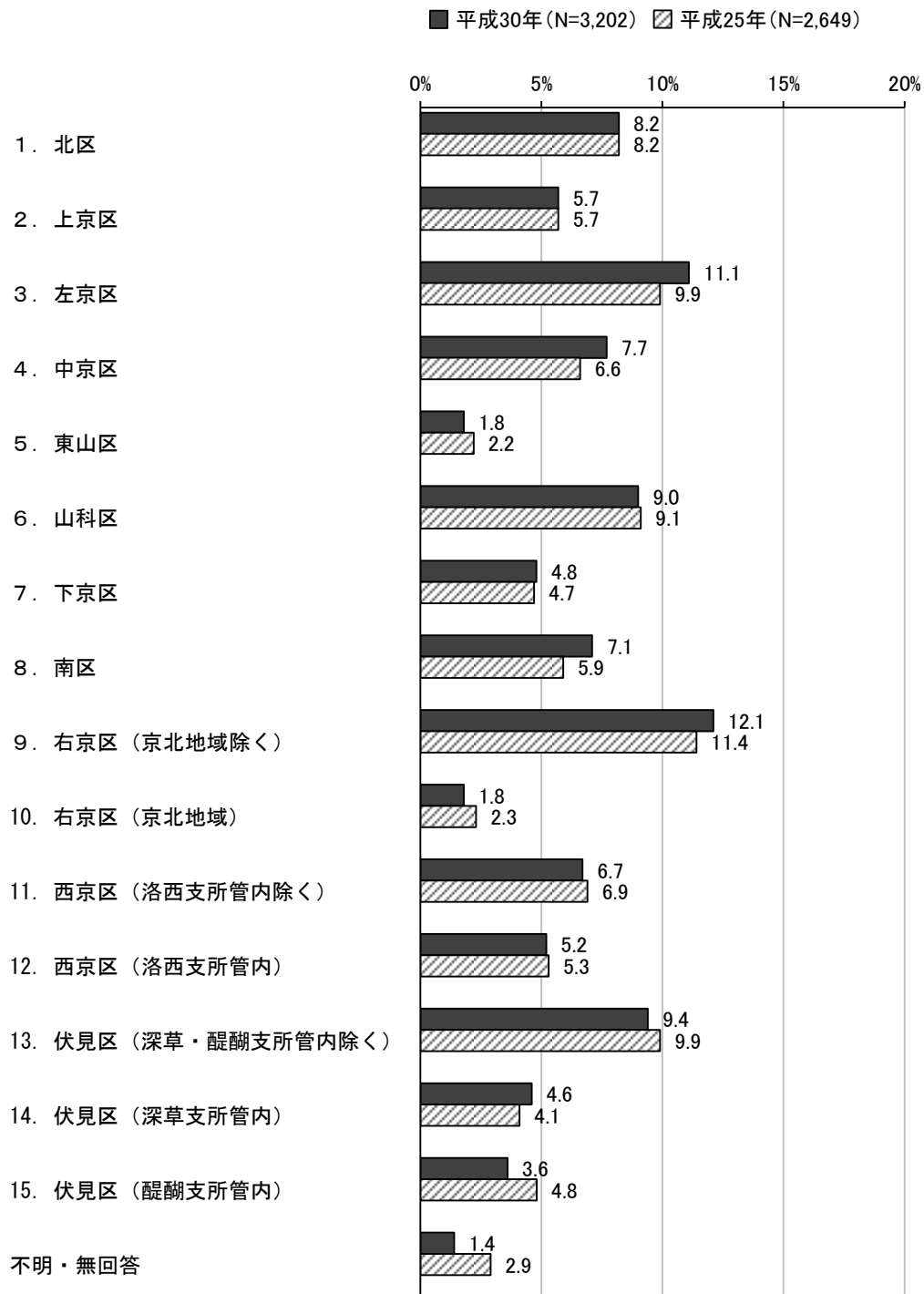
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問2 お住まいの区等はどちらですか。(〇は1つ)

「9. 右京区(京北地域を除く)」が12.1%と最も高く、次いで「3. 左京区」が11.1%、「13. 伏見区(深草・醍醐地区を除く)」が9.4%となっています。

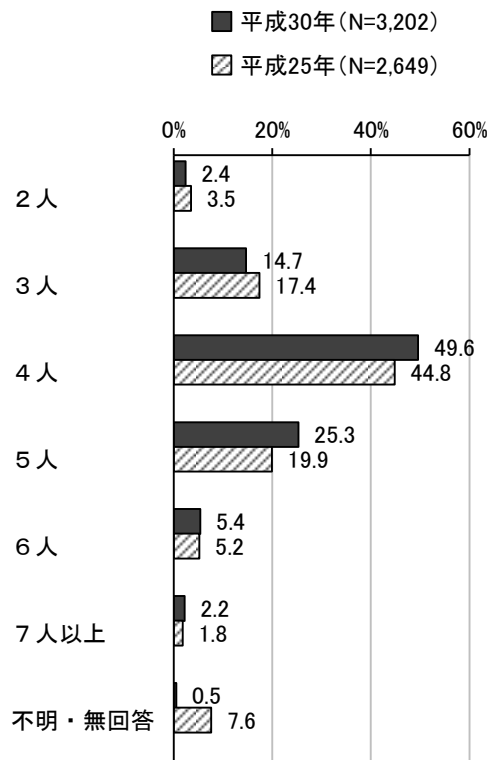
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問3 家族の人数（ご自身や宛名のお子さまも含む。）をご記入ください。

「4人」が49.6%と最も高く、次いで「5人」が25.3%、「3人」が14.7%となっています。
平成25年と比較すると、「5人」が5.4ポイント高くなっています。

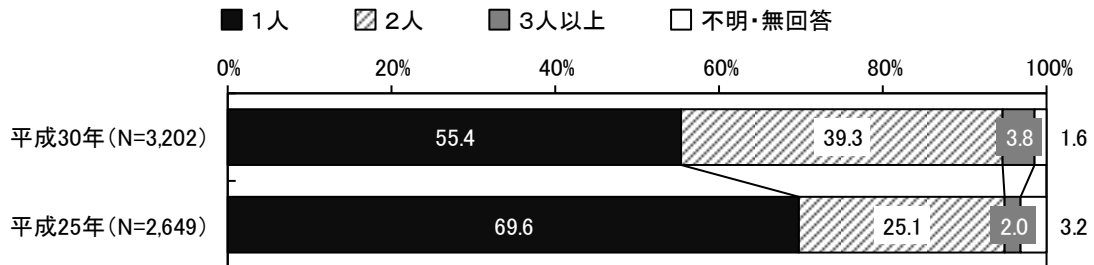
◆家族の人数



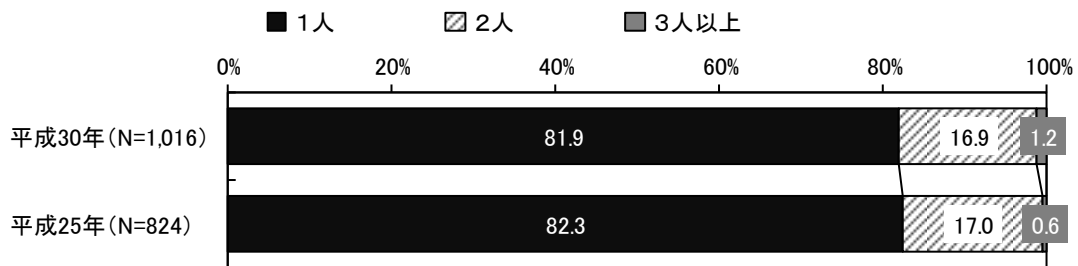
子どもの数は、小学生の子ども、小学校入学前の子ども、中学生以上の子どもいずれも「1人」の割合が最も高くなっています。

平成25年と比較すると、小学生の子どもは「1人」が14.2ポイント低く、「2人」が14.2ポイント高くなっています。

◆小学生の子ども数

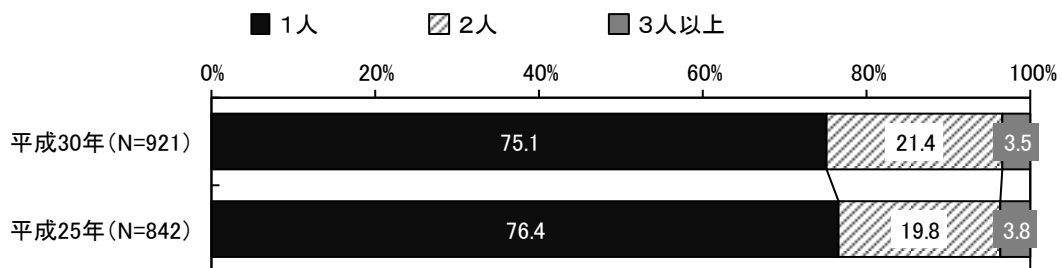


◆小学校入学前の子ども数



※不明・無回答除く

◆中学生以上の子ども数

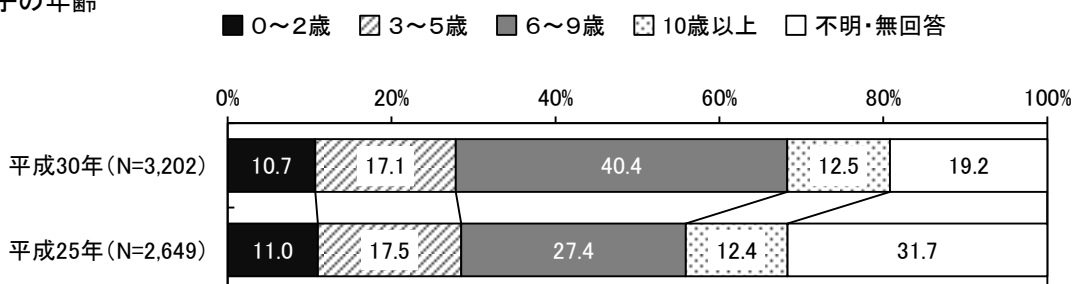


※不明・無回答除く

末子の年齢は、「6～9歳」が40.4%と最も高く、次いで「3～5歳」が17.1%、「10歳以上」が12.5%となっています。

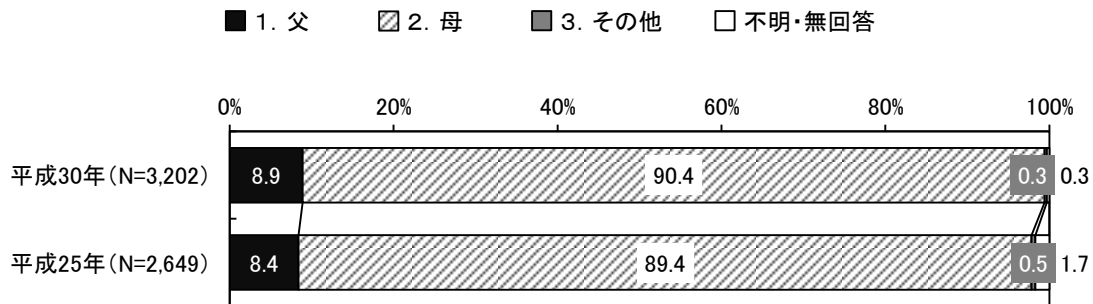
平成25年と比較すると、「6～9歳」が13.0ポイント高くなっています。

◆末子の年齢



問4 この調査票に記入されている方はどなたですか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。

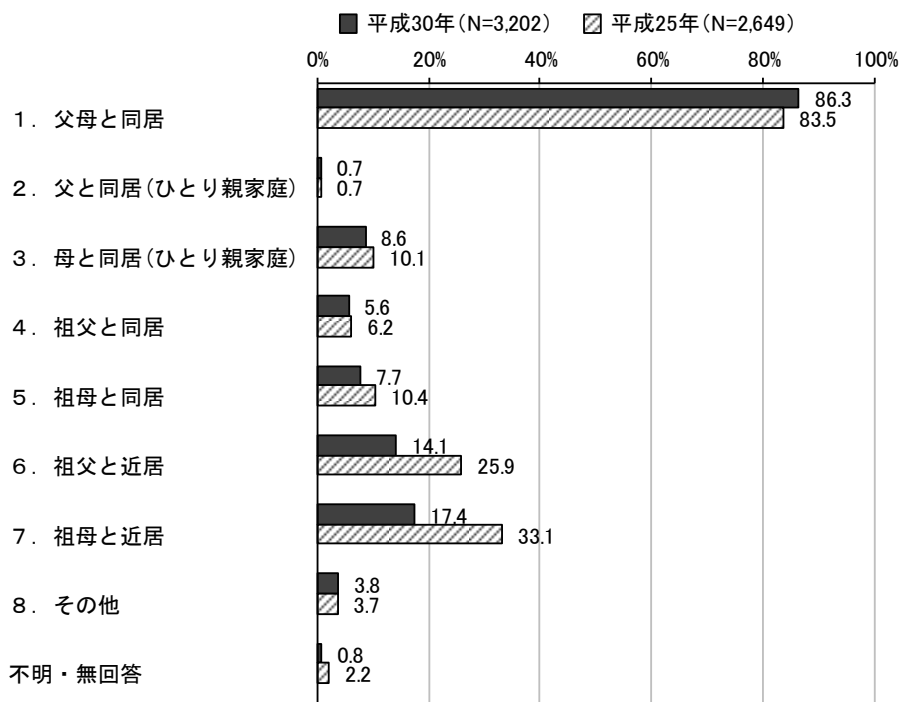
「2. 母」が90.4%と最も高く、次いで「1. 父」が8.9%となっています。
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（〇はいくつでも）※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

「1. 父母と同居」が86.3%と最も高く、次いで「7. 祖母と近居」が17.4%、「6. 祖父と近居」が14.1%となっています。

平成25年と比較すると、「6. 祖父と近居」が11.8ポイント、「7. 祖母と近居」が15.7ポイント低くなっています。

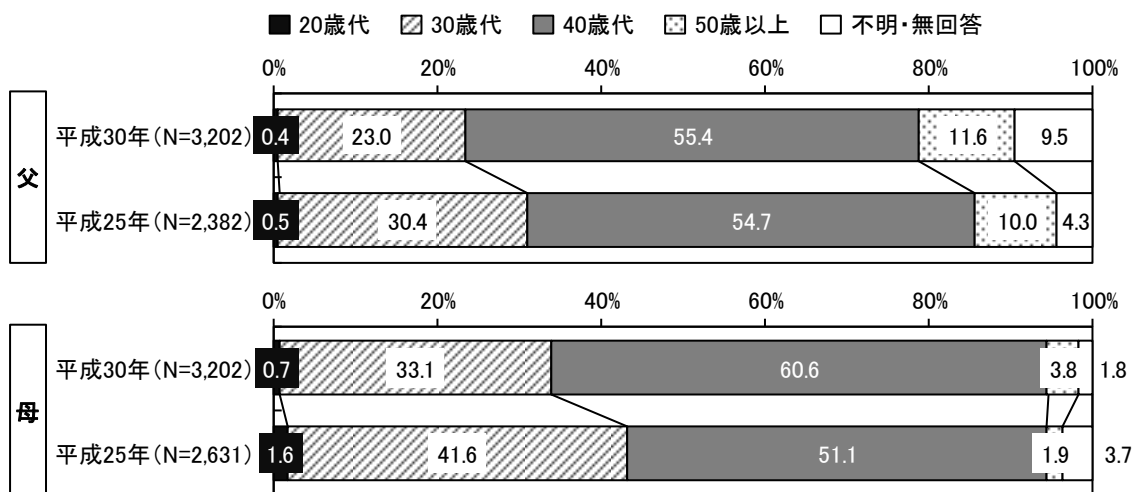


問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。(平成30年9月1日現在)

父親では、「40歳代」が55.4%と最も高く、次いで「30歳代」が23.0%、「50歳以上」が11.6%となっています。

母親では、「40歳代」が60.6%と最も高く、次いで「30歳代」が33.1%、「50歳以上」が3.8%となっています。

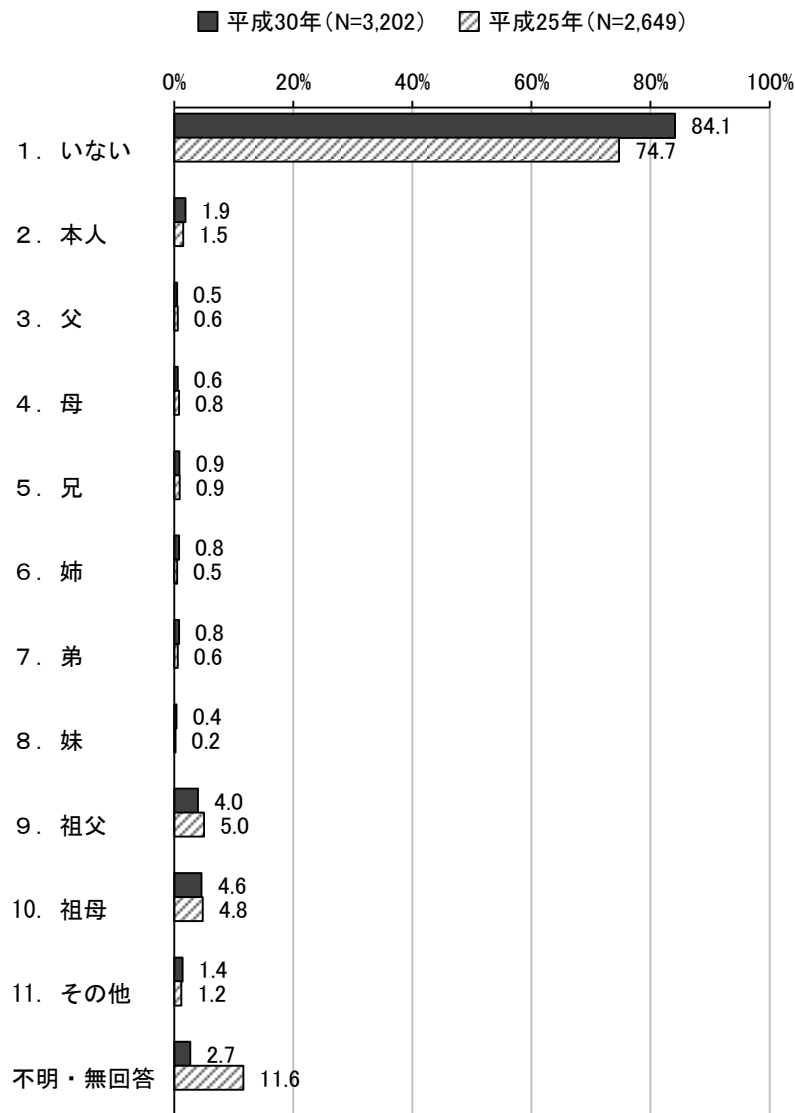
平成25年と比較すると、父親で「30歳代」が7.4ポイント低く、母親で「40歳代」が9.5ポイント高くなっています。



問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（〇はいくつでも）

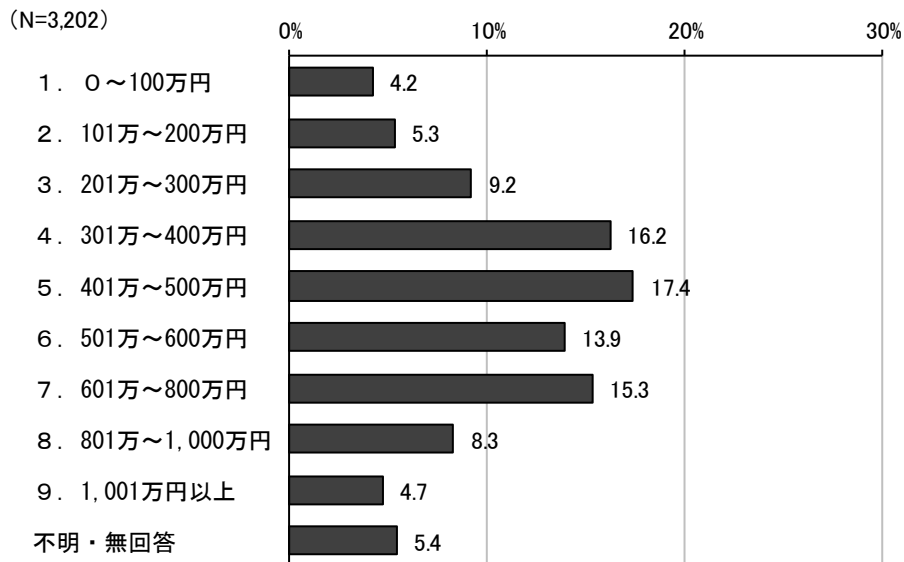
「1. いない」が84.1%と最も高く、次いで「10. 祖母」が4.6%、「9. 祖父」が4.0%となっています。

平成25年と比較すると、「1. いない」が9.4ポイント高くなっています。



問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。（〇は1つ）

「5. 401万～500万円」が17.4%と最も高く、次いで「4. 301万～400万円」が16.2%、「7. 601万～800万円」が15.3%となっています。



《問7×家族類型別》

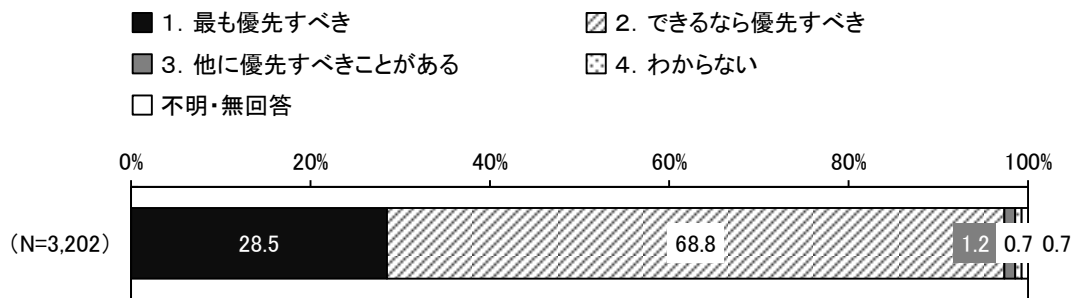
「ひとり親」では「101万～200万円」, 「共働き（両親ともフルタイム）」では「601万～800万円」, 「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「401万～500万円」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	0～100万円	101万～200万円	201万～300万円	301万～400万円	401万～500万円	501万～600万円	601万～800万円	801万～1,000万円	1,001万円以上	不明・無回答	
全体	3,202 100.0	134 4.2	169 5.3	296 9.2	519 16.2	557 17.4	445 13.9	490 15.3	267 8.3	152 4.7	173 5.4	
家族類型別	ひとり親	297 100.0	72 24.2	94 31.6	42 14.1	35 11.8	20 6.7	11 3.7	8 2.7	5 1.7	2 0.7	8 2.7
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	14 1.8	20 2.6	53 6.8	89 11.5	112 14.4	111 14.3	185 23.8	103 13.3	55 7.1	34 4.4
	フルタイム・パート	1,278 100.0	20 1.6	29 2.3	128 10.0	265 20.7	266 20.8	213 16.7	163 12.8	90 7.0	36 2.8	68 5.3
	専業主婦(夫)	770 100.0	18 2.3	15 1.9	63 8.2	120 15.6	147 19.1	104 13.5	126 16.4	65 8.4	55 7.1	57 7.4
	両親ともパート	11 100.0	1 9.1	4 36.4	2 18.2	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

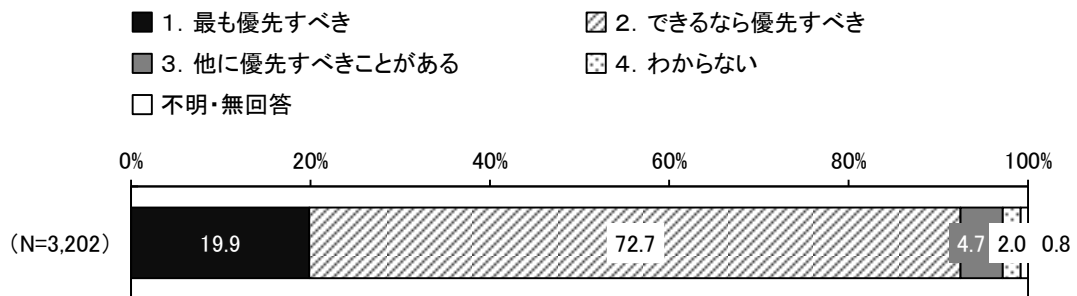
問8(1) 日々の生活の中で、子育てにける時間は優先すべきだと考えますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が68.8%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が28.5%、「3. 他に優先すべきことがある」が1.2%となっています。



問8(2) 日々の生活の中で、子育てにけるお金は優先すべきだと考えますか。(〇は1つ)

「2. できるなら優先すべき」が72.7%と最も高く、次いで「1. 最も優先すべき」が19.9%、「3. 他に優先すべきことがある」が4.7%となっています。



問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

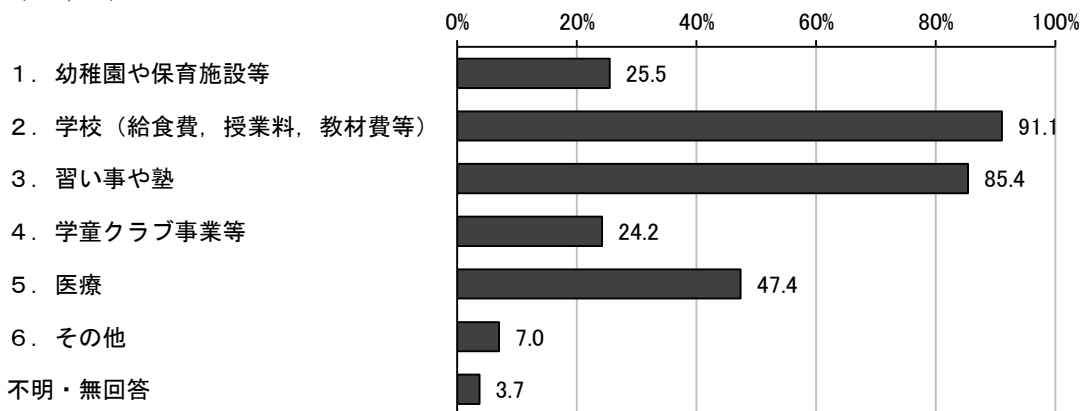
(〇はいくつでも)

また、おおよその金額(幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額)をご記入ください。

「2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)」が91.1%と最も高く、次いで「3. 習い事や塾」が85.4%, 「5. 医療」が47.4%となっています。

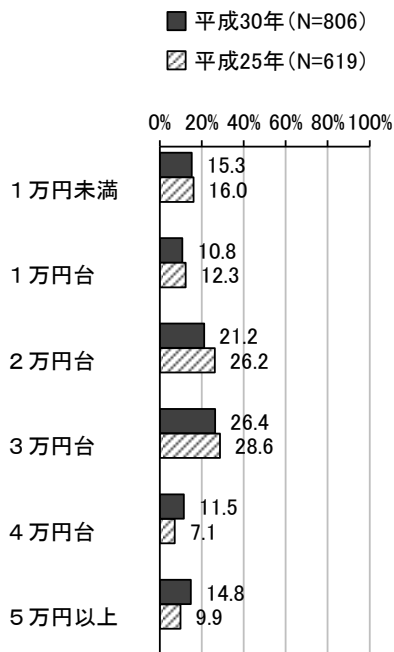
1か月あたりの費用については、「1. 幼稚園や保育施設等」では「3万円台」, 「2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)」, 「3. 習い事や塾」, 「4. 学童クラブ事業等」では「1万円台」, 「5. 医療」では「1万円未満」の割合が最も高くなっています。

(N=3,202)

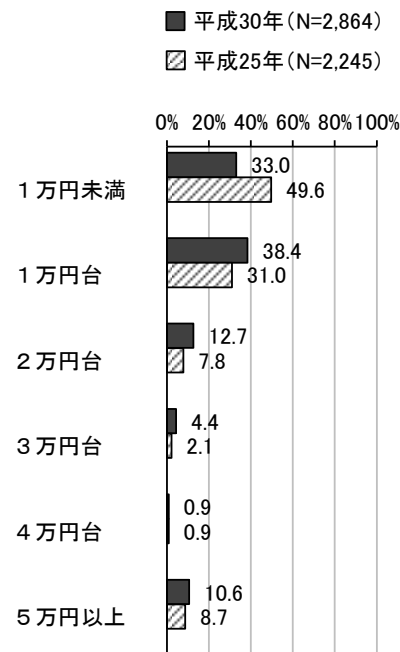


◆1か月あたりの費用

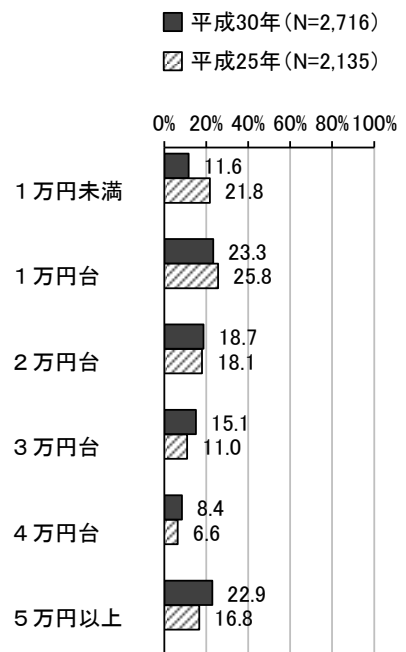
1. 幼稚園や保育施設等



2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

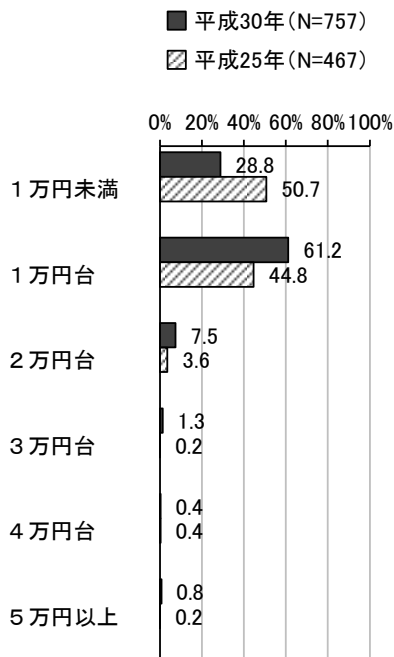


3. 習い事や塾

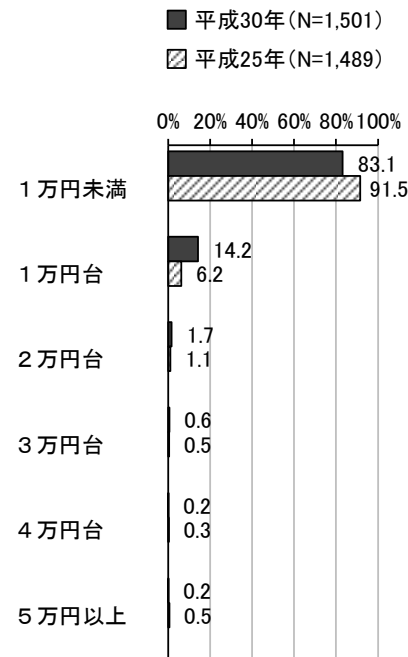


※不明・無回答除く

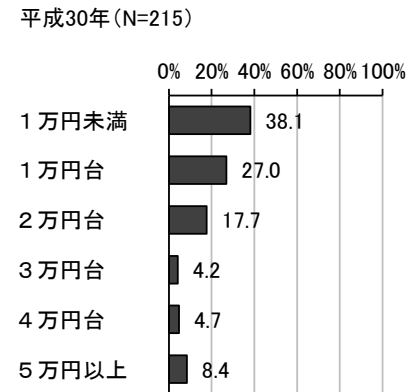
4. 学童クラブ事業等



5. 医療



6. その他



※不明・無回答除く

《問8(3)×問1子どもの年齢(学年)別》

7歳(2年生)以下では「1万円台」、8歳(3年生)以上では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾

上段:件数 下段:%		合計	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	314 9.8	633 19.8	509 15.9	411 12.8	228 7.1	621 19.4	486 15.2
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	70 12.2	144 25.1	86 15.0	70 12.2	23 4.0	61 10.6	119 20.8
	7歳(2年生)	516 100.0	52 10.1	130 25.2	88 17.1	49 9.5	40 7.8	85 16.5	72 14.0
	8歳(3年生)	529 100.0	71 13.4	96 18.1	88 16.6	63 11.9	43 8.1	100 18.9	68 12.9
	9歳(4年生)	503 100.0	40 8.0	97 19.3	75 14.9	79 15.7	39 7.8	107 21.3	66 13.1
	10歳(5年生)	488 100.0	38 7.8	74 15.2	72 14.8	71 14.5	39 8.0	123 25.2	71 14.5
	11歳(6年生)	508 100.0	38 7.5	76 15.0	83 16.3	75 14.8	40 7.9	128 25.2	68 13.4

※不明・無回答除く

《問8(3)×家族類型別》

「ひとり親」「フルタイム・パート」「専業主婦(夫)」では「1万円台」,「共働き(両親ともフルタイム)」では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾

上段:件数 下段:%		合計	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・ 無回答
全 体		3,202 100.0	314 9.8	633 19.8	509 15.9	411 12.8	228 7.1	621 19.4	486 15.2
家 族 類 型 別	ひとり親	297 100.0	41 13.8	65 21.9	49 16.5	26 8.8	14 4.7	23 7.7	79 26.6
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	62 8.0	152 19.6	120 15.5	87 11.2	58 7.5	187 24.1	110 14.2
	フルタイム・パート	1,278 100.0	125 9.8	260 20.3	210 16.4	177 13.8	98 7.7	255 20.0	153 12.0
	専業主婦(夫)	770 100.0	81 10.5	148 19.2	120 15.6	113 14.7	52 6.8	141 18.3	115 14.9
	両親ともパート	11 100.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	1 9.1	8 72.7
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0

※不明・無回答除く

《問8(3)×問7世帯の昨年1年間の可処分所得別》

2. 学校（給食費，授業料，教材費等）について，0～300万円では「1万円未満」，301万～1,000万円では「1万円台」，「1,001万円以上」では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾について，「0～100万円」では「2万円台」，101万～500万円では「1万円台」，501万円以上では「5万円以上」の割合が最も高くなっています。

2. 学校(給食費, 授業料, 教材費等)

上段:件数 下段:%	合計	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・ 無回答	
全体	3,202 100.0	944 29.5	1,100 34.4	364 11.4	127 4.0	26 0.8	303 9.5	338 10.6	
昨年1年間の可処分所得別	0～100万円	134 100.0	52 38.8	29 21.6	6 4.5	4 3.0	1 0.7	6 4.5	36 26.9
	101万～200万円	169 100.0	64 37.9	41 24.3	12 7.1	6 3.6	2 1.2	6 3.6	38 22.5
	201万～300万円	296 100.0	100 33.8	92 31.1	36 12.2	15 5.1	1 0.3	13 4.4	39 13.2
	301万～400万円	519 100.0	168 32.4	200 38.5	69 13.3	18 3.5	3 0.6	22 4.2	39 7.5
	401万～500万円	557 100.0	155 27.8	227 40.8	72 12.9	22 3.9	4 0.7	37 6.6	40 7.2
	501万～600万円	445 100.0	124 27.9	173 38.9	64 14.4	18 4.0	3 0.7	40 9.0	23 5.2
	601万～800万円	490 100.0	132 26.9	180 36.7	61 12.4	21 4.3	6 1.2	57 11.6	33 6.7
	801万～1,000万円	267 100.0	75 28.1	81 30.3	24 9.0	13 4.9	5 1.9	45 16.9	24 9.0
	1,001万円以上	152 100.0	35 23.0	31 20.4	7 4.6	4 2.6	0 0.0	66 43.4	9 5.9

※不明・無回答除く

3. 習い事や塾

上段:件数 下段:%	合計	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・ 無回答	
全体	3,202 100.0	314 9.8	633 19.8	509 15.9	411 12.8	228 7.1	621 19.4	486 15.2	
昨年1年間の可処分所得別	0～100万円	134 100.0	24 17.9	22 16.4	27 20.1	8 6.0	8 6.0	12 9.0	33 24.6
	101万～200万円	169 100.0	23 13.6	36 21.3	27 16.0	20 11.8	5 3.0	14 8.3	44 26.0
	201万～300万円	296 100.0	47 15.9	63 21.3	49 16.6	30 10.1	16 5.4	26 8.8	65 22.0
	301万～400万円	519 100.0	65 12.5	126 24.3	99 19.1	51 9.8	35 6.7	54 10.4	89 17.1
	401万～500万円	557 100.0	58 10.4	144 25.9	84 15.1	83 14.9	42 7.5	76 13.6	70 12.6
	501万～600万円	445 100.0	42 9.4	80 18.0	75 16.9	75 16.9	34 7.6	86 19.3	53 11.9
	601万～800万円	490 100.0	29 5.9	85 17.3	72 14.7	67 13.7	40 8.2	146 29.8	51 10.4
	801万～1,000万円	267 100.0	7 2.6	29 10.9	41 15.4	40 15.0	25 9.4	105 39.3	20 7.5
	1,001万円以上	152 100.0	5 3.3	10 6.6	17 11.2	21 13.8	14 9.2	79 52.0	6 3.9

※不明・無回答除く

《問8(3)×問8(2)子育てにけるお金の優先度別》

「最も優先すべき」では「5万円以上」、「できるなら優先すべき」「他に優先すべきことがある」では「1万円台」の割合が最も高くなっています。

3. 習い事や塾

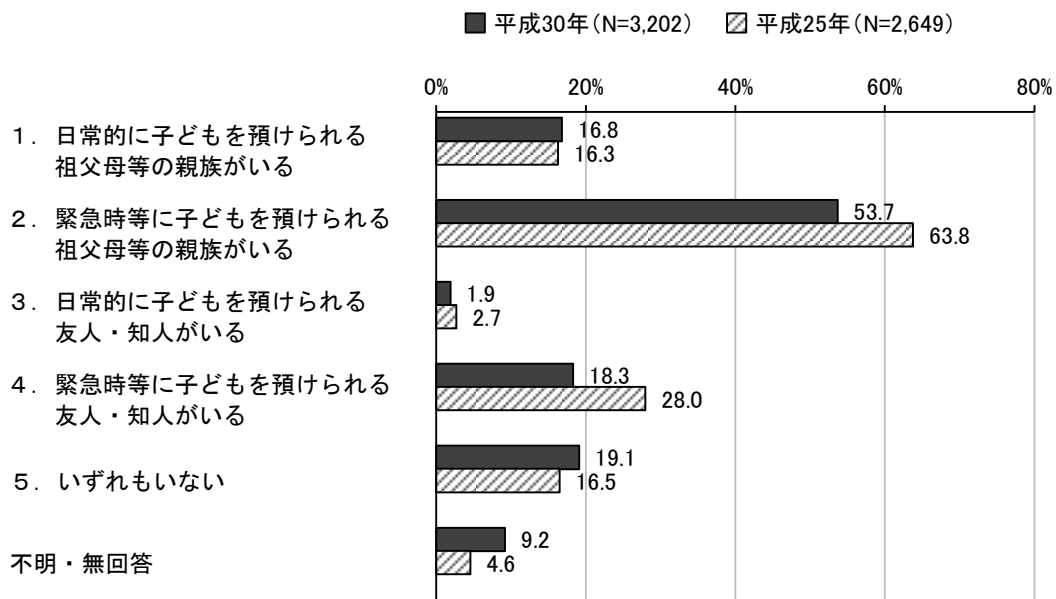
上段:件数 下段:%		合計	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円以上	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	314 9.8	633 19.8	509 15.9	411 12.8	228 7.1	621 19.4	486 15.2
お 子 金 育 て の 優 に 先 か 度 け る 別	最も優先すべき	637 100.0	51 8.0	108 17.0	94 14.8	98 15.4	37 5.8	180 28.3	69 10.8
	できるなら優先すべき	2,327 100.0	238 10.2	468 20.1	387 16.6	279 12.0	181 7.8	421 18.1	353 15.2
	他に優先すべきことがある	149 100.0	19 12.8	34 22.8	19 12.8	20 13.4	7 4.7	15 10.1	35 23.5
	わからない	63 100.0	4 6.3	14 22.2	8 12.7	14 22.2	3 4.8	3 4.8	17 27.0

※不明・無回答除く

問9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。(〇はいくつでも) また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯(「9時~18時」のように24時間制で)をご記入ください。

「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が53.7%と最も高く、次いで「5. いずれもない」が19.1%、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる」が18.3%となっています。

平成25年と比較すると、「2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が10.1ポイント、「4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる」が9.7ポイント低くなっています。



《問9(1)×家族類型別》

「両親とも無職」では「いずれもない」、それ以外では「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる	いずれもない	不明・無回答	
全体	3,202 100.0	537 16.8	1,718 53.7	62 1.9	585 18.3	610 19.1	296 9.2	
家族類型別	ひとり親	297 100.0	81 27.3	124 41.8	12 4.0	42 14.1	73 24.6	22 7.4
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	163 21.0	421 54.3	17 2.2	113 14.6	133 17.1	72 9.3
	フルタイム・パート	1,278 100.0	194 15.2	710 55.6	24 1.9	275 21.5	236 18.5	100 7.8
	専業主婦(夫)	770 100.0	83 10.8	434 56.4	8 1.0	140 18.2	155 20.1	80 10.4
	両親ともパート	11 100.0	2 18.2	7 63.6	0 0.0	2 18.2	2 18.2	0 0.0
	両親とも無職	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問9(1)×問5(1)同居・近居の状況別》

「父と同居(ひとり親家庭)」「祖父と同居」「祖母と同居」では「日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」、それ以外では「緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	日常的に子ども を預けられる祖 父母等の親族 がいる	緊急時等に子 どもを預けられ る祖父母等の 親族がいる	日常的に子ども を預けられる友 人・知人がいる	緊急時等に子 どもを預けられ る友人・知人が いる	いずれもない	不明・無回答	
全 体	3,202 100.0	537 16.8	1,718 53.7	62 1.9	585 18.3	610 19.1	296 9.2	
同 居 ・ 近 居 の 状 況 別	父母と同居	2,763 100.0	419 15.2	1,535 55.6	46 1.7	522 18.9	509 18.4	249 9.0
	父と同居 (ひとり親家庭)	21 100.0	7 33.3	6 28.6	0 0.0	3 14.3	6 28.6	4 19.0
	母と同居 (ひとり親家庭)	276 100.0	74 26.8	118 42.8	12 4.3	39 14.1	67 24.3	18 6.5
	祖父と同居	179 100.0	83 46.4	61 34.1	3 1.7	22 12.3	13 7.3	33 18.4
	祖母と同居	248 100.0	116 46.8	100 40.3	4 1.6	30 12.1	18 7.3	32 12.9
	祖父と近居	451 100.0	143 31.7	313 69.4	8 1.8	67 14.9	18 4.0	25 5.5
	祖母と近居	556 100.0	184 33.1	382 68.7	9 1.6	84 15.1	21 3.8	37 6.7
	その他	122 100.0	39 32.0	50 41.0	3 2.5	20 16.4	22 18.0	15 12.3

※不明・無回答除く

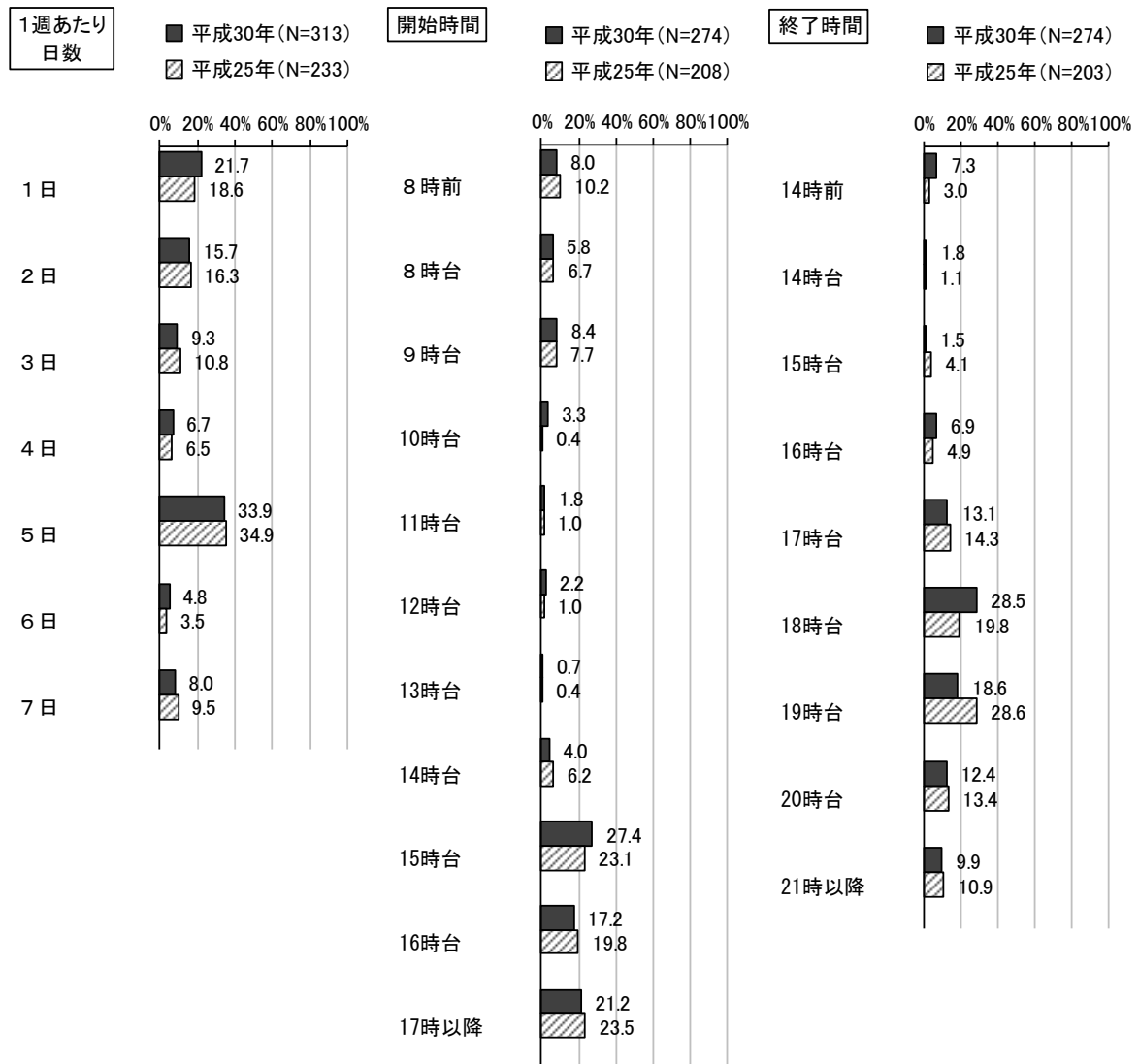
◆預けている日数・時間帯

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる

預けている日数・時間帯について、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」方の1週あたりの日数は「5日」が33.9%と最も高く、次いで「1日」が21.7%、「2日」が15.7%となっています。

開始時間は、「15時台」が27.4%と最も高く、次いで「17時以降」が21.2%、「16時台」が17.2%となっています。

終了時間は、「18時台」が28.5%と最も高く、次いで「19時台」が18.6%、「17時台」が13.1%となっています。



※不明・無回答除く

3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる

預けている日数・時間帯について、「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」方の1週あたりの日数は「1日」「2日」「5日」がそれぞれ3件ずつとなっています。

開始時間は「13時前」「16時台」がともに3件ずつ、「15時台」が2件、「17時台」が1件となっています。

終了時間は「19時台」が4件、「17時台」が3件、「17時前」「18時台」がともに1件ずつとなっています。

【1週あたり日数】

平成30年(N=9)

	件数
1日	3
2日	3
5日	3

【開始時間】

平成30年(N=9)

	件数
13時前	3
15時台	2
16時台	3
17時台	1

【終了時間】

平成30年(N=9)

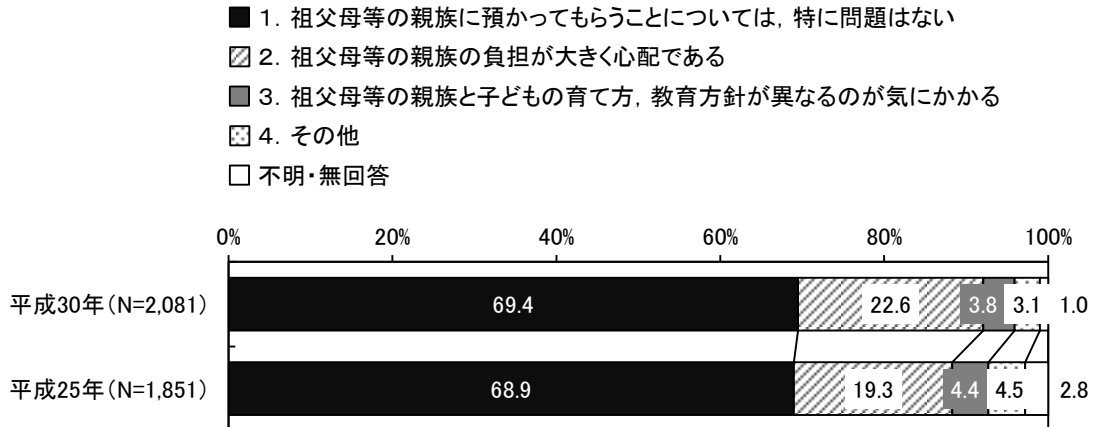
	件数
17時前	1
17時台	3
18時台	1
19時台	4

問 9(1)で「1」または「2」と答えた方

問 9(2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 69.4%と最も高く、次いで「2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である」が 22.6%となっています。

平成 25 年と比較すると、特に大きな差はみられません。

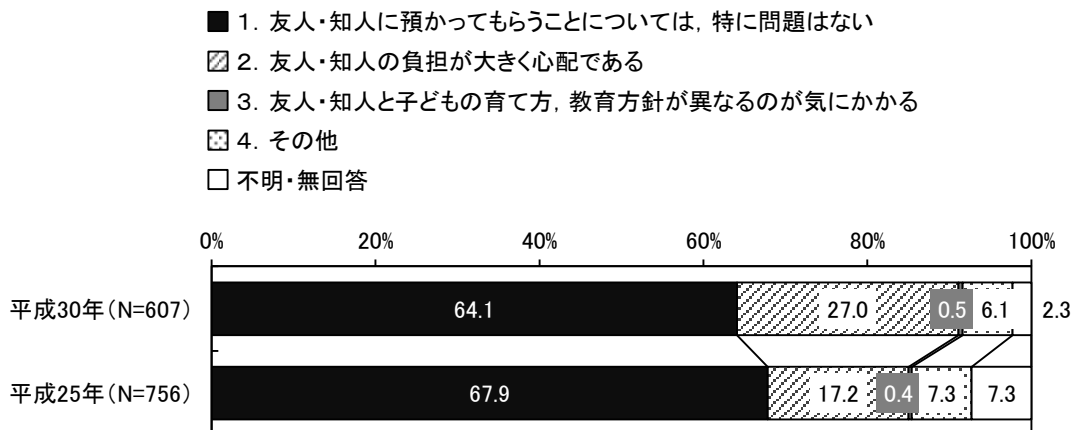


問 9(1)で「3」または「4」と答えた方

問 9(3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が 64.1%と最も高く、次いで「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が 27.0%となっています。

平成 25 年と比較すると、「2. 友人・知人の負担が大きく心配である」が 9.8 ポイント高くなっています。

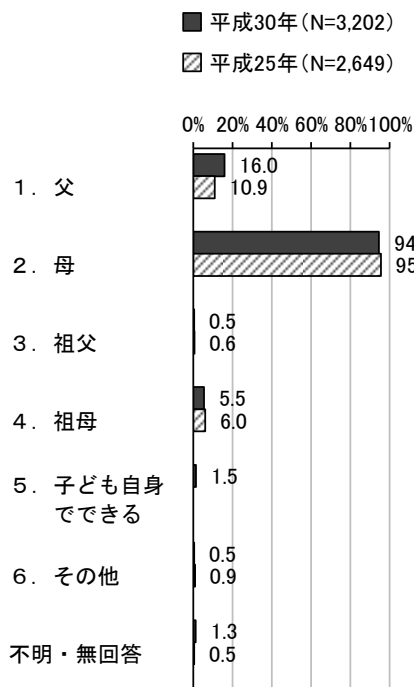


問 10 宛名のお子さまの育児や家事等に関わっている方はどなたですか。

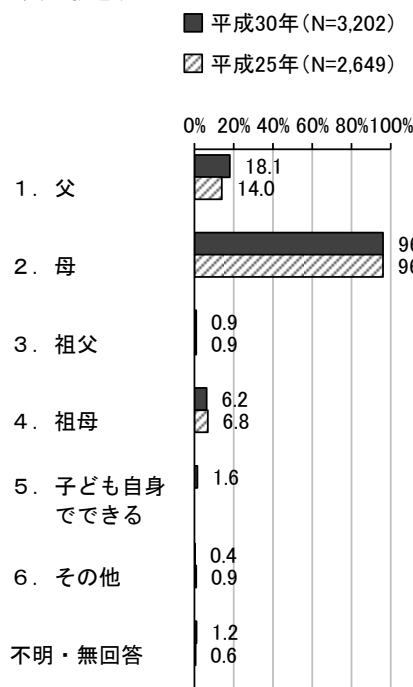
(〇はそれぞれいくつでも)

「⑤子どもを風呂に入れる」「⑦子どもの衣類を替える」「⑨子どもを寝かしつける」では「5. 子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。それ以外の項目では「2. 母」の割合が最も高くなっています。

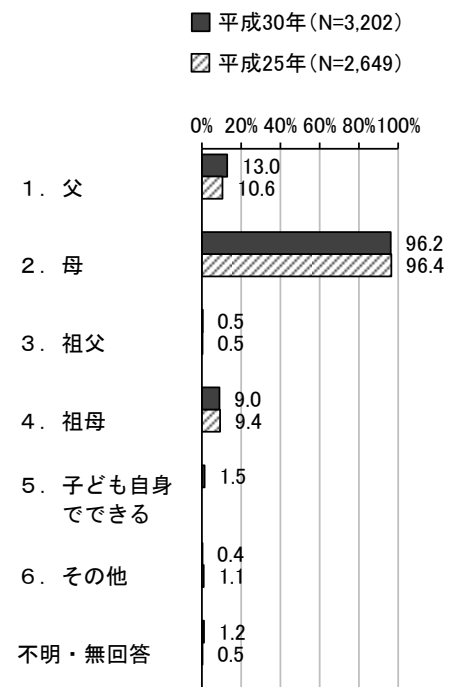
①洗濯をする



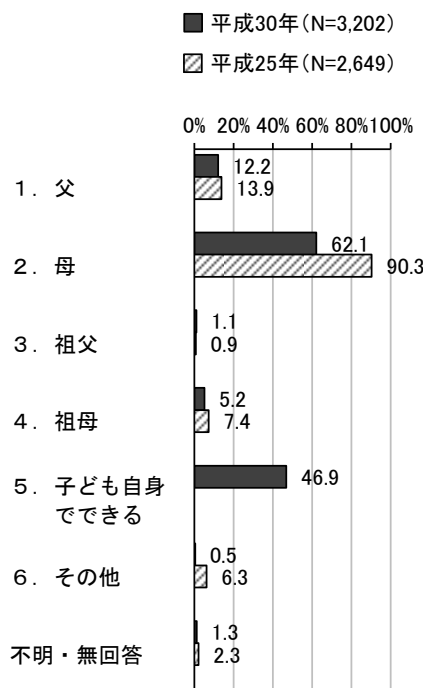
②食料品等の日常的な買い物をする



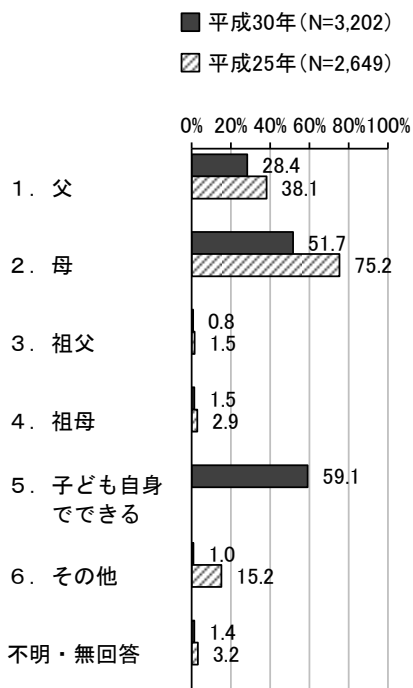
③家族や子どもの食事をつくる



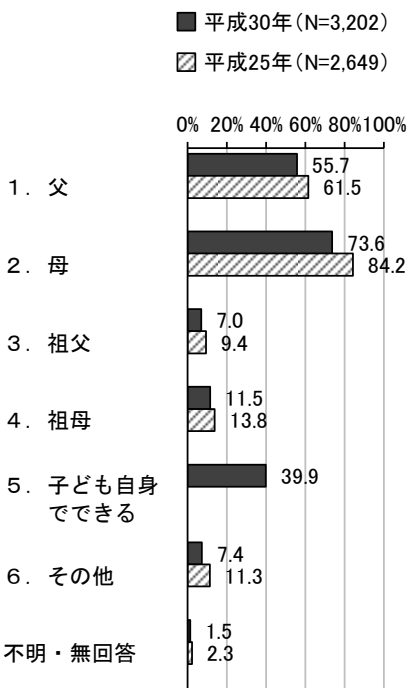
④子どもに食事を食べさせる



⑤子どもを風呂に入れる

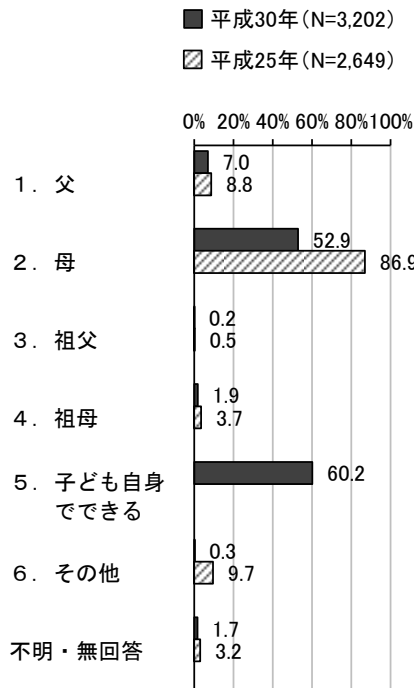


⑥子どもと遊ぶ

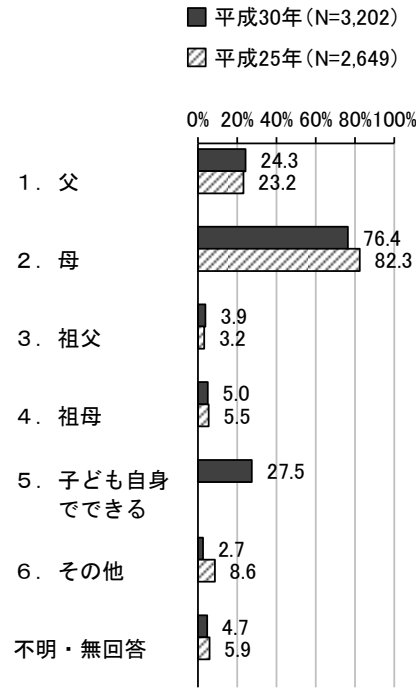


※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

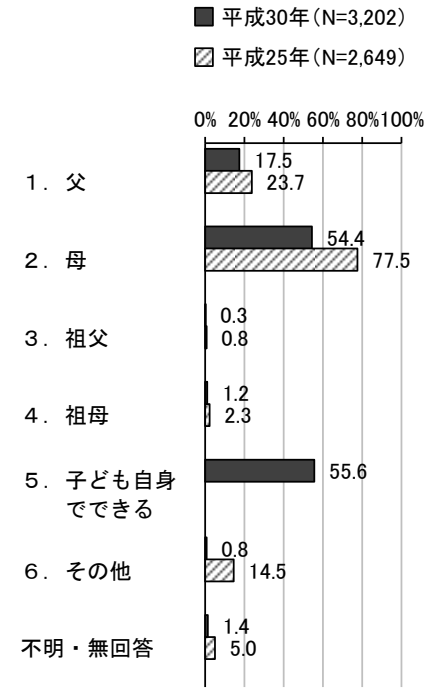
⑦子どもの衣類を替える



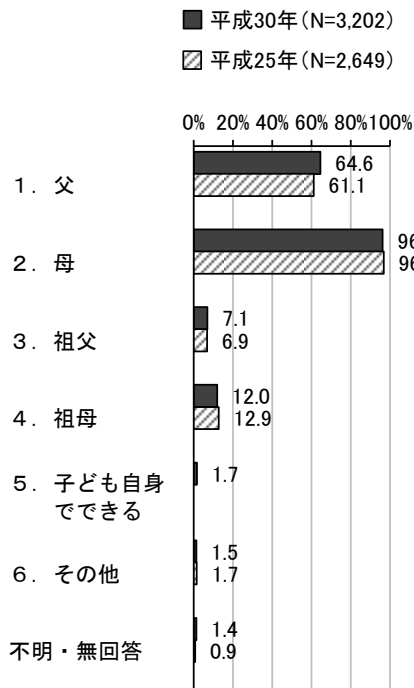
⑧学童クラブや習い事、塾等の
送り迎えをする



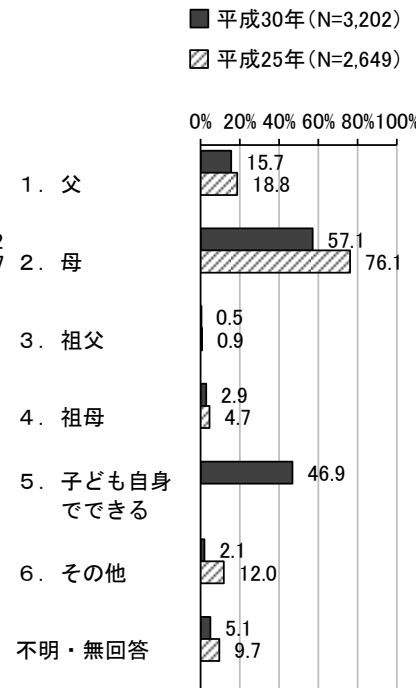
⑨子どもを寝かしつける



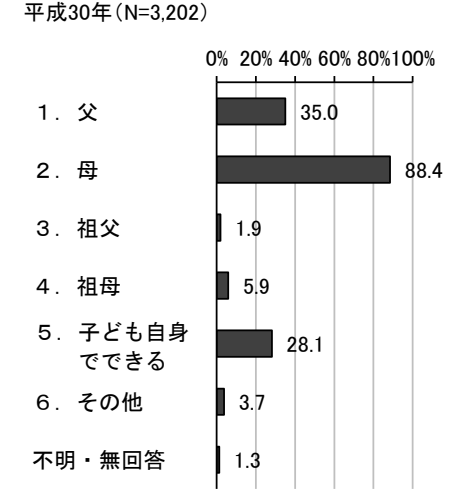
⑩子どもをしつける



⑪子どもに本を読み聞かせる

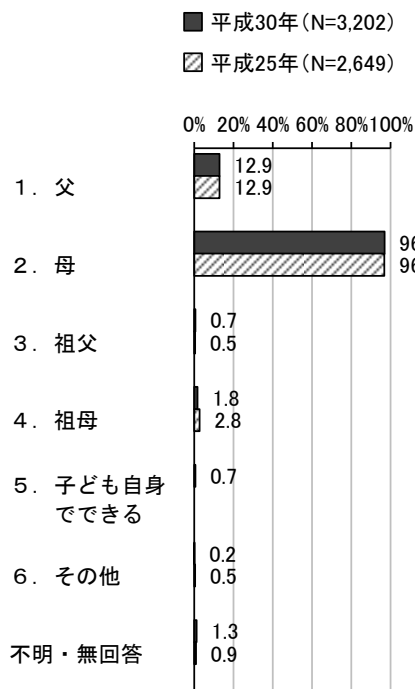


⑫子どもの宿題や勉強を見る

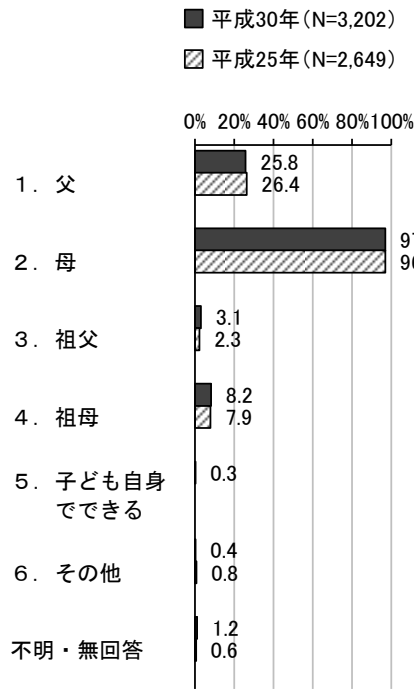


※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

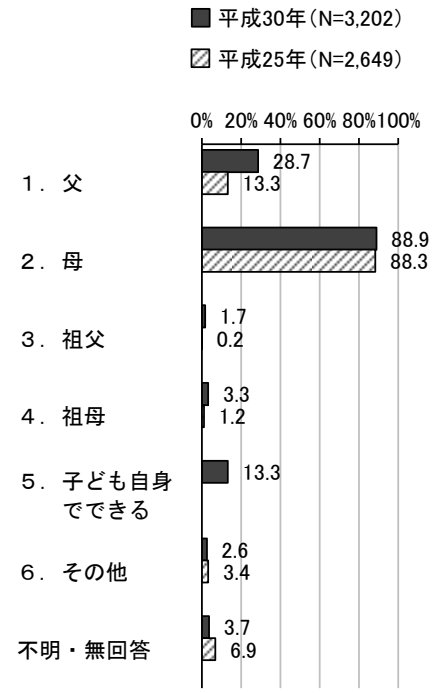
⑬ 予防接種や健診に連れて行く



⑭ 子どもが病気の際に看病したり
病院に連れて行ったりする



⑮ 子ども会や子育てサークル、
町内会や地蔵盆等の子どもに
関する地域活動に参加する



※「5. 子ども自身でできる」は平成30年のみの選択肢

《問10×問1子どもの年齢（学年）別》

〔④子どもに食事を食べさせる〕について、9歳（4年生）以下では「母」、10歳（5年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

〔⑤子どもを風呂に入れる〕〔⑦子どもの衣類を替える〕について、7歳（2年生）以下では「母」、8歳（3年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

④子どもに食事を食べさせる

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	390 12.2	1,989 62.1	34 1.1	166 5.2	1,502 46.9	15 0.5	43 1.3
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	101 17.6	432 75.4	10 1.7	39 6.8	207 36.1	3 0.5	11 1.9
	7歳(2年生)	516 100.0	77 14.9	372 72.1	6 1.2	27 5.2	205 39.7	4 0.8	4 0.8
	8歳(3年生)	529 100.0	61 11.5	341 64.5	8 1.5	26 4.9	244 46.1	1 0.2	6 1.1
	9歳(4年生)	503 100.0	54 10.7	298 59.2	3 0.6	26 5.2	254 50.5	1 0.2	8 1.6
	10歳(5年生)	488 100.0	48 9.8	245 50.2	3 0.6	27 5.5	267 54.7	3 0.6	3 0.6
	11歳(6年生)	508 100.0	39 7.7	248 48.8	4 0.8	19 3.7	292 57.5	3 0.6	8 1.6

※不明・無回答除く

⑤子どもを風呂に入れる

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	909 28.4	1,655 51.7	27 0.8	49 1.5	1,893 59.1	33 1.0	45 1.4
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	247 43.1	435 75.9	6 1.0	9 1.6	204 35.6	7 1.2	8 1.4
	7歳(2年生)	516 100.0	194 37.6	365 70.7	3 0.6	6 1.2	226 43.8	12 2.3	3 0.6
	8歳(3年生)	529 100.0	158 29.9	288 54.4	8 1.5	15 2.8	314 59.4	6 1.1	6 1.1
	9歳(4年生)	503 100.0	134 26.6	232 46.1	3 0.6	12 2.4	341 67.8	2 0.4	10 2.0
	10歳(5年生)	488 100.0	79 16.2	159 32.6	3 0.6	6 1.2	363 74.4	3 0.6	4 0.8
	11歳(6年生)	508 100.0	74 14.6	136 26.8	3 0.6	1 0.2	398 78.3	2 0.4	11 2.2

※不明・無回答除く

⑦子どもの衣類を替える

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	225 7.0	1,695 52.9	7 0.2	60 1.9	1,929 60.2	11 0.3	54 1.7
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	70 12.2	382 66.7	2 0.3	15 2.6	280 48.9	4 0.7	9 1.6
	7歳(2年生)	516 100.0	49 9.5	329 63.8	2 0.4	15 2.9	275 53.3	3 0.6	4 0.8
	8歳(3年生)	529 100.0	33 6.2	285 53.9	1 0.2	10 1.9	325 61.4	1 0.2	10 1.9
	9歳(4年生)	503 100.0	32 6.4	265 52.7	0 0.0	11 2.2	303 60.2	0 0.0	10 2.0
	10歳(5年生)	488 100.0	20 4.1	209 42.8	1 0.2	5 1.0	329 67.4	3 0.6	6 1.2
	11歳(6年生)	508 100.0	16 3.1	179 35.2	0 0.0	3 0.6	372 73.2	0 0.0	13 2.6

※不明・無回答除く

《問10×問1子どもの年齢（学年）別》

[⑨子どもを寝かしつける] [⑩子どもに本を読み聞かせる] について、8歳（3年生）以下では「母」、9歳（4年生）以上では「子ども自身でできる」の割合が最も高くなっています。

⑨子どもを寝かしつける

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	560 17.5	1,743 54.4	11 0.3	40 1.2	1,779 55.6	26 0.8	46 1.4
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	151 26.4	443 77.3	2 0.3	4 0.7	187 32.6	7 1.2	8 1.4
	7歳(2年生)	516 100.0	121 23.4	361 70.0	4 0.8	9 1.7	217 42.1	5 1.0	4 0.8
	8歳(3年生)	529 100.0	107 20.2	319 60.3	2 0.4	11 2.1	278 52.6	5 0.9	8 1.5
	9歳(4年生)	503 100.0	73 14.5	240 47.7	2 0.4	5 1.0	323 64.2	2 0.4	9 1.8
	10歳(5年生)	488 100.0	49 10.0	178 36.5	1 0.2	4 0.8	351 71.9	4 0.8	6 1.2
	11歳(6年生)	508 100.0	46 9.1	157 30.9	0 0.0	7 1.4	383 75.4	3 0.6	9 1.8

※不明・無回答除く

⑩子どもに本を読み聞かせる

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・ 無回答
全体		3,202 100.0	504 15.7	1,828 57.1	16 0.5	94 2.9	1,502 46.9	68 2.1	162 5.1
学年別	6歳(1年生)	573 100.0	149 26.0	475 82.9	2 0.3	22 3.8	139 24.3	8 1.4	15 2.6
	7歳(2年生)	516 100.0	101 19.6	370 71.7	5 1.0	27 5.2	173 33.5	11 2.1	27 5.2
	8歳(3年生)	529 100.0	84 15.9	329 62.2	3 0.6	16 3.0	243 45.9	14 2.6	25 4.7
	9歳(4年生)	503 100.0	67 13.3	253 50.3	4 0.8	14 2.8	272 54.1	13 2.6	28 5.6
	10歳(5年生)	488 100.0	39 8.0	176 36.1	1 0.2	7 1.4	307 62.9	10 2.0	29 5.9
	11歳(6年生)	508 100.0	46 9.1	179 35.2	1 0.2	8 1.6	335 65.9	9 1.8	31 6.1

※不明・無回答除く

《問 10×問 25 子育てをしている今の気持ち別》

〔⑥子どもと遊ぶ〕〔⑩子どもをしつける〕〔⑫子どもの宿題や勉強を見る〕について、すべての区分で「母」の割合が最も高くなっていますが、子育てが楽しいと感じている方ほど「父」の割合が高くなる傾向がみられます。

⑥子どもと遊ぶ

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・無回答
全体		3,202 100.0	1,784 55.7	2,358 73.6	225 7.0	367 11.5	1,279 39.9	237 7.4	49 1.5
子育て中の 気持ち別	とても楽しい	578 100.0	368 63.7	451 78.0	55 9.5	87 15.1	230 39.8	27 4.7	11 1.9
	楽しい	1,284 100.0	785 61.1	958 74.6	96 7.5	154 12.0	511 39.8	95 7.4	15 1.2
	少し不安または負担 を感じる	840 100.0	413 49.2	606 72.1	52 6.2	92 11.0	316 37.6	63 7.5	17 2.0
	とても不安または負担 を感じる	164 100.0	62 37.8	118 72.0	6 3.7	10 6.1	67 40.9	14 8.5	1 0.6
	どちらともいえない	291 100.0	129 44.3	195 67.0	15 5.2	22 7.6	137 47.1	36 12.4	3 1.0

※不明・無回答除く

⑩子どもをしつける

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・無回答
全体		3,202 100.0	2,069 64.6	3,080 96.2	227 7.1	383 12.0	54 1.7	48 1.5	46 1.4
子育て中の 気持ち別	とても楽しい	578 100.0	406 70.2	554 95.8	46 8.0	72 12.5	9 1.6	11 1.9	9 1.6
	楽しい	1,284 100.0	917 71.4	1,246 97.0	103 8.0	165 12.9	21 1.6	17 1.3	13 1.0
	少し不安または負担 を感じる	840 100.0	459 54.6	804 95.7	49 5.8	93 11.1	12 1.4	9 1.1	17 2.0
	とても不安または負担 を感じる	164 100.0	70 42.7	155 94.5	9 5.5	15 9.1	6 3.7	5 3.0	2 1.2
	どちらともいえない	291 100.0	182 62.5	278 95.5	20 6.9	35 12.0	6 2.1	6 2.1	4 1.4

※不明・無回答除く

⑫子どもの宿題や勉強を見る

上段:件数 下段:%		合計	父	母	祖父	祖母	子ども自身 でできる	その他	不明・無回答
全体		3,202 100.0	1,122 35.0	2,830 88.4	60 1.9	188 5.9	899 28.1	119 3.7	42 1.3
子育て中の 気持ち別	とても楽しい	578 100.0	245 42.4	510 88.2	11 1.9	38 6.6	164 28.4	21 3.6	8 1.4
	楽しい	1,284 100.0	472 36.8	1,150 89.6	27 2.1	74 5.8	379 29.5	40 3.1	14 1.1
	少し不安または負担 を感じる	840 100.0	256 30.5	748 89.0	16 1.9	54 6.4	210 25.0	32 3.8	14 1.7
	とても不安または負担 を感じる	164 100.0	39 23.8	141 86.0	2 1.2	10 6.1	39 23.8	13 7.9	2 1.2
	どちらともいえない	291 100.0	91 31.3	245 84.2	4 1.4	12 4.1	94 32.3	12 4.1	3 1.0

※不明・無回答除く

2 お子さまのお父さん、お母さんの就労状況について

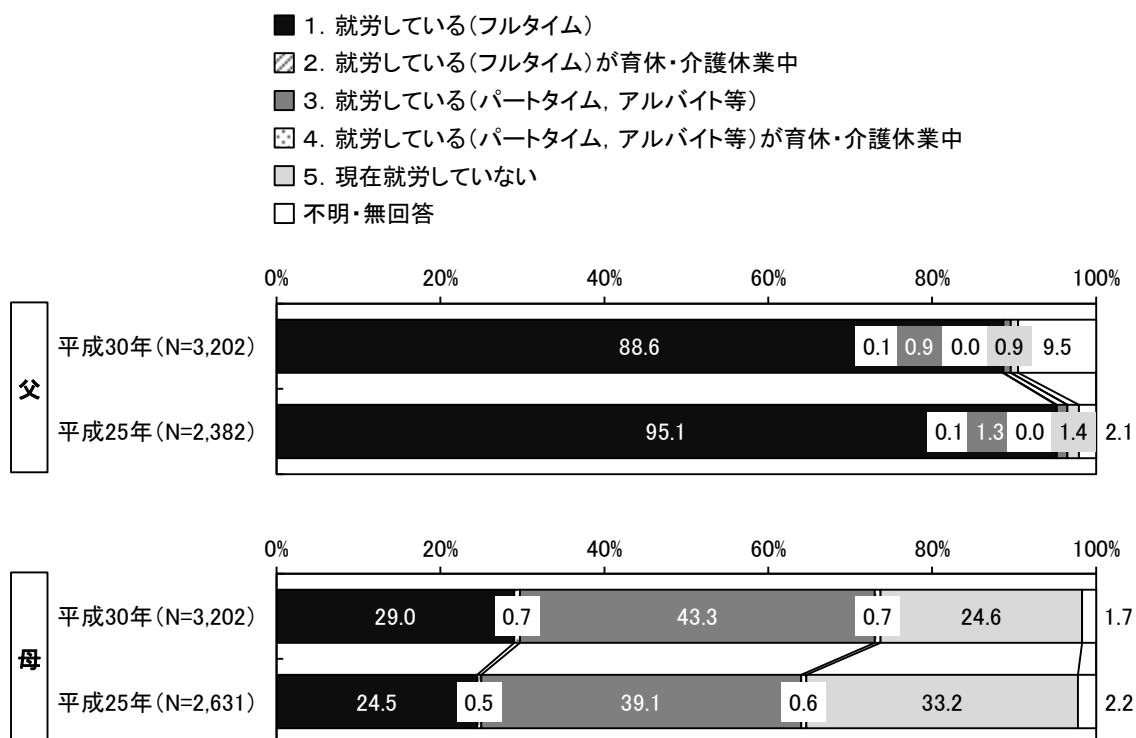
問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業，家族従事者含む。）について，「1～5」の中からお選びください。（〇はそれぞれ1つつ）

併せて，就労している方は，[]に数字（時刻の場合は，「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また，就労時間については，30 分以上の端数は切上げ，30 分未満は切下げてご記入ください。

父親では，「1. 就労している（フルタイム）」が 88.6%と最も高くなっています。

母親では，「3. 就労している（パートタイム，アルバイト等）」が 43.3%と最も高く，次いで「1. 就労している（フルタイム）」が 29.0%，「5. 現在就労していない」が 24.6%となっています。

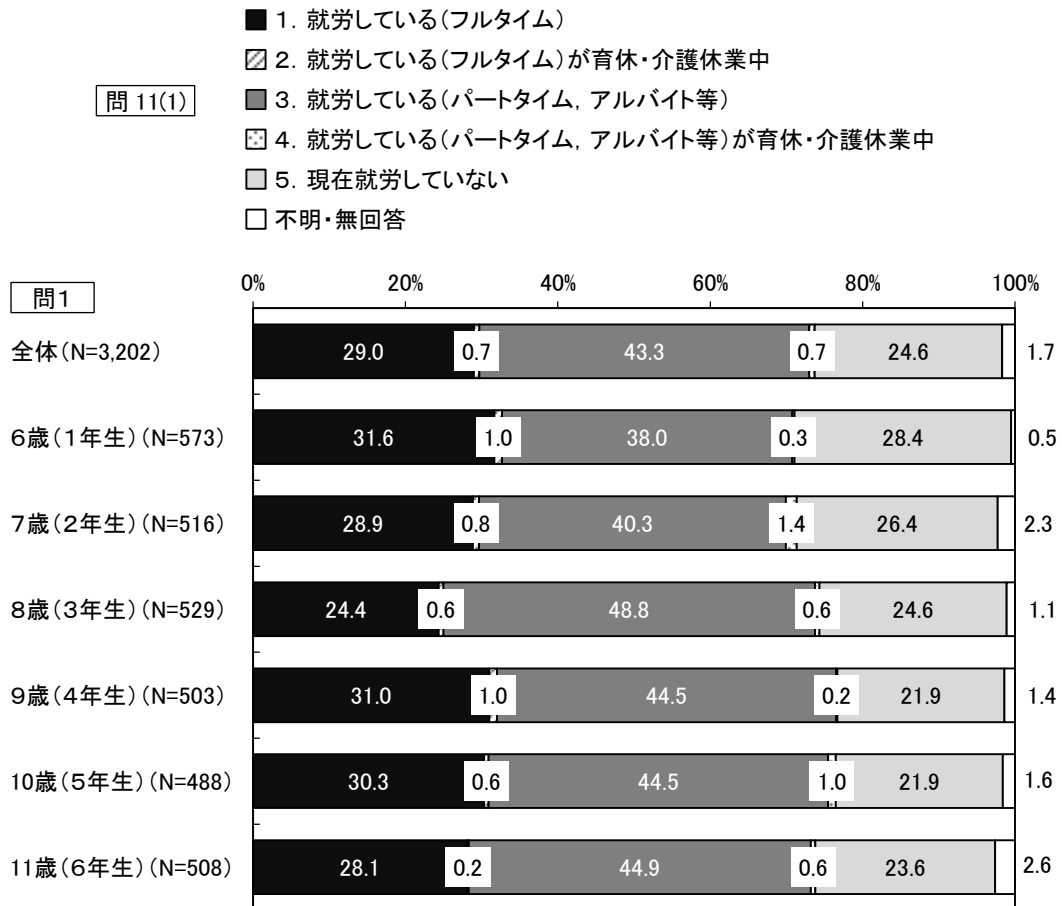
平成 25 年と比較すると，母親では「5. 現在就労していない」が 8.46 ポイント低くなっています。



《問 11(1)母親の就労状況×問 1 子どもの年齢（学年）別》

すべての区分で「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」の割合が最も高くなっています。

【母】

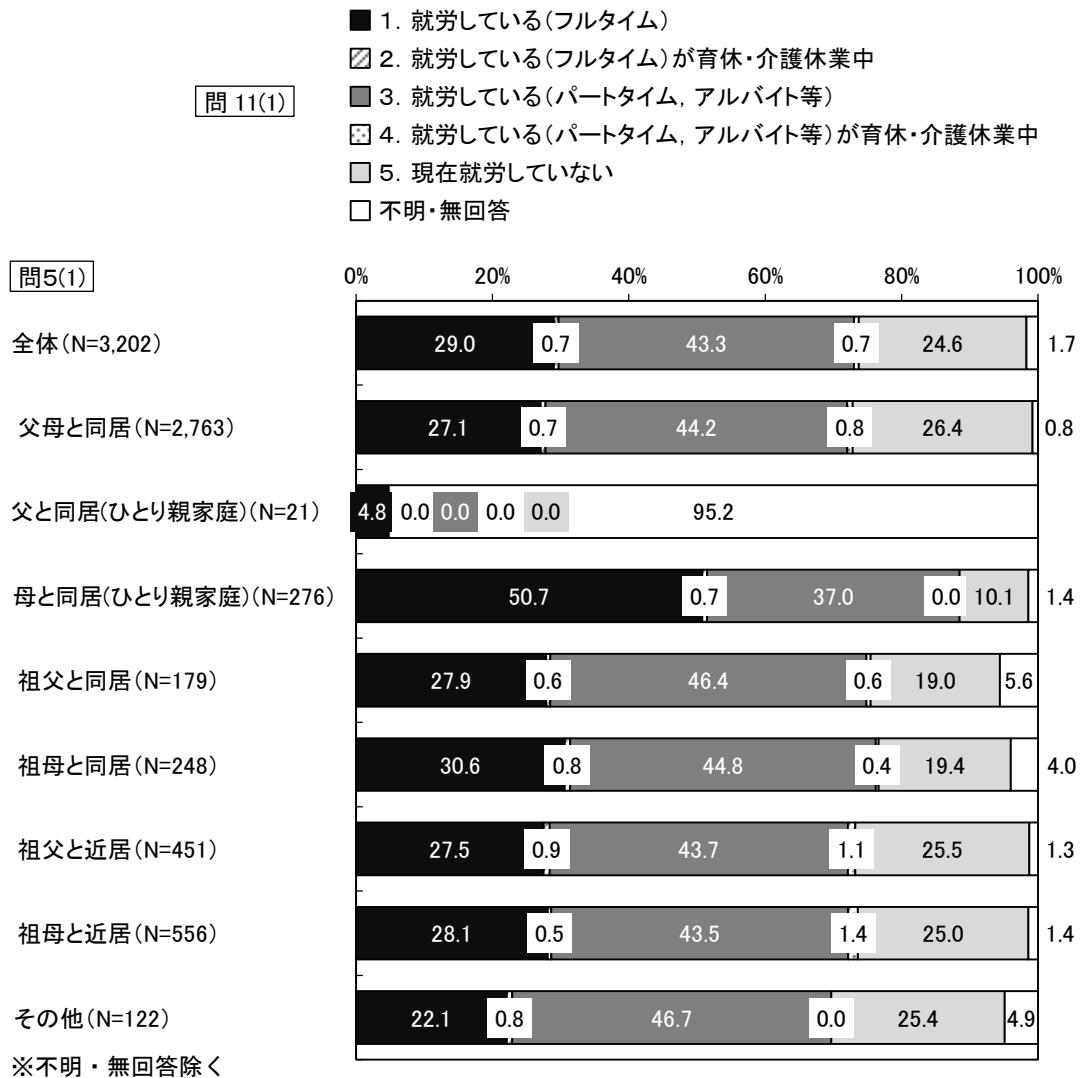


※不明・無回答除く

《問 11(1)母親の就労状況×問 5(1)同居・近居の状況別》

「母と同居(ひとり親家庭)」で「1. 就労している(フルタイム)」の割合が他の区分に比べ高くなっています。

【母】



◆フルタイムで就労している保護者の状況

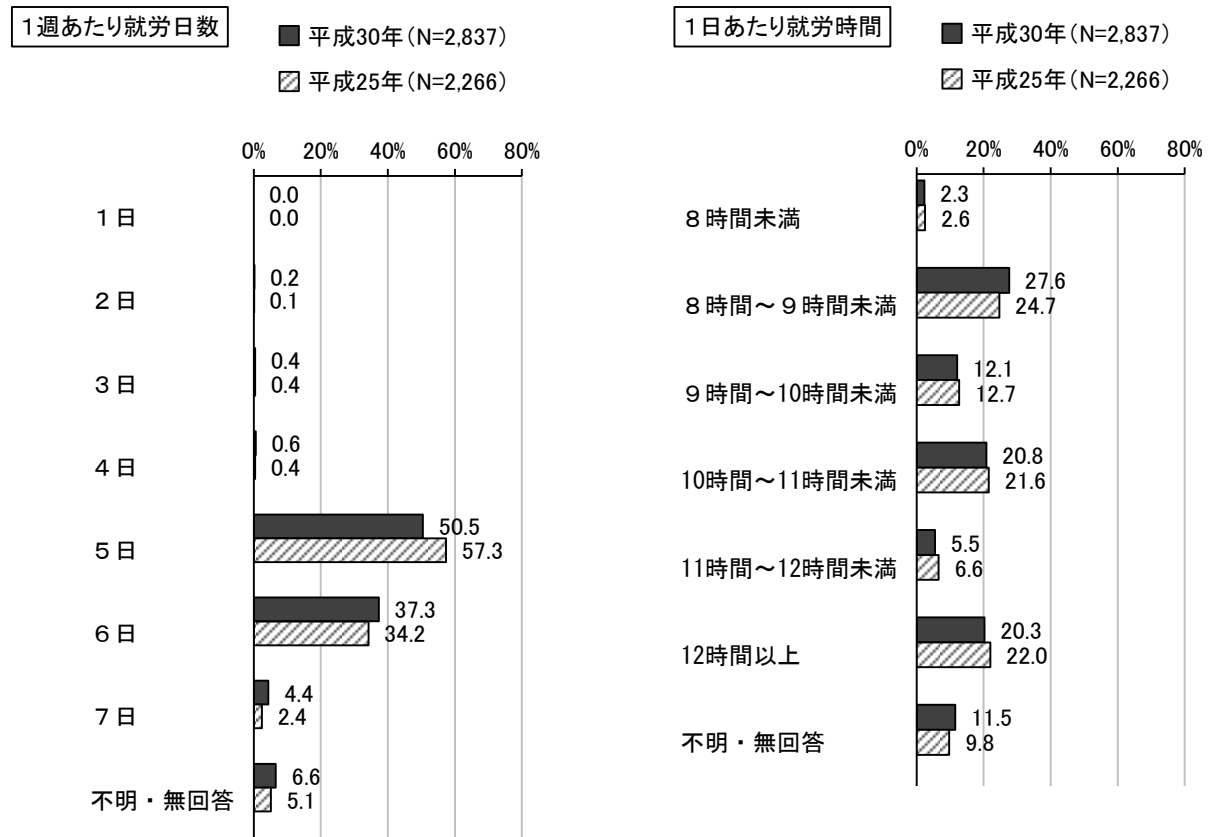
【父】

フルタイムで就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が50.5%と最も高く、次いで「6日」が37.3%となっています。

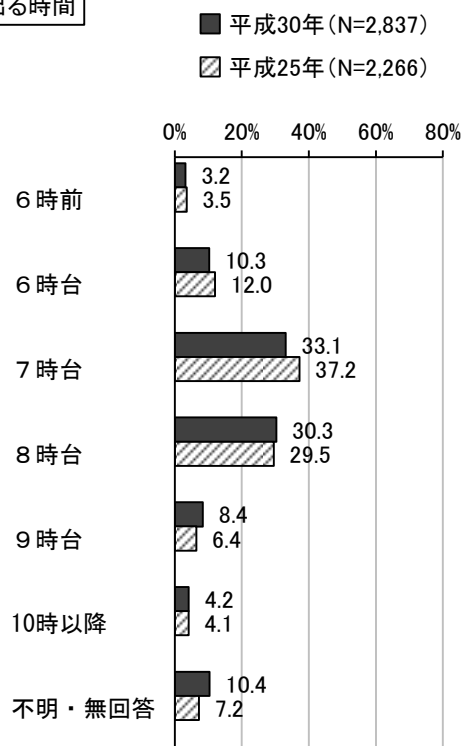
1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が27.6%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が20.8%、「12時間以上」が20.3%となっています。

家を出る時間は、「7時台」が33.1%と最も高く、次いで「8時台」が30.3%となっています。

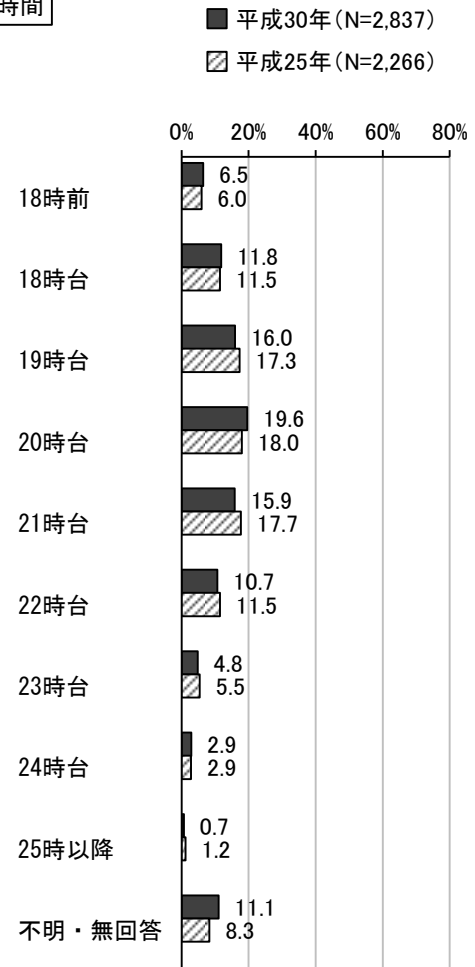
帰宅時間は、「20時台」が19.6%と最も高く、次いで「19時台」が16.0%、「21時台」が15.9%となっています。



家を出る時間



帰宅時間



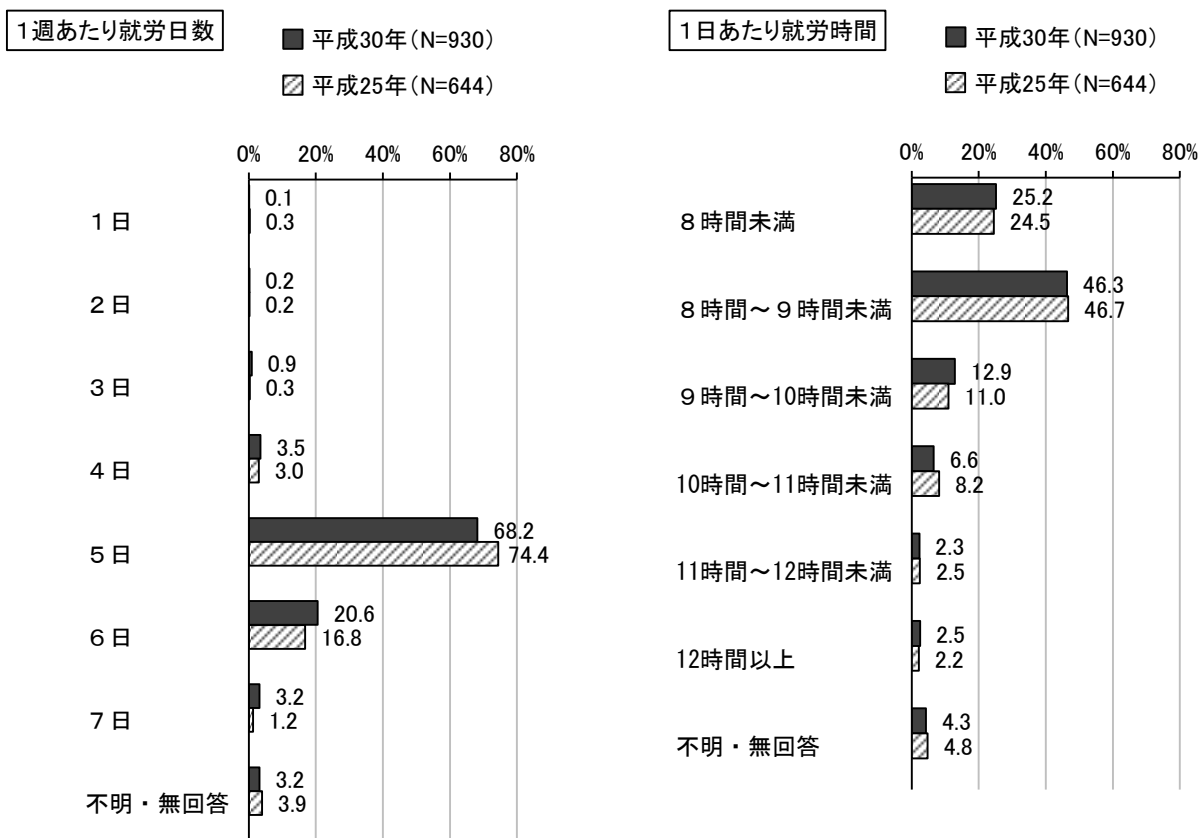
【母】

フルタイムで就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が68.2%と最も高く、次いで「6日」が20.6%となっています。

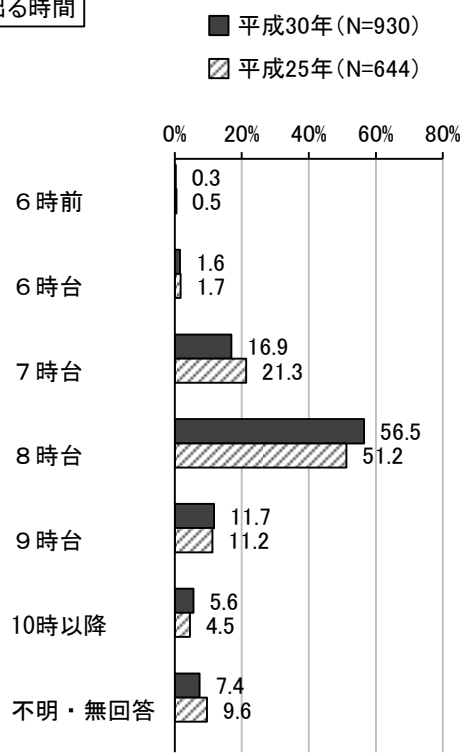
1日あたりの就労時間は、「8時間～9時間未満」が46.3%と最も高く、次いで「8時間未満」が25.2%となっています。

家を出る時間は、「8時台」が56.5%と最も高く、次いで「7時台」が16.9%となっています。

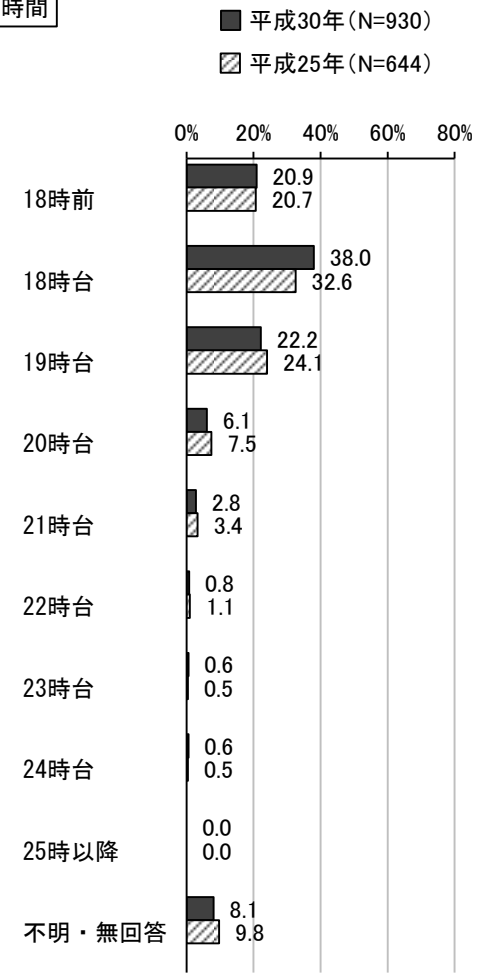
帰宅時間は、「18時台」が38.0%と最も高く、次いで「19時台」22.2%、「18時前」が20.9%となっています。



家を出る時間



帰宅時間



◆パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況

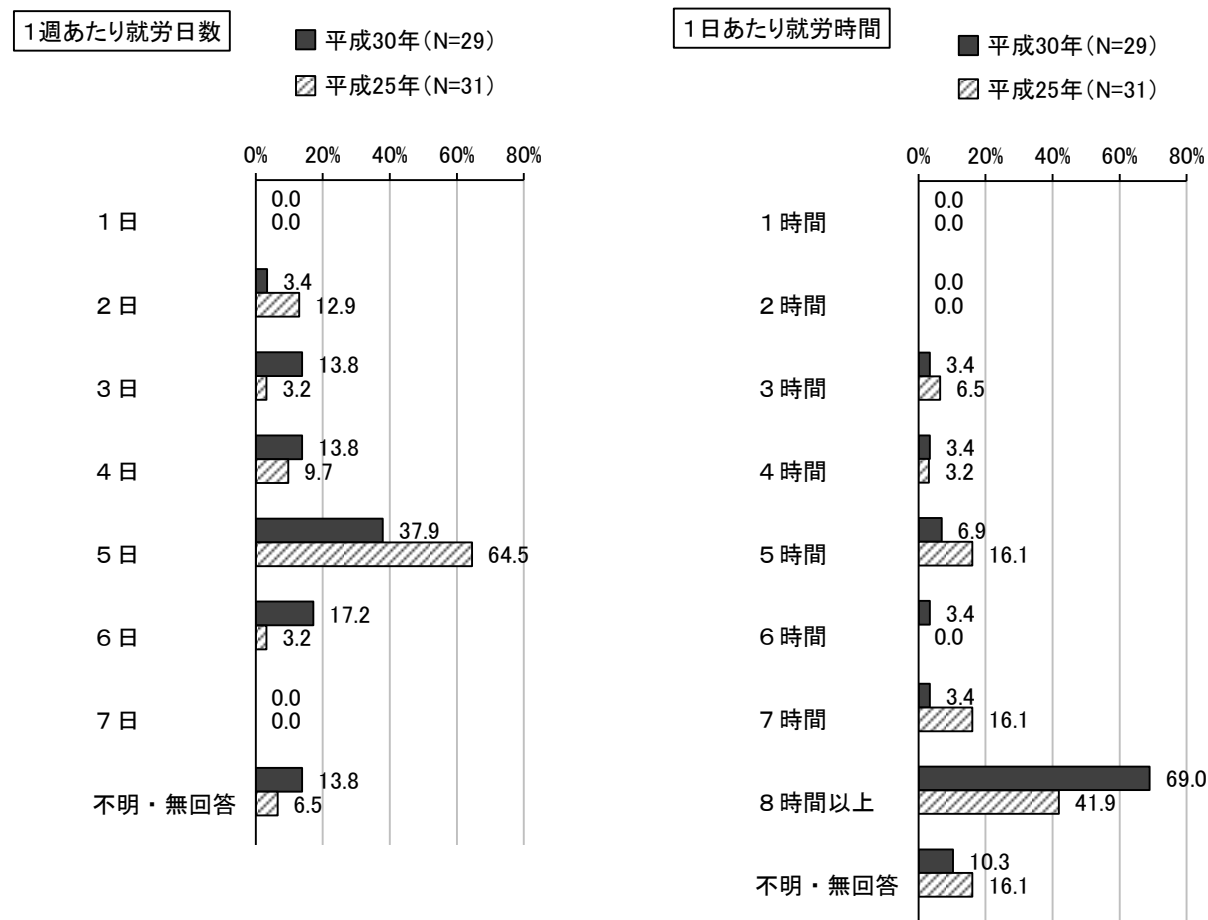
【父】

パートタイム、アルバイト等で就労している父親について、1週あたりの就労日数は、「5日」が37.9%と最も高く、次いで「6日」が17.2%となっています。

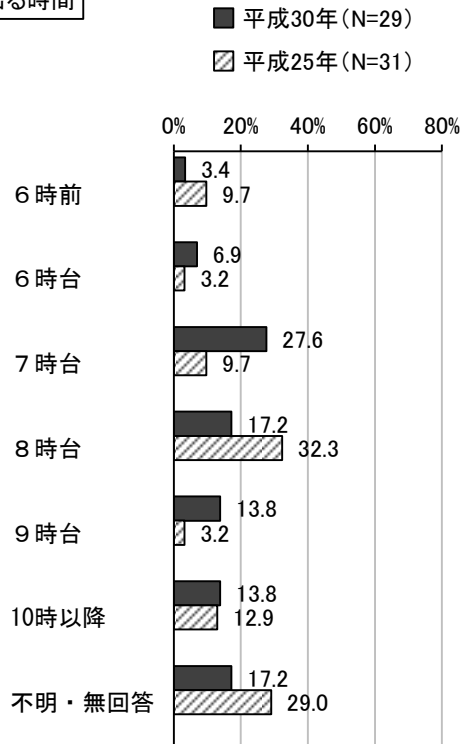
1日あたりの就労時間は、「8時間以上」が69.0%と最も高く、次いで「5時間」が6.9%となっています。

家を出る時間は、「7時台」が27.6%と最も高く、次いで「8時台」が17.2%となっています。

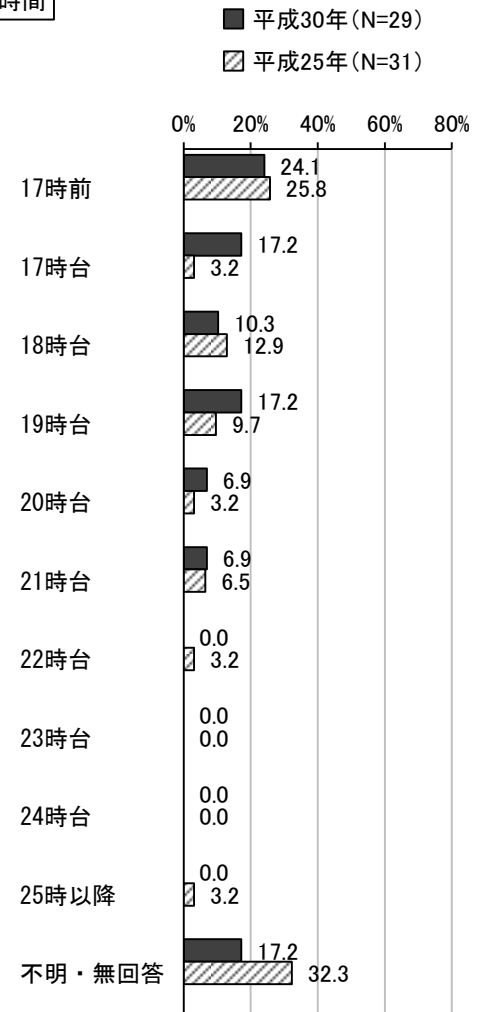
帰宅時間は、「17時前」が24.1%と最も高く、次いで「17時台」「19時台」が17.2%となっています。



家を出る時間



帰宅時間

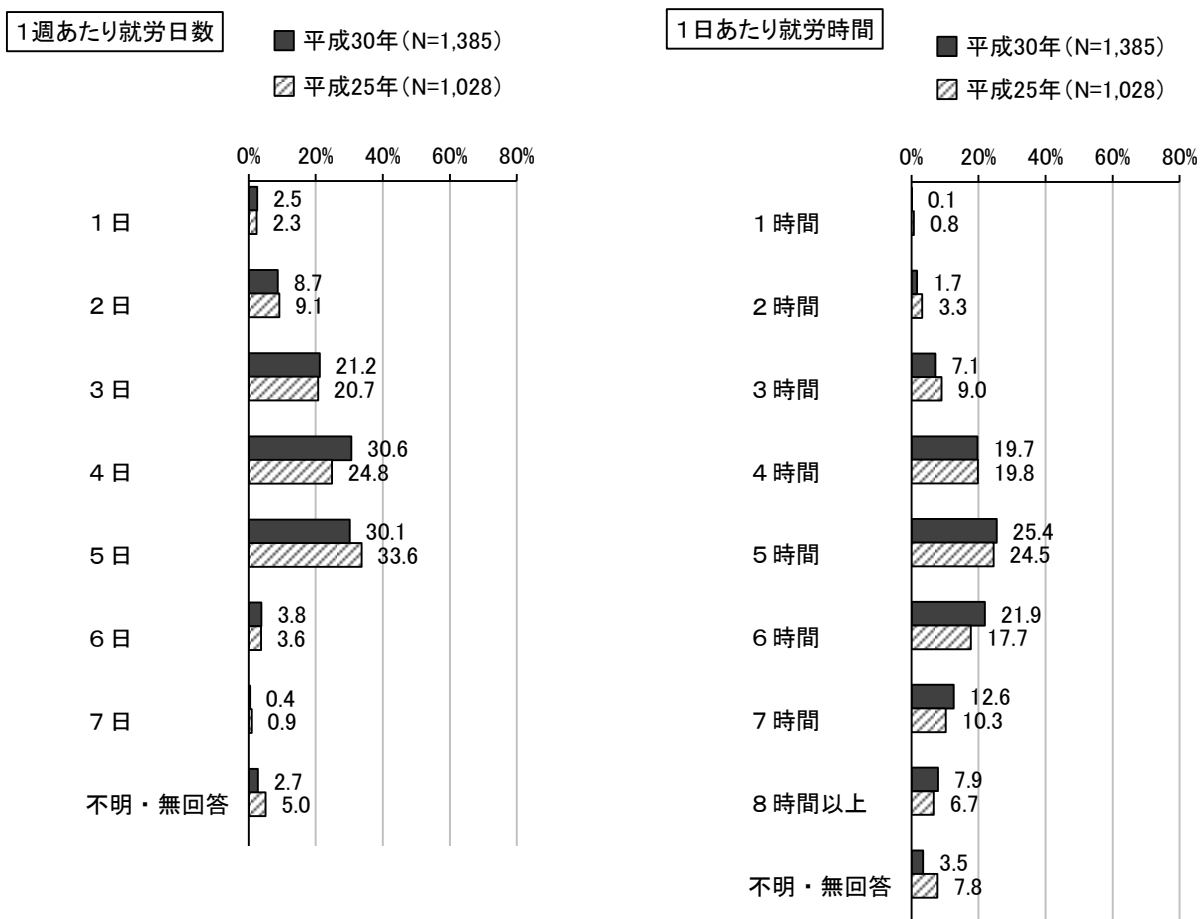


【母】

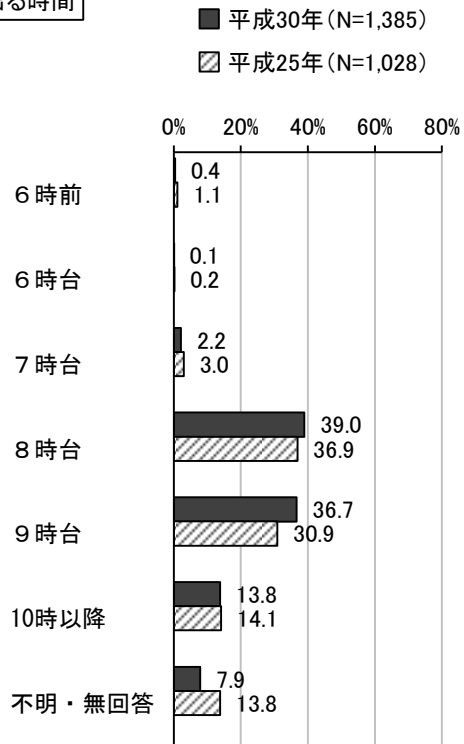
パートタイム、アルバイト等で就労している母親について、1週あたりの就労日数は、「4日」が30.6%と最も高く、次いで「5日」が30.1%、「3日」が21.2%となっています。

1日あたりの就労時間は、「5時間」が25.4%と最も高く、次いで「6時間」が21.9%、「4時間」が19.7%となっています。

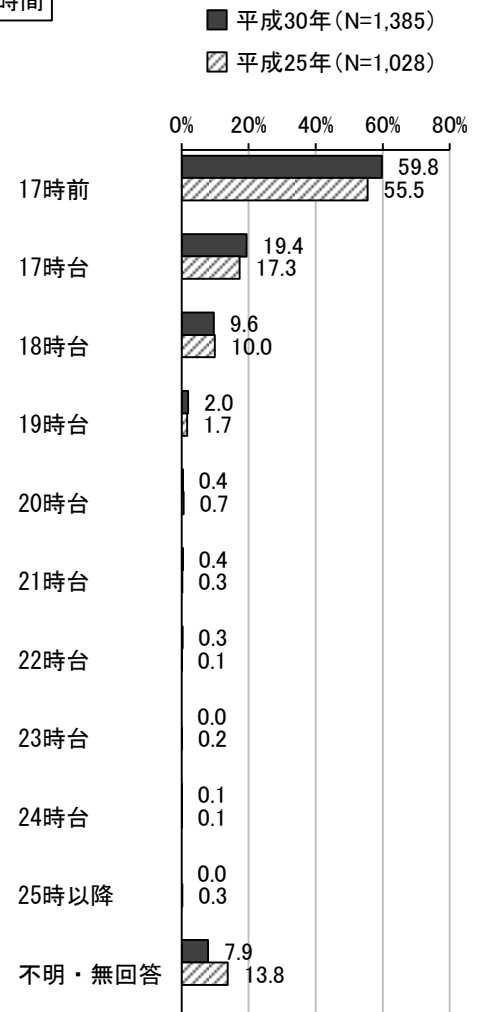
家を出る時間は、「8時台」が39.0%と最も高く、次いで「9時台」が36.7%となっています。
 帰宅時間は、「17時前」が59.8%と最も高く、次いで「17時台」が19.4%となっています。



家を出る時間



帰宅時間

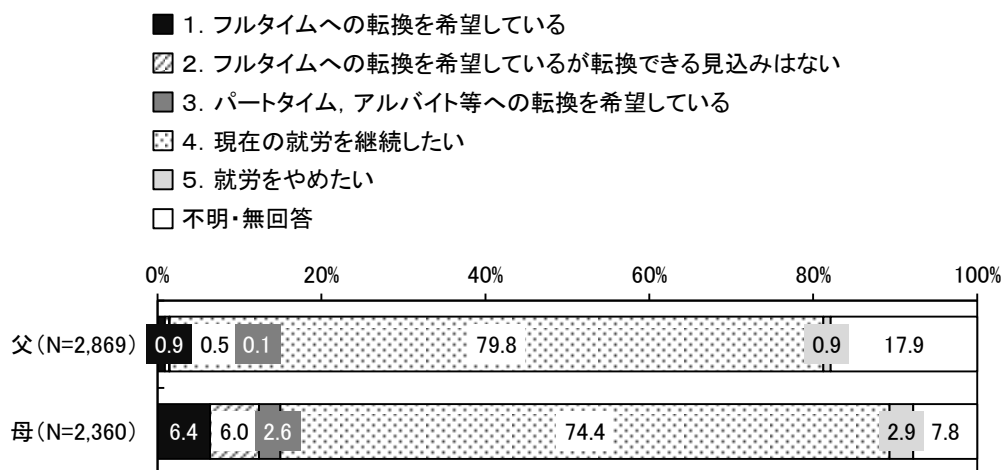


問 11(1)で「1～4」と答えた方

問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。
(〇はそれぞれ1つつつ)

父親では、「4. 現在の就労を継続したい」が79.8%と最も高くなっています。

母親では、「4. 現在の就労を継続したい」が74.4%と最も高く、次いで「1. フルタイムへの転換を希望している」が6.4%、「2. フルタイムへの転換を希望しているが転換できる見込みはない」が6.0%となっています。



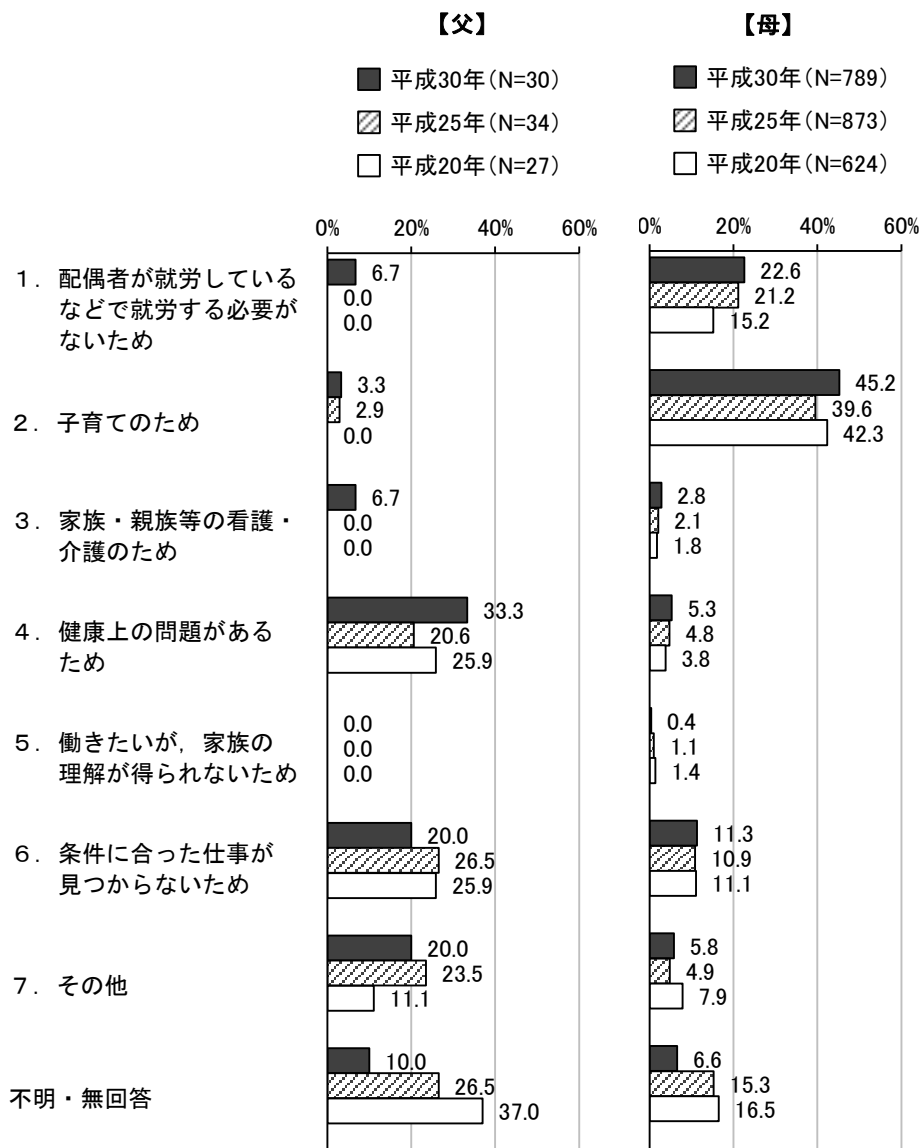
問 11(1)で「5」と答えた方

問 11(3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

父親では、「4. 健康上の問題があるため」が33.3%と最も高く、次いで「6. 条件に合った仕事が見つからないため」「7. その他」がともに20.0%となっています。

母親では、「2. 子育てのため」が45.2%と最も高く、次いで「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」が22.6%、「6. 条件に合った仕事が見つからないため」が11.3%となっています。

母親について、平成25年と比較すると、「2. 子育てのため」が5.6ポイント高く、平成20年と比較すると、「1. 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため」が7.4ポイント高くなっています。



問 11(1)で「5」と答えた方

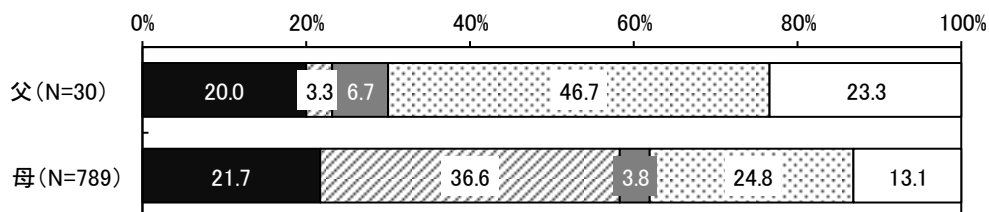
問 11(4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(〇はそれぞれ1つつ)併せて、[]に数字をご記入ください。

父親では、「4. 1年以内に就労したい」が46.7%と最も高く、次いで「1. 就労は希望していない」が20.0%、「3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい」が6.7%となっています。

母親では、「2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい」が36.6%と最も高く、次いで「4. 1年以内に就労したい」が24.8%、「1. 就労は希望していない」が21.7%となっています。

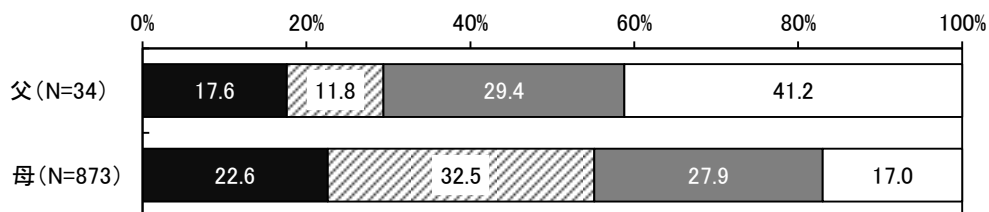
【平成30年】

- 1. 就労は希望していない
- ▨ 2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい
- 3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい
- ▨ 4. 1年以内に就労したい
- 不明・無回答



【平成25年】

- 1. 就労は希望していない
- ▨ 2. 1年より先、末子が[]歳ぐらいになったら就労したい
- 3. 1年以内に就労したい
- 不明・無回答



◆(「2」の場合)末子の年齢

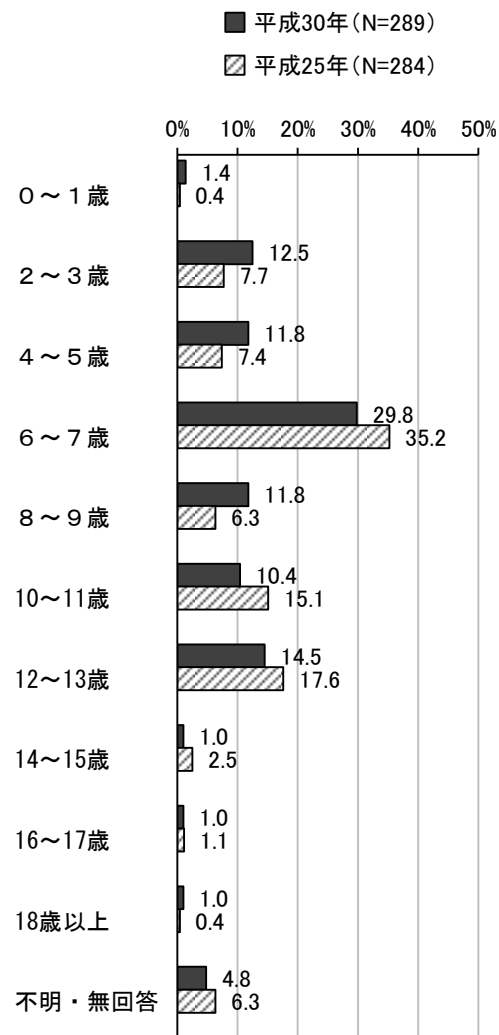
母親では、「6～7歳」が29.8%と最も高く、次いで「12～13歳」が14.5%、「2～3歳」が12.5%となっています。

【父】

(N=1)

	件数
12～13歳	1

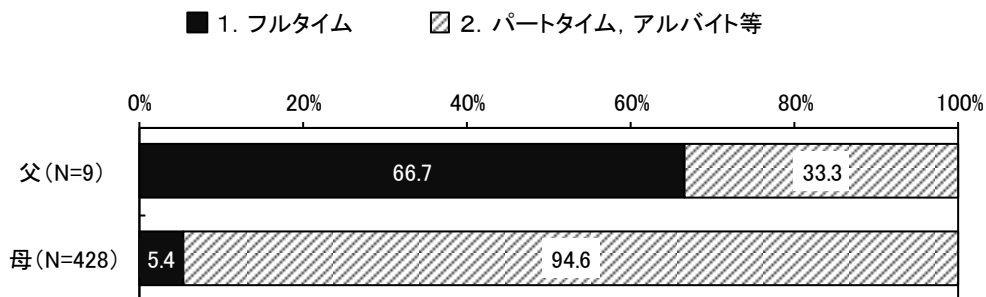
【母】



◆(「2~4」の場合)希望する就労形態

父親では、「1. フルタイム」が66.7%、「2. パートタイム, アルバイト等」が33.3%となっています。

母親では、「1. フルタイム」が5.4%、「2. パートタイム, アルバイト等」が94.6%となっています。



※不明・無回答除く

◆(「2. パートタイム, アルバイト等」での就労を希望する方)1週あたりの就労日数, 1日あたりの就労時間

母親について、1週あたりの就労日数は、「3日」が48.9%と最も高く、次いで「4日」が26.9%、「5日」が17.3%となっています。1日あたりの就労時間は、「5時間」が42.0%と最も高く、次いで「4時間」が32.1%、「6時間」が16.0%となっています。

【父】

1週あたり就労日数
(N=3)

	件数
4日	1
5日	1
不明・無回答	1

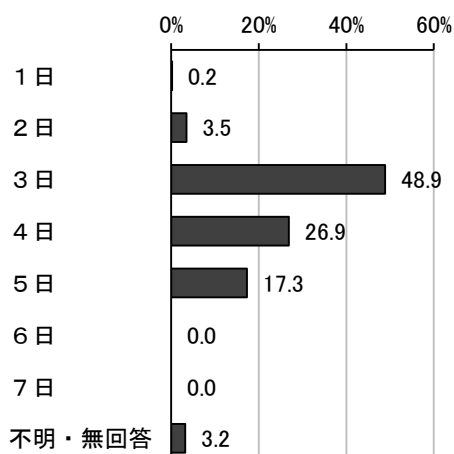
1日あたり就労時間
(N=3)

	件数
6時間	2
不明・無回答	1

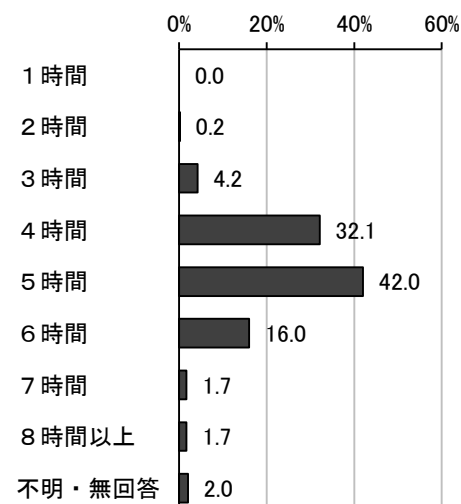
【母】

(N=405)

1週あたり就労日数



1日あたり就労時間



3 お子さまの状況について

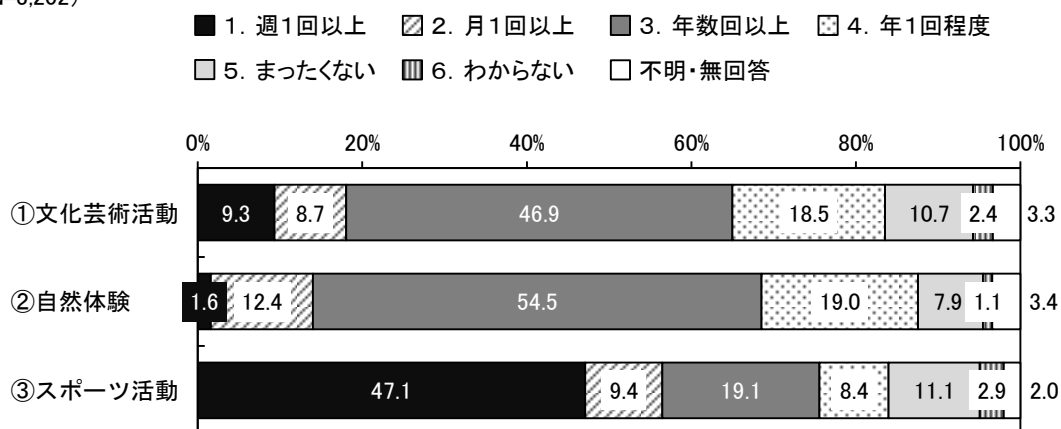
問 12 宛名のお子さまについて、学校の授業以外で、過去1年間に、自宅以外での文化芸術活動（映画、音楽、絵画、写真、演劇、能・狂言・歌舞伎などの鑑賞、体験など）や自然体験（山登り、海水浴、川遊び、キャンプなど）、スポーツ活動を行う機会はどの程度ありましたか。（〇はそれぞれ1つつつ）

①文化芸術活動は「3. 年数回以上」が46.9%と最も高く、次いで「4. 年1回程度」が18.5%、「5. まったくない」が10.7%となっています。

②自然体験は「3. 年数回以上」が54.5%と最も高く、次いで「4. 年1回程度」が19.0%、「2. 月1回以上」が12.4%となっています。

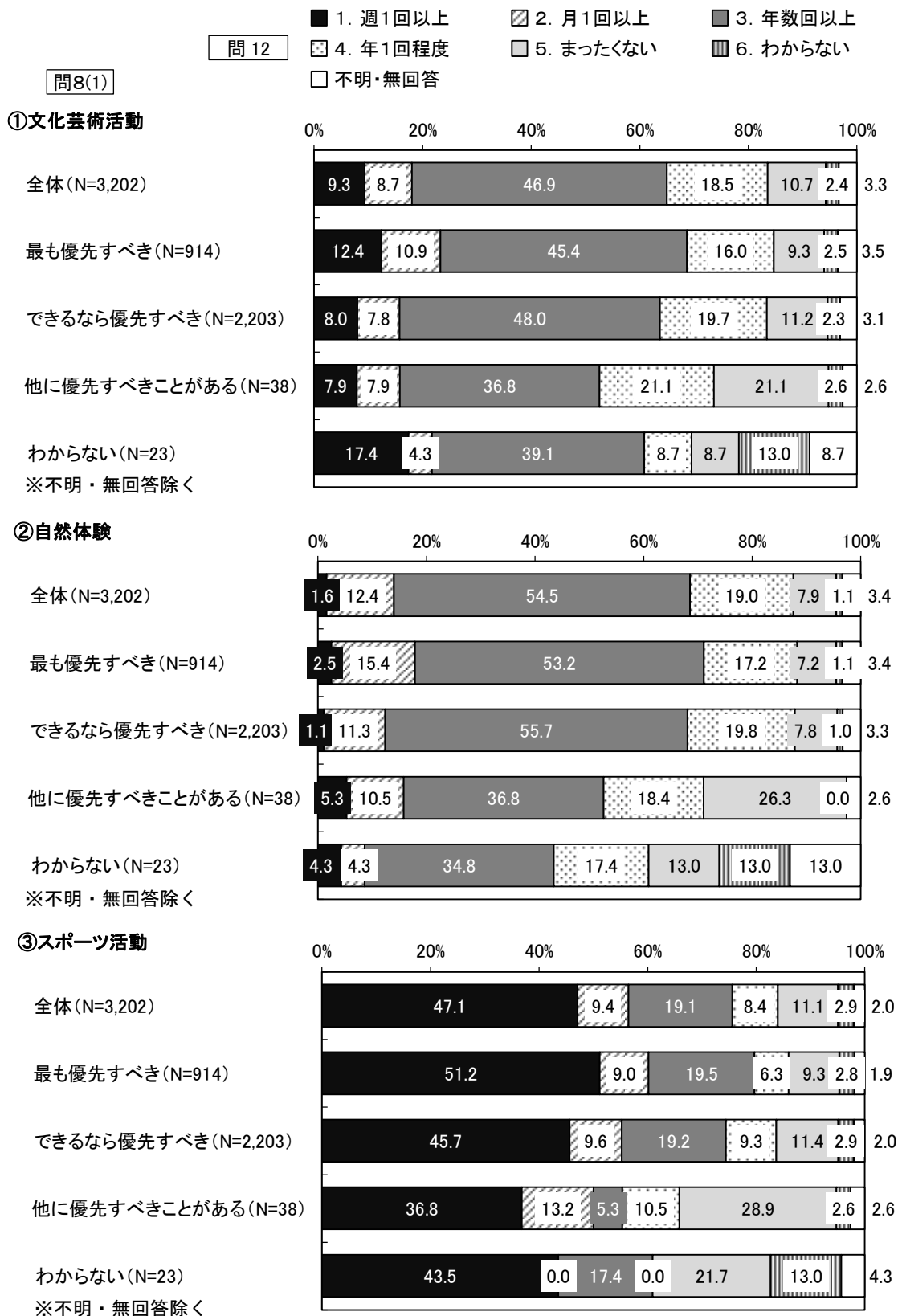
③スポーツ活動は「1. 週1回以上」が47.1%と最も高く、次いで「3. 年数回以上」が19.1%、「5. まったくない」が11.1%となっています。

(N=3,202)



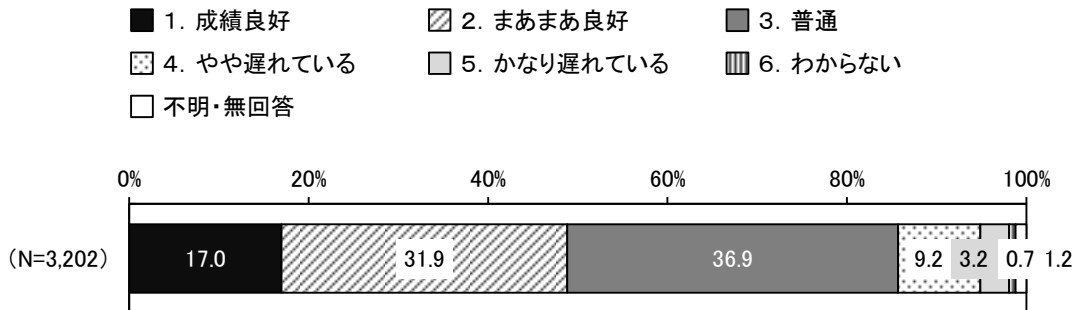
《問12×問8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

いずれの活動も子育てにかかる時間の優先度が高いほど「5. まったくない」の割合が低くなる傾向がみられます。



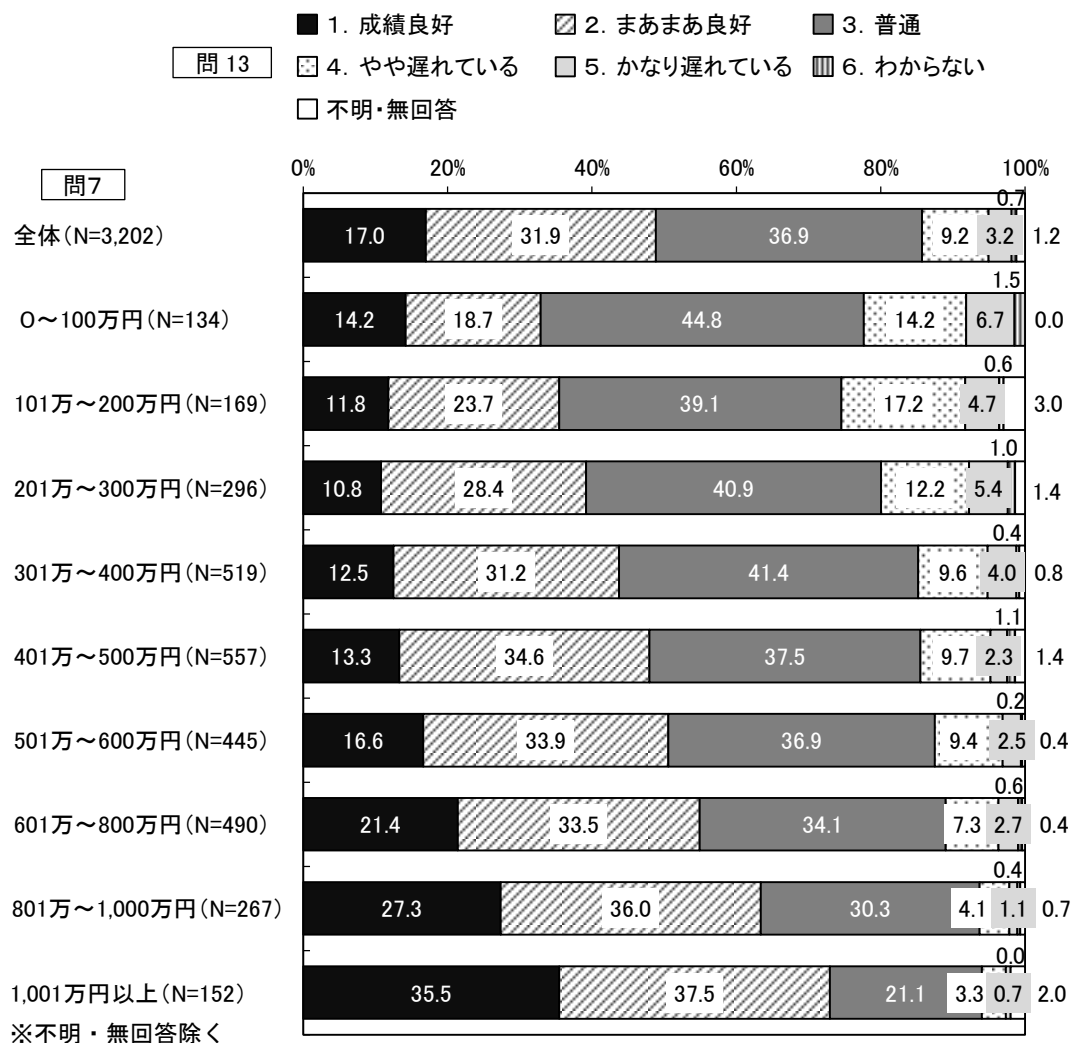
問 13 宛名のお子さまの学校での勉強の成績はどうか。(〇は1つ)

「3. 普通」が36.9%と最も高く、次いで「2. まあまあ良好」が31.9%、「1. 成績良好」が17.0%となっています。



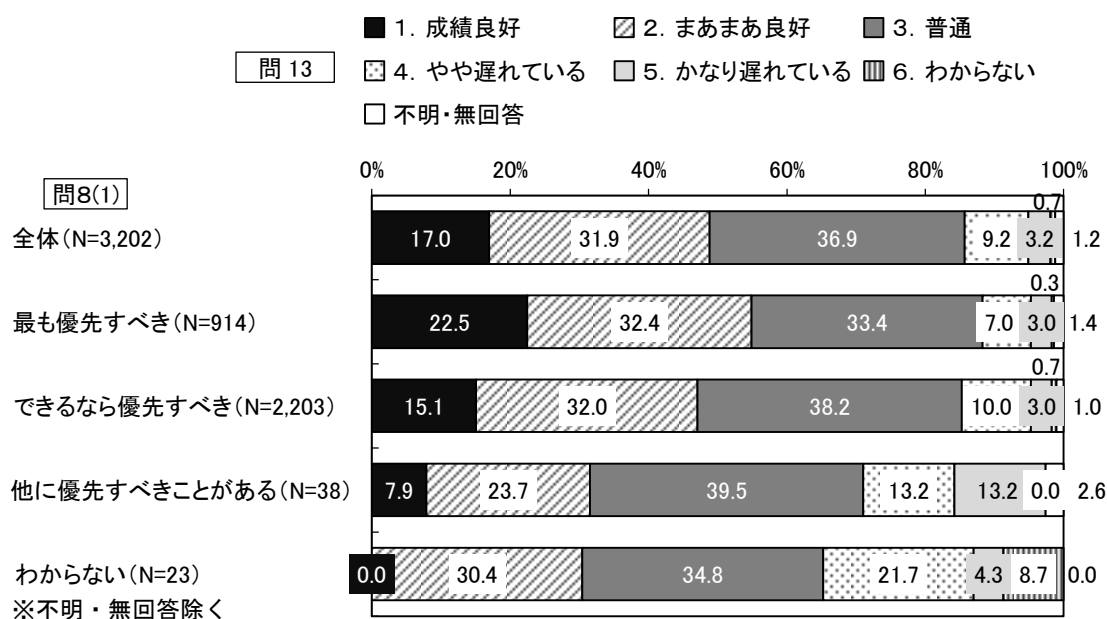
《問 13×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

昨年 1 年間の可処分所得が高いほど「良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



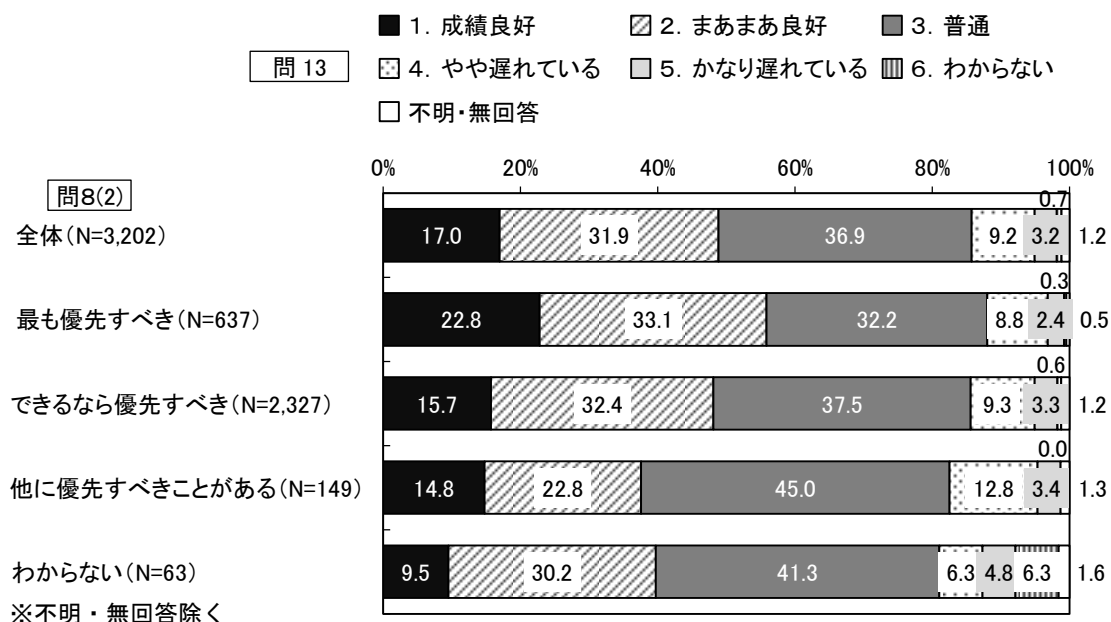
《問 13×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど「良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



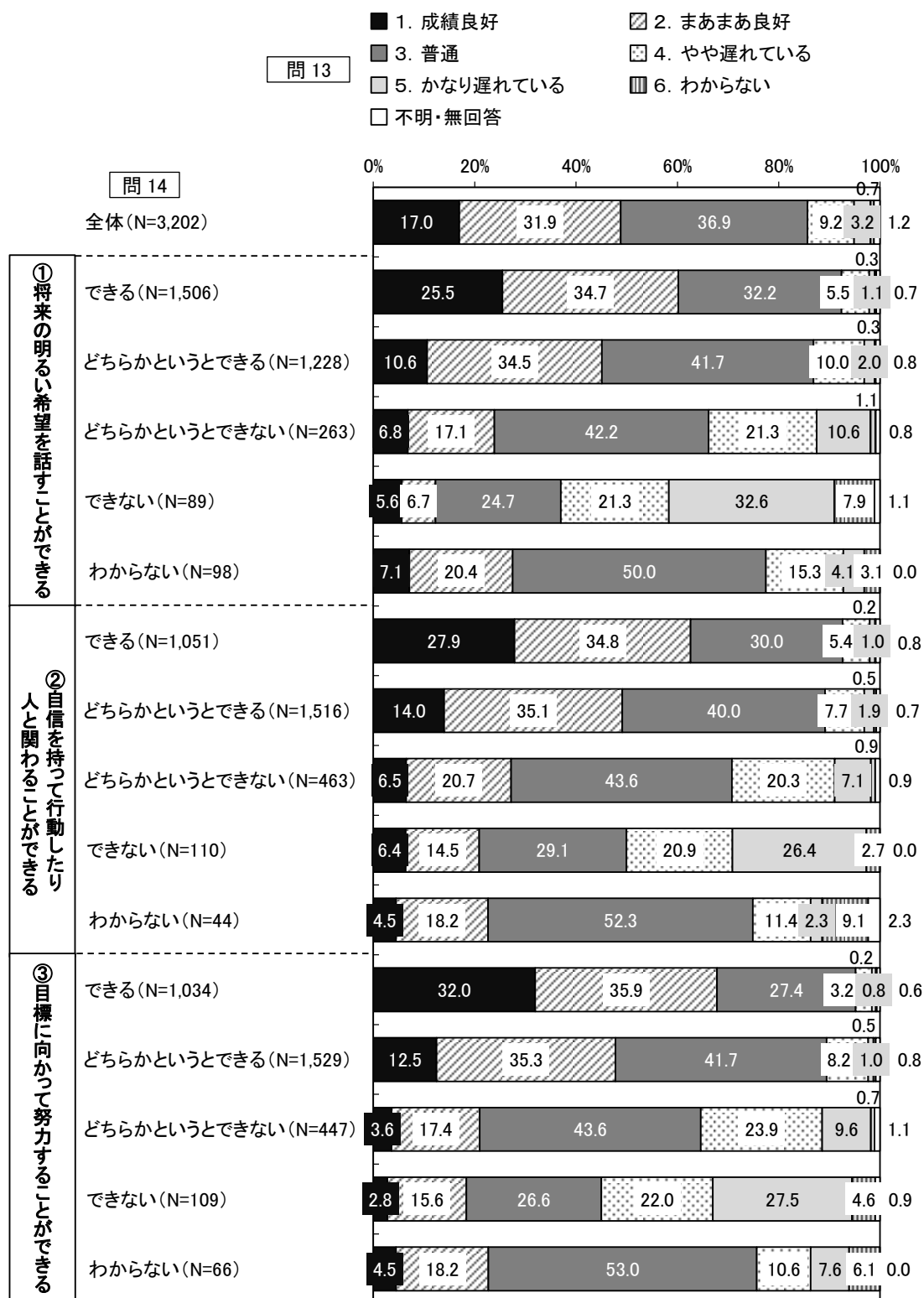
《問 13×問 8(2)子育てにかかるお金の優先度別》

子育てにかかるお金の優先度が高いほど「良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 13×問 14 子どもの様子別》

子どもの自己肯定感が高いほど「良好（「1. 成績良好」と「2. まあまあ良好」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



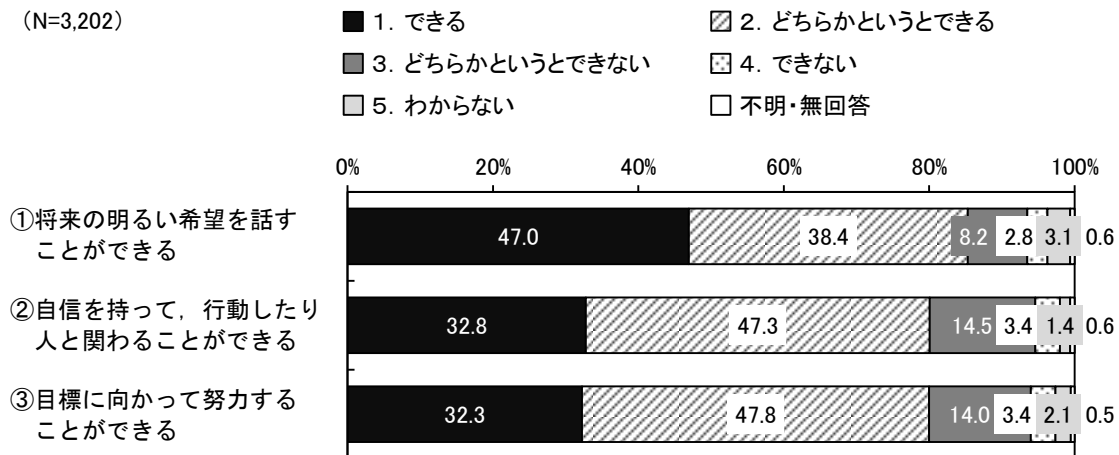
※不明・無回答除く

問 14 宛名のお子さまの様子について、それぞれお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

①将来の明るい希望を話すことができるでは、「1. できる」が47.0%と最も高く、次いで「2. どちらかというところできる」が38.4%となっています。

②自信を持って、行動したり人と関わることができるでは、「2. どちらかというところできる」が47.3%と最も高く、次いで「1. できる」が32.8%となっています。

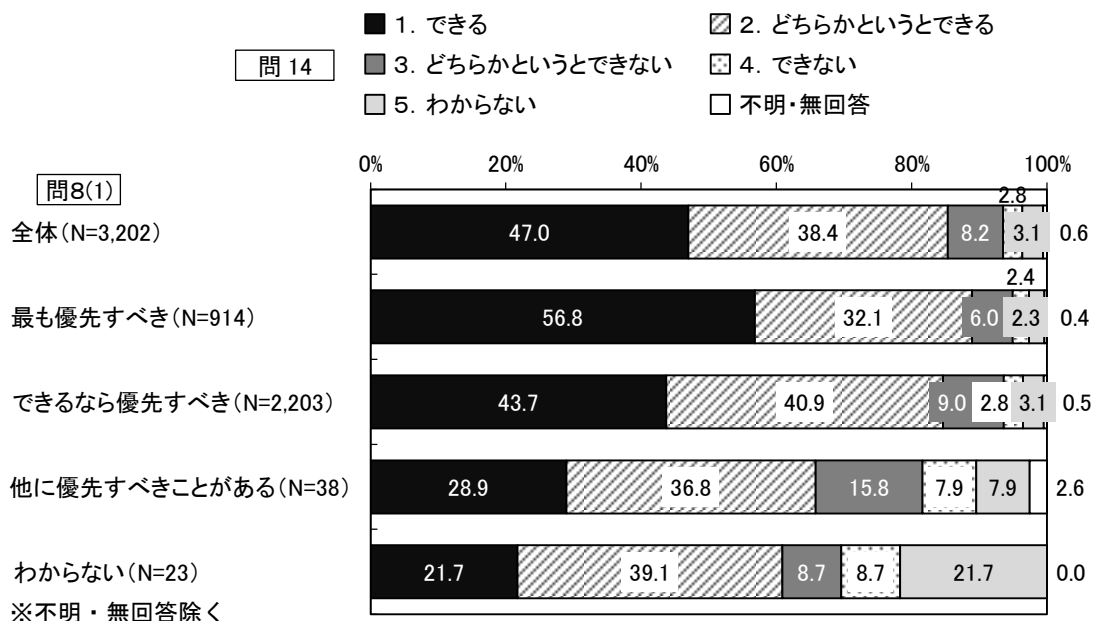
③目標に向かって努力することができるでは、「2. どちらかというところできる」が47.8%と最も高く、次いで「1. できる」が32.3%となっています。



《問 14×問 8(1)子育てにかけける時間の優先度別》

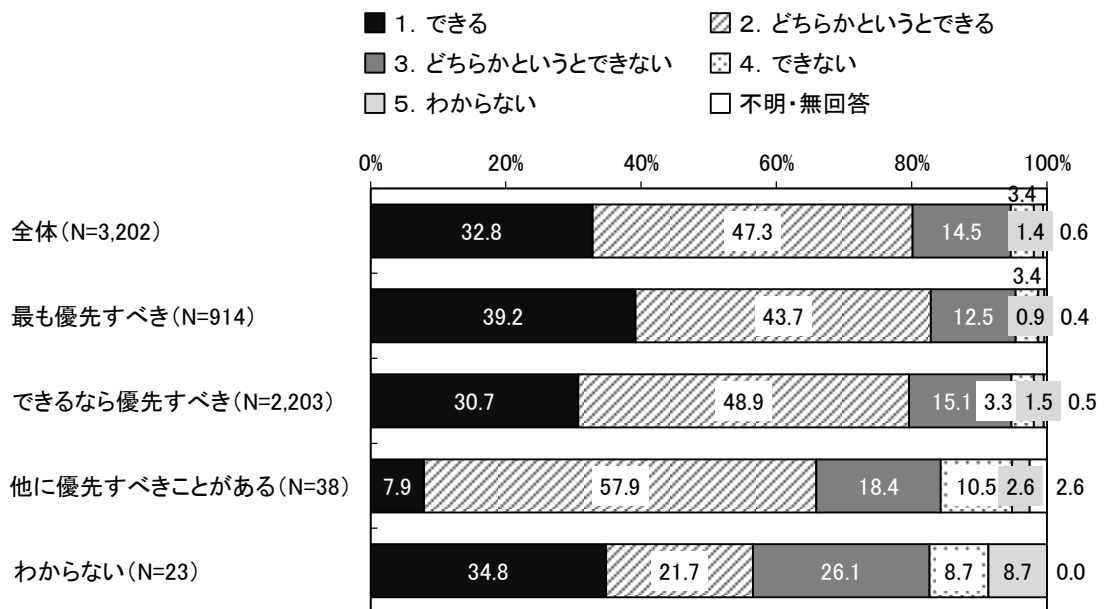
①将来の明るい希望を話すことができるについて、子育てにかけける時間の優先度が高いほど「1. できる」の割合が高くなる傾向がみられます。

①将来の明るい希望を話すことができる

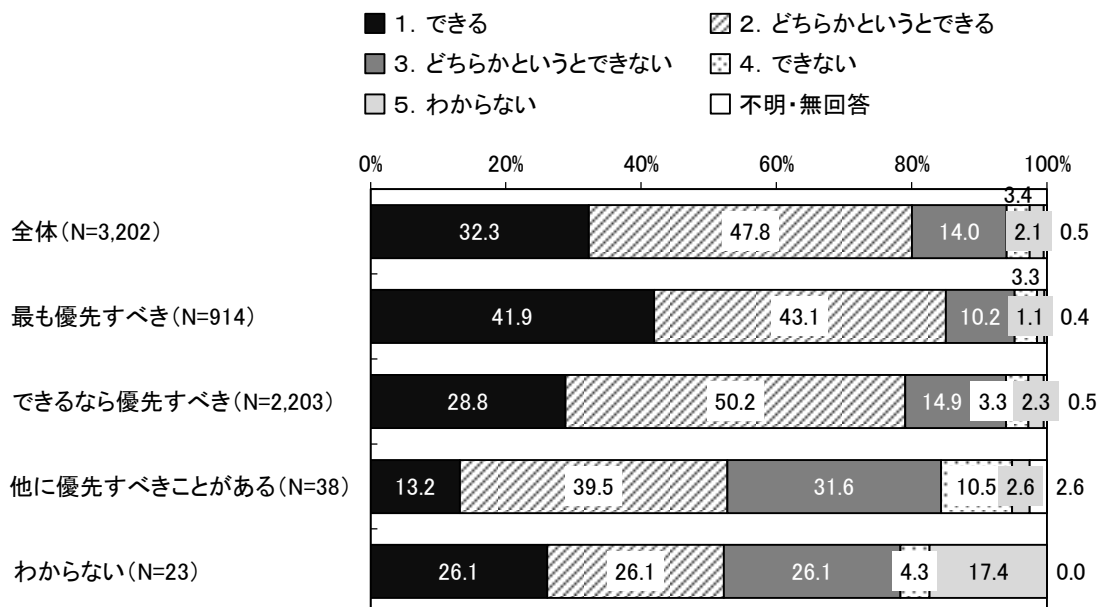


②自信を持って、行動したり人と関わることができる、③目標に向かって努力することができるについて、子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. できる」の割合が高くなる傾向がみられます。

②自信を持って、行動したり人と関わることができる



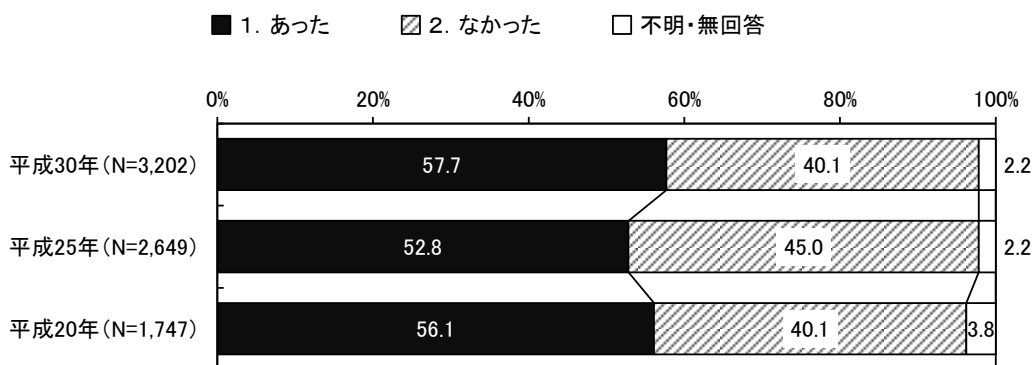
③目標に向かって努力することができる



4 お子さまの病気・病後時の対応について

問 15(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(〇は1つ)

「1. あった」が57.7%、「2. なかった」が40.1%となっています。
平成25年と比較すると、「1. あった」が4.9ポイント高くなっています。

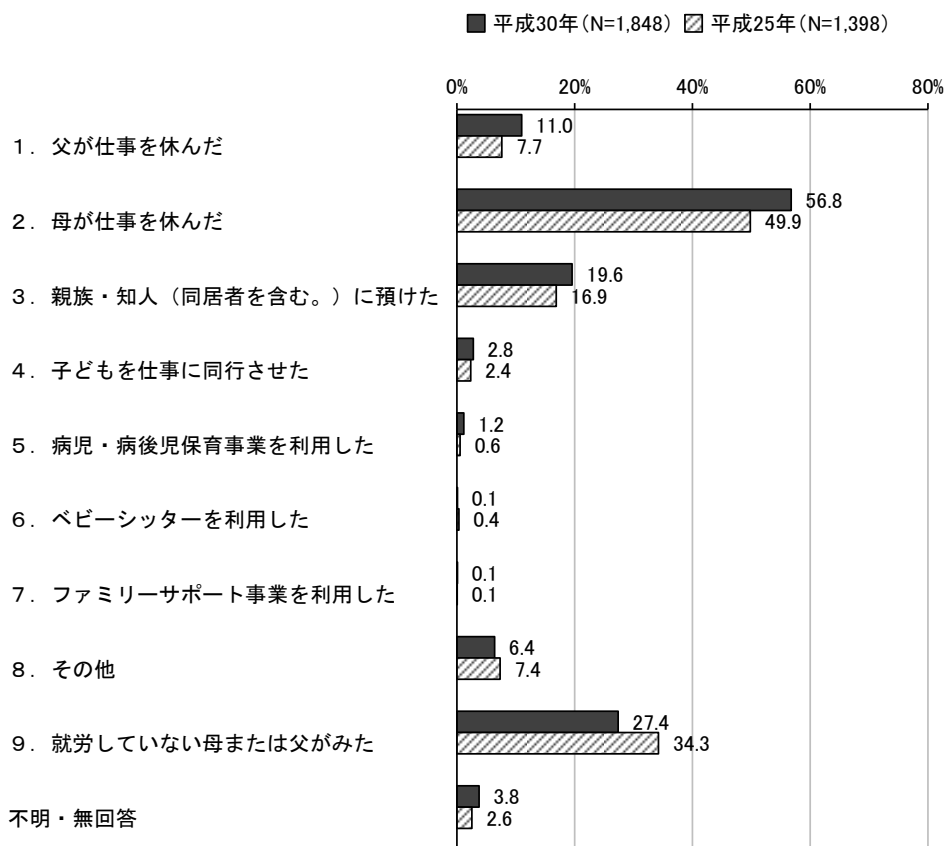


問 15(1)で「1」と答えた方

問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
また、それぞれの日数をご記入ください。

「2. 母が仕事を休んだ」が56.8%と最も高く、次いで「9. 就労していない母または父がみた」が27.4%、「3. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が19.6%となっています。

平成25年と比較すると、「2. 母が仕事を休んだ」が6.9ポイント高く、「9. 就労していない母または父がみた」が6.9ポイント低くなっています。



《問 15(2)×問 5(1)同居・近居の状況別》

「父と同居(ひとり親家庭)」では「親族・知人(同居者を含む。)に預けた」、それ以外では「母が仕事を休んだ」の割合が最も高くなっています。

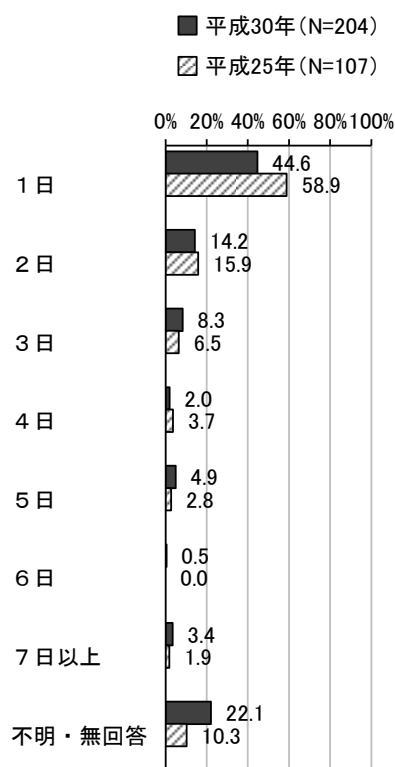
上段:件数 下段:%	合計	父が仕事を休んだ	母が仕事を休んだ	親族・知人(同居者を含む。)に預けた	子どもを仕事に同行させた	病児・病後児保育事業を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリーサポート事業を利用した	その他	就労していない母または父がみた	不明・無回答	
全体	1,848 100.0	204 11.0	1,049 56.8	362 19.6	51 2.8	22 1.2	2 0.1	1 0.1	119 6.4	506 27.4	70 3.8	
同居・近居の状況別	父母と同居	1,595 100.0	190 11.9	907 56.9	279 17.5	42 2.6	17 1.1	2 0.1	1 0.1	100 6.3	472 29.6	54 3.4
	父と同居(ひとり親家庭)	11 100.0	3 27.3	0 0.0	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	
	母と同居(ひとり親家庭)	163 100.0	0 0.0	104 63.8	57 35.0	6 3.7	5 3.1	0 0.0	0 0.0	10 6.1	19 11.7	9 5.5
	祖父と同居	97 100.0	3 3.1	49 50.5	37 38.1	4 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 8.2	22 22.7	3 3.1
	祖母と同居	143 100.0	6 4.2	74 51.7	57 39.9	4 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 8.4	27 18.9	6 4.2
	祖父と近居	287 100.0	30 10.5	155 54.0	91 31.7	6 2.1	2 0.7	1 0.3	1 0.3	18 6.3	82 28.6	11 3.8
	祖母と近居	333 100.0	30 9.0	180 54.1	110 33.0	7 2.1	2 0.6	1 0.3	1 0.3	16 4.8	98 29.4	11 3.3
	その他	73 100.0	7 9.6	36 49.3	18 24.7	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.7	23 31.5	3 4.1

※不明・無回答除く

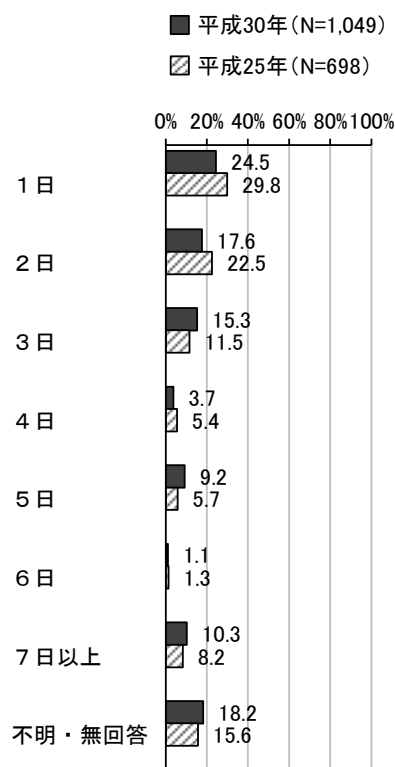
◆年間の日数

「1. 父が仕事を休んだ」「2. 母が仕事を休んだ」「3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた」「4. 子どもを仕事に同行させた」「5. 病児・病後児保育事業を利用した」では「1日」, 「9. 就労していない母または父がみた」では「7日以上」の割合が最も高くなっています。

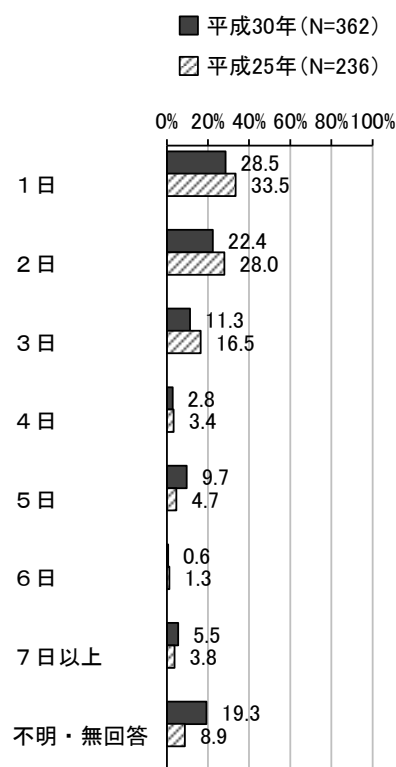
1. 父が仕事を休んだ



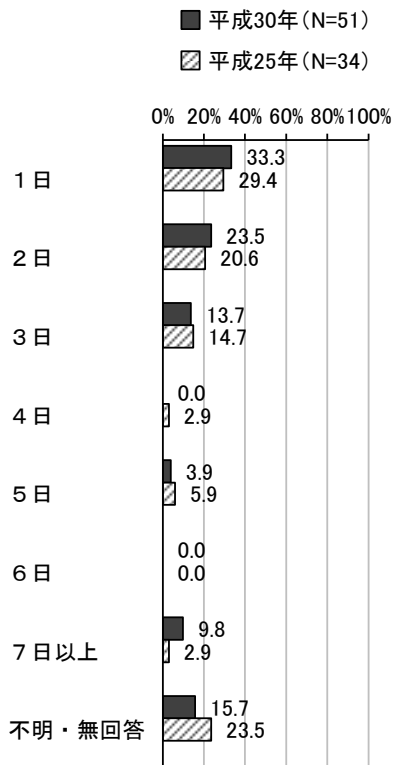
2. 母が仕事を休んだ



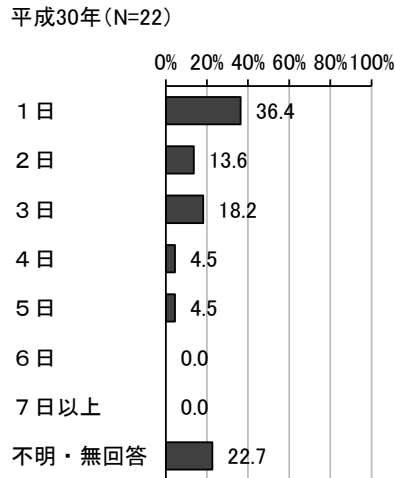
3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた



4. 子どもを仕事に同行させた



5. 病児・病後児保育事業を利用した



6. ベビーシッターを利用した

平成30年 (N=2)

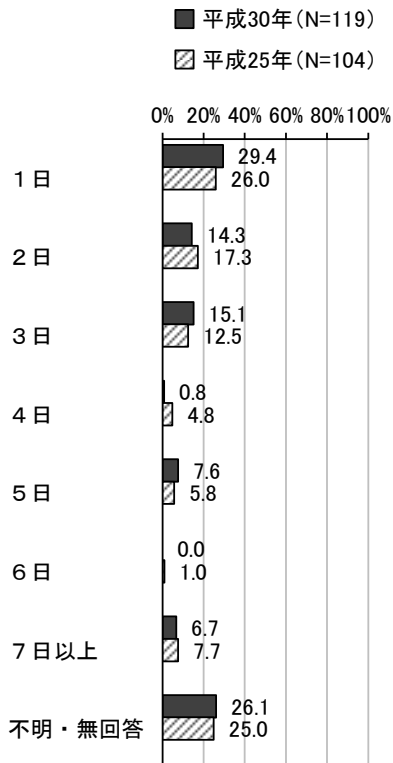
	件数
7日以上	1
不明・無回答	1

7. ファミリーサポート事業を利用した

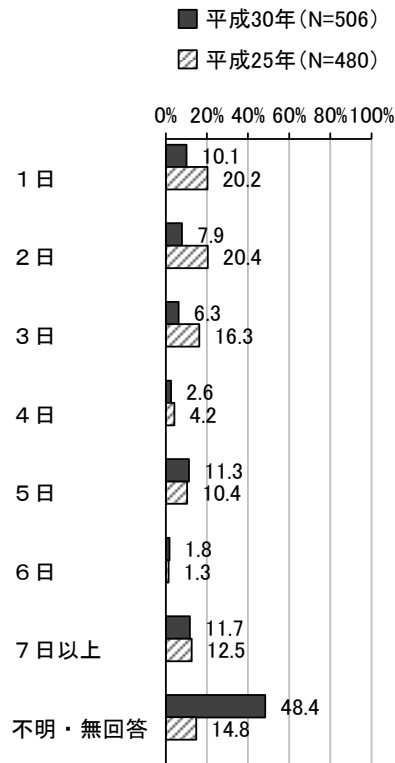
平成30年 (N=1)

	件数
1日	1

8. その他



9. 就労していない母または父がみた

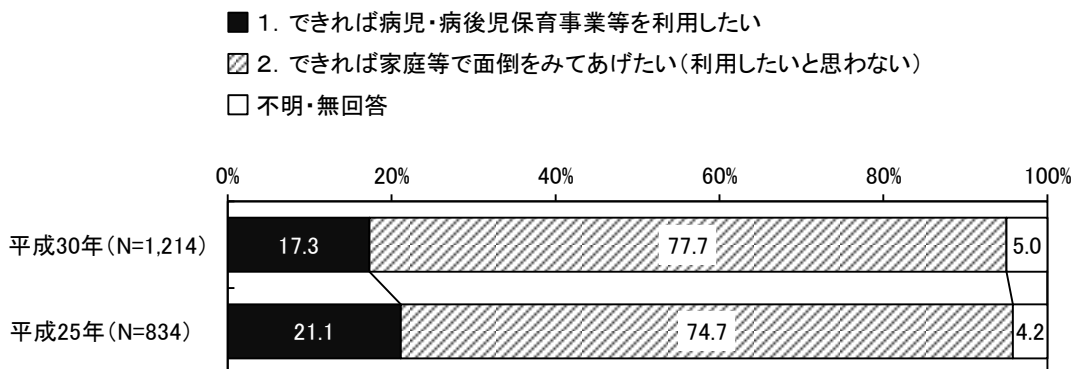


問 15(2)で「1～4」と答えた方

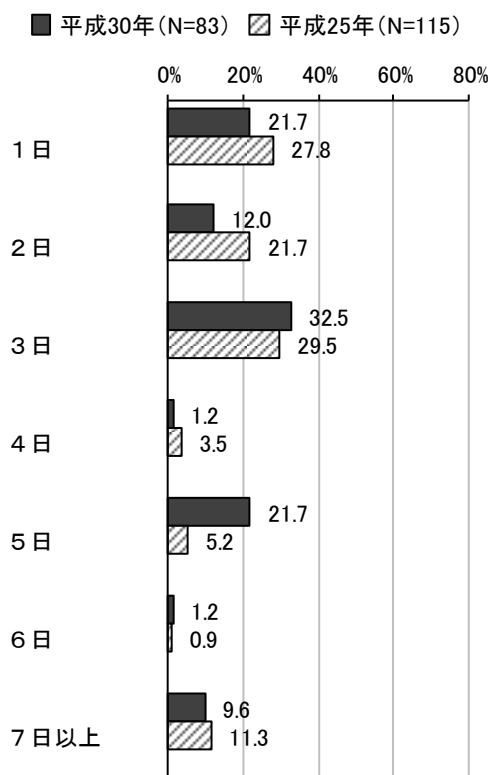
問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(○は1つ)
また利用したい日数についてもご記入ください。

「1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい」が17.3%、「2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない)」が77.7%となっています。平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

利用したい日数は、「3日」が最も多く、次いで「1日」「5日」となっています。



◆(「1」の場合)利用したい日数



※不明・無回答除く

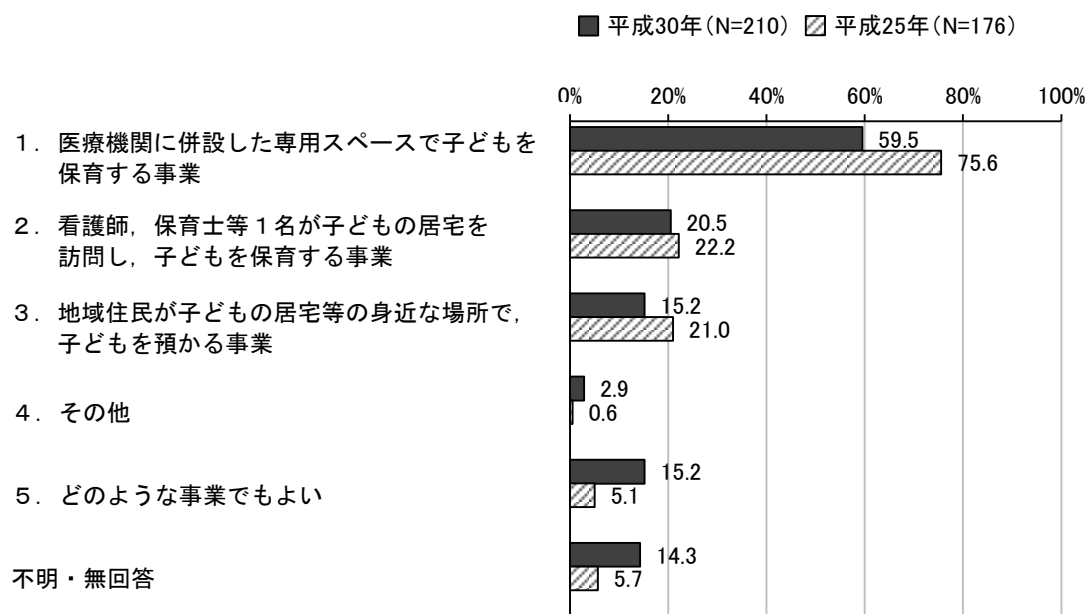
問 15(3)で「1」と答えた方

問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。

(〇はいくつでも)

「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 59.5%と最も高く、次いで「2. 看護師、保育士等 1 名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業」が 20.5%となっています。

平成 25 年と比較すると、「1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業」が 16.1 ポイント低く、「5. どのような事業でもよい」が 10.1 ポイント高くなっています。

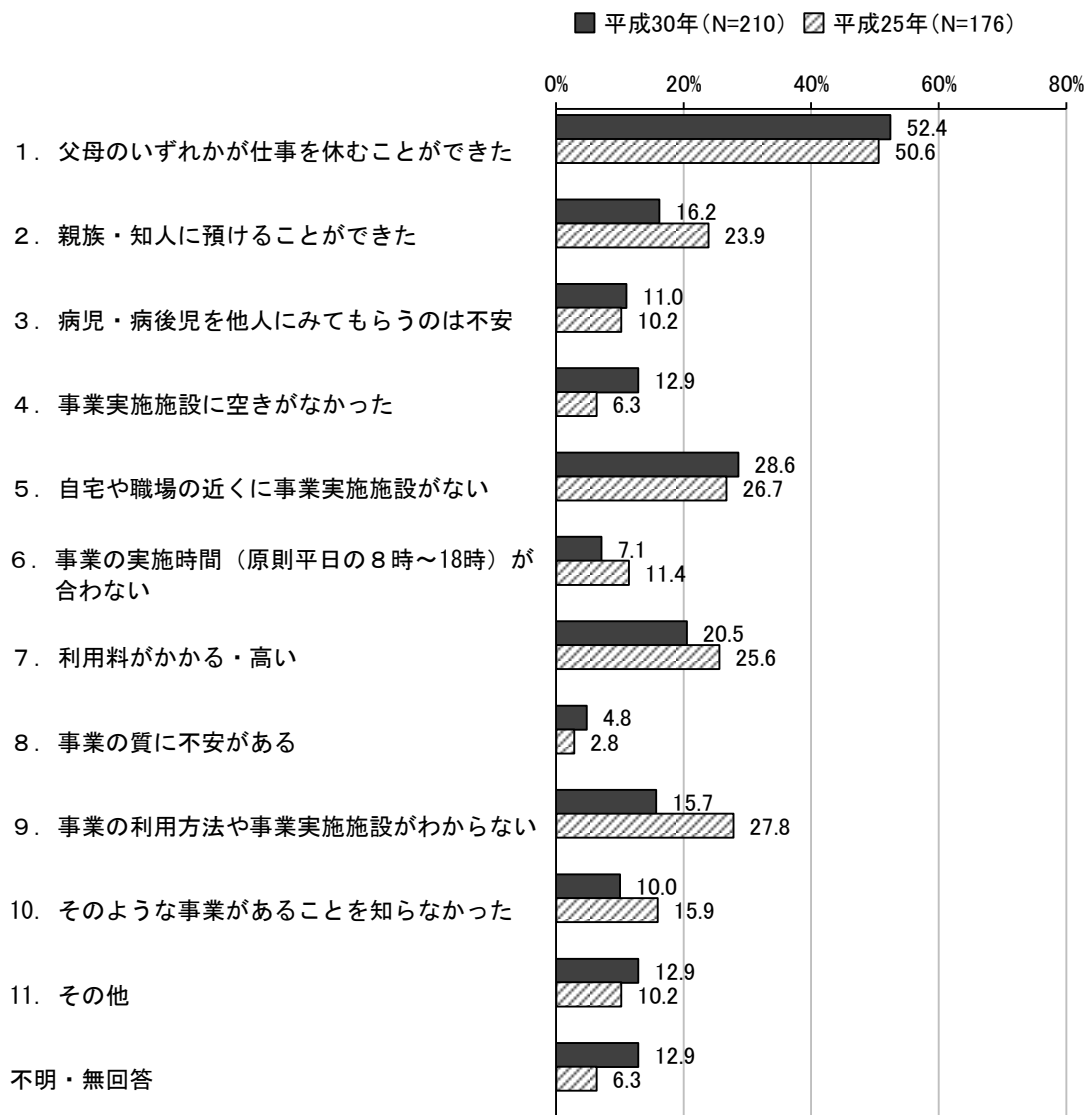


問 15(3)で「1」と答えた方

問 15(5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた」が52.4%と最も高く、次いで「5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない」が28.6%、「7. 利用料がかかる・高い」が20.5%となっています。

平成25年と比較すると、「9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない」が12.1ポイント、「2. 親族・知人に預けることができた」が7.7ポイント低くなっています。

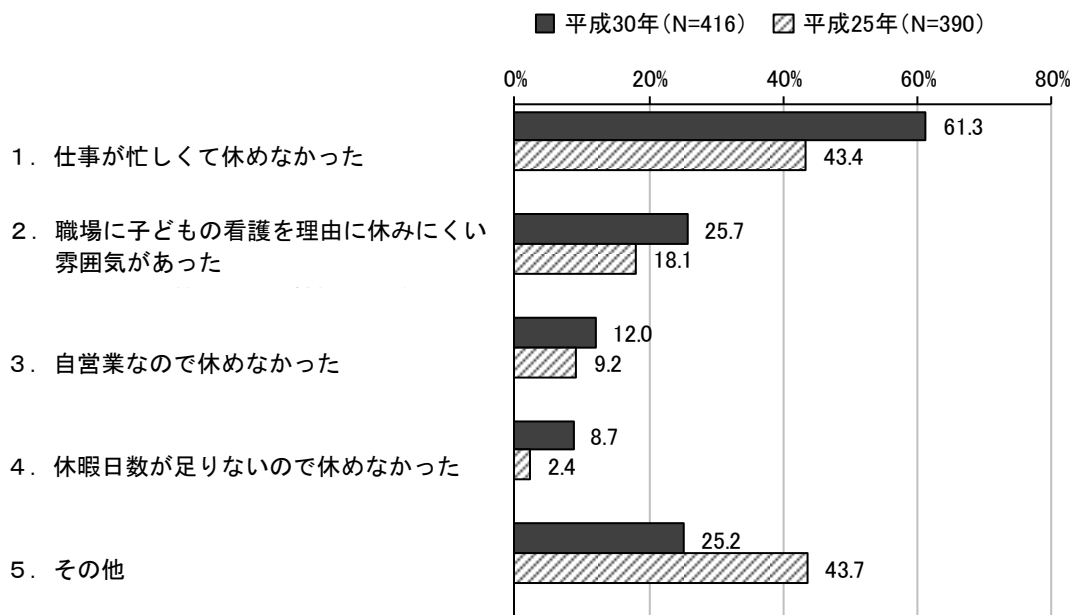


問 15(2)で「3～8」と答えた方

問 15(6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が61.3%と最も高く、次いで「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が25.7%、「3. 自営業なので休めなかった」が12.0%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 仕事が忙しくて休めなかった」が17.9ポイント、「2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった」が7.6ポイント高くなっています。



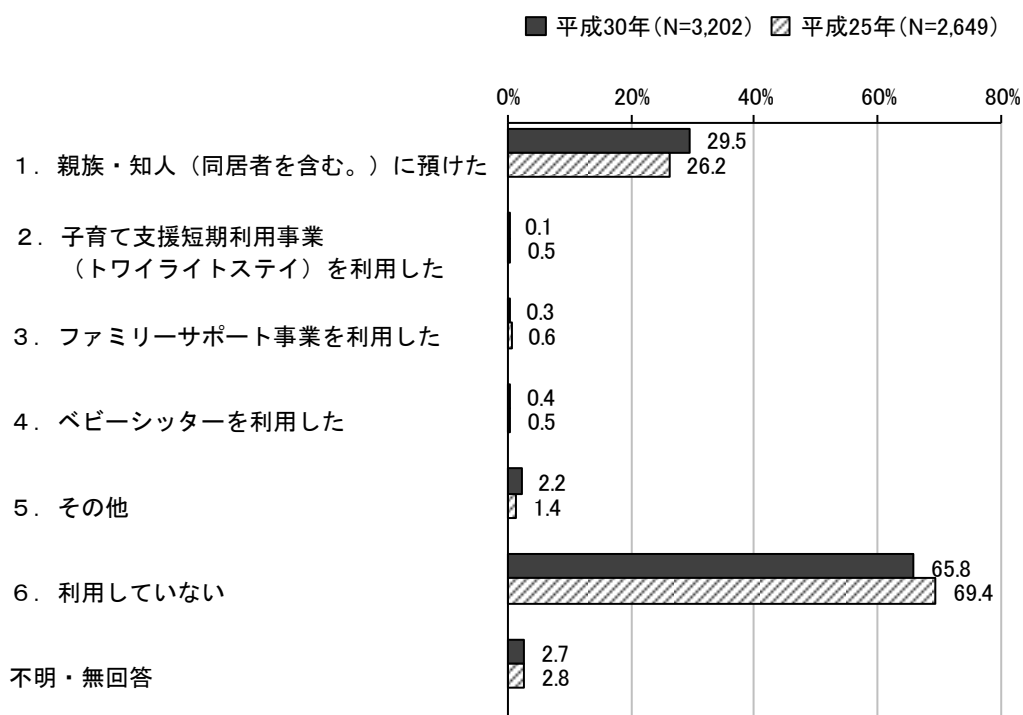
※不明・無回答除く

5 お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについて

問 16(1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも)
また、利用したことがある場合は、() 内にそれぞれの日数(半日程度でも1日としてカウント)をご記入ください。

「6. 利用していない」が65.8%と最も高く、次いで「1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた」が29.5%となっています。

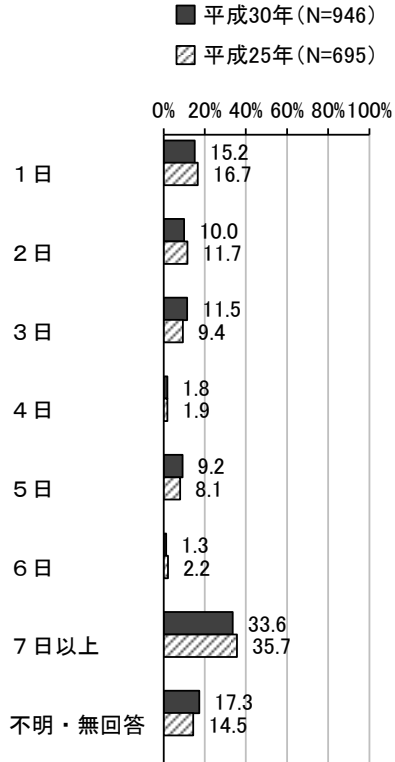
平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



◆年間の日数

「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」「3. ファミリーサポート事業を利用した」「4. ベビーシッターを利用した」では「7日以上」の割合が最も高くなっています。

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた

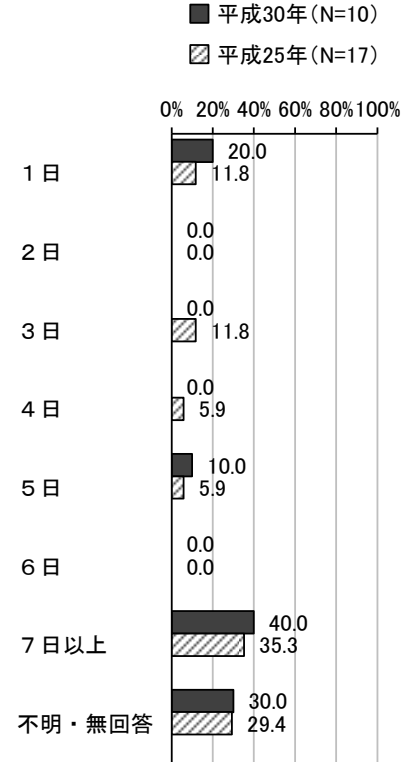


2. 子育て支援短期利用事業（トワイライトステイ）を利用した

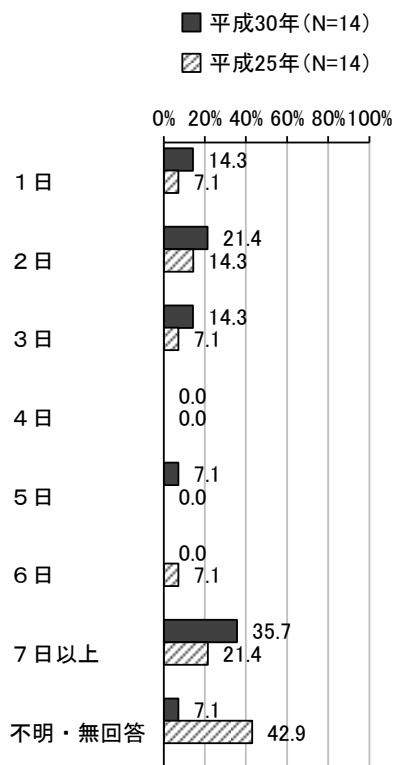
平成30年 (N=4)

	件数
1日	1
3日	1
6日	1
不明・無回答	1

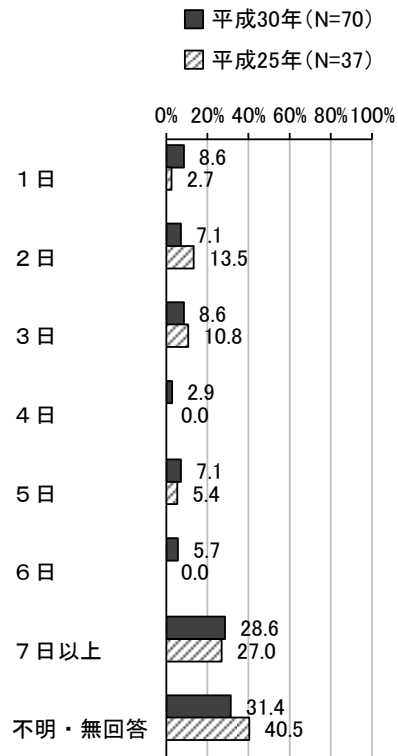
3. ファミリーサポート事業を利用した



4. ベビーシッターを利用した



5. その他

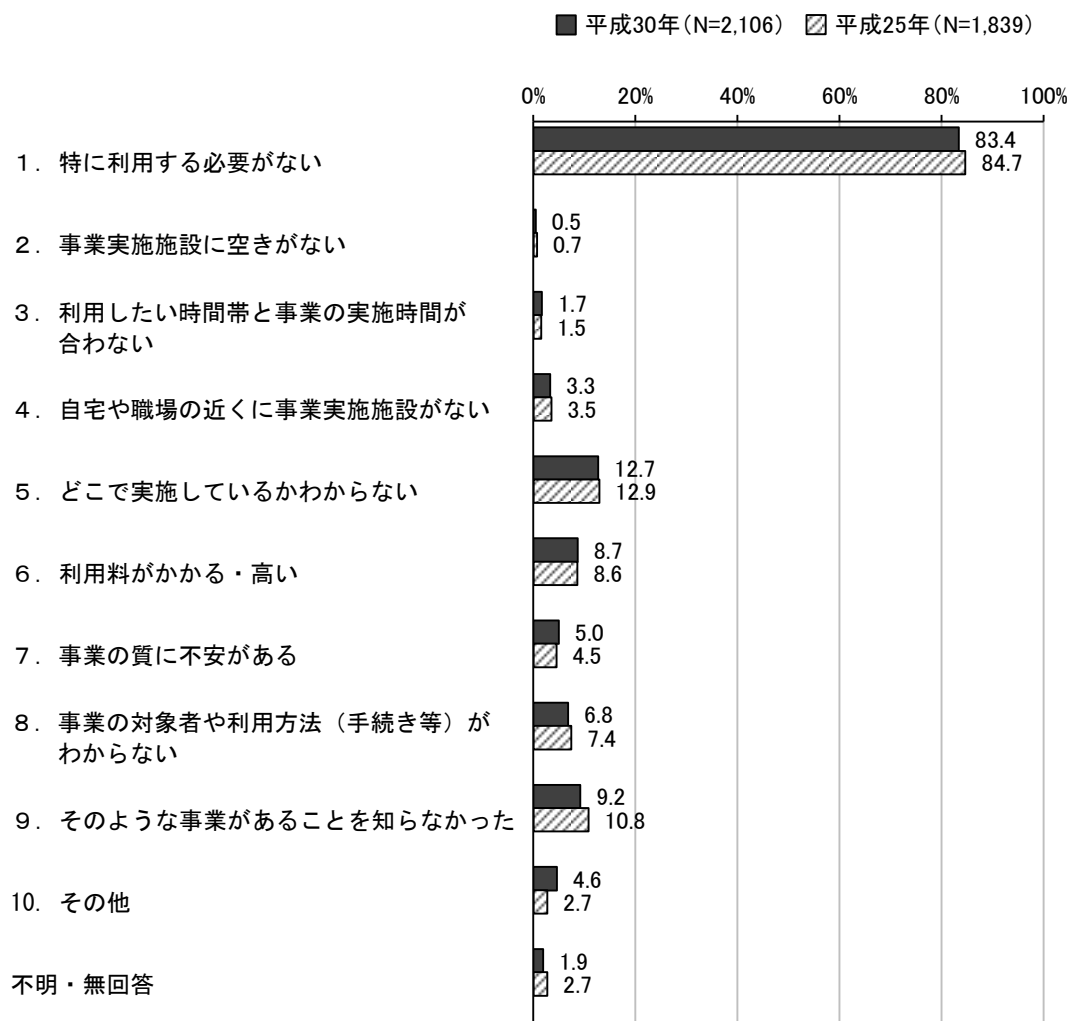


問 16(1)で「6」と答えた方

問 16(2) 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

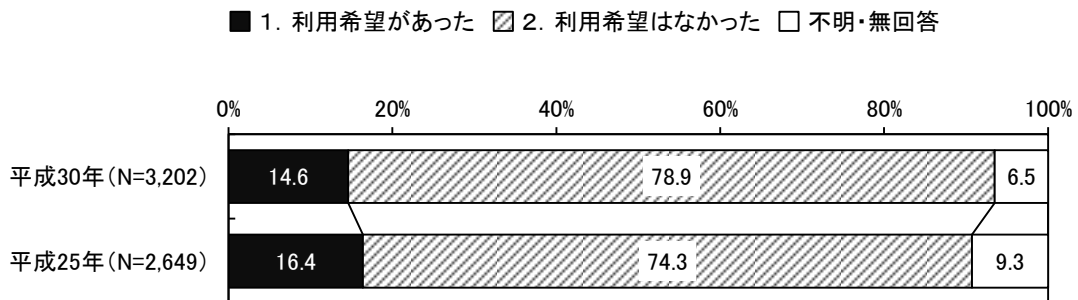
「1. 特に利用する必要がない」が83.4%と最も高く、次いで「5. どこで実施しているかわからない」が12.7%,「9. そのような事業があることを知らなかった」が9.2%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。



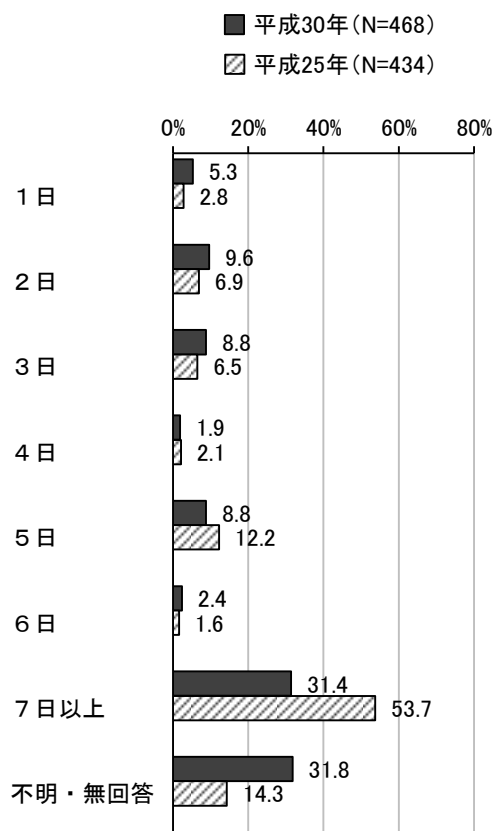
問 17(1) この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。(〇は1つ)
 利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数(半日程度でも1日としてカウント)を()内にご記入ください。

「1. 利用希望があった」が14.6%、「2. 利用希望はなかった」が78.9%となっています。
 平成25年と比較すると、「2. 利用希望はなかった」が4.6ポイント高くなっています。



◆(「1」の場合)年間の希望日数

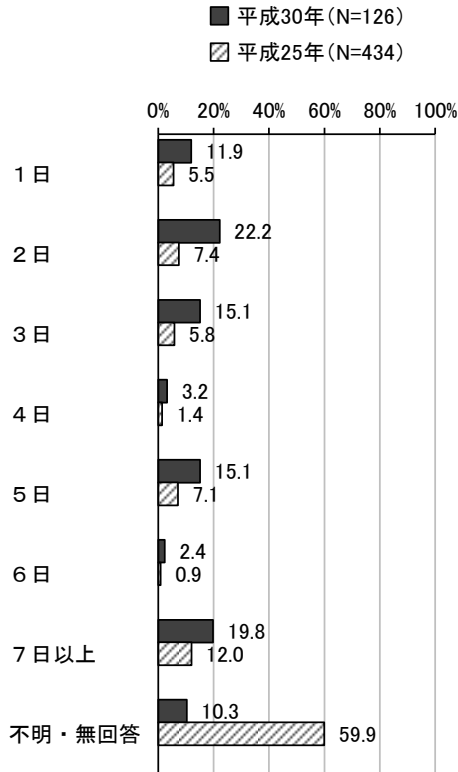
年間の希望日数は、「7日以上」が31.4%と最も高く、次いで「2日」が9.6%となっています。
 平成25年と比較すると、「7日以上」が22.3ポイント低くなっています。



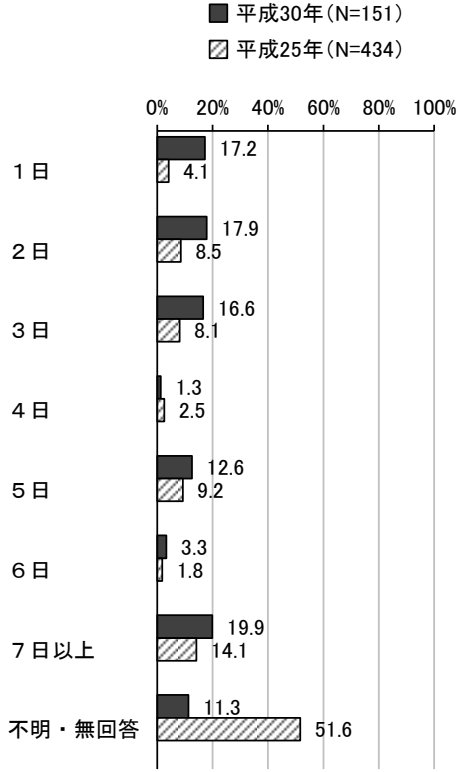
◆(「1」の場合)理由別の年間希望日数

「①私用, リフレッシュ目的」を除き, 「7日以上」の割合が最も高くなっています。

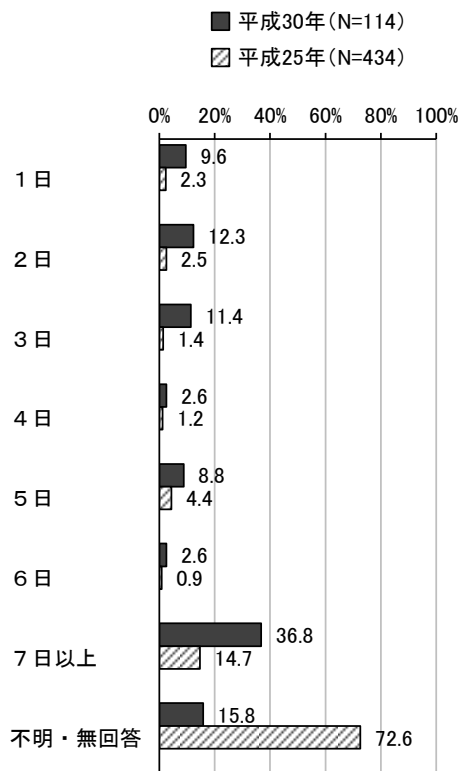
①私用, リフレッシュ目的



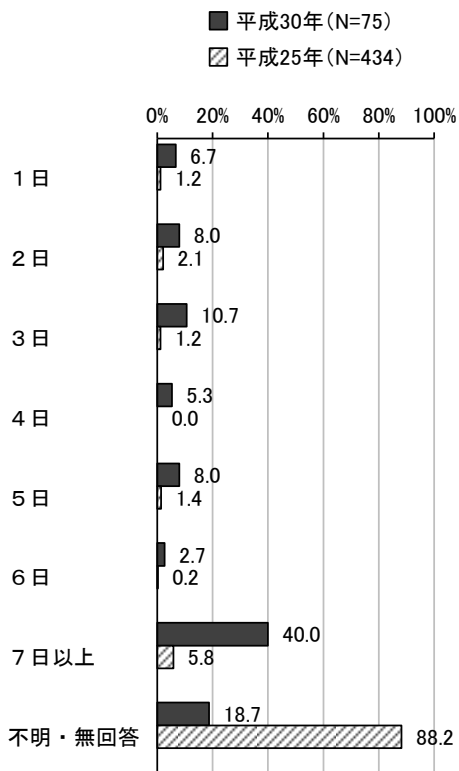
②冠婚葬祭, 兄弟姉妹の学校行事, 保護者や兄弟姉妹の病気等



③不定期の就労



④その他



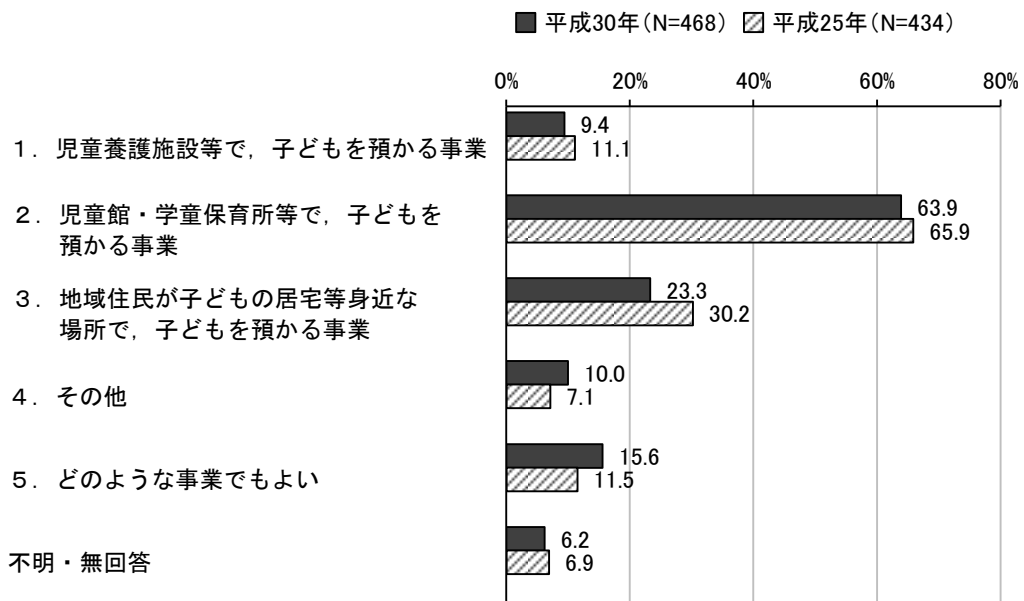
問 17(1)で「1」と答えた方

問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。

(〇はいくつでも)

「2. 児童館・学童保育所等で、子どもを預かる事業」が63.9%と最も高く、次いで「3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が23.3%、「5. どのような事業でもよい」が15.6%となっています。

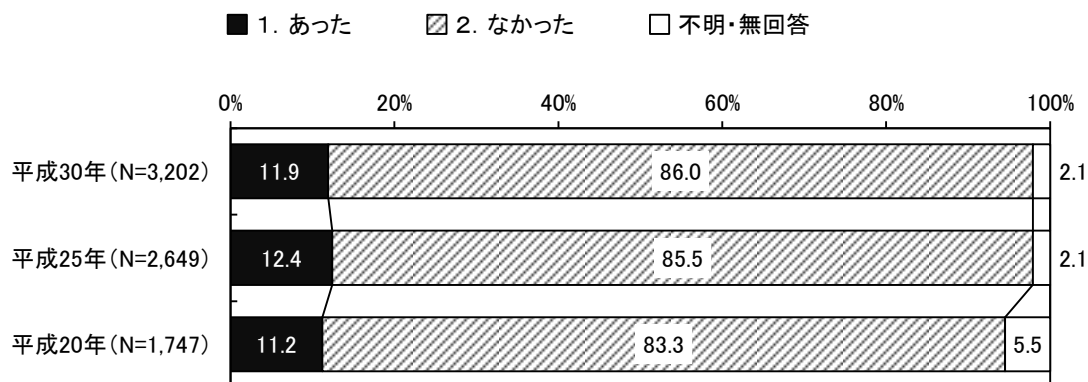
平成25年と比較すると、「3. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業」が6.9ポイント低くなっています。



6 お子さまの宿泊を伴う一時預かりについて

問 18(1) この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭，保護者・家族の病気等）により，宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと（預け先が見つからなかった場合を含む。）はありましたか。（〇は1つ）

「1. あった」が11.9%、「2. なかった」が86.0%となっています。
過去調査と比較すると，特に大きな差はみられません。

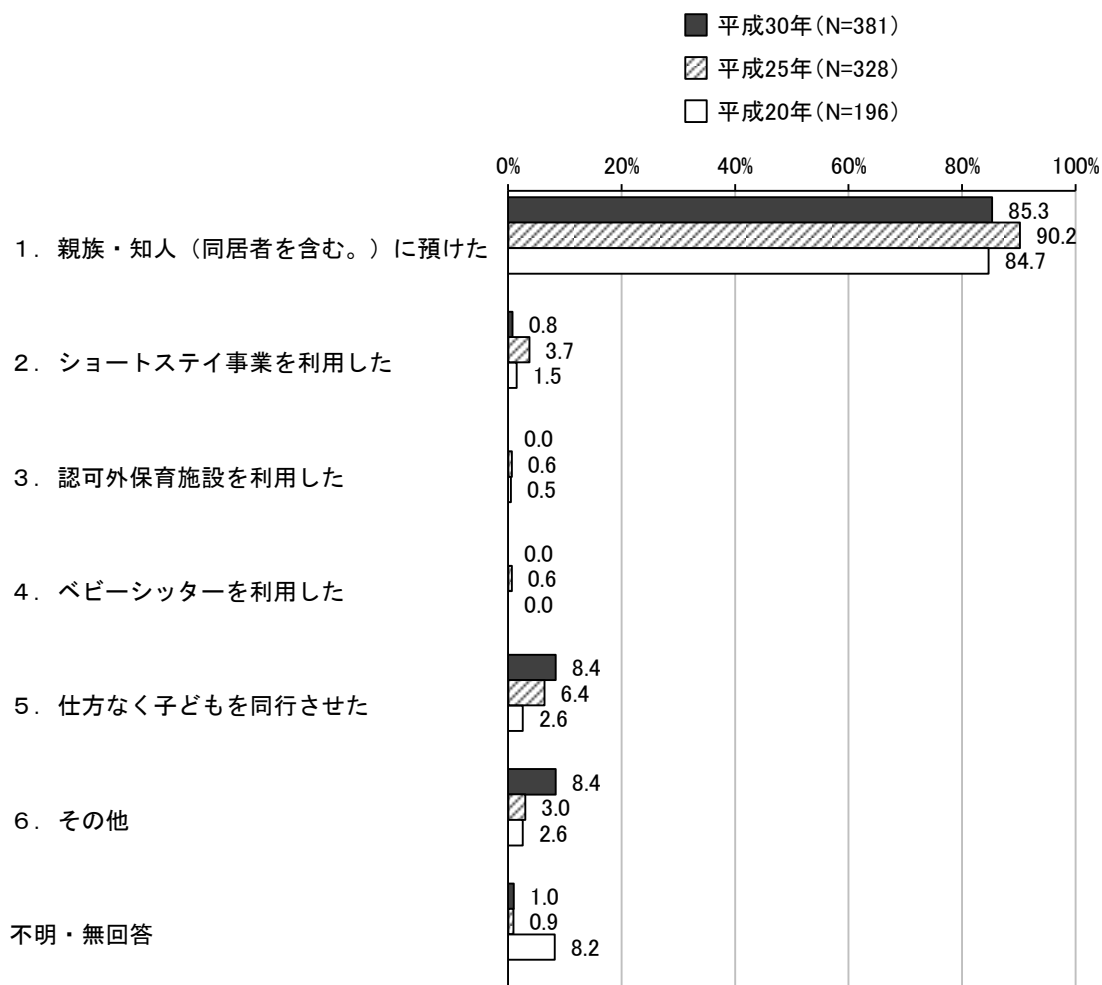


問 18(1)で「1」と答えた方

問 18(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(〇はいくつでも)
また、()内にそれぞれの泊数をご記入ください。

「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」が85.3%と最も高く、次いで「5. 仕方なく子どもを同行させた」「6. その他」が8.4%となっています。

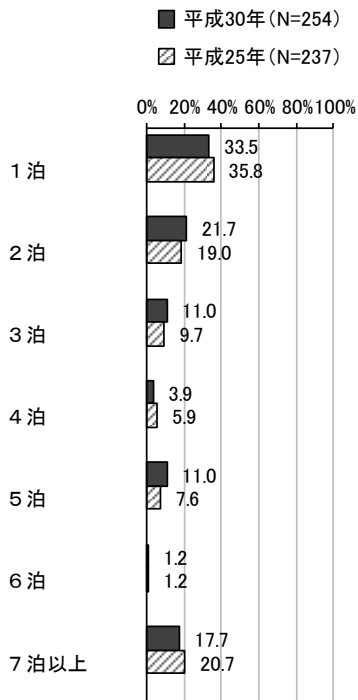
平成20年と比較すると、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が5.8ポイント高くなっています。



◆年間の泊数

年間の泊数は、「1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた」「5. 仕方なく子どもを同行させた」では「1日」の割合が最も高くなっています。

1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた



2. ショートステイ事業を利用した

平成30年 (N=3)

	件数
7泊以上	2
不明・無回答	1

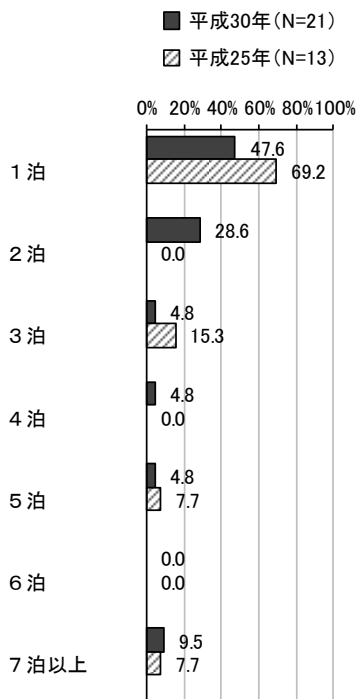
3. 認可外保育施設を利用した

有効回答はありません。

4. ベビーシッターを利用した

有効回答はありません。

5. 仕方なく子どもを同行させた



6. その他

平成30年 (N=8)

	件数
1泊	1
4泊	3
5泊	1
7泊以上	3

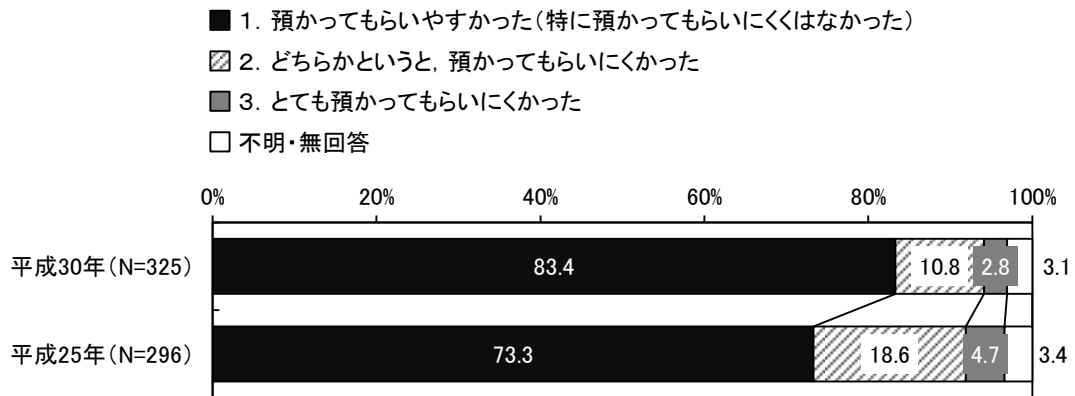
※不明・無回答除く

問 18(2)で「1」と答えた方

問 18(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(〇は1つ)

「1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)」が83.4%と最も高く、次いで「2. どちらかという、預かってもらいにくかった」が10.8%となっています。

平成25年と比較すると、「1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)」が10.1ポイント高くなっています。

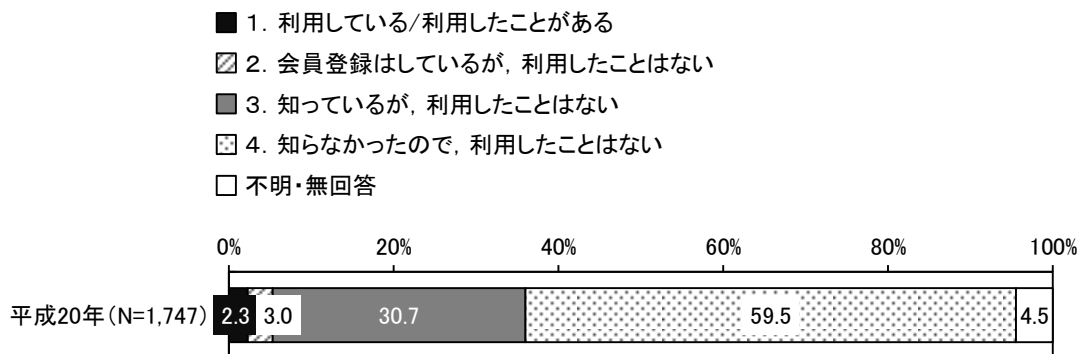
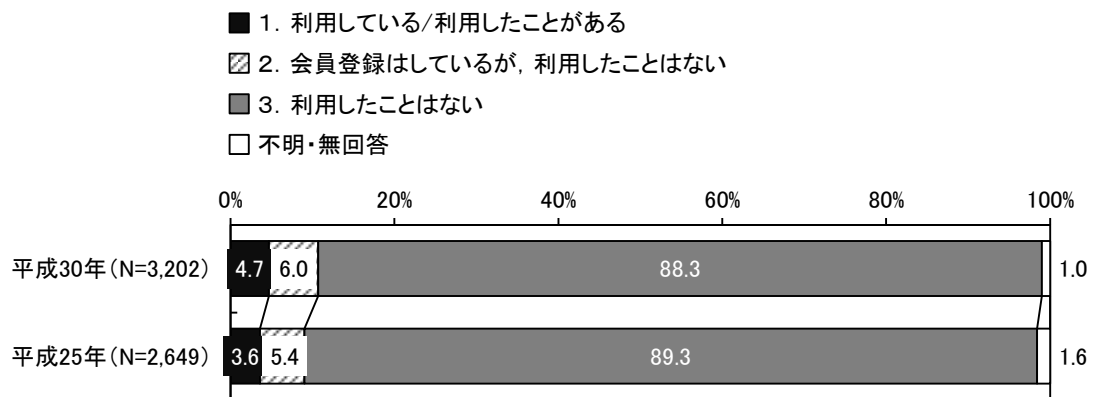


7 ファミリーサポート事業の利用について

問 19(1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(○は1つ)

「3. 利用したことはない」が88.3%と最も高く、次いで「2. 会員登録はしているが、利用したことはない」が6.0%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

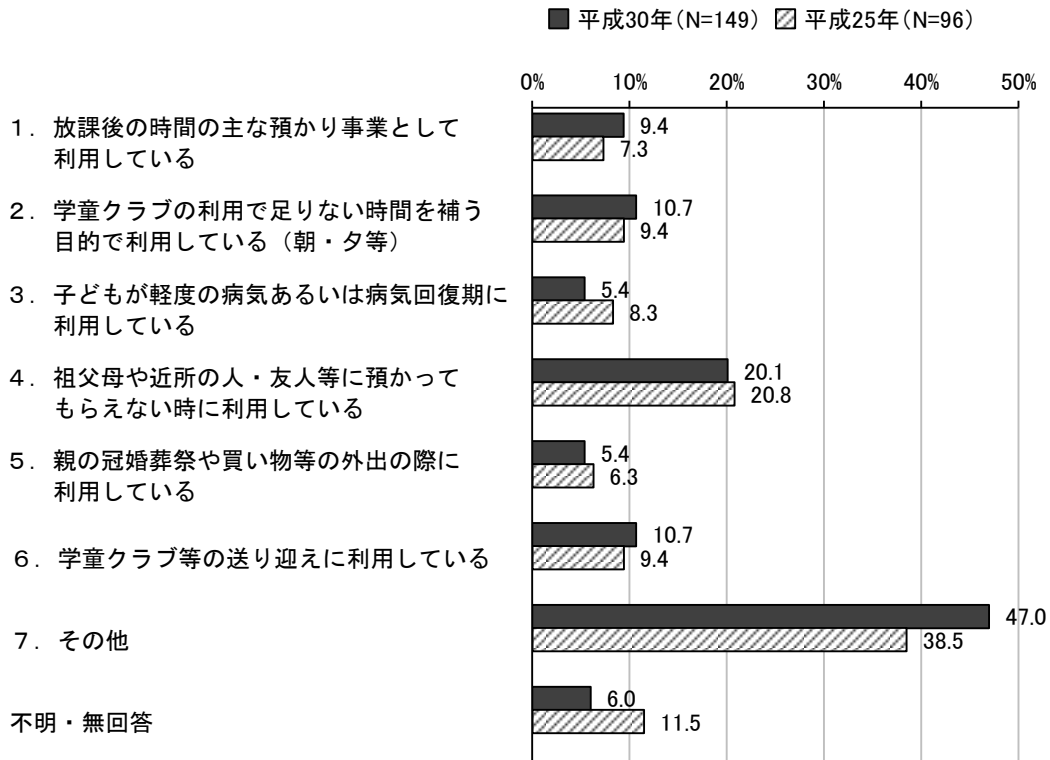


問 19(1)で「1」と答えた方

問 19(2) 事業を利用している目的は何ですか。(〇はいくつでも)

その他を除き、「4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している」が20.1%と最も高く、次いで「2. 学童クラブの利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)」「6. 学童クラブ等の送り迎えに利用している」が10.7%となっています。

平成25年と比較すると、特に大きな差はみられません。

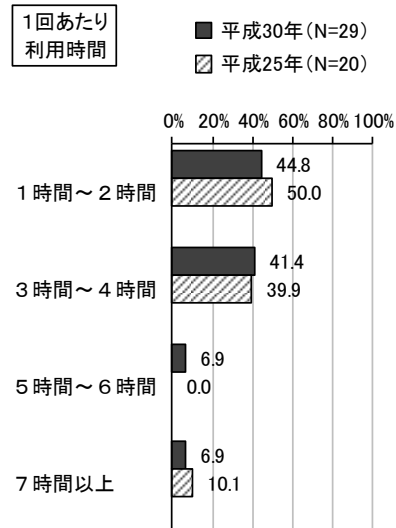
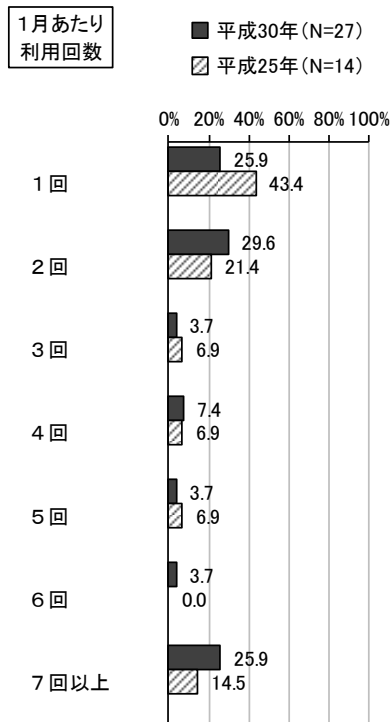


問 19(1)で「1」と答えた方

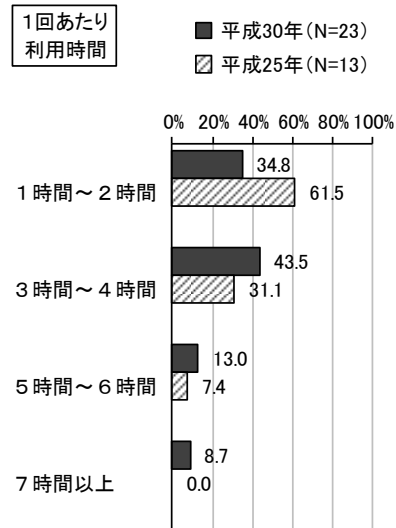
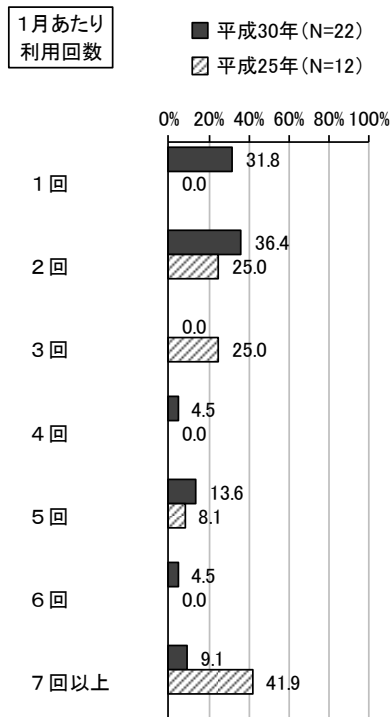
問 19(3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの()内に回数と時間をご記入ください。

1月あたりの利用回数は、①現在、②希望ともに「2回」の割合が最も高くなっています。1回あたりの利用時間は、①現在では「1時間～2時間」、②希望では「3時間～4時間」の割合が最も高くなっています。

①現在



②希望

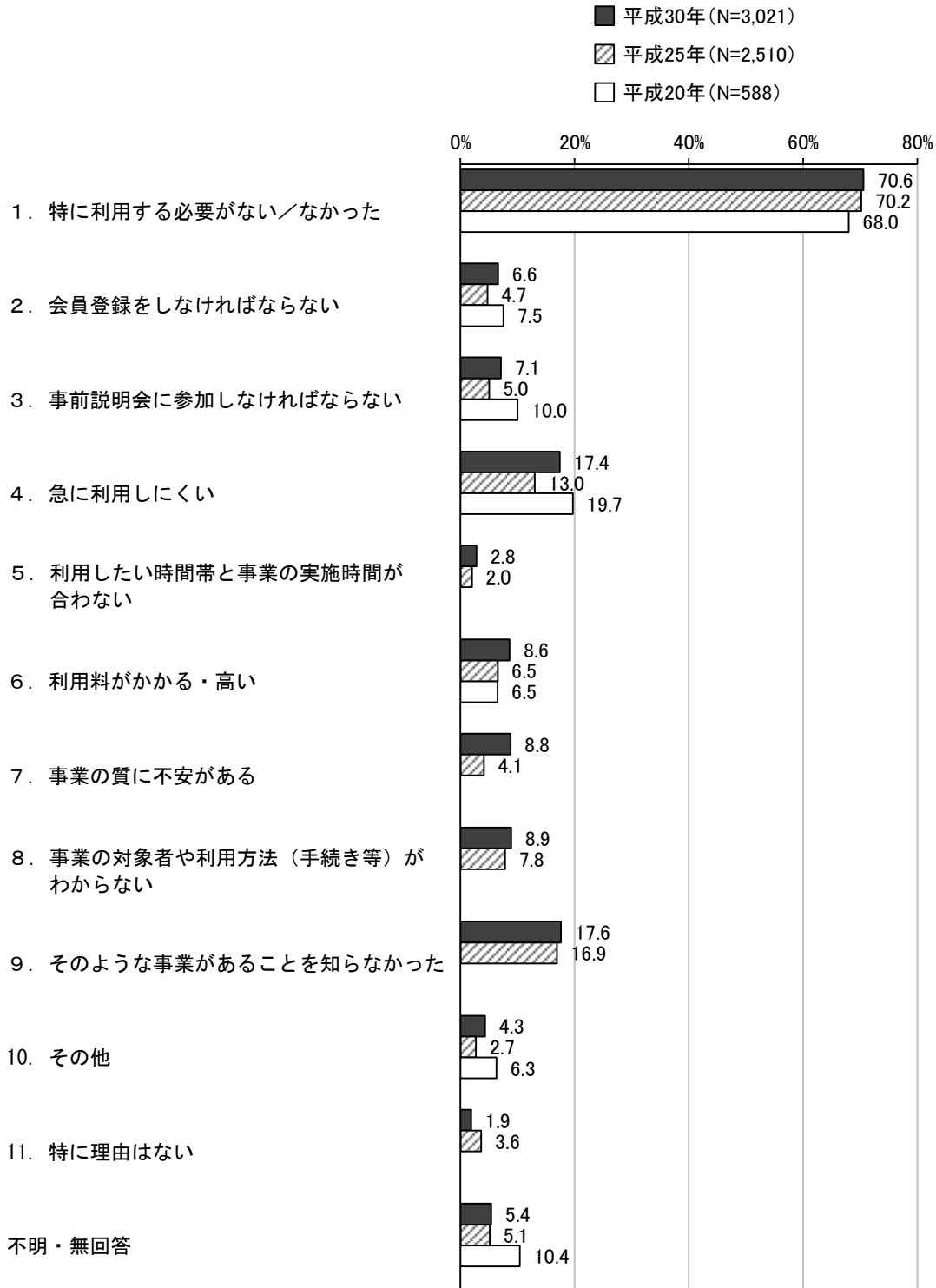


※不明・無回答除く

問 19(1)で「2」または「3」と答えた方

問 19(4) 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

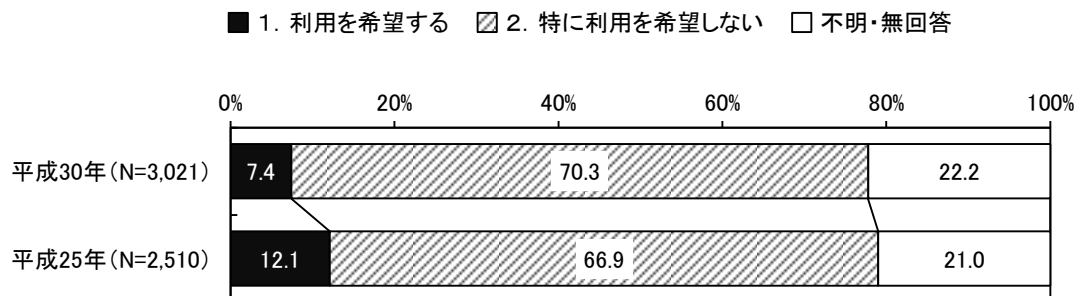
「1. 特に利用する必要がない／なかった」が70.6%と最も高く、次いで「9. そのような事業があることを知らなかった」が17.6%、「4. 急に利用しにくい」が17.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 19(1)で「2」または「3」と答えた方

問 19(5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(〇は1つ)

「1. 利用を希望する」が7.4%、「2. 特に利用を希望しない」が70.3%となっています。
平成25年と比較すると、「1. 利用を希望する」が4.7ポイント低くなっています。

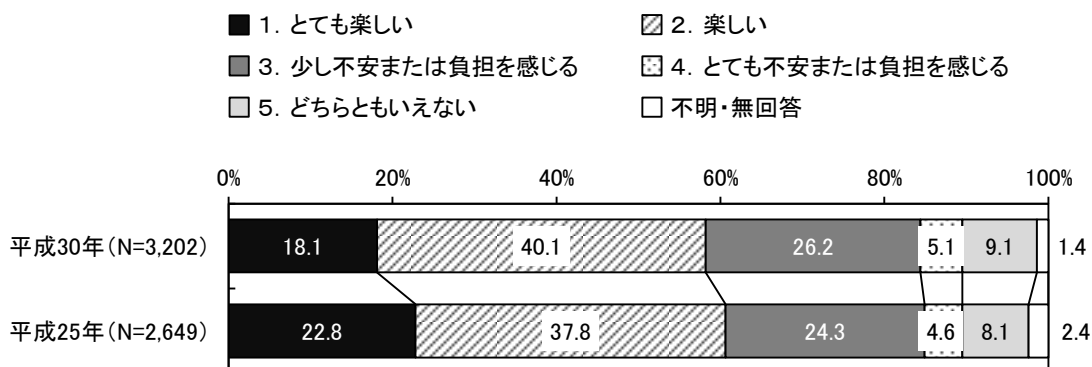


8 子育て支援・相談などについて

問 20 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(〇は1つ)

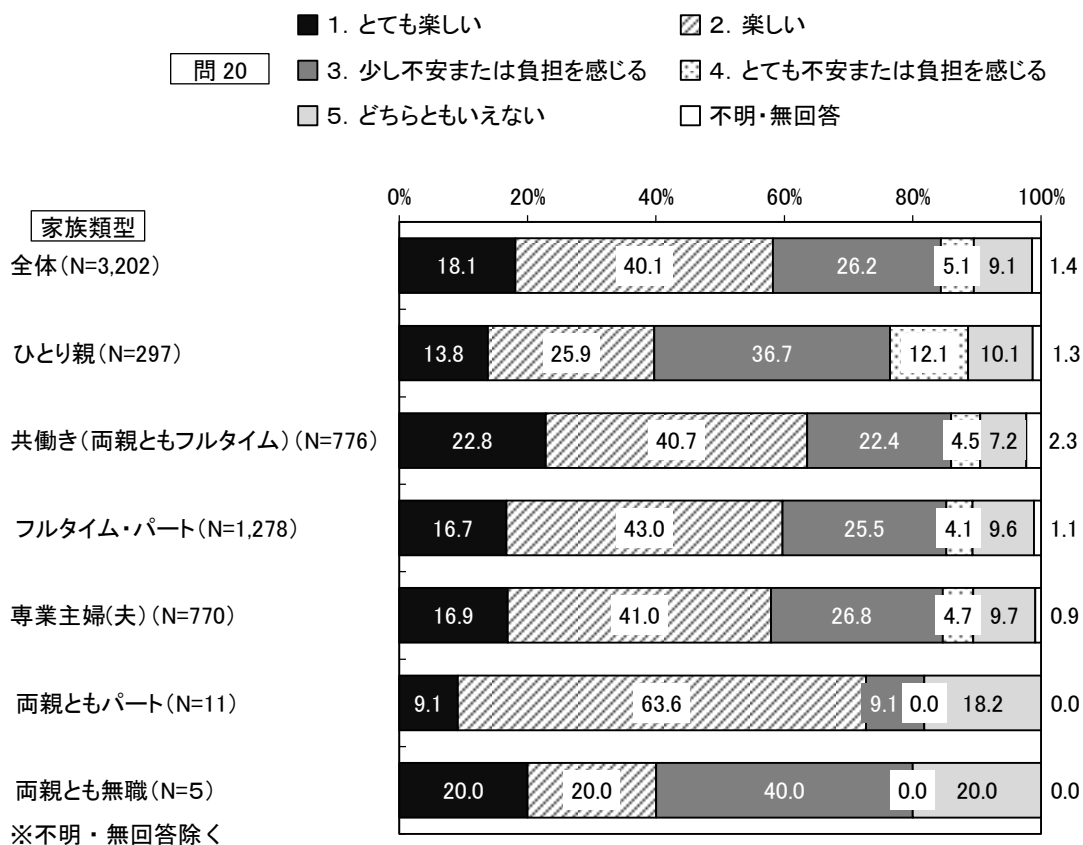
「2. 楽しい」が40.1%と最も高く、次いで「3. 少し不安または負担を感じる」が26.2%、「1. とても楽しい」が18.1%となっています。

平成25年と比較すると、「1. とても楽しい」が4.7ポイント低くなっています。



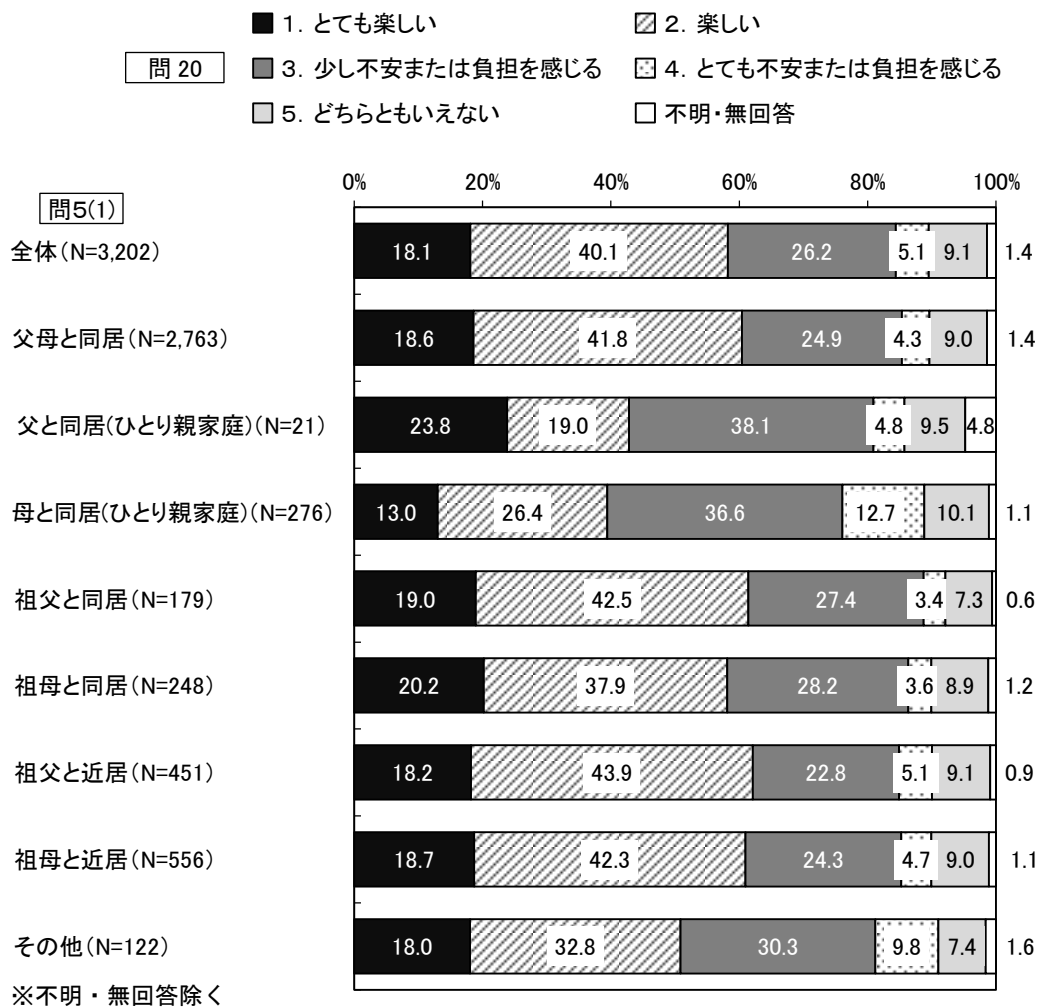
《問 20×家族類型別》

「ひとり親」「両親とも無職」では「3. 少し不安または負担を感じる」、それ以外では「2. 楽しい」の割合が最も高くなっています。



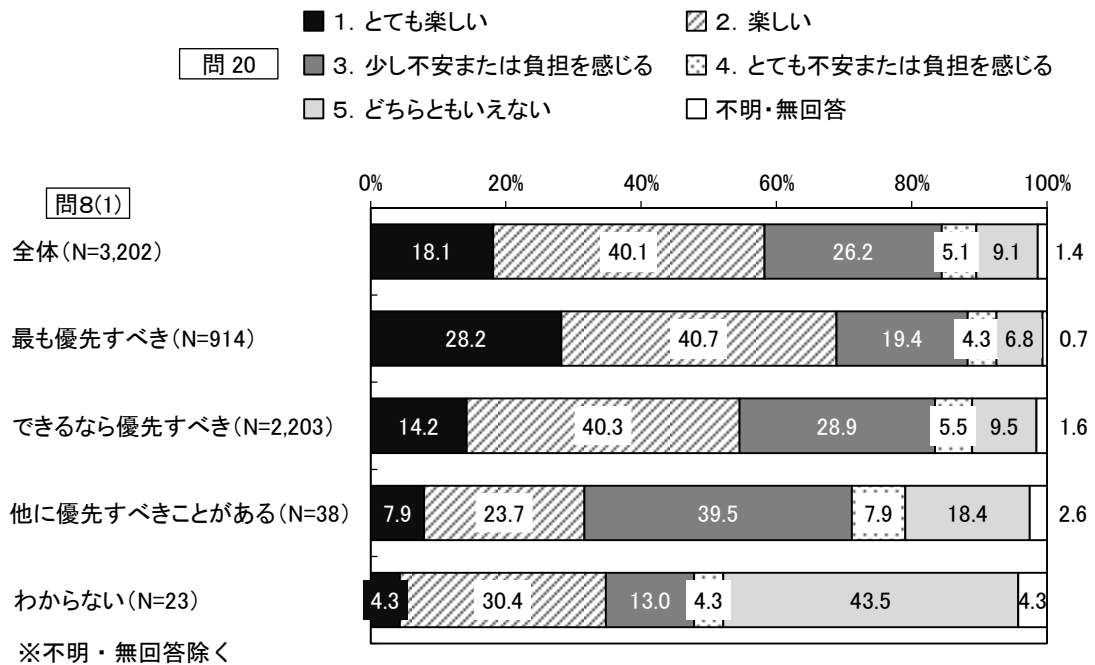
《問 20×問 5(1)同居・近居の状況別》

「父と同居(ひとり親家庭)」「母と同居(ひとり親家庭)」では「3. 少し不安または負担を感じる」, それ以外では「2. 楽しい」の割合が最も高くなっています。



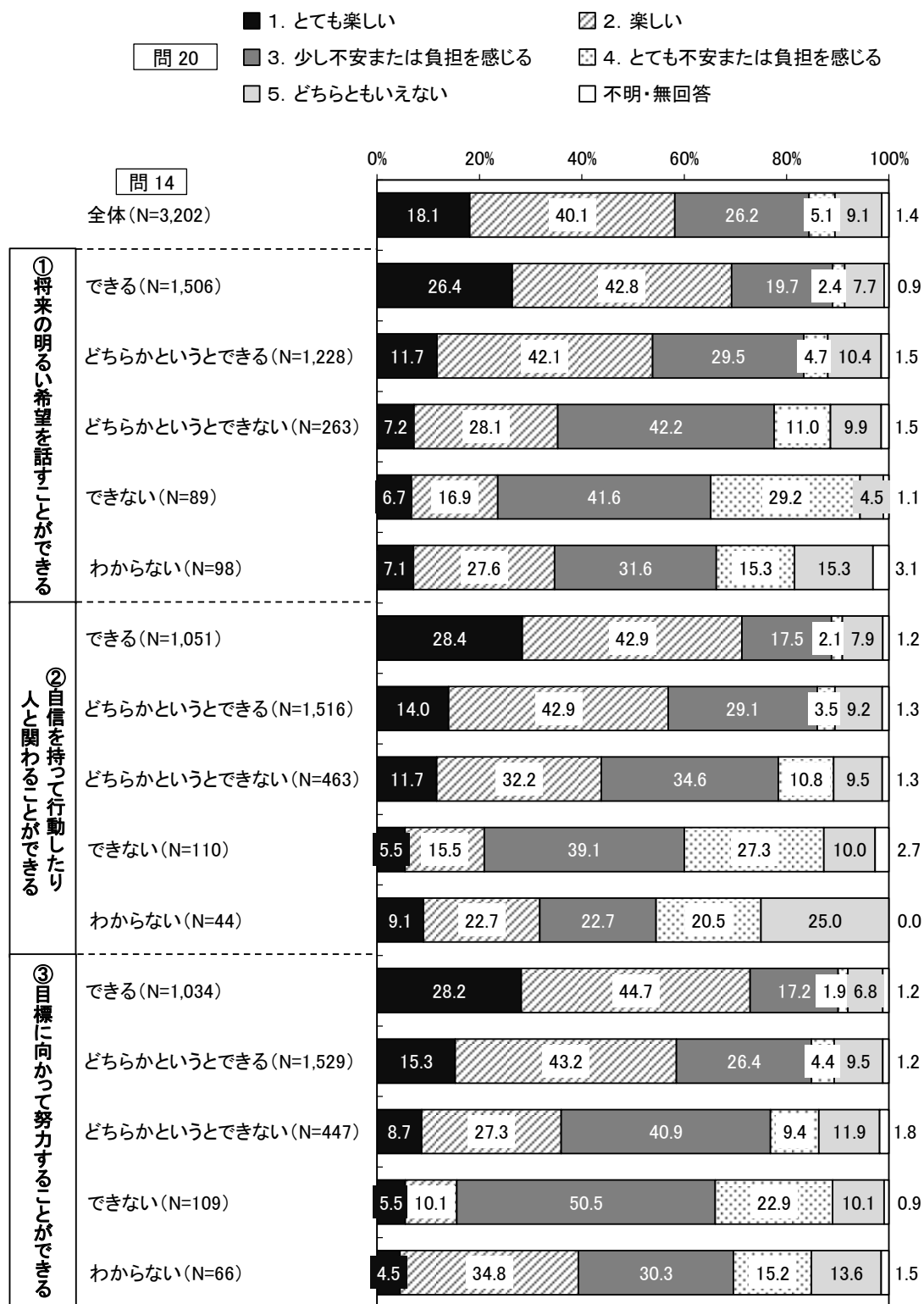
《問 20×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 20×問 14 子どもの様子別》

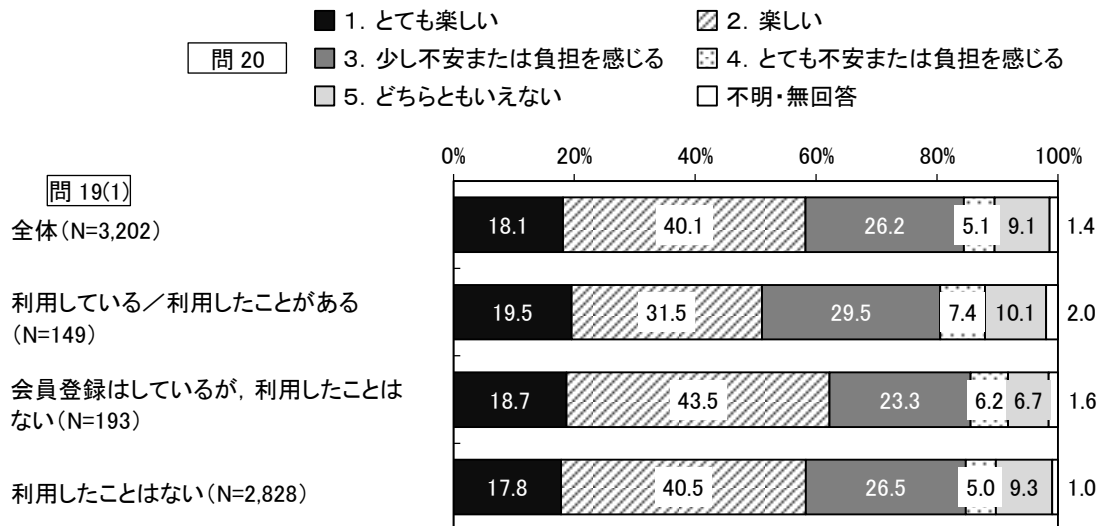
子どもの自己肯定感が高いほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



※不明・無回答除く

《問 20×問 19(1)ファミリーサポート事業の利用経験別》

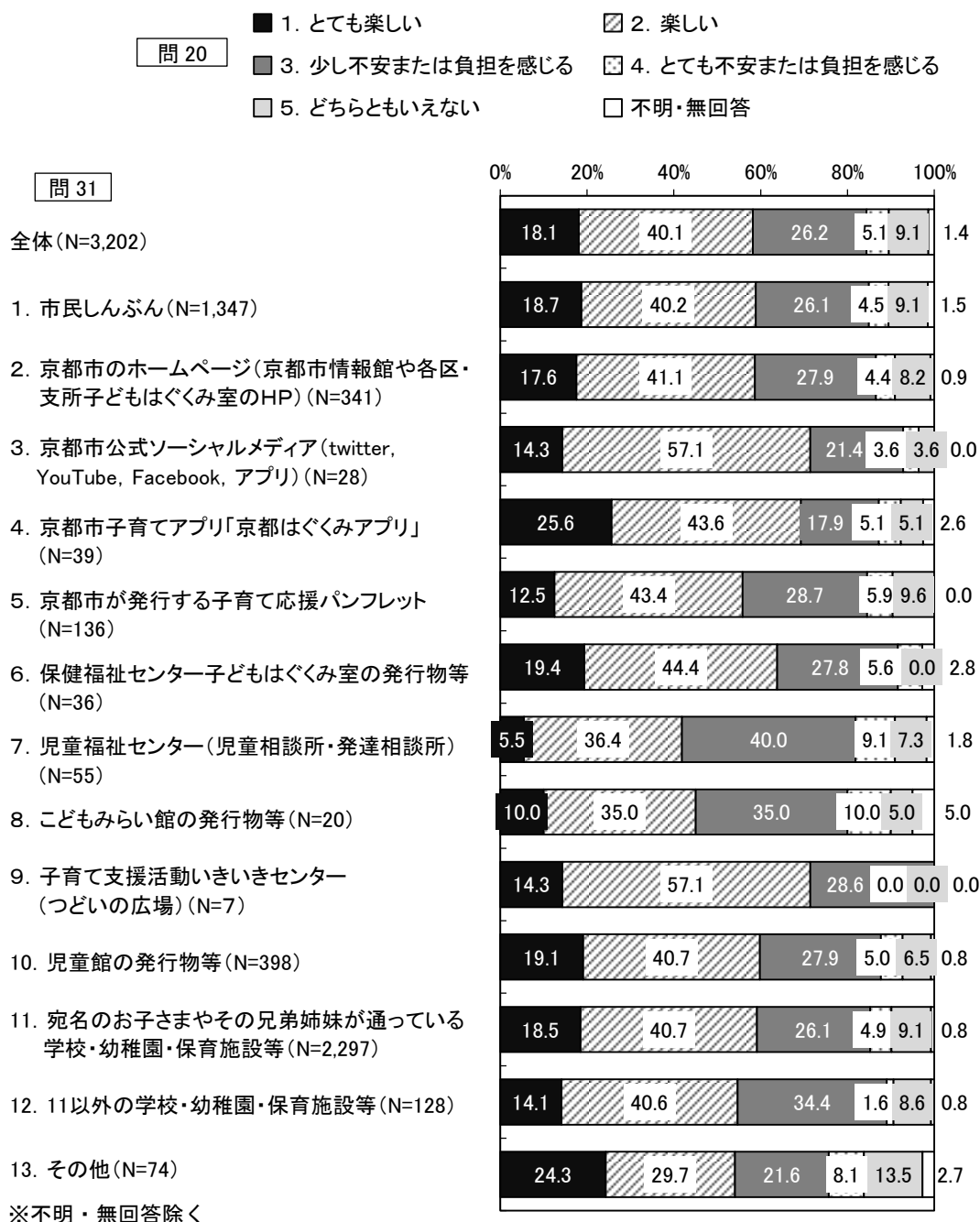
「利用している／利用したことがある」で「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



《問 20×問 31 子育てに関する情報の入手方法別》

①行政では、[児童福祉センター(児童相談所・発達相談所)][こどもみらい館の発行物等]で「不安または負担を感じる(「3. 少し不安または負担を感じる」と「4. とても不安または負担を感じる」の合計)」が4割を超えています。

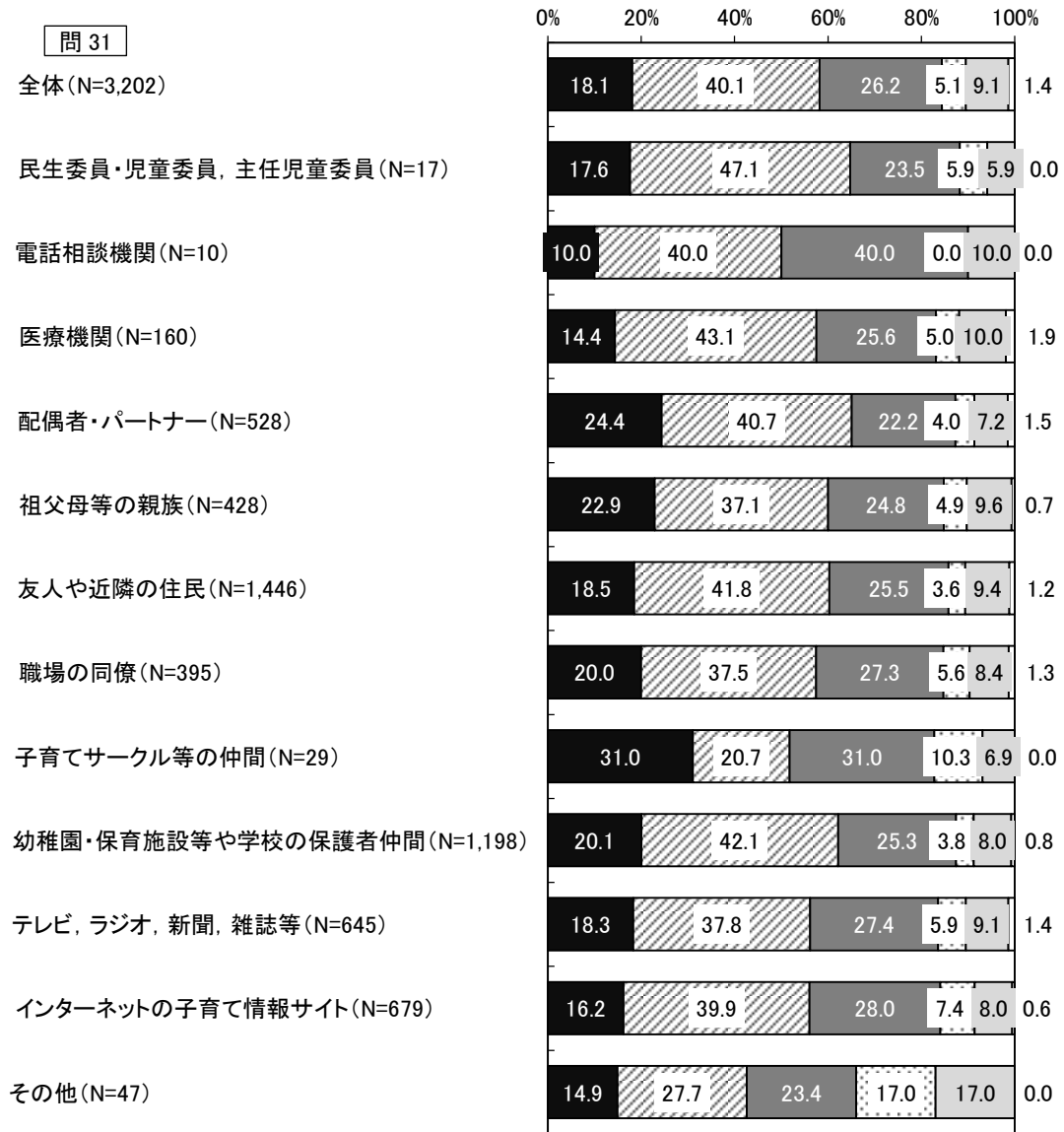
①行政



②民間では、情報の入手方法の違いによる大きな差はみられません。

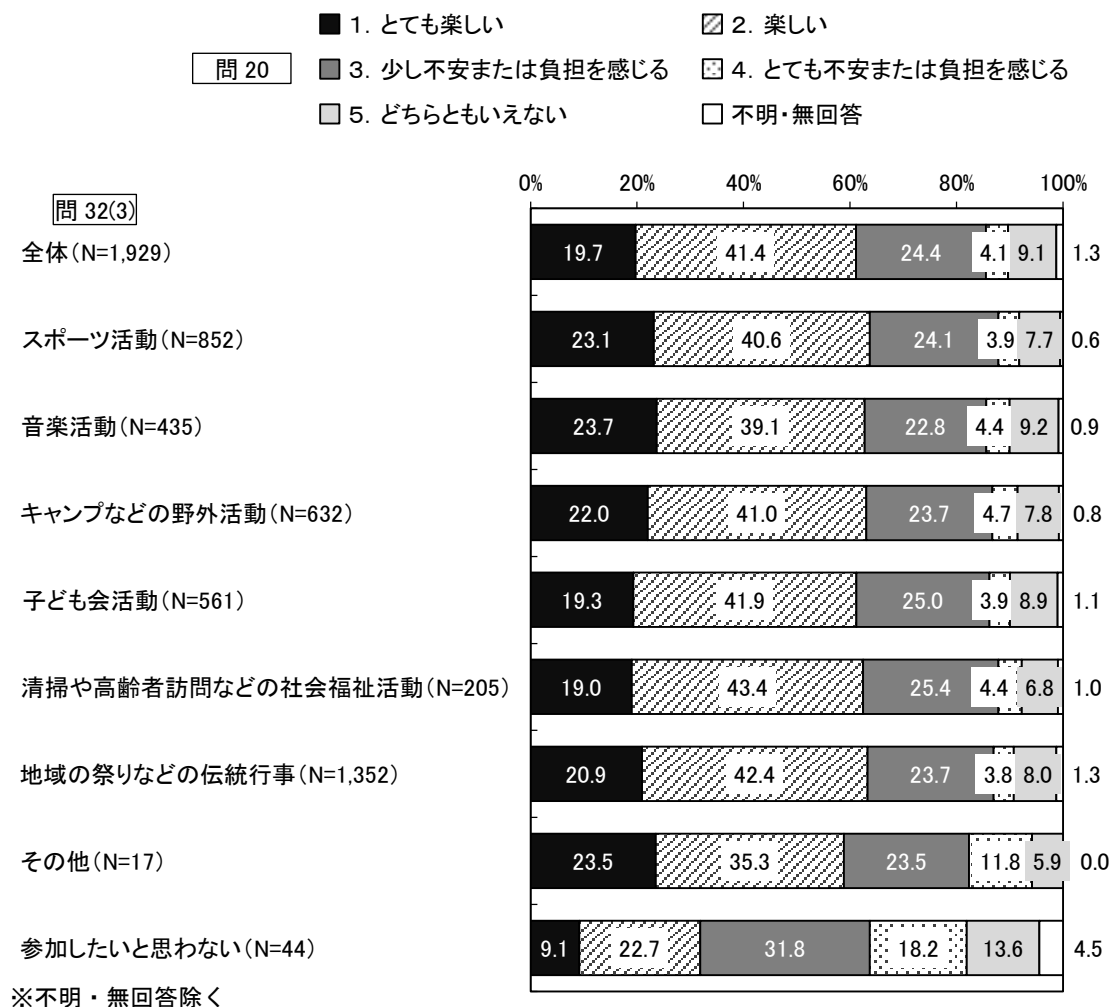
②民間

- 問 20
- 1. とても楽しい
 - ▨ 2. 楽しい
 - 3. 少し不安または負担を感じる
 - ▨ 4. とても不安または負担を感じる
 - 5. どちらともいえない
 - 不明・無回答



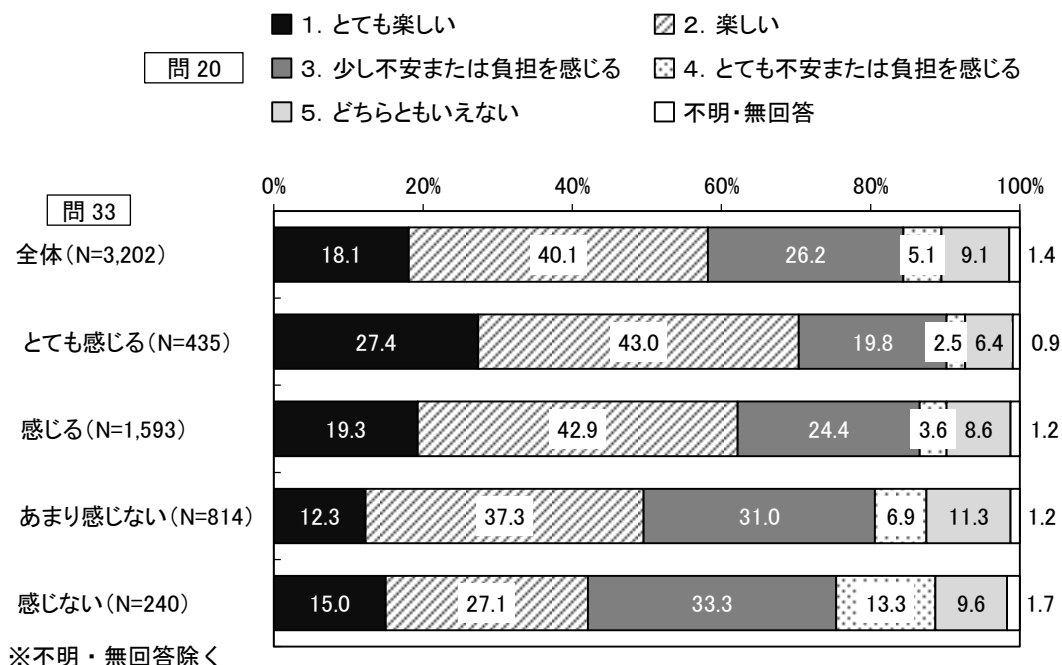
《問 20×問 32(3)参加しているまたは今後、参加したいと思う事業別》

「参加したいと思わない」で「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が他の区分に比べ低くなっています。



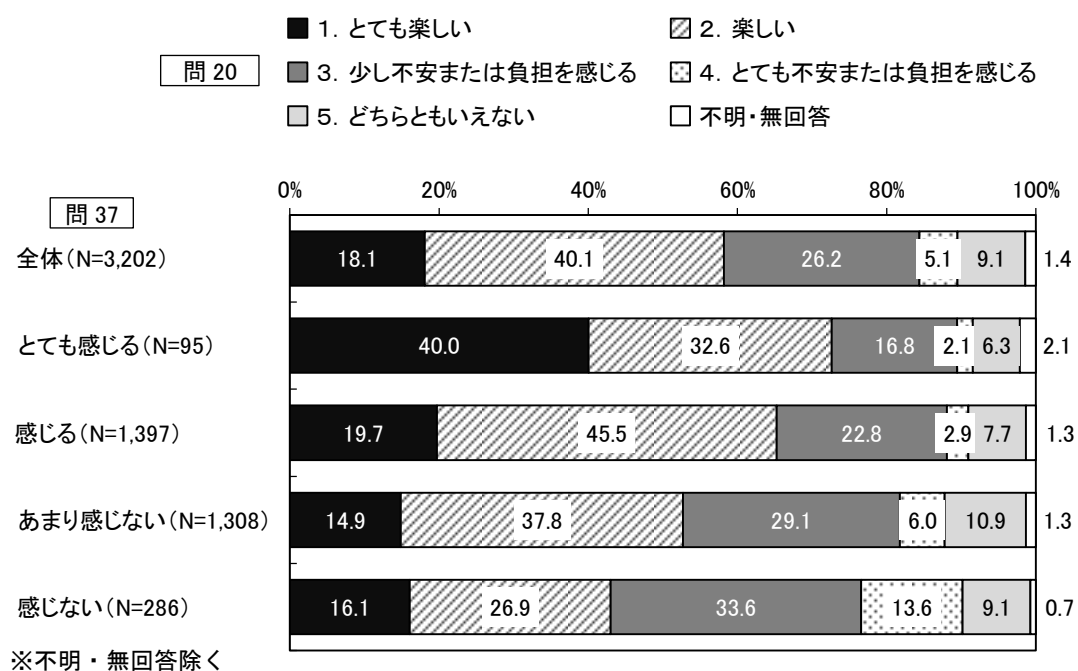
《問 20×問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じている方ほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



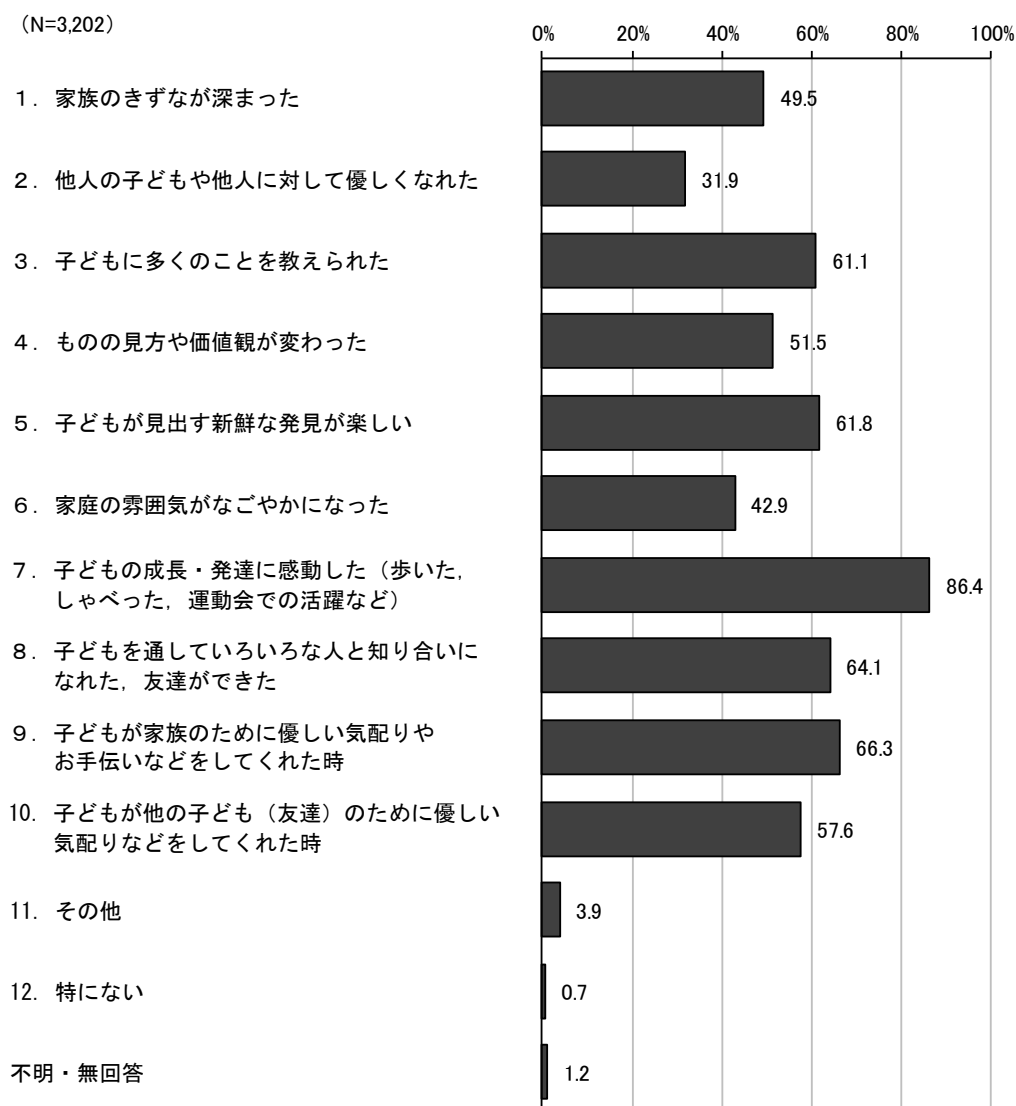
《問 20×問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど「楽しい（「1. とても楽しい」と「2. 楽しい」の合計）」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 21 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じる事、感じる時についてお答えください。(〇はいくつでも)

「7. 子どもの成長・発達に感動した(歩いた, シャベった, 運動会での活躍など)」が 86.4%と最も高く, 次いで「9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどをしてくれた時」が 66.3%, 「8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた, 友達ができた」が 64.1%となっています。

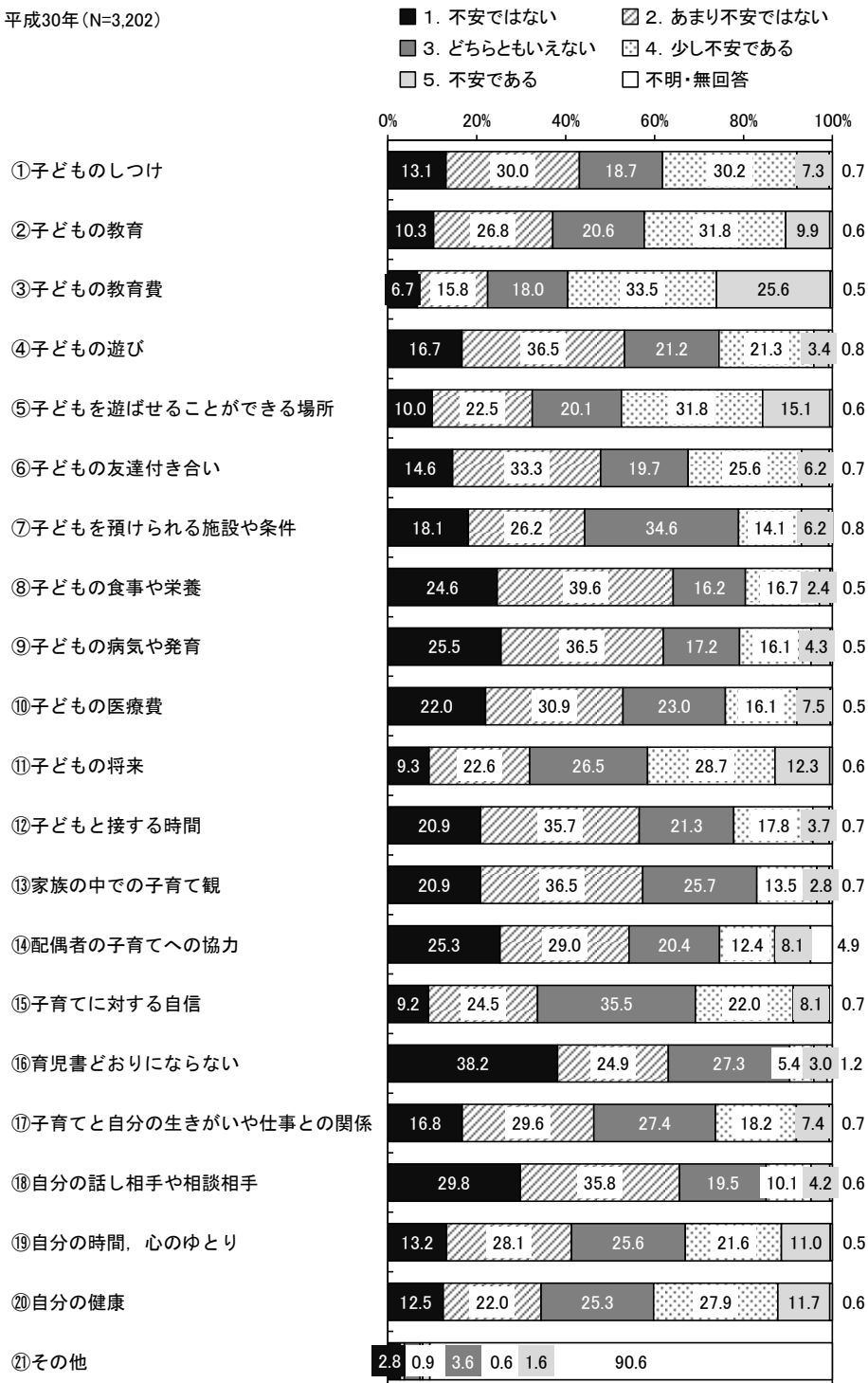


問 22 宛名のお子さまを育てている、日頃不安に感じていることはありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

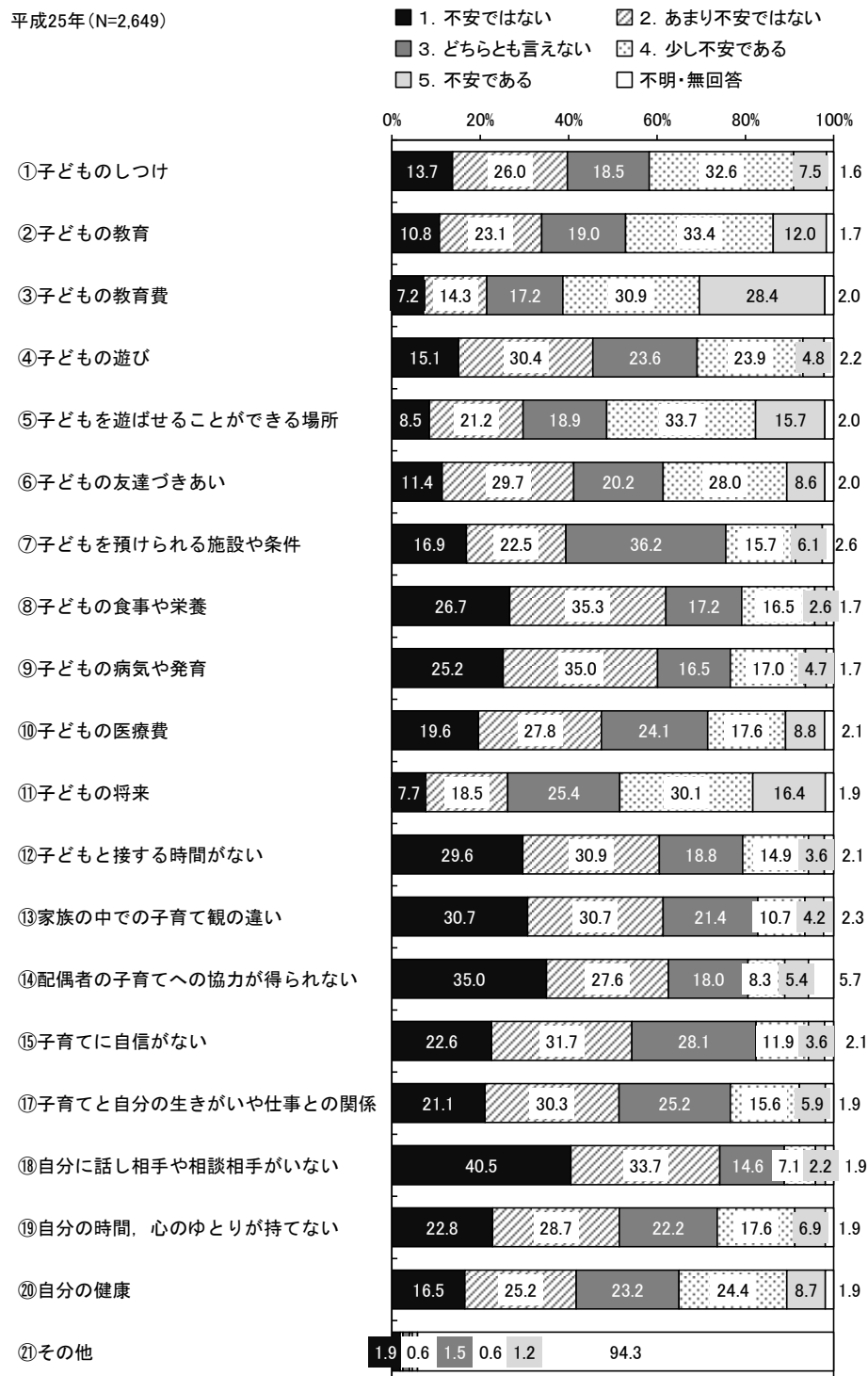
「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」は、[③子どもの教育費]が59.1%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が46.9%、[②子どもの教育]が41.7%、[⑪子どもの将来]が41.0%となっています。

「不安ではない(「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計)」は、[⑱自分の話し相手や相談相手]が65.6%と最も高く、次いで[⑧子どもの食事や栄養]が64.2%、[⑯育児書どおりにならない]が63.1%となっています。

平成30年(N=3,202)



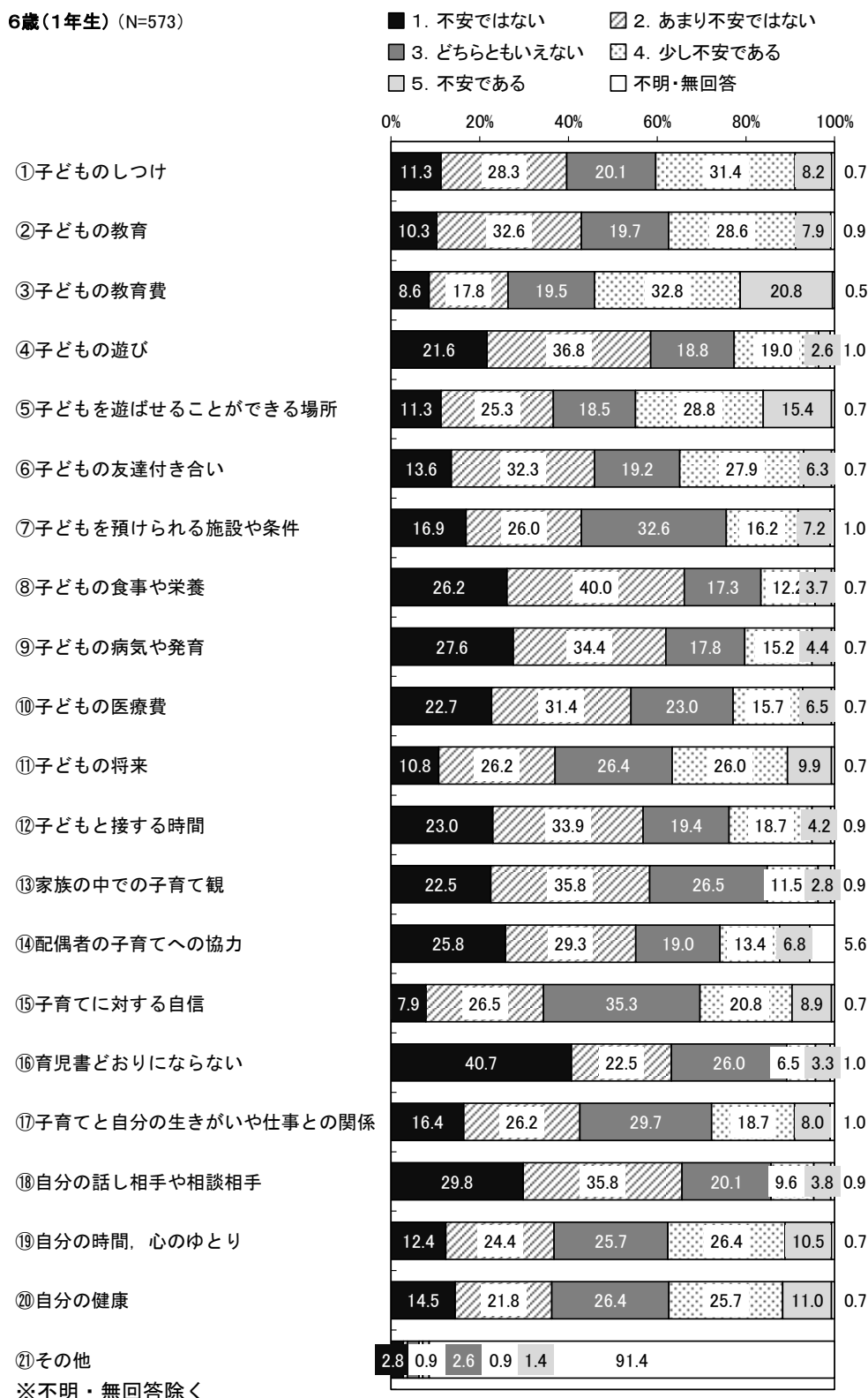
平成 25 年と比較すると、「不安ではない（「1. 不安ではない」と「2. あまり不安ではない」の合計）」では、[⑮子育てに対する自信] が 20.6 ポイント、[⑲自分の時間、心のゆとり] が 10.2 ポイント低く、「④子どもの遊び」が 7.7 ポイント、「⑥子どもの友達付き合い」が 6.8 ポイント高くなっています。



《問 22×問 1 子どもの年齢（学年）別》

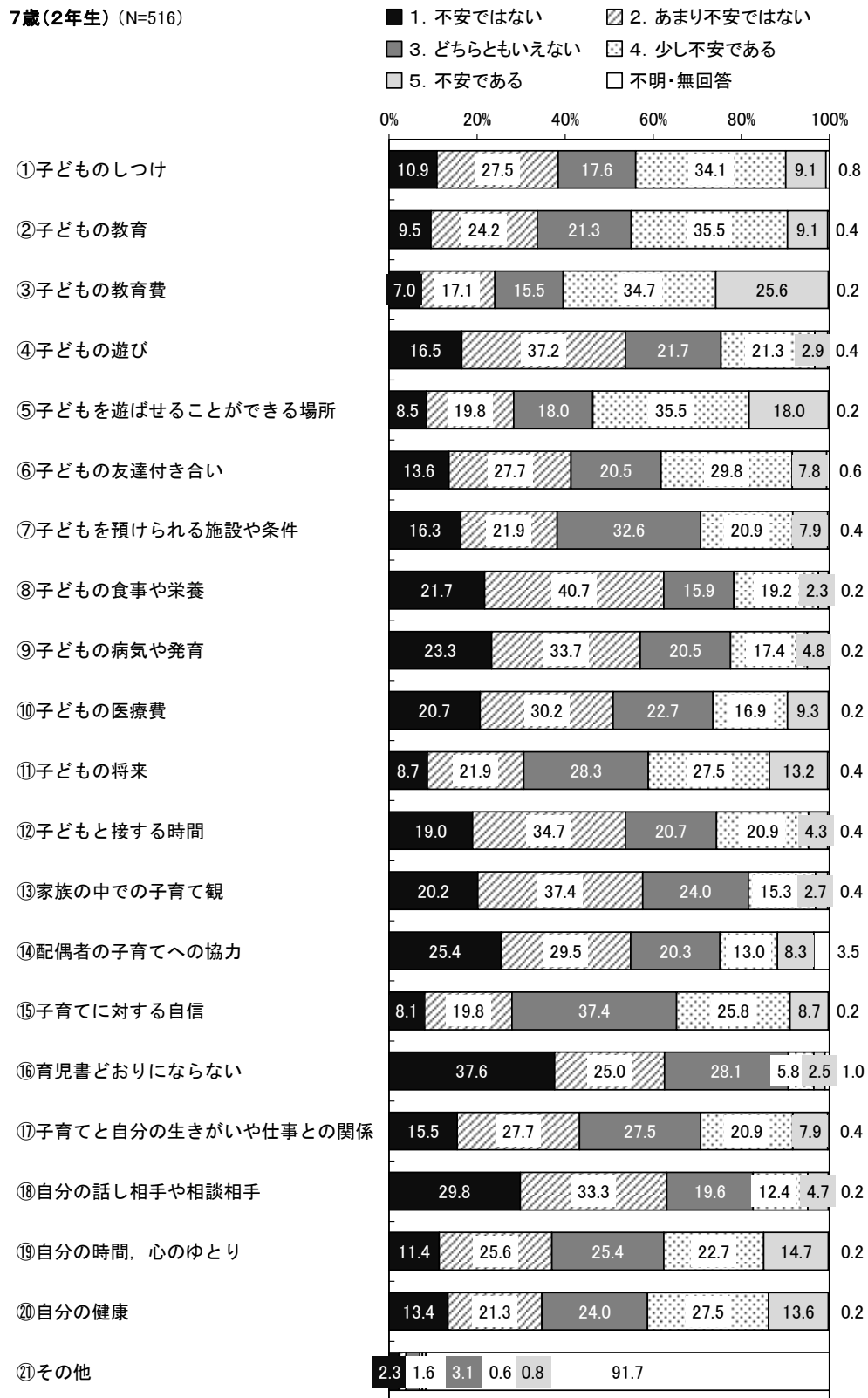
6歳（1年生）について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が53.6%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が44.2%、[①子どものしつけ]が39.6%となっています。

6歳（1年生）（N=573）



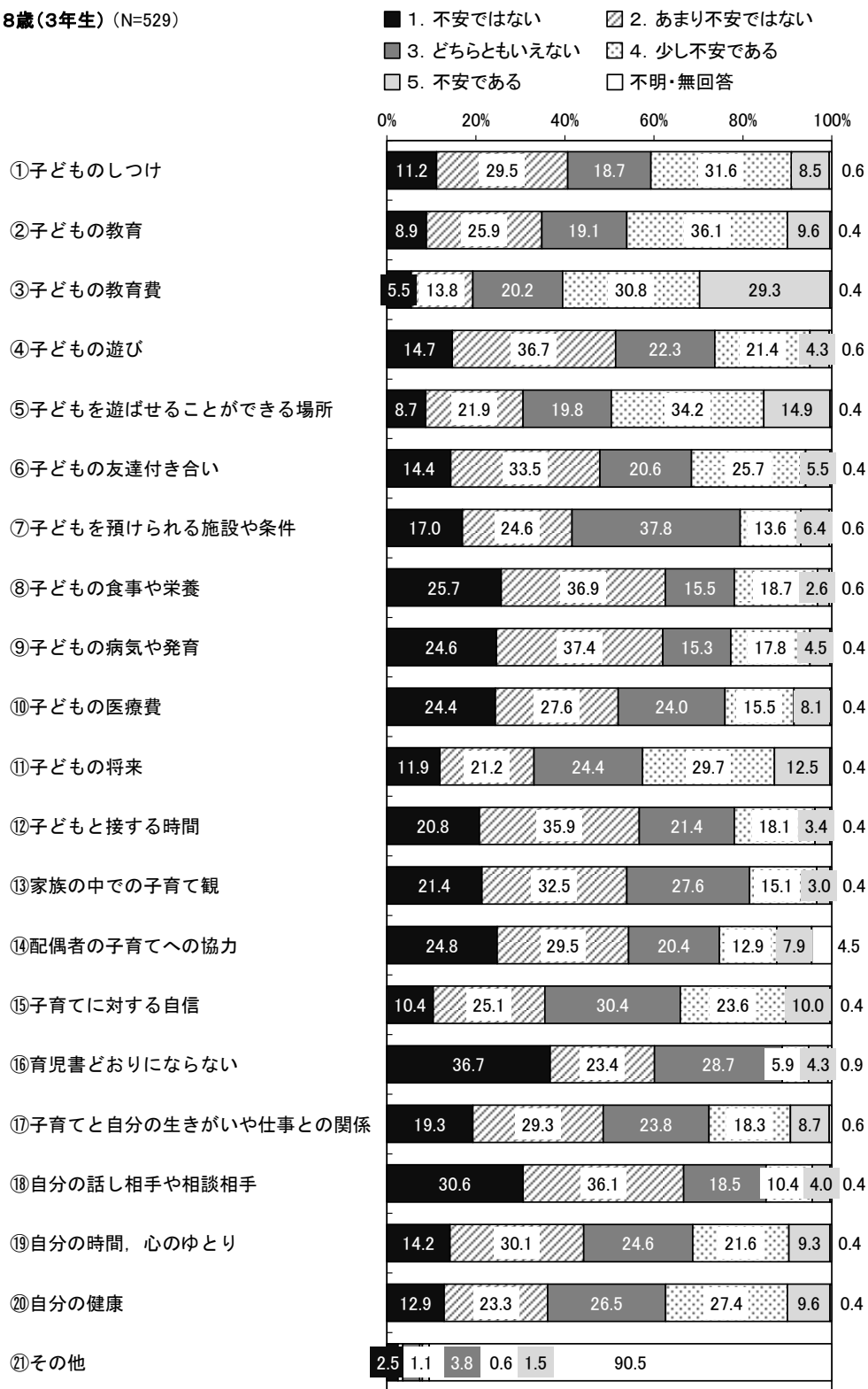
7歳(2年生)について、「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」は、[③子どもの教育費]が60.3%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が53.5%、[②子どもの教育]が44.6%となっています。

7歳(2年生) (N=516)



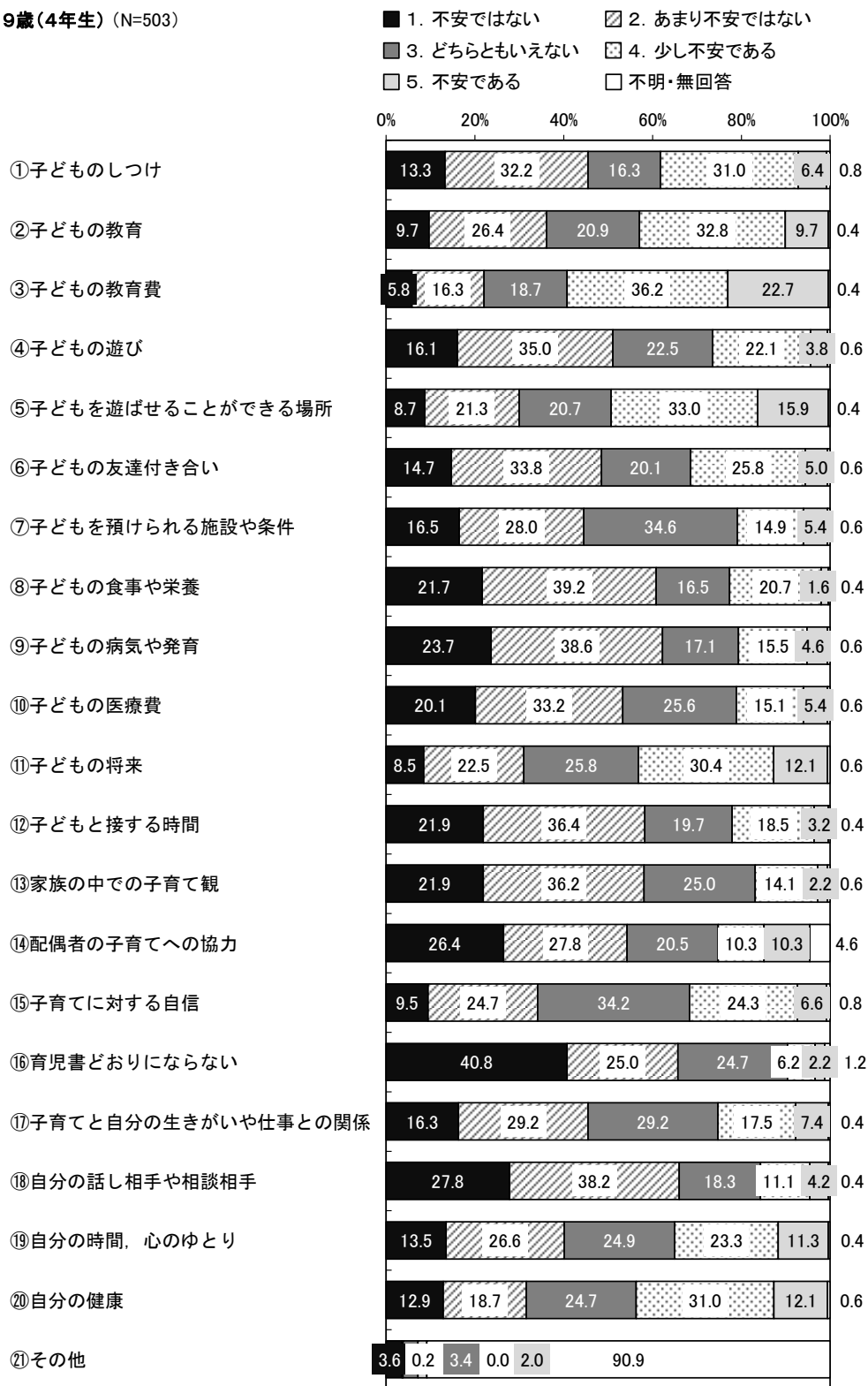
8歳(3年生)について、「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」は、[③子どもの教育費]が60.1%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が49.1%、[②子どもの教育]が45.7%となっています。

8歳(3年生) (N=529)



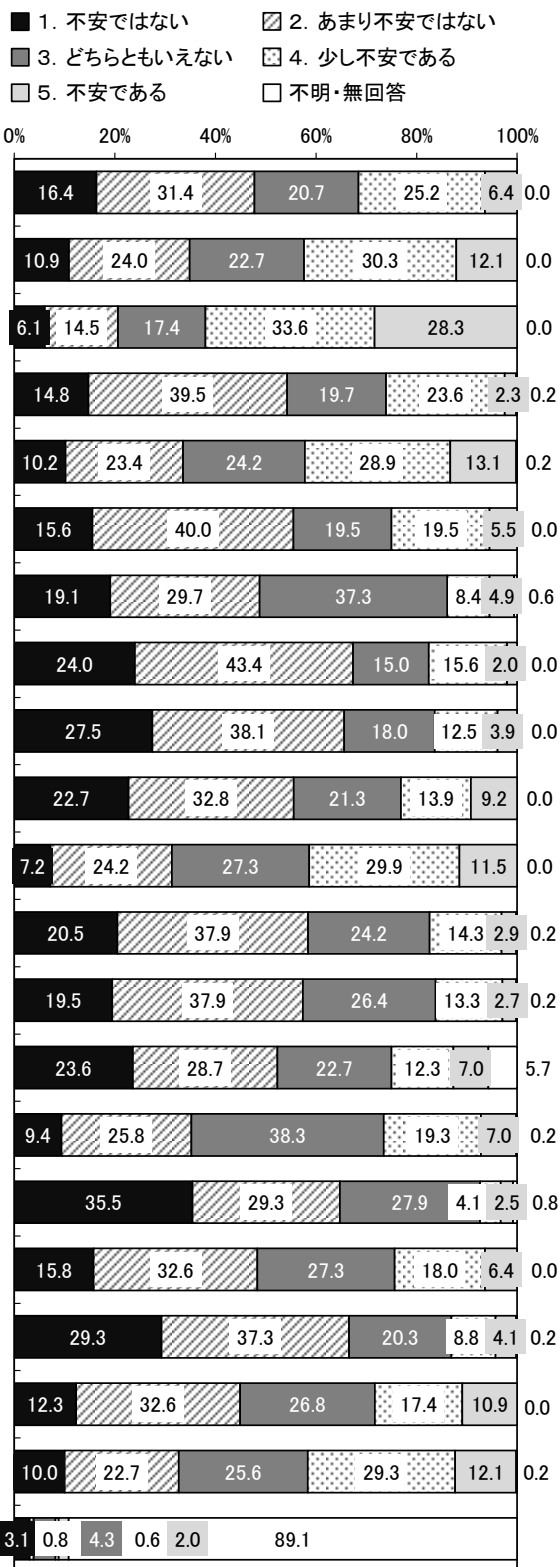
9歳（4年生）について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が58.9%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が48.9%、[⑳自分の健康]が43.1%となっています。

9歳(4年生) (N=503)



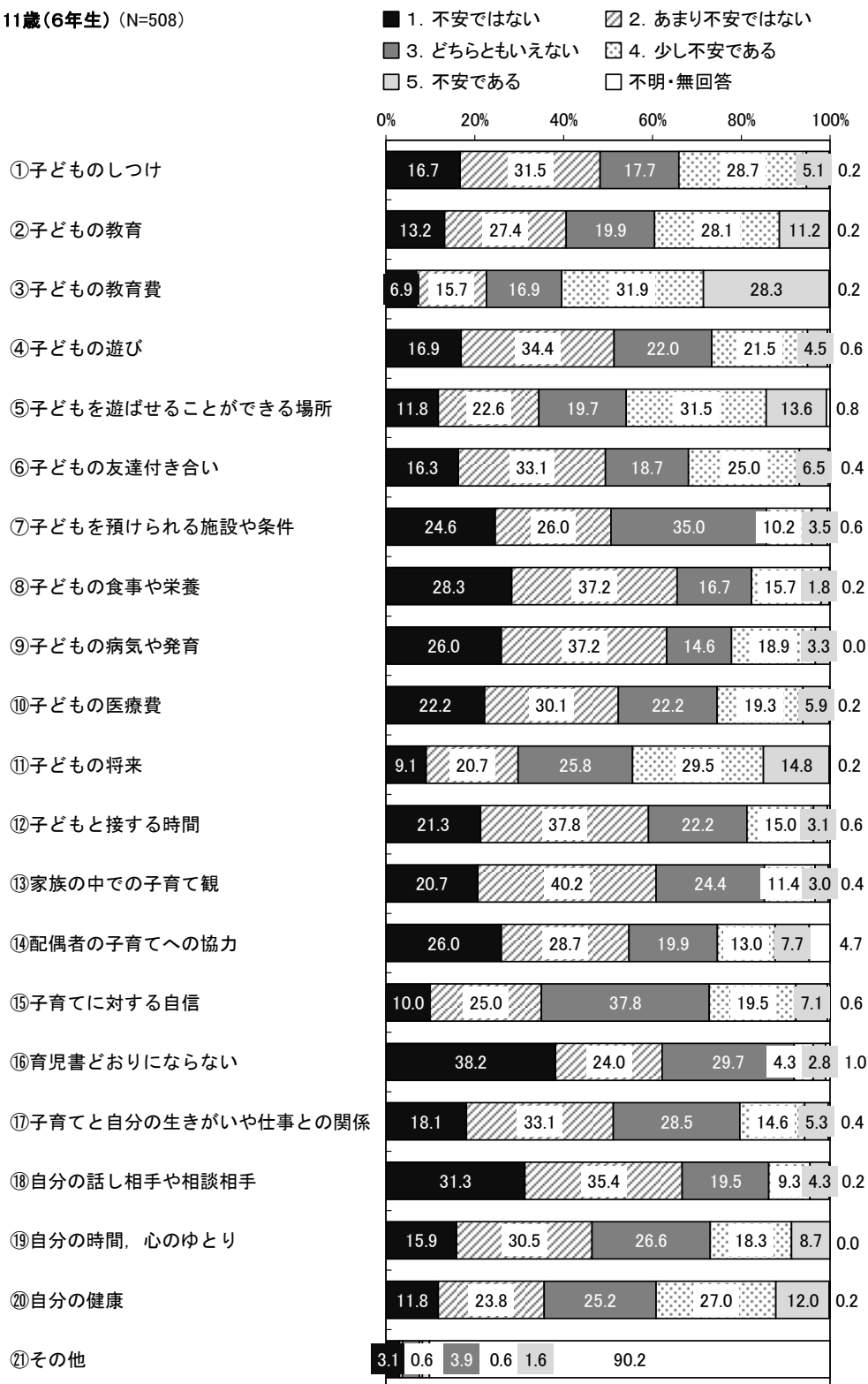
10歳（5年生）について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が61.9%と最も高く、次いで[②子どもの教育]が42.4%、[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が42.0%となっています。

10歳(5年生) (N=488)



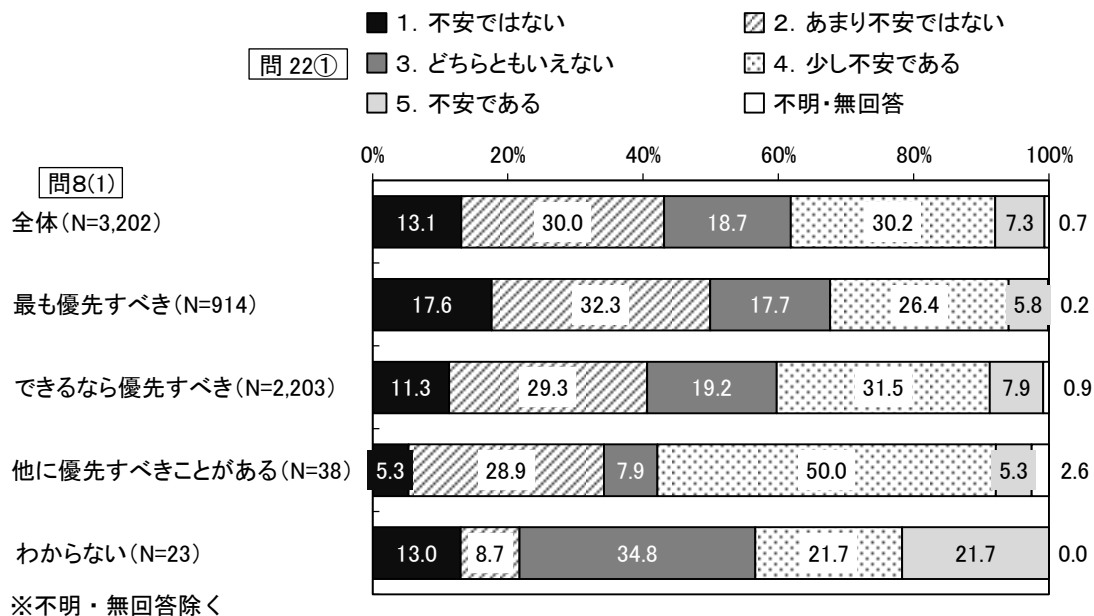
11歳（6年生）について、「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」は、[③子どもの教育費]が60.2%と最も高く、次いで[⑤子どもを遊ばせることができる場所]が45.1%、[⑪子どもの将来]が44.3%となっています。

11歳(6年生) (N=508)



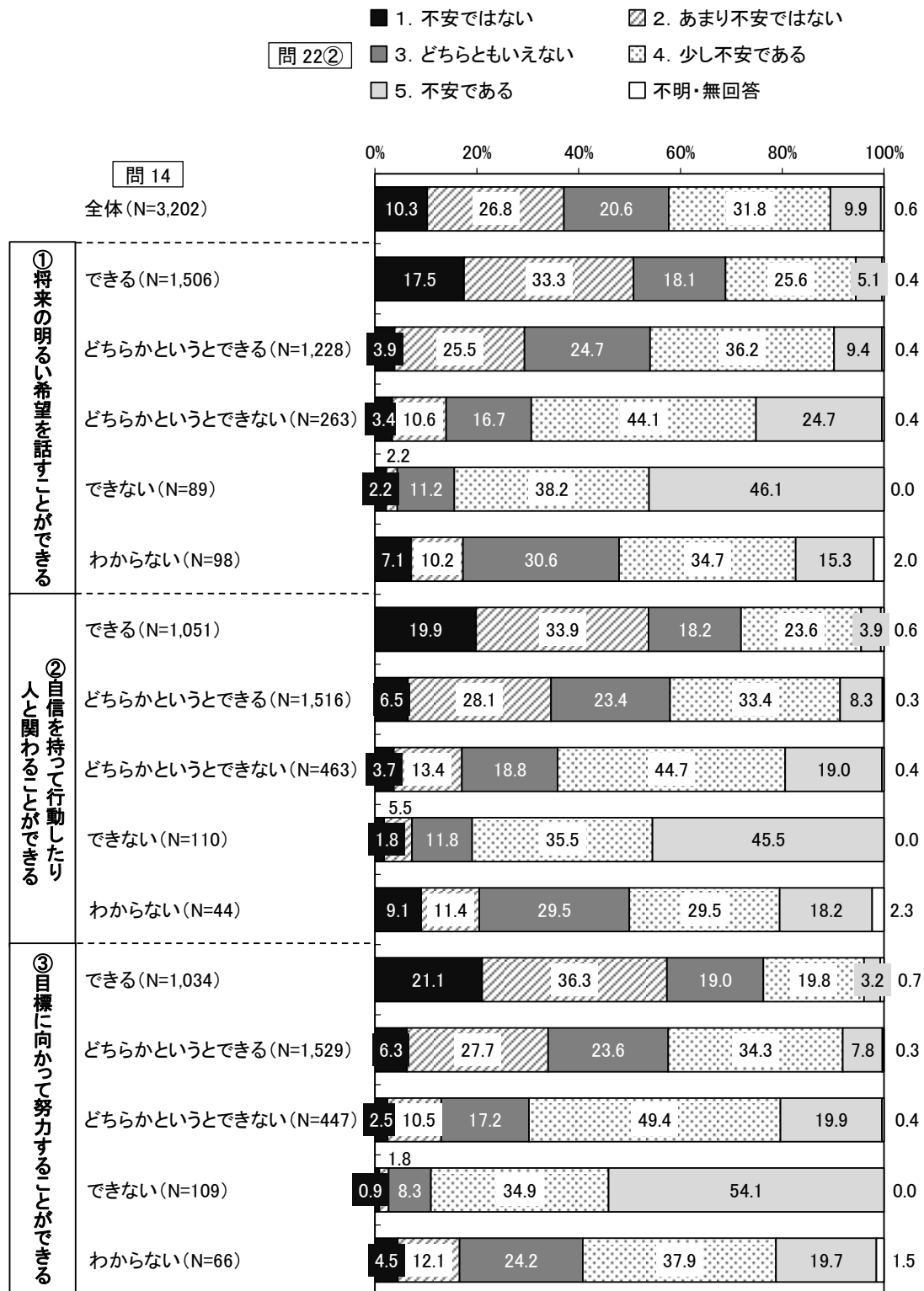
《問 22①子どものしつけ×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

①子どものしつけについて、子育てにかかる時間の優先度が高いほど「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が低くなる傾向がみられます。



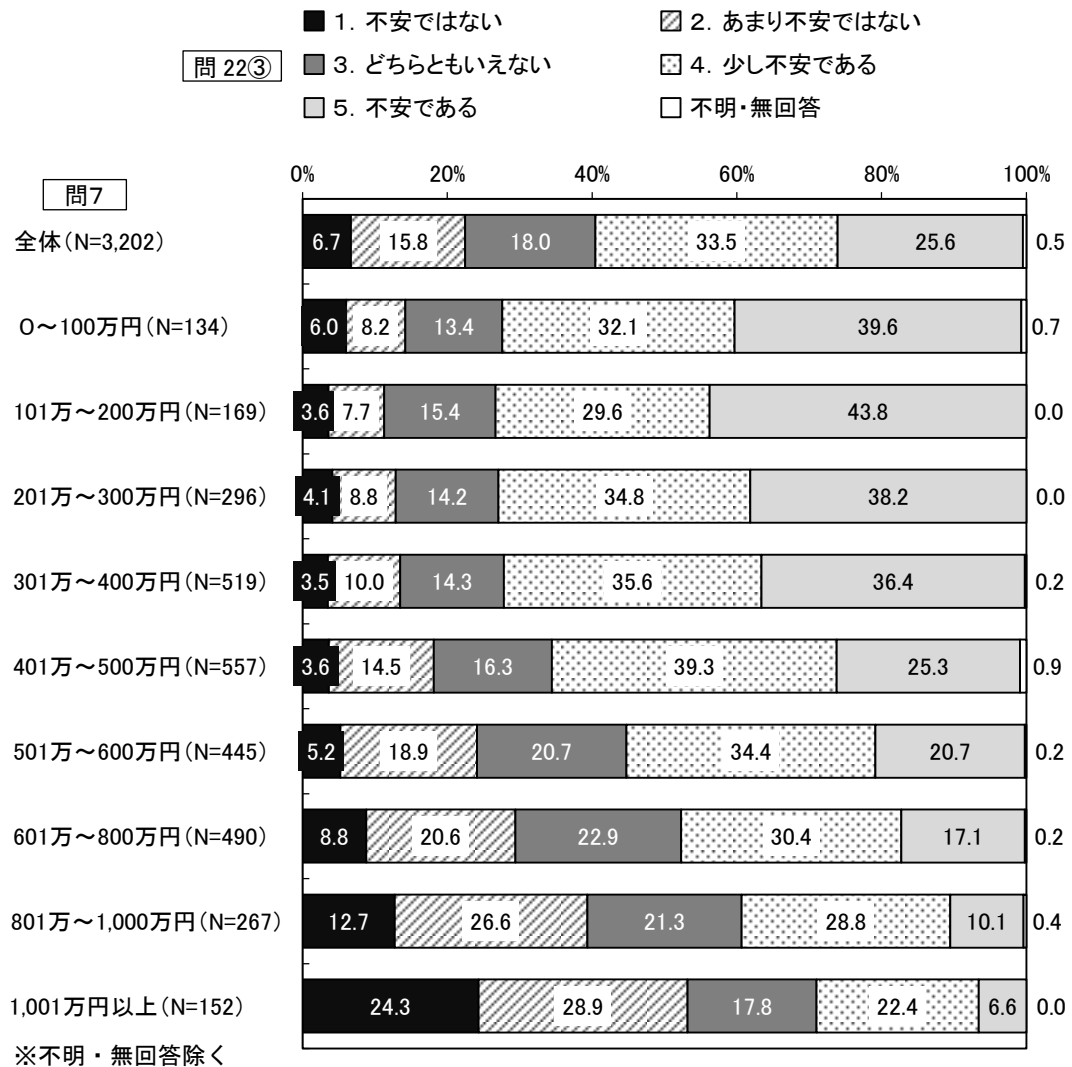
《問 22②子どもの教育×問 14 子どもの様子別》

②子どもの教育について、子どもの自己肯定感が高いほど「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が低くなる傾向がみられます。



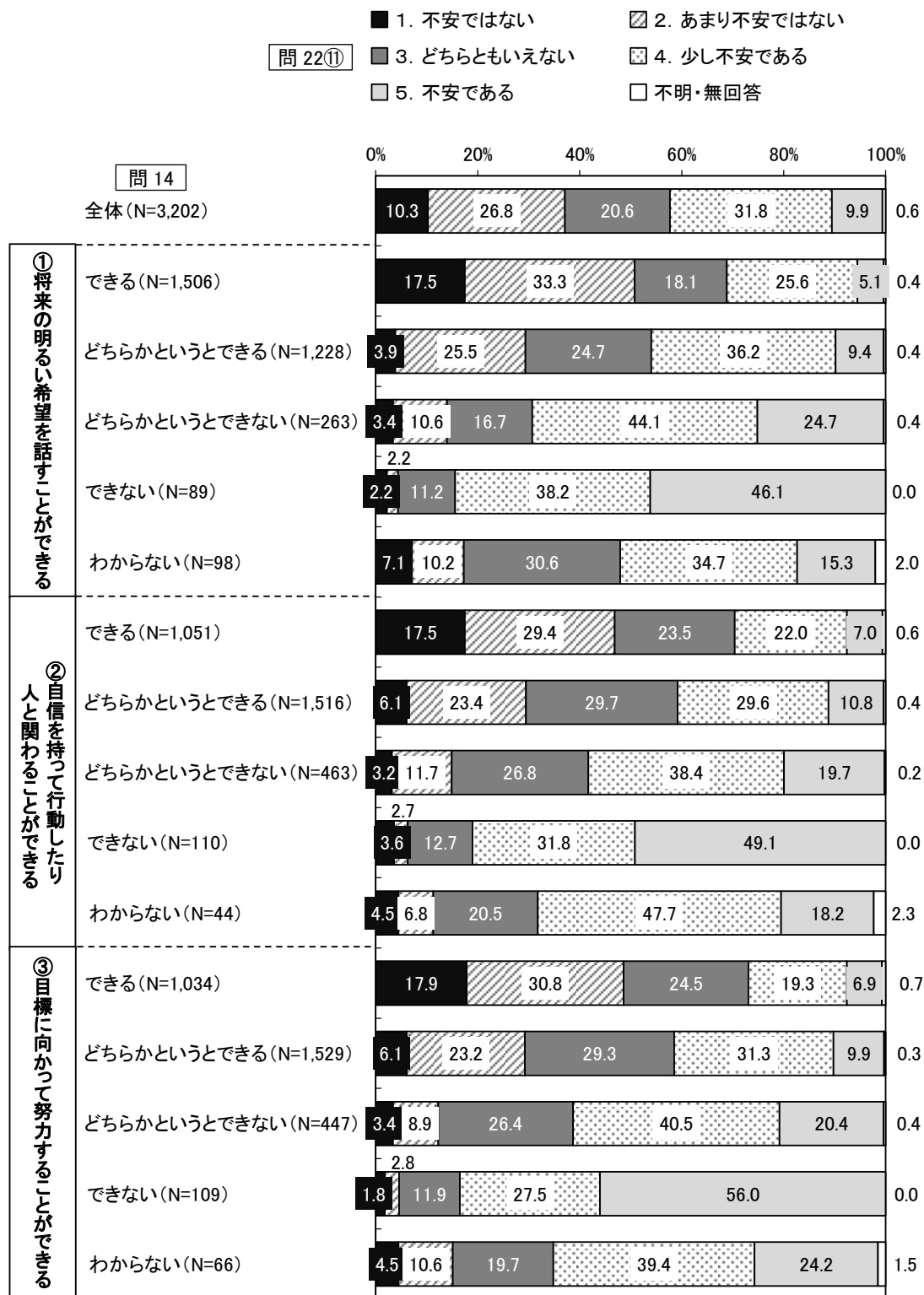
《問 22③子どもの教育費×問 7世帯の昨年1年間の可処分所得別》

③子どもの教育費について、昨年1年間の可処分所得が高いほど「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が低くなる傾向がみられます。



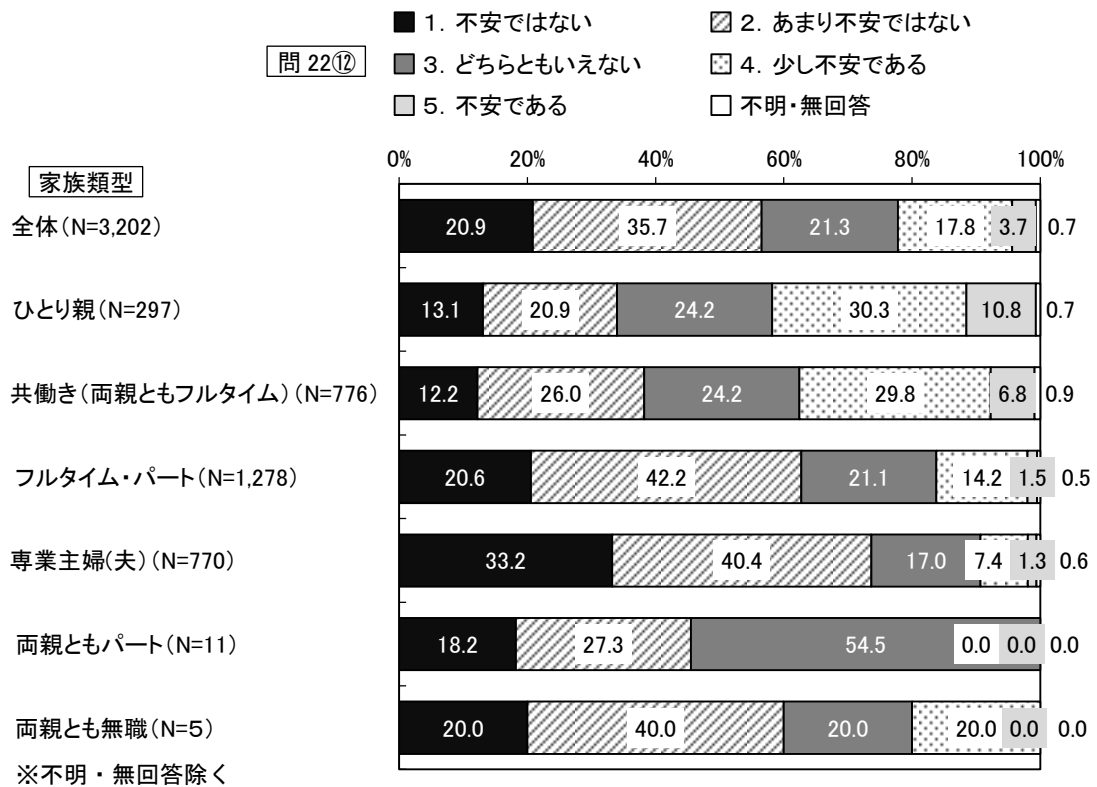
《問 22⑪子どもの将来×問 14 子どもの様子別》

⑪子どもの将来について、子どもの自己肯定感が高いほど「不安である(「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計)」の割合が低くなる傾向がみられます。



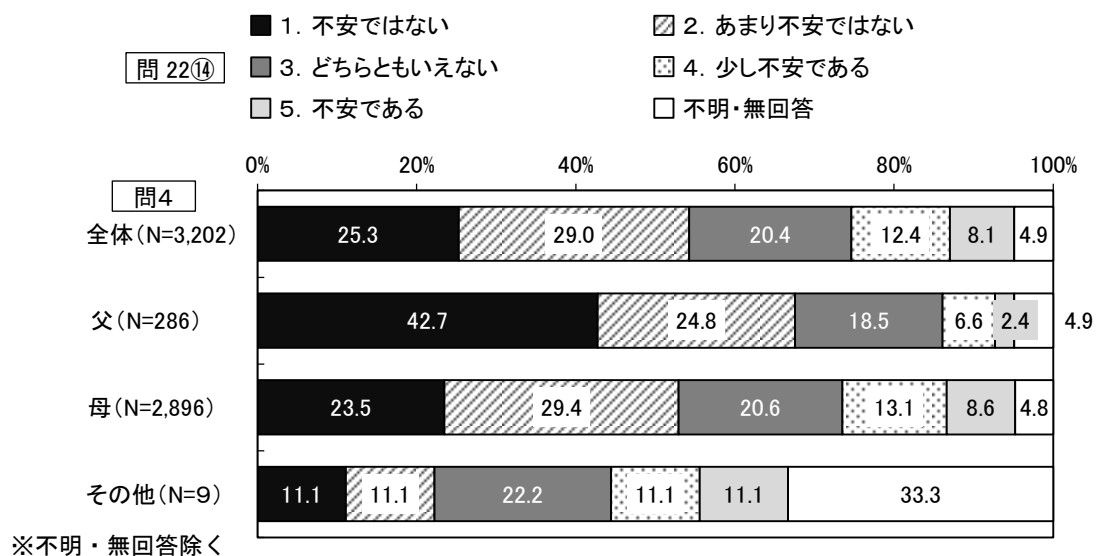
《問 22⑫子どもと接する時間×家族類型別》

⑫子どもと接する時間について、[ひとり親][共働き（両親ともフルタイム）]で「不安である（「4. 少し不安である」と「5. 不安である」の合計）」の割合が他の区分に比べ高くなっています。



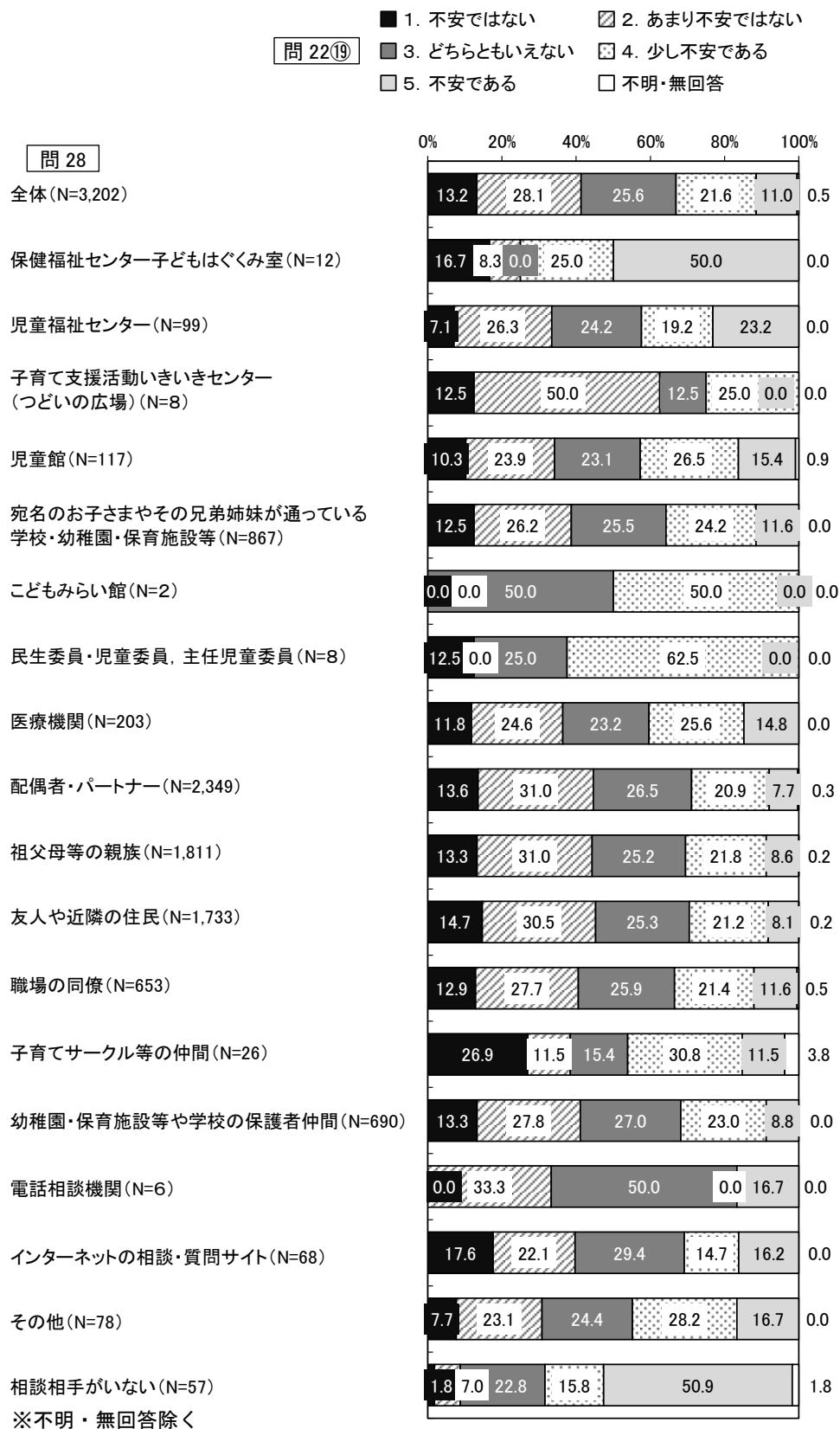
《問 22⑭配偶者の子育てへの協力×問 4 調査票の記入者別》

⑭配偶者の子育てへの協力について、「父」では「1. 不安ではない」の割合が「母」に比べ高くなっています。



《問 22⑱自分の時間，心のゆとり×問 28 相談先・相談相手別》

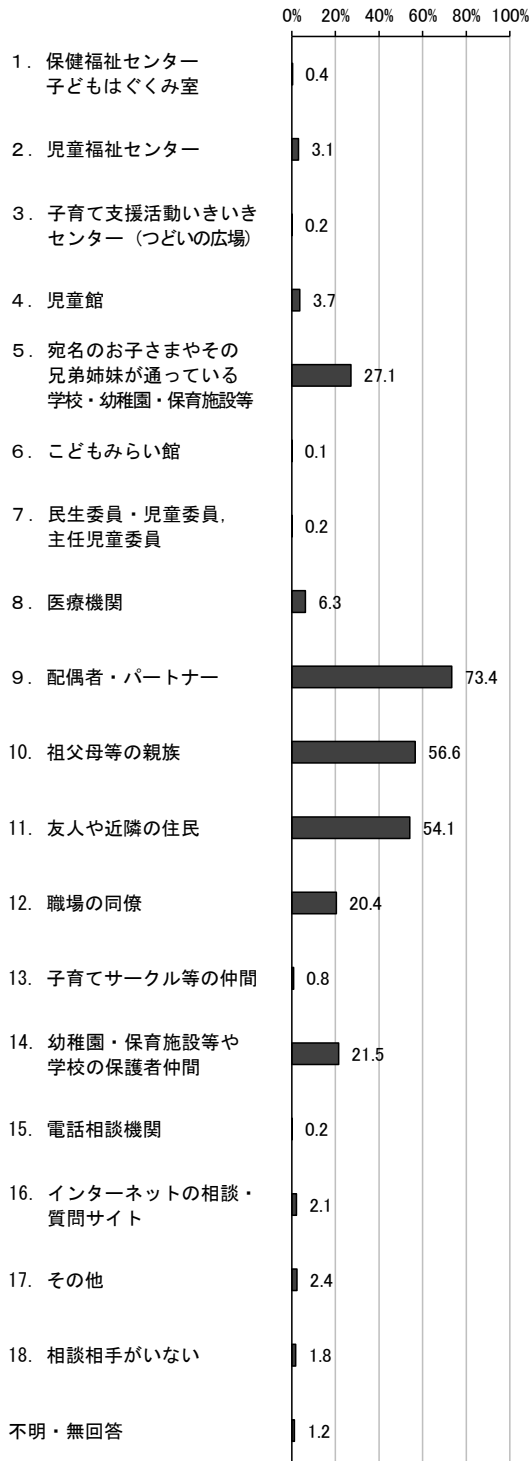
⑱自分の時間，心のゆとりについて，[相談相手がない]では「5. 不安である」が5割を超えています。



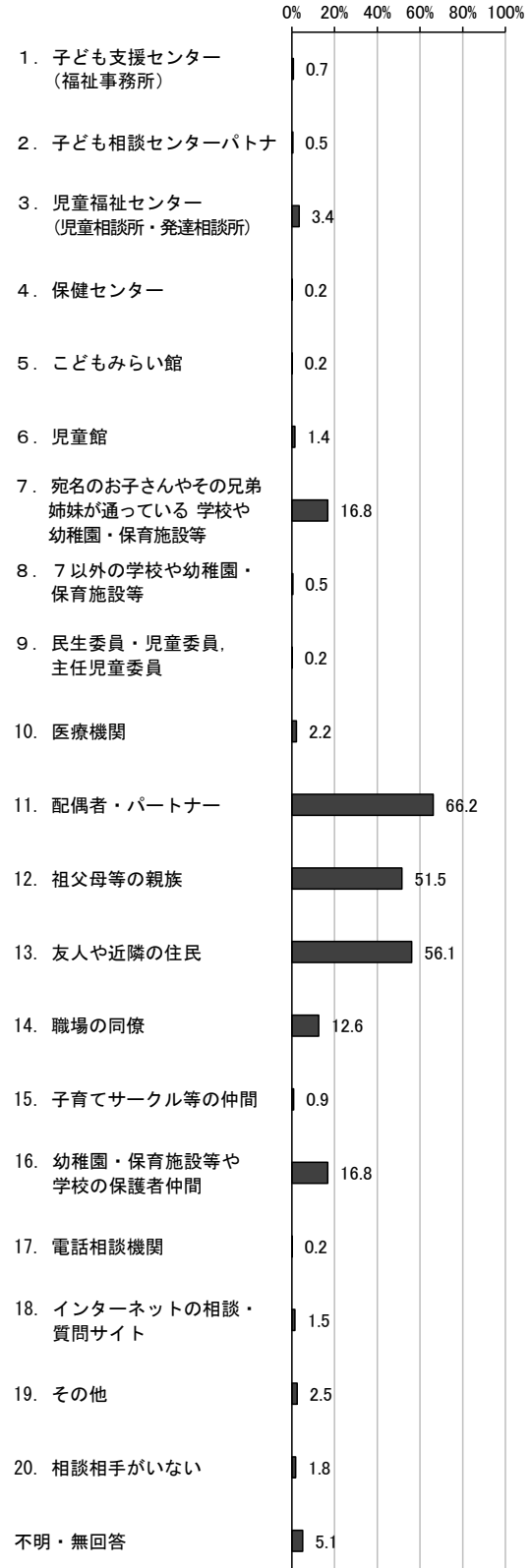
問 23 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。(〇は3つまで)

「9. 配偶者・パートナー」が73.4%と最も高く、次いで「10. 祖父母等の親族」が56.6%、「11. 友人や近隣の住民」が54.1%となっています。

平成30年(N=3,202)



平成25年(N=2,649)

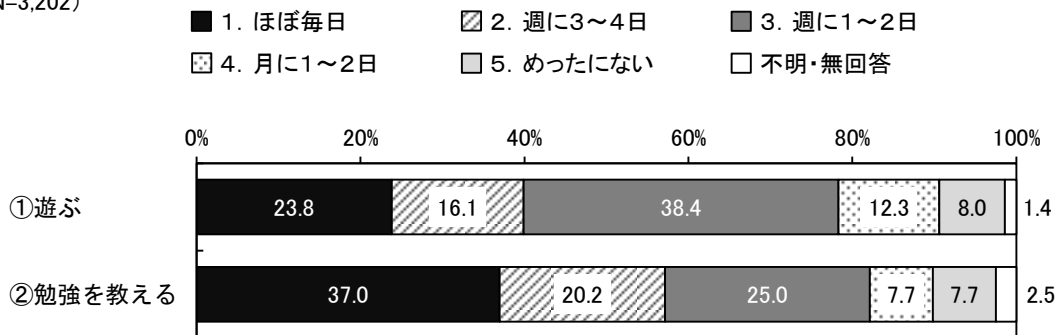


問 24 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶまたは勉強を教える機会は、どの程度ありますか。
(〇はそれぞれ1つつ)

①遊ぶ機会は、「3. 週に1～2日」が38.4%と最も高く、次いで「1. ほぼ毎日」が23.8%、「2. 週に3～4日」が16.1%となっています。

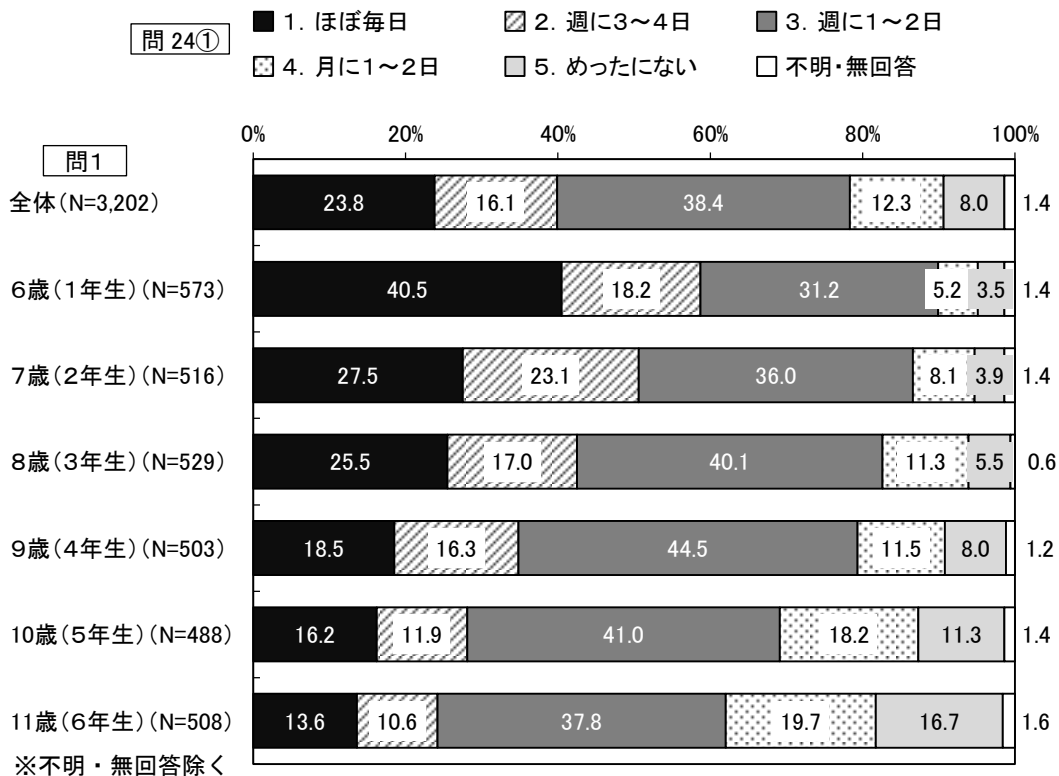
②勉強を教える機会は、「1. ほぼ毎日」が37.0%と最も高く、次いで「3. 週に1～2日」が25.0%、「2. 週に3～4日」が20.2%となっています。

(N=3,202)



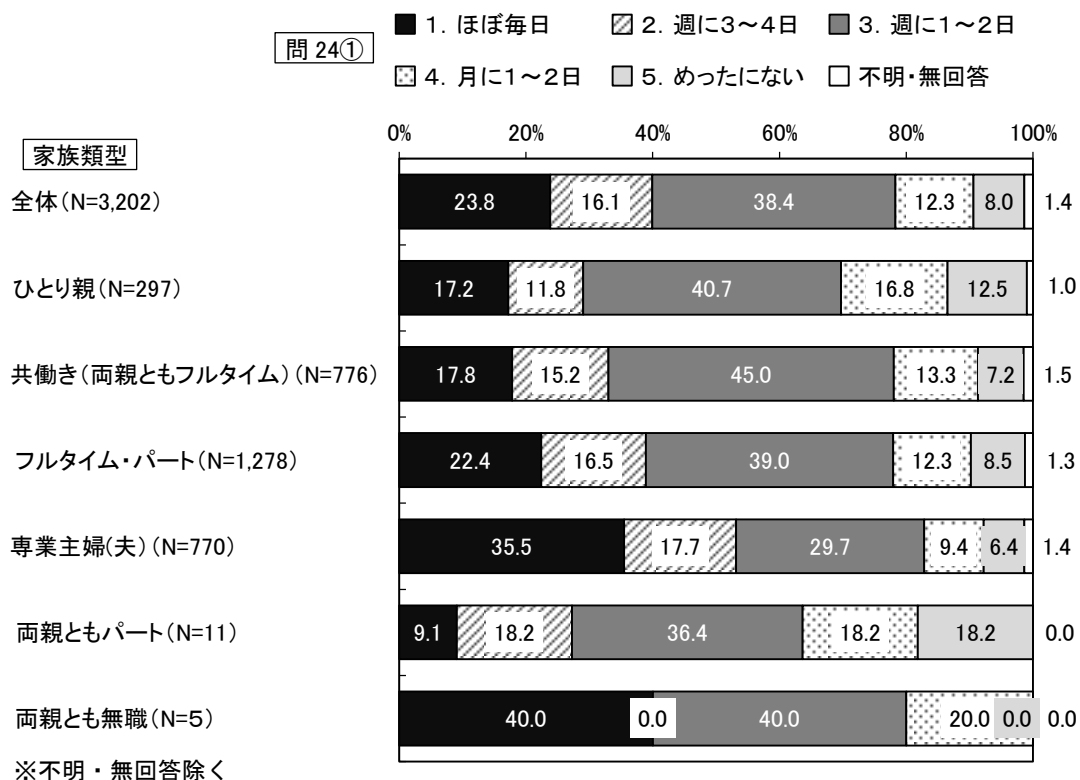
《問 24①遊ぶ×問 1 子どもの年齢（学年）別》

遊ぶ機会について、年齢（学年）が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



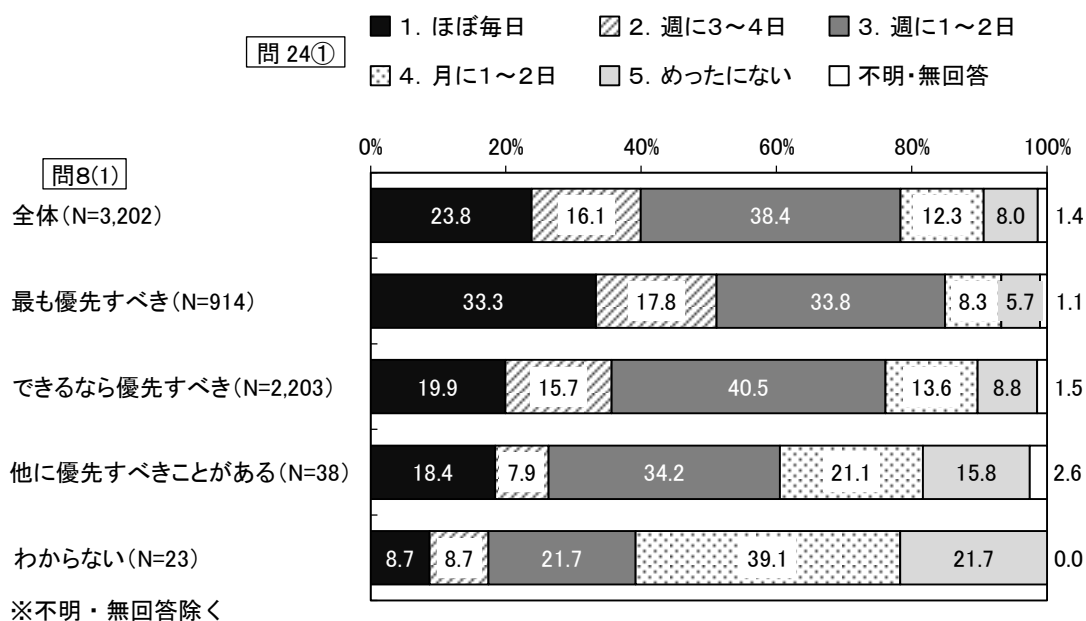
《問 24①遊ぶ×家族類型別》

遊ぶ機会について、「専業主婦（夫）」では「1. ほぼ毎日」，「両親とも無職」では「1. ほぼ毎日」「3. 週に1～2日」，それ以外では「3. 週に1～2日」の割合が最も高くなっています。



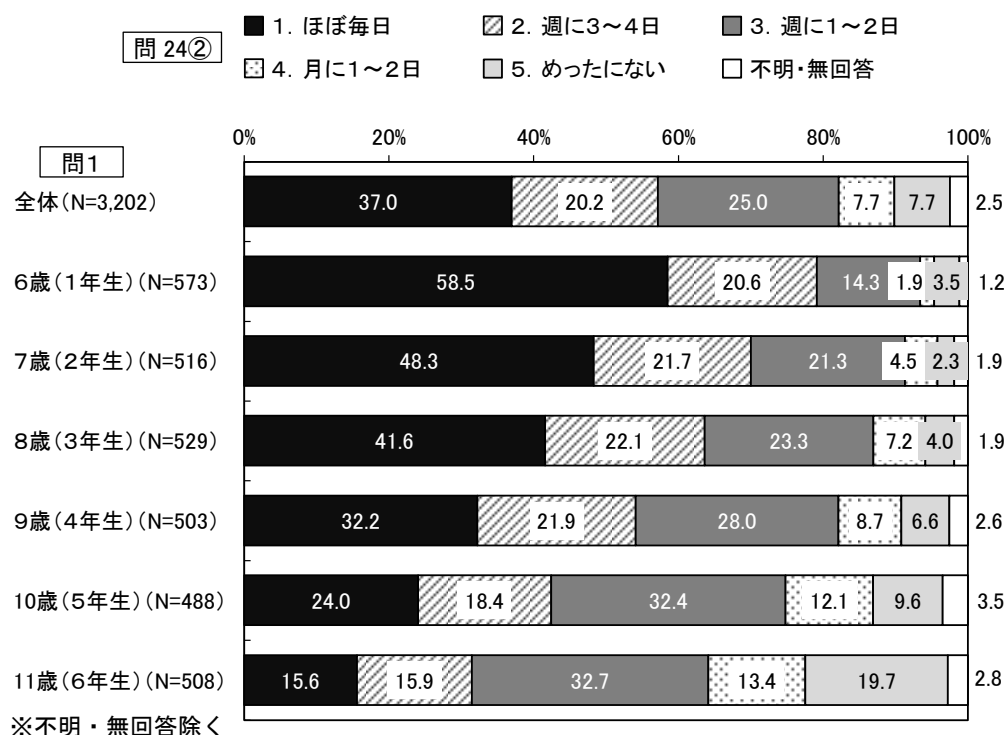
《問 24①遊ぶ×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

遊ぶ機会について，子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



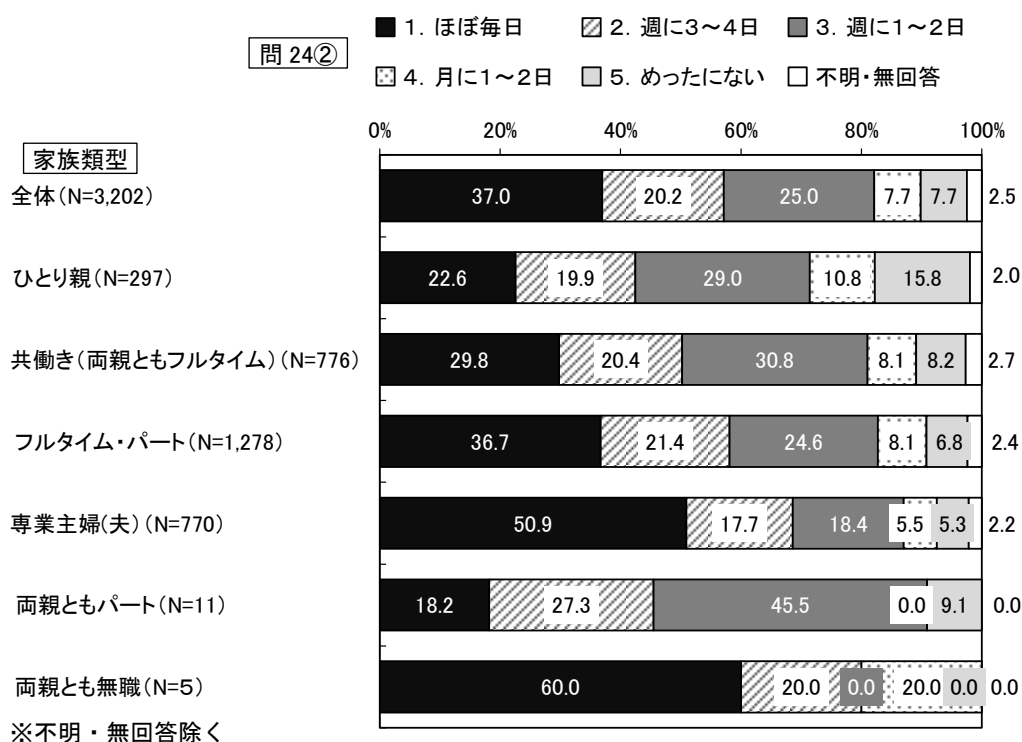
《問 24②勉強を教える×問 1 子どもの年齢（学年）別》

勉強を教える機会について、年齢（学年）が上がるほど「1. ほぼ毎日」の割合が低くなる傾向がみられます。



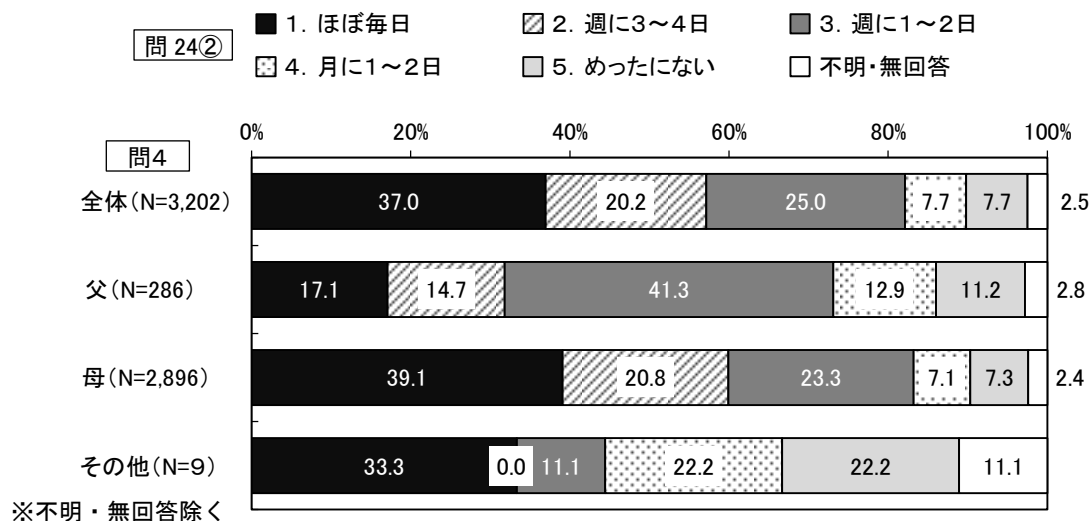
《問 24②勉強を教える×家族類型別》

勉強を教える機会について、「ひとり親」「共働き（両親ともフルタイム）」「両親ともパート」では「3. 週に1～2日」、それ以外では「1. ほぼ毎日」の割合が最も高くなっています。



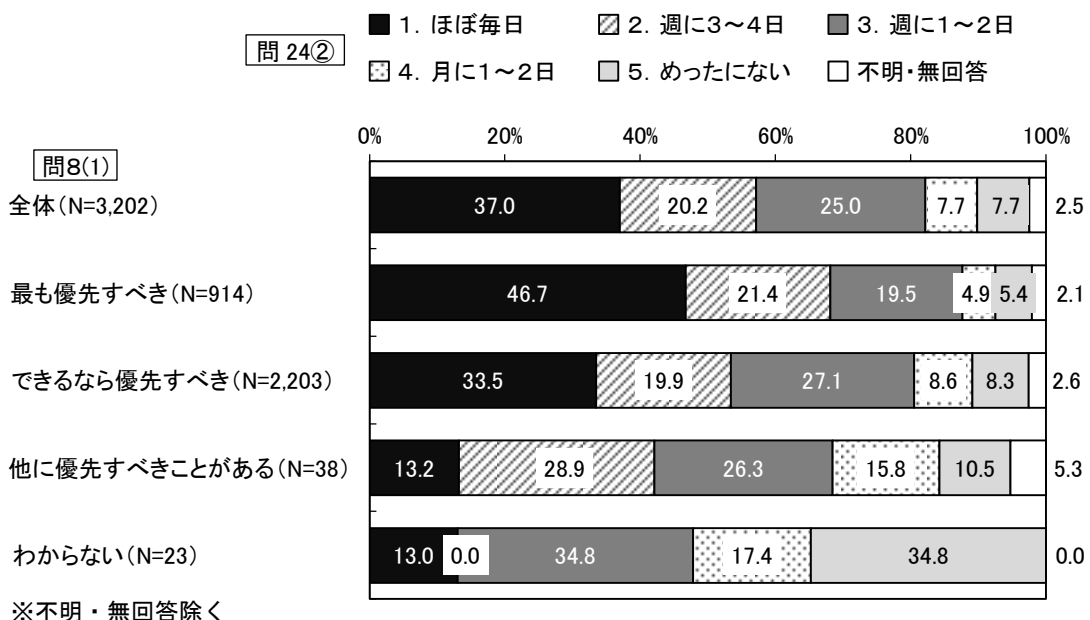
《問 24②勉強を教える×問 4 調査票の記入者別》

勉強を教える機会について、「父」では「3. 週に1～2日」,「母」では「1. ほぼ毎日」の割合が最も高くなっています。



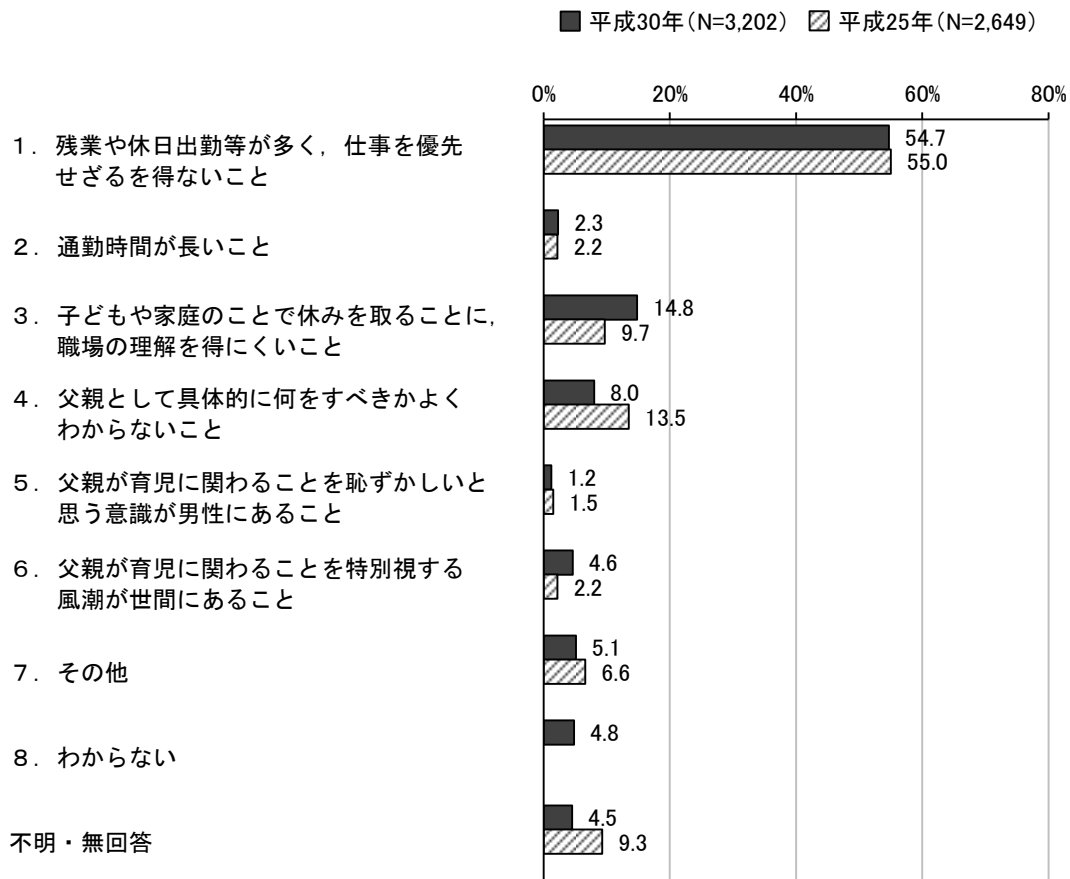
《問 24②勉強を教える×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

勉強を教える機会について、子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 25 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。(〇は1つ)

「1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」が54.7%と最も高く、次いで「3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと」が14.8%、「4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと」が8.0%となっています。



※「8. わからない」は平成30年だけの選択肢

《問 25×家族類型別》

「両親とも無職」では「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」「わからない」、それ以外では「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ること、職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること	その他	わからない	不明・無回答	
全体	3,202 100.0	1,753 54.7	73 2.3	473 14.8	257 8.0	38 1.2	146 4.6	162 5.1	155 4.8	145 4.5	
家族類型別	ひとり親	297 100.0	100 33.7	2 0.7	48 16.2	35 11.8	3 1.0	12 4.0	17 5.7	49 16.5	31 10.4
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	380 49.0	15 1.9	131 16.9	67 8.6	14 1.8	61 7.9	46 5.9	28 3.6	34 4.4
	フルタイム・パート	1,278 100.0	757 59.2	30 2.3	183 14.3	94 7.4	12 0.9	47 3.7	56 4.4	48 3.8	51 4.0
	専業主婦(夫)	770 100.0	484 62.9	25 3.2	100 13.0	54 7.0	9 1.2	23 3.0	36 4.7	18 2.3	21 2.7
	両親ともパート	11 100.0	5 45.5	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	両親とも無職	5 100.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 25×問 4 調査票の記入者別》

「父」「母」とともに「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ること、職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること	父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること	その他	わからない	不明・無回答	
全体	3,202 100.0	1,753 54.7	73 2.3	473 14.8	257 8.0	38 1.2	146 4.6	162 5.1	155 4.8	145 4.5	
記調査票別の	父	286 100.0	177 61.9	7 2.4	39 13.6	5 1.7	4 1.4	20 7.0	12 4.2	15 5.2	7 2.4
	母	2,896 100.0	1,568 54.1	65 2.2	432 14.9	251 8.7	34 1.2	126 4.4	148 5.1	136 4.7	136 4.7
	その他	9 100.0	2 22.2	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1

※不明・無回答除く

《問 25×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭、母親がフルタイムで就労している家庭、母親がパートタイム、アルバイト等で就労している家庭、母親が現在就労していない家庭では「残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと」の割合が高くなっています。

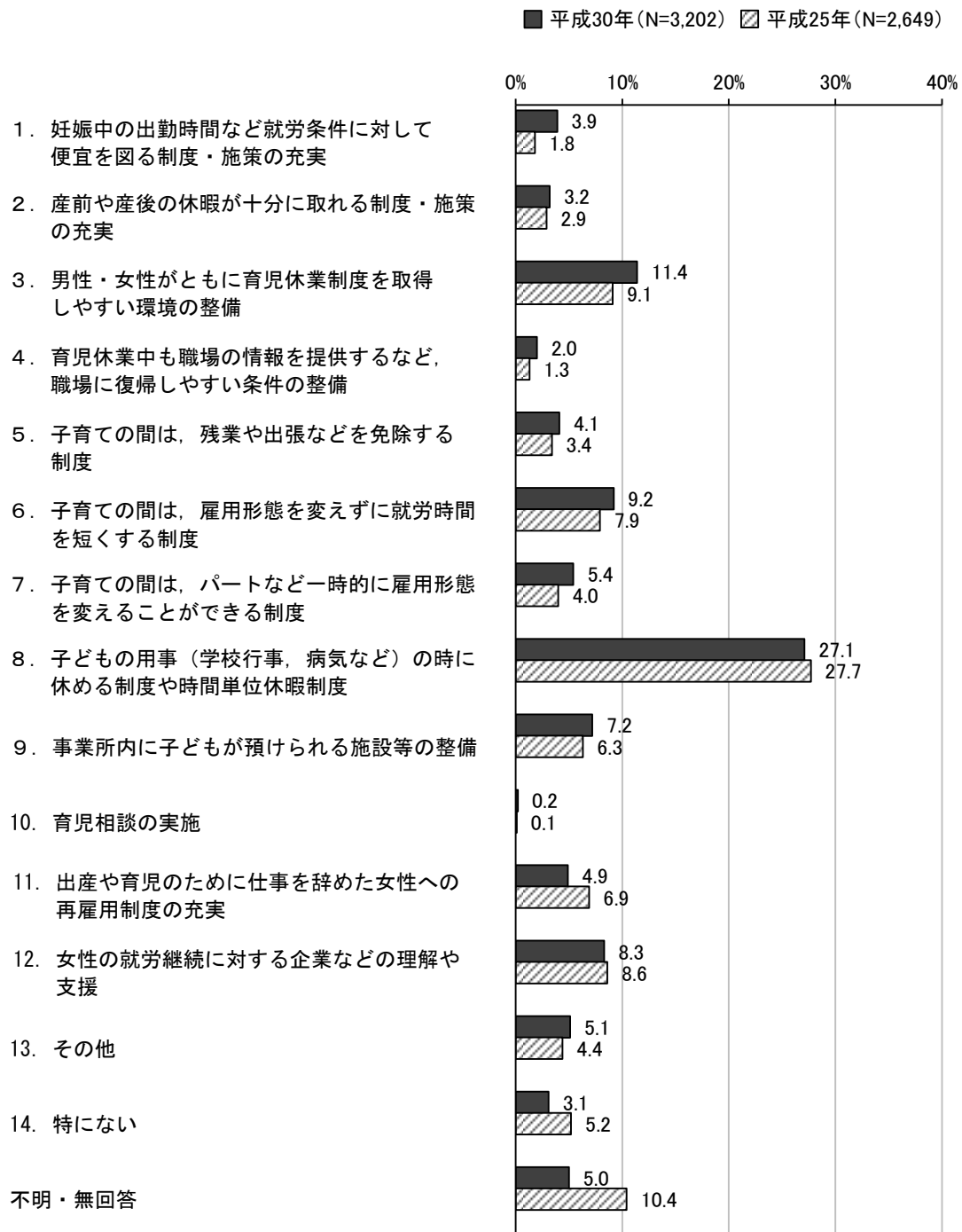
上段:件数 下段:%		合計	残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと	通勤時間が長いこと	子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと	父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと	父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること
父親の就労状況別	全体	3,202 100.0	1,753 54.7	73 2.3	473 14.8	257 8.0	38 1.2
	就労している(フルタイム)	2,837 100.0	1,644 57.9	70 2.5	406 14.3	218 7.7	35 1.2
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	29 100.0	13 44.8	0 0.0	3 10.3	2 6.9	0 0.0
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	30 100.0	9 30.0	0 0.0	10 33.3	2 6.7	0 0.0
	母親の就労状況別	全体	3,202 100.0	1,753 54.7	73 2.3	473 14.8	257 8.0
就労している(フルタイム)	930 100.0	425 45.7	17 1.8	162 17.4	90 9.7	15 1.6	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	23 100.0	7 30.4	0 0.0	8 34.8	1 4.3	0 0.0	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	1,385 100.0	784 56.6	31 2.2	199 14.4	107 7.7	14 1.0	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	22 100.0	14 63.6	0 0.0	5 22.7	0 0.0	0 0.0	
現在就労していない	789 100.0	491 62.2	25 3.2	96 12.2	56 7.1	9 1.1	

上段:件数 下段:%		合計	父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること	その他	わからない	不明・無回答
父親の就労状況別	全体	3,202 100.0	146 4.6	162 5.1	155 4.8	145 4.5
	就労している(フルタイム)	2,837 100.0	130 4.6	134 4.7	93 3.3	107 3.8
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	29 100.0	2 6.9	5 17.2	2 6.9	2 6.9
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	30 100.0	0 0.0	4 13.3	4 13.3	1 3.3
	母親の就労状況別	全体	3,202 100.0	146 4.6	162 5.1	155 4.8
就労している(フルタイム)	930 100.0	63 6.8	58 6.2	46 4.9	54 5.8	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	23 100.0	5 21.7	2 8.7	0 0.0	0 0.0	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	1,385 100.0	50 3.6	62 4.5	74 5.3	64 4.6	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	22 100.0	1 4.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0	
現在就労していない	789 100.0	25 3.2	36 4.6	29 3.7	22 2.8	

※不明・無回答除く

問 26 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。(〇は1つ)

「8. 子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」が27.1%と最も高く，次いで「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」が11.4%，「6. 子育ての間は，雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度」が9.2%となっています。平成25年と比較すると，特に大きな差はみられません。



《問 26×家族類型別》

「両親ともパート」「両親とも無職」では「女性の就労継続に対する企業などの理解や支援」、それ以外では「子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性とともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	子どもの用事(学校行事、病気など)の時に休める制度や時間単位休暇制度
全体	3,202 100.0	125 3.9	101 3.2	365 11.4	65 2.0	130 4.1	293 9.2	173 5.4	868 27.1
家族類型別	ひとり親	297 100.0	8 2.7	7 2.4	23 7.7	5 1.7	17 5.7	12 4.0	81 27.3
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	44 5.7	17 2.2	94 12.1	16 2.1	42 5.4	100 12.9	37 4.8
	フルタイム・パート	1,278 100.0	42 3.3	48 3.8	173 13.5	24 1.9	42 3.3	102 8.0	73 5.7
	専業主婦(夫)	770 100.0	28 3.6	26 3.4	71 9.2	17 2.2	23 3.0	60 7.8	44 5.7
	両親ともパート	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	2 18.2
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0

上段:件数 下段:%	合計	事業所内に子どもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	不明・無回答
全体	3,202 100.0	229 7.2	8 0.2	156 4.9	266 8.3	163 5.1	99 3.1	161 5.0
家族類型別	ひとり親	297 100.0	26 8.8	1 0.3	9 3.0	31 10.4	13 4.4	23 7.7
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	42 5.4	2 0.3	18 2.3	60 7.7	64 8.2	41 5.3
	フルタイム・パート	1,278 100.0	91 7.1	2 0.2	68 5.3	116 9.1	53 4.1	54 4.2
	専業主婦(夫)	770 100.0	66 8.6	2 0.3	57 7.4	53 6.9	31 4.0	33 4.3
	両親ともパート	11 100.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 26×問 4 調査票の記入者別》

「父」では「男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」, 「母」では「子どもの用事(学校行事, 病気など)の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	子どもの用事(学校行事, 病気など)の時に休める制度や時間単位休暇制度	
全 体	3,202 100.0	125 3.9	101 3.2	365 11.4	65 2.0	130 4.1	293 9.2	173 5.4	868 27.1	
記 調 入 査 者 票 別 の	父	286 100.0	14 4.9	15 5.2	70 24.5	6 2.1	17 5.9	31 10.8	10 3.5	39 13.6
	母	2,896 100.0	111 3.8	86 3.0	295 10.2	58 2.0	109 3.8	261 9.0	163 5.6	825 28.5
	その他	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1 11.1
上段:件数 下段:%	合計	事業所内に子どもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特にない	不明・無回答		
全 体	3,202 100.0	229 7.2	8 0.2	156 4.9	266 8.3	163 5.1	99 3.1	161 5.0		
記 調 入 査 者 票 別 の	父	286 100.0	16 5.6	1 0.3	5 1.7	11 3.8	23 8.0	11 3.8	17 5.9	
	母	2,896 100.0	211 7.3	6 0.2	149 5.1	254 8.8	140 4.8	87 3.0	141 4.9	
	その他	9 100.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	

※不明・無回答除く

《問 26×問 11(1)父親・母親の就労状況別》

父親がフルタイムで就労している家庭，母親がフルタイムで就労している家庭，母親がパートタイム，アルバイト等で就労している家庭，母親が現在就労していない家庭では「子どもの用事（学校行事，病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度」の割合が最も高くなっています。

上段：件数 下段：%	合計	妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実	産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実	男性・女性とともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備	育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備	子育ての間は、残業や出張などを免除する制度	子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度	子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度	子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度	
父親の就労状況別	全体	3,202 100.0	125 3.9	101 3.2	365 11.4	65 2.0	130 4.1	293 9.2	173 5.4	868 27.1
	就労している(フルタイム)	2,837 100.0	114 4.0	93 3.3	342 12.1	55 1.9	109 3.8	265 9.3	158 5.6	765 27.0
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	29 100.0	1 3.4	1 3.4	2 6.9	0 0.0	1 3.4	4 13.8	2 6.9	4 13.8
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	30 100.0	0 0.0	0 0.0	1 3.3	2 6.7	3 10.0	3 10.0	1 3.3	9 30.0
	母親の就労状況別	全体	3,202 100.0	125 3.9	101 3.2	365 11.4	65 2.0	130 4.1	293 9.2	173 5.4
就労している(フルタイム)	930 100.0	46 4.9	22 2.4	100 10.8	21 2.3	51 5.5	112 12.0	35 3.8	234 25.2	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	23 100.0	3 13.0	0 0.0	2 8.7	0 0.0	4 17.4	4 17.4	3 13.0	1 4.3	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	1,385 100.0	47 3.4	49 3.5	174 12.6	28 2.0	47 3.4	108 7.8	83 6.0	383 27.7	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	22 100.0	0 0.0	1 4.5	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	3 13.6	4 18.2	
現在就労していない	789 100.0	29 3.7	26 3.3	74 9.4	15 1.9	23 2.9	61 7.7	46 5.8	237 30.0	

上段：件数 下段：%	合計	事業所内に子どもが預けられる施設等の整備	育児相談の実施	出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実	女性の就労継続に対する企業などの理解や支援	その他	特になし	不明・無回答	
父親の就労状況別	全体	3,202 100.0	229 7.2	8 0.2	156 4.9	266 8.3	163 5.1	99 3.1	161 5.0
	就労している(フルタイム)	2,837 100.0	197 6.9	7 0.2	145 5.1	230 8.1	147 5.2	80 2.8	130 4.6
	就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	就労している(パートタイム, アルバイト等)	29 100.0	5 17.2	0 0.0	0 0.0	4 13.8	2 6.9	2 6.9	1 3.4
	就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	現在就労していない	30 100.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	5 16.7	1 3.3	0 0.0	3 10.0
	母親の就労状況別	全体	3,202 100.0	229 7.2	8 0.2	156 4.9	266 8.3	163 5.1	99 3.1
就労している(フルタイム)	930 100.0	61 6.6	3 0.3	19 2.0	77 8.3	72 7.7	16 1.7	61 6.6	
就労している(フルタイム)が育休・介護休業中	23 100.0	0 0.0	0 0.0	2 8.7	3 13.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0	
就労している(パートタイム, アルバイト等)	1,385 100.0	97 7.0	2 0.1	74 5.3	128 9.2	56 4.0	52 3.8	57 4.1	
就労している(パートタイム, アルバイト等)が育休・介護休業中	22 100.0	1 4.5	0 0.0	0 0.0	1 4.5	1 4.5	1 4.5	2 9.1	
現在就労していない	789 100.0	68 8.6	2 0.3	60 7.6	55 7.0	32 4.1	28 3.5	33 4.2	

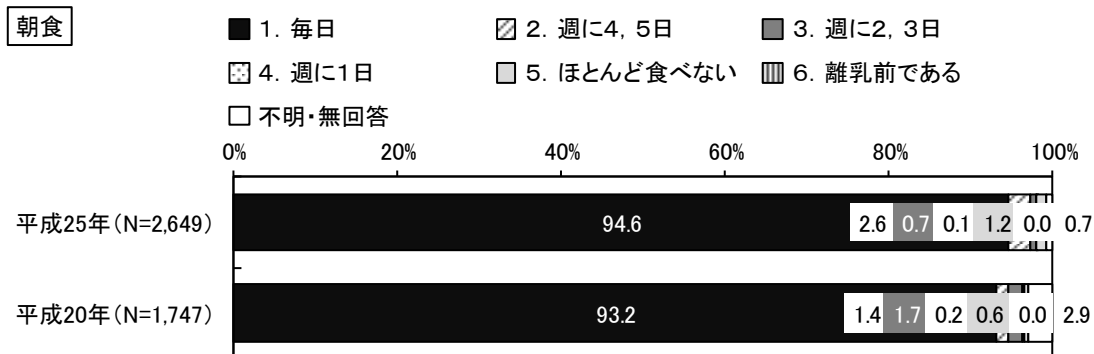
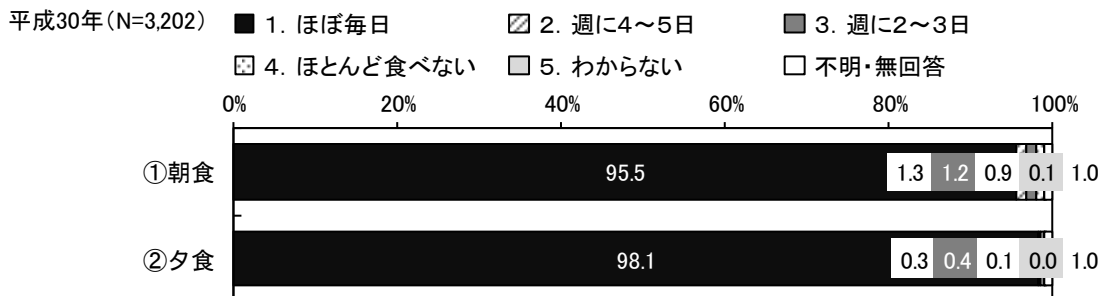
※不明・無回答除く

問 27(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。

(○はそれぞれ1つつ)

①朝食は「1. ほぼ毎日」が95.5%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日」が1.3%、「3. 週に2～3日」が1.2%となっています。

②夕食は「1. ほぼ毎日」が98.1%と最も高くなっています。

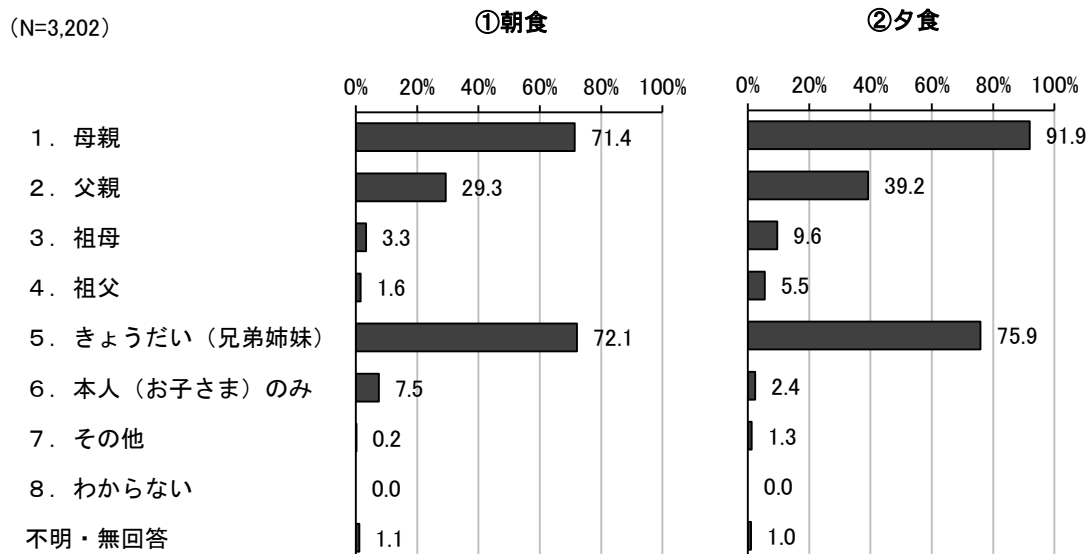


問 27(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。

(○はそれぞれいくつでも)

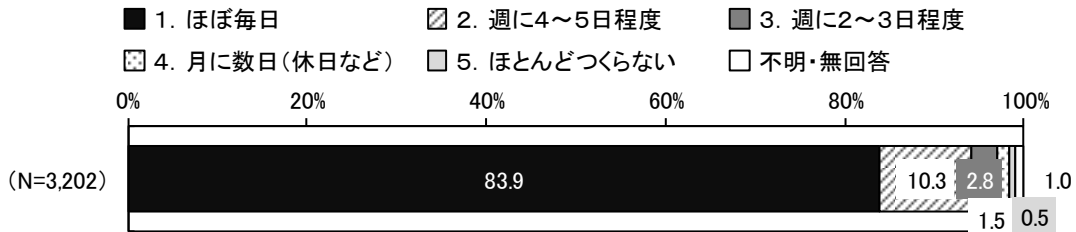
①朝食は「5. きょうだい(兄弟姉妹)」が72.1%と最も高く、次いで「1. 母親」が71.4%、「2. 父親」が29.3%となっています。

②夕食は「1. 母親」が91.9%と最も高く、次いで「5. きょうだい(兄弟姉妹)」が75.9%、「2. 父親」が39.2%となっています。



問 28(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる（料理する）ことがどの程度ありますか。（〇は1つ）

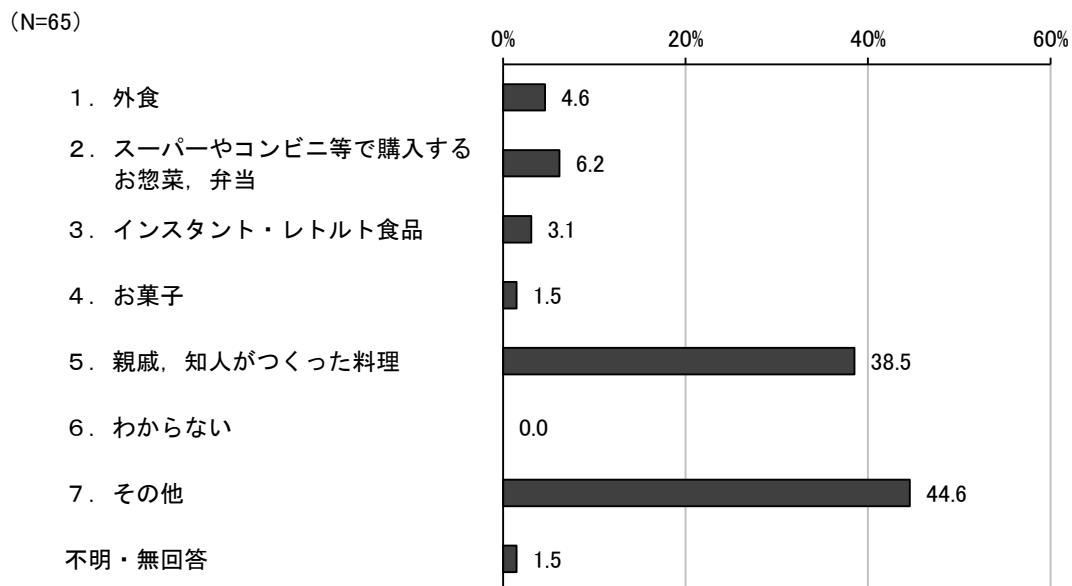
「1. ほぼ毎日」が83.9%と最も高く、次いで「2. 週に4～5日程度」が10.3%、「3. 週に2～3日程度」が2.8%となっています。



問 28(1)で「4」または「5」と答えた方

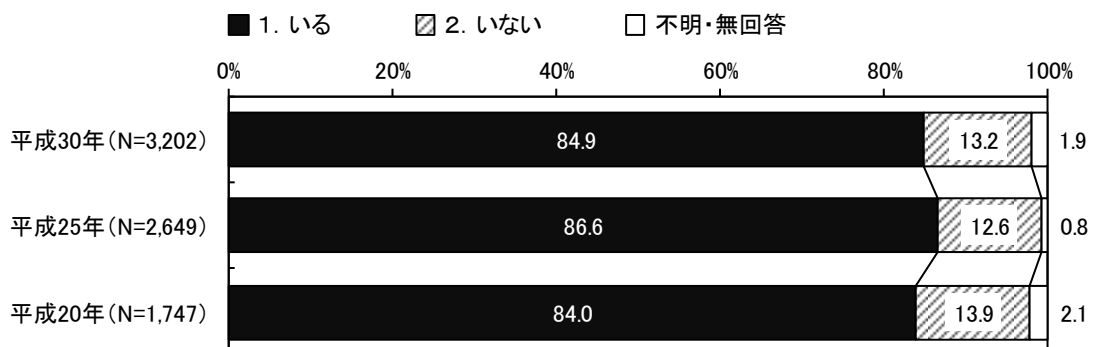
問 28(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。（〇は1つ）

その他を除き、「5. 親戚、知人がつくった料理」が38.5%と最も高く、次いで「2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当」が6.2%、「1. 外食」が4.6%となっています。



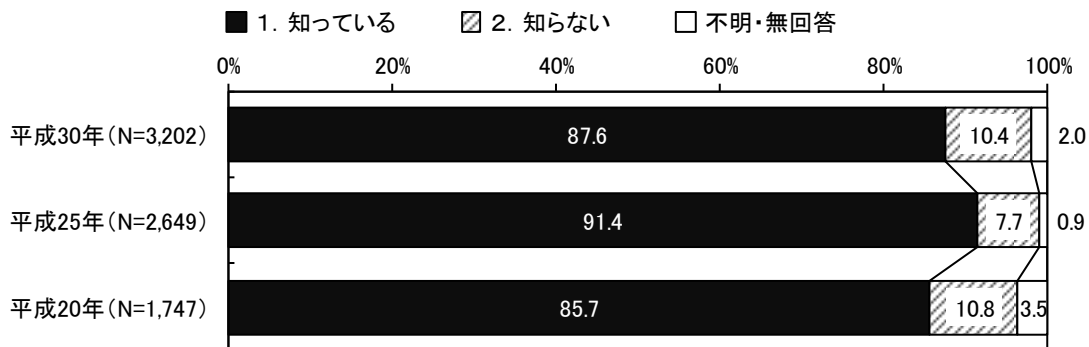
問 29 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。（〇は1つ）

「1. いる」が84.9%、「2. いない」が13.2%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 30 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(〇は1つ)

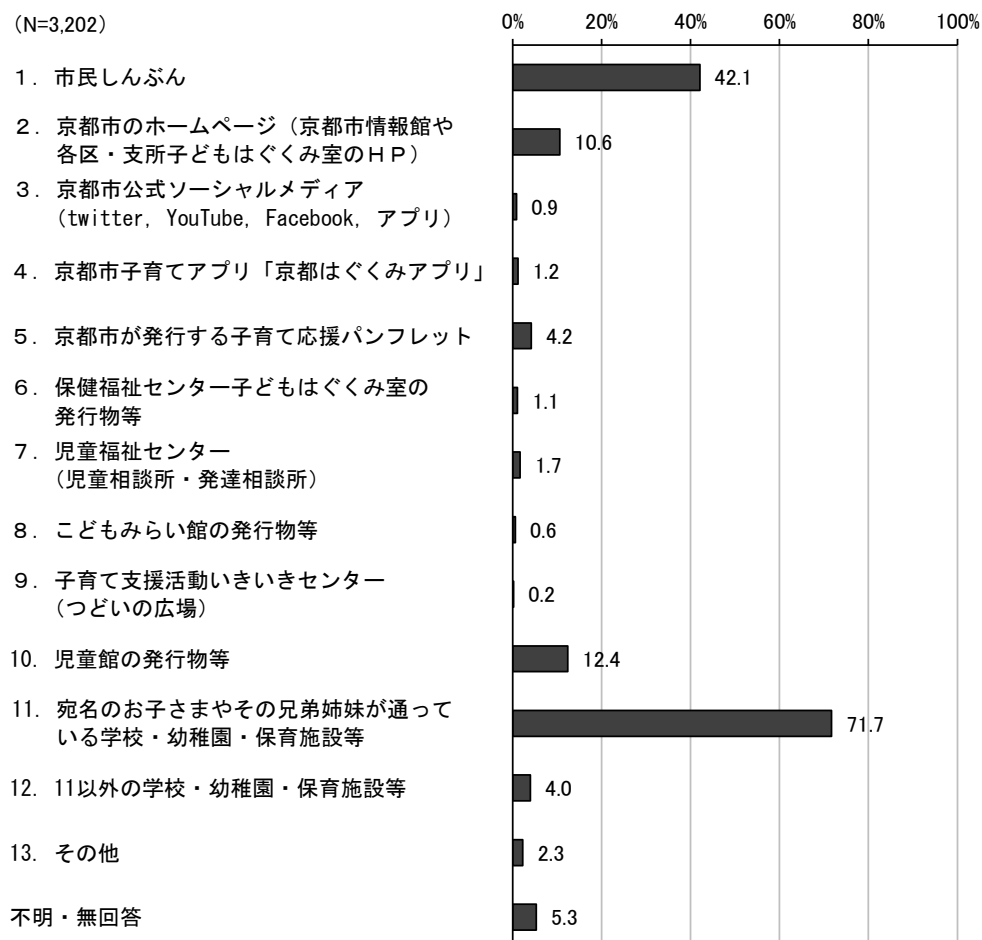
「1. 知っている」が87.6%、「2. 知らない」が10.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



問 31 子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれでお答えください。(〇はそれぞれ2つまで)

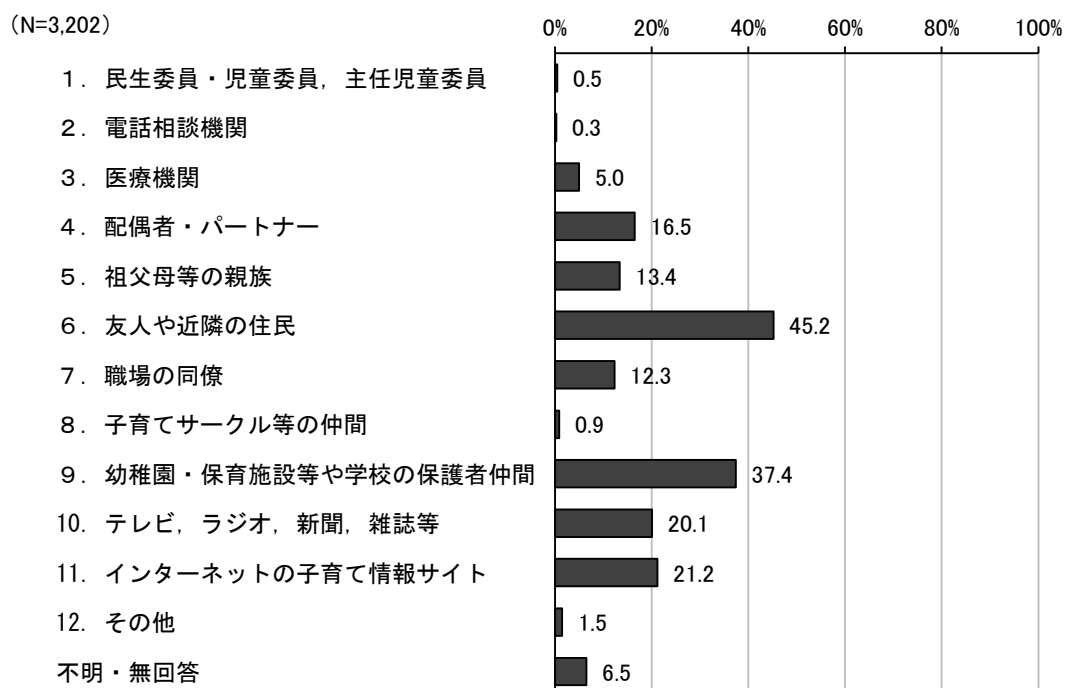
①行政

①行政では「11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等」が71.7%と最も高く、次いで「1. 市民しんぶん」が42.1%、「10. 児童館の発行物等」が12.4%となっています。



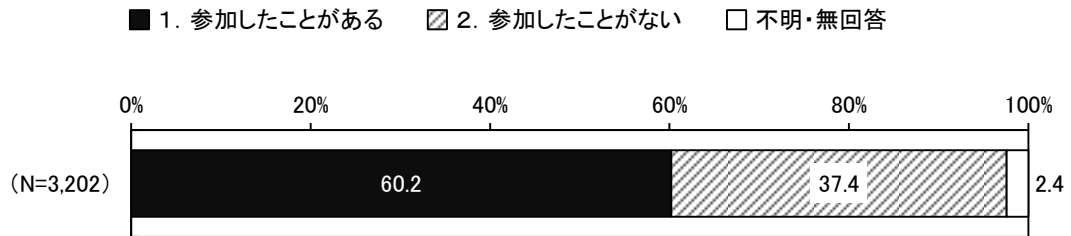
②民間

②民間では「6. 友人や近隣の住民」が45.2%と最も高く、次いで「9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間」が37.4%、「11. インターネットの子育て情報サイト」が21.2%、「10. テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が20.1%となっています。



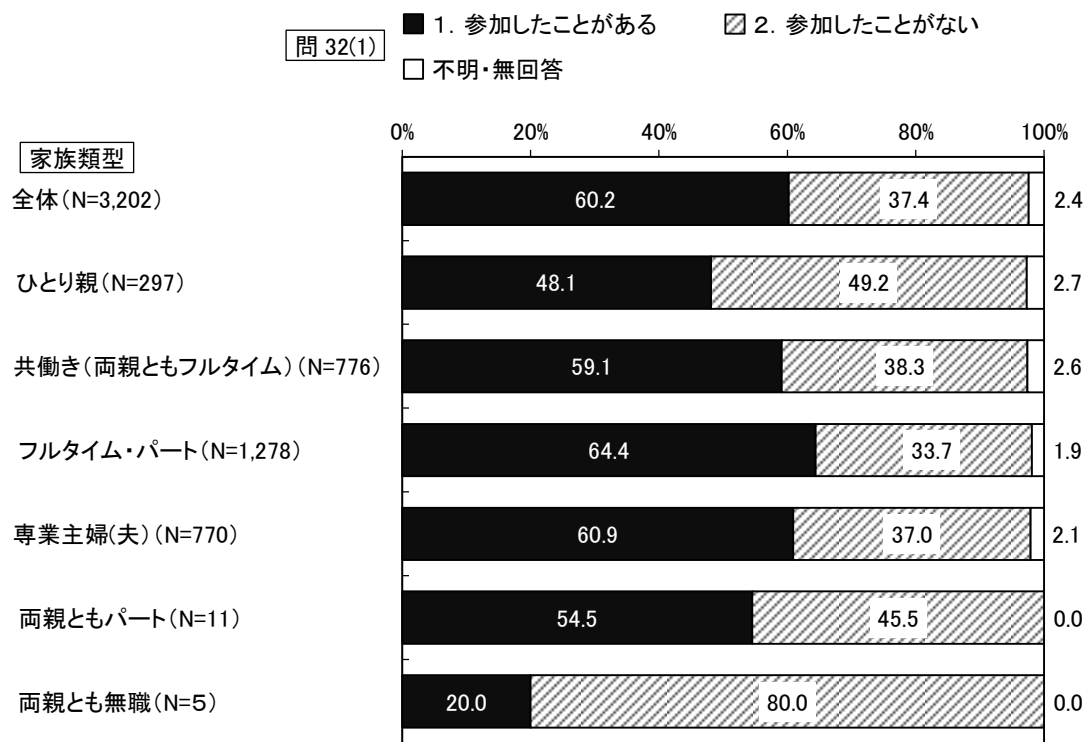
問 32(1) 宛名のお子さまと一緒に、地域で実施されている子育て世帯向けの事業に参加したことがありますか。(〇は1つ)

「1. 参加したことがある」が60.2%、「2. 参加したことがない」が37.4%となっています。



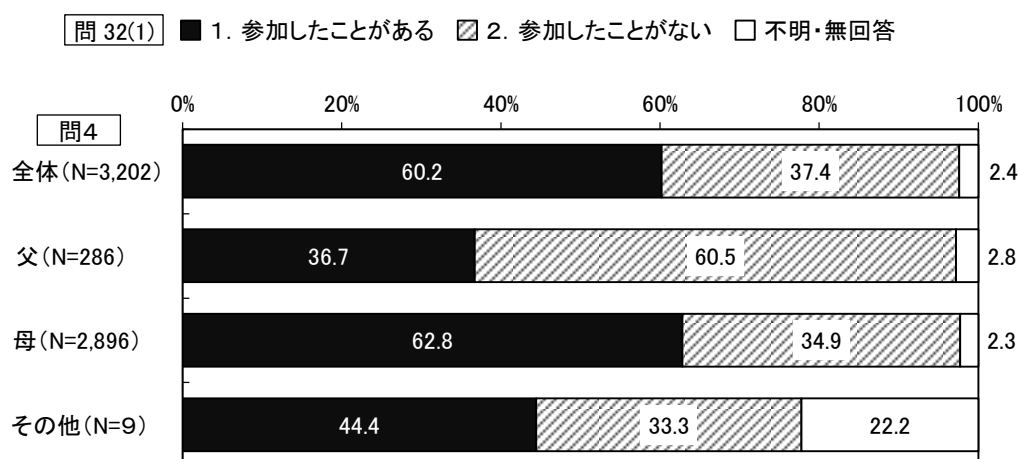
《問 32(1)×家族類型別》

「ひとり親」「両親とも無職」では「2. 参加したことがない」、それ以外では「1. 参加したことがある」の割合が高くなっています。



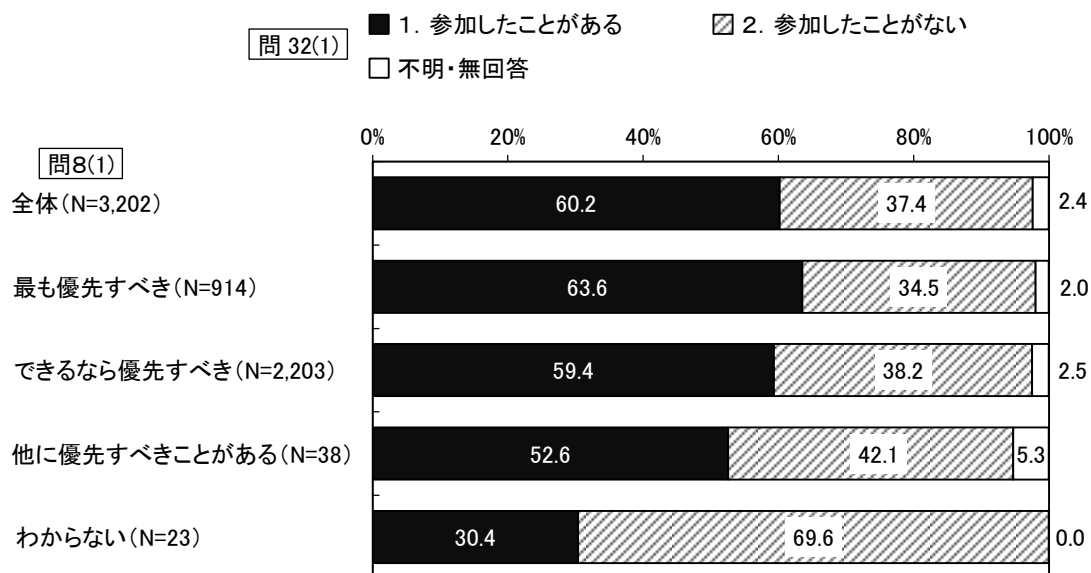
《問 32(1)×問 4 調査票の記入者別》

「父」では「2. 参加したことがない」、母では「1. 参加したことがある」の割合が高くなっています。



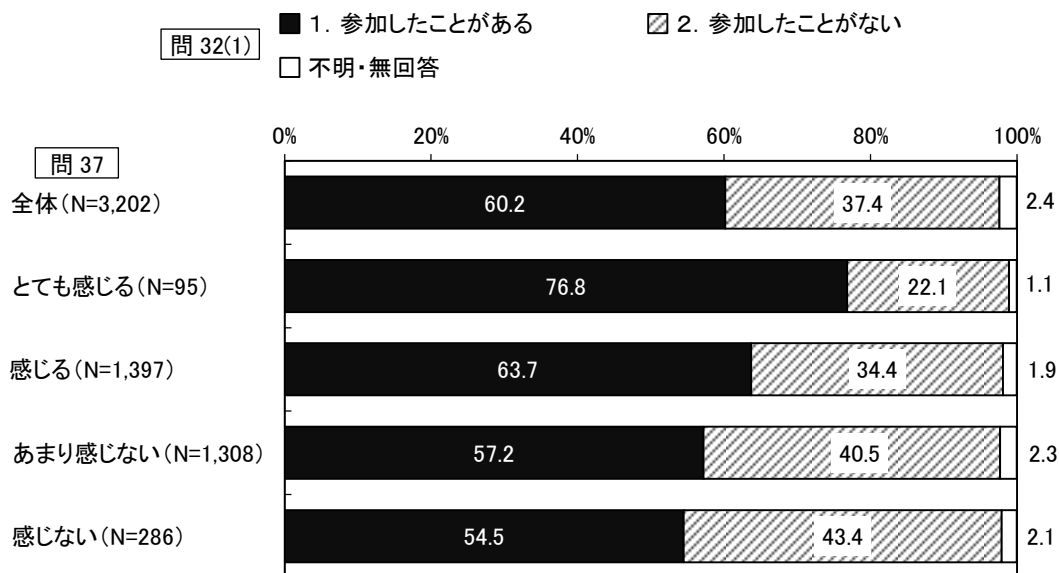
《問 32(1)×問 8(1)子育てにかかる時間の優先度別》

子育てにかかる時間の優先度が高いほど「1. 参加したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。



《問 32(1)×問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じるか別》

京都市は子育てしやすいまちだと感じている方ほど「1. 参加したことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。

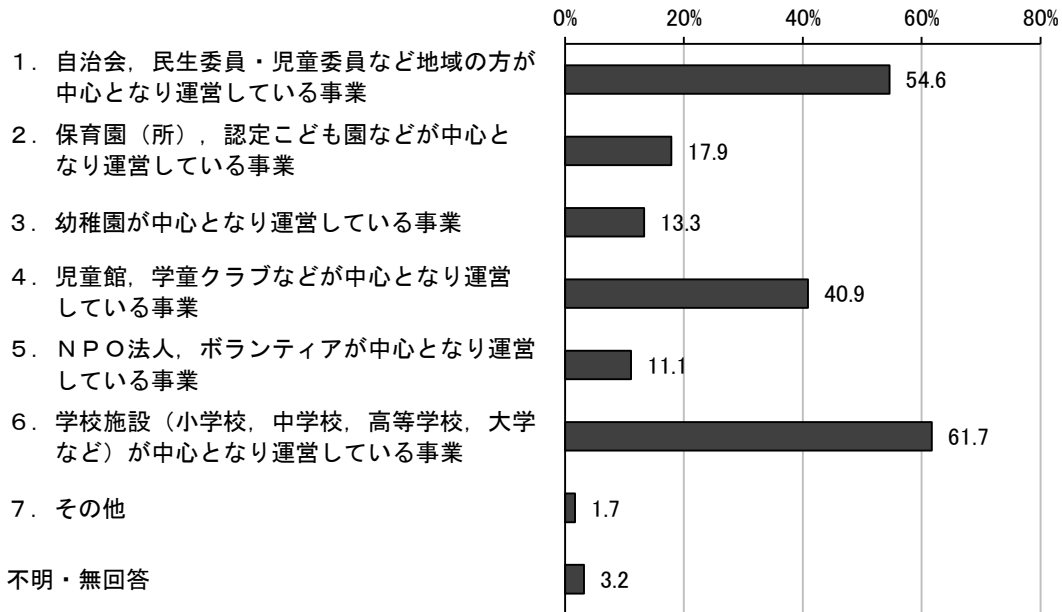


問 32(1)で「1」と答えた方

問 32(2) よく参加される事業の運営主体についてお答えください。(〇はいくつでも)

「6. 学校施設（小学校，中学校，高等学校，大学など）が中心となり運営している事業」が61.7%と最も高く，次いで「1. 自治会，民生委員・児童委員など地域の方が中心となり運営している事業」が54.6%，「4. 児童館，学童クラブなどが中心となり運営している事業」が40.9%となっています。

(N=1,929)

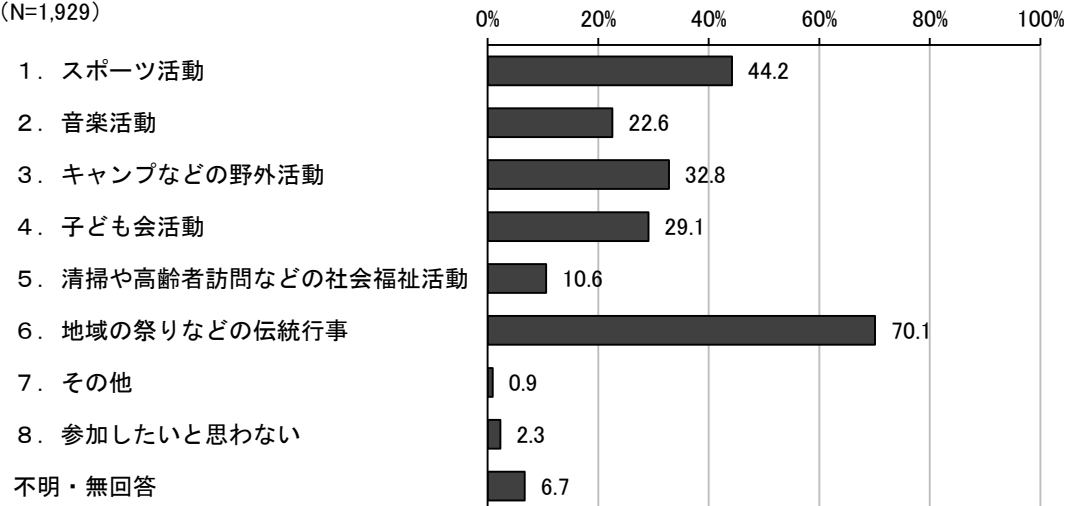


問 32(1)で「1」と答えた方

問 32(3) 参加しているまたは今後，参加したいと思う事業はどれですか。(〇はいくつでも)

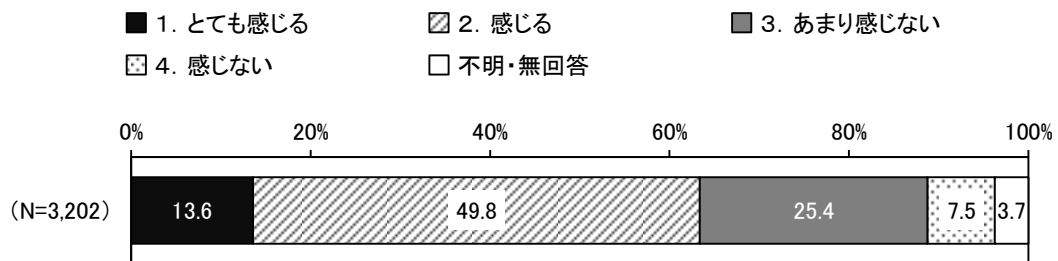
「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が70.1%と最も高く，次いで「1. スポーツ活動」が44.2%，「3. キャンプなどの野外活動」が32.8%となっています。

(N=1,929)



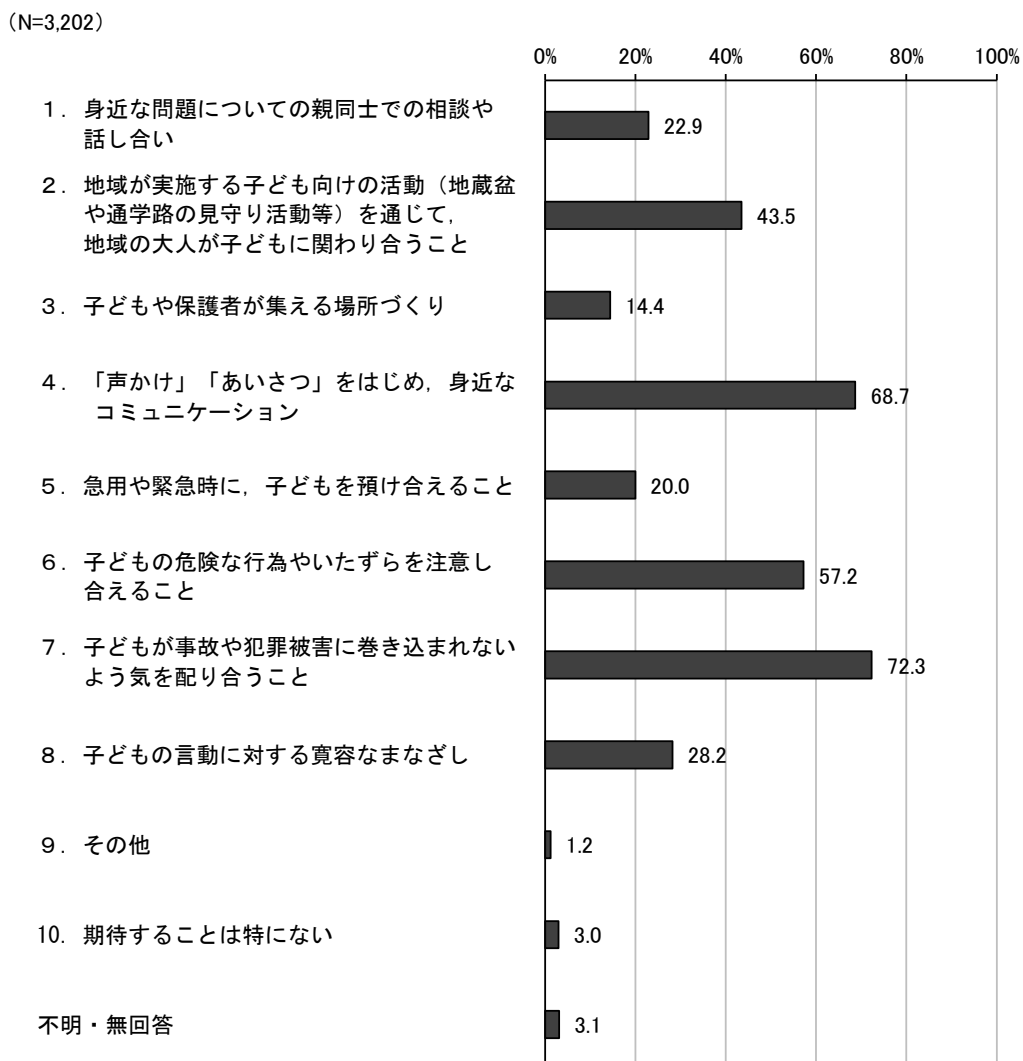
問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(〇は1つ)

「2. 感じる」が49.8%と最も高く、次いで「3. あまり感じない」が25.4%、「1. とても感じる」が13.6%となっています。



問 34 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

「7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」が72.3%と最も高く、次いで「4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション」が68.7%、「6. 子どもの危険な行為やいたづらを注意し合えること」が57.2%となっています。



《問 34×問 33 自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じるか別》

「とても感じる」では「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション、それ以外では「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと」の割合が最も高くなっています。

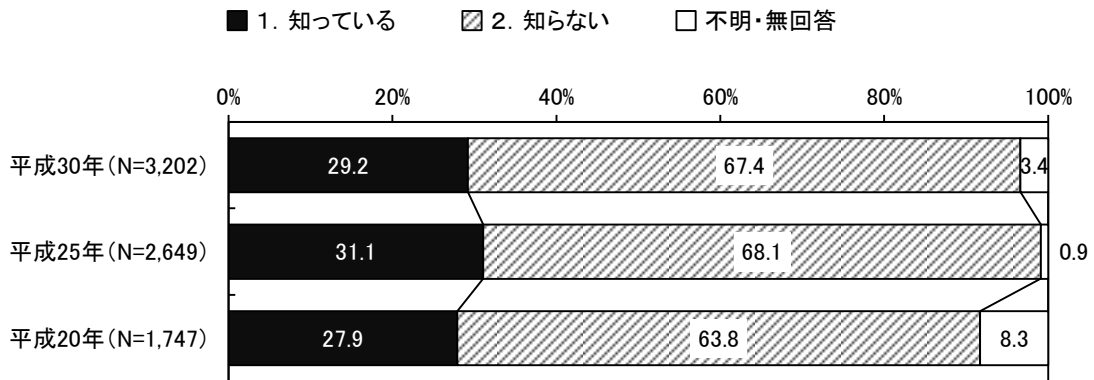
上段:件数 下段:%	合計	身近な問題 についての 親同士での 相談や話し 合い	地域が実施 する子ども 向けの活動 (地藏盆や 通学路の見 守り活動等) を通じて、地 域の大人が 子どもに関 わり合うこと	子どもや保 護者が集え る場所づくり	「声かけ」「あ いさつ」をは じめ、身近な コミュニケーション	急用や緊急 時に、子ども を預け合え ること	子どもの危 険な行為や いたずらを 注意し合え ること	
全 体	3,202 100.0	734 22.9	1,394 43.5	460 14.4	2,200 68.7	639 20.0	1,830 57.2	
て域自 いの身 る人の とに子 感支育 じえて るらが かれ地	とても感じる	435 100.0	176 40.5	286 65.7	105 24.1	365 83.9	124 28.5	312 71.7
	感じる	1,593 100.0	414 26.0	825 51.8	231 14.5	1,206 75.7	329 20.7	970 60.9
	あまり感じない	814 100.0	104 12.8	224 27.5	87 10.7	495 60.8	139 17.1	420 51.6
	感じない	240 100.0	30 12.5	39 16.3	25 10.4	112 46.7	36 15.0	107 44.6

上段:件数 下段:%	合計	子どもが事 故や犯罪被 害に巻き込 まれないよ う気を配り 合うこと	子どもの言 動に対する 寛容なまな ざし	その他	期待するこ とは特にな い	不明・無回 答	
全 体	3,202 100.0	2,314 72.3	902 28.2	39 1.2	97 3.0	100 3.1	
て域自 いの身 る人の とに子 感支育 じえて るらが かれ地	とても感じる	134 100.0	339 77.9	157 36.1	4 0.9	2 0.5	1 0.2
	感じる	169 100.0	1,229 77.2	451 28.3	16 1.0	11 0.7	6 0.4
	あまり感じない	296 100.0	574 70.5	228 28.0	9 1.1	44 5.4	4 0.5
	感じない	519 100.0	144 60.0	57 23.8	9 3.8	40 16.7	1 0.4

※不明・無回答除く

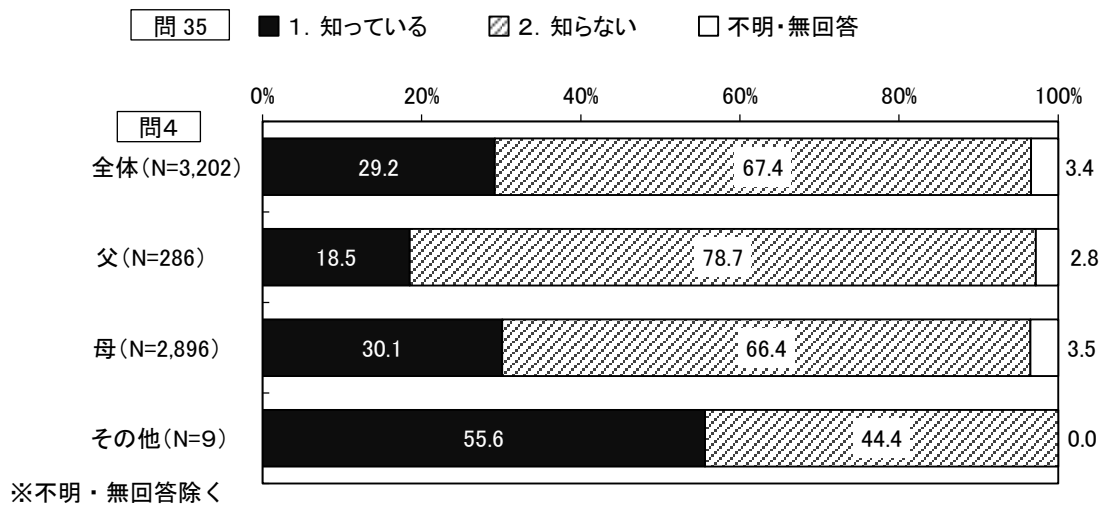
問 35 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(〇はそれぞれ 1 つずつ)

「1. 知っている」が 29.2%、「2. 知らない」が 67.4%となっています。
過去調査と比較すると、特に大きな差はみられません。



《問 35×問 4 調査票の記入者別》

「父」では「1. 知っている」の割合が「母」に比べ低くなっています。

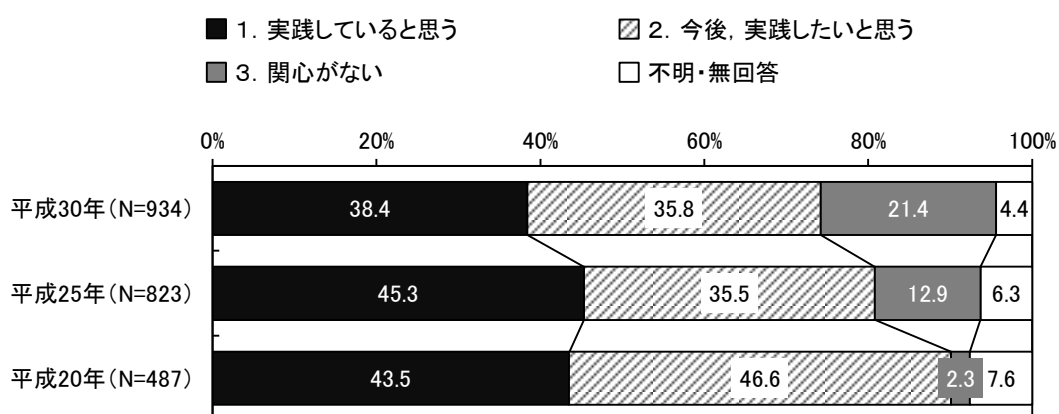


憲章の実践について

知っている方の憲章の実践について、「1. 実践していると思う」が38.4%と最も高く、次いで「2. 今後、実践したいと思う」が35.8%となっています。平成25年と比較すると、「3. 関心がない」が8.5ポイント高くなっています。

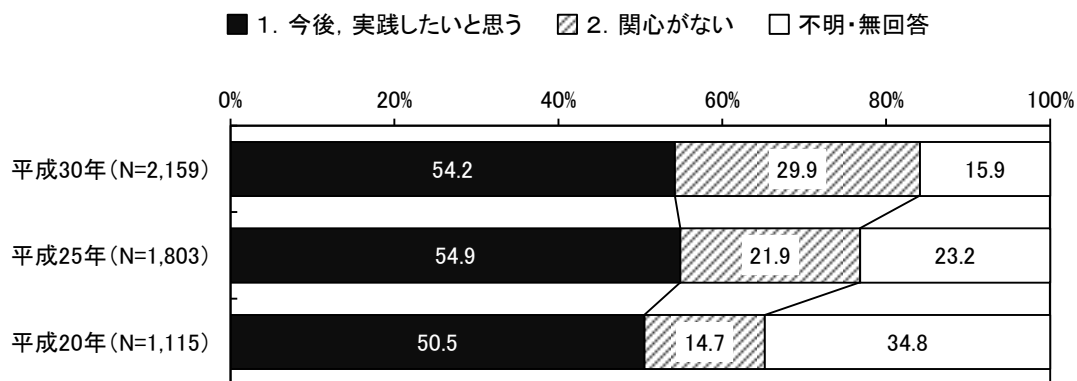
知らない方の憲章の実践について、「1. 今後、実践したいと思う」が54.2%、「2. 関心がない」が29.9%となっています。平成25年と比較すると、「2. 関心がない」が8.0ポイント高くなっています

◆1. 知っている方



※「3. 関心がない」…平成20年は「3. 実践しようと思わない」

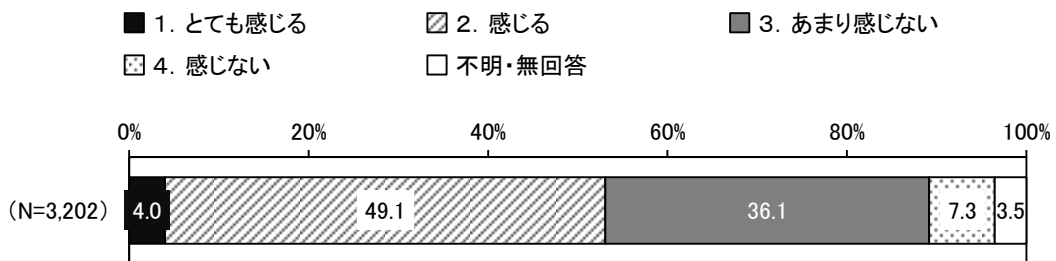
◆2. 知らない方



※「2. 関心がない」…平成20年は「2. 実践しようと思わない」

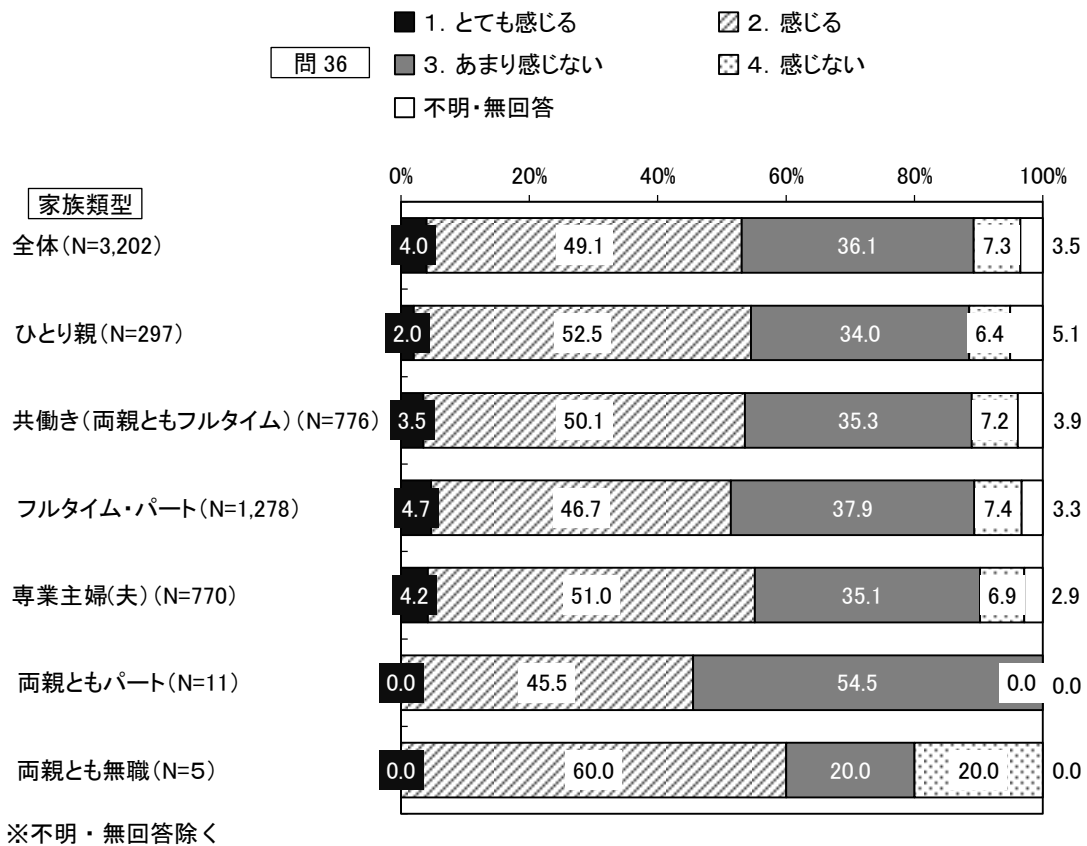
問 36 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(〇は1つ)

「感じる(「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計)」が53.1%, 「感じない(「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計)」が43.4%となっています。



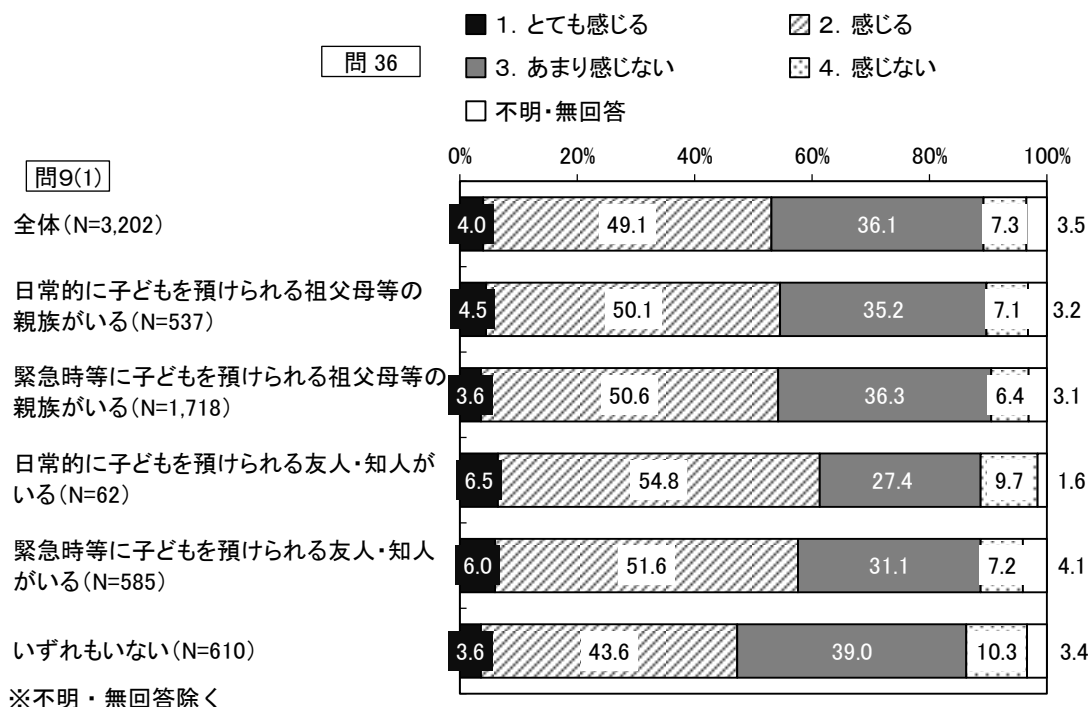
《問 36×家族類型別》

「フルタイム・パート」「両親ともパート」以外では「感じる」の割合が全体よりも高くなっています。



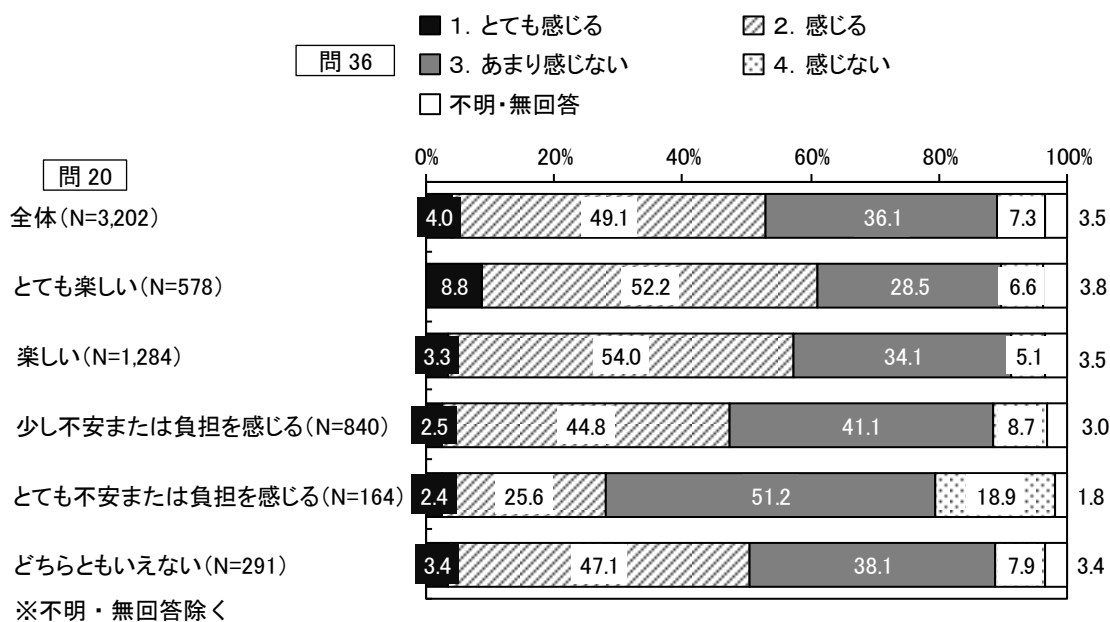
《問 36×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では「感じる」の割合が全体よりも特に高くなっています。



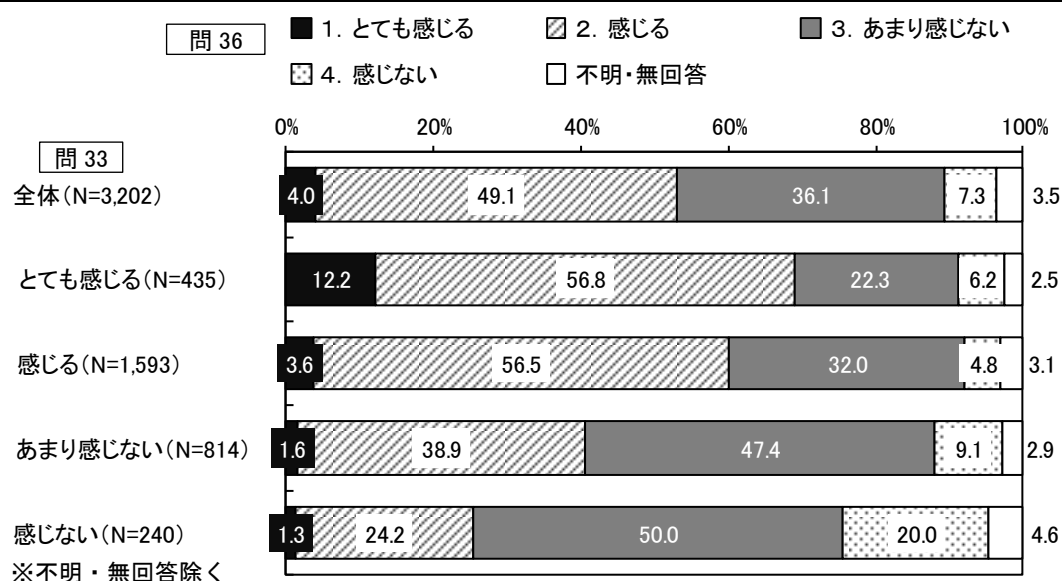
《問 36×問 20 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では「感じる」, 「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



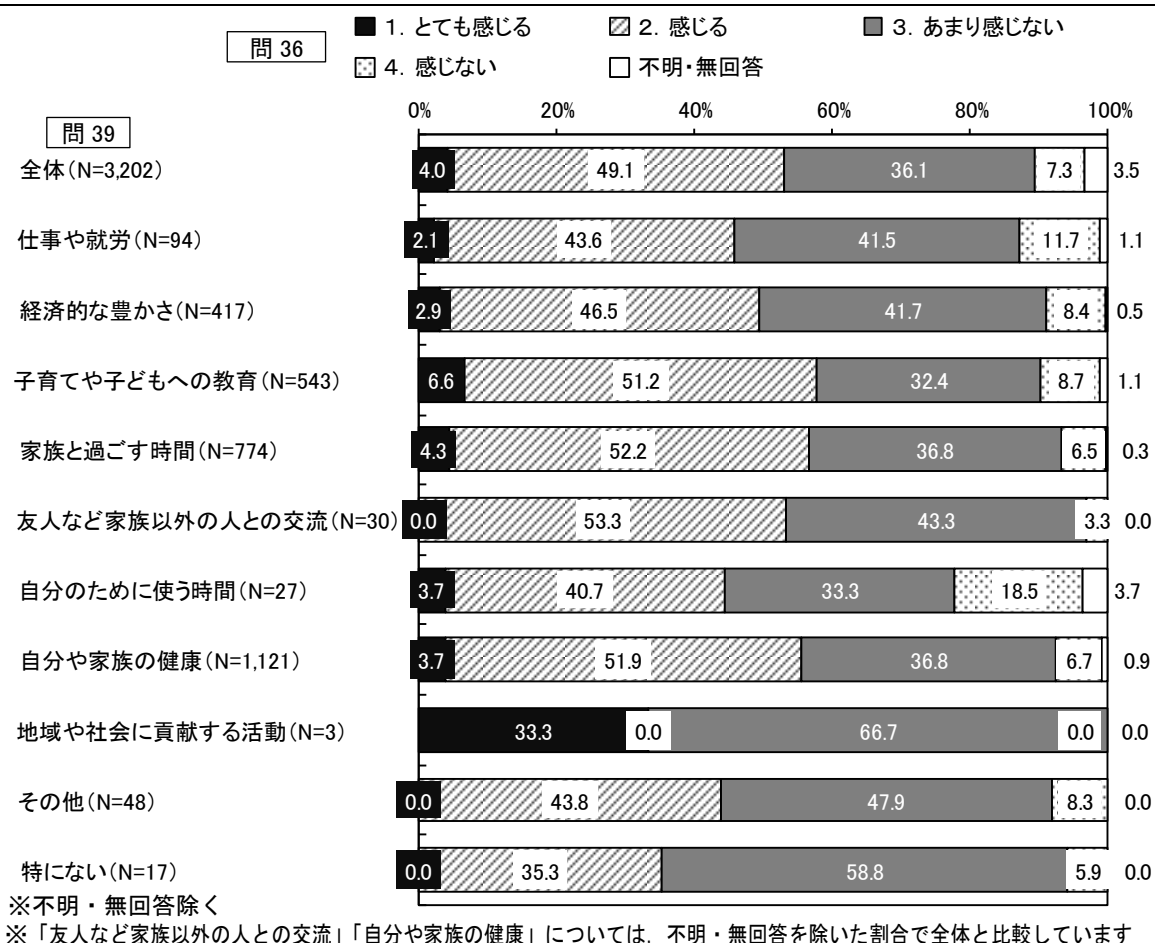
《問 36×問 33 自身の子育てが，地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが，地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では「感じる」の割合が，「あまり感じない」「感じない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



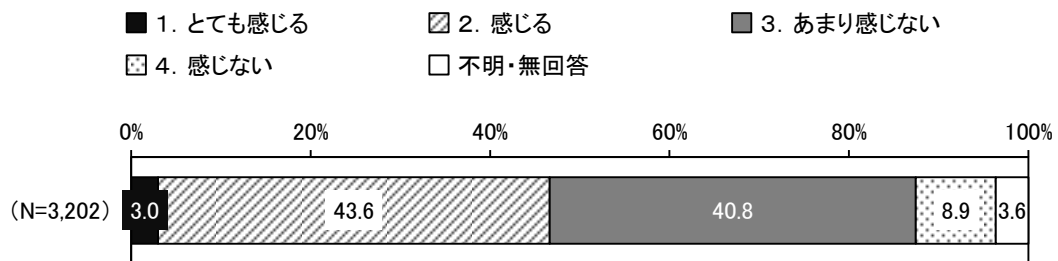
《問 36×問 39 最も重要だと考えている価値観別》

「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「友人など家族以外の人との交流」「自分や家族の健康」では「感じる」，それ以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



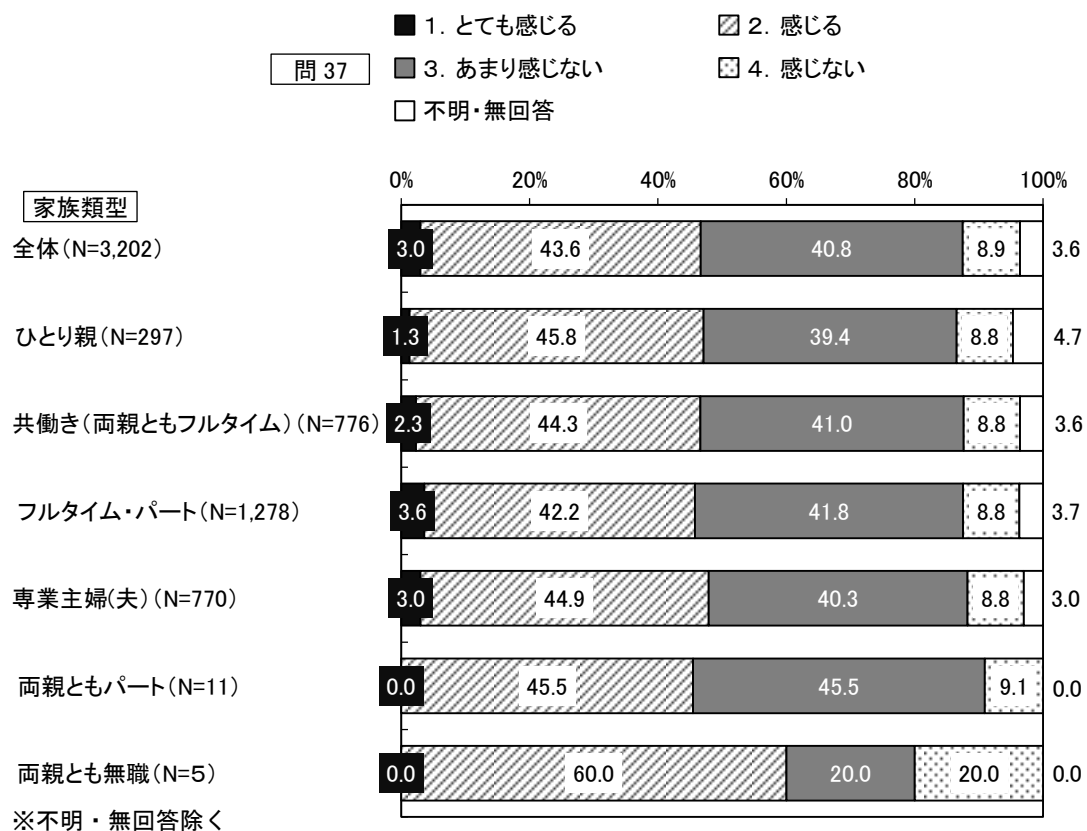
問 37 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(〇は1つ)

「感じる（「1. とても感じる」と「2. 感じる」の合計）」が46.6%、「感じない（「3. あまり感じない」と「4. 感じない」の合計）」が49.7%となっています。



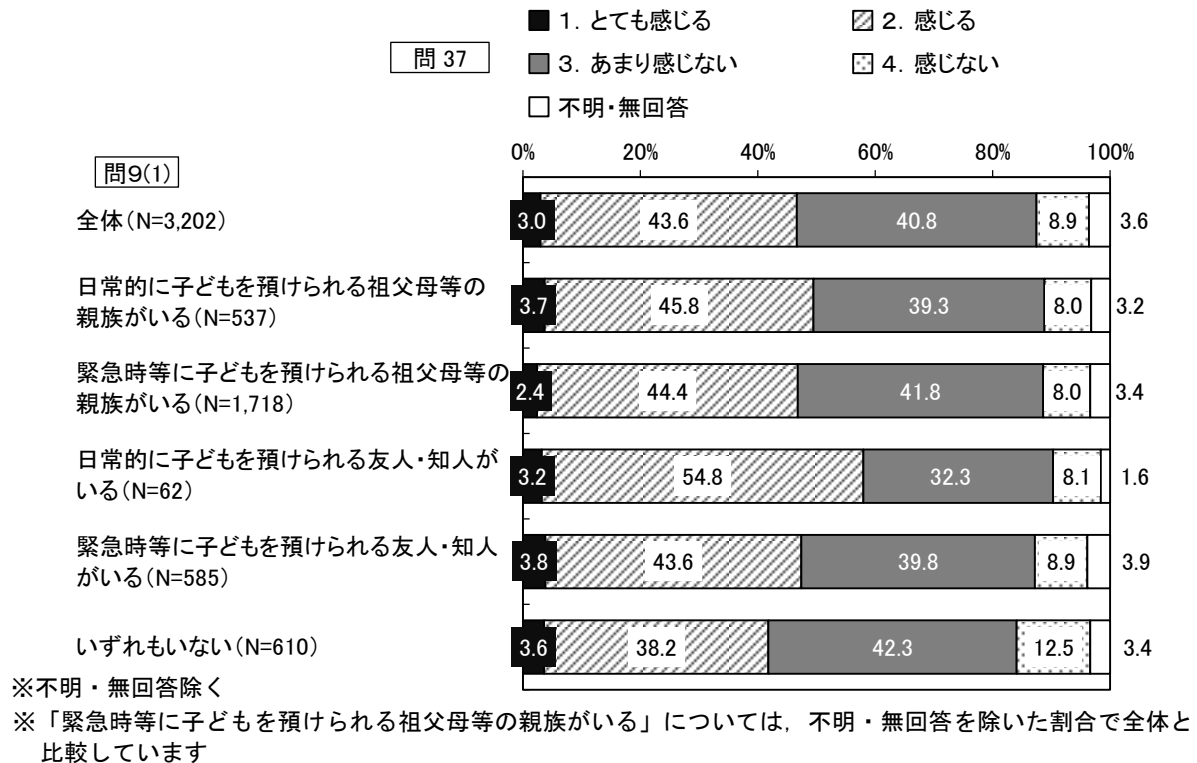
《問 37×家族類型別》

「共働き（両親ともフルタイム）」「フルタイム・パート」「両親ともパート」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



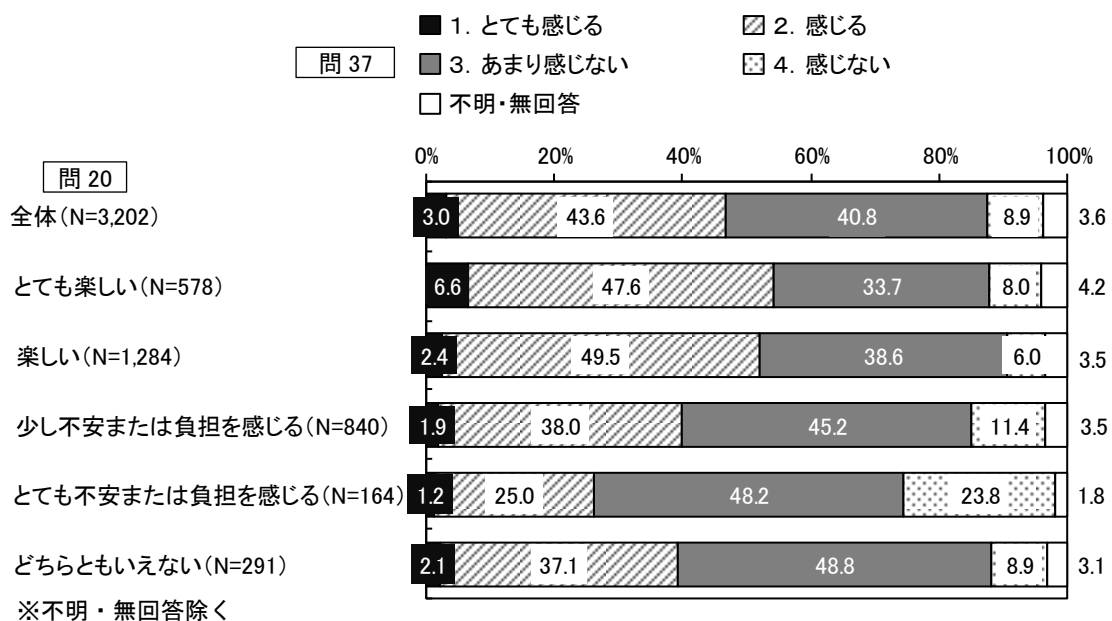
《問 37×問 9(1)日頃、子どもを預けられる人別》

「いずれもない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。また、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」では「感じる」の割合が全体よりも特に高くなっています。



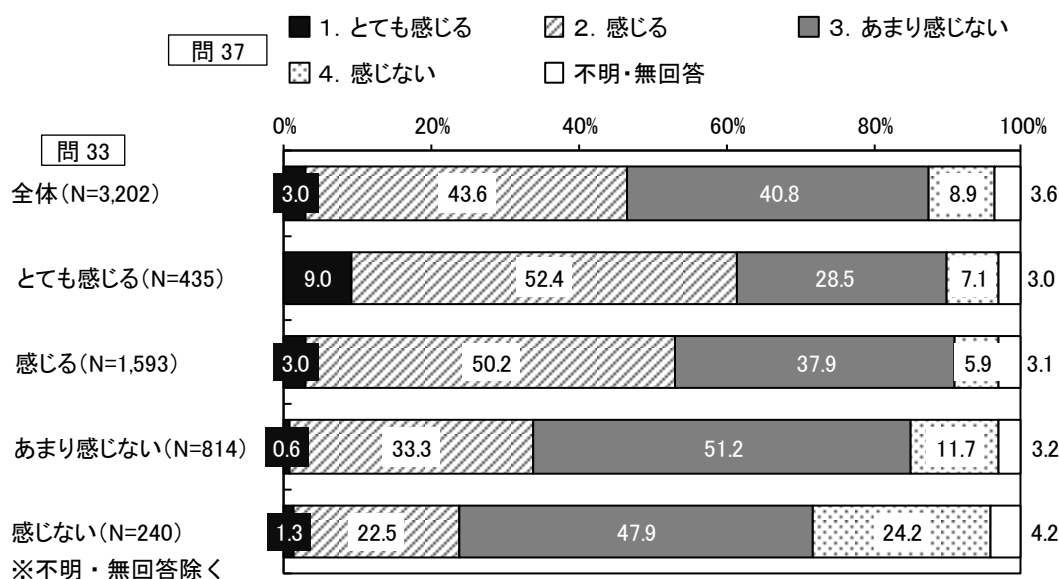
《問 37×問 20 子育てをしている今の気持ち別》

「とても楽しい」「楽しい」では「感じる」, 「少し不安または負担を感じる」「とても不安または負担を感じる」「どちらともいえない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



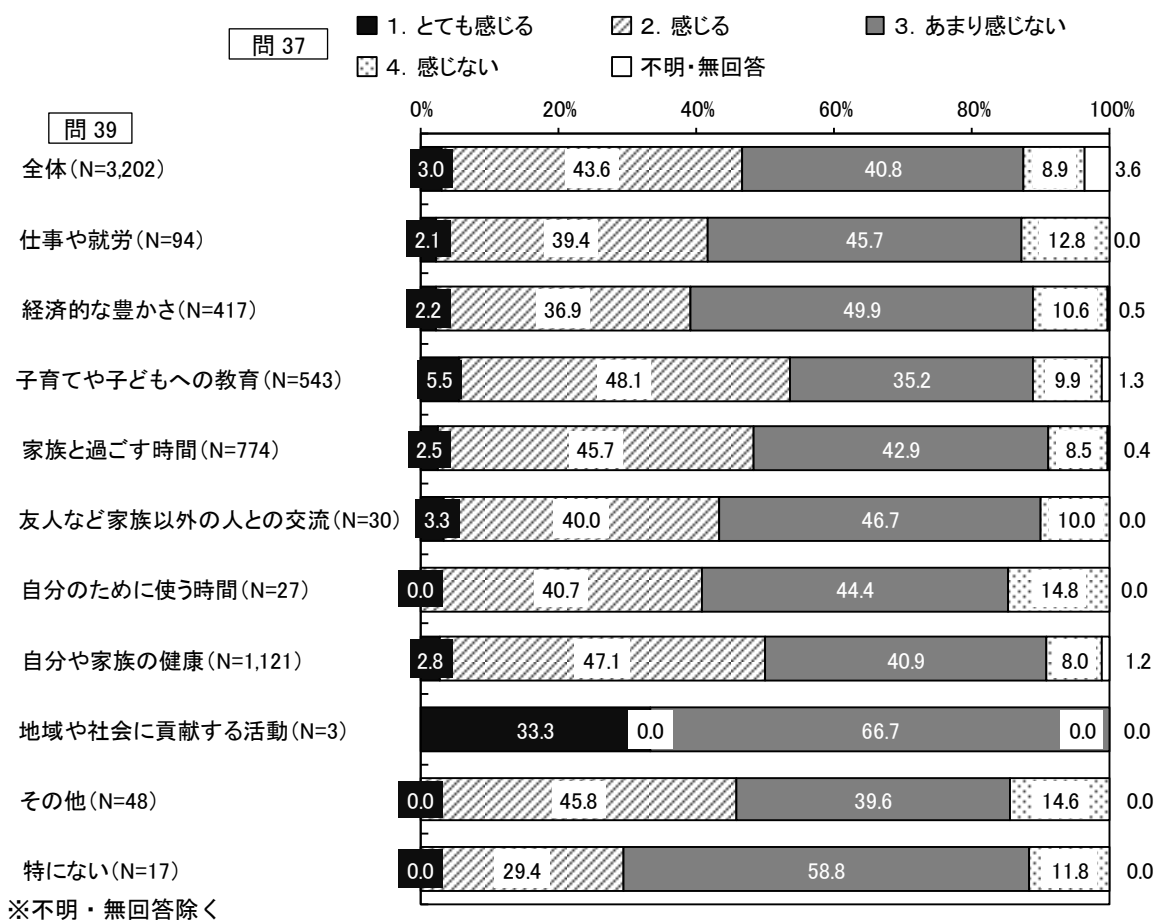
《問 37×問 33 自身の子育てが，地域の人に支えられていると感じるか別》

自身の子育てが，地域の人に支えられていると「とても感じる」「感じる」では「感じる」の割合が，「あまり感じない」「感じない」では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。



《問 37×問 39 最も重要だと考えている価値観別》

「子育てや子どもへの教育」「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」では「感じる」，それ以外では「感じない」の割合が全体よりも高くなっています。

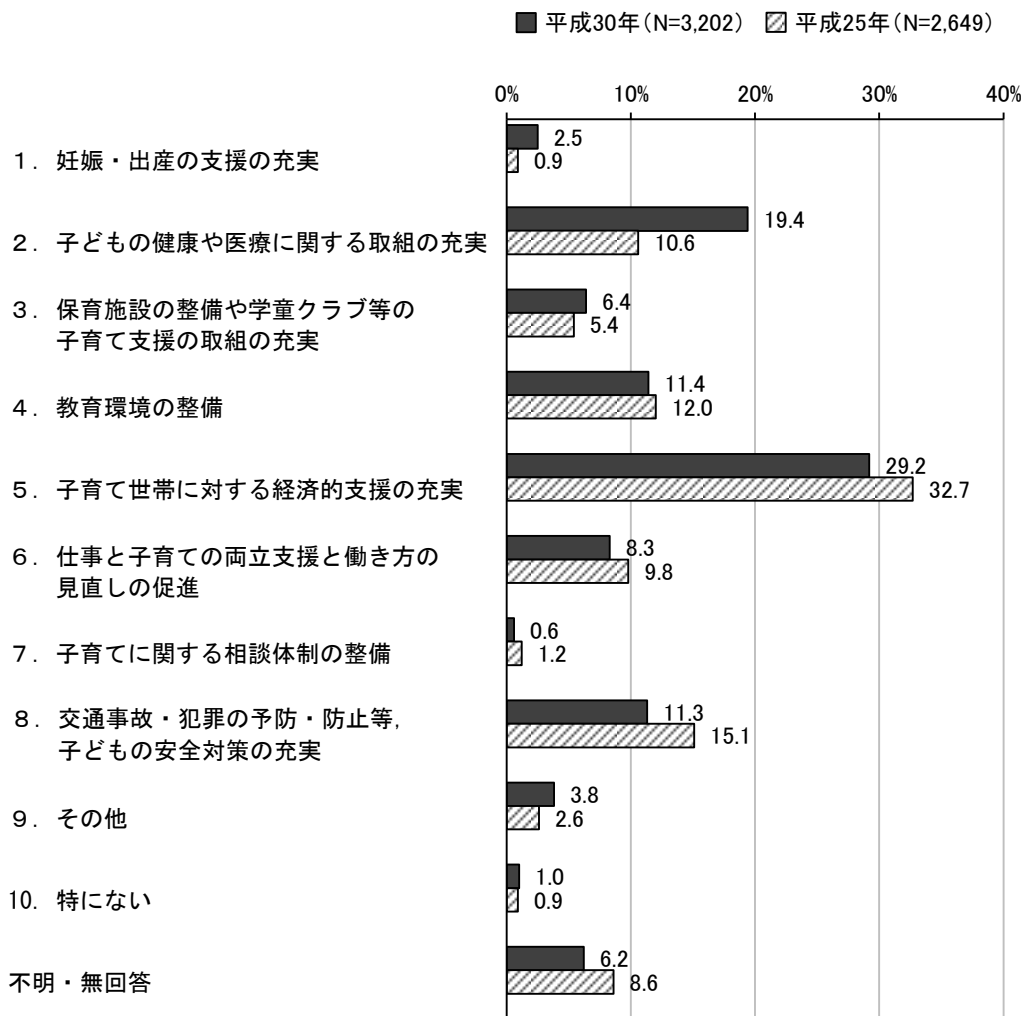


※「家族と過ごす時間」については，不明・無回答を除いた割合で全体と比較しています

問 38 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(〇は1つ)

「5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実」が29.2%と最も高く、次いで「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が19.4%、「4. 教育環境の整備」が11.4%、「8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実」が11.3%となっています。

平成25年と比較すると、「2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実」が8.8ポイント高くなっています。



《問 38×家族類型別》

「両親とも無職」では「仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進」、それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	合計	妊娠・出産 の支援の充実	子どもの健康 や医療に 関する取組 の充実	保育施設の 整備や学童 クラブ等の 子育て支援 の取組の充実	教育環境の 整備	子育て世帯 に対する経済 的支援の 充実	仕事と子育て の両立支 援と働き方 の見直しの 促進	
全体	3,202 100.0	79 2.5	621 19.4	206 6.4	364 11.4	935 29.2	267 8.3	
家族類型別	ひとり親	297 100.0	11 3.7	19 6.4	26 8.8	36 12.1	106 35.7	29 9.8
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	20 2.6	144 18.6	72 9.3	80 10.3	185 23.8	106 13.7
	フルタイム・パート	1,278 100.0	27 2.1	275 21.5	59 4.6	149 11.7	408 31.9	92 7.2
	専業主婦(夫)	770 100.0	18 2.3	173 22.5	44 5.7	90 11.7	214 27.8	32 4.2
	両親ともパート	11 100.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	4 36.4	1 9.1
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0

上段:件数 下段:%	合計	子育てに関する相談体制の整備	交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実	その他	特にない	不明・無回答	
全体	3,202 100.0	18 0.6	361 11.3	121 3.8	32 1.0	198 6.2	
家族類型別	ひとり親	297 100.0	3 1.0	23 7.7	11 3.7	9 3.0	24 8.1
	共働き(両親ともフルタイム)	776 100.0	4 0.5	76 9.8	27 3.5	7 0.9	55 7.1
	フルタイム・パート	1,278 100.0	4 0.3	131 10.3	45 3.5	10 0.8	78 6.1
	専業主婦(夫)	770 100.0	5 0.6	119 15.5	35 4.5	5 0.6	35 4.5
	両親ともパート	11 100.0	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 38×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

「801 万～1,000 万円」では「子どもの健康や医療に関する取組の充実」, 「1,001 万円以上」では「交通事故・犯罪の予防・防止等, 子どもの安全対策の充実」, それ以外では「子育て世帯に対する経済的支援の充実」の割合が最も高くなっています。

上段: 件数 下段: %	合計	妊娠・出産 の支援の充実	子どもの健康 や医療に 関する取組 の充実	保育施設の 整備や学童 クラブ等の 子育て支援 の取組の充実	教育環境の 整備	子育て世帯 に対する経済 的支援の充実	仕事と子育て の両立支援 と働き方の 見直しの 促進	
全体	3,202 100.0	79 2.5	621 19.4	206 6.4	364 11.4	935 29.2	267 8.3	
昨年 1 年間の 可処分 所得別	0～100万円	134 100.0	6 4.5	12 9.0	7 5.2	10 7.5	46 34.3	16 11.9
	101万～200万円	169 100.0	5 3.0	9 5.3	12 7.1	21 12.4	68 40.2	15 8.9
	201万～300万円	296 100.0	13 4.4	57 19.3	14 4.7	34 11.5	114 38.5	19 6.4
	301万～400万円	519 100.0	8 1.5	118 22.7	20 3.9	48 9.2	197 38.0	39 7.5
	401万～500万円	557 100.0	11 2.0	112 20.1	36 6.5	65 11.7	172 30.9	42 7.5
	501万～600万円	445 100.0	11 2.5	97 21.8	27 6.1	51 11.5	117 26.3	41 9.2
	601万～800万円	490 100.0	11 2.2	108 22.0	34 6.9	42 8.6	127 25.9	40 8.2
	801万～1,000万円	267 100.0	3 1.1	46 17.2	30 11.2	42 15.7	36 13.5	31 11.6
	1,001万円以上	152 100.0	4 2.6	26 17.1	14 9.2	24 15.8	19 12.5	13 8.6

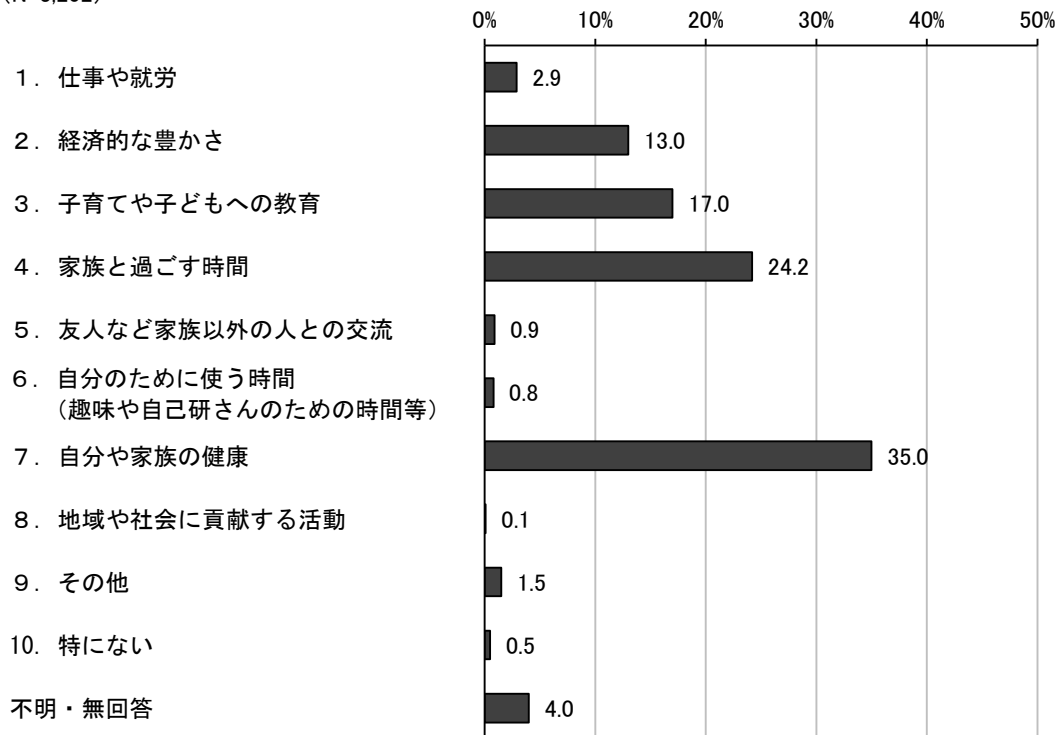
上段: 件数 下段: %	合計	子育てに関 する相談体 制の整備	交通事故・ 犯罪の予 防・防止等, 子どもの安全 対策の充実	その他	特にない	不明・ 無回答	
全体	3,202 100.0	18 0.6	361 11.3	121 3.8	32 1.0	198 6.2	
昨年 1 年間の 可処分 所得別	0～100万円	134 100.0	3 2.2	13 9.7	4 3.0	7 5.2	10 7.5
	101万～200万円	169 100.0	1 0.6	15 8.9	4 2.4	1 0.6	18 10.7
	201万～300万円	296 100.0	2 0.7	20 6.8	9 3.0	0 0.0	14 4.7
	301万～400万円	519 100.0	1 0.2	37 7.1	13 2.5	9 1.7	29 5.6
	401万～500万円	557 100.0	3 0.5	62 11.1	23 4.1	2 0.4	29 5.2
	501万～600万円	445 100.0	4 0.9	51 11.5	19 4.3	3 0.7	24 5.4
	601万～800万円	490 100.0	1 0.2	70 14.3	18 3.7	6 1.2	33 6.7
	801万～1,000万円	267 100.0	3 1.1	41 15.4	14 5.2	2 0.7	19 7.1
	1,001万円以上	152 100.0	0 0.0	32 21.1	11 7.2	2 1.3	7 4.6

※不明・無回答除く

問 39 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。（〇は1つ）

「7. 自分や家族の健康」が 35.0%と最も高く、次いで「4. 家族と過ごす時間」が 24.2%、「3. 子育てや子どもへの教育」が 17.0%となっています。

(N=3,202)



《問 39×家族類型別》

「両親とも無職」では「子育てや子どもへの教育」「自分や家族の健康」、それ以外では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		合計	仕事や就労	経済的な 豊かさ	子育てや 子どもへの 教育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)
全 体		3,202 100.0	94 2.9	417 13.0	543 17.0	774 24.2	30 0.9	27 0.8
家 族 類 型 別	ひとり親	297 100.0	18 6.1	55 18.5	51 17.2	59 19.9	2 0.7	3 1.0
	共働き(両親ともフル タイム)	776 100.0	36 4.6	74 9.5	123 15.9	229 29.5	5 0.6	8 1.0
	フルタイム・パート	1,278 100.0	25 2.0	187 14.6	227 17.8	274 21.4	16 1.3	10 0.8
	専業主婦(夫)	770 100.0	10 1.3	86 11.2	131 17.0	198 25.7	6 0.8	5 0.6
	両親ともパート	11 100.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0
	両親とも無職	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%		合計	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答
全 体		3,202 100.0	1,121 35.0	3 0.1	48 1.5	17 0.5	128 4.0
家 族 類 型 別	ひとり親	297 100.0	86 29.0	0 0.0	3 1.0	4 1.3	16 5.4
	共働き(両親ともフル タイム)	776 100.0	242 31.2	1 0.1	18 2.3	4 0.5	36 4.6
	フルタイム・パート	1,278 100.0	465 36.4	2 0.2	16 1.3	5 0.4	51 4.0
	専業主婦(夫)	770 100.0	302 39.2	0 0.0	8 1.0	3 0.4	21 2.7
	両親ともパート	11 100.0	4 36.4	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1
	両親とも無職	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※不明・無回答除く

《問 39×問 7 世帯の昨年 1 年間の可処分所得別》

「0～100万円」では「家族と過ごす時間」「自分や家族の健康」、それ以外では「自分や家族の健康」の割合が最も高くなっています。

また、所得が高くなるほど「経済的な豊かさ」の割合が低くなる傾向がみられます。

上段:件数 下段:%	合計	仕事や就労	経済的な 豊かさ	子育てや 子どもへの 教育	家族と過ご す時間	友人など家 族以外の人 との交流	自分のため に使う時間 (趣味や自 己研さんの ための時間 等)	
全 体	3,202 100.0	94 2.9	417 13.0	543 17.0	774 24.2	30 0.9	27 0.8	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0～100万円	134 100.0	3 2.2	25 18.7	18 13.4	36 26.9	1 0.7	2 1.5
	101万～200万円	169 100.0	6 3.6	44 26.0	24 14.2	29 17.2	1 0.6	2 1.2
	201万～300万円	296 100.0	12 4.1	67 22.6	36 12.2	70 23.6	4 1.4	3 1.0
	301万～400万円	519 100.0	17 3.3	83 16.0	77 14.8	135 26.0	6 1.2	7 1.3
	401万～500万円	557 100.0	19 3.4	75 13.5	95 17.1	133 23.9	6 1.1	4 0.7
	501万～600万円	445 100.0	7 1.6	46 10.3	82 18.4	110 24.7	4 0.9	0 0.0
	601万～800万円	490 100.0	12 2.4	40 8.2	84 17.1	124 25.3	0 0.0	2 0.4
	801万～1,000万円	267 100.0	6 2.2	20 7.5	67 25.1	54 20.2	4 1.5	2 0.7
	1,001万円以上	152 100.0	6 3.9	3 2.0	34 22.4	42 27.6	1 0.7	1 0.7

上段:件数 下段:%	合計	自分や家族 の健康	地域や社会 に貢献する 活動	その他	特にない	不明・ 無回答	
全 体	3,202 100.0	1,121 35.0	3 0.1	48 1.5	17 0.5	128 4.0	
昨 年 1 年 間 の 可 処 分 所 得 別	0～100万円	134 100.0	36 26.9	0 0.0	3 2.2	4 3.0	6 4.5
	101万～200万円	169 100.0	47 27.8	0 0.0	2 1.2	2 1.2	12 7.1
	201万～300万円	296 100.0	94 31.8	0 0.0	1 0.3	0 0.0	9 3.0
	301万～400万円	519 100.0	164 31.6	0 0.0	4 0.8	6 1.2	20 3.9
	401万～500万円	557 100.0	201 36.1	1 0.2	2 0.4	1 0.2	20 3.6
	501万～600万円	445 100.0	161 36.2	1 0.2	15 3.4	2 0.4	17 3.8
	601万～800万円	490 100.0	203 41.4	0 0.0	6 1.2	1 0.2	18 3.7
	801万～1,000万円	267 100.0	96 36.0	0 0.0	6 2.2	0 0.0	12 4.5
	1,001万円以上	152 100.0	54 35.5	1 0.7	4 2.6	1 0.7	5 3.3

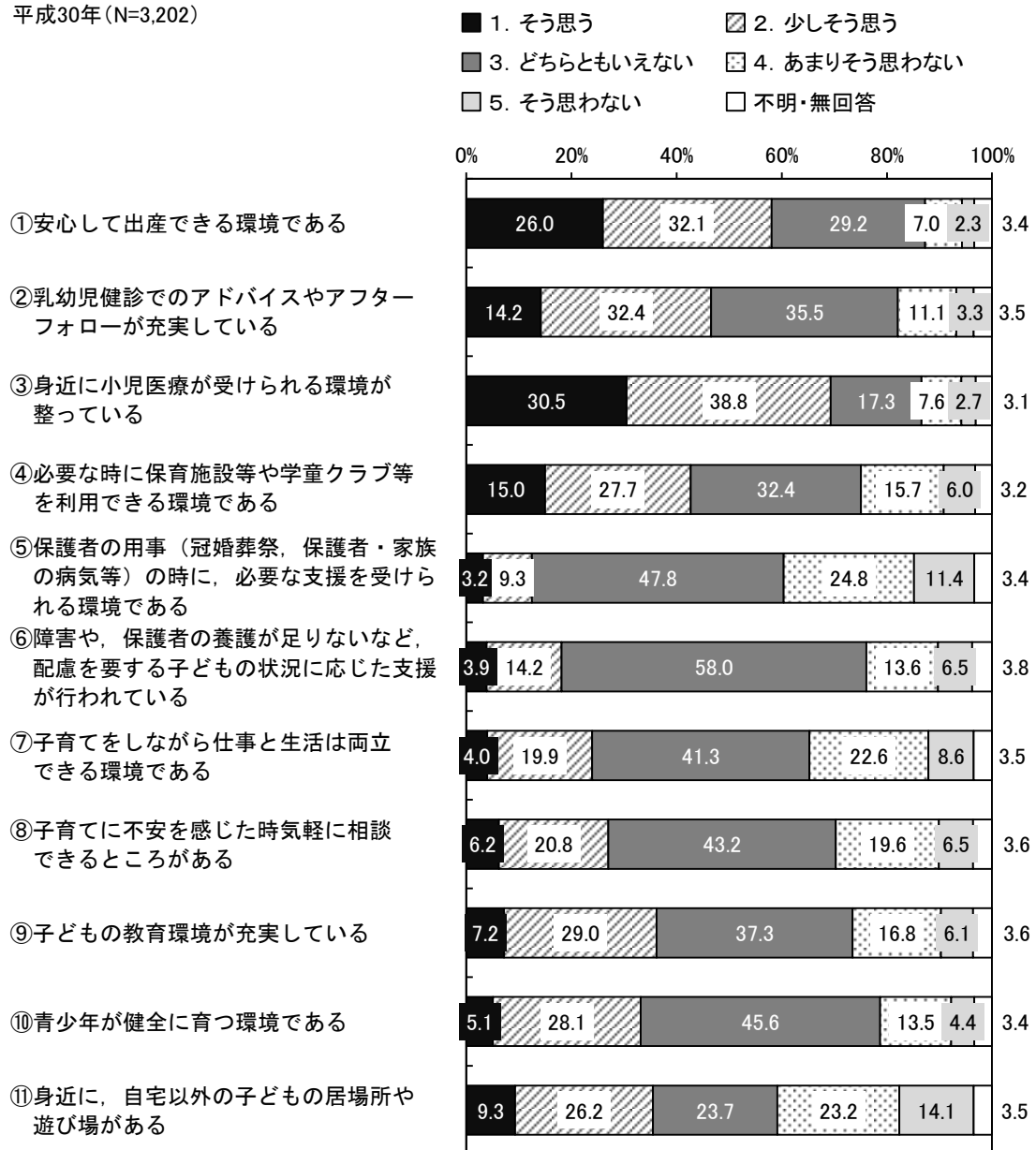
※不明・無回答除く

問 40 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

「そう思う(「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計)」は、[③身近に小児医療が受けられる環境が整っている]が69.3%と最も高く、次いで[①安心して出産できる環境である]が58.1%、[②乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している]が46.6%となっています。

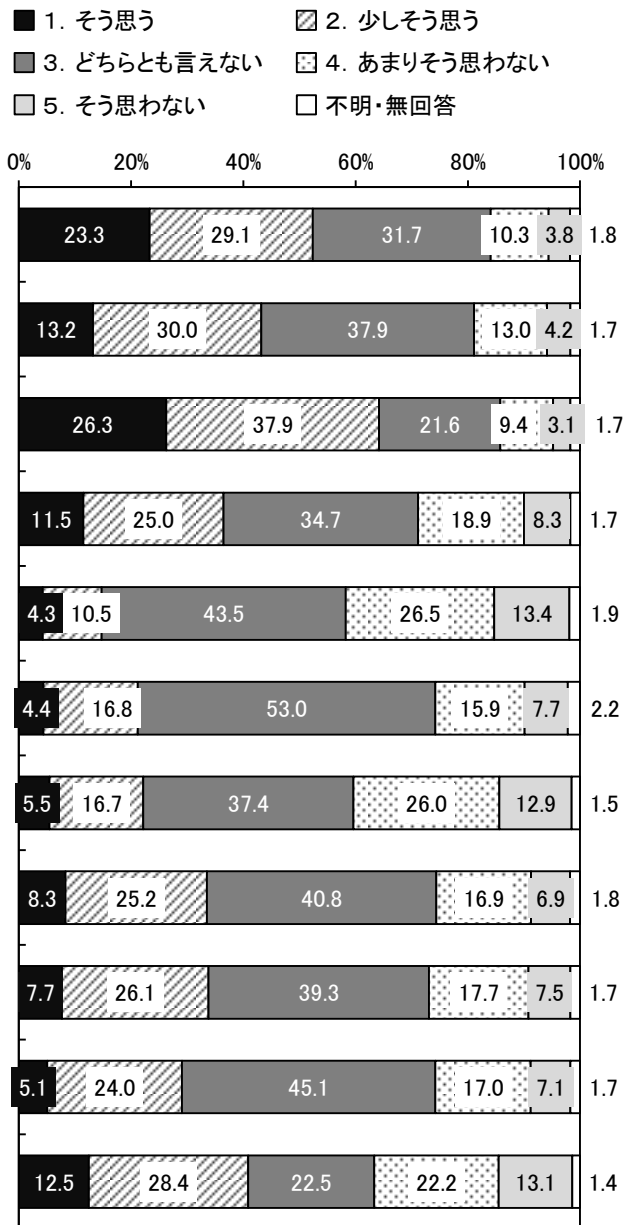
「そう思わない(「4. あまりそう思わない」と「5. そう思わない」の合計)」は、[⑩身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある]が37.3%と最も高く、次いで[⑤保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である]が36.2%、[⑦子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である]が31.2%となっています。

平成30年(N=3,202)



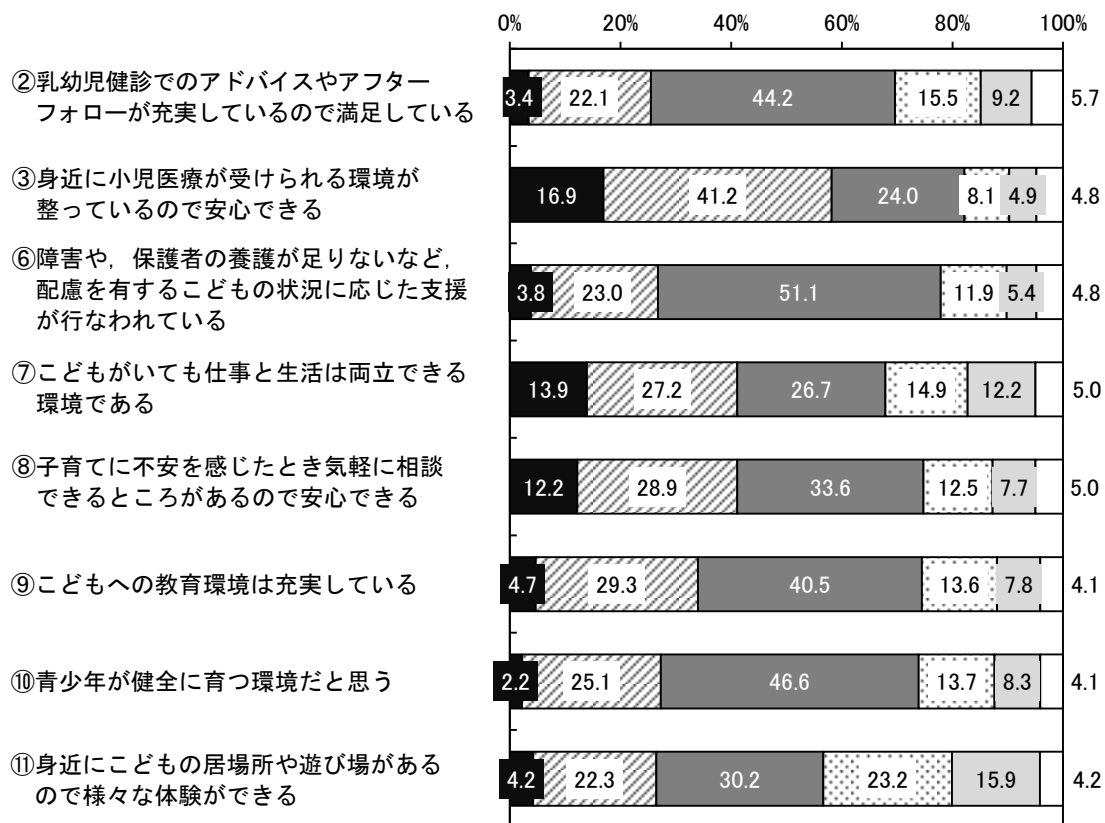
平成25年と比較すると、「そう思う（「1. そう思う」と「2. 少しそう思う」の合計）」では、
 [⑧子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある]が6.5ポイント低く、[④必要な時に
 保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である]が6.2ポイント高くなっています。

平成25年(N=2,649)



平成20年(N=1,747)

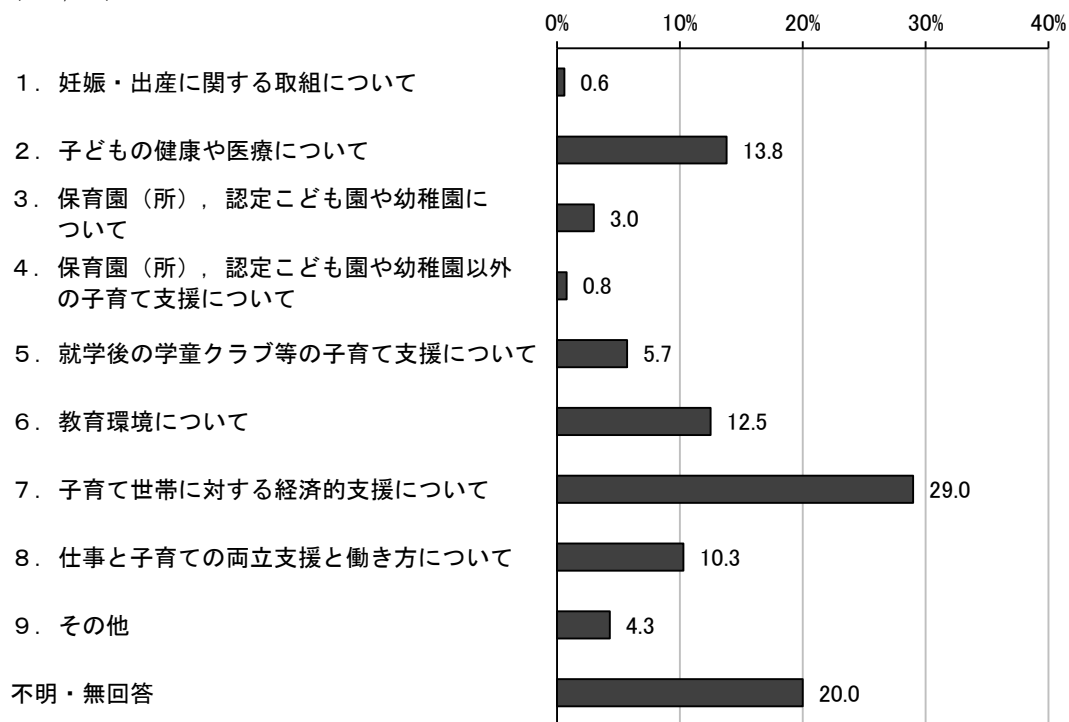
- 1. そう思う
- 3. どちらとも言えない
- 5. そう思わない
- ▨ 2. どちらかというと思う
- ▩ 4. どちらかというと思わない
- 不明・無回答



問 41 安心して子どもを生み，子どもを健やかに育てていくための行政の取組や，社会制度のあり方について，特に望むことやご意見がありましたら，ご自由にご記入ください。（〇は1つ）

「7. 子育て世帯に対する経済的支援について」が29.0%と最も高く，次いで「2. 子どもの健康や医療について」が13.8%，「6. 教育環境について」が12.5%となっています。

(N=3,202)



項目	主な記述内容	回答数 (件)
1. 妊娠・出産に関する取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科の窓口で不妊治療の助成制度の案内があればよい ・子育てについて気軽に相談できたり，アドバイスがもらえたりするようところがほしい ・経済的支援とともに，心身の安定がはかれる支援体制も必要である 	7
2. 子どもの健康や医療について	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の還付手続きが煩雑，負担である ・医療費の助成をもっと充実させてほしい（無償化，月 200 円負担の適用年齢の拡大） ・夜間・休日の救急医療体制が不十分である ・インフルエンザ等予防接種費用を補助してほしい 	204
3. 保育園（所），認定こども園や幼稚園について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の待遇を改善してほしい ・待機児童を解消してほしい ・本当に必要としている人が利用できるように入園審査に公平性を求める ・保育園（所）を増やしてほしい ・働くために保育園に入りたいが，保育園が決まらないことには仕事ができないという矛盾がある 	54
4. 保育園（所），認定こども園や幼稚園以外の子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報をもっと発信してほしい ・病児保育を充実させてほしい（施設数、定員の拡大等） ・児童館や公園等，のびのびと子どもが遊べる場所がほしい 	15
5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブを利用する人数と施設の大きさが合っておらず，安全面での不安がある。指導者の目も行き届かないのではないかと（職員数や施設の広さ，設備等の環境を改善してほしい） ・学童クラブの活動内容を充実させてほしい ・小学校の敷地内もしくは近くに学童クラブをつくり，利用しやすくしてほしい ・学童クラブの終了時間を延長してほしい ・学童クラブの職員の働く環境を整えてほしい ・放課後まなび教室の実施日を増やしてほしい ・長期休暇中に気軽に子どもを預けられる事業があればよい 	99

6. 教育環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・公立の小・中学校には公平，平等な教育環境を希望する（施設，設備の格差が大きい） ・中学校でも完全給食にしてほしい ・支援の必要な子どもが必要な支援を受けられるようにしてほしい。保護者に対しても情報提供，相談支援等が必要である ・子どもの多様性を受け入れられる体制づくりをしてほしい 	173
7. 子育て世帯に対する経済的支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・第3子の保育料について所得や，上の子の年齢による制限をなくし，どの世帯でも無料になるようにしてほしい ・子どもが大きくなるにつれ，医療費や教育費の負担が大きくなるので，もっと経済的支援をしてほしい ・生活保護制度の見直しを進めてほしい ・所得にかかわらず，子どもの人数に応じて平等に経済的支援をしてほしい 	309
8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務や在宅勤務等，いろいろな働き方が尊重される社会であってほしい ・緊急時や夏休み等の長期休暇中に安心して子どもを預けられる場所がほしい ・制度があってもそれを利用しやすい職場環境ではない，制度だけが整っても意味がない ・行政としても企業等へ働きかけ，雇用主をはじめ，働く人の意識を変えなければならない（職場の理解，制度を利用しやすい環境づくり） 	116
9. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがのびのびと安全に遊べる環境づくりをしてほしい ・ボール遊びや走り回って遊ぶことができる公園がほしい ・歩行者や自転車が安全に通行できる歩道，道路の整備をしてほしい ・通学路の安全対策をしてほしい ・観光に力を入れていて，生活しやすい，子育てしやすい環境とはいえない ・不審者情報等への対策が必要である（防犯カメラの設置） 	134